

(案)

東京港港湾計画資料（その1）

— 改 訂 —

令和5年9月

東京港港湾管理者
東京都

総目次

| | |
|----------------------------------|-------|
| I 港湾計画の方針に関する資料 | I-1 |
| 1. 港湾の沿革、現況 | I-1 |
| 1-1 港湾の位置 | I-1 |
| 1-2 港湾の沿革 | I-3 |
| 2. 東京港を取り巻く状況 | I-9 |
| 2-1 物流 | I-10 |
| 2-2 防災・維持管理 | I-18 |
| 2-3 環境 | I-20 |
| 2-4 観光・水辺のまちづくり | I-22 |
| 2-5 長期構想の策定及び関連計画 | I-23 |
| 3. 港湾計画の方針 | I-24 |
| 3-1 [物流] 世界とつながるリーディングポート | I-25 |
| 3-2 [防災・維持管理] 信頼をつなぐレジリエントポート | I-26 |
| 3-3 [環境] 未来へつなぐグリーンポート | I-28 |
| 3-4 [観光・水辺のまちづくり] にぎわいをつなぐゲートウェイ | I-29 |
| 4. 港湾計画の実現に向けて | I-30 |
| 4-1 世界・国内の港湾、関係機関等との連携 | I-30 |
| 4-2 貨物需要等の状況に応じた既存ストックの活用 | I-30 |
| 4-3 港の仕事のPR・快適で働きやすい環境の実現 | I-30 |
| 4-4 港湾空間のゾーニング | I-31 |
| II 港湾の能力に関する資料 | II-1 |
| 1. 取扱貨物量 | II-1 |
| 1-1 取扱貨物量の推移 | II-1 |
| 1-2 取扱貨物量の設定 | II-31 |
| 2. 入港船舶隻数 | II-62 |
| 2-1 入港最大標準船型 | II-62 |
| 2-2 船舶の利用状況 | II-63 |
| 2-3 入港船舶隻数の推計 | II-65 |
| 3. 港湾利用者数 | II-74 |
| 3-1 港湾利用者数の設定の方針 | II-74 |
| 3-2 港湾利用者数の設定 | II-75 |

| | |
|-------------------------------|---------------|
| III 港湾施設の規模及び配置 | III-1 |
| 1. 公共埠頭計画 | III-1 |
| 1-1 公共埠頭計画..... | III-1 |
| 1-2 外内貿コンテナ埠頭計画..... | III-16 |
| 1-3 内貿ユニットロード埠頭計画..... | III-25 |
| 1-4 外貿埠頭計画..... | III-30 |
| 1-5 内貿埠頭計画..... | III-34 |
| 2. 旅客船埠頭計画 | III-39 |
| 2-1 旅客船埠頭の現況..... | III-39 |
| 2-2 旅客船埠頭計画の必要性..... | III-39 |
| 2-3 旅客船埠頭の規模及び配置..... | III-40 |
| 3. 旅客船埠頭（小型栈橋）計画 | III-42 |
| 3-1 旅客船埠頭（小型栈橋等）の現況..... | III-42 |
| 3-2 旅客船埠頭（小型栈橋等）計画の必要性..... | III-43 |
| 3-3 旅客船埠頭（小型栈橋等）の規模及び配置..... | III-44 |
| 4. 木材取扱施設計画 | III-47 |
| 4-1 木材取扱施設の現況..... | III-47 |
| 4-2 木材取扱施設の規模及び配置..... | III-47 |
| 5. 専用埠頭計画 | III-49 |
| 5-1 専用埠頭の現況..... | III-49 |
| 5-2 専用埠頭計画の必要性..... | III-50 |
| 5-3 専用埠頭の規模及び配置..... | III-50 |
| 6. 水域施設計画 | III-52 |
| 6-1 航路計画 | III-52 |
| 6-2 泊地計画 | III-54 |
| 6-3 操船例図 | III-57 |
| 7. 外郭施設計画 | III-70 |
| 7-1 防波堤計画 | III-70 |
| 8. 小型船だまり計画 | III-77 |
| 8-1 小型船だまりの現況..... | III-77 |
| 8-2 小型船だまり計画..... | III-78 |
| 9. 臨港交通施設計画 | III-79 |
| 9-1 臨港道路の現況..... | III-79 |
| 9-2 臨港道路計画の必要性..... | III-79 |
| 9-3 臨港道路計画の変更..... | III-79 |
| 9-4 交通対策 | III-79 |

| | |
|---------------------------------------|--------------|
| 10. マリーナ計画 | III-81 |
| 10-1 マリーナの現況 | III-81 |
| 10-2 マリーナ計画 | III-82 |
| IV 港湾の環境の整備及び保全 | IV-1 |
| 1. 自然的環境を整備又は保全する区域 | IV-1 |
| 1-1 良好な景観を形成する区域 | IV-1 |
| 2. 廃棄物処理計画 | IV-3 |
| 2-1 港湾における廃棄物処理場の現況 | IV-3 |
| 2-2 港湾における廃棄物処理の必要性 | IV-3 |
| 2-3 港湾において処分する廃棄物の種類及び量 | IV-4 |
| 2-4 海面処分用地の規模及び配置 | IV-5 |
| 3. 港湾環境整備施設計画 | IV-7 |
| 3-1 緑地・海浜の現況 | IV-7 |
| 3-2 緑地・海浜計画の必要性 | IV-9 |
| 3-3 緑地・海浜の確保の考え方 | IV-10 |
| 3-4 緑地計画・海浜計画 | IV-11 |
| 4. 東京港におけるカーボンニュートラルポートの実現 | IV-14 |
| V 土地造成及び土地利用計画 | V-1 |
| 1. 土地造成計画 | V-1 |
| 1-1 土地造成の必要性 | V-1 |
| 1-2 土地造成に係る土地利用計画 | V-2 |
| 2. 土地利用計画 | V-4 |
| 2-1 土地利用計画の変更内容 | V-4 |
| 3. 海浜計画 | V-13 |
| 4. 臨港地区の範囲 | V-14 |
| 5. 地盤高 | V-15 |
| 5-1 浸水想定 | V-15 |
| 5-2 地盤高 | V-16 |
| VI 港湾の効率的な運営に関する事項 | VI-1 |
| 1. 港湾の効率的な運営に関する事項 | VI-1 |
| VII その他重要事項 | VII-1 |
| 1. 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設 | VII-1 |
| 2. 港湾及び港湾に隣接する地域の保全 | VII-2 |
| 2-1 海岸保全施設等 | VII-2 |
| 2-2 東京港海岸保全施設整備計画（令和5年3月） | VII-4 |

| | | |
|------|-----------------------|---------|
| 3. | 大規模地震対策施設 | VII-7 |
| 3-1 | 耐震強化岸壁整備の基本的な考え方 | VII-7 |
| 3-2 | 緊急物資輸送対応施設 | VII-7 |
| 3-3 | 幹線貨物輸送対応施設 | VII-9 |
| 4. | 港湾施設の利用 | VII-11 |
| 4-1 | 物資補給等のための施設 | VII-11 |
| 5. | その他港湾の開発、利用及び保全に関する事項 | VII-12 |
| 5-1 | 橋梁の桁下空間の確保 | VII-12 |
| 5-2 | 放置等禁止区域 | VII-15 |
| 5-3 | 将来構想 | VII-18 |
| VIII | その他 | VIII-1 |
| 1. | 港湾区域の範囲 | VIII-1 |
| 2. | 港湾の周辺条件 | VIII-3 |
| 2-1 | 経済的・社会的条件 | VIII-3 |
| 2-2 | 自然条件 | VIII-6 |
| 3. | 港湾の沿革 | VIII-19 |
| 4. | 港湾施設の現況 | VIII-25 |
| 4-1 | 水域施設 | VIII-25 |
| 4-2 | 外郭施設 | VIII-25 |
| 4-3 | 係留施設 | VIII-26 |
| 4-4 | 荷捌施設 | VIII-28 |
| 4-5 | 保管施設 | VIII-31 |
| 4-6 | 旅客施設 | VIII-31 |
| 4-7 | マリーナ施設 | VIII-32 |
| 4-8 | その他の施設 | VIII-33 |
| 5. | 過去の計画一覧 | VIII-34 |
| 6. | 新旧法線対象図 | VIII-52 |
| 7. | 東京都港湾審議会委員名簿 | VIII-54 |
| 8. | 将来イメージ | VIII-55 |

I 港灣計画の方針に関する資料

目 次

| | |
|---------------------------------------|-------------|
| I 港湾計画の方針に関する資料 | I-1 |
| 1. 港湾の沿革、現況 | I-1 |
| 1-1 港湾の位置..... | I-1 |
| 1-2 港湾の沿革..... | I-3 |
| 2. 東京港を取り巻く状況 | I-9 |
| 2-1 物流..... | I-10 |
| 2-2 防災・維持管理..... | I-18 |
| 2-3 環境..... | I-20 |
| 2-4 観光・水辺のまちづくり..... | I-22 |
| 2-5 長期構想の策定及び関連計画..... | I-23 |
| 3. 港湾計画の方針 | I-24 |
| 3-1 [物流] 世界とつながるリーディングポート..... | I-25 |
| 3-2 [防災・維持管理] 信頼をつなぐレジリエントポート..... | I-26 |
| 3-3 [環境] 未来へつなぐグリーンポート..... | I-28 |
| 3-4 [観光・水辺のまちづくり] にぎわいをつなぐゲートウェイ..... | I-29 |
| 4. 港湾計画の実現に向けて | I-30 |
| 4-1 世界・国内の港湾、関係機関等との連携..... | I-30 |
| 4-2 貨物需要等の状況に応じた既存ストックの活用..... | I-30 |
| 4-3 港の仕事のPR・快適で働きやすい環境の実現..... | I-30 |
| 4-4 港湾空間のゾーニング..... | I-31 |

I 港湾計画の方針に関する資料

1. 港湾の沿革、現況

1-1 港湾の位置

東京港は、東京湾最奥部に位置し、東側は千葉港に、南側は川崎港及び横浜港に近接しており、国際貿易港及び国内拠点港として、首都圏の生活と産業を支える重要な役割を担っている。本港と各港との海上距離は次のとおりである。

表 I -1-1 国内港湾及び海外港湾との距離

■国内港湾

| 港名 | 国名 | 海上距離 (海里) | 港名 | 国名 | 海上距離 (海里) |
|-----|----|--------------|----------|----|--------------|
| 苫小牧 | 日本 | 558 | 高松 | 日本 | 372 |
| 塩釜 | " | 320 | 三島川之江 | " | 418 |
| 新潟 | " | 769 | 水島 | " | 417 |
| 横浜 | " | 17 | 広島 | " | 478 |
| 川崎 | " | 11 | 徳山下松 | " | 521 |
| 清水 | " | 123 | 博多 | " | 590 |
| 名古屋 | " | 211 | 北九州 (門司) | " | 552 |
| 四日市 | " | 210 | 鹿児島 | " | 600 |
| 大阪 | " | 371 | 志布志 | " | 538 |
| 神戸 | " | 363 | 那覇 | " | 878 |

■海外港湾

| 港名 | 国名 | 海上距離 (海里) | 港名 | 国名 | 海上距離 (海里) |
|--------|-------|--------------|---------|----------|--------------|
| 釜山 | 韓国 | 697 | シンガポール | シンガポール | 2,930 |
| 上海 | 中国 | 1,058 | コロンボ | スリランカ | 4,542 |
| 厦門 | 中国 | 1,367 | ドバイ | アラブ首長国連邦 | 6,416 |
| 香港 | 中国 | 1,620 | タンジェMED | モロッコ | 9,962 |
| 広州 | 中国 | 1,824 | ロサンゼルス | アメリカ | 4,855 |
| 青島 | 中国 | 1,190 | ニューヨーク | アメリカ | 9,877 |
| 天津 | 中国 | 1,370 | サバンナ | アメリカ | 9,436 |
| レムチャバン | タイ | 2,993 | ロッテルダム | オランダ | 11,345 |
| ホーチミン | ベトナム | 2,410 | ハンブルク | ドイツ | 11,601 |
| ハイフォン | ベトナム | 2,067 | アントワープ | ベルギー | 11,338 |
| ポートケラン | マレーシア | 3,207 | | | |

※ 1 海里 = 1,852km

出典：「距離表」（海上保安庁）より東京都作成

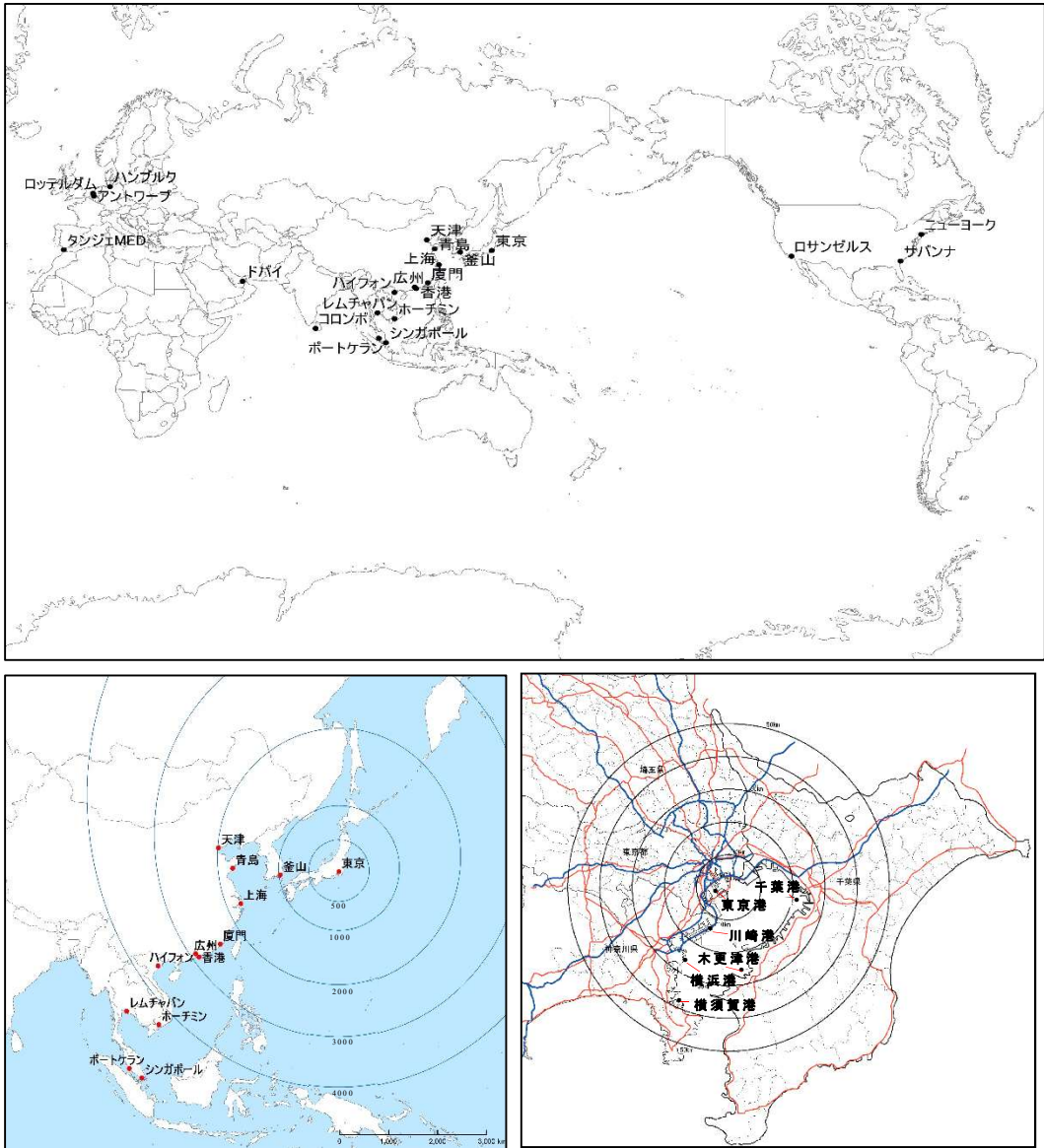


図 I-1-1 東京港の位置

1-2 港湾の沿革

東京港は、15世紀半ば、太田道灌が江戸城築城（1457年）の頃、隅田川河口付近が江戸湊として利用されたときが始まりといわれている。

慶長8年（1603年）、徳川幕府が江戸に開かれ、江戸の市街地の造成と江戸湊の拡張、整備が進められ、江戸の繁栄とともに、江戸湊は海上から運び込まれる物資の集積、流通の要地として栄えた。

明治元年（1868年）、江戸は東京と改められ、日本の首都として政治、経済、文化の各分野で大いに発展してきたが、海運の面では隣接する横浜港が開港して活況をみせたのに対し、東京港は明治末頃に至るまで江戸湊のままでさしたる発展はみられなかった。

港湾としての東京港は、明治13年、東京府が築港調査したときに始まり、本格的な工事は、明治39年、隅田川口改良工事からである。以来港の整備が行われてきたが、その規模は隅田川河口を利用する小型船（400～500トン級）を対象としたものであった。このため、大正12年（1923年）の関東大震災によって、東京が甚大な被害を受けた際には、陸上輸送が途絶したため、国内各地、諸外国からの救援物資は海上輸送によらざるを得なかったにもかかわらず、当時の東京港の施設が貧弱であったため、救援船の入港と荷役は困難を極めた。

関東大震災を契機として、東京港の港湾整備の必要性が痛感され、大正14年、日の出棧橋が完成、続いて昭和7年、芝浦岸壁、同9年、竹芝棧橋がそれぞれ完成、3,000～6,000トン級船舶が接岸できるようになった。

その後、東京港は、東京の産業の進展とともに物資の海上輸送基地として重要性を増し、昭和16年5月20日（1941年）アジア地域に限定されて開港することになり、外国貿易港としての第一歩を踏み出した。

しかし、まもなく太平洋戦争が始まり、港の発展は大きく阻まれ、終戦後は主要港湾施設が駐留軍に接収され、港湾機能はほとんど停止状態になった。

戦後、東京の復興とともに東京港は修築の必要に迫られ、昭和24年、東京港修築5年計画により、大型船が接岸できる豊洲・晴海・品川埠頭等の建設に着手した。また、昭和26年には港湾法に基づき東京港は京浜港として特定重要港湾に指定され、東京都が東京港の港湾管理者となった。

昭和30年代に至り、日本経済の復興とともに、東京に人口・産業が集中し、東京港は、首都東京の消費、生産活動に必要な物資の海上流通基地として重要な役割を担うこととなり、昭和31年の東京港港湾計画、昭和36年の東京港改訂港湾計画に基づき港湾施設の整備拡充を図った。

さらに、昭和41年には東京港第二次改訂港湾計画を策定し、輸送革新のコンテナ船就航に対応して、昭和42年、品川埠頭に外貨コンテナ埠頭を、昭和43年には、13号地に建材専門埠頭、10号地に内貿雑貨埠頭を整備し、昭和46年には10号地東岸壁と大井埠頭コンテナバースの一部が完成した。昭和47年にはフェリー埠頭が10号地に整備され、また昭和49年には、水産物専門埠頭が大井埠頭に、木材専門埠頭が15号地に建設された。

東京港は、物流拠点として大きく発展しつづけ、その時々の経済状況や都民ニーズの変化等を反映しながら整備が進められてきたが、昭和48年のオイルショックにより従来の高度経済成長が期待できなくなったことをうけ、昭和51年に社会・経済的諸情勢の変化をふまえた東京港第三次改訂港湾計画を策定した。

昭和56年には、港湾機能と都市機能との調整、大都市問題あるいは都民のレクリエーションに対応するため、東京港第四次改訂港湾計画を策定し、物流基地として、港湾機能の充実と、埠頭背後地も含めた港湾施設の整備とともに、都民の憩いの場としての海上公園整備も併せて進めた。

昭和60年には青海コンテナ埠頭の一部が、昭和61年には埠頭再開発事業による竹芝・芝浦埠頭の一部が供用を開始するなど、港湾施設の整備・近代化が進められ、同時に埠頭背後地の開発も推進してきた。また、港湾区域と造成された埋立地には、既成市街地の再開発等に伴う事業所等の受入、海上公園の整備及び産業・レクリエーション施設を含めた広域的な施設・機能の整備など総合的な港湾空間の形成を図ってきた。加えて台場・青海・有明地区を、東京の都市構造を一点集中型から多心型に転換するとともに国際化や情報化の進展に対応する副都心を建設することになった。こうした情勢に対応するため、昭和63年5月、平成7年を目標年次とする東京港第五次改訂港湾計画を新たに策定した。

東京港が国際貿易港として広く世界の主要港と交流を図っていくため、昭和55年に米国のニューヨーク・ニュージャージー港と姉妹港、昭和56年に中国の天津港と友好港、昭和62年に米国のロサンゼルス港と姉妹港、平成元年4月にはオランダ国のロッテルダム港と姉妹港の提携を行い、相互の交流を深めてきた。国内有数の港に成長した東京港は、平成3年5月20日に開港50周年を迎えたが、この間入港船舶数は、24.3倍、取扱貨物量は11.4倍となった。

また、同年には、外航クルーズの玄関口としての晴海客船ターミナルや、同じく内航の伊豆諸島への玄関口である竹芝客船ターミナルが装いを新にして供用開始となった。

平成5年8月には、東京港の物流の円滑化に大きな役割を果たす、レインボーブリッジが東京港を横断する形で完成、平成6年5月に青海コンテナ埠頭第三バース、また同8年5月に同第四バースが供用開始、平成7年11月には東京臨海新交通臨海線「ゆりかもめ」（新橋～有明）が、平成8年3月には東京臨海高速鉄道臨海副都心線（新木場～東京テレポート）が開通し、都民に一層親しまれる港として変貌をとげている。

平成6年10月には、対中国海上貨物の東京港集貨拡大と、中国航路の東京港誘致を目指し「東京港中国会」が発足し、12月には新たに上海定期航路が開設された。

平成9年には、東京港港湾審議会の最終答申に基づき、また、その後の阪神・淡路大震災の教訓も踏まえ、平成17年を目標年次とする東京港第六次改訂港湾計画を策定し、平成9年4月告示された。その後、臨海副都心及び豊洲・晴海地域の開発整備計画の見直しに対応し、平成10年4月、計画の一部を変更した。

また、平成9年7月には、国際競争力をもった使いやすい東京港を実現するた

め、港湾管理者、関係官公庁、団体・事業者などの関係者が一体となって、東京港が抱える諸課題を検討する「東京港振興促進協議会」を設立し、平成10年9月に「全体のまとめ」を提言し、平成11年4月にこれを実現するための「アクションプラン」を策定した。その後、平成16年3月には、同プラン策定以降東京港をはじめとする我が国港湾を取り巻く状況の変化を踏まえ、直面する東京港の新たな課題の解決に向けた取組の目標を明らかにした「新アクションプラン」を策定した。

平成14年4月には、東京港の物流機能の冲合展開に向け、東京港臨海道路（大田区城南島～中央防波堤外側地区～江東区若洲）のうち第一工区部分である東京臨海トンネル（大田区城南島～中央防波堤外側地区）が供用開始され、東京港の物流効率化に大きく貢献している。

また、同年には、東京港の国際競争力を強化する取組として、国際港湾特区の申請及びスーパー中枢港湾への立候補を行った。

港湾に関する規制緩和を推進させ、港湾サービスの向上、コスト低減を図るために、構造改革特別区域法に基づき、東京港を国際港湾特区とし、税関及び検疫の執務時間延長及び手数料軽減等の提案を行った。

さらに、国のスーパー中枢港湾への取組に対し、東京都は、東京港におけるコスト低減、スピードアップ、サービス向上を図るとともに、年間取扱量の目標を340万～360万TEUとして、東京港をスーパー中枢港湾候補として応募した。そして、平成16年7月、東京港と横浜港からなる京浜港が、伊勢湾（名古屋港・四日市港）及び阪神港（神戸港・大阪港）とともにスーパー中枢港湾に指定された。

平成16年7月には、改正SOLAS条約の発効に伴う「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律」が施行され、東京港の外貿コンテナ埠頭、外航客船埠頭及びその他の外貿埠頭においてフェンスや監視カメラの設置等の保安対策を講じ、立入制限区域における管理と監視を強化している。

平成18年には、首都圏4,000万人の生活と産業を支え、経済活力の向上に貢献する物流拠点としての役割を果たすとともに、憩いと賑わいのある空間を創出し、環境に優しく災害に強い安全なみなどを実現することを目指して、東京港第7次改訂港湾計画を策定した。

同年10月には、「特定外貿埠頭の管理運営に関する法律」が施行された。これを受け、東京港における物流効率化を促進し、国際競争力の強化と利用者サービスの向上を図るため財団法人東京港埠頭公社を民営化し、平成20年4月、東京港埠頭株式会社として業務を開始した。

平成20年3月、東京都、川崎市、横浜市は、アジア諸港の躍進により、日本港湾の国際的地位が低下していく中、積極的な対策を講じなければ、京浜三港が世界の基幹航路から外れ、我が国経済に与える影響は極めて深刻であるとの危機感を共有し、東京湾の国際競争力を強化するため、一層の連携を推進することとし、基本合意書を締結し、コンテナ船入港料の一元化や三港共同セミナーなど、様々な取組を実施した。

同年7月、東京都港湾審議会は、第7次改訂港湾計画策定後の東京港を取り巻く状況の変化を踏まえ、港湾物流を中心に、東京港の今後の経営戦略の方向性を明らかにし、港湾計画を策定するための指針となるよう、既存埠頭を含めたコンテナ埠頭等の充実・強化、臨海部全体の交通ネットワークの充実・強化、今後の港湾経営戦略の展開についての提言を「東京港の今後の港湾経営戦略」として答申した。この答申を受け、海事関係者や関係行政機関と調整を図り、「東京港港湾計画の一部変更（案）」をとりまとめ、東京都港湾審議会の議を経て、平成21年8月、公示を行った。

平成21年2月、東京港振興促進協議会は、国際物流動向の変化やコンテナ船の大型化、京浜三港における広域連携の推進、地球温暖化問題への対応など、東京港を取り巻く状況の著しい変化を踏まえ、東京港の振興を促進していくため、今後の取組目標を明らかにし、その実現に向けた関係者の努力を引き出していく指針となる「第3次アクションプラン」を策定した。

また、同年12月には、京浜三港の連携体制を強化するため、地方自治法に基づく協議会である「京浜港連携協議会」を設立するとともに、東東京港埠頭株式会社と横浜港埠頭公社の連携により、ユーザーサービスの向上と経営の効率化を図るため、「京浜港事業提携委員会」を設置した。京浜港連携協議会において、今後の京浜港が進むべき方向性について検討を進め、平成22年2月に「京浜港共同ビジョン」を策定した。

平成22年2月、国土交通省は、日本のコンテナ港湾が釜山港等アジア諸国の港湾との国際的な競争がますます激化するなか、更なる「選択」と「集中」により国際競争力を強化するため、「国際コンテナ戦略港湾」としての選定を希望する港湾を募集した。同年3月、東京都は、川崎市、横浜市、東京港埠頭株式会社、財団法人横浜港埠頭公社と連名で京浜港として「国際コンテナ戦略港湾」に応募し、同年8月に選定を受けた。

平成23年3月、東北地方太平洋沖地震が発生し、4月から9月まで、被災地支援の一環として救援物資等の搬出入のため東京港と被災地の港湾との間を航行する船舶に対し、東京港における入港料及び係留施設使用料の免除を実施した。また、震災による東京港と被災地を結ぶ内航フィーダー航路の休止に伴い、船舶輸送から陸上輸送に変更を余儀なくされた荷主に対し、陸上輸送にかかる費用の一部補助も実施した。さらに、内航フィーダー航路再開後の航路運航事業者に対し、航路の早期再開・運航の安定化を図るため、輸送に係る費用の一部補助を行った。一方、震災による福島第一原子力発電所の事故に伴う東京港に対する風評被害対策として、4月から東京港の各コンテナ埠頭の大気中の放射線量と東京港の海水中の放射能の測定を開始した。さらに、5月から各コンテナ埠頭のゲート付近でコンテナ表面の放射線量のサンプリング調査も開始した。

同年4月、国は我が国の港湾の国際競争力の強化を図ることを目的に港湾法を改正し、港格の見直しを行った。従来の特定重要港湾を廃止し、国際戦略港湾と国際拠点港湾が新たに設定され、東京港は京浜港として国際戦略港湾に規定された。

同年9月、京浜三港は「京浜港共同ビジョン」を具体化するとともに、今後、三港がそれぞれ策定する港湾計画の基本となる「京浜港の総合的な計画」を策定した。

平成24年2月、東京港の物流円滑化を図るとともに、東京港周辺道路の混雑緩和を目的とした東京ゲートブリッジを含む臨港道路（中央防波堤外側埋立地～江東区若洲）が供用開始された。

同年3月、クルーズ客船の大型化に伴うクルーズ人口の増加を背景にクルーズ客船の東京港寄港促進を図ることを目的に、クルーズ客船運航事業者や旅行会社などの業界関係者を対象に「東京港クルーズセミナー」を初めて開催し、新たなインセンティブ制度の周知や東京港周辺及び伊豆・小笠原諸島の最新の観光情報などを提供するとともに、東京港に対する要望などのヒアリングを行った。

平成25年9月、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会が東京で行われることが決定した。

同年11月、高さ60mを超える大型旅客船が就航（平成25年4月）したことから、レインボーブリッジの外側の臨海副都心に大型クルーズ客船対応の新客船埠頭を港湾計画に位置づけた。

平成26年1月、2020年オリンピック・パラリンピック開催都市として、また、国際観光都市として、今後のクルーズ客船誘致施策を積極的に展開していくため、概ね15年後の目標とその実現に向けた取組をまとめた「東京クルーズビジョン」を策定した。

また、社会情勢の変化や東京港を取り巻く環境変化を踏まえ、概ね10年後の「東京港の目指すべき姿」や「求められる取組」を実現するため、同年9月開催の東京都港湾審議会の議を経て、東京港第8次改訂港湾計画を策定した。

平成27年1月、コンテナ埠頭周辺における放置車両（台切りシャーシー）対策として、港湾法第37条の3の規定に基づき、東京港コンテナ埠頭周辺を「放置等禁止区域」に、台切りシャーシーを「放置等禁止物件」に指定し、取締を強化した。

同年3月、船舶から排出される大気汚染物質である、窒素酸化物（NO_x）や硫黄酸化物（SO_x）などを削減するため、外航船の国際的な環境対策プログラムであるESI（Environmental Ship Index）に日本の港湾では東京港が初めて参加し、環境負荷の少ない船舶に対するインセンティブ制度を導入した。

平成28年4月、大井水産物埠頭へ3年連続で入港した「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」の姉妹船である「マリナー・オブ・ザ・シーズ」（138,279総トン・当時）が、大井水産物埠頭へ初入港した。

同年12月、開港75周年を記念して、物流をはじめとする東京港や臨海副都心の多様な魅力を伝える都民向けセミナーを開催した。また、セミナー後には、東京港ナイトクルーズを実施した。

平成 29 年 4 月、地上 100 メートルから東京臨海部を望む眺望を活かし、青海フロンティアビルに東京港や臨海副都心の歴史、現在の姿、未来を紹介する広報展示室をオープンした。

同年 11 月、クルーズ客船の誘致活動の一環として、東京港をホームポート（母港）とするクルーズ客船を“お得意さま”として認定する制度「東京港ホームポート認定」を開始し、にっぽん丸及び COSTA neo ROMANTICA（コスタ ネオロマンチカ）が認定対象船舶（平成 29 年・平成 29 年度）となった。

平成 30 年 7 月、過去最大規模の「MSC PERLE」（141,754 総トン、13,102TEU）が入港した。また、同年中は、14 万トン超えの大型コンテナ船が 19 隻も入港した。

平成 31 年・令和元年(2019) 4 月、東京港紹介動画「PORT OF TOKYO 東京港」を公開した。

同年 8 月、舟運の拠点である日の出埠頭において、更なる賑わいを創出するため、小型船用の新たな棧橋の整備や人道橋の改修を行うとともに、民間事業者により整備された新たな小型船ターミナル「Hi-NODE（ハイノード）」が開業した。

同年 11 月、バルセロナ港と東京港の友好関係を深めるため、協定書を締結した。

令和 2 年 3 月、港の機能強化、混雑解消を目指すため整備された中央防波堤外側埠頭 Y2 ターミナルが供用開始された。また、同年 6 月には、中央防波堤地区の新しいコンテナ埠頭の貨物需要に適切に対応し、東京港全体の物流機能を強化する新たな南北軸となる「臨海道路南北線及び接続道路」（「東京港海の森トンネル」、「海の森大橋」）が開通した。

同年 9 月、臨海副都心の新たなランドマークとなる「東京国際クルーズターミナル」が開業し、これまでレインボーブリッジの高さ制限により東京港内での受入が難しかった超大型のクルーズ客船も入港・寄港可能となった。

令和 3 年 5 月、東京港は開港 80 周年を迎えた。

同年 7 月、新型コロナウイルス感染症拡大により延期となっていた東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が開催された。多くの競技会場や関連施設が臨海部に配置されたことから、大会開催に伴う交通混雑を抑制し、大会運営と円滑な港湾物流の両立を図る必要があった。そのため、東京港では、大会開催前からコンテナターミナルゲートオープン時間の拡大やストックヤードの設置、トラックから船舶・鉄道への利用転換支援など、様々な取組を実施してきた。こうした取組等を通じて、コンテナ車両の分散化や走行時間帯の平準化が図られ、大会期間中の港湾物流に大きな混乱は生じなかった。

2. 東京港を取り巻く状況

昭和 16 年に国際貿易港として開港した東京港は、昭和 40 年代のコンテナ輸送革新にいち早く対応し、埠頭機能の強化や港湾運営の効率化に取り組んだことで大きな発展を遂げ、今日では我が国を代表する港湾として極めて重要な役割を果たしている。

港湾法に基づく東京港港湾計画は、昭和 31 年に初めて策定され、現在は、平成 26 年に策定した第 8 次改訂港湾計画に基づき施設整備等を実施している。

また、平成 22 年には京浜港として国際戦略港湾に選定され、京浜港を構成する各港においては、各港の特性等を踏まえつつ、京浜港全体としての機能の強化が図られるよう取組を推進してきた。

第 8 次改訂港湾計画の策定以降、東京港を取り巻く環境は、アジア貨物の更なる増加や船舶の大型化の進展などこれまで以上に大きく変化している。また、少子高齢化等による労働力不足や、A I や I o T 等の情報通信技術の進化など、社会情勢も変化している。このため、港湾機能の強化とともに D X を推進することなどにより、物流を効率化し生産性の高い港を実現することが求められている。

一方、首都直下地震等の発生や、激甚化・頻発化している高潮・暴風等のリスクの増大が懸念されていることから、港湾施設の老朽化に伴う更新需要の増加も見通した上で、災害時においても物流機能を維持できる、強靱な港の構築に向けた取組も求められている。

さらに、脱炭素社会の実現やクルーズを核とした観光拠点の形成など、様々な分野における取組が求められている。

このため、以下の各分野における現状や課題等を踏まえ、取組を進めていく。



図 I -2-1 東京港の全景

2-1 物流

2-1-1 現状

(1) 日本経済を牽引する国際貿易港

東京港は、北米や欧州、アジアなど世界の主要港と外貿コンテナ定期航路ネットワークで結ばれ、日本の経済活動を支える極めて重要な国際貿易港となっている。外貿コンテナ定期航路数は週 87 便、うち基幹航路である北米航路が週 6 便、欧州・北米航路が週 1 便となっており、国内トップクラスの航路数を有している。（令和 5 年 3 月時点）

東京港の方面別コンテナ貨物はアジア貨物が増加傾向にある。また、コンテナ貨物（重量ベース）の輸出入先としては、アジアが 76% となっており、アジア地域と強いつながりを持っている。（令和 3 年時点）

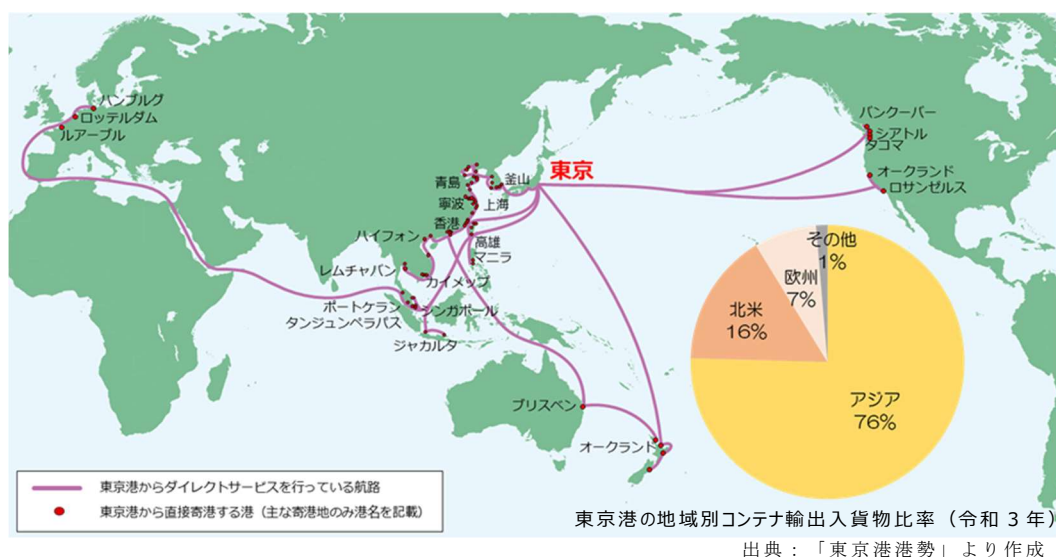
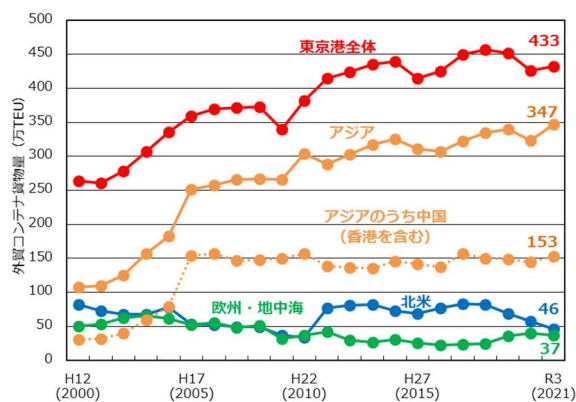


図 I-2-2 外貿コンテナ定期航路ネットワーク



※ 港湾統計上の方面別航路について、H16 以前及び H23 以降は「最遠寄港地」
H17-H22 は「最終寄港地」を用いているため、統計上差異が生じている

図 I-2-3 方面別外貿コンテナ貨物量の推移

表 I-2-1 方面別航路数

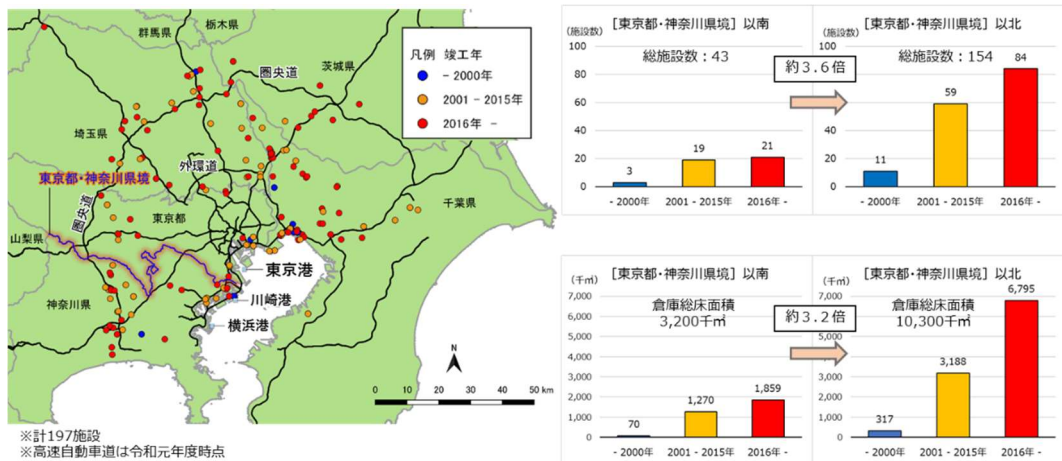
| 方面 | 便/週 |
|-------|-----|
| 北米 | 6 |
| 欧州・北米 | 1 |
| 中国 | 37 |
| 韓国 | 9 |
| 東南アジア | 33 |
| オセアニア | 1 |
| 合計 | 87 |

※ 令和 5 年 3 月時点

東京港の背後には、首都東京を核とする充実した道路ネットワークが形成されているとともに、交通利便性の高い臨海部や環状道路等の沿線に大型物流倉庫の立地が進展している。このため、首都圏及び東日本の多くの荷主・物流事業者等に利用されており、平成10年以降国内最多のコンテナ貨物を取り扱っている。



図 I -2-4 東京港背後の道路ネットワーク



※ 大型物流倉庫：主な物流不動産事業者の所有する延床5,000㎡以上の大型物流施設で、1986年以降にしゅん工された施設（2021~2023年しゅん工予定の施設を含む）
出典：㈱プロジス、日本G L P㈱、大和ハウス工業㈱、三井不動産㈱、三菱地所㈱各社HP及び「物流革命2021」（日経MOOK）より東京都作成

図 I -2-5 首都圏における大型物流倉庫の立地と立地年代別施設数・施設面積

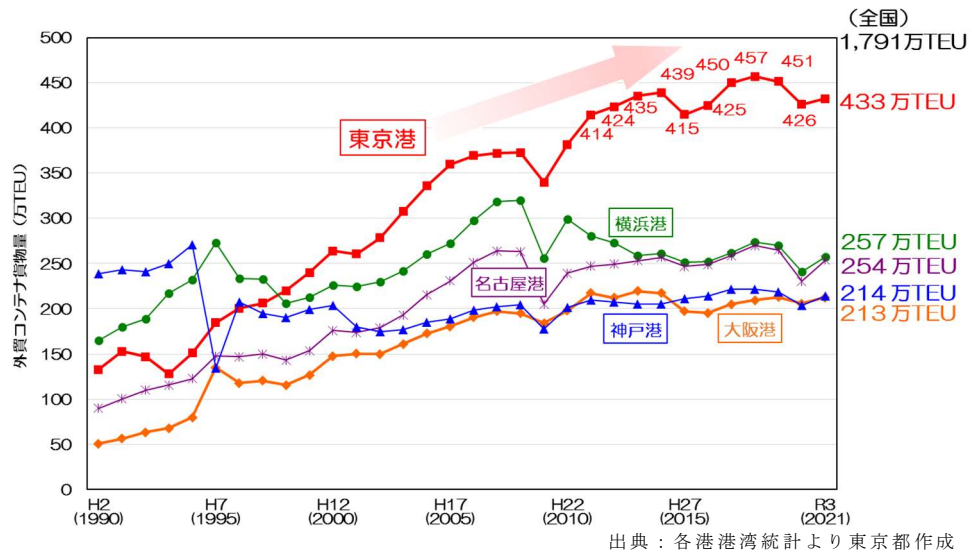


図 I -2-6 外貿コンテナ貨物量の推移

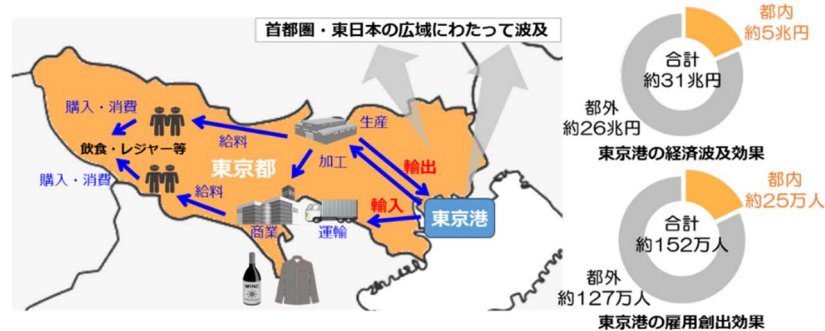
表 I -2-2 全国における東京港の外貿コンテナ貨物量割合の推移

| | | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H27 | R3 |
|------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 外貿コンテナ貨物量 (万TEU) | 全国 | 734 | 1,007 | 1,269 | 1,576 | 1,685 | 1,728 | 1,791 |
| | 東京港 | 133 | 185 | 264 | 360 | 382 | 415 | 433 |
| 全国に占める東京港の割合 | | 18.1% | 18.4% | 20.8% | 22.8% | 22.7% | 24.0% | 24.2% |

出典：「東京港港勢」及び港湾近代化促進協議会資料より東京都作成

また、東京港の令和3年の貿易額は約19兆円であり、国内港湾では最も多い。これは、空港を含めた我が国全体の貿易額の約11%に相当しており、東京港は日本経済を牽引する重要なインフラとしての役割を担っている。

さらに、東京港での貨物取扱いによる経済波及効果は年間約31兆円となっており、うち都内は約5兆円である。雇用創出効果は約152万人となっており、うち都内は約25万人である。このように、東京港は都内のみならず、広域にわたって経済波及効果・雇用創出効果をもたらしている。



出典：「平成28年東京港港勢」、「平成23年東京都産業連関表」、「平成25年度全国輸出入コンテナ貨物流動調査」（1か月値）（国土交通省）等を用いて東京都作成

図 I -2-7 東京港がもたらす経済効果（イメージ）

(2) 首都圏・東日本の生活と産業を支える物流拠点

東京港で令和3年に取り扱った貨物は約8,500万トンであり、外貨貨物が56%、内貨貨物が44%となっている。また、外貨貨物のうち97%がコンテナで輸送されている。

背後に大消費地を抱える東京港は、首都圏の都市活動や人々の生活に必要な物資を受け入れる輸入港としての性格が強く、輸入・輸出比率(重量ベース)は、約3:1となっている。

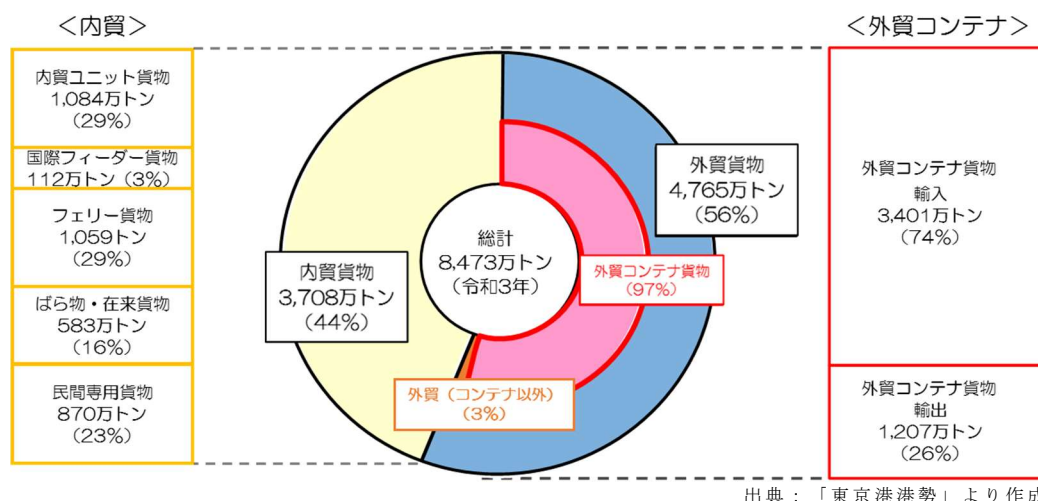


図 I-2-8 東京港の港勢 (令和3年)

東京港が取り扱う貨物の特徴として、輸入貨物では、食料品や家具等の生活関連物資の取扱シェアが大きく、これらの貨物の流通拠点として、人々の生活を支えている。また、輸出貨物では産業機械や自動車部品等の高付加価値製品が多く、我が国の産業活動に大きく貢献している。

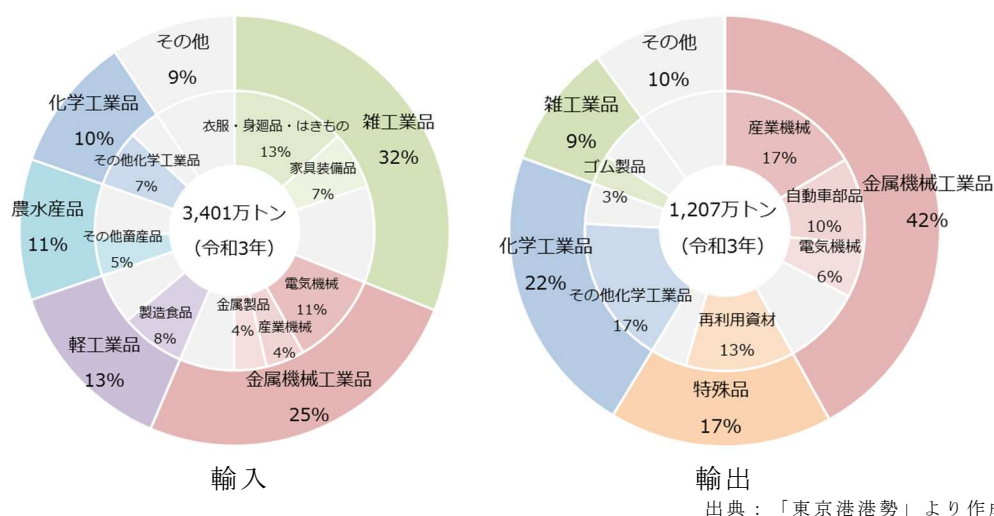


図 I-2-9 外貨コンテナ貨物の品目内訳 (令和3年)

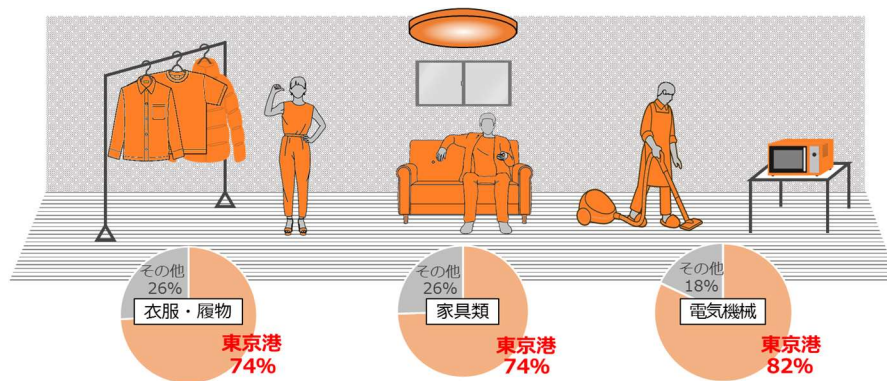
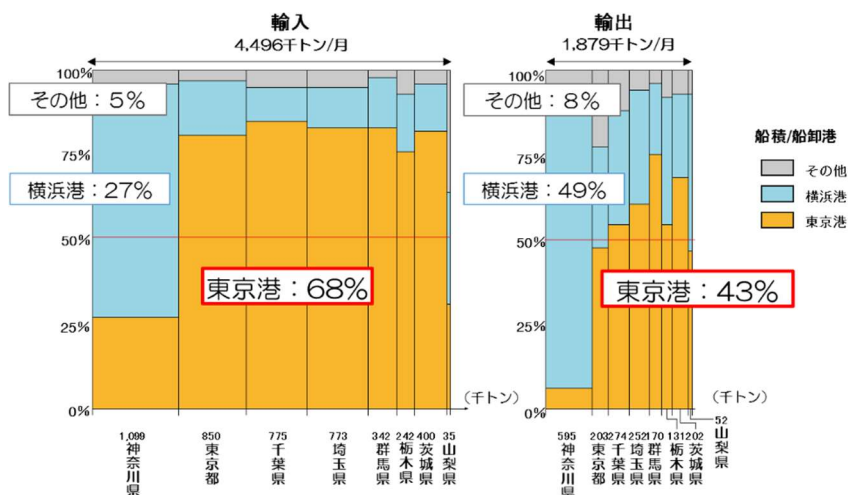


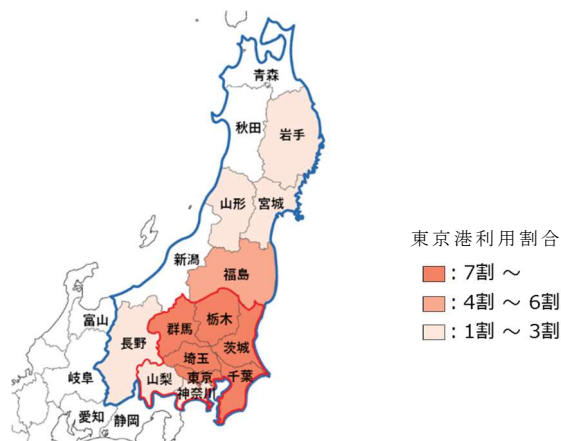
図 I-2-10 東京都で消費される海上輸入貨物のうち、東京港から輸入される割合

首都圏で消費される輸入コンテナ貨物の約 7 割、首都圏で生産される輸出コンテナ貨物の約 4 割が東京港を利用している。また、東日本における輸出入コンテナ貨物の約 6 割が東京港を利用している。



出典：「平成 30 年度全国輸出入コンテナ貨物流動調査」（1 か月値）（国土交通省）より東京都作成

図 I-2-11 首都圏の外貿コンテナ貨物の港別取扱比率（平成 30 年）



出典：「平成 30 年度全国輸出入コンテナ貨物流動調査」（1 か月値）（国土交通省）より東京都作成

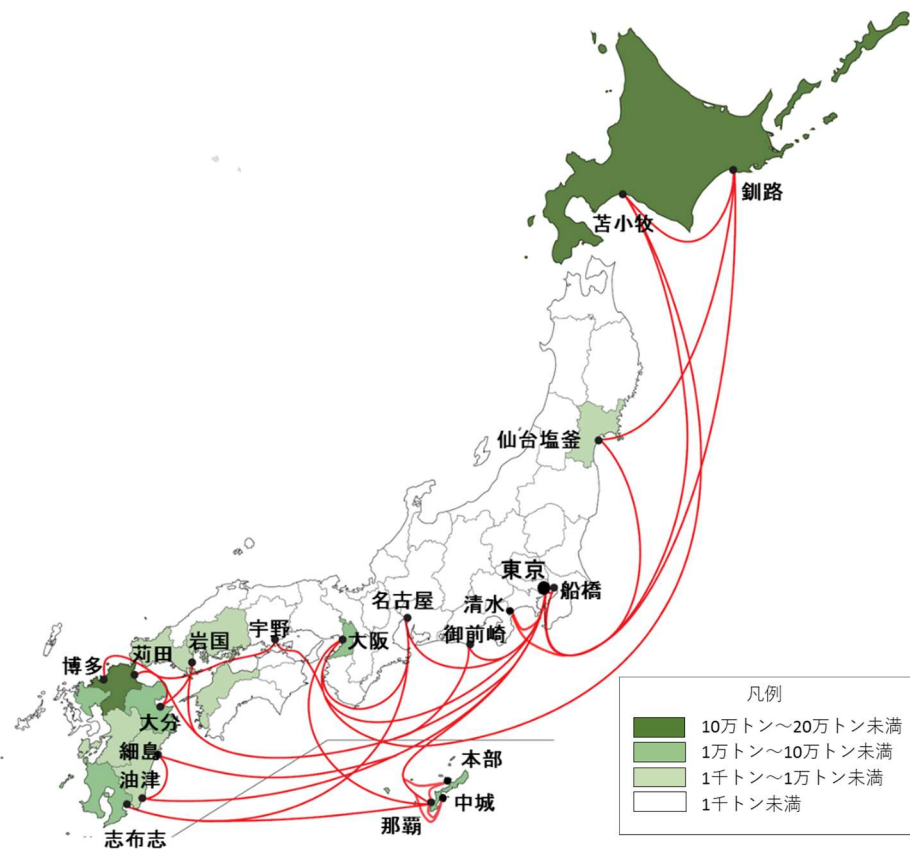
図 I-2-12 都県別の外貿コンテナ貨物における東京港利用割合（平成 30 年）

(3) 全国とつながる国内海上輸送拠点

東京港は、全国の長距離内航RORO船航路(28航路)のうち半数の14航路、週40便が就航するなど、共通化された荷姿で輸送可能なユニットロード貨物、フェリーによる貨物及び旅客を取り扱う国内海上輸送拠点として重要な役割を担っている。(令和2年時点)

これらの取扱量は、令和2年の東京港における内貿貨物の約6割に相当する1,964万トンとなっており、完成自動車や紙・パルプ、農林水産品など人々の消費や産業を支えている。

また、フェリーの旅客数については、令和元年において約4万人となっている。



出典：発着地別貨物量は「平成29年度ユニットロード貨物流動調査」(1か月値)(国土交通省)より東京都作成

図 I -2-13 東京港の長距離内航RORO船の発着地別貨物量と航路(令和2年)



出典：栗林商船株式会社HP

図 I -2-14 東京港に寄港するRORO船



出典：オーシャン東九フェリーHP

図 I -2-15 東京港に寄港するフェリー

2-1-2 東京港の課題や情勢変化

(1) グローバルロジスティクスの変化

世界の港湾においては、アジア諸国の経済成長等に伴いコンテナ貨物量が増加している。また、スケールメリットによる輸送コストの低減やCO₂の排出抑制などのため、コンテナ船の大型化が急激に進展しており、航路サービスの集約化が行われるなど、国際基幹航路における寄港地の絞り込みが進んでいる。

東京港への国際基幹航路の寄港を維持するためには、国際フィーダー輸送等を活用した集貨による貨物量の確保とともに、船舶大型化に対応した施設整備が求められている。

加えて、中国から東南アジア地域への生産拠点の南下等に伴う東南アジア航路における取扱貨物量の増加や、船舶の大型化への対応も求められている。

こうした状況とともに、地域的な包括的経済連携（RCEP）協定の発効や越境EC市場の拡大等による産業・貿易構造の変化、AIやIoT等の情報通信技術の進展に対応していくことが求められている。

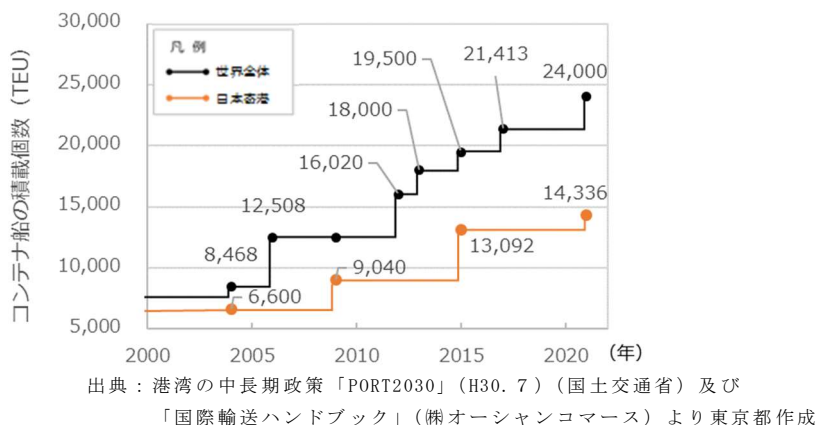


図 I -2-16 世界のコンテナ船の大型化動向

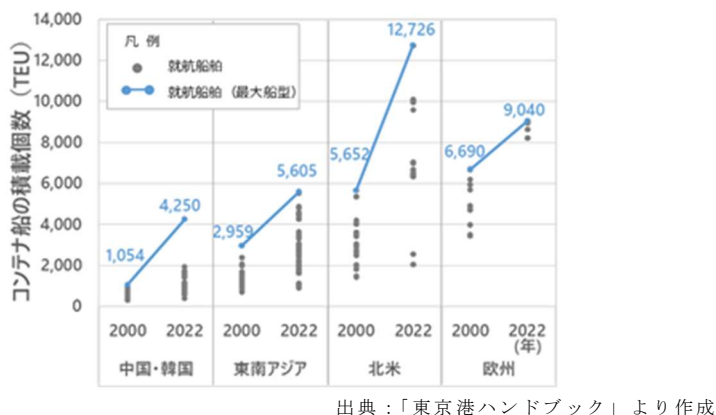
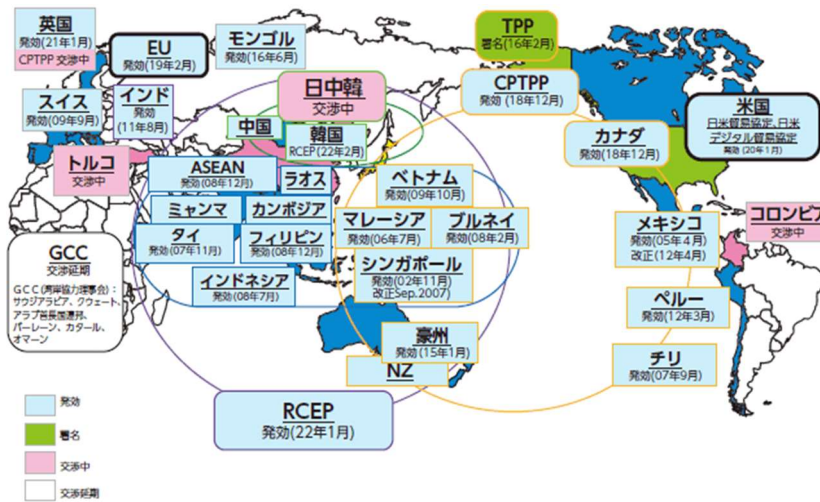


図 I -2-17 東京港寄港のコンテナ船の航路別大型化動向



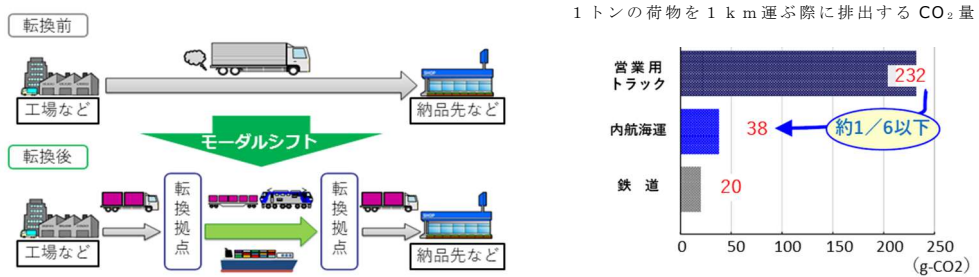
出典：「通商白書 2022」（経済産業省）

図 I-2-18 日本の経済連携協定の状況

(2) 重要性の高まる国内海上貨物輸送

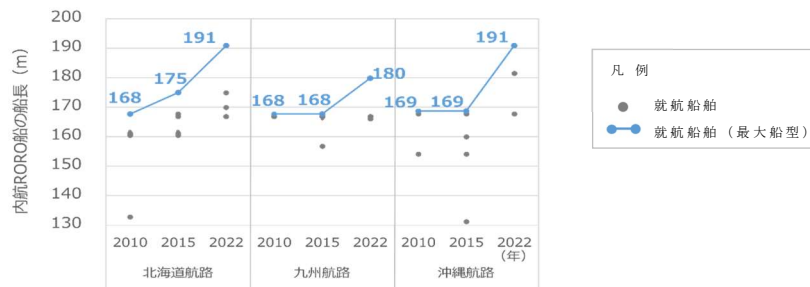
我が国は本格的な少子高齢化社会を迎える中、トラックドライバーへの時間外労働の上限規制が適用されること等により、ドライバー不足による物流への影響が懸念される。

このため、大量輸送が可能で環境への負荷が少なく、長距離ドライバーの負担軽減も図れる内航RORO船・フェリー等を活用したモーダルシフト及び国内複合一貫輸送等の重要性が高まっている。これに伴い取扱貨物量が増加しているとともに、内航RORO船の大型化も進展しており、その対応が求められている。



出典：国土交通省 HP より東京都作成

図 I-2-19 トラック輸送から船舶輸送等への転換（モーダルシフト）



出典：「内航船舶明細書」（一般社団法人日本海運集会所）、「東京港ハンドブック」より東京都作成

図 I-2-20 東京港寄港のRORO船の大型化動向

2-2 防災・維持管理

2-2-1 現状

(1) 災害時の緊急物資等の輸送

東京港は、大規模地震時における緊急物資や応急・復旧資機材等を海上輸送で受け入れる、重要な役割を担っている。また、首都圏及び東日本の経済活動を停滞させないように、港湾機能を確保し、物流活動を維持する役割を担っている。

(2) 高潮等から都民の生命と財産を守る

東京臨海部には、満潮面以下のゼロメートル地帯を含めた低地帯が広がっており、高潮等による浸水の影響を受けやすい地形となっている。そのため、高潮等に対しては、我が国で最大の浸水被害をもたらした伊勢湾台風級の台風から背後地を防御できるよう、防潮堤や水門、排水機場等の海岸保全施設を整備し、都民の生命と財産を守っている。

2-2-2 東京港の課題や情勢変化

(1) 災害リスクの高まり

東京港においては、切迫性が高まる首都直下地震等の発生や、激甚化・頻発化している台風・高潮等に対して被害を最小化し、災害時においても港湾機能を確実に維持できる、強靱な港づくりが求められている。



出典：「令和元年台風第15号による被災状況」(R1.10) (国土交通省)

図 I-2-21 令和元年の台風15号による横浜港の被災状況
(空コンテナ、SOLASフェンス倒壊)

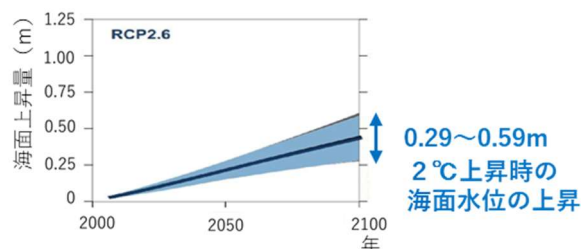


出典：「港湾の堤外地等における高潮リスク低減方策ガイドライン」(H31.1) (国土交通省)

図 I-2-22 平成30年の台風21号による神戸港の被災状況
(ガントリークレーンのケーブルリール落下状況)

(2) 地球温暖化に伴う気候変動への適応

気候変動の影響による平均海面水位の上昇等に対応し都民の安全と安心を確保するため、海岸保全施設の機能強化が求められており、令和5年3月に「東京湾沿岸海岸保全基本計画〔東京都区間〕」を改訂した。



出典：I P C C (S R O C C)より東京都作成

図 I -2-23 世界平均海面水位の予測上昇量

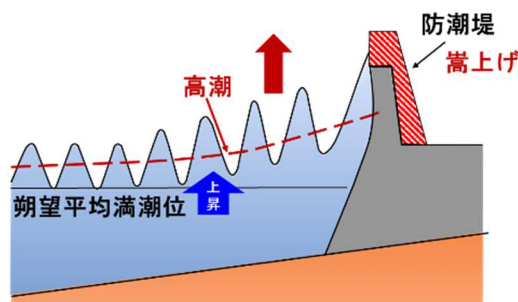


図 I -2-24 平均海面水位の上昇への対応

(3) 港湾施設等の老朽化の進行

将来的に社会インフラの老朽化に伴う更新需要が増加することが確実視される中、既存ストックの有効活用に積極的に取り組んでいくことが求められており、平成29年9月に「東京港港湾施設等予防保全基本計画」、令和3年9月に「東京港橋梁・トンネル長寿命化計画」を策定した。

2-3 環境

2-3-1 現況

(1) 多様な生物の生息環境

東京都は、失われつつあった豊かな環境、人々と海との関わりを取り戻すため、海上公園の整備を進めてきた。現在、40箇所・約878ヘクタール（水域含む）におよぶ海上公園が開園しており、平成30年には葛西海浜公園の干潟が東京都で初めてラムサール条約湿地に登録されている。

こうした自然環境の保全・再生の取組により、臨海部は多様な生物の生息環境となっている。



図 I-2-25 葛西海浜公園



図 I-2-26 海の森公園

(2) 廃棄物等の最終処分場

昭和52年から埋立てを行ってきた中央防波堤外側埋立処分場及び平成9年から埋立てを行ってきた新海面処分場は、区部から発生する廃棄物等の最終処分場としての役割を担っており、都民の生活を支えている。

また、東京港には、建設発生土やリサイクル関連施設等が集積していることから、平成14年に総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）に指定され、静脈物流ネットワークの拠点にもなっている。

2-3-2 東京港の課題や情勢変化

(1) 脱炭素社会に向けた港湾における取組

世界的に環境意識が高まる中、荷主等が利用する港湾を選択するに当たっては、環境配慮の視点やCO₂排出量の削減が重要な要素となっている。このため、東京港の脱炭素化に向けた取組を戦略的に推進する「東京港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画」を令和5年3月に策定した。

(2) 身近な自然環境への関心の高まり

自然環境に対する意識の高まりを受けて、人々に安らぎや恵みをもたらす、豊かな海域環境の保全・再生を一層進め、美しく健全な状態で港湾の環境を将来世代へ継承していくことが求められている。



図 I -2-27 大井ふ頭中央海浜公園の干潟

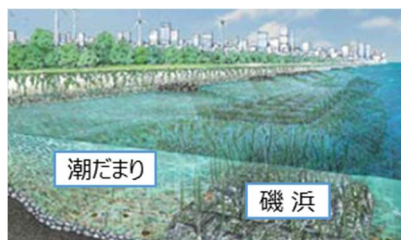


図 I -2-28 緩傾斜護岸を活用した磯浜等の整備

(3) 循環型社会の形成に向けた対応

環境への負荷が少ない経済の発展を図り、社会の持続的発展を実現するため、港湾を核としたリサイクル等の推進による循環型社会の形成がより一層求められている。

2-4 観光・水辺のまちづくり

2-4-1 現状

(1) 東京の海の玄関口

東京港の旅客船埠頭には、東京国際クルーズ埠頭等があり、首都東京の海の玄関口の役割を担っている。

令和2年に開業した「東京国際クルーズターミナル」は、世界最大のクルーズ客船に対応しており、多くの観光客が来訪することによる経済効果などが期待されている。また、臨海副都心地域の新たなランドマークとして、イベント利用など、臨海部のにぎわい創出に貢献できる施設となっている。

また、竹芝埠頭は東京都の島しょ地域への旅客や生活関連物資の輸送拠点となっている。

(2) 水辺のにぎわい拠点

東京臨海部は、都心に近く、東京港と東京国際空港を有しており、人々の移動と交流を支える陸・海・空の交通結節点であるとともに、都心に近接した貴重な水辺空間を形成している。

水上バス等による舟運は、臨海部や隅田川等の観光拠点を結ぶ水上交通としての役割を担うとともに、観光資源の一部ともなっている。

また、都民が水辺に親しめる場である海上公園は、スポーツや釣り、野鳥観察などの多様なニーズに応えるとともに、お台場海浜公園を含む臨海副都心では年間を通じて多彩なイベントが開催されるなど、水辺のにぎわい拠点としての役割を担っている。

2-4-2 東京港の課題や情勢変化

(1) クルーズの本格的な受入れ再開

新型コロナウイルス感染症拡大により、世界的なクルーズ客船の運航中止となりクルーズ市場は停滞していたが、令和5年3月に国内で外国籍船の受入が再開されたところであり、今後の本格的な受入に向けた取組を推進していく必要がある。

(2) 水辺空間の利用ニーズの多様化

クルーズ客船の寄港等による国内外からの観光客の増加や再開発等による新たなまちの整備が進む中、美しく快適な水辺空間を創出することが求められている。

また、観光需要の拡大に向けて、陸上交通では得られない体験を楽しむことができる水上交通の活性化及び経済波及効果が見込まれる大型クルーザー等の受入れも求められている。

2-5 長期構想の策定及び関連計画

こうした東京港を取り巻く情勢変化を踏まえ、東京都は、2040年代を見据えた長期的な視点で東京港を進化させるため、東京都港湾審議会に「東京港第9次改訂港湾計画に向けた長期構想」（以下「長期構想」という。）を諮問し、令和4年1月に答申を受けた。

また、東京都では、目指すべき2040年代の姿を示した「未来の東京」戦略、自然災害等に対する強靱化に向けた2040年代の姿を示した「T O K Y O強靱化プロジェクト」、2050年CO₂排出実質ゼロに向けた「ゼロエミッション東京戦略」、ベイエリアを舞台に50年・100年先までを見据えた都市のあるべき姿を示した「東京ベイe S Gプロジェクト」等も策定している。

これらの計画等と整合を図りながら、長期構想を指針とし、以下の港湾計画の方針に基づき港湾計画を改訂する。

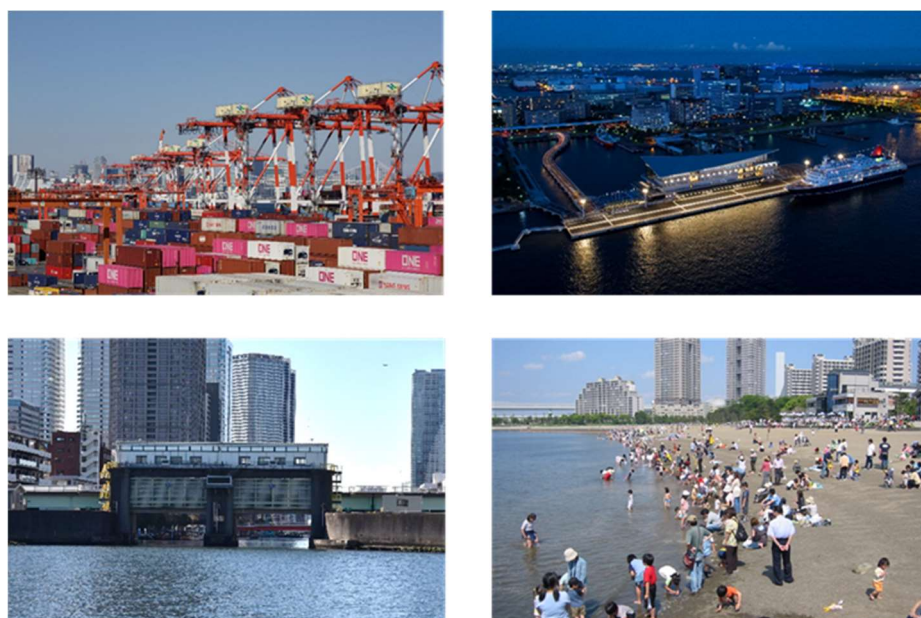


図 I-2-29 多様な役割を担う東京港

3. 港湾計画の方針

令和 10 年代後半を目標年次として以下の方針を定め、港湾計画を改訂する。

【基本理念】

進化し続ける未来創造港湾 東京港 ～ スマートポートの実現 ～

常に港の新陳代謝を進め、新たな価値を創造し、国際競争力が高く進化し続ける港

物 流

世界とつながるリーディングポート

- ユーザーに選ばれ国際競争力が高く使いやすい港
- 国際基幹航路の維持や増加する東南アジア航路への対応、国際フィーダー航路網の充実
- AI 等の最先端技術の活用やターミナルの一体利用などによる処理能力の増大・良好な労働環境の確保
- モーダルシフトの進展等に対応した国内海上輸送拠点

防災・維持管理

信頼をつなぐレジリエントポート

- 災害時にも物流機能を確実に維持できる強靱な港
- 高潮・津波等や気候変動に伴う平均海面水位の上昇等から都民の生命と財産を確実に守る港
- 既存ストックの効果的な維持管理により機能を発揮し続ける港

環 境

未来へつなぐグリーンポート

- 脱炭素社会や循環型社会の実現に貢献する港
- 水と緑のネットワークや豊かな海域環境を創出する港

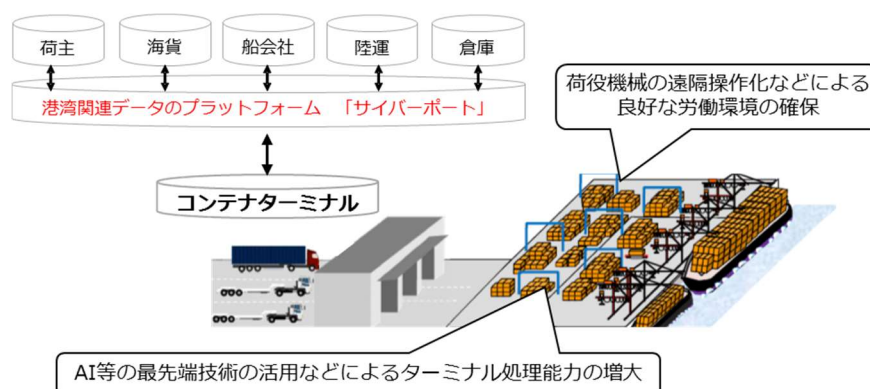
観光・水辺のまちづくり

にぎわいをつなぐゲートウェイ

- クルーズや水上交通等の多様な船舶を受け入れる港
- 水辺のさらなる魅力向上に向けた緑やオープンスペース等の確保

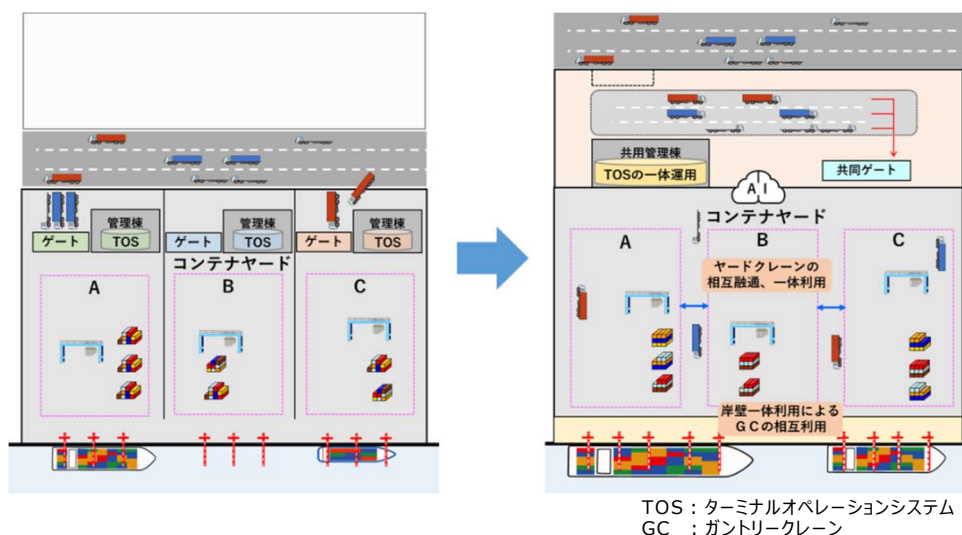
3-1 [物流] 世界とつながるリーディングポート

- ユーザーに選ばれ国際競争力が高く使いやすい港に進化するため、国際基幹航路の維持や増加する東南アジア航路への対応、国際フィーダー航路網の充実・積替機能の強化を図るとともに、増加するコンテナ貨物、船舶の大型化に対応した新たな埠頭を整備し、既存埠頭を再編整備する。
- AI等の最先端技術の積極的な活用や荷役機械の遠隔操作化、コンテナターミナルの一体利用による限られたヤードスペースの最適化などにより、ターミナル処理能力を増大させるとともに良好な労働環境の確保を図る。また、「サイバーポート」による物流の効率化や貨物情報の見える化等に取り組む。



出典：国土交通省 HP より東京都作成

図 I-3-1 コンテナターミナルにおける最先端技術の活用イメージ



TOS：ターミナルオペレーションシステム
GC：ガントリークレーン

図 I-3-2 コンテナターミナルの一体利用イメージ

- 国内海上輸送拠点として、モーダルシフトの進展等により増加する内貿貨物や船舶の大型化に対応した新規ユニットロード埠頭を整備し、既存埠頭を再編整備する。
- 東京港を支える様々な船舶の係留場所の確保など、適切な機能配置と運営により、限られた港湾空間の効率的な運用を図る。

3-2 [防災・維持管理] 信頼をつなぐレジリエントポート

- 大規模地震や台風・高潮等の災害時にも物流機能を確実に維持する強靱な港を実現するため、耐震性の高い港湾施設を整備するとともに、電源設備等の浸水対策に取り組む。また、背後圏への陸上輸送維持のため、臨港道路等や埠頭敷地における無電柱化に取り組む。



図 I -3-3 耐震強化岸壁・免震クレーン



図 I -3-4 臨港道路の無電柱化

- 港湾に隣接する地域において、高潮・津波等から都民の生命と財産を確実に守るとともに物流機能を維持するため、「東京湾沿岸海岸保全基本計画 [東京都区間]」に基づき、海岸保全施設の耐震対策を着実に進める。また、今後の気候変動に伴う平均海面水位の上昇等の影響を踏まえた施設の機能強化に取り組む。

- 港湾・海岸施設や気象海象等の情報を一元化する「東京みなとDX」の推進により、災害対応の迅速化や生産性の向上を図る。また、既存ストックである港湾施設等が将来にわたり機能を発揮し続けるよう、効果的な維持管理や長寿命化対策に取り組む。



図 I -3-5 港湾・海岸の施設情報等を一元化する「東京みなとDX」

3-3 [環境] 未来へつなぐグリーンポート

- 東京港におけるカーボンニュートラルの実現に向けて、「東京港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画」に基づき、次世代エネルギーや再生可能エネルギーの活用を促進するとともに、陸上電力供給による船舶のアイドリングストップなど、港湾施設の脱炭素化に向けた取組を推進する。

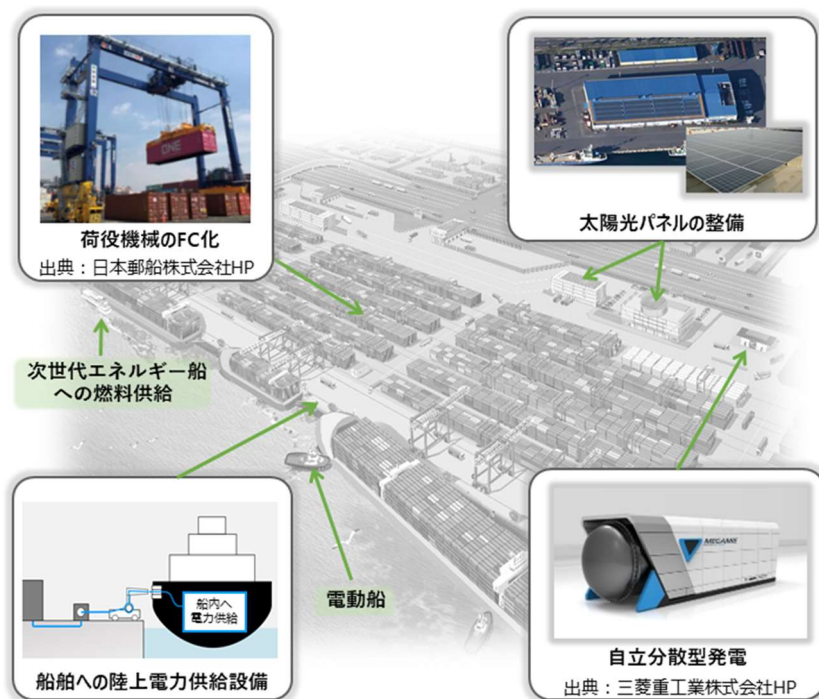


図 I-3-6 カーボンニュートラルポートのイメージ

- 水と緑のネットワークを拡充するとともに、豊かな海域環境の創出に向け、水生生物や水鳥など多様な生物の生息の場であり、ブルーカーボン生態系を構成する干潟や藻場等の保全・再生に取り組む。また、より多くの人々が海の豊かさを実感できるよう、環境学習などの取組を推進する。



図 I-3-7 藻場（ワカメ）



出典：水産庁HP

図 I-3-8 干潟

- 今後も、区部で発生する廃棄物等を適切に処分し持続可能な循環型社会に貢献していくため、引き続き廃棄物処分場の機能を確保するとともに、静脈貨物の取扱機能を確保する。

3-4 [観光・水辺のまちづくり] にぎわいをつなぐゲートウェイ

- クルーズ客船や大型クルーザー、水上交通（舟運）等の多様な船舶の寄港・回遊要請に対応するため、客船等の円滑かつ安全な受入機能の確保や官民連携による船着場の拡充などを図る。



図 I-3-9 東京国際クルーズターミナルに着岸した外航クルーズ客船



図 I-3-10 水上バス



図 I-3-11 水上タクシー

- 水辺のさらなる魅力向上に向けて、緑やオープンスペース等の連続性を確保した公園の整備や海に面した園路・海浜等へのパブリックアクセスの確保、民間開発等と連携したにぎわい創出、水辺レクリエーションを安全に楽しめる環境づくりなどにより人々が海とふれあう場を創出する。また、デジタルテクノロジーを活用したまちの魅力向上やにぎわいの創出に取り組む。

4. 港湾計画の実現に向けて

4-1 世界・国内の港湾、関係機関等との連携

本港湾計画における物流、防災・維持管理、環境、観光・水辺のまちづくりの各分野の施策については、複雑かつ多様化・高度化している。また、世界的に大きな潮流となっているSDGsやESGの理念を踏まえ、環境との共生や脱炭素社会、循環型社会の構築が求められている。施策の展開に際しては、地元自治体、国、事業者等と連携し多角的な視点を持って取り組んでいく。

また、港湾における新たな技術の導入や防災・環境の施策等においては、京浜港をはじめとした国内各港、世界の港湾と連携して取り組んでいく。

4-2 貨物需要等の状況に応じた既存ストックの活用

東京港を取り巻く情勢は刻々と変化しており、様々な要請の中には短い期間での対応が求められる取組もある。一方、埠頭等の港湾施設の整備には長期間を要する。

このため、貨物需要等の状況に応じて既存ストックやヤード、水域を暫定的に活用するなど、柔軟に対応していく。

4-3 港の仕事のPR・快適で働きやすい環境の実現

近年、生産年齢人口の減少などを背景に港で働く人々の担い手不足が急速に顕在化してきている。

未来の東京港の発展のため、東京港における仕事の認知度・イメージの向上に取り組んでいく。

また、港で働く人々にとって快適で働きやすい環境を確保するため、女性の活躍や高齢者雇用の高まりにも配慮し、DXの活用などによる作業環境の向上や福利厚生施設の充実等に取り組んでいく。

4-4 港湾空間のゾーニング

東京港の港湾空間を物流機能、都市機能、旅客・マリーナ機能及び環境機能にゾーニングし、それぞれの機能を高めるとともに、調和と秩序ある空間を形成するため、以下のように利用する。

○ 物流機能ゾーン

内港地区・南部地区・中部地区・東部地区及び中央防波堤地区の航路及び航路・泊地沿いは、港湾荷役など物流にかかる活動の場であり、港湾施設・倉庫などの物流施設の利用に供するゾーンとする。

○ 都市機能ゾーン

内港地区の豊洲・晴海や運河周辺、中部地区の臨海副都心などは、業務・商業・居住機能に加え、観光・交流機能を発揮するゾーンとする。

○ 旅客・マリーナ機能ゾーン

内港地区の竹芝・日の出・晴海、中部地区の青海、東部地区の夢の島・若洲は、旅客船やプレジャーボート・ヨットなど、観光・レクリエーションの船の利用に供するゾーンとする。

○ 環境機能ゾーン

南部地区・中部地区・東部地区の運河沿い、中央防波堤地区東側及び羽田地区東側の水域沿い、葛西沖地区は、人や生物に優しい環境を創出し、人と海・港とをつなぐゾーンとする。

II 港湾の能力に関する資料

目 次

| | |
|-----------------------------|--------------|
| II 港湾の能力に関する資料 | II-1 |
| 1. 取扱貨物量 | II-1 |
| 1-1 取扱貨物量の推移..... | II-1 |
| 1-2 取扱貨物量の設定..... | II-31 |
| 2. 入港船舶隻数 | II-62 |
| 2-1 入港最大標準船型..... | II-62 |
| 2-2 船舶の利用状況..... | II-63 |
| 2-3 入港船舶隻数の推計..... | II-65 |
| 3. 港湾利用者数 | II-74 |
| 3-1 港湾利用者数の設定の方針..... | II-74 |
| 3-2 港湾利用者数の設定..... | II-75 |

II 港湾の能力に関する資料

1. 取扱貨物量

港湾取扱貨物量実績の統計は令和3年まで整理されているが、令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の影響等により、一時的に物流が混乱している状況にある。そのため、目標年次における貨物取扱量の設定においては、令和元年までの実績値を用いることとした。

1-1 取扱貨物量の推移

1-1-1 外内別・公専別取扱量の推移

外内別・公専別取扱量の過去10年間の推移は、次のとおりである。

表 II-1-1 外内別・公専別取扱量の推移

| 外内別 | 種別 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | |
|-----|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|
| | | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 |
| 外貨 | 公共 | 44,705 | 46,415 | 46,924 | 48,089 | 48,490 | 46,317 | 47,729 | 49,612 | 49,349 | 47,952 | 45,931 | 47,201 |
| | コンテナ | 42,819 | 44,695 | 45,302 | 46,619 | 47,066 | 44,930 | 46,178 | 48,152 | 47,982 | 46,663 | 44,663 | 46,080 |
| | 在来 | 1,886 | 1,720 | 1,622 | 1,471 | 1,424 | 1,387 | 1,551 | 1,460 | 1,367 | 1,289 | 1,268 | 1,121 |
| | 専用 | 445 | 427 | 475 | 405 | 377 | 382 | 373 | 504 | 477 | 542 | 439 | 442 |
| 内貨 | 公共 | 22,267 | 26,042 | 24,340 | 26,265 | 26,725 | 26,894 | 27,436 | 29,384 | 29,623 | 28,511 | 26,316 | 28,368 |
| | ユニット | 8,718 | 9,762 | 9,931 | 10,168 | 11,115 | 11,791 | 11,931 | 11,622 | 11,716 | 11,208 | 9,881 | 10,837 |
| | 在来 | 5,369 | 5,689 | 5,463 | 6,378 | 6,443 | 5,904 | 5,337 | 6,009 | 5,516 | 5,089 | 5,255 | 5,826 |
| | 国際フェリー | 1,123 | 1,100 | 1,168 | 1,169 | 1,123 | 904 | 1,043 | 1,667 | 1,523 | 1,479 | 1,374 | 1,119 |
| | フェリー | 7,057 | 9,491 | 7,779 | 8,550 | 8,043 | 8,294 | 9,126 | 10,086 | 10,868 | 10,735 | 9,806 | 10,585 |
| | 専用 | 10,099 | 10,512 | 11,047 | 11,273 | 11,597 | 11,740 | 10,416 | 11,280 | 12,095 | 10,801 | 8,181 | 8,714 |
| 合計 | | 77,515 | 83,395 | 82,786 | 86,032 | 87,189 | 85,333 | 85,954 | 90,780 | 91,543 | 87,806 | 80,867 | 84,725 |
| | 外貨 | 45,150 | 46,841 | 47,399 | 48,494 | 48,867 | 46,699 | 48,102 | 50,116 | 49,826 | 48,494 | 46,370 | 47,643 |
| | 内貨 | 32,366 | 36,553 | 35,387 | 37,538 | 38,322 | 38,634 | 37,852 | 40,664 | 41,718 | 39,312 | 34,497 | 37,082 |

2) コンテナ取扱個数等の推移

外貿公共コンテナ貨物取扱個数等の過去 10 年の推移は、次のとおりである。

表 II-1-5 外貿公共コンテナ貨物取扱個数等の推移

| 区分 | 出入 | 実入・空別 | 実績値 | | | | | | | | | | | 実績値（参考） | |
|---------------------------------|----|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--|
| | | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | |
| | | | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | |
| 実入コンテナ トン-TEU換算率 (トン/TEU) | 輸出 | 実入 | 13.3 | 13.3 | 13.3 | 13.4 | 13.4 | 13.7 | 13.5 | 13.1 | 13.1 | 13.0 | 12.9 | 13.0 | |
| | 輸入 | 実入 | 14.5 | 14.5 | 14.4 | 14.5 | 14.7 | 14.6 | 14.8 | 14.6 | 14.4 | 14.5 | 14.8 | 14.6 | |
| | 計 | 実入 | 14.1 | 14.2 | 14.1 | 14.2 | 14.3 | 14.3 | 14.4 | 14.2 | 14.1 | 14.1 | 14.3 | 14.2 | |
| 空コンテナ比率 (%) | 輸出 | 空 | 44.0% | 50.8% | 51.9% | 52.8% | 53.5% | 52.5% | 52.2% | 52.3% | 54.0% | 56.1% | 56.0% | 52.9% | |
| | 輸入 | 空 | 1.0% | 0.8% | 0.6% | 0.4% | 0.5% | 0.6% | 0.4% | 0.6% | 0.5% | 0.4% | 0.7% | 1.3% | |
| | 計 | 空 | 20.6% | 23.9% | 24.2% | 24.4% | 25.1% | 24.5% | 24.5% | 24.4% | 25.3% | 26.7% | 26.5% | 24.8% | |
| コンテナ個数 (千TEU) | 輸出 | 実入 | 974 | 941 | 938 | 941 | 949 | 912 | 948 | 989 | 974 | 934 | 874 | 927 | |
| | | 空 | 765 | 971 | 1,010 | 1,054 | 1,091 | 1,006 | 1,033 | 1,085 | 1,144 | 1,195 | 1,111 | 1,043 | |
| | 輸入 | 実入 | 2,057 | 2,213 | 2,272 | 2,350 | 2,340 | 2,220 | 2,261 | 2,411 | 2,441 | 2,376 | 2,258 | 2,325 | |
| | | 空 | 20 | 18 | 15 | 8 | 11 | 13 | 9 | 14 | 12 | 9 | 16 | 31 | |
| | 計 | 実入 | 3,031 | 3,155 | 3,210 | 3,291 | 3,288 | 3,131 | 3,208 | 3,401 | 3,414 | 3,311 | 3,133 | 3,252 | |
| | | 空 | 785 | 989 | 1,025 | 1,063 | 1,101 | 1,018 | 1,042 | 1,100 | 1,156 | 1,203 | 1,127 | 1,074 | |
| コンテナ貨物量 (千トン) | 輸出 | 実入 | 12,926 | 12,504 | 12,491 | 12,582 | 12,735 | 12,450 | 12,773 | 12,950 | 12,770 | 12,155 | 11,288 | 12,071 | |
| | 輸入 | 実入 | 29,893 | 32,191 | 32,811 | 34,036 | 34,331 | 32,480 | 33,405 | 35,202 | 35,212 | 34,508 | 33,375 | 34,009 | |
| | 計 | 実入 | 42,819 | 44,695 | 45,302 | 46,619 | 47,066 | 44,930 | 46,178 | 48,152 | 47,982 | 46,663 | 44,663 | 46,080 | |

3) 航路方面別取扱個数の推移

外貿公共コンテナ貨物の航路方面別取扱個数の過去10年の推移は、次のとおりである。

表 II-1-6 外貿公共コンテナ貨物の航路方面別取扱個数の推移

単位：千TEU

| 航路 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | |
|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|
| | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 |
| 北米 | 340 | 771 | 812 | 817 | 725 | 689 | 774 | 829 | 824 | 683 | 576 | 464 |
| 北欧・地中海 | 374 | 422 | 300 | 271 | 310 | 254 | 228 | 238 | 249 | 357 | 405 | 374 |
| 南米 | 18 | 18 | 34 | 57 | 64 | 62 | 65 | 62 | 57 | 54 | 20 | 0 |
| オセアニア | 21 | 24 | 31 | 28 | 33 | 29 | 23 | 32 | 66 | 26 | 22 | 18 |
| 東南アジア | 1,230 | 1,285 | 1,466 | 1,607 | 1,578 | 1,482 | 1,494 | 1,459 | 1,652 | 1,719 | 1,627 | 1,736 |
| 韓国 | 174 | 209 | 194 | 206 | 224 | 211 | 199 | 196 | 201 | 187 | 164 | 199 |
| 中国 | 1,576 | 1,388 | 1,370 | 1,358 | 1,456 | 1,422 | 1,379 | 1,571 | 1,498 | 1,488 | 1,446 | 1,535 |
| その他 | 84 | 27 | 28 | 10 | 0 | 0 | 90 | 113 | 24 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 3,816 | 4,144 | 4,235 | 4,353 | 4,390 | 4,150 | 4,251 | 4,500 | 4,571 | 4,514 | 4,260 | 4,326 |

(4) 外貿公共在来貨物の品目別取扱量の推移

外貿公共在来貨物の品目別取扱量の過去 10 年の推移は、次のとおりである。

表 II-1-7 外貿公共在来貨物の品目別取扱量の推移

| 品目分類 | 出入別 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | |
|---------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-----|
| | | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | |
| 農水産品 | 米穀類 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 303 | 264 | 242 | 217 | 196 | 211 | 369 | 239 | 244 | 190 | 218 | 146 |
| | 野菜・果物 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 230 | 214 | 158 | 157 | 150 | 153 | 122 | 136 | 145 | 109 | 114 | 116 |
| | 水産品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 16 | 21 | 2 | 3 | 4 | 1 | 1 | 2 | 4 | 0 | 0 | 5 |
| その他農水産品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 林産品 | 原木 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 製材 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 199 | 256 | 196 | 178 | 195 | 173 | 170 | 179 | 116 | 66 | 29 | 72 |
| | その他林産品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 24 | 6 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 鉱産品 | 石炭 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 98 | 88 | 63 | 77 | 119 | 130 | 52 | 100 | 75 | 108 | 94 | 95 |
| | 砂利・砂 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 原油 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他鉱産品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 輸入 | 110 | 94 | 69 | 57 | 84 | 58 | 102 | 66 | 58 | 73 | 49 | 26 | |
| 金属機械工業品 | 鉄鋼 | 輸出 | 12 | 7 | 0 | 9 | 12 | 0 | 0 | 6 | 18 | 18 | 15 | 21 |
| | | 輸入 | 42 | 49 | 41 | 27 | 37 | 19 | 28 | 29 | 27 | 42 | 35 | 42 |
| | 非鉄金属・金属製品 | 輸出 | 7 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 4 | 5 | 1 | 5 | 11 | 21 | 6 | 3 | 18 | 13 | 15 | 11 |
| | 輸送機械 | 輸出 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 2 | 5 | 3 | 2 | 3 | 8 | 14 | 21 | 13 | 10 | 12 |
| その他機械 | 輸出 | 11 | 13 | 1 | 1 | 6 | 3 | 11 | 15 | 22 | 13 | 10 | 13 | |
| | 輸入 | 1 | 12 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 3 | 5 | 16 | 5 | 12 | |
| 化学工業品 | 石油類 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 17 | 0 |
| | セメント | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他化学工業品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 55 | 90 | 63 | 65 | 11 | 18 | 7 | 21 | 39 | 16 | 10 | 10 |
| 軽工業品 | 紙・パルプ | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 147 | 141 | 124 | 114 | 91 | 113 | 80 | 65 | 16 | 1 | 0 | 0 |
| | 砂糖 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他軽工業品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 2 | 4 | 1 | 0 | 15 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 雑工業品 | 紙・パルプ | 輸出 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 4 | 11 | 0 | 0 | 20 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| | 金属くず | 輸出 | 608 | 428 | 649 | 550 | 463 | 478 | 583 | 535 | 464 | 539 | 558 | 361 |
| | | 輸入 | 1 | 8 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| | 廃棄物(廃土砂) | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 取合せ品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他特殊品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 輸入 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 33 | 95 | 68 | 79 | 167 | |
| 分類不能のもの | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | 輸出 | 645 | 450 | 655 | 564 | 488 | 483 | 595 | 556 | 504 | 573 | 590 | 406 | |
| | 輸入 | 1,241 | 1,270 | 966 | 906 | 936 | 903 | 955 | 904 | 863 | 716 | 678 | 715 | |
| | | 1,886 | 1,720 | 1,622 | 1,471 | 1,424 | 1,387 | 1,551 | 1,460 | 1,367 | 1,289 | 1,268 | 1,121 | |

(5) 外貿専用貨物の品目別取扱量の推移

外貿専用貨物の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。

表 II-1-8 外貿専用貨物の品目別取扱量の推移

| 品目分類 | 出入別 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | |
|---------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-----|
| | | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | |
| 農水産品 | 米穀類 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 野菜・果物 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 430 | 419 | 469 | 394 | 372 | 379 | 372 | 501 | 462 | 534 | 434 | 438 |
| | | 計 | 430 | 419 | 469 | 394 | 372 | 379 | 372 | 501 | 462 | 534 | 434 | 438 |
| | 水産品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他農水産品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 輸入 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 計 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 林産品 | 原木 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 製材 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他林産品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 鉱産品 | 石炭 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 輸入 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 砂利・砂 | | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 原油 | | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他鉱産品 | | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 金属機械工業品 | 鉄鋼 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 非鉄金属・金属製品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 輸送機械 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他機械 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 輸入 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 計 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 化学工業品 | 石油類 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | セメント | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他化学工業品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 軽工業品 | 紙・パルプ | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 輸入 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 砂糖 | | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他軽工業品 | | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 雑工業品 | | 金属くず | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 輸入 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 廃棄物(廃土砂) | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 取合せ品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他特殊品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 14 | 6 | 4 | 4 |
| 輸入 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 計 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 14 | 6 | 4 | 4 | |
| 分類不能のもの | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 14 | 6 | 5 | 4 | |
| | 輸入 | 430 | 419 | 469 | 394 | 372 | 379 | 372 | 501 | 463 | 535 | 435 | 438 | |
| | 計 | 430 | 419 | 469 | 394 | 372 | 379 | 372 | 504 | 477 | 542 | 439 | 442 | |

(4) 内貿公共ユニット貨物の品目別取扱量の推移

内貿公共ユニット貨物の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。

表Ⅱ-1-12 内貿公共ユニット貨物の品目別取扱量の推移

| 品目分類 | 出入別 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | |
|---------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-------|
| | | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | |
| 農水産品 | 米穀類 | 移出 | 32 | 39 | 36 | 31 | 24 | 27 | 25 | 23 | 44 | 47 | 46 | 46 |
| | | 移入 | 16 | 15 | 15 | 15 | 14 | 16 | 19 | 18 | 23 | 22 | 25 | 25 |
| | | 計 | 48 | 53 | 52 | 46 | 38 | 43 | 43 | 41 | 67 | 69 | 71 | 71 |
| | 野菜・果物 | 移出 | 23 | 21 | 22 | 17 | 23 | 26 | 28 | 26 | 38 | 35 | 31 | 32 |
| | | 移入 | 39 | 41 | 36 | 36 | 34 | 38 | 64 | 46 | 49 | 51 | 47 | 45 |
| | | 計 | 62 | 62 | 59 | 54 | 57 | 64 | 93 | 72 | 87 | 86 | 77 | 77 |
| | 水産品 | 移出 | 17 | 16 | 15 | 4 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 11 | 8 | 11 | 10 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | 計 | 28 | 24 | 27 | 15 | 5 | 3 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 |
| | その他農水産品 | 移出 | 3 | 4 | 4 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 移入 | | 17 | 17 | 18 | 12 | 13 | 15 | 16 | 10 | 9 | 15 | 5 | 5 | |
| 計 | | 20 | 20 | 21 | 14 | 16 | 17 | 18 | 12 | 10 | 17 | 7 | 7 | |
| 林産品 | 原木 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 製材 | 移出 | 4 | 3 | 3 | 12 | 4 | 5 | 2 | 5 | 6 | 4 | 5 | 4 |
| | | 移入 | 9 | 11 | 9 | 9 | 9 | 10 | 10 | 14 | 16 | 12 | 9 | 10 |
| | | 計 | 13 | 14 | 12 | 21 | 13 | 15 | 13 | 19 | 21 | 16 | 15 | 14 |
| | その他林産品 | 移出 | 14 | 16 | 16 | 13 | 17 | 16 | 11 | 9 | 11 | 9 | 8 | 10 |
| | | 移入 | 5 | 9 | 11 | 13 | 8 | 7 | 11 | 10 | 9 | 8 | 5 | 6 |
| | | 計 | 19 | 24 | 27 | 25 | 25 | 23 | 22 | 19 | 21 | 17 | 13 | 16 |
| | 鉱産品 | 石炭 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 移入 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 砂利・砂 | | 移出 | 7 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 7 | 7 | 5 | 5 | 4 | 4 |
| | | 移入 | 1 | 2 | 1 | 1 | 3 | 3 | 2 | 3 | 4 | 2 | 2 | 2 |
| | | 計 | 7 | 9 | 8 | 8 | 9 | 8 | 9 | 9 | 10 | 7 | 5 | 5 |
| 原油 | | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他鉱産品 | | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 |
| | 移入 | 8 | 12 | 15 | 13 | 10 | 8 | 8 | 4 | 4 | 4 | 1 | 0 | |
| | 計 | 8 | 13 | 16 | 13 | 11 | 8 | 8 | 5 | 5 | 6 | 2 | 2 | |
| 金属機械工業品 | 鉄鋼 | 移出 | 20 | 19 | 17 | 17 | 17 | 15 | 14 | 12 | 11 | 43 | 14 | 16 |
| | | 移入 | 20 | 15 | 29 | 47 | 44 | 76 | 44 | 41 | 55 | 32 | 18 | 17 |
| | | 計 | 39 | 34 | 46 | 64 | 61 | 91 | 58 | 53 | 66 | 75 | 32 | 33 |
| | 非鉄金属・金属製品 | 移出 | 30 | 27 | 32 | 20 | 18 | 20 | 17 | 23 | 27 | 32 | 23 | 26 |
| | | 移入 | 14 | 13 | 12 | 13 | 13 | 14 | 13 | 16 | 24 | 29 | 11 | 13 |
| | | 計 | 43 | 40 | 44 | 32 | 31 | 33 | 30 | 39 | 51 | 61 | 34 | 39 |
| | 輸送機械 | 移出 | 1,808 | 1,696 | 1,907 | 2,045 | 2,282 | 2,345 | 2,394 | 2,514 | 2,426 | 2,307 | 2,178 | 2,193 |
| | | 移入 | 828 | 811 | 833 | 970 | 981 | 1,017 | 977 | 955 | 990 | 973 | 994 | 1,072 |
| | | 計 | 2,636 | 2,507 | 2,740 | 3,015 | 3,263 | 3,362 | 3,371 | 3,469 | 3,416 | 3,280 | 3,172 | 3,265 |
| | その他機械 | 移出 | 133 | 161 | 177 | 206 | 216 | 305 | 303 | 326 | 237 | 189 | 219 | 227 |
| 移入 | | 66 | 77 | 78 | 82 | 79 | 75 | 63 | 60 | 58 | 36 | 51 | 41 | |
| 計 | | 199 | 238 | 256 | 287 | 295 | 381 | 366 | 385 | 294 | 226 | 270 | 268 | |
| 化学工業品 | 石油類 | 移出 | 23 | 25 | 24 | 18 | 13 | 15 | 15 | 17 | 17 | 18 | 19 | 17 |
| | | 移入 | 1 | 1 | 0 | 3 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| | | 計 | 24 | 25 | 24 | 21 | 17 | 17 | 15 | 18 | 18 | 18 | 20 | 18 |
| | セメント | 移出 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 | 5 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | | 移入 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 4 | 3 | 2 |
| | | 計 | 2 | 2 | 2 | 2 | 7 | 5 | 2 | 2 | 3 | 6 | 5 | 4 |
| | その他化学工業品 | 移出 | 141 | 152 | 148 | 155 | 149 | 147 | 143 | 144 | 151 | 135 | 122 | 116 |
| | | 移入 | 78 | 105 | 105 | 101 | 103 | 83 | 70 | 80 | 77 | 82 | 84 | 98 |
| | | 計 | 219 | 256 | 253 | 256 | 252 | 230 | 213 | 224 | 228 | 217 | 206 | 214 |
| | 軽工業品 | 紙・パルプ | 移出 | 179 | 193 | 214 | 189 | 170 | 148 | 144 | 143 | 184 | 183 | 49 |
| 移入 | | | 1,418 | 1,386 | 1,294 | 1,179 | 1,140 | 1,228 | 1,256 | 1,245 | 1,174 | 977 | 623 | 686 |
| 計 | | | 1,597 | 1,579 | 1,508 | 1,369 | 1,310 | 1,376 | 1,399 | 1,387 | 1,358 | 1,160 | 672 | 747 |
| 砂糖 | | 移出 | 12 | 11 | 12 | 11 | 9 | 8 | 8 | 9 | 12 | 10 | 12 | 9 |
| | | 移入 | 54 | 44 | 48 | 36 | 38 | 48 | 49 | 45 | 62 | 58 | 63 | 58 |
| | | 計 | 67 | 55 | 60 | 47 | 47 | 56 | 57 | 54 | 74 | 67 | 75 | 67 |
| その他軽工業品 | | 移出 | 492 | 463 | 462 | 413 | 415 | 459 | 488 | 473 | 430 | 425 | 419 | 416 |
| | | 移入 | 224 | 270 | 249 | 242 | 244 | 255 | 260 | 253 | 289 | 252 | 228 | 232 |
| | | 計 | 716 | 734 | 712 | 655 | 659 | 714 | 748 | 726 | 719 | 678 | 647 | 648 |
| 雑工業品 | | 移出 | 165 | 157 | 169 | 191 | 188 | 176 | 201 | 246 | 290 | 315 | 319 | 308 |
| | 移入 | 64 | 71 | 65 | 52 | 64 | 63 | 82 | 69 | 72 | 91 | 83 | 99 | |
| | 計 | 229 | 227 | 233 | 242 | 252 | 239 | 282 | 315 | 362 | 406 | 402 | 407 | |
| 特殊品 | 金属くず | 移出 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 |
| | | 移入 | 9 | 10 | 9 | 5 | 10 | 5 | 4 | 5 | 4 | 3 | 4 | 4 |
| | | 計 | 10 | 11 | 10 | 6 | 11 | 5 | 5 | 6 | 5 | 4 | 5 | 6 |
| | 廃棄物(廃土砂) | 移出 | 4 | 5 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 5 | 4 | 4 | 4 | 7 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| | | 計 | 5 | 5 | 5 | 5 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 4 | 4 | 8 |
| | 取合せ品 | 移出 | 1,400 | 1,891 | 1,878 | 2,003 | 2,377 | 2,596 | 2,614 | 2,528 | 2,663 | 2,759 | 2,355 | 2,771 |
| | | 移入 | 788 | 1,359 | 1,354 | 1,428 | 1,857 | 2,001 | 2,055 | 1,750 | 1,771 | 1,566 | 1,292 | 1,636 |
| | | 計 | 2,187 | 3,250 | 3,232 | 3,431 | 4,234 | 4,597 | 4,669 | 4,278 | 4,434 | 4,325 | 3,647 | 4,407 |
| | その他特殊品 | 移出 | 356 | 392 | 391 | 358 | 322 | 320 | 297 | 262 | 261 | 240 | 217 | 232 |
| 移入 | | 180 | 186 | 196 | 184 | 177 | 178 | 205 | 220 | 199 | 222 | 279 | 280 | |
| 計 | | 537 | 578 | 586 | 543 | 498 | 499 | 502 | 483 | 460 | 462 | 497 | 512 | |
| 分類不能のもの | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | 移出 | 4,867 | 5,298 | 5,542 | 5,717 | 6,267 | 6,648 | 6,721 | 6,776 | 6,823 | 6,766 | 6,052 | 6,503 | |
| | 移入 | 3,850 | 4,464 | 4,389 | 4,451 | 4,849 | 5,143 | 5,210 | 4,847 | 4,893 | 4,442 | 3,828 | 4,335 | |
| | 計 | 8,718 | 9,762 | 9,931 | 10,168 | 11,115 | 11,791 | 11,931 | 11,622 | 11,716 | 11,208 | 9,881 | 10,837 | |

内貿公共ユニット貨物のうちコンテナ貨物の品目別取扱量の過去10年の推移は、次のとおりである。

表II-1-13 内貿公共ユニット貨物（コンテナ貨物）の品目別取扱量の推移

| 品目分類 | 出入別 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | |
|----------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|------|----|
| | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | |
| | | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | |
| 農水産品 | 米穀類 | 移出 | 15 | 17 | 18 | 15 | 14 | 13 | 12 | 8 | 8 | 7 | 5 | 4 |
| | | 移入 | 7 | 9 | 8 | 7 | 6 | 6 | 8 | 6 | 5 | 4 | 5 | 6 |
| | 計 | 23 | 26 | 26 | 23 | 20 | 20 | 19 | 14 | 13 | 11 | 11 | 10 | |
| | 野菜・果物 | 移出 | 6 | 7 | 8 | 8 | 11 | 12 | 11 | 12 | 13 | 6 | 6 | 7 |
| | | 移入 | 22 | 26 | 24 | 25 | 20 | 23 | 24 | 27 | 30 | 29 | 23 | 20 |
| | 計 | 28 | 33 | 32 | 34 | 31 | 35 | 35 | 40 | 42 | 35 | 29 | 27 | |
| 水産品 | 移出 | 9 | 11 | 11 | 4 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 移入 | 6 | 4 | 8 | 10 | 3 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | |
| 計 | 15 | 16 | 19 | 14 | 5 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | |
| その他農水産品 | 移出 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | 移入 | 10 | 9 | 9 | 6 | 7 | 6 | 7 | 4 | 3 | 2 | 2 | 2 | |
| 計 | 11 | 10 | 11 | 7 | 7 | 7 | 7 | 5 | 4 | 2 | 2 | 3 | | |
| 林産品 | 原木 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 製材 | 移出 | 1 | 1 | 1 | 10 | 2 | 4 | 1 | 2 | 3 | 3 | 3 | 2 |
| | | 移入 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 計 | 2 | 2 | 2 | 11 | 3 | 4 | 2 | 3 | 4 | 4 | 4 | 3 | |
| その他林産品 | 移出 | 3 | 5 | 5 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 3 | 3 | 3 | |
| | 移入 | 4 | 6 | 7 | 10 | 6 | 3 | 2 | 4 | 3 | 2 | 2 | 2 | |
| 計 | 7 | 11 | 12 | 14 | 9 | 5 | 5 | 6 | 7 | 5 | 5 | 5 | | |
| 鉱産品 | 石炭 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 砂利・砂 | 移出 | 4 | 5 | 5 | 5 | 3 | 3 | 4 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 計 | 4 | 5 | 5 | 5 | 4 | 3 | 5 | 4 | 3 | 2 | 2 | 2 | |
| 原油 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| その他鉱産品 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | | |
| 金属機械工業品 | 鉄鋼 | 移出 | 2 | 3 | 3 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | 移入 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| | 計 | 4 | 5 | 4 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | |
| | 非鉄金属・金属製品 | 移出 | 17 | 12 | 16 | 7 | 5 | 7 | 4 | 9 | 11 | 9 | 8 | 9 |
| | | 移入 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 4 | 5 | 8 | 6 | 6 | 6 |
| | 計 | 22 | 16 | 21 | 11 | 10 | 13 | 8 | 14 | 19 | 15 | 14 | 15 | |
| 輸送機械 | 移出 | 13 | 14 | 14 | 25 | 26 | 28 | 26 | 23 | 24 | 18 | 14 | 16 | |
| | 移入 | 26 | 30 | 37 | 43 | 51 | 29 | 25 | 22 | 22 | 16 | 15 | 15 | |
| 計 | 39 | 44 | 51 | 68 | 76 | 57 | 51 | 46 | 46 | 35 | 30 | 31 | | |
| その他機械 | 移出 | 19 | 93 | 102 | 100 | 115 | 115 | 115 | 119 | 64 | 45 | 45 | 57 | |
| | 移入 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 4 | 4 | 7 | 5 | 5 | 3 | 4 | |
| 計 | 21 | 94 | 103 | 101 | 118 | 119 | 118 | 126 | 69 | 50 | 49 | 61 | | |
| 化学工業品 | 石油類 | 移出 | 11 | 12 | 13 | 7 | 6 | 7 | 6 | 7 | 7 | 7 | 7 | 2 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 11 | 12 | 13 | 7 | 7 | 8 | 6 | 7 | 8 | 7 | 7 | 2 | |
| | セメント | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| その他化学工業品 | 移出 | 36 | 40 | 38 | 42 | 42 | 42 | 42 | 42 | 43 | 44 | 39 | 40 | |
| | 移入 | 16 | 23 | 29 | 33 | 32 | 16 | 6 | 8 | 10 | 9 | 9 | 8 | |
| 計 | 52 | 63 | 67 | 75 | 73 | 58 | 48 | 50 | 53 | 53 | 48 | 48 | | |
| 軽工業品 | 紙・パルプ | 移出 | 63 | 53 | 58 | 43 | 36 | 31 | 31 | 32 | 21 | 20 | 11 | 11 |
| | | 移入 | 105 | 99 | 92 | 76 | 64 | 85 | 101 | 107 | 107 | 108 | 64 | 53 |
| | 計 | 168 | 152 | 150 | 118 | 100 | 116 | 133 | 139 | 127 | 128 | 76 | 64 | |
| | 砂糖 | 移出 | 8 | 10 | 10 | 9 | 9 | 8 | 7 | 8 | 8 | 7 | 10 | 8 |
| | | 移入 | 48 | 36 | 36 | 29 | 31 | 39 | 34 | 29 | 38 | 37 | 40 | 41 |
| | 計 | 56 | 47 | 46 | 38 | 39 | 46 | 41 | 37 | 46 | 45 | 50 | 49 | |
| その他軽工業品 | 移出 | 274 | 252 | 245 | 199 | 199 | 200 | 202 | 171 | 165 | 176 | 181 | 172 | |
| | 移入 | 72 | 91 | 77 | 67 | 64 | 59 | 54 | 50 | 71 | 65 | 63 | 59 | |
| 計 | 345 | 343 | 322 | 266 | 262 | 259 | 256 | 221 | 236 | 241 | 243 | 231 | | |
| 雑工業品 | 移出 | 88 | 83 | 92 | 107 | 101 | 87 | 91 | 95 | 103 | 107 | 105 | 90 | |
| | 移入 | 29 | 30 | 22 | 15 | 16 | 18 | 15 | 12 | 13 | 13 | 12 | 12 | |
| 計 | 117 | 113 | 114 | 122 | 117 | 105 | 106 | 107 | 116 | 120 | 118 | 103 | | |
| 特殊品 | 金属くず | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | | 移入 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | 計 | 2 | 2 | 3 | 2 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | |
| | 廃棄物(廃土砂) | 移出 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 5 | 4 | 3 | 3 | 4 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | 計 | 5 | 5 | 4 | 4 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 3 | 3 | 5 | |
| 取合せ品 | 移出 | 226 | 272 | 270 | 367 | 367 | 374 | 362 | 361 | 396 | 398 | 379 | 394 | |
| | 移入 | 152 | 158 | 155 | 156 | 162 | 140 | 118 | 81 | 87 | 85 | 82 | 104 | |
| 計 | 378 | 430 | 425 | 523 | 530 | 514 | 480 | 442 | 483 | 483 | 462 | 497 | | |
| その他特殊品 | 移出 | 97 | 99 | 106 | 97 | 90 | 81 | 68 | 53 | 51 | 44 | 41 | 44 | |
| | 移入 | 127 | 142 | 138 | 131 | 130 | 130 | 143 | 143 | 115 | 123 | 175 | 178 | |
| 計 | 224 | 241 | 244 | 228 | 220 | 211 | 210 | 196 | 166 | 167 | 216 | 222 | | |
| 分類不能のもの | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 合計 | 移出 | 897 | 998 | 1,021 | 1,055 | 1,039 | 1,026 | 991 | 955 | 931 | 903 | 867 | 870 | |
| | 移入 | 636 | 674 | 653 | 618 | 603 | 570 | 553 | 512 | 523 | 510 | 508 | 515 | |
| 計 | 1,534 | 1,672 | 1,674 | 1,673 | 1,642 | 1,597 | 1,544 | 1,467 | 1,454 | 1,413 | 1,374 | 1,385 | | |

内貿公共ユニット貨物のうちコンテナ貨物以外の品目別取扱量の過去 10 年の推移は、次のとおりである。

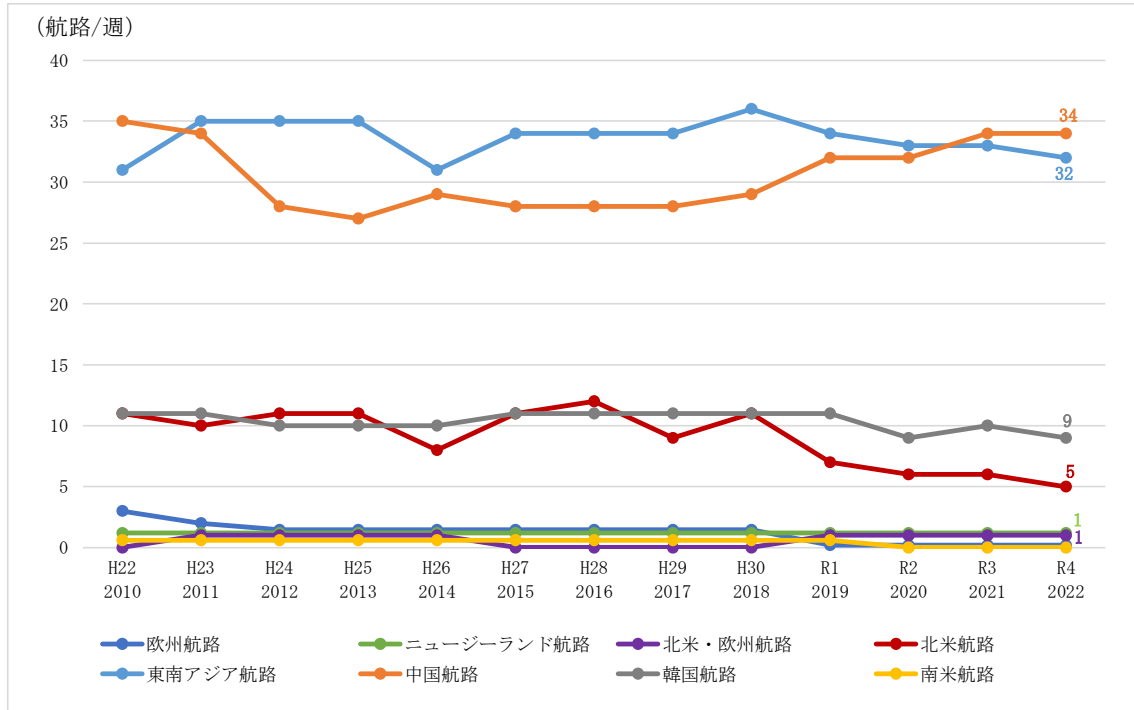
表 II-1-14 内貿公共ユニット貨物（コンテナ貨物以外）の品目別取扱量の推移

| 品目分類 | 出入別 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | |
|----------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-----|
| | | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | |
| 農水産品 | 米穀類 | 移出 | 17 | 21 | 18 | 16 | 10 | 14 | 13 | 16 | 36 | 40 | 41 | 42 |
| | | 移入 | 8 | 6 | 8 | 8 | 8 | 10 | 11 | 12 | 17 | 18 | 20 | 19 |
| | | 計 | 25 | 27 | 26 | 23 | 18 | 23 | 24 | 27 | 53 | 58 | 60 | 61 |
| | 野菜・果物 | 移出 | 16 | 14 | 15 | 9 | 11 | 13 | 17 | 14 | 25 | 28 | 24 | 25 |
| | | 移入 | 17 | 16 | 12 | 11 | 14 | 15 | 40 | 18 | 20 | 23 | 24 | 25 |
| | | 計 | 33 | 30 | 27 | 20 | 26 | 28 | 57 | 32 | 45 | 51 | 48 | 50 |
| 水産品 | 移出 | 8 | 5 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 移入 | 5 | 4 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 計 | 13 | 8 | 7 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| その他農水産品 | 移出 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | 移入 | 8 | 8 | 9 | 6 | 6 | 9 | 10 | 6 | 6 | 13 | 3 | 4 | |
| | 計 | 9 | 10 | 11 | 7 | 8 | 10 | 11 | 7 | 6 | 14 | 4 | 5 | |
| 林産品 | 原木 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 製材 | 移出 | 3 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | | 移入 | 8 | 10 | 8 | 8 | 9 | 9 | 10 | 13 | 15 | 11 | 8 | 10 |
| | | 計 | 11 | 12 | 10 | 10 | 10 | 10 | 11 | 16 | 17 | 12 | 10 | 11 |
| その他林産品 | 移出 | 11 | 11 | 11 | 9 | 14 | 13 | 9 | 6 | 8 | 5 | 5 | 7 | |
| | 移入 | 1 | 3 | 4 | 3 | 2 | 4 | 9 | 6 | 6 | 6 | 6 | 4 | |
| | 計 | 12 | 13 | 15 | 12 | 16 | 17 | 18 | 12 | 14 | 11 | 8 | 11 | |
| 鉱産品 | 石炭 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 砂利・砂 | 移出 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 |
| | | 移入 | 1 | 2 | 1 | 1 | 3 | 2 | 1 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 |
| | | 計 | 4 | 4 | 3 | 3 | 5 | 5 | 4 | 5 | 6 | 4 | 3 | 3 |
| 原油 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他鉱産品 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | 移入 | 8 | 12 | 15 | 13 | 10 | 7 | 6 | 4 | 4 | 4 | 1 | 0 | |
| | 計 | 8 | 12 | 15 | 13 | 10 | 7 | 6 | 5 | 5 | 5 | 2 | 2 | |
| 金属機械工業品 | 鉄鋼 | 移出 | 17 | 16 | 14 | 15 | 15 | 14 | 13 | 11 | 10 | 41 | 13 | 15 |
| | | 移入 | 18 | 13 | 28 | 46 | 44 | 75 | 43 | 40 | 54 | 31 | 17 | 17 |
| | | 計 | 35 | 29 | 42 | 61 | 59 | 89 | 56 | 51 | 64 | 73 | 30 | 32 |
| | 非鉄金属・金属製品 | 移出 | 13 | 16 | 16 | 13 | 13 | 12 | 13 | 14 | 16 | 23 | 15 | 17 |
| | | 移入 | 9 | 9 | 7 | 8 | 9 | 9 | 9 | 11 | 16 | 23 | 6 | 7 |
| | | 計 | 22 | 24 | 23 | 21 | 22 | 21 | 22 | 25 | 32 | 46 | 21 | 24 |
| 輸送機械 | 移出 | 1,795 | 1,681 | 1,893 | 2,020 | 2,256 | 2,317 | 2,368 | 2,491 | 2,402 | 2,288 | 2,164 | 2,177 | |
| | 移入 | 803 | 781 | 796 | 927 | 931 | 988 | 951 | 932 | 968 | 957 | 979 | 1,057 | |
| | 計 | 2,598 | 2,463 | 2,689 | 2,947 | 3,187 | 3,305 | 3,320 | 3,423 | 3,370 | 3,245 | 3,143 | 3,234 | |
| その他機械 | 移出 | 115 | 68 | 76 | 106 | 100 | 190 | 188 | 207 | 173 | 144 | 174 | 170 | |
| | 移入 | 63 | 76 | 77 | 80 | 77 | 72 | 59 | 53 | 52 | 31 | 47 | 38 | |
| | 計 | 178 | 144 | 153 | 186 | 177 | 262 | 247 | 260 | 225 | 175 | 222 | 207 | |
| 化学工業品 | 石油類 | 移出 | 13 | 13 | 11 | 10 | 7 | 8 | 9 | 10 | 10 | 11 | 13 | 15 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | | 計 | 13 | 13 | 12 | 13 | 9 | 9 | 9 | 11 | 11 | 11 | 13 | 15 |
| | セメント | 移出 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | 移入 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 4 | 3 | 2 |
| | | 計 | 2 | 2 | 2 | 2 | 7 | 2 | 1 | 1 | 2 | 5 | 4 | 4 |
| その他化学工業品 | 移出 | 105 | 112 | 110 | 113 | 107 | 105 | 101 | 102 | 108 | 91 | 83 | 76 | |
| | 移入 | 62 | 81 | 75 | 68 | 72 | 67 | 63 | 72 | 67 | 73 | 75 | 90 | |
| | 計 | 167 | 193 | 186 | 181 | 179 | 172 | 164 | 174 | 176 | 164 | 158 | 166 | |
| 軽工業品 | 紙・パルプ | 移出 | 117 | 139 | 156 | 147 | 135 | 117 | 113 | 111 | 163 | 163 | 37 | 49 |
| | | 移入 | 1,312 | 1,287 | 1,202 | 1,104 | 1,075 | 1,143 | 1,154 | 1,138 | 1,067 | 869 | 559 | 633 |
| | | 計 | 1,429 | 1,426 | 1,358 | 1,250 | 1,210 | 1,260 | 1,267 | 1,249 | 1,230 | 1,033 | 596 | 683 |
| | 砂糖 | 移出 | 4 | 1 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | 2 | 3 | 1 |
| | | 移入 | 7 | 8 | 12 | 8 | 7 | 9 | 15 | 16 | 24 | 20 | 22 | 16 |
| | | 計 | 11 | 8 | 15 | 10 | 8 | 9 | 16 | 17 | 28 | 23 | 25 | 18 |
| その他軽工業品 | 移出 | 218 | 211 | 217 | 215 | 216 | 259 | 286 | 302 | 265 | 250 | 238 | 244 | |
| | 移入 | 153 | 180 | 172 | 175 | 181 | 197 | 206 | 202 | 219 | 187 | 166 | 173 | |
| | 計 | 371 | 391 | 389 | 389 | 397 | 455 | 492 | 505 | 484 | 437 | 404 | 417 | |
| 雑工業品 | 移出 | 78 | 73 | 77 | 83 | 87 | 89 | 109 | 151 | 187 | 208 | 214 | 217 | |
| | 移入 | 35 | 41 | 43 | 37 | 48 | 45 | 67 | 57 | 59 | 78 | 71 | 87 | |
| | 計 | 113 | 115 | 119 | 120 | 136 | 135 | 176 | 207 | 246 | 286 | 285 | 304 | |
| 特殊品 | 金属くず | 移出 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | 移入 | 7 | 7 | 7 | 3 | 7 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | | 計 | 8 | 8 | 8 | 3 | 8 | 2 | 2 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | 廃棄物(廃土砂) | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 |
| 取合せ品 | 移出 | 1,174 | 1,618 | 1,608 | 1,637 | 2,010 | 2,221 | 2,252 | 2,167 | 2,267 | 2,361 | 1,976 | 2,378 | |
| | 移入 | 636 | 1,201 | 1,199 | 1,272 | 1,694 | 1,861 | 1,937 | 1,670 | 1,683 | 1,481 | 1,210 | 1,532 | |
| | 計 | 1,810 | 2,820 | 2,807 | 2,908 | 3,704 | 4,083 | 4,189 | 3,837 | 3,951 | 3,842 | 3,186 | 3,910 | |
| その他特殊品 | 移出 | 260 | 293 | 285 | 261 | 231 | 240 | 230 | 209 | 209 | 197 | 176 | 188 | |
| | 移入 | 53 | 44 | 57 | 54 | 47 | 48 | 62 | 77 | 85 | 99 | 104 | 102 | |
| | 計 | 313 | 337 | 342 | 314 | 278 | 288 | 292 | 287 | 294 | 295 | 280 | 290 | |
| 分類不能のもの | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | 移出 | 3,970 | 4,301 | 4,521 | 4,662 | 5,228 | 5,622 | 5,730 | 5,820 | 5,893 | 5,863 | 5,185 | 5,633 | |
| | 移入 | 3,214 | 3,789 | 3,736 | 3,833 | 4,246 | 4,572 | 4,657 | 4,335 | 4,370 | 3,932 | 3,321 | 3,819 | |
| | 計 | 7,184 | 8,090 | 8,257 | 8,495 | 9,473 | 10,194 | 10,387 | 10,155 | 10,262 | 9,795 | 8,506 | 9,452 | |

1-1-4 定期航路の現況等

(1) 外貿コンテナ定期航路

東京港に寄港する主要な外貿コンテナ定期航路数のこれまでの推移は、次のとおりである。



出典：「東京港ハンドブック」より作成

図 II-1-1 東京港の外貿コンテナ定期航路数の推移

1) 北米・欧州航路（振り子航路）

表 II-1-18 外貿コンテナ定期航路（北米・欧州航路（振り子航路））の概要

| 運航社 [スペースチャーター] | 寄 港 地 | 配船数 [配船間隔] | 投 入 船 | | | 利用ターミナル |
|---|---|--|-----------------|-------|---------|-------------------------------|
| | | | 船 名 | TEU | DWT | |
| Hapag ONE Yang Ming HMM CMA CGM COSCO Evergreen OOCL | (北米) / シンガポール / 神戸 / 名古屋 / 東京 / ロサンゼルス / オークランド / 東京 / 清水 / 神戸 / 名古屋 / (欧州) / 清水 / 神戸 / 名古屋 / 東京 / シンガポール / ロッテルダム / ハンブルク / ルアーブル / シンガポール / 神戸 / 名古屋 / 東京 ※北米欧州航路 シンガポール、神戸、名古屋、東京、ロサンゼルス、オークランド、東京、清水、神戸、名古屋、東京、シンガポール、ロッテルダム、ハンブルク、ルアーブル、シンガポール | 15隻 105日ラウンド (金/日、月、日/月、日/月、日/月 ウィークリー) | ONE HANOI | 8,930 | 96,980 | 大井 01/2 大井 03/4 大井 06/7 |
| | | | ONE HAMBURG | 8,212 | 98,849 | |
| | | | ONE HAMMERSMITH | 8,212 | 98,849 | |
| | | | NYK OCEANUS | 8,628 | 99,563 | |
| | | | NYK VEGA | 9,012 | 103,310 | |
| | | | ONE HUMBER | 9,040 | 98,849 | |
| | | | ONE HANNOVER | 8,212 | 98,849 | |
| | | | NYK VESTA | 9,012 | 103,260 | |
| | | | NYK VENUS | 9,012 | 103,207 | |
| | | | NYK VIRGO | 9,012 | 103,284 | |
| | | | ONE HARBOUR | 8,212 | 98,849 | |
| | | | NYK ORION | 9,040 | 104,525 | |
| | | | ONE ORPHEUS | 9,040 | 104,525 | |
| | | | ONE OLYMPUS | 8,628 | 104,525 | |
| ONE HONG KONG | 8,212 | 98,849 | | | | |

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和4年7月1日時点）

2) 北米航路

表 II-1-19 (1) 外貿コンテナ定期航路 (北米航路) の概要

| 運航社 [スペースチャーター] | 寄 港 地 | 配船数 [配船間隔] | 投 入 船 | | | 利用ターミナル |
|---------------------------------------|---|-----------------------------------|----------------------|--------|---------|------------|
| | | | 船 名 | TEU | DWT | |
| WESTWOOD (Senwa Maritime) | 大阪/名古屋/清水/東京/横浜/エバレット/シアトル/バンクーバー/ (a) / 清水/横浜/東京/伊予三島/平瀬/釜山/大阪/ (b) / 苫小牧/釜山/大阪 (a)(b) を交互に運航 | 7 隻 49 日ラウンド (木、ウィークリー) | WESTWOOD COLUMBIA | 2,048 | 45,000 | 青森公共(住友倉庫) |
| | | | WESTWOOD OLYMPIA | 2,048 | 48,000 | |
| | | | WESTWOOD RAINIER | 2,048 | 48,000 | |
| | | | WESTWOOD VICTORIA | 2,048 | 45,851 | |
| | | | GSL MAREN | 2,546 | 34,086 | |
| | | | ETOILE | 2,556 | 34,251 | |
| | | | KALAMOTI TRADER | — | 25,000 | |
| CMA CGM COSCO Evergreen OOCL | 青島/上海/寧波/高雄/塩田/タコマ/バンクーバー/東京/大阪/青島 | 6 隻 42 日ラウンド (金/土、ウィークリー) | EVER EAGLE | 6,332 | 75,873 | 青森 A4 |
| | | | EVER ENVOY | 6,332 | 75,898 | |
| | | | EVER ETHIC | 6,332 | 75,898 | |
| | | | EVER SAFETY | 7,024 | 78,618 | |
| | | | EVER SUMMIT | 7,024 | 78,612 | |
| | | | A VESSEL | — | — | |
| Hapag Yang Ming ONE HMM | 廈門/高雄/寧波/名古屋/東京/タコマ/バンクーバー/東京/神戸/名古屋/廈門 | 6 隻 42 日ラウンド (水、月/火、ウィークリー) | RDO CONCERT | 6,966 | 85,622 | 大井 06/7 |
| | | | GOOD PROSPECT | 6,350 | 72,968 | |
| | | | SAN FRANCISCO BRIDGE | 6,350 | 72,890 | |
| | | | MOL PREMIUM | 6,350 | 72,912 | |
| | | | SEATTLE BRIDGE | 6,350 | 72,890 | |
| Hapag ONE Yang Ming HMM | シンガポール/レムチャパン/カイメツブ/塩田/タコマ/バンクーバー/東京/神戸/シンガポール | 8 隻 56 日ラウンド (火、ウィークリー) | SEASPAN GANGES | 10,100 | 115,177 | 大井 01/2 |
| | | | SEASPAN ZAMBEZI | 10,100 | 115,086 | |
| | | | SEASPAN AMAZON | 10,100 | 115,260 | |
| | | | NAVIOS UNISON | 9,954 | 118,800 | |
| | | | ATHOS | 9,954 | 118,888 | |
| | | | ONE ARCADIA | 9,592 | 95,660 | |
| | | | YM TRIUMPH | 12,726 | 132,550 | |
| | | | YM TRUTH | 12,726 | 132,550 | |

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成 (令和 4 年 7 月 1 日時点)

表 II-1-19 (2) 外貿コンテナ定期航路（北米航路）の概要

| 運航社 [スペースチャーター] | 寄 港 地 | 配船数 [配船間隔] | 投 入 船 | | | 利用ターミナル |
|----------------------------------|---------------------------|-----------------------------|-------------|-------|--------|---------|
| | | | 船 名 | TEU | DWT | |
| Hapag Yang Ming ONE HMM | 上海/寧波/ロサンゼルス/オークランド/東京/上海 | 6隻 42日ラウンド (火、ウィークリー) | ARIES | 6,492 | 81,171 | 大井 03/4 |
| | | | ARGUS | 6,492 | 81,171 | |
| | | | ONE TRITON | 6,661 | 80,246 | |
| | | | NYK THEMIS | 6,661 | 80,227 | |
| | | | ONE THESEUS | 6,661 | 80,220 | |

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和4年7月1日時点）

3) ニュージーランド航路

表 II-1-20 外貿コンテナ定期航路（ニュージーランド航路）の概要

| 運航社 [スペースチャーター] | 寄 港 地 | 配船数 [配船間隔] | 投 入 船 | | | 利用ターミナル |
|---|--|------------------------------|-------------------|-------|--------|---------|
| | | | 船 名 | TEU | DWT | |
| COSCO Hamburg Sud (Seven Seas) ONE Maersk [OOCL Sealand Asia] | 東京/神戸/釜山/上海/塩田/香港/ブリスベン/オークランド (NZ) /リッテルトン/ネピア/タウランガ/東京 | 7隻 49ラウンド (木/金、ウィークリー) | NYK FURANO | 4,538 | 52,190 | 大井 03/4 |
| | | | NYK FUTAGO | 4,538 | 52,190 | |
| | | | MAERSK GARONNE | 4,544 | 61,636 | 大井 06/7 |
| | | | SAFMARINE MULANJE | 4,154 | 50,415 | |
| | | | GRASMERE MAERSK | 4,658 | 62,007 | |
| | | | NEOKASTRO | 4,178 | 52,788 | 中防外側 Y2 |
| | | | NAVIOS MIAMI | 4,255 | 51,738 | |

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和4年7月1日時点）

4) 東南アジア航路

表 II-1-21 (1) 外貿コンテナ定期航路 (東南アジア航路) の概要

| 運航社 [スペースチャーター] | 寄 港 地 | 配船数 [配船間隔] | 投 入 船 | | | 利用ターミナル |
|---|--|-----------------------------------|-------------------|-------|--------|------------|
| | | | 船 名 | TEU | DWT | |
| Cheng Lie (CMA CGM) | 東京/横浜/名古屋/神戸/釜山/露台 /大連/上海/寧波/レムチャパン/バン コク/レムチャパン/マニラ/上海 /蛇口/レムチャパン/ホーチミンシ ティエ/東京 | 7隻 49日ラウンド (月/火、 ウィークリー) | CNC MARS | 1,952 | 22,081 | 中防外側 Y2 |
| | | | KUO LONG | 1,756 | 23,483 | |
| | | | APL SAIPAN | 1,641 | 20,979 | |
| | | | MOUNT BUTLER | 1,730 | 23,504 | |
| | | | CNC SATURN | 1,952 | 22,081 | |
| | | | A VESSEL | — | — | |
| | | | A VESSEL | — | — | |
| Cheng Lie (CMA CGM) COSCO KMTC Nam Sung | 東京/横浜/御前崎/名古屋/神戸/シ ンガポール/ポートケラン/マニラ/東 京 | 4隻 28日ラウンド (月 ウィーク リー) | SPIL NIKEN | 2,532 | 33,836 | 大井 O3/4 |
| | | | TR ARAMIS | 2,782 | 36,923 | |
| | | | GH TRAMONTANE | 3,651 | 47,028 | |
| | | | CAPE QUEST | 2,202 | 25,250 | |
| Interasia Wan Hai [ASL (Sankyū) ONE Cheng Lie (CMA CGM)] | 東京/横浜/上海/香港/カトライ/ダ ナン/香港/蛇口/廈門/東京 | 3隻 21日ラウンド (木/金、 ウィークリー) | INTERASIA FORWARD | 1,708 | 21,980 | 大井 O5 |
| | | | WAN HAI 175 | 1,805 | 22,171 | |
| | | | WAN HAI 290 | 2,038 | 23,400 | |
| Cheng Lie (CMA CGM) Yang Ming [Evergreen] | 東京/横浜/名古屋/大阪/神戸/基隆 /高雄/香港/レムチャパン/バンコク /レムチャパン/ホーチミンシティエ/ 香港/高雄/台中/基隆/東京 | 4隻 28日ラウンド (木、ウィーク リー) | YM IMAGE | 1,799 | 22,033 | 青海公共(日本通運) |
| | | | YM INCEPTION | 1,799 | 22,027 | |
| | | | YM INSTRUCTION | 1,805 | 22,033 | |
| | | | YM IMMENSE | 1,799 | 22,027 | |
| Cheng Lie (CMA CGM) Yang Ming [Evergreen Sealand Asia Interasia] | 東京/横浜/清水/名古屋/大阪/神戸 /基隆/台中/高雄/香港/レムチャパン /バンコク/レムチャパン/香港/高 雄/台中/基隆/東京 | 4隻 28日ラウンド (火、ウィーク リー) | GUANGZHOU TRADER | 1,707 | 21,785 | 品川公共(第一港運) |
| | | | GREEN PACIFIC | 1,060 | 15,210 | |
| | | | KUO LIN | 1,756 | 23,483 | |
| | | | NORDLEOPARD | 1,756 | 23,575 | |
| Evergreen | 東京/横浜/清水/四日市/名古屋/台 北/高雄/ダナン/ホーチミンシティエ /香港/蛇口/東京 | 3隻 21日ラウンド (木/金、 ウィークリー) | EVER CROWN | 1,984 | 22,363 | 青海 A4 |
| | | | EVER COMMAND | 1,984 | 21,500 | |
| | | | EVER CONNECT | 1,984 | 21,500 | |
| Evergreen [Yang Ming] | 東京/横浜/名古屋/四日市/台北/台 中/高雄/シンガポール/ポートケラン /ベナン/タンジュンペラバス/香港/ 高雄/台中/台北/東京 | 4隻 28日ラウンド (月/火、 ウィークリー) | EVER BEAMY | 2,926 | 37,500 | 青海 A4 |
| | | | EVER BIRTH | 2,926 | 37,872 | |
| | | | EVER BRAVE | 2,910 | 37,259 | |
| | | | EVER BURLY | 2,867 | 37,259 | |
| Evergreen [Yang Ming] | 東京/横浜/清水/名古屋/神戸/蔚山 /台北/台中/高雄/スラバヤ/ジャカ ルタ/タンジュンペラバス/パシールグ ダン/高雄/香港/蛇口/ジャカルタ/ スマラン/スラバヤ/高雄/台北/東京 | 7隻 49日ラウンド (土/日、 ウィークリー) | EVER BASIS | 2,926 | 37,561 | 青海 A4 |
| | | | EVER BRACE | 2,910 | 39,000 | |
| | | | EVER BLESS | 2,800 | 36,972 | |
| | | | EVER BLINK | 2,867 | 37,259 | |
| | | | EVER BREED | 2,910 | 37,259 | |
| | | | EVER BOARD | 2,910 | 36,972 | |
| | | | EVER BLOOM | 2,881 | 37,301 | |
| | | | EVER CERTAIN | 1,984 | 22,383 | |
| Evergreen Wan Hai [COSCO] | 大阪/神戸/清水/横浜/東京/台北/ 高雄/香港/蛇口/ハイフォン/蛇口/ 廈門/大阪 | 3隻 21日ラウンド (土/日、 ウィークリー) | WAN HAI 266 | 1,662 | 23,648 | 大井 O5 |
| | | | WAN HAI 267 | 1,662 | 23,623 | |
| | | | EVER CERTAIN | 1,984 | 22,383 | 青海 A4 |
| KMTC T.S.Lines Yang Ming Cheng Lie (CMA CGM) | 大阪/神戸/名古屋/横浜/東京/香港 /シンガポール/ポートケラン北/ポ ートケラン西/シンガポール/香港/蛇口 /高雄/大阪 | 4隻 28日ラウンド (金、ウィーク リー) | VASI MOON | 1,679 | 21,614 | 中防外側 Y2 |
| | | | KMTC GWANGYANG | 1,809 | 22,397 | |
| | | | HANSA DUBURG | 1,740 | 23,452 | |
| | | | YM CONTINENT | 2,940 | 37,222 | |

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成 (令和 4 年 7 月 1 日時点)

表 II-1-21 (2) 外貿コンテナ定期航路（東南アジア航路）の概要

| 運航社 [スペースチャーター] | 寄 港 地 | 配船数 [配船間隔] | 投 入 船 | | | 利用ターミナル |
|---|---|-----------------------------------|--------------------|-------|--------|-----------|
| | | | 船 名 | TEU | DWT | |
| Hapag ONE | 東京/川崎/横浜/四日市/名古屋/神戸/シンガポール/ジャカルタ/シンガポール/東京 | 4隻 28日ラウンド (土/日、 ウィークリー) | ALLEGORIA | 5,527 | 68,228 | 大井 01/2 |
| | | | BAI CHAY BRIDGE | 4,432 | 52,452 | |
| | | | BAY BRIDGE | 4,432 | 52,118 | |
| | | | BUDAPEST BRIDGE | 4,520 | 58,200 | |
| Interasia Wan Hai | 東京/横浜/川崎/千葉/幕僚/台中/香港/カトライ/ポートケラン北/ペナン/カトライ/香港/蛇口/東京 | 4隻 28日ラウンド (月、ウィークリー) | INTERASIA ADVANCE | 1,708 | 21,916 | 中防外側 Y2 |
| | | | WAN HAI 231 | 1,660 | 21,052 | 大井 05 |
| | | | WAN HAI 261 | 1,675 | 23,671 | |
| | | | WAN HAI 287 | 2,038 | 23,400 | |
| Interasia Wan Hai | 東京/横浜/名古屋/大阪/神戸/台北/香港/蛇口/ポートケラン北/ポートケラン西/パシールグダン/シンガポール/香港/東京 | 4隻 28日ラウンド (火/水、 ウィークリー) | INTERASIA PROGRESS | 2,732 | 39,008 | 大井 05 |
| | | | WAN HAI 326 | 3,055 | 37,126 | |
| | | | WAN HAI 327 | 3,055 | 37,133 | |
| | | | WAN HAI 328 | 3,055 | 37,160 | |
| Interasia Wan Hai OOCL [ONE COSCO] | 大阪/神戸/名古屋/横浜/東京/香港/シンガポール/ポートケラン北/ポートケラン西/カイメップ/蛇口/香港/大阪 | 4隻 28日ラウンド (土/日、 ウィークリー) | OOCL DALIAN | 4,578 | 50,554 | 大井 05 |
| | | | WAN HAI 501 | 4,252 | 52,249 | |
| | | | INTERASIA HORIZON | 4,250 | 50,638 | |
| | | | WAN HAI 510 | 4,250 | 51,300 | |
| MSC | 東京/横浜/四日市/名古屋/廈門/タンジュンペラバス/シンガポール/東京 | 3隻 21日ラウンド (日/月、 ウィークリー) | MSC REBECCA | 3,424 | 42,954 | 中防外側 Y2 |
| | | | MSC IMMA | 2,811 | 35,980 | |
| | | | NORTHER DECISION | 3,534 | 42,011 | |
| ONE [Cheng Lie (CMA CGM)] | 東京/横浜/清水/名古屋/神戸/博多/釜山/幕僚/高雄/ハイフォン/高雄/東京 | 3隻 21日ラウンド (水、ウィークリー) | PENANG BRIDGE | 1,708 | 21,927 | 大井 03/4 |
| | | | GREEN WAVE | 1,809 | 22,354 | |
| | | | CONCERTO | 1,091 | 13,684 | |
| ONE [Sealand Asia HMM] | 名古屋/四日市/清水/東京/横浜/大阪/神戸/釜山/マニラ/釜山/名古屋 | 3隻 21日ラウンド (月/火、 ウィークリー) | BUXLINK | 2,470 | 33,817 | 大井 06/7 |
| | | | NYK DANIELLA | 2,846 | 34,536 | |
| | | | CALIDRIS | 2,796 | 41,108 | |
| ONE Interasia OOCL Wan Hai [T.S. Lines] | 東京/横浜/清水/名古屋/神戸/幕僚/香港/ポートケラン/シンガポール/カイメップ/東京 | 4隻 28日ラウンド (土/日、 ウィークリー) | GSL ELIZABETH | 2,742 | 37,822 | 大井 03/4 |
| | | | MOL ENDOWMENT | 4,803 | 62,949 | |
| | | | MOL GENEROSITY | 5,605 | 71,416 | |
| | | | NYK CONSTELLATION | 4,888 | 65,919 | |
| ONE [SITC KMTC Interasia] | 清水/東京/横浜/レムチャパン/カイメップ/清水 | 3隻 21日ラウンド (金/土、 ウィークリー) | ACX DIAMOND | 2,858 | 39,598 | 大井 03/4 |
| | | | ACX PEARL | 2,858 | 39,580 | |
| | | | ACX CRYSTAL | 2,858 | 39,565 | |
| OOCL [COSCO] | 東京/横浜/名古屋/神戸/大阪/台中/高雄/ホーチミンシティ/シンガポール/ホーチミンシティ/蛇口/香港/廈門/東京 | 4隻 28日ラウンド (木、ウィークリー) | CAPE ORIENT | 2,190 | 25,351 | 青海公共 (山九) |
| | | | OREA | 2,192 | 25,044 | |
| | | | MANET | 2,262 | 30,442 | |
| | | | AKITETA | 2,226 | 30,453 | |
| OOCL [COSCO] | 大阪/神戸/東京/横浜/名古屋/香港/レムチャパン/蛇口/香港/大阪 | 3隻 21日ラウンド (木/金、 ウィークリー) | OOCL NAGOYA | 4,578 | 50,501 | 青海公共 (山九) |
| | | | SINGAPORE | 3,314 | 38,694 | |
| | | | OOCL SAVANNAH | 4,578 | 50,490 | |
| OOCL [COSCO] | 東京/名古屋/四日市/神戸/高雄/ダーチャンベイ/シンガポール/ジャカルタ/シンガポール/蛇口/香港/高雄/東京 | 4隻 28日ラウンド (月/火、 ウィークリー) | OOCL NEW ZEALAND | 4,578 | 50,554 | 青海公共 (山九) |
| | | | VELA | 4,258 | 50,420 | |
| | | | OOCL ZHOUSHAN | 4,583 | 52,214 | |
| | | | OOCL JAKARTA | 4,578 | 50,560 | |

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和 4 年 7 月 1 日時点）

表 II-1-21 (3) 外貿コンテナ定期航路（東南アジア航路）の概要

| 運航社 [スペースチャーター] | 寄 港 地 | 配船数 [配船間隔] | 投 入 船 | | | 利用ターミナル |
|---|---|-----------------------------------|-------------------|-------|--------|------------|
| | | | 船 名 | TEU | DWT | |
| SITC | ハイフォン/欽州/上海/東京/川崎/ 横浜/清水/釜山/上海/廈門/ハイ フォン | 3隻 21日ラウンド (火、ウィーク リー) | SITC KAOHSIUNG | 906 | 11,936 | 大井 O1/2 |
| | | | SITC LIANYUNGANG | 1,042 | 12,716 | |
| | | | SITC YANTAI | 1,042 | 12,692 | |
| SITC | ダナン/蛇口/廈門/東京/横浜/川崎 /名古屋/上海/香港/ハイフォン/ダ ナン | 3隻 21日ラウンド (木、ウィーク リー) | SITC FANGCHENG | 1,042 | 12,698 | 大井 O1/2 |
| | | | SITC YOKKAICHI | 1,103 | 11,874 | |
| | | | SITC SHIDAO | 1,011 | 12,331 | |
| SITC [HASCO Ningbo Ocean Sinotrans] | レムチャパン/ホーチミンシティ/寧波 /上海/名古屋/東京/横浜/上海/ 寧波/廈門/ホーチミンシティ/バン コク/レムチャパン | 9隻 63日ラウンド (土、ウィーク リー) | SITC LIAONING | 1,808 | 21,355 | 中防外側 Y2 |
| | | | SITC GUANGXI | 1,808 | 21,355 | |
| | | | SITC BANGKOK | 1,620 | 22,078 | |
| | | | SITC JAKARTA | 1,620 | 22,052 | |
| | | | SITC LEAM CHABANG | 1,620 | 22,077 | |
| | | | SITC JIANGSU | 1,808 | 21,355 | |
| | | | SITC SHANDONG | 1,808 | 21,355 | |
| | | | SITC FUJIAN | 1,808 | 21,196 | |
| | | | INTEGRA | 1,808 | 21,512 | |
| KMTC SITC [Sinotrans] | バンコク/レムチャパン/ホーチミンシ ティ/蛇口/名古屋/東京/川崎/横浜 /上海/寧波/温州/レムチャパン/バン コク | 4隻 28日ラウンド (火、ウィーク リー) | SITC KANTO | 1,808 | 21,355 | 中防外側 Y2 |
| | | | SITC KAWASAKI | 1,708 | 21,992 | |
| | | | SUNSHINE BANDAMA | 1,700 | 21,470 | |
| | | | SITC HANSHIN | 1,808 | 21,355 | |
| T.S.Lines | 東京/横浜/名古屋/大阪/神戸/基隆 /高雄/香港/蛇口/東京 | 2隻 14日ラウンド (月/火、 ウィークリー) | ULTIMA | 1,103 | 11,855 | 青海公共(住友倉庫) |
| | | | MITRA BHUM | 1,118 | 13,844 | |
| T.S.Lines | 東京/横浜/名古屋/大阪/神戸/基隆 /台中/高雄/香港/蛇口/東京 | 2隻 14日ラウンド (水/木、 ウィークリー) | TS SHANGHAI | 1,096 | 11,833 | 大井 O6/7 |
| | | | TS KOBE | 1,096 | 11,673 | |
| T.S.Lines | 大阪/神戸/横浜/東京/基隆/台中/ 高雄/香港/南沙/蛇口/香港/大阪 | 2隻 14日ラウンド (土/日、 ウィークリー) | MARCLIFE | 1,049 | 12,780 | 青海公共(住友倉庫) |
| | | | CONSHIP UNO | 1,118 | 13,835 | |
| Yang Ming Cheng Lie (CMA CGM) Evergreen COSCO [Sealand Asia] | 名古屋/東京/千葉/横浜/基隆/高雄 /香港/蛇口/ポートケラン/シンガ ポール/マニラ/高雄/香港/蛇口/廈 門/名古屋 | 4隻 28日ラウンド (木/金、 ウィークリー) | YM CENTENNIAL | 2,940 | 37,222 | 青海公共(日本通運) |
| | | | YM CAPACITY | 2,940 | 37,435 | |
| | | | YM CONSTANCY | 2,940 | 37,435 | |
| | | | YM CONTINUITY | 2,940 | 37,435 | |
| Wan Hai [Interasia] | 東京/横浜/清水/名古屋/四日市/基 隆/台中/高雄/香港/南沙/シンガ ポール/ポートケラン/シンガポール/ 香港/蛇口/台中/台北/東京 | 4隻 28日ラウンド (月/火、 ウィークリー) | WAN HAI 306 | 2,434 | 34,026 | 大井 O5 |
| | | | WAN HAI 307 | 2,434 | 34,026 | |
| | | | WAN HAI 317 | 2,646 | 33,055 | |
| | | | WAN HAI 323 | 3,055 | 36,798 | |
| Wan Hai | 東京/横浜/名古屋/四日市/基隆/台 中/高雄/香港/レムチャパン/バンコ ク/レムチャパン/高雄/台中/台北/ 東京 | 4隻 28日ラウンド (水/木、 ウィークリー) | WAN HAI 172 | 1,809 | 22,177 | 大井 O5 |
| | | | WAN HAI 271 | 1,805 | 21,650 | |
| | | | WAN HAI 272 | 1,805 | 21,650 | |
| | | | WAN HAI 275 | 1,805 | 21,650 | |

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和 4 年 7 月 1 日時点）

5) 中国航路

表 II-1-22 (1) 外貿コンテナ定期航路 (中国航路) の概要

| 運航社 [スペースチャーター] | 寄 港 地 | 配船数 [配船間隔] | 投 入 船 | | | 利用ターミナル |
|--|---|-----------------------------------|---------------------|-------|--------|----------------------|
| | | | 船 名 | TEU | DWT | |
| ASL (Sankyu) EAS (Ben) [DCL] | 青島/横浜/東京/名古屋/大阪/神戸 /新港/青島 | 2隻 14日ラウンド (水、ウィーク リー) | EASLINE LIANYUNGANG | 1,177 | 17,704 | 青海公共(住友倉庫) |
| | | | STRAITS CITY | 1,096 | 11,650 | 青海公共(山九) |
| CCL Zuiyo Zim [T.S.Lines] | 上海/大阪/神戸/上海/横浜/東京/ 上海 | 2隻 14日ラウンド (火/水、 ウィークリー) | PACIFIC QINGDAO | 698 | 8,157 | 青海公共(山九) |
| | | | JRS CARINA | 698 | 8,203 | |
| COSCO Evergreen Cheng Lie (CMA CGM) OOCL | 東京/横浜/名古屋/門司/釜田/南沙 /香港/ハイフォン/欽州/香港/廈門 /東京 | 3隻 21日ラウンド (水/木、 ウィークリー) | FENG YUN HE | 1,432 | 24,251 | 中防外側Y1(上船) |
| | | | MI YUN HE | 1,432 | 24,259 | |
| | | | CAPE FORBY | 1,440 | 20,308 | |
| CCL JJSCO (Jin Jiang Shipping) [Zuiyo] | 青島/東京/横浜/青島/大阪/神戸/ 青島 | 2隻 14日ラウンド (火、ウィーク リー) | ACACIA LIBRA | 1,019 | 13,658 | 青海公共(山九) |
| | | | MILD WALTZ | 1,098 | 13,273 | 青海公共(住友倉庫) |
| COSCO Sinotrans SITC [Ningbo Ocean] | 寧波/東京/横浜/寧波 | 1隻 7日ラウンド (火/水、 ウィークリー) | QING YUN HE | 1,702 | 25,645 | 中防外側Y1(上船) |
| | | | | | | |
| COSCO [Sinotrans] | 上海/東京/横浜/上海/大阪/神戸/ 上海 | 2隻 14日ラウンド (木/金、 ウィークリー) | A VESSEL | — | — | 中防外側Y1(上船) |
| | | | XIN BEI LUN | 4,250 | 52,223 | |
| COSCO [Sinotrans] | 上海/東京/横浜/上海 | 1隻 7日ラウンド (月、ウィーク リー) | CONTESSA | 1,091 | 13,687 | 中防外側Y1(上船) |
| COSCO Sinotrans [DCL] | 東京/横浜/寧波/青島/東京 | 2隻 14日ラウンド (火/水、 ウィークリー) | XIN HAI KOU | 4,250 | 52,212 | 青海 A4 品川公共(東海運) |
| | | | SINOTRANS KAOSHIUNG | 1,946 | 24,753 | |
| Dong Young (Nam Sung) Dongjin HEUNG A (Sinokor) [Nam Sung] | 釜山/横浜/東京/濟水/名古屋/釜山 /蔚山/仁川/大連/煙台/蔚山/釜山 | 2隻 14日ラウンド (火、ウィーク リー) | PEGASUS PETA | 1,009 | 12,217 | 品川公共(第一港運) |
| | | | PEGASUS UNIX | 962 | 13,002 | |
| Zuiyo | 大連/大阪/神戸/東京/横浜/名古屋 /新港/大連 | 2隻 14日ラウンド (金、ウィーク リー) | KANWAY GALAXY | 1,613 | 24,386 | 中防外側Y2 |
| A ROKU | 1,708 | 21,935 | | | | |
| HASCO JJSCO (Jin Jiang Shipping) Emirates Ship.(HASCO)/ SITC/OOCL/Sealand Asia | ハイフォン/南沙/香港/台中/上海/ 東京/横浜/台中/上海/廈門/香港/ ハイフォン | 3隻 21日ラウンド (水、ウィーク リー) | MILD CHORUS | 1,098 | 13,294 | 青海公共(山九) |
| | | | MILD SONATA | 1,098 | 13,238 | |
| | | | MILD JAZZ | 1,098 | 13,276 | |
| Sinotrans [COSCO] | 上海/東京/横浜/上海 | 1隻 7日ラウンド (水、ウィーク リー) | SINOTRANS SHANGHAI | 1,040 | 12,968 | 品川公共(東海運) |
| HASCO Emirates Ship. (HASCO) SITC [Sealand Asia] | 上海/横浜/東京/太倉/上海 | 2隻 14日ラウンド (月/火、 ウィークリー) | GLORY GUANDONG | 1,020 | 12,343 | 青海公共(山九) |
| | | | GLORY ZHENDONG | 1,020 | 12,337 | |
| Hede (Nittsu) | 門司/東京/横浜/名古屋/大阪/神戸 /京虞/灘坊/門司 | 2隻 14日ラウンド (水、ウィーク リー) | TANG SHAN GANG JI 2 | — | 8,173 | 中防外側Y2 青海公共(日本通運) |
| | | | TANG SHAN GANG JI 1 | 694 | 8,394 | |
| Ji Zhou Shipping (Koyo) | 福州/水島/大阪/横浜/東京/名古屋 /廈門/江陰/福州 | 2隻 14日ラウンド (木、ウィーク リー) | Ji YUAN | 585 | 8,703 | 青海公共(第一港運) |
| | | | Ji RUN | 585 | 8,732 | |

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成 (令和 4 年 7 月 1 日時点)

表 II-1-22 (2) 外貿コンテナ定期航路（中国航路）の概要

| 運航社 【スペースチャーター】 | 寄 港 地 | 配船数 【配船間隔】 | 投 入 船 | | | 利用ターミナル |
|--|--|---------------------------------|---------------------|-------|--------|--------------------|
| | | | 船 名 | TEU | DWT | |
| JJSCO 【Jin Jiang Shipping】 | 上海/東京/横浜/上海 | 1隻 7日ラウンド (月、ウィークリー) | GLORY GUANGZHOU | 1,098 | 12,330 | 青島公共(住友倉庫) |
| JJSCO 【Jin Jiang Shipping】 | 上海/東京/横浜/上海 | 1隻 7日ラウンド (木、ウィークリー) | MILD TEMPO | 1,098 | 13,255 | 品川公共(住友倉庫) |
| Ningbo Ocean (Nitto) 【COSCO/SITC/Zim】 | 寧波/大阪/神戸/名古屋/横浜/東京 /乍浦鎮/寧波/名古屋/東京/横浜/ 乍浦鎮/寧波 | 3隻 21日ラウンド (月、水、ウィークリー) | NEW MINGZHOU 16 | 1,042 | 12,560 | 大井 O1/2 |
| | | | NEW MINGZHOU 28 | 1,098 | 13,281 | |
| | | | NEW MINGZHOU 68 | 1,098 | 13,266 | |
| COSCO 【Sinotrans】 | 大連/東京/横浜/名古屋/營口/威海 /大連 | 2隻 14日ラウンド (水/木、ウィークリー) | IBN AL ABBAR | 1,560 | 24,376 | 中防外側 Y1(上船) |
| | | | GREEN HORIZON | 1,736 | 21,957 | |
| COSCO 【CCL Sinotrans】 | 上海/東京/横浜/上海/名古屋/上海 | 2隻 14日ラウンド (火、ウィークリー) | A VESSEL | — | — | 中防外側 Y1(上船) |
| | | | WES SINA | 1,049 | 12,829 | |
| Sinotrans 【COSCO】 | 煙台/東京/横浜/名古屋/新港/煙台 | 2隻 14日ラウンド (木、ウィークリー) | ZHONG GU NAN HAI | — | 24,123 | 中防外側 Y2 |
| | | | SINOTRANS KEELUNG | — | 24,700 | |
| Sinotrans 【SKT4】COSCO/SITC 【SNG5】COSCO/SITC/CCL】 | 上海/横浜/東京/上海/名古屋/上海 | 2隻 14日ラウンド (日/月、ウィークリー) | ISARA BHUM | 1,088 | 12,475 | 青島公共(伊勢湾) |
| | | | SINOTRANS DALIAN | 1,106 | 13,481 | |
| Sinotrans Jiangsu Company (Sinotrans Japan) | 南通/大阪/神戸/名古屋/横浜/東京 /南京/張家港/南通 | 2隻 14日ラウンド (金、ウィークリー) | SINOTRANS HONG KONG | 1,049 | 12,829 | 品川公共(東海運) |
| | | | SINOTRANS QINGDAO | 1,106 | 13,474 | |
| Sinotrans Jiangsu Company (Sinotrans Japan) | 南通/東京/横浜/名古屋/神戸/南京 /張家港/南通 | 2隻 14日ラウンド (月/火、ウィークリー) | DONG HAI | 602 | 7,990 | 品川公共(東海運) |
| | | | YI SHENG | 385 | 6,816 | |
| SITC 【HASCO】 | 上海/太倉/博多/東京/川崎/横浜/ 上海 | 3隻 21日ラウンド (水/木、日、ウィークリー) | HF FORTUNE | 1,049 | 12,782 | 大井 O1/2 中防外側 Y2 |
| | | | SITC SUBIC | 1,011 | 12,323 | |
| | | | SITC TAICANG | 1,011 | 12,337 | |
| SITC | 大連/名古屋/四日市/東京/横浜/川 崎/神戸/大連/秦皇島/新港/大連 | 2隻 14日ラウンド (木/金、ウィークリー) | HF LUCKY | 1,049 | 12,793 | 大井 O1/2 |
| | | | HF WEALTH | 1,049 | 12,790 | |
| SITC | 大連/新港/煙台/東京/横浜/名古屋 /太倉/上海/横浜/東京/瀋水/名古屋 /大連/新港/煙台 | 3隻 21日ラウンド (火、木、ウィークリー) | SITC SENDAI | 1,011 | 12,346 | 大井 O1/2 |
| | | | SITC SHENZHEN | 1,042 | 12,692 | |
| | | | SITC BUSAN | 1,040 | 13,009 | |
| SITC | 煙台/大阪/東京/名古屋/大連/新港 /煙台 | 2隻 14日ラウンド (水、ウィークリー) | SITC KWANGYANG | 953 | 12,868 | 大井 O1/2 |
| | | | A VESSEL | — | — | |
| 78 | 青島/東京/横浜/青島 | 2隻 14日ラウンド (火/水、ウィークリー) | SITC SHIMIZU | 1,042 | 12,694 | 大井 O1/2 |
| | | | SITC MOJI | 1,042 | 12,738 | |
| T.S Lines 【CCL Zuiyo】 | 上海/大阪/神戸/上海/横浜/東京/ 上海 | 2隻 14日ラウンド (木、ウィークリー) | A VESSEL | — | — | 大井 O6/7 |
| | | | HALCYON | 1,102 | 12,480 | |

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和 4 年 7 月 1 日時点）

表 II-1-22 (3) 外貿コンテナ定期航路（中国航路）の概要

| 運航社 [スペースチャーター] | 寄 港 地 | 配船数 [配船間隔] | 投 入 船 | | | 利用ターミナル |
|--------------------|--|---|----------------|-------|--------|---------|
| | | | 船 名 | TEU | DWT | |
| TCLC (Sankyu) | 南京/太倉/名古屋/東京/横浜/太倉 /横浜/東京/名古屋/太倉/南京 | 3隻 21日ラウンド (日/月、水/ 木、ウィーク リー) | JOSCO DIANA | 1,049 | 12,812 | 中防外側 Y2 |
| | | | JOSCO BELLE | 1,049 | 12,820 | |
| | | | A VESSEL | — | — | |
| TCLC (Sankyu) | 舟山/大阪/神戸/東京/横浜/川崎/ 名古屋/南京/常州/太倉/舟山 | 2隻 14日ラウンド (土/日、 ウィークリー) | BF CARP | 990 | 12,083 | 中防外側 Y2 |
| | | | JOSCO XINGFU | 1,049 | 12,830 | |
| SITC | 上海/名古屋/東京/仙台/上海/太倉 | 3隻 21日ラウンド (水、ウィーク リー) | HF FORTUNE | 1,049 | 12,782 | 大井 O1/2 |
| | | | SITC SUBIC | 1,011 | 12,323 | |
| | | | SITC TAICANG | 1,011 | 12,337 | |
| SITC | 青島/東京/川崎/横浜/横浜/連雲港 /日照/青島 | 2隻 14日ラウンド (水/木、 ウィークリー) | A VESSEL | — | — | 大井 O1/2 |
| | | | SITC HOCHIMINH | 1,042 | 12,696 | |

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和 4 年 7 月 1 日時点）

6) 韓国航路

表 II-1-23 外貿コンテナ定期航路（韓国航路）の概要

| 運航社 【スペースチャーター】 | 寄 港 地 | 配船数 【配船間隔】 | 投 入 船 | | | 利用ターミナル |
|---|---|-------------------------------|--------------------|-------|--------|------------|
| | | | 船 名 | TEU | DWT | |
| CK Line (CKM) Tai Young (Daei Shipping) 【KMTC PanCon (Asia Cargo)】 | 釜山/清水/東京/横浜/名古屋/釜山 /仁川/木浦/釜山/和歌山/横浜/東京 /千葉/釜山/仁川/釜山 | 3隻 21日ラウンド (月、金、ウィークリー) | CONMAR MOON | 704 | 8,544 | 品川公共(東海運) |
| | | | KOTA TAMPAN | 764 | 10,683 | |
| | | | TY INCHEON | 756 | 10,683 | |
| Dongjin 【DongYoung HEUNG A (Sinokor)】 | 釜山/清水/横浜/東京/名古屋/釜山 | 1隻 7日ラウンド (金、ウィークリー) | DONGJIN VENUS | 953 | 12,844 | 品川公共(第一港運) |
| HEUNG A (Sinokor) 【Dongjin DongYoung】 | 釜山/東京/横浜/名古屋/豊橋/蔚山 /釜山 | 1隻 7日ラウンド (月、ウィークリー) | HEUNG-A YOUNG | 1,103 | 11,806 | 品川公共(住友倉庫) |
| KMTC 【CK Line (CKM) PanCon (Asia Cargo) Tai Young (Daei Shipping)】 | 釜山/東京/千葉/横浜/蔚山/釜山 | 1隻 7日ラウンド (火、ウィークリー) | RELIANCE | 932 | 10,004 | 品川公共(東海運) |
| Nam Sung 【Sinokor/Pan Ocean】 | 釜山/東京/横浜/名古屋/伊予三島/ 釜山 | 1隻 7日ラウンド (金、ウィークリー) | STAR SKIPPER | 962 | 12,980 | 品川公共(第一港運) |
| ONE 【Sealand Asia HMM】 | 東京/清水/名古屋/釜山/東京 | 1隻 7日ラウンド (土/日ウィークリー) | CONSILIA | — | — | 大井 03/4 |
| Pan Ocean 【HEUNG A (Sinokor) / Nam Sung/ Sinokor】 | 釜山/東京/横浜/名古屋/四日市/光 陽/釜山 | 1隻 7日ラウンド (水、ウィークリー) | POS YOKOHAMA | 702 | 10,298 | 品川公共(住友倉庫) |
| PanCon (Asia Cargo) 【CK Line (CKM) /Dongjin/ HEUNG A (Sinokor) /KMTC/ TaiYoung (Daei Shipping)】 | 釜山/清水/東京/豊橋/四日市/名古屋 /蔚山/釜山 | 1隻 7日ラウンド (水、ウィークリー) | PANCON SUCCESS | 1,009 | 11,892 | 品川公共(住友倉庫) |
| Panstar (Sanstar) | 釜山/東京/釜山/石島/釜山 | 1隻 7日ラウンド (月、ウィークリー) | Panstar Genie NO.2 | — | 4,000 | 品川公共(住友倉庫) |
| Sinokor 【Nam Sung/Pan Ocean/ Pan Con (Asia Cargo)】 | 釜山/東京/横浜/名古屋/光陽/釜山 | 1隻 7日ラウンド (月、ウィークリー) | SINKOR AKITA | 834 | 11,031 | 品川公共(住友倉庫) |

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和4年7月1日時点）

(2) 内貿航路

内航RORO、フェリー、国際フィーダー航路の主要寄港地、寄港頻度等の現況は、次のとおりである。

表 II-1-24 内貿航路（RORO）の概要

| 航路 | 主な寄港地 | 便数 | 運航社 | 船名 | 総トン数 | 主たる利用ふ頭 | 船種 | |
|-------------|----------------|----------------------------|--------------|------------|-------------|---------|------|--------|
| 北海道 | 苫小牧 釧路 | 東京/苫小牧/釧路 | 週5便 NX海運株 | ひまわり7 | 10,497 | 中防内側 | RORO | |
| | | | | ひまわり8 | 10,626 | | | |
| | | | | ひまわり9 | 10,626 | | | |
| | 苫小牧 | 東京/苫小牧/八戸 | 週6便 | 栗林商船株 | 神王丸 | 13,620 | | 品川 |
| | | | | オーシャントランス株 | 海王丸 | 13,633 | | |
| | | | | | 天王丸 | 13,624 | | |
| | | | | | 神永丸 | 14,054 | | |
| | 苫小牧 釧路 | 東京/名古屋/大阪/苫小牧/釧路/ 仙台/清水 | 週10便 | 栗林商船株 | 神北丸 | 12,430 | | |
| | | | | | 神加丸 | 16,726 | | |
| | | | | | 神珠丸 | 14,052 | | |
| 神泉丸 | | | | | 14,054 | | | |
| 沖縄 那覇 | 東京/名古屋/志布志/那覇 | 週3便 | マルエーフェリー株 | 琉球エキスプレス3 | 10,034 | 若洲 | | |
| | 東京/大阪/那覇・本部・中城 | 週3便 | 琉球海運株 | 琉球エキスプレス5 | 10,034 | | | |
| | | | | にらいかないII | 11,687 | | | |
| | | | | しゅれいII | 11,687 | | | |
| | 近海郵船株 | しゅり | 9,813 | | | | | |
| 九州 | 日南 | 東京/油津/細島 | 週2便 | 川崎近海汽船株 | 南王丸 | 9,832 | 10号地 | |
| | 苅田 | 東京/苅田/宇野/坂出 | 週6便 | 商船三井フェリー株 | むさし丸 | 13,927 | | |
| | | | | | ふぜん | 11,674 | | |
| | | | | | すおう | 11,675 | | |
| | 博多 | 東京/御前崎/博多/大分/岩国/松山 | 週6便 | 商船三井フェリー株 | さんふらわあはかた | 10,507 | | |
| | | | | | さんふらわあとうきょう | 10,503 | | |
| | | | | | NX海運株 | ひまわり5 | | 10,470 |
| ひまわり6 | | | | | | 10,471 | | |
| 伊豆諸島 小笠原 | 伊豆七島 | 東京/大島/利島/新島/式根島/神津島 | 毎日 週末多客時 | 東海汽船株 | セブアイランド(4隻) | 280 | 竹芝 | |
| | 小笠原 | 東京/三宅島/御蔵島/八丈島 | 毎日 | | さるびあ丸 | 6,099 | | |
| | | | | 橋 | 5,681 | | | |
| | | | | 小笠原海運株 | おがさわら丸 | 11,035 | | |

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和4年7月1日時点）

表 II-1-25 内貿航路（フェリー）の概要

| 航路 | 便数 | 所要時間 (下り) | 運航社 | 船名 | 総トン数 | 旅客定員数 | 輸送能力 | | 船社名 |
|-----------|-----|--------------|--------------|--|--------------------------------------|--------------------------|-----------------------|---------------------------|-----------------------------------|
| | | | | | | | 乗用車 | トレーラー等 | |
| 東京-徳島-北九州 | 週7便 | 33:50 | オーシャントランス(株) | フェリーびざん フェリーしまんと フェリーどうご フェリーりつりん | 12,636 12,636 12,636 12,636 | 266 266 266 266 | 80台 80 80 80 | 188台 188 188 188 | オーシャントランス(株) 東京港事務所 ☎3528-1011 |

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和4年7月1日時点）

表 II-1-26 内貿航路（国際フィーダー航路）の概要

| 主な寄港地 | 航海数 | 運航社 | 就航船 | | 主たる利用埠頭 |
|---------------------------------------|-----|-------------|------------------|----------------|----------------|
| | | | 船名 | 総トン数 | |
| 東京 / 横浜 / 仙台 | 週4便 | 鈴与海運/近海郵船 | はるかぜ しんせと | 749 749 | 大井 |
| 東京 / 横浜 / 鹿島 / 常陸那珂 / 清水 / 御前崎 (OOCL) | 週1便 | | 清浜丸 第一鐵運丸 | 499 | |
| 東京 / 横浜 / 仙台 | 週1便 | | 鈴与海運(株) | | 佑佳 すざく |
| 東京 / 清水 | 週4便 | こはく はるかぜ | | | |
| 東京 / 大船渡 | 週1便 | しんせと | | | |
| 東京 / 神戸 / 門司 / 博多 | 週2便 | ながら のがみ | | 7,432 7,658 | 大井6/7号 大井2号 |
| 東京 / 苫小牧 | 不定期 | 井本商運(株) | なとり | 7,390 | コンテナ |
| 東京 / 八戸 | 週1便 | | ひよどり まいこ 等 | 749 | 大井 / 青海 |
| 東京 / 釜石 | 週1便 | | | | |
| 東京 / 仙台 | 週2便 | | | | |
| 東京 / 小名浜 | 不定期 | | | | |
| 東京 / 常陸那珂 | 週1便 | | | | |
| 東京 / 鹿島 | 週1便 | | | | |
| 東京 / 名古屋 | 不定期 | | | | |
| 東京 / 清水 | 不定期 | | | | |
| 東京 / 四日市 | 不定期 | | | | |
| 東京 / 御前崎 | 不定期 | | | | |
| 東京 / 豊橋 | 不定期 | | | | |

出典：「東京港ハンドブック 2023」より作成（令和4年7月1日時点）

1-2 取扱貨物量の設定

1-2-1 取扱貨物量の設定の方針

(1) 基準年次、及び目標年次

東京港第9次改訂港湾計画では、基準年次を令和元年（2019年）とし、目標年次を令和10年代後半（貨物量推計目標年次：令和17年（2035年））とする。

なお、令和2年（2020年）、令和3年（2021年）実績は参考として記載した。

※貨物量推計の基準年次を令和元年とする理由

- ・令和2年、令和3年においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、物流が一時的に混乱し、取扱貨物も減少している。そのため、新型コロナウイルス感染症の影響を排除するため、基準年次を令和元年とした。

※貨物量推計の目標年次を令和17年とする理由

- ・目標年次は通常、10～15年程度将来の年次である。
- ・港湾計画の改訂作業がとりまとまる年度は令和5年度と想定。
- ・令和5年から12年後である令和17年を目標年次とした。

表 II-1-27 基準年と目標年

| 名称 | 実績 | | | | | | | | | | | 目標年 | |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | | | | | | | | | | 基準年 | | (参考) |
| 和暦 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R17 |
| 西暦 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2035 |

(2) 目標年次貨物量の考え方

東京港における、目標年次貨物量は、ベース貨物量、貿易促進等貨物量、モーダルシフト促進貨物量に分類して推計を行う。

① ベース貨物量推計

東京港のベース貨物については、82品目について近年の取扱実績の推移や関連する社会経済指標（首都圏GDP、首都圏所得等）との相関に基づき、将来貨物量を算出した。

② 貿易促進等貨物量推計

東京港の貿易促進等貨物については、経済連携協定の締結による関税の撤廃や農林水産省の打ち出す「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」（令和4年12月）による輸出促進など、社会情勢の変化や国策に合わせ積極的に創貨を図る。

また、国際フィーダー航路の拡大や現在日本国内から釜山トランシップによって海外港へ輸出されている貨物等についても、東京港で戦略的に集貨することを想定している。

③ モーダルシフト促進貨物量推計

東京港のモーダルシフト促進貨物については、脱炭素社会の実現や2024年問題への対応などにより、陸上輸送から海上輸送へ積極的に転換を図る。

①、②、③の推計方法から算出した貨物量を合算し、東京港の将来貨物量とした。

表 II-1-28 推計値内訳

| 種別 | | 推計値 | | |
|------|-------|-------------|--------|-------|
| | | 千トン | 千TEU | |
| 外貿公共 | コンテナ | ベース貨物 | 57,014 | 5,550 |
| | | 貿易促進等貨物 | 4,497 | 379 |
| | | 小計 | 61,511 | 5,928 |
| | 在来 | ベース貨物 | 1,257 | |
| | | 貿易促進等貨物 | | |
| | | 小計 | 1,257 | |
| 外貿計 | | 62,768 | 5,928 | |
| 内貿公共 | ユニット | ベース貨物 | 12,186 | 151 |
| | | モーダルシフト促進貨物 | 1,409 | 3 |
| | | 小計 | 13,595 | 154 |
| | フィーダー | ベース貨物 | 1,601 | 361 |
| | | 貿易促進等貨物 | 321 | 72 |
| | | 小計 | 1,922 | 433 |
| | 在来 | ベース貨物 | 5,553 | |
| | | 貿易促進等貨物 | | |
| | | 小計 | 5,553 | |
| | フェリー | ベース貨物 | 11,308 | |
| | | モーダルシフト促進貨物 | 1,256 | |
| | | 小計 | 12,564 | |
| 内貿計 | | 33,635 | 587 | |
| 合計 | | 96,402 | 6,516 | |

(3) 推計に用いる社会・経済フレーム

推計に用いる社会・経済フレームは次のとおりである。

表Ⅱ-1-29 (1) 推計に用いる社会経済フレーム

| 項目 | 推計方法 | R1 実績 | R17 推計値 |
|---------|---|-------------------|--------------------|
| 首都圏人口 | 「日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所推計値(平成30年10月)）」 | 44,275 (千人) | 41,981 (千人) |
| 首都圏GDP | 「経済財政の中長期試算（令和4年1月14日）（内閣府）」のベースラインケースの成長率を用いて推計したGDPより、「国民経済計算（内閣府）」（平成22年～令和元年）の首都圏（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県）のGDPを近似式で推計。 | 229,502 (十億円) | 280,964 (十億円) |
| 首都圏所得 | 「経済財政の中長期試算（令和4年1月14日）（内閣府）」のベースラインケースの成長率を用いて推計したGDPより、「国民経済計算（内閣府）」（平成22年～令和元年）の首都圏（首都圏GDPと同様）を近似式で推計。 | 174,575 (十億円) | 218,666 (十億円) |
| 世界GDP | 「World Economic Outlook Database（2022.4）（国際通貨基金（IMF）」における基本シナリオを用いて世界将来GDPを設定。 | 83,554 (十億米ドル) | 109,105 (十億米ドル) |
| アメリカGDP | 「World Economic Outlook Database（2022.4）（国際通貨基金（IMF）」における基本シナリオを用いてアメリカの将来GDPを設定。 | 19,925 (十億米ドル) | 23,579 (十億米ドル) |
| アジアGDP | 「World Economic Outlook Database（2022.4）（国際通貨基金（IMF）」における基本シナリオを用いてアジアの将来GDPを設定。 | 19,272 (十億米ドル) | 30,998 (十億米ドル) |

表 II-1-29 (2) 推計に用いる社会経済フレーム

| 項目 | 推計方法 | R1 実績 | R17 推計値 |
|------------|---|------------------|------------------|
| 民間企業 設備 | 首都圏 GDP を基に「計数表(固定資本ストック)(平成 22 年～令和元年)(内閣府)」における民間企業設備を推計。 | 736,849 (十億円) | 779,226 (十億円) |
| 越境 EC | 「令和 2 年度産業経済研究委託事業(電子商取引に関する市場調査)」(経済産業省(令和 3 年 7 月))における世界の越境 EC 市場の伸びを採用。 | 7,800 (億米ドル) | 48,200 (億米ドル) |

(4) 貨物量推計全体フロー

目標年次（令和 17 年）における取扱貨物量は、東京港の取扱貨物量の推移、貿易促進等貨物及びモーダルシフト促進貨物を基に、以下のフローに従い設定した。

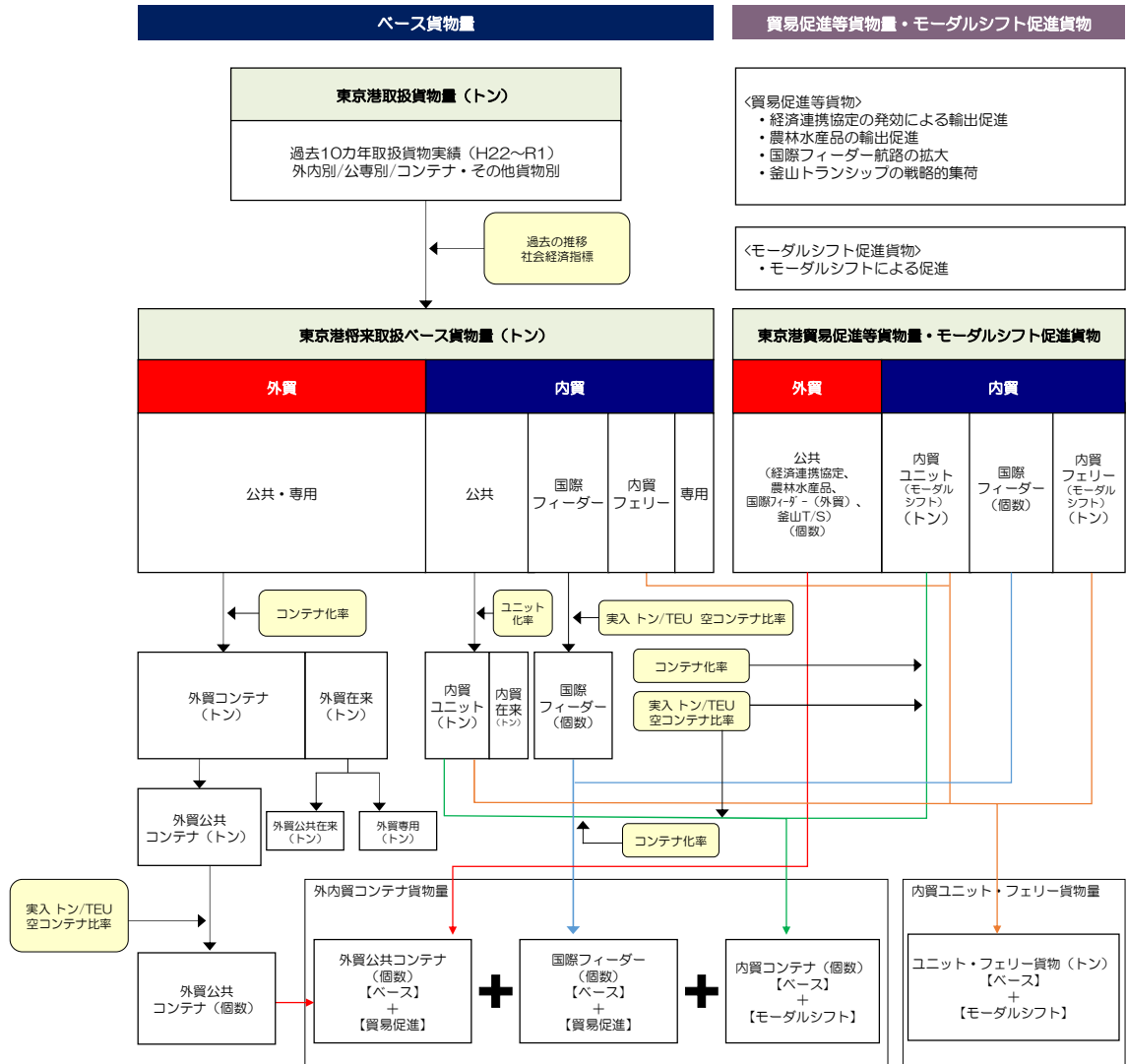


図 II-1-2 東京港貨物量推計の全体フロー

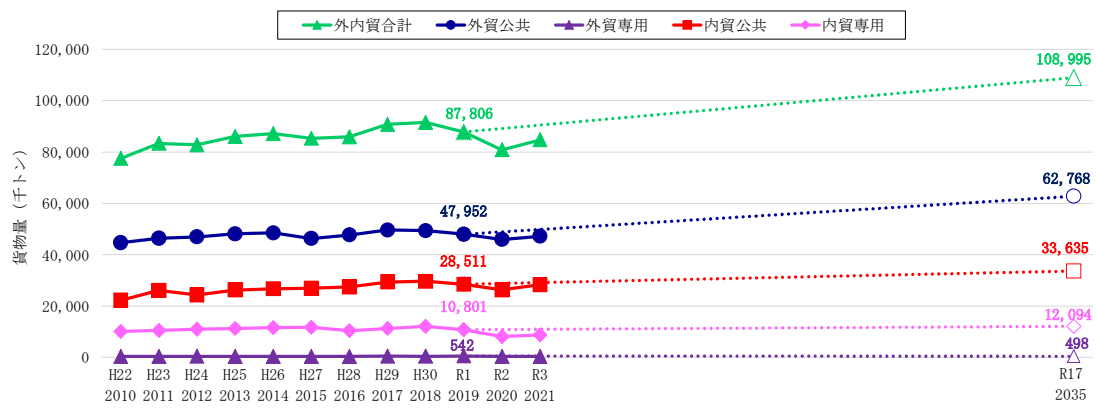


図 II-1-3 取扱貨物量の推移

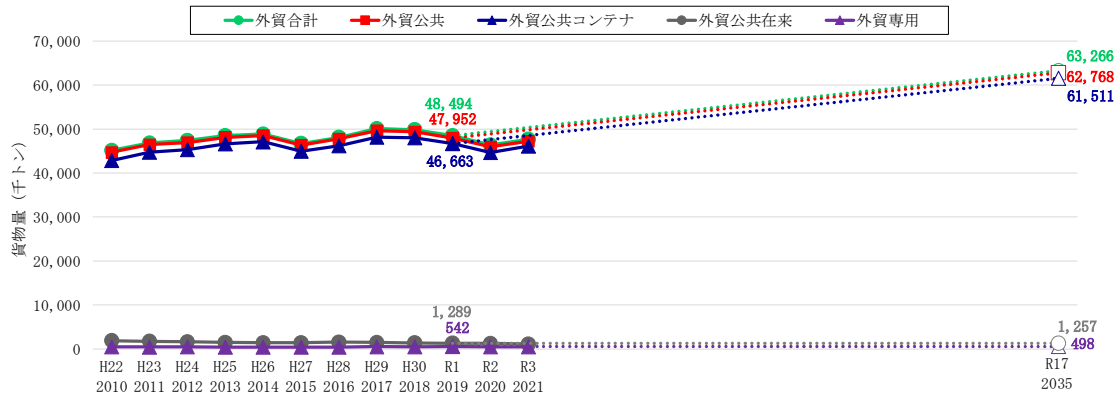


図 II-1-4 取扱貨物量の推移 (外貿)

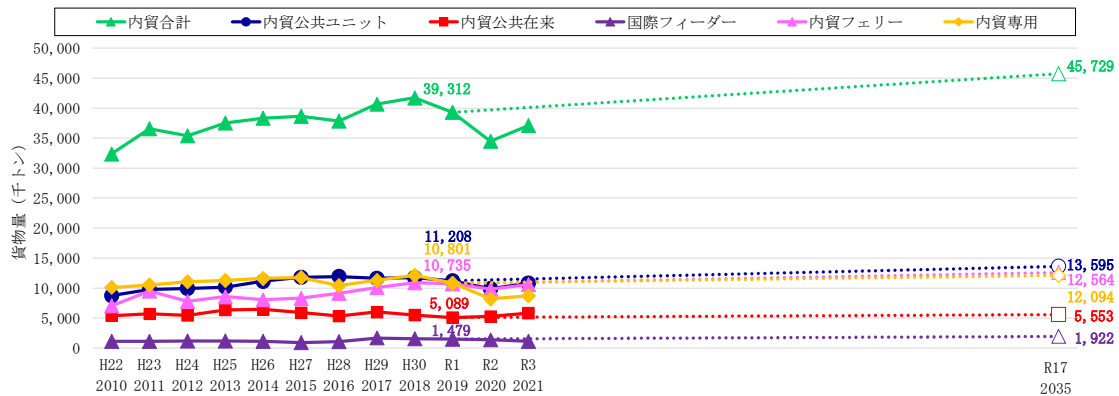


図 II-1-5 取扱貨物量の推移 (内貿)

1-2-2 外貨貨物取扱量の設定（ベース貨物量）

(1) 外貨貨物取扱量の設定

1) 設定の考え方

目標年次における外貨貨物の取扱量の設定の考え方は、それぞれ次のとおりであり、82品目について輸出入別で取扱量を設定した。

表 II-1-31 外貨貨物取扱量の設定の考え方

| 推計の種類 | 取扱貨物量の状況 | 推計方法 |
|------------|--|---|
| 増加傾向 品目 | <ul style="list-style-type: none"> 近年の実績値（過去10年間）が社会経済指標と正の強い相関※¹を持ち、推移している。 | <ul style="list-style-type: none"> 社会経済指標と実績値（過去10年間）の相関を示した近似式により推計 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 社会経済指標とは強い相関がないものの、直近の実績値（過去5年間）が、経過年と正の強い相関を持ち、推移している。 | <ul style="list-style-type: none"> 最新年維持（基準年実績値） |
| 減少傾向 品目 | <ul style="list-style-type: none"> 近年の実績値（過去10年間）が社会経済指標と負の強い相関を持ち、推移している。 | <ul style="list-style-type: none"> 社会経済指標と実績値（過去10年間）の相関を示した近似式により推計 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 社会経済指標とは強い相関がないものの、直近の実績値（過去5年間）が、経過年と負の強い相関を持ち推移し、基準年が著しく※²減少している。 | <ul style="list-style-type: none"> 時系列回帰（過去5年間）を用いて推計 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 社会経済指標とは強い相関がないものの、直近の実績値（過去5年間）が、経過年と負の強い相関を持ち、推移している。 | <ul style="list-style-type: none"> 最新年維持（基準年実績値） |
| 増減傾向 品目 | <ul style="list-style-type: none"> 直近の実績値（過去5年間）が、経過年と強い相関を持たず、増減を繰り返して推移している。 | <ul style="list-style-type: none"> 過去5カ年の平均値 |
| 取扱なし 品目 | <ul style="list-style-type: none"> 過去5カ年のうち、3年以上取扱実績がない貨物 | <ul style="list-style-type: none"> 取扱なし |

※1 強い相関とは、以下のとおり相関係数の絶対値が0.7以上1.0以下を指す。

相関係数及び決定係数の解釈

| 相関係数の絶対値 | → | 決定係数の絶対値 | → | 解釈 |
|-------------------------|---|---------------------------|---|-------------|
| $0.0 \leq R \leq 0.2$ | → | $0.0 \leq R^2 \leq 0.04$ | → | ほとんど相関関係がない |
| $0.2 \leq R \leq 0.4$ | → | $0.04 \leq R^2 \leq 0.16$ | → | やや相関関係がある |
| $0.4 \leq R \leq 0.7$ | → | $0.16 \leq R^2 \leq 0.49$ | → | かなり相関関係がある |
| $0.7 \leq R \leq 1.0$ | → | $0.49 \leq R^2 \leq 1.0$ | → | 強い相関関係がある |

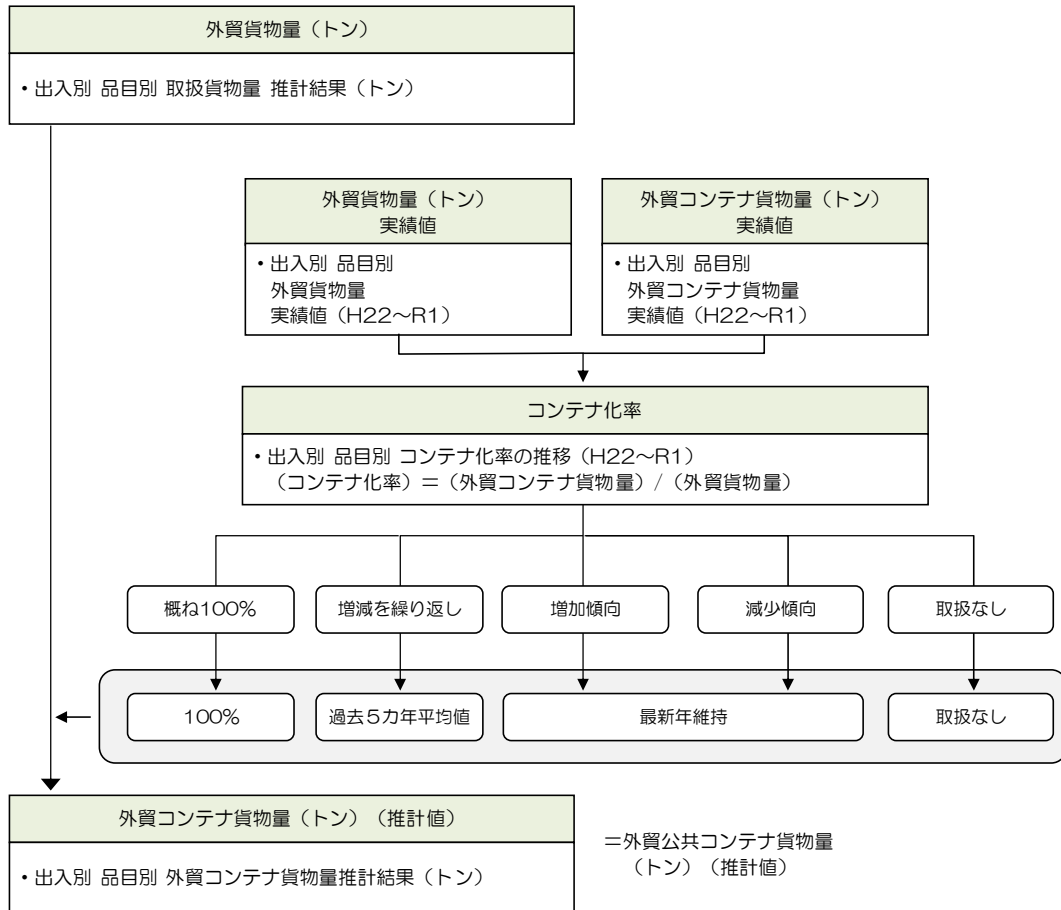
※2 基準年の実績値が、直近の実績（5年間）の平均値の2/3以下まで減少したことを指す。

※3 現在取扱われている外貨専用コンテナ貨物は取扱規模及び施設を考慮し、将来的に外貨公共コンテナ貨物として取扱うこととする。そのため、将来推計は外貨公共貨物と外貨専用貨物を合わせて推計した後に、それぞれの種別に分けることとした。

(2) 外貿公共コンテナ貨物取扱量の設定

1) 設定の考え方

目標年次における外貿公共コンテナ貨物の取扱量の設定の考え方は次のとおりである。



- ※ 「概ね 100%」は直近 5 カ年中の 3 年以上が 100% のコンテナ化率
- ※ 現在取扱われている外貿専用コンテナ貨物は、取扱規模及び施設を考慮し、将来的に外貿公共コンテナ貨物として取扱うものとする。

図 II-1-6 外貿公共コンテナ貨物取扱量の設定の考え方

2) 品目別コンテナ化率の設定

目標年次における外貿公共コンテナ貨物の品目別コンテナ化率の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ-1-33 品目別コンテナ化率の設定

| 品目分類 | 出入別 | 実績値 | | 実績値(参考) | | 推計値 | 推計方法 |
|---------|-----------|------------|------------|------------|-------------|------|--------------------------------|
| | | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 | | |
| 農水産品 | 米穀類 | 輸出 | 100% | 100% | 100% | 100% | 外貿貨物に占める外 貿コンテナ貨物の比 率を算出 |
| | | 輸入 | 51% | 44% | 53% | 46% | |
| | | 計 | 51% | 45% | 54% | 46% | |
| | 野菜・果物 | 輸出 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 輸入 | 63% | 66% | 64% | 66% | |
| | | 計 | 64% | 67% | 65% | 67% | |
| | 水産品 | 輸出 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 輸入 | 100% | 100% | 99% | 100% | |
| | | 計 | 100% | 100% | 99% | 100% | |
| | その他農水産品 | 輸出 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 輸入 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 計 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| 林産品 | 原木 | 輸出 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 輸入 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 計 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | 製材 | 輸出 | 96% | 100% | 100% | 96% | |
| | | 計 | 93% | 97% | 91% | 93% | |
| | その他林産品 | 輸出 | 93% | 97% | 92% | 93% | |
| 鉱産品 | 石炭 | 輸出 | 100% | | | 100% | |
| | | 輸入 | 31% | 34% | 36% | 30% | |
| | | 計 | 31% | 34% | 36% | 30% | |
| | 砂利・砂 | 輸出 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 輸入 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 計 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | 原油 | 輸出 | | 100% | | | |
| | | 輸入 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 計 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | その他鉱産品 | 輸出 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 輸入 | 65% | 70% | 82% | 66% | |
| | | 計 | 68% | 74% | 85% | 70% | |
| 金属機械工業品 | 鉄鋼 | 輸出 | 94% | 94% | 91% | 94% | |
| | | 輸入 | 78% | 79% | 78% | 83% | |
| | | 計 | 87% | 87% | 85% | 89% | |
| | 非鉄金属・金属製品 | 輸出 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 輸入 | 99% | 99% | 99% | 99% | |
| | | 計 | 99% | 99% | 99% | 99% | |
| | 輸送機械 | 輸出 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 輸入 | 99% | 99% | 99% | 100% | |
| | | 計 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | その他機械 | 輸出 | 99% | 99% | 99% | 100% | |
| | | 輸入 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 計 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| 化学工業品 | 石油類 | 輸出 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 輸入 | 100% | 66% | 100% | 100% | |
| | | 計 | 100% | 78% | 100% | 100% | |
| | セメント | 輸出 | 100% | 100% | 100% | | |
| | | 計 | 100% | 100% | 100% | | |
| | その他化学工業品 | 輸出 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| 軽工業品 | 紙・パルプ | 輸出 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 輸入 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 計 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | 砂糖 | 輸出 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 計 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | その他軽工業品 | 輸出 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| 雑工業品 | 輸出 | 100% | 100% | 100% | 100% | | |
| | 輸入 | 100% | 100% | 100% | 100% | | |
| | 計 | 100% | 100% | 100% | 100% | | |
| 特殊品 | 金属くず | 輸出 | 16% | 14% | 25% | 16% | |
| | | 輸入 | 100% | 97% | 100% | 100% | |
| | | 計 | 23% | 21% | 34% | 30% | |
| | 廃棄物(廃土砂) | 輸出 | | | | | |
| | | 計 | | | | | |
| | 取合せ品 | 輸出 | 100% | 100% | 100% | | |
| | | 輸入 | 100% | 100% | 100% | | |
| | | 計 | 100% | 100% | 100% | | |
| | その他特殊品 | 輸出 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 輸入 | 97% | 96% | 92% | 98% | |
| | | 計 | 98% | 98% | 96% | 99% | |
| | 分類不能のもの | 輸出 | | | | | |
| 計 | | | | | | | |
| 合計 | 輸出 | 95% | 95% | 97% | 97% | | |
| | 輸入 | 97% | 97% | 97% | 97% | | |
| | 計 | 96% | 96% | 97% | 97% | | |

※1 実際のコンテナ貨物量算定時には、82品目別にコンテナ化率を推計

※2 貨物の取扱がなくコンテナ化率が算定できない箇所、または将来貨物量が0となる箇所は空欄としている

3) 外貿公共コンテナ貨物取扱量の設定

目標年次における外貿公共コンテナ貨物の取扱量の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ-1-34 外貿公共コンテナ貨物量の設定

| 品目分類 | | 出入別 | 実績値 | | | 推計値 | 推計方法 |
|---------|-----------|--------|------------|------------|------------|-------------|------|
| | | | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 | |
| 単位：千トン | | | | | | | |
| 農水産品 | 米穀類 | 輸出 | 5 | 5 | 7 | 6 | |
| | | 輸入 | 194 | 172 | 162 | 200 | |
| | | 計 | 199 | 177 | 169 | 207 | |
| | 野菜・果物 | 輸出 | 42 | 39 | 54 | 36 | |
| | | 輸入 | 1,099 | 1,055 | 982 | 1,156 | |
| | | 計 | 1,141 | 1,094 | 1,036 | 1,191 | |
| | 水産品 | 輸出 | 166 | 196 | 194 | 231 | |
| | | 輸入 | 917 | 746 | 691 | 923 | |
| | | 計 | 1,083 | 942 | 885 | 1,154 | |
| | その他農水産品 | 輸出 | 46 | 53 | 57 | 45 | |
| 輸入 | | 1,908 | 1,890 | 1,773 | 3,289 | | |
| 計 | | 1,954 | 1,943 | 1,830 | 3,334 | | |
| 林産品 | 原木 | 輸出 | 3 | 1 | 1 | 3 | |
| | | 輸入 | 3 | 3 | 5 | 3 | |
| | | 計 | 5 | 4 | 6 | 6 | |
| | 製材 | 輸出 | 15 | 17 | 22 | 19 | |
| | | 輸入 | 820 | 805 | 759 | 898 | |
| | | 計 | 835 | 822 | 781 | 917 | |
| | その他林産品 | 輸出 | 1 | 1 | 1 | 2 | |
| 輸入 | | 130 | 120 | 116 | 134 | | |
| 計 | | 130 | 121 | 118 | 136 | | |
| 鉱産品 | 石炭 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 48 | 48 | 54 | 38 | |
| | | 計 | 48 | 48 | 54 | 38 | |
| | 砂利・砂 | 輸出 | 7 | 5 | 4 | 7 | |
| | | 輸入 | 117 | 104 | 97 | 158 | |
| | | 計 | 124 | 109 | 101 | 165 | |
| | 原油 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| | | 計 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| | その他鉱産品 | 輸出 | 17 | 27 | 27 | 29 | |
| 輸入 | | 136 | 117 | 121 | 134 | | |
| 計 | | 153 | 144 | 147 | 163 | | |
| 金属機械工業品 | 鉄鋼 | 輸出 | 265 | 219 | 218 | 289 | |
| | | 輸入 | 152 | 129 | 147 | 166 | |
| | | 計 | 417 | 348 | 365 | 455 | |
| | 非鉄金属・金属製品 | 輸出 | 406 | 355 | 393 | 396 | |
| | | 輸入 | 1,594 | 1,304 | 1,437 | 2,192 | |
| | | 計 | 1,999 | 1,659 | 1,830 | 2,587 | |
| | 輸送機械 | 輸出 | 1,792 | 1,324 | 1,441 | 1,997 | |
| | | 輸入 | 1,320 | 1,165 | 1,341 | 2,279 | |
| | | 計 | 3,112 | 2,489 | 2,782 | 4,276 | |
| | その他機械 | 輸出 | 2,776 | 2,518 | 3,008 | 3,009 | |
| 輸入 | | 5,293 | 5,421 | 5,699 | 5,381 | | |
| 計 | | 8,069 | 7,939 | 8,708 | 8,390 | | |
| 化学工業品 | 石油類 | 輸出 | 37 | 29 | 50 | 40 | |
| | | 輸入 | 35 | 34 | 35 | 36 | |
| | | 計 | 72 | 63 | 85 | 76 | |
| | セメント | 輸出 | 1 | 1 | 2 | 0 | |
| | | 輸入 | 17 | 16 | 14 | 0 | |
| | | 計 | 17 | 17 | 16 | 0 | |
| | その他化学工業品 | 輸出 | 2,344 | 2,322 | 2,584 | 4,603 | |
| | | 輸入 | 3,428 | 3,241 | 3,428 | 3,980 | |
| | | 計 | 5,771 | 5,563 | 6,013 | 8,583 | |
| | 軽工業品 | 紙・パルプ | 輸出 | 219 | 225 | 297 | 271 |
| 輸入 | | | 761 | 727 | 711 | 761 | |
| 計 | | | 980 | 952 | 1,007 | 1,032 | |
| 砂糖 | | 輸出 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | | 輸入 | 45 | 45 | 44 | 20 | |
| | | 計 | 46 | 45 | 46 | 20 | |
| その他軽工業品 | | 輸出 | 404 | 444 | 552 | 405 | |
| | 輸入 | 3,961 | 3,835 | 3,797 | 4,341 | | |
| | 計 | 4,365 | 4,280 | 4,350 | 4,746 | | |
| 雑工業品 | 輸出 | 1,230 | 1,108 | 1,133 | 1,680 | | |
| | 輸入 | 10,424 | 10,279 | 10,552 | 12,480 | | |
| | 計 | 11,654 | 11,387 | 11,684 | 14,160 | | |
| 特殊品 | 金属くず | 輸出 | 99 | 87 | 118 | 93 | |
| | | 輸入 | 60 | 58 | 66 | 126 | |
| | | 計 | 160 | 145 | 183 | 219 | |
| | 廃棄物(廃土砂) | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 取合せ品 | 輸出 | 173 | 135 | 169 | 0 | |
| | | 輸入 | 104 | 68 | 61 | 0 | |
| | | 計 | 277 | 204 | 230 | 0 | |
| | その他特殊品 | 輸出 | 2,108 | 2,176 | 1,738 | 2,110 | |
| 輸入 | | 1,940 | 1,989 | 1,916 | 3,046 | | |
| 計 | | 4,048 | 4,165 | 3,654 | 5,156 | | |
| 分類不能のもの | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 合計 | 輸出 | 12,155 | 11,288 | 12,071 | 15,273 | | |
| | 輸入 | 34,508 | 33,375 | 34,009 | 41,741 | | |
| | 計 | 46,663 | 44,663 | 46,080 | 57,014 | | |

82品目別外貿貨物に
各品目別輸出入別コ
ンテナ化率を乗じて
算出

4) 取扱個数 (TEU) の設定

以下の方法により外貿公共コンテナ取扱個数 (TEU) を推計した。

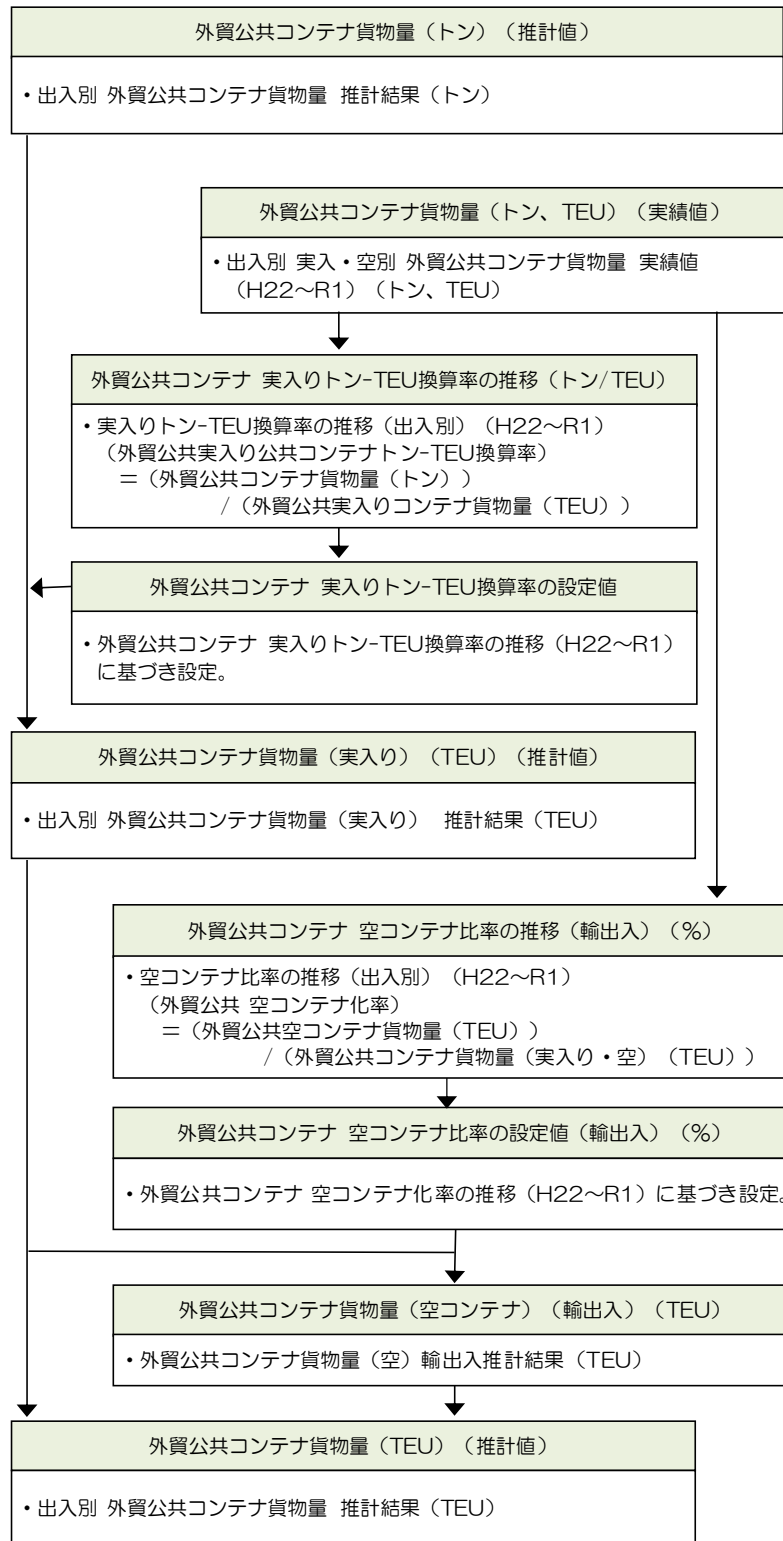


図 II-1-7 取扱個数 (TEU) の推計フロー

目標年次における外貿公共コンテナ取扱個数等の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ-1-35 外貿公共コンテナ取扱個数等の推計結果

| 区分 | 出入 | 実入・空別 | 実績値 | | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | | 推計値 |
|---------------------------------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|--|-----|
| | | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R17 | | |
| | | | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2035 | | |
| 実入コンテナ トン-TEU換算率 (トン/TEU) | 輸出 | 実入 | 13.3 | 13.3 | 13.3 | 13.4 | 13.4 | 13.7 | 13.5 | 13.1 | 13.1 | 13.0 | 12.9 | 13.0 | 13.0 | | |
| | 輸入 | 実入 | 14.5 | 14.5 | 14.4 | 14.5 | 14.7 | 14.6 | 14.8 | 14.6 | 14.4 | 14.5 | 14.8 | 14.6 | 14.6 | | |
| | 計 | 実入 | 14.1 | 14.2 | 14.1 | 14.2 | 14.3 | 14.3 | 14.4 | 14.2 | 14.1 | 14.1 | 14.3 | 14.2 | 14.1 | | |
| 空コンテナ比率 (%) | 輸出 | 空 | 44.0% | 50.8% | 51.9% | 52.8% | 53.5% | 52.5% | 52.2% | 52.3% | 54.0% | 56.1% | 56.0% | 52.9% | 56.1% | | |
| | 輸入 | 空 | 1.0% | 0.8% | 0.6% | 0.4% | 0.5% | 0.6% | 0.4% | 0.6% | 0.5% | 0.4% | 0.7% | 1.3% | 0.5% | | |
| | 計 | 空 | 20.6% | 23.9% | 24.2% | 24.4% | 25.1% | 24.5% | 24.5% | 24.4% | 25.3% | 26.7% | 26.5% | 24.8% | 27.0% | | |
| コンテナ個数 (千TEU) | 輸出 | 実入 | 974 | 941 | 938 | 941 | 949 | 912 | 948 | 989 | 974 | 934 | 874 | 927 | 1,174 | | |
| | | 空 | 765 | 971 | 1,010 | 1,054 | 1,091 | 1,006 | 1,033 | 1,085 | 1,144 | 1,195 | 1,111 | 1,043 | 1,501 | | |
| | | 計 | 1,739 | 1,913 | 1,948 | 1,995 | 2,039 | 1,917 | 1,981 | 2,075 | 2,117 | 2,129 | 1,985 | 1,970 | 2,675 | | |
| | 輸入 | 実入 | 2,057 | 2,213 | 2,272 | 2,350 | 2,340 | 2,220 | 2,261 | 2,411 | 2,441 | 2,376 | 2,258 | 2,325 | 2,861 | | |
| | | 空 | 20 | 18 | 15 | 8 | 11 | 13 | 9 | 14 | 12 | 9 | 16 | 31 | 14 | | |
| | | 計 | 2,078 | 2,231 | 2,287 | 2,358 | 2,350 | 2,232 | 2,270 | 2,426 | 2,453 | 2,385 | 2,275 | 2,356 | 2,875 | | |
| 計 | 実入 | 3,031 | 3,155 | 3,210 | 3,291 | 3,288 | 3,131 | 3,208 | 3,401 | 3,414 | 3,311 | 3,133 | 3,252 | 4,035 | | | |
| 空 | 785 | 989 | 1,025 | 1,063 | 1,101 | 1,018 | 1,042 | 1,100 | 1,156 | 1,203 | 1,127 | 1,074 | 1,515 | | | | |
| 計 | 3,816 | 4,144 | 4,235 | 4,353 | 4,390 | 4,150 | 4,251 | 4,500 | 4,571 | 4,514 | 4,260 | 4,326 | 5,550 | | | | |
| コンテナ貨物量 (千トン) | 輸出 | 実入 | 12,926 | 12,504 | 12,491 | 12,582 | 12,735 | 12,450 | 12,773 | 12,950 | 12,770 | 12,155 | 11,288 | 12,071 | 15,273 | | |
| | 輸入 | 実入 | 29,893 | 32,191 | 32,811 | 34,036 | 34,331 | 32,480 | 33,405 | 35,202 | 35,212 | 34,508 | 33,375 | 34,009 | 41,741 | | |
| | 計 | 実入 | 42,819 | 44,695 | 45,302 | 46,619 | 47,066 | 44,930 | 46,178 | 48,152 | 47,982 | 46,663 | 44,663 | 46,080 | 57,014 | | |

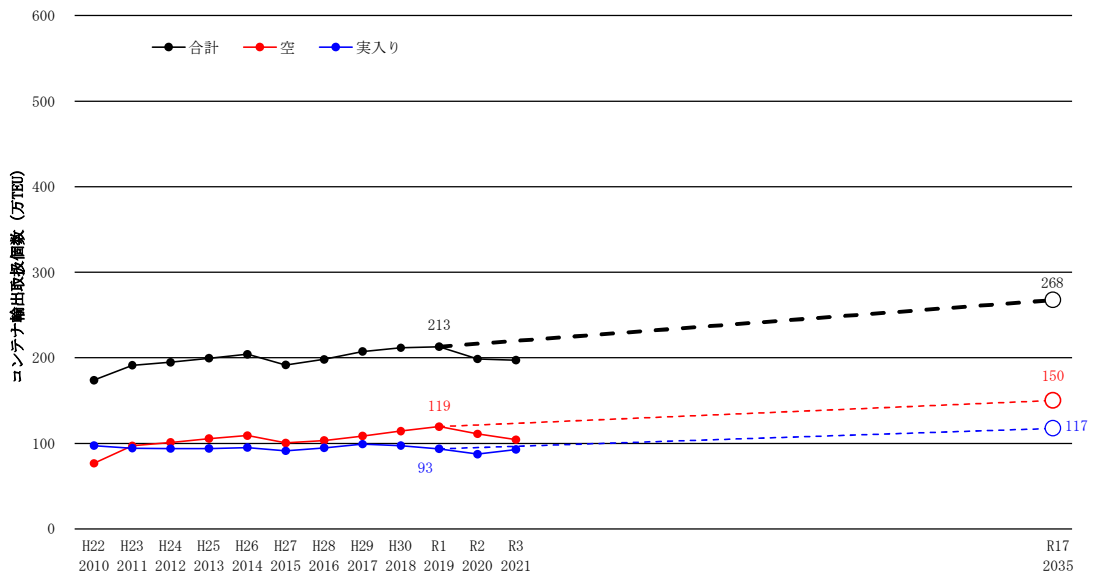


図 II-1-8 外貿公共コンテナ輸出取扱個数の推移

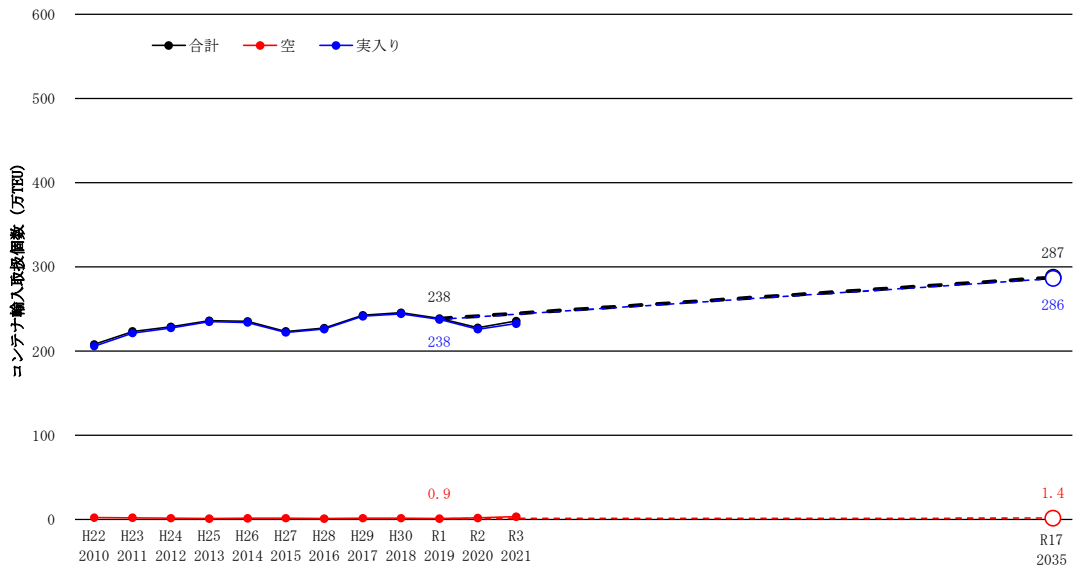


図 II-1-9 外貿公共コンテナ輸入取扱個数の推移

(3) 外貿公共在来貨物取扱量の設定

目標年次における外貿公共在来貨物の取扱量の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ-1-36 外貿公共在来貨物取扱量の設定

| 品目分類 | 出入別 | 実績値 (参考) | | | | 推計値 R17 2035 | 推計方法 |
|----------|-----------|------------|------------|------------|-------------|--------------------|------|
| | | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 | | |
| 単位：千トン | | | | | | | |
| 農水産品 | 米穀類 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 190 | 218 | 146 | 239 | |
| | | 計 | 190 | 218 | 146 | 239 | |
| | 野菜・果物 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 109 | 114 | 116 | 100 | |
| | | 計 | 109 | 114 | 116 | 100 | |
| | 水産品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 5 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 5 | 0 | |
| | その他農水産品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 輸入 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 林産品 | 原木 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 製材 | 輸出 | 1 | 0 | 0 | 1 | |
| | | 輸入 | 66 | 29 | 72 | 72 | |
| | | 計 | 67 | 29 | 72 | 73 | |
| | その他林産品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 輸入 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 鉱産品 | 石炭 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 108 | 94 | 95 | 91 | |
| | | 計 | 108 | 94 | 95 | 91 | |
| | 砂利・砂 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 原油 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他鉱産品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 輸入 | | 73 | 49 | 26 | 69 | | |
| | 計 | 73 | 49 | 26 | 69 | | |
| 金属機械工業品 | 鉄鋼 | 輸出 | 18 | 15 | 21 | 19 | |
| | | 輸入 | 42 | 35 | 42 | 34 | |
| | | 計 | 61 | 50 | 63 | 53 | |
| | 非鉄金属・金属製品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 13 | 15 | 11 | 18 | |
| | | 計 | 13 | 15 | 11 | 18 | |
| | 輸送機械 | 輸出 | 1 | 1 | 0 | 1 | |
| | | 輸入 | 13 | 10 | 12 | 5 | |
| | | 計 | 13 | 10 | 13 | 6 | |
| | その他機械 | 輸出 | 14 | 17 | 23 | 11 | |
| 輸入 | | 16 | 5 | 12 | 19 | | |
| | 計 | 31 | 22 | 35 | 31 | | |
| 化学工業品 | 石油類 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 17 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 17 | 0 | 0 | |
| | セメント | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他化学工業品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 輸入 | 16 | 10 | 10 | 18 | | |
| | 計 | 16 | 10 | 10 | 18 | | |
| 軽工業品 | 紙・パルプ | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 1 | 0 | 0 | 1 | |
| | | 計 | 1 | 0 | 0 | 1 | |
| | 砂糖 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他軽工業品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 雑工業品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 輸入 | 0 | 1 | 2 | 0 | | |
| | 計 | 0 | 1 | 2 | 0 | | |
| 特殊品 | 金属くず | 輸出 | 539 | 558 | 361 | 503 | |
| | | 輸入 | 0 | 2 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 539 | 560 | 361 | 503 | |
| | 廃棄物(廃土砂) | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 取合せ品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他特殊品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 輸入 | | 68 | 79 | 167 | 57 | | |
| | 計 | 68 | 80 | 167 | 57 | | |
| 分類不能のもの | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 合計 | 輸出 | 573 | 590 | 406 | 535 | | |
| | 輸入 | 716 | 678 | 715 | 722 | | |
| | 計 | 1,289 | 1,268 | 1,121 | 1,257 | | |

82品目別外貿在来貨物を実績値に基づき、比率で按分

(4) 外貿専用貨物取扱量の設定

目標年次における外貿専用貨物の取扱量の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表 II-1-37 外貿専用貨物取扱量の設定

| 品目分類 | | 出入別 | 実績値 (参考) | | | | 推計方法 |
|---------|-----------|-----|-------------------|------------|------------|--------------------|------|
| | | | 実績値 R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | 推計値 R17 2035 | |
| 農水産品 | 米穀類 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 野菜・果物 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 534 | 434 | 438 | 488 | |
| | | 計 | 535 | 434 | 438 | 488 | |
| | 水産品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他農水産品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 輸入 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 計 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 林産品 | 原木 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 製材 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他林産品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 鉱産品 | 石炭 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 砂利・砂 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 原油 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他鉱産品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 輸入 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 計 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 金属機械工業品 | 鉄鋼 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | 非鉄金属・金属製品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | 輸送機械 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | その他機械 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 3 | |
| 輸入 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 計 | | 0 | 0 | 0 | 3 | | |
| 化学工業品 | 石油類 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | セメント | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他化学工業品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 軽工業品 | 紙・パルプ | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 砂糖 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他軽工業品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 計 | 1 | 0 | 0 | 0 | | |
| 雑工業品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 特殊品 | 金属くず | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 廃棄物(廃土砂) | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 取合せ品 | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他特殊品 | 輸出 | 6 | 4 | 4 | 4 | |
| 輸入 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 計 | | 6 | 5 | 4 | 5 | | |
| 分類不能のもの | 輸出 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 輸入 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 合計 | 輸出 | 6 | 5 | 4 | 8 | | |
| | 輸入 | 535 | 435 | 438 | 491 | | |
| | 計 | 542 | 439 | 442 | 498 | | |

82品目別外貿在来貨物を実績値に基づき、比率で按分

1-2-3 内貿貨物取扱量の設定（ベース貨物量）

(1) 内貿公共貨物取扱量の設定

1) 設定の考え方

目標年次における内貿公共貨物の取扱量（国際フィーダー、内貿公共フェリー除く）の設定の考え方は、それぞれ次のとおりであり、82品目について取扱量を設定した。

表 II-1-38 内貿公共貨物取扱量の設定の考え方

| 推計の種類 | 取扱貨物量の状況 | 推計方法 |
|------------|---|--|
| 増加傾向 品目 | <ul style="list-style-type: none"> 近年の実績値（過去10年間）が社会経済指標と正の強い相関※1を持ち、推移している。 | <ul style="list-style-type: none"> 社会経済指標と実績値（過去10年間）の相関を示した近似式により推計 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 社会経済指標とは強い相関がないものの、直近の実績値（過去5年間）が、経過年と正の強い相関を持ち、推移している。 | <ul style="list-style-type: none"> 最新年維持（基準年実績値） |
| 減少傾向 品目 | <ul style="list-style-type: none"> 近年の実績値（過去10年間）が社会経済指標と負の強い相関を持ち、推移している。 | <ul style="list-style-type: none"> 社会経済指標と実績値（過去10年間）の相関を示した近似式により推計 （該当品目なし） |
| | <ul style="list-style-type: none"> 社会経済指標とは強い相関がないものの、直近の実績値（過去5年間）が、経過年と負の強い相関を持ち、推移している。 | <ul style="list-style-type: none"> 最新年維持（基準年実績値） |
| 増減傾向 品目 | <ul style="list-style-type: none"> 直近の実績値（過去5年間）が、経過年と強い相関を持たず、増減を繰り返して推移している。 | <ul style="list-style-type: none"> 過去5カ年の平均値 |
| 取扱なし 品目 | <ul style="list-style-type: none"> 過去5カ年のうち、3年以上取扱実績がない貨物 | <ul style="list-style-type: none"> 取扱なし |

※1 強い相関とは、以下のとおり相関係数の絶対値が0.7以上1.0以下を指す。

相関係数及び決定係数の解釈

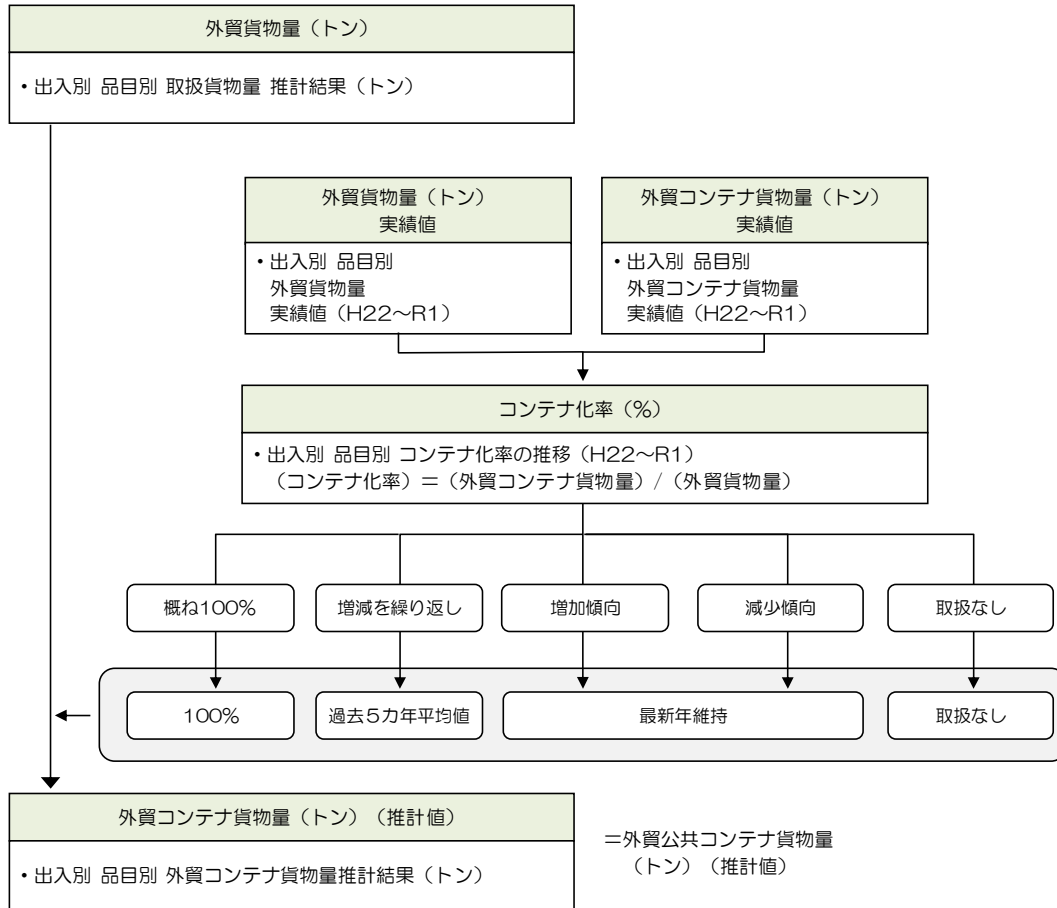
| 相関係数の絶対値 | → | 決定係数の絶対値 | 解釈 |
|-------------------------|---|---------------------------|-------------|
| $0.0 \leq R \leq 0.2$ | → | $0.0 \leq R^2 \leq 0.04$ | ほとんど相関関係がない |
| $0.2 \leq R \leq 0.4$ | → | $0.04 \leq R^2 \leq 0.16$ | やや相関関係がある |
| $0.4 \leq R \leq 0.7$ | → | $0.16 \leq R^2 \leq 0.49$ | かなり相関関係がある |
| $0.7 \leq R \leq 1.0$ | → | $0.49 \leq R^2 \leq 1.0$ | 強い相関関係がある |

(2) 内貿公共ユニット貨物取扱量の設定

1) 設定の考え方

ユニット化率の設定の考え方は、次のとおりである。

$$(\text{ユニット化率}) = (\text{内貿公共ユニット貨物量}) / (\text{内貿公共貨物量})$$



※ 「概ね100%」は直近5カ年中の3年以上が100%のユニット化率

図 II-1-10 内貿公共ユニット貨物取扱量の設定の考え方

2) 品目別ユニット化率の設定

目標年次における内貿公共ユニット貨物の品目別ユニット化率の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ-1-40 品目別ユニット化率の設定

| 品目分類 | 出入別 | 実績値 | | 実績値(参考) | | 推計値 | 推計方法 |
|---------|-----------|------------|------------|------------|-------------|------|--|
| | | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 | | |
| 農水産品 | 米穀類 | 移出 | 99% | 98% | 100% | 100% | 内貿公共貨物(国際 フィーダー、内貿公 共フェリー除く)に 占める内貿公共ユ ニット貨物の比率を 算出 |
| | | 移入 | 22% | 24% | 20% | 28% | |
| | | 計 | 47% | 46% | 42% | 52% | |
| | 野菜・果物 | 移出 | 87% | 86% | 87% | 87% | |
| | | 移入 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 計 | 94% | 94% | 94% | 94% | |
| | 水産品 | 移出 | 5% | 1% | 4% | 5% | |
| | | 移入 | 5% | 5% | 5% | 6% | |
| | | 計 | 5% | 3% | 5% | 6% | |
| | その他農水産品 | 移出 | 18% | 17% | 18% | 17% | |
| 移入 | | 100% | 100% | 100% | 100% | | |
| 計 | | 66% | 43% | 45% | 57% | | |
| 林産品 | 原木 | 移出 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 移入 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 計 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | 製材 | 移出 | 21% | 34% | 27% | 20% | |
| | | 移入 | 67% | 80% | 81% | 78% | |
| | 計 | 42% | 53% | 52% | 45% | | |
| その他林産品 | 移出 | 81% | 74% | 77% | 79% | | |
| | 移入 | 87% | 73% | 84% | 84% | | |
| 計 | 84% | 74% | 79% | 82% | | | |
| 鉱産品 | 石炭 | 移出 | | 0% | 0% | 0% | |
| | | 移入 | 1% | 0% | 0% | 1% | |
| | | 計 | 1% | 0% | 0% | 0% | |
| | 砂利・砂 | 移出 | 25% | 57% | 53% | 19% | |
| | | 移入 | 0% | 0% | 0% | 0% | |
| | 計 | 0% | 0% | 0% | 0% | | |
| | 原油 | 移出 | | | | | |
| | | 移入 | | | | | |
| 計 | | | | | | | |
| その他鉱産品 | 移出 | 3% | 3% | 3% | 5% | | |
| | 移入 | 4% | 1% | 1% | 7% | | |
| | 計 | 4% | 1% | 2% | 7% | | |
| 金属機械工業品 | 鉄鋼 | 移出 | 79% | 50% | 55% | 83% | |
| | | 移入 | 9% | 6% | 5% | 9% | |
| | | 計 | 18% | 10% | 9% | 14% | |
| | 非鉄金属・金属製品 | 移出 | 68% | 57% | 58% | 64% | |
| | | 移入 | 43% | 23% | 22% | 42% | |
| | | 計 | 53% | 39% | 38% | 51% | |
| | 輸送機械 | 移出 | 99% | 99% | 99% | 99% | |
| | | 移入 | 99% | 99% | 99% | 99% | |
| | | 計 | 99% | 99% | 99% | 99% | |
| | その他機械 | 移出 | 91% | 94% | 94% | 91% | |
| 移入 | | 69% | 81% | 76% | 70% | | |
| 計 | | 87% | 91% | 91% | 87% | | |
| 化学工業品 | 石油類 | 移出 | 57% | 61% | 57% | 57% | |
| | | 移入 | 100% | 62% | 97% | 99% | |
| | | 計 | 58% | 61% | 58% | 58% | |
| | セメント | 移出 | 5% | 6% | 6% | 6% | |
| | | 移入 | 1% | 1% | 1% | 1% | |
| | 計 | 1% | 1% | 1% | 1% | | |
| | その他化学工業品 | 移出 | 76% | 69% | 65% | 78% | |
| 移入 | | 40% | 59% | 66% | 35% | | |
| 計 | 57% | 64% | 65% | 56% | | | |
| 軽工業品 | 紙・パルプ | 移出 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 移入 | 80% | 76% | 73% | 80% | |
| | | 計 | 83% | 78% | 74% | 83% | |
| | 砂糖 | 移出 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | | 移入 | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | 計 | 100% | 100% | 100% | 100% | | |
| その他軽工業品 | 移出 | 98% | 98% | 99% | 98% | | |
| | 移入 | 64% | 62% | 63% | 65% | | |
| | 計 | 82% | 82% | 82% | 82% | | |
| 雑工業品 | 移出 | 93% | 94% | 93% | 93% | | |
| | 移入 | 97% | 83% | 88% | 97% | | |
| | 計 | 94% | 91% | 91% | 94% | | |
| 特殊品 | 金属くず | 移出 | 5% | 6% | 7% | 5% | |
| | | 移入 | 23% | 24% | 22% | 23% | |
| | | 計 | 13% | 14% | 13% | 14% | |
| | 廃棄物(廃土砂) | 移出 | 0% | 0% | 0% | 0% | |
| | | 移入 | 5% | 4% | 4% | 5% | |
| | | 計 | 0% | 0% | 0% | 0% | |
| | 取合せ品 | 移出 | 99% | 98% | 98% | 99% | |
| | | 移入 | 99% | 98% | 98% | 99% | |
| | | 計 | 99% | 98% | 98% | 99% | |
| | その他特殊品 | 移出 | 95% | 94% | 94% | 93% | |
| 移入 | | 90% | 90% | 91% | 89% | | |
| 計 | | 93% | 92% | 93% | 91% | | |
| 分類不能のもの | 移出 | | | | | | |
| | 移入 | | | | | | |
| 合計 | 移出 | 49% | 46% | 45% | 51% | | |
| | 移入 | 34% | 32% | 34% | 32% | | |
| | 計 | 41% | 40% | 40% | 42% | | |

※1 実際のユニット貨物量算定時には、82品目別にユニット化率を推計

※2 貨物の取扱がなくユニット化率が算定できない箇所は空欄としている

3) 内貿公共ユニット貨物取扱量の設定

目標年次における内貿公共ユニット貨物の取扱量の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表 II-1-41 内貿公共ユニット貨物量の設定

| | | | 単位：千トン | | | | 推計方法 |
|---------|-----------|------------|------------|------------|-------------|-------|---|
| 品目分類 | 出入別 | 実績値 | 実績値（参考） | | | 推計値 | |
| | | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 | | |
| 農水産品 | 米穀類 | 移出 | 47 | 46 | 46 | 48 | |
| | | 移入 | 22 | 25 | 25 | 25 | |
| | | 計 | 69 | 71 | 71 | 73 | |
| | 野菜・果物 | 移出 | 35 | 31 | 32 | 35 | |
| | | 移入 | 51 | 47 | 45 | 50 | |
| | | 計 | 86 | 77 | 77 | 84 | |
| | 水産品 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | | 計 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | その他農水産品 | 移出 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| 移入 | | 15 | 5 | 5 | 9 | | |
| 計 | | 17 | 7 | 7 | 11 | | |
| 林産品 | 原木 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| | 製材 | 移出 | 4 | 5 | 4 | 4 | |
| | | 移入 | 12 | 9 | 10 | 13 | |
| | | 計 | 16 | 15 | 14 | 18 | |
| | その他林産品 | 移出 | 9 | 8 | 10 | 9 | |
| 移入 | | 8 | 5 | 6 | 10 | | |
| 計 | | 17 | 13 | 16 | 18 | | |
| 鉱産品 | 石炭 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 砂利・砂 | 移出 | 5 | 4 | 4 | 5 | |
| | | 移入 | 2 | 2 | 2 | 3 | |
| | | 計 | 7 | 5 | 5 | 7 | |
| | 原油 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他鉱産品 | 移出 | 1 | 2 | 2 | 1 | |
| 移入 | | 4 | 1 | 0 | 5 | | |
| 計 | | 6 | 2 | 2 | 6 | | |
| 金属機械工業品 | 鉄鋼 | 移出 | 43 | 14 | 16 | 21 | 内貿公共貨物（国際 フィーダー、内貿公 共フェリー除く）に 内貿公共ユニット化 率を乗じて算出 |
| | | 移入 | 32 | 18 | 17 | 35 | |
| | | 計 | 75 | 32 | 33 | 56 | |
| | 非鉄金属・金属製品 | 移出 | 32 | 23 | 26 | 29 | |
| | | 移入 | 29 | 11 | 13 | 30 | |
| | | 計 | 61 | 34 | 39 | 59 | |
| | 輸送機械 | 移出 | 2,307 | 2,178 | 2,193 | 3,404 | |
| | | 移入 | 973 | 994 | 1,072 | 964 | |
| | | 計 | 3,280 | 3,172 | 3,265 | 4,368 | |
| | その他機械 | 移出 | 189 | 219 | 227 | 217 | |
| 移入 | | 36 | 51 | 41 | 37 | | |
| 計 | | 226 | 270 | 268 | 254 | | |
| 化学工業品 | 石油類 | 移出 | 18 | 19 | 17 | 17 | |
| | | 移入 | 1 | 1 | 0 | 1 | |
| | | 計 | 18 | 20 | 18 | 18 | |
| | セメント | 移出 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| | | 移入 | 4 | 3 | 2 | 5 | |
| | | 計 | 6 | 5 | 4 | 7 | |
| | その他化学工業品 | 移出 | 135 | 122 | 116 | 142 | |
| 移入 | | 82 | 84 | 98 | 67 | | |
| 計 | | 217 | 206 | 214 | 209 | | |
| 軽工業品 | 紙・パルプ | 移出 | 183 | 49 | 61 | 183 | |
| | | 移入 | 977 | 623 | 686 | 977 | |
| | | 計 | 1,160 | 672 | 747 | 1,160 | |
| | 砂糖 | 移出 | 10 | 12 | 9 | 9 | |
| | | 移入 | 58 | 63 | 58 | 58 | |
| | | 計 | 67 | 75 | 67 | 67 | |
| | その他軽工業品 | 移出 | 425 | 419 | 416 | 438 | |
| 移入 | | 252 | 228 | 232 | 260 | | |
| 計 | | 678 | 647 | 648 | 698 | | |
| 雑工業品 | 移出 | 315 | 319 | 308 | 320 | | |
| | 移入 | 91 | 83 | 99 | 90 | | |
| | 計 | 406 | 402 | 407 | 410 | | |
| 特殊品 | 金属くず | 移出 | 1 | 1 | 2 | 1 | |
| | | 移入 | 3 | 4 | 4 | 4 | |
| | | 計 | 4 | 5 | 6 | 5 | |
| | 廃棄物(廃土砂) | 移出 | 4 | 4 | 7 | 4 | |
| | | 移入 | 1 | 1 | 0 | 1 | |
| | | 計 | 4 | 4 | 8 | 5 | |
| | 取合せ品 | 移出 | 2,759 | 2,355 | 2,771 | 2,638 | |
| | | 移入 | 1,566 | 1,292 | 1,636 | 1,566 | |
| | | 計 | 4,325 | 3,647 | 4,407 | 4,204 | |
| | その他特殊品 | 移出 | 240 | 217 | 232 | 233 | |
| 移入 | | 222 | 279 | 280 | 213 | | |
| 計 | | 462 | 497 | 512 | 446 | | |
| 分類不能のもの | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 合計 | 移出 | 6,766 | 6,052 | 6,503 | 7,762 | | |
| | 移入 | 4,442 | 3,828 | 4,335 | 4,424 | | |
| | 計 | 11,208 | 9,881 | 10,837 | 12,186 | | |

4) 内貿公共ユニット貨物における品目別コンテナ化率の設定

目標年次における内貿公共ユニット貨物（コンテナ）の品目別コンテナ化率の設定値は、それぞれ次のとおりである。設定の考え方は、ユニット化率と同様の考え方とする。

表Ⅱ-1-42 内貿公共ユニット貨物量における品目別コンテナ化率の設定

| 品目分類 | 出入別 | 実績値 | | | 推計値 | 推計方法 |
|---------|-----------|------------|------------|------------|-------------|------|
| | | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 | |
| 農水産品 | 米穀類 | 移出 | 15% | 12% | 9% | 15% |
| | | 移入 | 20% | 21% | 24% | 23% |
| | | 計 | 16% | 15% | 14% | 18% |
| | 野菜・果物 | 移出 | 18% | 20% | 21% | 18% |
| | | 移入 | 56% | 49% | 45% | 55% |
| | | 計 | 41% | 38% | 35% | 40% |
| | 水産品 | 移出 | 22% | 79% | 65% | 34% |
| | | 移入 | 89% | 83% | 76% | 71% |
| | | 計 | 61% | 83% | 71% | 58% |
| | その他農水産品 | 移出 | 38% | 50% | 59% | 50% |
| 移入 | | 12% | 31% | 30% | 23% | |
| 計 | | 15% | 37% | 38% | 27% | |
| 林産品 | 原木 | 移出 | 0% | 0% | 0% | 0% |
| | | 移入 | 0% | 0% | 0% | 0% |
| | 製材 | 移出 | 62% | 63% | 61% | 55% |
| | | 移入 | 9% | 14% | 7% | 8% |
| | その他林産品 | 移出 | 23% | 32% | 21% | 19% |
| | | 移入 | 37% | 37% | 32% | 37% |
| 鉱産品 | 石炭 | 移出 | | 0% | | 0% |
| | | 移入 | 0% | 0% | | 0% |
| | | 計 | | | | |
| | 砂利・砂 | 移出 | 36% | 44% | 47% | 37% |
| | | 移入 | 39% | 34% | 43% | 27% |
| | | 計 | 37% | 41% | 45% | 33% |
| | 原油 | 移出 | | | | |
| | | 移入 | | | | |
| | | 計 | | | | |
| | | その他鉱産品 | 移出 | 22% | 21% | 30% |
| 金属機械工業品 | 鉄鋼 | 移出 | 3% | 8% | 5% | 8% |
| | | 移入 | 3% | 2% | 4% | 1% |
| | | 計 | 3% | 5% | 4% | 4% |
| | 非鉄金属・金属製品 | 移出 | 28% | 34% | 33% | 34% |
| | | 移入 | 22% | 50% | 49% | 32% |
| | | 計 | 25% | 39% | 38% | 33% |
| | 輸送機械 | 移出 | 1% | 1% | 1% | 1% |
| | | 移入 | 2% | 2% | 1% | 2% |
| | | 計 | 1% | 1% | 1% | 1% |
| | その他機械 | 移出 | 24% | 21% | 25% | 21% |
| 移入 | | 13% | 7% | 9% | 13% | |
| 計 | | 22% | 18% | 23% | 20% | |
| 化学工業品 | 石油類 | 移出 | 39% | 35% | 13% | 40% |
| | | 移入 | 29% | 53% | 5% | 35% |
| | | 計 | 39% | 36% | 13% | 40% |
| | セメント | 移出 | 47% | 46% | 40% | 45% |
| | | 移入 | 2% | 6% | 3% | 0% |
| | その他化学工業品 | 移出 | 14% | 21% | 20% | 14% |
| 移入 | | 33% | 32% | 34% | 31% | |
| 軽工業品 | 紙・パルプ | 移出 | 11% | 23% | 19% | 11% |
| | | 移入 | 11% | 10% | 8% | 11% |
| | | 計 | 11% | 11% | 9% | 11% |
| | 砂糖 | 移出 | 74% | 78% | 85% | 74% |
| | | 移入 | 65% | 64% | 72% | 65% |
| | | 計 | 66% | 67% | 73% | 66% |
| その他軽工業品 | 移出 | 41% | 43% | 41% | 40% | |
| | 移入 | 26% | 27% | 25% | 26% | |
| | 計 | 36% | 38% | 36% | 35% | |
| 雑工業品 | 移出 | 34% | 33% | 29% | 34% | |
| | 移入 | 14% | 15% | 12% | 18% | |
| | 計 | 30% | 29% | 25% | 30% | |
| 特殊品 | 金属くず | 移出 | 6% | 27% | 51% | 6% |
| | | 移入 | 47% | 44% | 43% | 47% |
| | | 計 | 38% | 40% | 46% | 40% |
| | 廃棄物(廃土砂) | 移出 | 81% | 69% | 59% | 94% |
| | | 移入 | 98% | 100% | 100% | 100% |
| | | 計 | 83% | 73% | 62% | 95% |
| | 取合せ品 | 移出 | 14% | 16% | 14% | 14% |
| | | 移入 | 5% | 6% | 6% | 6% |
| | | 計 | 11% | 13% | 11% | 11% |
| | その他特殊品 | 移出 | 18% | 19% | 19% | 19% |
| 移入 | | 55% | 63% | 64% | 56% | |
| 計 | | 36% | 44% | 43% | 36% | |
| 分類不能のもの | 移出 | | | | | |
| 合計 | 移出 | 13% | 14% | 13% | 11% | |
| | 移入 | 11% | 13% | 12% | 12% | |
| | 計 | 13% | 14% | 13% | 12% | |

内貿公共ユニット貨物に占める内貿公共コンテナ貨物の比率を算出

※1 実際のユニット貨物におけるコンテナ貨物量算定時には、82品目別にユニット貨物のコンテナ化率を推計

※2 貨物の取扱がなくコンテナ化率が算定できない箇所は空欄としている

5) 内貿公共ユニット貨物（コンテナ）取扱量の設定

目標年次における内貿公共ユニット貨物（コンテナ）の取扱量の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表 II-1-43 内貿公共ユニット貨物量（コンテナ）の設定

| 品目分類 | | 出入別 | 単位：千トン | | | | 推計方法 |
|---------|-----------|-------|-------------------|----------------------------------|-------|--------------------|------|
| | | | 実績値 R1 2019 | 実績値（参考） R2 2020 R3 2021 | | 推計値 R17 2035 | |
| 農水産品 | 米穀類 | 移出 | 7 | 5 | 4 | 7 | |
| | | 移入 | 4 | 5 | 6 | 6 | |
| | | 計 | 11 | 11 | 10 | 13 | |
| | 野菜・果物 | 移出 | 6 | 6 | 7 | 6 | |
| | | 移入 | 29 | 23 | 20 | 27 | |
| | | 計 | 35 | 29 | 27 | 33 | |
| | 水産品 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 1 | 0 | 0 | 1 | |
| | | 計 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | その他農水産品 | 移出 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 移入 | | 2 | 2 | 2 | 2 | | |
| 計 | | 2 | 2 | 3 | 3 | | |
| 林産品 | 原木 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 製材 | 移出 | 3 | 3 | 2 | 2 | |
| | | 移入 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | | 計 | 4 | 5 | 3 | 3 | |
| | その他林産品 | 移出 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| 移入 | | 2 | 2 | 2 | 3 | | |
| 計 | | 5 | 5 | 5 | 6 | | |
| 鉱産品 | 石炭 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 砂利・砂 | 移出 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| | | 移入 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | | 計 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| | 原油 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他鉱産品 | 移出 | 0 | 0 | 1 | 0 | |
| 移入 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 計 | | 0 | 0 | 1 | 1 | | |
| 金属機械工業品 | 鉄鋼 | 移出 | 1 | 1 | 1 | 2 | |
| | | 移入 | 1 | 0 | 1 | 1 | |
| | | 計 | 2 | 2 | 1 | 2 | |
| | 非鉄金属・金属製品 | 移出 | 9 | 8 | 9 | 10 | |
| | | 移入 | 6 | 6 | 6 | 9 | |
| | | 計 | 15 | 14 | 15 | 19 | |
| | 輸送機械 | 移出 | 18 | 14 | 16 | 20 | |
| | | 移入 | 16 | 15 | 15 | 19 | |
| | | 計 | 35 | 30 | 31 | 39 | |
| | その他機械 | 移出 | 45 | 45 | 57 | 47 | |
| 移入 | | 5 | 3 | 4 | 5 | | |
| 計 | | 50 | 49 | 61 | 51 | | |
| 化学工業品 | 石油類 | 移出 | 7 | 7 | 2 | 7 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 7 | 7 | 2 | 7 | |
| | セメント | 移出 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | その他化学工業品 | 移出 | 44 | 39 | 40 | 45 | |
| 移入 | | 9 | 9 | 8 | 9 | | |
| 計 | | 53 | 48 | 48 | 53 | | |
| 軽工業品 | 紙・パルプ | 移出 | 20 | 11 | 11 | 20 | |
| | | 移入 | 108 | 64 | 53 | 108 | |
| | | 計 | 128 | 76 | 64 | 128 | |
| | 砂糖 | 移出 | 7 | 10 | 8 | 7 | |
| | | 移入 | 37 | 40 | 41 | 37 | |
| | | 計 | 45 | 50 | 49 | 44 | |
| | その他軽工業品 | 移出 | 176 | 181 | 172 | 176 | |
| 移入 | | 65 | 63 | 59 | 68 | | |
| 計 | | 241 | 243 | 231 | 244 | | |
| 雑工業品 | 移出 | 107 | 105 | 90 | 108 | | |
| | 移入 | 13 | 12 | 12 | 16 | | |
| | 計 | 120 | 118 | 103 | 124 | | |
| 特殊品 | 金属くず | 移出 | 0 | 0 | 1 | 0 | |
| | | 移入 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| | | 計 | 2 | 2 | 3 | 2 | |
| | 廃棄物(廃土砂) | 移出 | 3 | 3 | 4 | 4 | |
| | | 移入 | 0 | 1 | 0 | 1 | |
| | | 計 | 3 | 3 | 5 | 5 | |
| | 取合せ品 | 移出 | 398 | 379 | 394 | 379 | |
| | | 移入 | 85 | 82 | 104 | 87 | |
| | | 計 | 483 | 462 | 497 | 466 | |
| | その他特殊品 | 移出 | 44 | 41 | 44 | 44 | |
| 移入 | | 123 | 175 | 178 | 118 | | |
| 計 | | 167 | 216 | 222 | 162 | | |
| 分類不能のもの | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 合計 | 移出 | 903 | 867 | 870 | 890 | | |
| | 移入 | 510 | 508 | 515 | 521 | | |
| | 計 | 1,413 | 1,374 | 1,385 | 1,411 | | |

内貿公共ユニット貨物に対してコンテナ化率を乗じて算出

(3) 内貿公共在来貨物取扱量の設定

目標年次における内貿公共在来貨物量の取扱量の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表 II-1-44 内貿公共在来貨物量の設定

単位：千トン

| 品目分類 | 出入別 | 実績値 | | | 推計値 | 推計方法 |
|----------|-----------|------------|------------|------------|-------------|-------|
| | | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 | |
| 農水産品 | 米穀類 | 移出 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 77 | 82 | 100 | 66 |
| | | 計 | 77 | 83 | 100 | 67 |
| | 野菜・果物 | 移出 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| | 水産品 | 移出 | 8 | 8 | 9 | 8 |
| | | 移入 | 11 | 11 | 11 | 11 |
| | | 計 | 20 | 20 | 20 | 19 |
| | その他農水産品 | 移出 | 8 | 9 | 9 | 8 |
| 移入 | | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 計 | | 8 | 9 | 9 | 8 | |
| 林産品 | 原木 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 製材 | 移出 | 16 | 11 | 11 | 18 |
| | | 移入 | 6 | 2 | 2 | 4 |
| | | 計 | 22 | 13 | 13 | 22 |
| その他林産品 | 移出 | 2 | 3 | 3 | 2 | |
| | 移入 | 1 | 2 | 1 | 2 | |
| | 計 | 3 | 5 | 4 | 4 | |
| 鉱産品 | 石炭 | 移出 | 0 | 10 | 17 | 4 |
| | | 移入 | 3 | 39 | 61 | 3 |
| | | 計 | 3 | 49 | 78 | 6 |
| | 砂利・砂 | 移出 | 15 | 3 | 3 | 21 |
| | | 移入 | 1,920 | 1,625 | 1,602 | 1,969 |
| | | 計 | 1,934 | 1,628 | 1,605 | 1,990 |
| | 原油 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他鉱産品 | 移出 | 51 | 46 | 63 | 22 |
| 移入 | | 106 | 112 | 92 | 70 | |
| 計 | | 157 | 157 | 155 | 92 | |
| 金属機械工業品 | 鉄鋼 | 移出 | 12 | 15 | 13 | 4 |
| | | 移入 | 341 | 283 | 308 | 341 |
| | | 計 | 353 | 298 | 322 | 345 |
| | 非鉄金属・金属製品 | 移出 | 15 | 17 | 19 | 16 |
| | | 移入 | 39 | 37 | 46 | 41 |
| | | 計 | 54 | 54 | 64 | 57 |
| | 輸送機械 | 移出 | 23 | 23 | 24 | 30 |
| | | 移入 | 7 | 10 | 9 | 10 |
| | | 計 | 30 | 33 | 33 | 40 |
| | その他機械 | 移出 | 18 | 14 | 15 | 22 |
| 移入 | | 16 | 12 | 13 | 16 | |
| 計 | | 34 | 26 | 28 | 38 | |
| 化学工業品 | 石油類 | 移出 | 13 | 12 | 13 | 13 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 13 | 13 | 13 | 13 |
| | セメント | 移出 | 32 | 30 | 30 | 31 |
| | | 移入 | 480 | 499 | 479 | 544 |
| | | 計 | 512 | 529 | 509 | 575 |
| その他化学工業品 | 移出 | 43 | 54 | 63 | 40 | |
| | 移入 | 121 | 59 | 51 | 125 | |
| | 計 | 164 | 114 | 114 | 165 | |
| 軽工業品 | 紙・パルプ | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 241 | 193 | 257 | 241 |
| | | 計 | 241 | 193 | 257 | 241 |
| | 砂糖 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他軽工業品 | 移出 | 7 | 7 | 6 | 7 | |
| | 移入 | 142 | 138 | 137 | 142 | |
| | 計 | 149 | 144 | 143 | 149 | |
| 雑工業品 | 移出 | 24 | 22 | 24 | 24 | |
| | 移入 | 3 | 17 | 14 | 2 | |
| | 計 | 26 | 39 | 38 | 27 | |
| 特殊品 | 金属くず | 移出 | 17 | 19 | 24 | 17 |
| | | 移入 | 11 | 12 | 14 | 14 |
| | | 計 | 28 | 31 | 38 | 31 |
| | 廃棄物(廃土砂) | 移出 | 1,146 | 1,688 | 2,148 | 1,544 |
| | | 移入 | 9 | 16 | 13 | 9 |
| | | 計 | 1,155 | 1,703 | 2,161 | 1,553 |
| | 取合せ品 | 移出 | 41 | 42 | 49 | 40 |
| | | 移入 | 22 | 23 | 27 | 22 |
| | | 計 | 63 | 65 | 76 | 61 |
| | その他特殊品 | 移出 | 12 | 14 | 14 | 19 |
| 移入 | | 26 | 30 | 28 | 25 | |
| 計 | | 37 | 44 | 41 | 44 | |
| 分類不能のもの | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | 移出 | 1,508 | 2,054 | 2,562 | 1,897 | |
| | 移入 | 3,580 | 3,202 | 3,264 | 3,656 | |
| | 計 | 5,089 | 5,255 | 5,826 | 5,553 | |

内貿公共貨物（国際
フィーダー、内貿公
共フェリーを除く）
から内貿公共ユニッ
ト貨物を差し引き算
出

(4) 内貿公共フェリー貨物取扱量の設定

目標年次における内貿公共フェリー貨物量は、現在東京港に就航しているフェリー航路（1航路）が維持されるものとする。

表Ⅱ-1-45 内貿公共フェリー貨物量の設定

| 品目分類 | 出入別 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値（参考） | | | 推計値 |
|--------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|-----|
| | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R17 | |
| | | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2035 | |
| フェリー貨物 | 移出 | 3,604 | 4,844 | 3,941 | 4,397 | 4,216 | 4,295 | 4,775 | 5,396 | 5,676 | 5,567 | 4,981 | 5,325 | 5,654 | |
| | 移入 | 3,453 | 4,647 | 3,838 | 4,153 | 3,826 | 3,999 | 4,351 | 4,690 | 5,193 | 5,168 | 4,825 | 5,261 | 5,654 | |
| | 計 | 7,057 | 9,491 | 7,779 | 8,550 | 8,043 | 8,294 | 9,126 | 10,086 | 10,868 | 10,735 | 9,806 | 10,585 | 11,308 | |

単位：千トン

(5) 国際フィーダー貨物取扱量の設定

1) 設定の考え方

国際フィーダー貨物は、大井コンテナ、青海コンテナ、品川コンテナ、中央防波堤外側の各埠頭で取り扱われている内貿コンテナ貨物とする。

また、目標年次における国際フィーダー貨物の取扱量の設定の考え方は、それぞれ次のとおりであり、82品目について取扱量を設定した。

表 II-1-46 国際フィーダー貨物取扱量の設定の考え方

| 取扱貨物量の状況 | 推計方法 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 直近の実績値（過去5年間）が、経過年と強い相関^{※1}がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 最新年維持（基準年実績値） |
| <ul style="list-style-type: none"> 直近の実績値（過去5年間）が、経過年と強い相関^{※1}がない。 | <ul style="list-style-type: none"> 過去5カ年の取扱の平均値 |
| <ul style="list-style-type: none"> 過去5カ年のうち、3年以上取扱実績がない貨物、または外貿コンテナ貨物として将来的に取扱がないと設定する品目 | <ul style="list-style-type: none"> 取扱なし |

※1 強い相関とは、以下のとおり相関係数の絶対値が0.7以上1.0以下を指す。

相関係数及び決定係数の解釈

| 相関係数の絶対値 | → | 決定係数の絶対値 | 解釈 |
|-------------------------|---|---------------------------|-------------|
| $0.0 \leq R \leq 0.2$ | → | $0.0 \leq R^2 \leq 0.04$ | ほとんど相関関係がない |
| $0.2 \leq R \leq 0.4$ | → | $0.04 \leq R^2 \leq 0.16$ | やや相関関係がある |
| $0.4 \leq R \leq 0.7$ | → | $0.16 \leq R^2 \leq 0.49$ | かなり相関関係がある |
| $0.7 \leq R \leq 1.0$ | → | $0.49 \leq R^2 \leq 1.0$ | 強い相関関係がある |

2) 国際フィーダー貨物取扱量の設定

目標年次における国際フィーダー貨物の取扱量の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ-1-47 国際フィーダー貨物量の設定

| 品目分類 | 出入別 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | | 推計値 |
|---------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|-----|
| | | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 | |
| 農水産品 | 米穀類 | 移出 | 2 | 8 | 3 | 14 | 8 | 2 | 2 | 9 | 20 | 23 | 15 | 18 | 24 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 2 | 8 | 3 | 14 | 8 | 2 | 2 | 9 | 20 | 23 | 15 | 18 | 24 | |
| | 野菜・果物 | 移出 | 10 | 7 | 18 | 26 | 27 | 39 | 29 | 40 | 42 | 46 | 13 | 6 | 39 |
| | | 移入 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 | 5 | 4 | 5 | 4 | 4 | 5 |
| | 計 | 14 | 10 | 22 | 30 | 31 | 42 | 33 | 46 | 46 | 51 | 16 | 10 | 44 | |
| | 水産品 | 移出 | 5 | 3 | 11 | 15 | 16 | 19 | 23 | 18 | 27 | 19 | 27 | 9 | 21 |
| | | 移入 | 8 | 6 | 6 | 7 | 9 | 10 | 9 | 10 | 11 | 20 | 10 | 11 | 20 |
| | 計 | 13 | 9 | 17 | 21 | 25 | 29 | 32 | 28 | 38 | 40 | 37 | 20 | 42 | |
| | その他農水産品 | 移出 | 31 | 17 | 25 | 25 | 23 | 18 | 12 | 25 | 24 | 11 | 6 | 4 | 18 |
| 移入 | | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 15 | 0 | 1 | 15 | |
| 計 | 31 | 20 | 26 | 25 | 23 | 19 | 12 | 25 | 29 | 26 | 6 | 5 | 33 | | |
| 林産品 | 原木 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | |
| | 製材 | 移出 | 11 | 13 | 31 | 43 | 37 | 20 | 12 | 15 | 50 | 44 | 35 | 47 | 44 |
| | | 移入 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 11 | 17 | 31 | 43 | 37 | 21 | 12 | 15 | 50 | 44 | 35 | 47 | 44 | |
| | その他林産品 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 0 | 3 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 8 | 2 | 0 | 3 | |
| | 鉱産品 | 石炭 | 移出 | 0 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 移入 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 砂利・砂 | | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 原油 | | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他鉱産品 | | 移出 | 9 | 1 | 7 | 6 | 1 | 6 | 3 | 5 | 9 | 4 | 2 | 3 | 5 |
| | 移入 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 計 | 9 | 3 | 7 | 6 | 2 | 6 | 3 | 5 | 9 | 4 | 2 | 3 | 5 | | |
| 金属機械工業品 | 鉄鋼 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 6 | 4 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 計 | 1 | 2 | 1 | 1 | 5 | 1 | 2 | 7 | 5 | 0 | 0 | 0 | 3 | |
| | 非鉄金属・金属製品 | 移出 | 6 | 2 | 4 | 10 | 8 | 4 | 4 | 8 | 12 | 4 | 2 | 6 | 7 |
| | | 移入 | 1 | 2 | 1 | 4 | 0 | 0 | 9 | 18 | 5 | 3 | 2 | 0 | 7 |
| | 計 | 7 | 4 | 5 | 13 | 8 | 4 | 13 | 26 | 17 | 7 | 4 | 6 | 14 | |
| | 輸送機械 | 移出 | 6 | 4 | 2 | 9 | 7 | 4 | 10 | 12 | 7 | 4 | 2 | 6 | 8 |
| | | 移入 | 46 | 57 | 27 | 24 | 23 | 24 | 27 | 50 | 27 | 6 | 3 | 1 | 27 |
| | 計 | 52 | 61 | 29 | 32 | 30 | 28 | 38 | 62 | 35 | 10 | 5 | 7 | 34 | |
| | その他機械 | 移出 | 8 | 24 | 30 | 24 | 19 | 46 | 62 | 61 | 55 | 69 | 72 | 43 | 73 |
| 移入 | | 9 | 16 | 30 | 28 | 46 | 57 | 56 | 82 | 48 | 32 | 19 | 18 | 49 | |
| 計 | 17 | 39 | 61 | 52 | 64 | 104 | 117 | 143 | 103 | 101 | 91 | 60 | 123 | | |
| 化学工業品 | 石油類 | 移出 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | セメント | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他化学工業品 | 移出 | 18 | 17 | 15 | 16 | 13 | 8 | 13 | 33 | 32 | 15 | 8 | 15 | 20 |
| | | 移入 | 30 | 44 | 31 | 30 | 21 | 7 | 15 | 25 | 26 | 19 | 10 | 0 | 21 |
| | 計 | 48 | 61 | 46 | 46 | 34 | 16 | 29 | 58 | 57 | 34 | 17 | 16 | 42 | |
| | 軽工業品 | 紙・パルプ | 移出 | 12 | 14 | 22 | 42 | 29 | 22 | 28 | 52 | 47 | 11 | 21 | 24 |
| 移入 | | | 1 | 2 | 2 | 8 | 2 | 0 | 1 | 2 | 1 | 3 | 2 | 8 | 3 |
| 計 | | 13 | 15 | 24 | 49 | 31 | 22 | 29 | 54 | 49 | 14 | 23 | 33 | 35 | |
| 砂糖 | | 移出 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 4 | 1 | 7 | 10 | 4 | 6 | 6 | 5 |
| | | 移入 | 17 | 12 | 11 | 13 | 3 | 0 | 5 | 7 | 6 | 11 | 7 | 0 | 11 |
| 計 | | 17 | 12 | 12 | 14 | 4 | 4 | 7 | 14 | 16 | 15 | 12 | 7 | 16 | |
| その他軽工業品 | | 移出 | 37 | 28 | 45 | 71 | 53 | 42 | 48 | 93 | 100 | 92 | 75 | 34 | 107 |
| | | 移入 | 26 | 23 | 11 | 15 | 5 | 2 | 11 | 17 | 11 | 8 | 3 | 0 | 8 |
| 計 | | 63 | 51 | 56 | 86 | 58 | 45 | 58 | 109 | 110 | 100 | 78 | 35 | 115 | |
| 雑工業品 | | 金属くず | 移出 | 52 | 43 | 28 | 41 | 30 | 7 | 20 | 53 | 43 | 35 | 35 | 42 |
| | 移入 | | 107 | 84 | 59 | 40 | 24 | 2 | 18 | 20 | 10 | 6 | 3 | 8 | 11 |
| | 計 | 159 | 128 | 87 | 81 | 54 | 9 | 38 | 73 | 54 | 41 | 37 | 50 | 51 | |
| | 廃棄物(塵土砂) | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 取合せ品 | 移出 | 269 | 278 | 312 | 293 | 276 | 205 | 236 | 374 | 287 | 256 | 330 | 252 | 271 |
| | | 移入 | 358 | 352 | 392 | 328 | 375 | 308 | 354 | 557 | 535 | 652 | 595 | 509 | 652 |
| | 計 | 627 | 630 | 704 | 621 | 651 | 512 | 590 | 931 | 822 | 908 | 924 | 761 | 923 | |
| | その他特殊品 | 移出 | 35 | 23 | 36 | 27 | 48 | 38 | 24 | 58 | 58 | 51 | 64 | 36 | 47 |
| 移入 | | 2 | 4 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | |
| 計 | 37 | 27 | 36 | 28 | 49 | 39 | 25 | 60 | 59 | 51 | 64 | 37 | 47 | | |
| 分類不能のもの | 移出 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 合計 | 移出 | 513 | 483 | 593 | 668 | 609 | 489 | 531 | 866 | 827 | 693 | 716 | 552 | 767 |
| | | 移入 | 609 | 617 | 575 | 502 | 515 | 416 | 512 | 801 | 696 | 787 | 658 | 567 | 835 |
| | 計 | 1,123 | 1,100 | 1,168 | 1,169 | 1,123 | 904 | 1,043 | 1,667 | 1,523 | 1,479 | 1,374 | 1,119 | 1,601 | |

単位：千トン

3) 取扱個数（TEU）の設定

目標年次における国際フィーダー取扱個数等の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ-1-48 国際フィーダー取扱個数等の推計結果

| 区分 | 出入 | 実入・空別 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値（参考） | | 推計値 | 推計方法 | |
|---------------------------------|----|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-------|---------|-------------|
| | | | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | | | R17 2035 |
| 実入コンテナ トン-TEU換算率 (トン/TEU) | 移出 | 実入 | 11.7 | 11.3 | 10.8 | 11.2 | 10.3 | 10.5 | 9.6 | 10.6 | 12.6 | 13.5 | 11.5 | 11.2 | 13.5 | 現状維持 | |
| | 移入 | 実入 | 10.5 | 10.1 | 10.1 | 9.9 | 9.3 | 9.4 | 9.3 | 10.3 | 9.0 | 8.6 | 8.4 | 7.6 | 9.3 | | 過去5ヵ年平均 |
| | 計 | 実入 | 11.0 | 10.6 | 10.5 | 10.6 | 9.8 | 9.9 | 9.5 | 10.4 | 10.7 | 10.3 | 9.8 | 9.0 | 10.9 | | |
| 空コンテナ比率 (%) | 移出 | 空 | 82.1% | 83.1% | 80.7% | 79.0% | 79.1% | 83.2% | 79.7% | 73.5% | 78.2% | 79.3% | 76.0% | 83.6% | 78.8% | 過去5ヵ年平均 | |
| | 移入 | 空 | 4.3% | 6.4% | 2.1% | 3.8% | 1.8% | 2.2% | 2.3% | 9.0% | 8.7% | 3.0% | 7.8% | 6.8% | 5.0% | | 過去5ヵ年平均 |
| | 計 | 空 | 66.7% | 67.5% | 67.3% | 67.2% | 66.3% | 71.8% | 66.4% | 59.5% | 63.0% | 58.1% | 59.1% | 67.4% | 59.4% | | |
| コンテナ個数 (千TEU) | 移出 | 実入 | 44 | 43 | 55 | 59 | 59 | 47 | 55 | 82 | 66 | 51 | 62 | 49 | 57 | | |
| | | 空 | 201 | 211 | 229 | 224 | 224 | 231 | 217 | 227 | 236 | 196 | 196 | 252 | 210 | | |
| | 計 | 245 | 254 | 284 | 283 | 283 | 278 | 272 | 309 | 301 | 247 | 258 | 302 | 267 | | | |
| | 移入 | 実入 | 58 | 61 | 57 | 51 | 55 | 44 | 55 | 78 | 77 | 92 | 78 | 75 | 90 | | |
| | | 空 | 3 | 4 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 8 | 7 | 3 | 7 | 5 | 4 | | |
| | 計 | 61 | 65 | 58 | 53 | 56 | 45 | 56 | 86 | 84 | 95 | 85 | 80 | 94 | | | |
| コンテナ貨物量 (千トン) | 移出 | 実入 | 513 | 483 | 593 | 668 | 609 | 489 | 531 | 866 | 827 | 693 | 716 | 552 | 767 | | |
| | | 移入 | 609 | 617 | 575 | 502 | 515 | 416 | 512 | 801 | 696 | 787 | 658 | 567 | 835 | | |
| | 計 | 1,123 | 1,100 | 1,168 | 1,169 | 1,123 | 904 | 1,043 | 1,667 | 1,523 | 1,479 | 1,374 | 1,119 | 1,601 | | | |

(6) 内貿専用貨物取扱量の設定

目標年次における内貿専用貨物の取扱量の設定値は、それぞれ次のとおりである。

表 II-1-49 内貿専用貨物量の設定

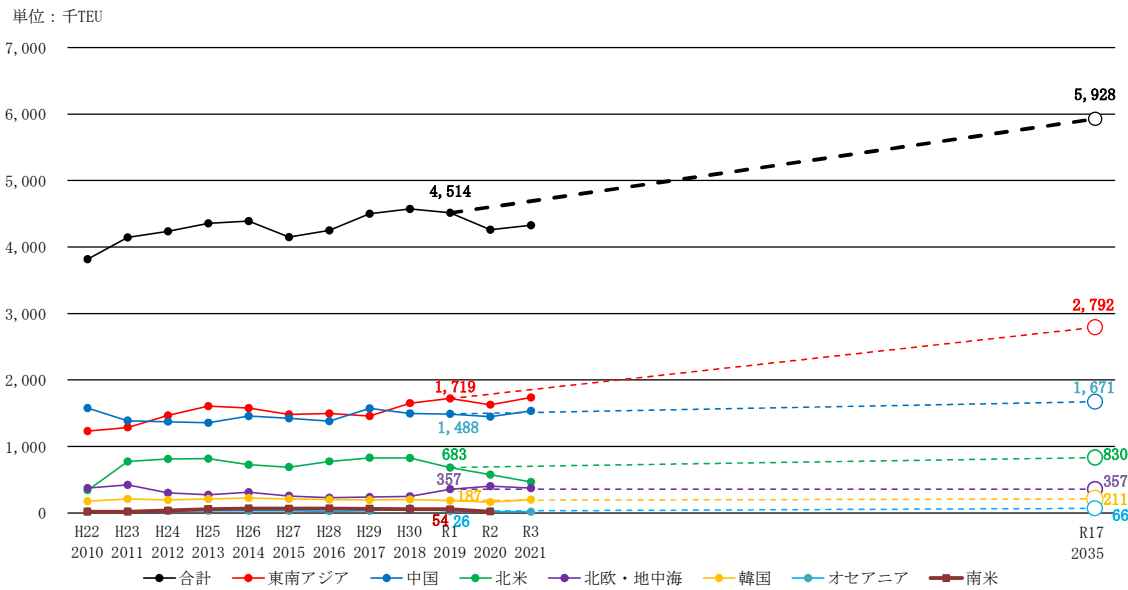
| 品目分類 | | 出入別 | 実績値 | | | 推計値 | 推計方法 |
|----------|-----------|--------|------------|------------|------------|-------------|---------------------------------------|
| | | | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 | |
| 農水産品 | 米穀類 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 内貿公共貨物と同様に、近年の貨物量推移を確認の上、最新年維持、平均値で算出 |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 野菜・果物 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 水産品 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他農水産品 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 林産品 | 原木 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 製材 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他林産品 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 鉱産品 | 石炭 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 砂利・砂 | 移出 | 23 | 22 | 20 | 13 | |
| | | 移入 | 2,831 | 2,160 | 2,378 | 3,672 | |
| | | 計 | 2,854 | 2,182 | 2,398 | 3,684 | |
| | 原油 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 計 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| その他鉱産品 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 金属機械工業品 | 鉄鋼 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 720 | 559 | 734 | 720 | |
| | | 計 | 720 | 559 | 734 | 720 | |
| | 非鉄金属・金属製品 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 輸送機械 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他機械 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 移入 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 計 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 化学工業品 | 石油類 | 移出 | 233 | 196 | 270 | 233 | |
| | | 移入 | 4,770 | 3,123 | 3,128 | 4,737 | |
| | | 計 | 5,003 | 3,319 | 3,398 | 4,971 | |
| | セメント | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 1,946 | 1,800 | 1,834 | 2,463 | |
| | | 計 | 1,946 | 1,800 | 1,834 | 2,463 | |
| その他化学工業品 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 移入 | 0 | 0 | 9 | 9 | | |
| | 計 | 0 | 0 | 9 | 9 | | |
| 軽工業品 | 紙・パルプ | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 砂糖 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他軽工業品 | 移出 | 50 | 34 | 42 | 50 | | |
| | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 計 | 50 | 34 | 42 | 50 | | |
| 雑工業品 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 特殊品 | 金属くず | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 0 | 1 | 1 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 1 | 1 | 0 | |
| | 廃棄物(廃土砂) | 移出 | 128 | 145 | 172 | 101 | |
| | | 移入 | 12 | 0 | 0 | 4 | |
| | | 計 | 140 | 145 | 172 | 105 | |
| | 取合せ品 | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他特殊品 | 移出 | 86 | 139 | 124 | 99 | |
| 移入 | | 0 | 1 | 1 | 0 | | |
| 計 | | 87 | 141 | 125 | 100 | | |
| 分類不能のもの | 移出 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 移入 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 合計 | 移出 | 521 | 536 | 629 | 497 | | |
| | 移入 | 10,280 | 7,645 | 8,086 | 11,597 | | |
| | 計 | 10,801 | 8,181 | 8,714 | 12,094 | | |

1-2-4 航路別外貿コンテナ取扱個数（TEU）の設定

目標年次における航路別外貿コンテナ取扱個数の設定値と設定の考え方は、それぞれ次のとおりである。

表Ⅱ-1-50 航路別外貿コンテナ取扱個数の設定

| 航路 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | | 推計方法 |
|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|--|
| | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 | |
| 北米 | 340 | 771 | 812 | 817 | 725 | 689 | 774 | 829 | 824 | 683 | 576 | 464 | 830 | ベース貨物683千TEU (R1実績値) +貿易促進等貨物(147千TEU) |
| 北欧・地中海 | 374 | 422 | 300 | 271 | 310 | 254 | 228 | 238 | 249 | 357 | 405 | 374 | 357 | ベース貨物357千TEU (R1実績値) |
| 南米 | 18 | 18 | 34 | 57 | 64 | 62 | 65 | 62 | 57 | 54 | 20 | 0 | 0 | 取扱いなし (R3取扱いなし) |
| オセアニア | 21 | 24 | 31 | 28 | 33 | 29 | 23 | 32 | 66 | 26 | 22 | 18 | 66 | ベース貨物66千TEU (過去5年の最大値) |
| 東南アジア | 1,230 | 1,285 | 1,466 | 1,607 | 1,578 | 1,482 | 1,494 | 1,459 | 1,652 | 1,719 | 1,627 | 1,736 | 2,792 | ベース貨物2,661千TEU (過去5年の最大値×約1.6倍) +貿易促進等貨物(131千TEU) |
| 韓国 | 174 | 209 | 194 | 206 | 224 | 211 | 199 | 196 | 201 | 187 | 164 | 199 | 211 | ベース貨物211千TEU (過去5年の最大値) |
| 中国 | 1,576 | 1,388 | 1,370 | 1,358 | 1,456 | 1,422 | 1,379 | 1,571 | 1,498 | 1,488 | 1,446 | 1,535 | 1,671 | ベース貨物1,571千TEU (過去5年の最大値) +貿易促進等貨物(100千TEU) |
| その他 | 84 | 27 | 28 | 10 | 0 | 0 | 90 | 113 | 24 | 0 | 0 | 0 | 0 | 取扱いなし |
| 合計 | 3,816 | 4,144 | 4,235 | 4,353 | 4,390 | 4,150 | 4,251 | 4,500 | 4,571 | 4,514 | 4,260 | 4,326 | 5,928 | |



図Ⅱ-1-11 航路別外貿コンテナ取扱個数の設定

2. 入港船舶隻数

2-1 入港最大標準船型

東京港における最大の水深・延長を有する施設の水深・延長に対応する標準的な船舶のトン数（DWT）を入港最大標準船型として設定する。

表Ⅱ-2-1 入港最大標準船型

| 当港の最大の水深・延長を有する施設 | 水深 | 延長 | 利用船舶の種類 | 対応する標準的な船舶のトン数 |
|---|------------------|------|---------|----------------|
| 外貿コンテナバース (大井埠頭・青海埠頭・ 中央防波堤外側埠頭・新海面処分場埠頭) | -15.0～ -16.5m | 400m | コンテナ船 | 150,000DWT |

2-2 船舶の利用状況

船舶の種類別、トン階級別の過去 10 年間の利用状況は、次のとおりである。

表 II-2-2 外航船舶の利用状況

| 外内別 | 種別 | トン階級 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | | | | |
|----------|---------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|---|---|---|---|
| | | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | | | | |
| | | | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | | | | |
| 外航船 合計 | | 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | 100~499 | 3 | 4 | 4 | 6 | 2 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 500~999 | 4 | 3 | 5 | 1 | 2 | 2 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 1,000~2,999 | 458 | 369 | 423 | 327 | 195 | 82 | 74 | 51 | 55 | 43 | 42 | 53 | - | - | - | - |
| | | 3,000~5,999 | 280 | 149 | 176 | 205 | 150 | 184 | 165 | 126 | 107 | 70 | 69 | 76 | - | - | - | - |
| | | 6,000~9,999 | 2,472 | 2,640 | 2,595 | 2,411 | 2,427 | 2,343 | 2,354 | 2,338 | 2,482 | 2,439 | 2,373 | 2,271 | - | - | - | - |
| | | 10,000~19,999 | 1,142 | 1,264 | 931 | 901 | 793 | 878 | 832 | 862 | 866 | 782 | 788 | 819 | - | - | - | - |
| | | 20,000~29,999 | 516 | 513 | 551 | 519 | 488 | 535 | 656 | 687 | 557 | 587 | 491 | 429 | - | - | - | - |
| | | 30,000~39,999 | 158 | 178 | 270 | 329 | 221 | 216 | 240 | 197 | 298 | 288 | 301 | 277 | - | - | - | - |
| | | 40,000~49,999 | 189 | 161 | 195 | 253 | 343 | 349 | 333 | 361 | 362 | 347 | 285 | 230 | - | - | - | - |
| | | 50,000~59,999 | 450 | 465 | 429 | 408 | 389 | 267 | 269 | 238 | 263 | 175 | 97 | 73 | - | - | - | - |
| | | 60,000~69,999 | 135 | 156 | 153 | 151 | 134 | 154 | 148 | 118 | 97 | 29 | 30 | 26 | - | - | - | - |
| | | 70,000~79,999 | 231 | 150 | 116 | 109 | 89 | 78 | 133 | 233 | 197 | 146 | 95 | 127 | - | - | - | - |
| | | 80,000~89,999 | 5 | - | 19 | 25 | 22 | 19 | 12 | 34 | 40 | 41 | 26 | 13 | - | - | - | - |
| | | 90,000~99,999 | 79 | 90 | 82 | 79 | 74 | 104 | 123 | 84 | 131 | 236 | 281 | 135 | - | - | - | - |
| | | 100,000~109,999 | 6 | 15 | 7 | 4 | 5 | 5 | 2 | 16 | 20 | 19 | 19 | 10 | - | - | - | - |
| | | 110,000~119,999 | - | - | - | - | - | 6 | 21 | 21 | 10 | 8 | 38 | 34 | - | - | - | - |
| 120,000~ | - | - | - | - | 3 | 3 | 2 | 2 | - | 20 | 10 | - | - | - | - | - | | |
| 合計 | | 6,128 | 6,157 | 5,956 | 5,731 | 5,343 | 5,240 | 5,366 | 5,355 | 5,504 | 5,247 | 4,945 | 4,573 | - | - | - | - | |
| 外航 | うちコンテナ船 | 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | 100~499 | - | - | 2 | 3 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 500~999 | - | - | - | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 1,000~2,999 | 1 | - | - | - | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 3,000~5,999 | 200 | 106 | 135 | 171 | 101 | 98 | 75 | 41 | 60 | 22 | 54 | 45 | - | - | - | - |
| | | 6,000~9,999 | 2,219 | 2,395 | 2,384 | 2,211 | 2,219 | 2,140 | 2,158 | 2,213 | 2,340 | 2,374 | 2,278 | 2,177 | - | - | - | - |
| | | 10,000~19,999 | 1,075 | 1,192 | 892 | 849 | 726 | 840 | 778 | 799 | 774 | 703 | 697 | 738 | - | - | - | - |
| | | 20,000~29,999 | 498 | 485 | 527 | 488 | 454 | 497 | 610 | 652 | 518 | 557 | 465 | 411 | - | - | - | - |
| | | 30,000~39,999 | 152 | 159 | 261 | 318 | 208 | 201 | 204 | 156 | 258 | 252 | 290 | 267 | - | - | - | - |
| | | 40,000~49,999 | 183 | 155 | 188 | 245 | 336 | 344 | 332 | 358 | 361 | 331 | 274 | 210 | - | - | - | - |
| | | 50,000~59,999 | 450 | 465 | 428 | 404 | 388 | 266 | 267 | 224 | 220 | 160 | 91 | 60 | - | - | - | - |
| | | 60,000~69,999 | 132 | 154 | 153 | 151 | 134 | 152 | 146 | 117 | 96 | 28 | 30 | 26 | - | - | - | - |
| | | 70,000~79,999 | 231 | 150 | 116 | 109 | 89 | 78 | 131 | 231 | 197 | 146 | 95 | 127 | - | - | - | - |
| | | 80,000~89,999 | 5 | - | 19 | 25 | 22 | 19 | 12 | 34 | 40 | 41 | 26 | 13 | - | - | - | - |
| | | 90,000~99,999 | 79 | 90 | 82 | 79 | 73 | 104 | 122 | 84 | 131 | 235 | 281 | 135 | - | - | - | - |
| | | 100,000~109,999 | 6 | 15 | 7 | 4 | 5 | 5 | 2 | 16 | 20 | 19 | 19 | 10 | - | - | - | - |
| | | 110,000~119,999 | - | - | - | - | - | 6 | 21 | 21 | 10 | 8 | 38 | 34 | - | - | - | - |
| 120,000~ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 20 | 10 | - | - | - | - | - | | |
| 小計 | | 5,231 | 5,366 | 5,194 | 5,058 | 4,764 | 4,767 | 4,858 | 4,935 | 5,043 | 4,910 | 4,648 | 4,253 | - | - | - | - | |
| | うち客船 | 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | 100~499 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 500~999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 1,000~2,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 3,000~5,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 6,000~9,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | 1 | - | - | - | - | - | - |
| | | 10,000~19,999 | - | - | - | - | 1 | - | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 20,000~29,999 | 1 | - | 4 | 5 | 4 | 3 | 6 | 4 | 6 | 3 | 1 | - | - | - | - | - |
| | | 30,000~39,999 | 1 | - | 1 | 1 | 4 | 2 | 1 | - | - | 4 | - | - | - | - | - | - |
| | | 40,000~49,999 | - | - | - | - | 1 | 2 | 1 | 1 | - | 13 | - | - | - | - | - | - |
| | | 50,000~59,999 | - | - | - | - | 1 | 1 | 2 | 9 | 24 | 9 | - | - | - | - | - | - |
| | | 60,000~69,999 | - | - | - | - | - | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 70,000~79,999 | - | - | - | - | - | - | 2 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 80,000~89,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 90,000~99,999 | - | - | - | - | 1 | - | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - |
| | | 100,000~109,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 110,000~119,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 120,000~ | - | - | - | 3 | 3 | 2 | 2 | - | - | 2 | - | - | - | - | - | - | | |
| 小計 | | 2 | - | 5 | 9 | 15 | 11 | 18 | 16 | 32 | 33 | 1 | - | - | - | - | | |
| | その他貨物船等 | 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | 100~499 | 3 | 4 | 2 | 3 | 1 | 1 | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - |
| | | 500~999 | 4 | 3 | 5 | - | 1 | 1 | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - |
| | | 1,000~2,999 | 457 | 369 | 423 | 327 | 194 | 81 | 74 | 51 | 55 | 43 | 42 | 53 | - | - | - | - |
| | | 3,000~5,999 | 80 | 43 | 41 | 34 | 49 | 86 | 90 | 85 | 47 | 48 | 15 | 31 | - | - | - | - |
| | | 6,000~9,999 | 253 | 245 | 211 | 200 | 208 | 203 | 196 | 125 | 140 | 64 | 95 | 94 | - | - | - | - |
| | | 10,000~19,999 | 67 | 72 | 39 | 52 | 66 | 38 | 52 | 63 | 92 | 79 | 91 | 81 | - | - | - | - |
| | | 20,000~29,999 | 17 | 28 | 20 | 26 | 30 | 35 | 40 | 31 | 33 | 27 | 25 | 18 | - | - | - | - |
| | | 30,000~39,999 | 5 | 19 | 8 | 10 | 9 | 13 | 35 | 41 | 40 | 32 | 11 | 10 | - | - | - | - |
| | | 40,000~49,999 | 6 | 6 | 7 | 8 | 6 | 3 | - | 2 | 1 | 3 | 11 | 20 | - | - | - | - |
| | | 50,000~59,999 | - | - | 1 | 4 | - | - | - | 5 | 19 | 6 | 6 | 13 | - | - | - | - |
| | | 60,000~69,999 | 3 | 2 | - | - | - | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - |
| | | 70,000~79,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 80,000~89,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 90,000~99,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 100,000~109,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 110,000~119,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 120,000~ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 小計 | | 895 | 791 | 757 | 664 | 564 | 462 | 490 | 404 | 429 | 304 | 296 | 320 | - | - | - | - | |

※1 コンテナ船：フルコンテナ船、セミコンテナ船の合計

※2 その他貨物船等：コンテナ船、客船を除く船舶の合計

表Ⅱ-2-3 内航船舶の利用状況

単位:隻

| 外内別 | 種別 | トン階級 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | |
|---------------|---------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|--------|
| | | | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | |
| 内航船 合計 | | 5~99 | 1,128 | 890 | 753 | 488 | 285 | 457 | 348 | 168 | 235 | 291 | 162 | 233 | |
| | | 100~499 | 12,328 | 12,086 | 11,539 | 11,733 | 11,704 | 10,375 | 9,363 | 9,729 | 9,813 | 9,248 | 8,449 | 9,257 | |
| | | 500~999 | 2,309 | 2,363 | 2,435 | 2,919 | 2,676 | 2,672 | 2,463 | 2,924 | 3,172 | 3,009 | 2,719 | 2,529 | |
| | | 1,000~2,999 | 1,222 | 1,316 | 1,388 | 1,539 | 1,507 | 1,488 | 1,308 | 1,623 | 1,778 | 1,722 | 1,172 | 1,162 | |
| | | 3,000~5,999 | 1,206 | 1,299 | 1,479 | 1,446 | 1,438 | 1,373 | 1,299 | 1,242 | 1,276 | 1,241 | 932 | 832 | |
| | | 6,000~9,999 | 866 | 865 | 893 | 851 | 884 | 835 | 848 | 769 | 609 | 458 | 469 | 629 | |
| | | 10,000~19,999 | 1,204 | 1,369 | 1,278 | 1,354 | 1,412 | 1,544 | 1,658 | 1,777 | 1,979 | 2,161 | 2,300 | 2,357 | |
| | | 20,000~29,999 | 19 | 13 | 20 | 31 | 8 | 13 | 11 | 12 | 8 | 3 | 6 | 3 | |
| | | 30,000~39,999 | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | 40,000~49,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | 50,000~59,999 | - | - | 2 | 2 | 2 | - | 1 | 5 | - | 2 | - | - | |
| | | 60,000~ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | 合計 | | 20,283 | 20,201 | 19,787 | 20,364 | 19,916 | 18,757 | 17,299 | 18,249 | 18,870 | 18,135 | 16,209 | 17,002 |
| | | 内航 | うちフィーダー船 | 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 100~499 | 622 | | | 606 | 709 | 570 | 122 | 100 | 231 | 32 | 337 | 366 | 372 | 406 | |
| 500~999 | 391 | | | 347 | 441 | 556 | 600 | 417 | 523 | 735 | 975 | 1,158 | 1,036 | 869 | |
| 1,000~2,999 | - | | | - | - | - | - | - | 2 | 45 | 128 | 135 | 98 | 95 | |
| 3,000~5,999 | - | | | 4 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 6,000~9,999 | 145 | | | 144 | 36 | - | - | - | 51 | 51 | 80 | 75 | 73 | 93 | |
| 10,000~19,999 | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 20,000~29,999 | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 30,000~39,999 | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 40,000~49,999 | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 50,000~59,999 | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 60,000~ | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 小計 | | | | 1,158 | 1,101 | 1,187 | 1,126 | 722 | 517 | 807 | 863 | 1,523 | 1,734 | 1,579 | 1,463 |
| うちRORO船 | 5~99 | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 100~499 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 500~999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 1,000~2,999 | 51 | 46 | 34 | 21 | 10 | 14 | 11 | 7 | 5 | 8 | 10 | 18 | | |
| | 3,000~5,999 | 203 | 193 | 182 | 192 | 143 | 113 | 50 | 25 | - | - | - | - | | |
| | 6,000~9,999 | 491 | 494 | 625 | 612 | 645 | 685 | 696 | 630 | 432 | 303 | 144 | 142 | | |
| | 10,000~19,999 | 811 | 915 | 890 | 959 | 1,028 | 1,140 | 1,215 | 1,305 | 1,509 | 1,688 | 1,835 | 1,891 | | |
| | 20,000~29,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 30,000~39,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 40,000~49,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 50,000~59,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 60,000~ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 小計 | | 1,556 | 1,649 | 1,731 | 1,784 | 1,826 | 1,952 | 1,972 | 1,967 | 1,946 | 1,999 | 1,989 | 2,051 | |
| | うち客船(クルーズ) | 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 100~499 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 500~999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 1,000~2,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 3,000~5,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 6,000~9,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 10,000~19,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 20,000~29,999 | | 19 | 13 | 20 | 31 | 8 | 13 | 11 | 12 | 8 | 2 | 6 | 3 | | |
| 30,000~39,999 | | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 40,000~49,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 50,000~59,999 | | - | - | 2 | 2 | 2 | - | 1 | 5 | - | 2 | - | - | | |
| 60,000~ | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 小計 | | | 20 | 13 | 22 | 34 | 10 | 13 | 12 | 17 | 8 | 4 | 6 | 3 | |
| うち内航フェリー | | 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | 100~499 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 500~999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 1,000~2,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 3,000~5,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 6,000~9,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 10,000~19,999 | 333 | 400 | 334 | 333 | 319 | 332 | 346 | 352 | 347 | 349 | 345 | 348 | | |
| | 20,000~29,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 30,000~39,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 40,000~49,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 50,000~59,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 60,000~ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 小計 | | 333 | 400 | 334 | 333 | 319 | 332 | 346 | 352 | 347 | 349 | 345 | 348 | |
| | その他貨物船等 | 5~99 | 1,128 | 890 | 753 | 488 | 285 | 457 | 348 | 168 | 235 | 291 | 162 | 233 | |
| 100~499 | | 11,706 | 11,479 | 10,830 | 11,163 | 11,582 | 10,275 | 9,132 | 9,697 | 9,476 | 8,882 | 8,077 | 8,851 | | |
| 500~999 | | 1,918 | 2,016 | 1,994 | 2,363 | 2,076 | 2,255 | 1,940 | 2,189 | 2,194 | 1,851 | 1,683 | 1,660 | | |
| 1,000~2,999 | | 1,171 | 1,270 | 1,354 | 1,518 | 1,497 | 1,474 | 1,295 | 1,571 | 1,645 | 1,579 | 1,064 | 1,049 | | |
| 3,000~5,999 | | 1,003 | 1,102 | 1,296 | 1,254 | 1,295 | 1,260 | 1,249 | 1,217 | 1,276 | 1,241 | 932 | 832 | | |
| 6,000~9,999 | | 230 | 227 | 232 | 239 | 239 | 150 | 101 | 88 | 97 | 80 | 252 | 394 | | |
| 10,000~19,999 | | 60 | 54 | 54 | 62 | 65 | 72 | 97 | 120 | 123 | 124 | 120 | 118 | | |
| 20,000~29,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | | |
| 30,000~39,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 40,000~49,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 50,000~59,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 60,000~ | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 小計 | | | 17,216 | 17,038 | 16,513 | 17,087 | 17,039 | 15,943 | 14,162 | 15,050 | 15,046 | 14,049 | 12,290 | 13,137 | |

※1 フィーダー船：フルコンテナ船、セミコンテナ船の合計

※2 その他貨物船等：フィーダー船、RORO船、フェリー、客船を除く船舶の合計

2-3 入港船舶隻数の推計

2-3-1 外航船舶

(1) コンテナ船

1) 北米航路、欧州航路

北米航路、欧州航路は、東京港以外の他国の港で積卸する貨物の割合が高いため、1隻当たりの取扱貨物量を算出し、将来入港隻数を設定する。

次のフローに従い、入港船舶隻数を推計する。

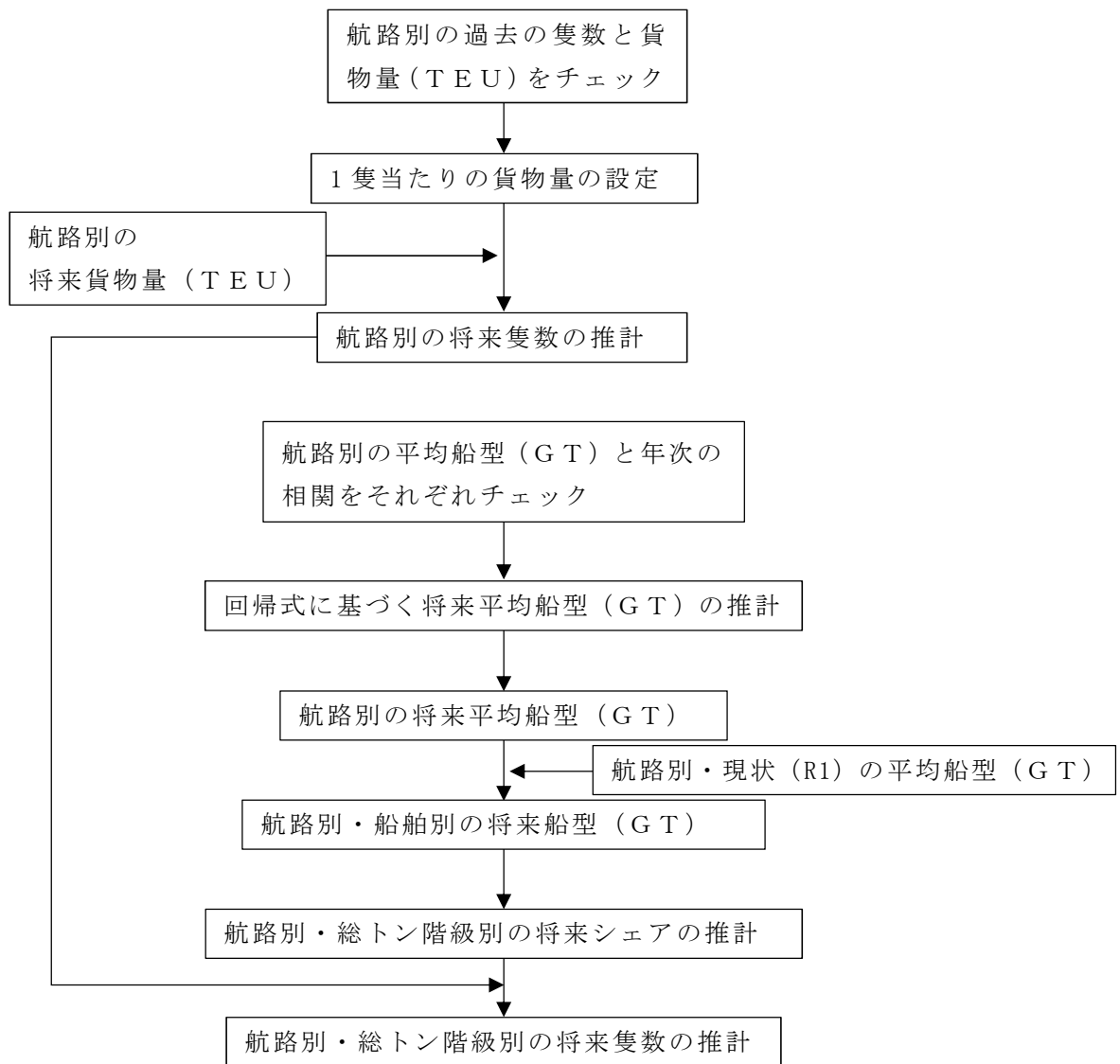


図 II-2-1 隻数の推計フロー

2) 東南アジア航路、中国航路

東南アジア航路、中国航路は、東京港で積卸する貨物の割合が高いため、貨物量と相関を確認し将来入港隻数を設定する

次のフローに従い、入港船舶隻数を推計する。

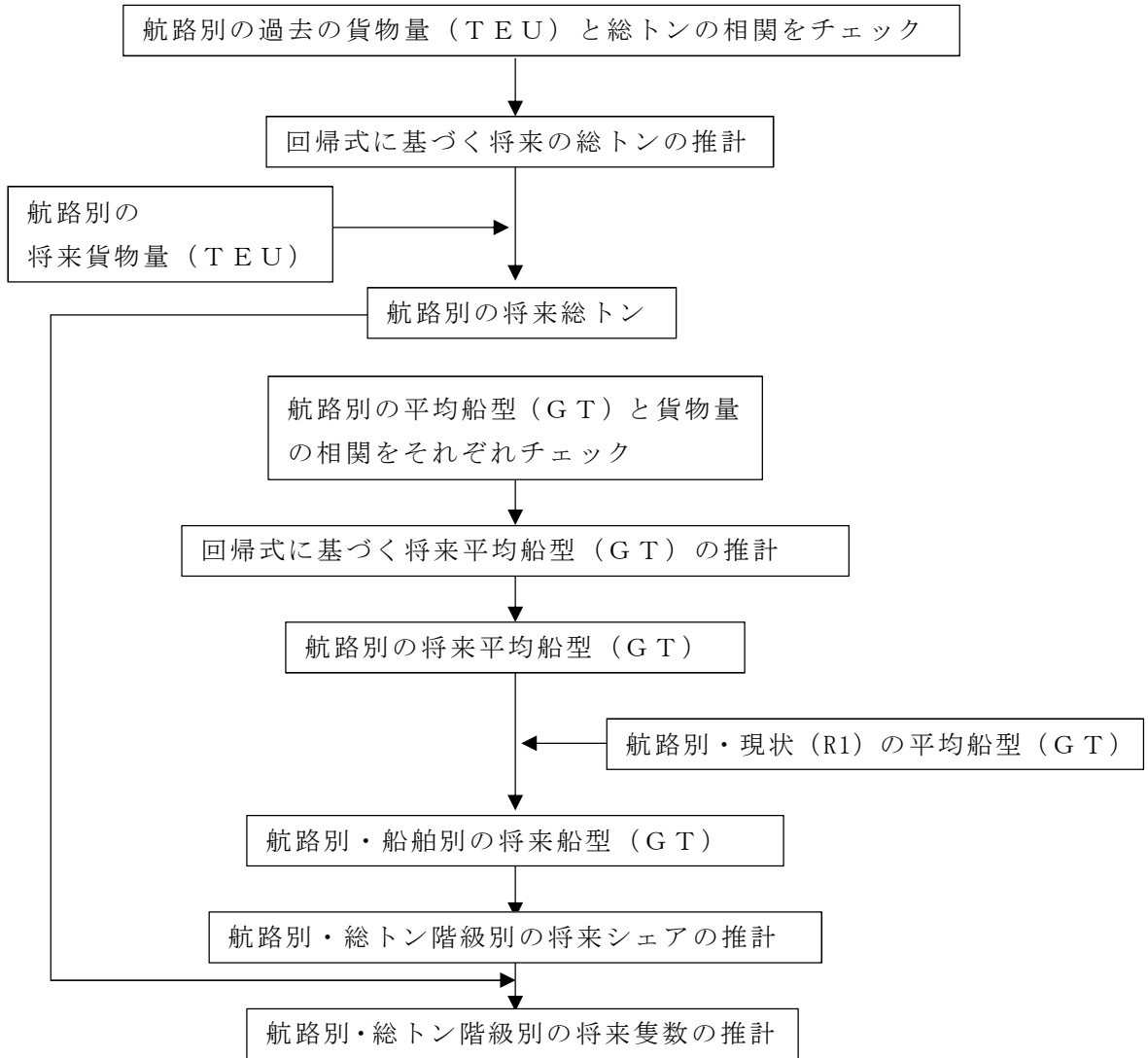


図 II-2-2 隻数の推計フロー

3) オセアニア航路

オセアニア航路は、現状維持とする。

4) 韓国航路

韓国航路は、現状維持とする。

5) 推計結果

表 II-2-4 外航コンテナ船の入港船舶隻数の推計結果

| トン階級 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | 単位:隻 |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|
| | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 |
| 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 100~499 | - | - | 2 | 3 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 500~999 | - | - | - | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - |
| 1,000~2,999 | 1 | - | - | - | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - |
| 3,000~5,999 | 200 | 106 | 135 | 171 | 101 | 98 | 75 | 41 | 60 | 22 | 54 | 45 | - |
| 6,000~9,999 | 2,219 | 2,395 | 2,384 | 2,211 | 2,219 | 2,140 | 2,158 | 2,213 | 2,340 | 2,374 | 2,278 | 2,177 | 517 |
| 10,000~19,999 | 1,075 | 1,192 | 892 | 849 | 726 | 840 | 778 | 799 | 774 | 703 | 697 | 738 | 1,955 |
| 20,000~29,999 | 498 | 485 | 527 | 488 | 454 | 497 | 610 | 652 | 518 | 557 | 465 | 411 | 941 |
| 30,000~39,999 | 152 | 159 | 261 | 318 | 208 | 201 | 204 | 156 | 258 | 252 | 290 | 267 | 642 |
| 40,000~49,999 | 183 | 155 | 188 | 245 | 336 | 344 | 332 | 358 | 361 | 331 | 274 | 210 | 562 |
| 50,000~59,999 | 450 | 465 | 428 | 404 | 388 | 266 | 267 | 224 | 220 | 160 | 91 | 60 | 165 |
| 60,000~69,999 | 132 | 154 | 153 | 151 | 134 | 152 | 146 | 117 | 96 | 28 | 30 | 26 | 49 |
| 70,000~79,999 | 231 | 150 | 116 | 109 | 89 | 78 | 131 | 231 | 197 | 146 | 95 | 127 | 58 |
| 80,000~89,999 | 5 | - | 19 | 25 | 22 | 19 | 12 | 34 | 40 | 41 | 26 | 13 | 55 |
| 90,000~99,999 | 79 | 90 | 82 | 79 | 73 | 104 | 122 | 84 | 131 | 235 | 281 | 135 | 152 |
| 100,000~109,999 | 6 | 15 | 7 | 4 | 5 | 5 | 2 | 16 | 20 | 19 | 19 | 10 | 55 |
| 110,000~119,999 | - | - | - | - | 6 | 21 | 21 | 10 | 8 | 12 | 38 | 34 | 186 |
| 120,000~ | - | - | - | - | - | - | - | - | 20 | 30 | 10 | - | 127 |
| 合計 | 5,231 | 5,366 | 5,194 | 5,058 | 4,764 | 4,767 | 4,858 | 4,935 | 5,043 | 4,910 | 4,648 | 4,253 | 5,464 |

(2) 客船

東京クルーズビジョンに基づき設定する。

表 II-2-5 外航客船の入港船舶隻数の推計結果

| トン階級 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | | 単位:隻 | 推計方法 |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|------|------|
| | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 | 推計値 | |
| 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 100~499 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 500~999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 1,000~2,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 3,000~5,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 6,000~9,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | 1 | - | - | - | - | - |
| 10,000~19,999 | - | - | - | - | 1 | - | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 20,000~29,999 | 1 | - | 4 | 5 | 4 | 3 | 6 | 4 | 6 | 3 | 1 | - | 23 | - | - |
| 30,000~39,999 | 1 | - | 1 | 1 | 4 | 2 | 1 | - | - | 4 | - | - | 20 | - | - |
| 40,000~49,999 | - | - | - | - | 1 | 2 | 1 | 1 | - | 13 | - | - | - | - | - |
| 50,000~59,999 | - | - | - | - | 1 | 1 | 2 | 9 | 24 | 9 | - | - | - | - | - |
| 60,000~69,999 | - | - | - | - | - | 1 | 1 | - | - | - | - | - | 25 | - | - |
| 70,000~79,999 | - | - | - | - | - | - | 2 | 2 | - | - | - | - | - | - | - |
| 80,000~89,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 90,000~99,999 | - | - | - | - | 1 | - | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | - |
| 100,000~109,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 110,000~119,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 20 | - | - |
| 120,000~ | - | - | - | 3 | 3 | 2 | 2 | - | - | 2 | - | - | 54 | - | - |
| 合計 | 2 | - | 5 | 9 | 15 | 11 | 18 | 16 | 32 | 33 | 1 | - | 142 | - | - |

(3) その他貨物船等

各トン階級で現状維持、または時系列対数回帰により設定する。

表 II-2-6 外航その他貨物船等の入港船舶隻数の推計結果

| トン階級 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | | 単位:隻 | 推計方法 |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|------|---------------|
| | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 | 推計値 | |
| 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 現状維持(R1) |
| 100~499 | 3 | 4 | 2 | 3 | 1 | 1 | 1 | - | - | 1 | - | - | 1 | - | 現状維持(R1) |
| 500~999 | 4 | 3 | 5 | - | 1 | 1 | 1 | - | 1 | - | - | - | - | - | 現状維持(R1) |
| 1,000~2,999 | 457 | 369 | 423 | 327 | 194 | 81 | 74 | 51 | 55 | 43 | 42 | 53 | 3 | - | H27-R1時系列対数回帰 |
| 3,000~5,999 | 80 | 43 | 41 | 34 | 49 | 86 | 90 | 85 | 47 | 48 | 15 | 31 | 3 | - | H27-R1時系列対数回帰 |
| 6,000~9,999 | 253 | 245 | 211 | 200 | 208 | 203 | 196 | 125 | 140 | 64 | 95 | 94 | 4 | - | H27-R1時系列対数回帰 |
| 10,000~19,999 | 67 | 72 | 39 | 52 | 66 | 38 | 52 | 63 | 92 | 79 | 91 | 81 | 129 | - | H27-R1時系列対数回帰 |
| 20,000~29,999 | 17 | 28 | 20 | 26 | 30 | 35 | 40 | 31 | 33 | 27 | 25 | 18 | 27 | - | 現状維持(R1) |
| 30,000~39,999 | 5 | 19 | 8 | 10 | 9 | 13 | 35 | 41 | 40 | 32 | 11 | 10 | 61 | - | H27-R1時系列対数回帰 |
| 40,000~49,999 | 6 | 6 | 7 | 8 | 6 | 3 | - | 2 | 1 | 3 | 11 | 20 | 3 | - | 現状維持(R1) |
| 50,000~59,999 | - | - | 1 | 4 | - | - | - | 5 | 19 | 6 | 6 | 13 | 6 | - | 現状維持(R1) |
| 60,000~69,999 | 3 | 2 | - | - | - | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | - | - | 1 | - | 現状維持(R1) |
| 70,000~79,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 現状維持(R1) |
| 80,000~89,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 現状維持(R1) |
| 90,000~99,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 現状維持(R1) |
| 100,000~109,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 現状維持(R1) |
| 110,000~119,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 現状維持(R1) |
| 120,000~ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 現状維持(R1) |
| 合計 | 895 | 791 | 757 | 664 | 564 | 462 | 490 | 404 | 429 | 304 | 296 | 320 | 237 | - | - |

2-3-2 内航船舶

(1) フィーダー船

インセンティブ制度や国際フィーダーの停泊バースの確保などの集貨促進策の展開により、国際フィーダー航路を拡大する。推計では、令和元年（平成 31 年）の 1.2 倍の入港隻数を設定する。

表 II-2-7 内航フィーダー船の入港船舶隻数の推計結果

| トン階級 | 実績値 | | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | | 推計方法 | | |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|------|---|---|
| | 実績値 | | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | | | | |
| | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 | | | | |
| 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 100~499 | 622 | 606 | 709 | 570 | 122 | 100 | 231 | 32 | 337 | 366 | 372 | 406 | 439 | 現状(R1)×1.2倍 | | | |
| 500~999 | 391 | 347 | 441 | 556 | 600 | 417 | 523 | 735 | 978 | 1,158 | 1,036 | 869 | 1,390 | 現状(R1)×1.2倍 | | | |
| 1,000~2,999 | - | - | - | - | - | - | 2 | 45 | 128 | 135 | 98 | 95 | 162 | 現状(R1)×1.2倍 | | | |
| 3,000~5,999 | - | 4 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| 6,000~9,999 | 145 | 144 | 36 | - | - | - | 51 | 51 | 80 | 74 | 73 | 93 | 89 | 現状(R1)×1.2倍 | | | |
| 10,000~19,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| 20,000~29,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| 30,000~39,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| 40,000~49,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| 50,000~59,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| 60,000~ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| 合計 | 1,158 | 1,101 | 1,187 | 1,126 | 722 | 517 | 807 | 863 | 1,523 | 1,733 | 1,579 | 1,463 | 2,080 | | | | |

(2) RORO船

1) 推計方針

次のフローに従い、入港船舶隻数を設定する。

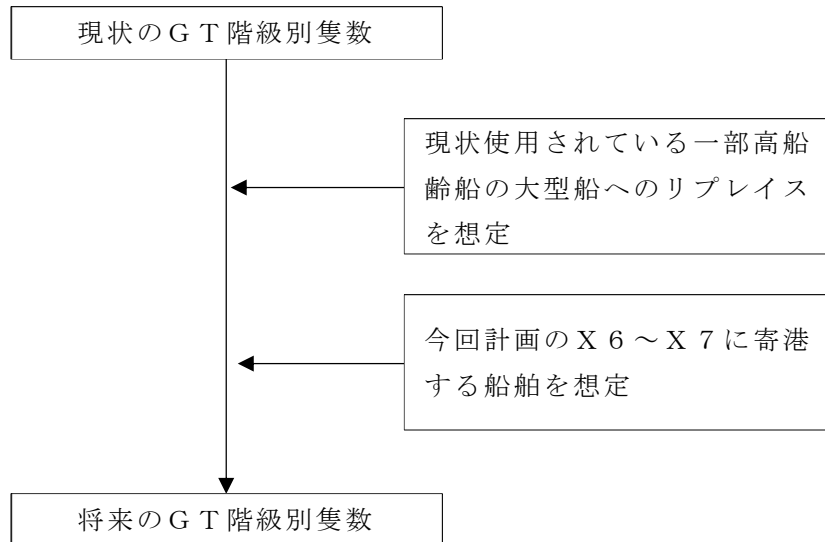


図 II-2-3 RORO船隻数の設定フロー

2) 推計結果

表 II-2-8 内航RORO船の入港船舶隻数の推計結果

| トン階級 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | | 推計方法 | | | | |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------|---|---|---------------|---------------|
| | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R7 2035 | | | | | |
| 5～99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 100～499 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 500～999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 1,000～2,999 | 51 | 46 | 34 | 21 | 10 | 14 | 11 | 7 | 5 | 8 | 10 | 18 | - | - | - | - | 大型化及び新規バースを考慮 | |
| 3,000～5,999 | 203 | 193 | 182 | 192 | 143 | 113 | 50 | 25 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 大型化及び新規バースを考慮 |
| 6,000～9,999 | 491 | 494 | 625 | 612 | 645 | 685 | 696 | 630 | 432 | 303 | 144 | 142 | - | - | - | - | - | 大型化及び新規バースを考慮 |
| 10,000～19,999 | 811 | 915 | 890 | 959 | 1,028 | 1,140 | 1,215 | 1,305 | 1,509 | 1,688 | 1,835 | 1,891 | 2,415 | - | - | - | - | 大型化及び新規バースを考慮 |
| 20,000～29,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 30,000～39,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 40,000～49,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 50,000～59,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 60,000～ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 合計 | 1,556 | 1,649 | 1,731 | 1,784 | 1,826 | 1,952 | 1,972 | 1,967 | 1,946 | 1,999 | 1,989 | 2,051 | 2,415 | - | - | - | - | - |

(3) 客船

東京クルーズビジョンに基づき設定する。

表 II-2-9 内航客船の入港船舶隻数の推計結果

| トン階級 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | | 推計値 | 推計方法 |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|-----|---------------|
| | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 | | |
| 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 東京クルーズビジョンによる |
| 100~499 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 500~999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 1,000~2,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 3,000~5,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 6,000~9,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 10,000~19,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 20,000~29,999 | 19 | 13 | 20 | 31 | 8 | 13 | 11 | 12 | 8 | 2 | 6 | 3 | 56 | | |
| 30,000~39,999 | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 40,000~49,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 50,000~59,999 | - | - | 2 | 2 | 2 | - | 1 | 5 | - | 2 | - | - | 15 | - | |
| 60,000~ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 合計 | 20 | 13 | 22 | 34 | 10 | 13 | 12 | 17 | 8 | 4 | 6 | 3 | 71 | | |

(4) フェリー

各トン階級で現状維持として設定する。

表 II-2-10 フェリーの入港船舶隻数の推計結果

| トン階級 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | | 推計値 | 推計方法 |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|-----|---------------|
| | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 | | |
| 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 東京クルーズビジョンによる |
| 100~499 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 500~999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 1,000~2,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 3,000~5,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 6,000~9,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 10,000~19,999 | 333 | 400 | 334 | 333 | 319 | 332 | 346 | 352 | 347 | 349 | 345 | 348 | 349 | | |
| 20,000~29,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 30,000~39,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 40,000~49,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 50,000~59,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 60,000~ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 合計 | 333 | 400 | 334 | 333 | 319 | 332 | 346 | 352 | 347 | 349 | 345 | 348 | 349 | | |

(5) その他貨物船等

各トン階級で現状維持、または時系列対数回帰により設定する。

表 II-2-11 内航その他貨物船等の入港船舶隻数の推計結果

| トン階級 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | | 推計値 | 推計方法 |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|---------------|------|
| | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 | | |
| 5~99 | 1,128 | 890 | 753 | 488 | 285 | 457 | 348 | 168 | 235 | 291 | 162 | 233 | 260 | H27-R1時系列対数回帰 | |
| 100~499 | 11,706 | 11,479 | 10,830 | 11,163 | 11,582 | 10,275 | 9,132 | 9,697 | 9,476 | 8,882 | 8,077 | 8,851 | 7,923 | H27-R1時系列対数回帰 | |
| 500~999 | 1,918 | 2,016 | 1,994 | 2,363 | 2,076 | 2,255 | 1,940 | 2,189 | 2,194 | 1,851 | 1,683 | 1,660 | 1,851 | 現状維持(R1) | |
| 1,000~2,999 | 1,171 | 1,270 | 1,354 | 1,518 | 1,497 | 1,474 | 1,295 | 1,571 | 1,645 | 1,579 | 1,064 | 1,049 | 1,579 | 現状維持(R1) | |
| 3,000~5,999 | 1,003 | 1,102 | 1,296 | 1,254 | 1,295 | 1,260 | 1,249 | 1,217 | 1,276 | 1,241 | 932 | 832 | 1,241 | 現状維持(R1) | |
| 6,000~9,999 | 230 | 227 | 232 | 239 | 239 | 150 | 101 | 88 | 97 | 80 | 252 | 394 | 20 | H27-R1時系列対数回帰 | |
| 10,000~19,999 | 60 | 54 | 54 | 62 | 65 | 72 | 97 | 120 | 123 | 124 | 120 | 118 | 179 | H27-R1時系列対数回帰 | |
| 20,000~29,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | 1 | 現状維持(R1) | |
| 30,000~39,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 現状維持(R1) | |
| 40,000~49,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 現状維持(R1) | |
| 50,000~59,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 現状維持(R1) | |
| 60,000~ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 現状維持(R1) | |
| 合計 | 17,216 | 17,038 | 16,513 | 17,087 | 17,039 | 15,943 | 14,162 | 15,050 | 15,046 | 14,049 | 12,290 | 13,137 | 13,054 | | |

2-3-3 推計結果のまとめ

(1) 外航船

表Ⅱ-2-12 外航船舶の入港船舶隻数の設定

| 外内別 | 種別 | トン階級 | 実績値 | | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | | 単位:隻 | | | | |
|-----|---------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-----|------|---|---|---|-------|
| | | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R17 | 推計値 | | | | | |
| | | | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2035 | | | | | | |
| 外航船 | 合計 | 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | 100~499 | 3 | 4 | 4 | 6 | 2 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 |
| | | 500~999 | 4 | 3 | 5 | 1 | 2 | 2 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 1,000~2,999 | 458 | 369 | 423 | 327 | 195 | 82 | 74 | 51 | 55 | 43 | 42 | 53 | 3 | - | - | - | - | - | 3 |
| | | 3,000~5,999 | 280 | 149 | 176 | 205 | 150 | 184 | 165 | 126 | 107 | 70 | 69 | 76 | 3 | - | - | - | - | - | 3 |
| | | 6,000~9,999 | 2,472 | 2,640 | 2,595 | 2,411 | 2,427 | 2,343 | 2,354 | 2,338 | 2,482 | 2,439 | 2,373 | 2,271 | 521 | - | - | - | - | - | 521 |
| | | 10,000~19,999 | 1,142 | 1,264 | 931 | 901 | 793 | 878 | 832 | 862 | 866 | 782 | 788 | 819 | 2,084 | - | - | - | - | - | 2,084 |
| | | 20,000~29,999 | 516 | 513 | 551 | 519 | 488 | 535 | 656 | 687 | 557 | 587 | 491 | 429 | 991 | - | - | - | - | - | 991 |
| | | 30,000~39,999 | 158 | 178 | 270 | 329 | 221 | 216 | 240 | 197 | 298 | 288 | 301 | 277 | 723 | - | - | - | - | - | 723 |
| | | 40,000~49,999 | 189 | 161 | 195 | 253 | 343 | 349 | 333 | 361 | 362 | 347 | 285 | 230 | 565 | - | - | - | - | - | 565 |
| | | 50,000~59,999 | 450 | 465 | 429 | 408 | 389 | 267 | 269 | 238 | 263 | 175 | 97 | 73 | 171 | - | - | - | - | - | 171 |
| | | 60,000~69,999 | 135 | 156 | 153 | 151 | 134 | 154 | 148 | 118 | 97 | 29 | 30 | 26 | 75 | - | - | - | - | - | 75 |
| | | 70,000~79,999 | 231 | 150 | 116 | 109 | 89 | 78 | 133 | 233 | 197 | 146 | 95 | 127 | 58 | - | - | - | - | - | 58 |
| | | 80,000~89,999 | 5 | - | 19 | 25 | 22 | 19 | 12 | 34 | 40 | 41 | 26 | 13 | 55 | - | - | - | - | - | 55 |
| | | 90,000~99,999 | 79 | 90 | 82 | 79 | 74 | 104 | 123 | 84 | 131 | 236 | 281 | 135 | 152 | - | - | - | - | - | 152 |
| | | 100,000~109,999 | 6 | 15 | 7 | 4 | 5 | 5 | 2 | 16 | 20 | 19 | 19 | 10 | 55 | - | - | - | - | - | 55 |
| | | 110,000~119,999 | - | - | - | - | 6 | 21 | 21 | 10 | 8 | 12 | 38 | 34 | 186 | - | - | - | - | - | 186 |
| | | 120,000~ | - | - | - | 3 | 3 | 2 | 2 | - | 20 | 30 | 10 | - | 206 | - | - | - | - | - | 206 |
| | | 合計 | 6,128 | 6,157 | 5,956 | 5,731 | 5,343 | 5,240 | 5,366 | 5,355 | 5,504 | 5,247 | 4,945 | 4,573 | 5,843 | - | - | - | - | - | 5,843 |
| 外航 | うちコンテナ船 | 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 100~499 | - | - | 2 | 3 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 500~999 | - | - | - | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 1,000~2,999 | 1 | - | - | - | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 3,000~5,999 | 300 | 106 | 135 | 171 | 101 | 98 | 75 | 41 | 60 | 22 | 54 | 45 | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 6,000~9,999 | 2,219 | 2,395 | 2,384 | 2,211 | 2,219 | 2,140 | 2,158 | 2,213 | 2,340 | 2,374 | 2,278 | 2,177 | 517 | - | - | - | - | - | 517 |
| | | 10,000~19,999 | 1,075 | 1,192 | 892 | 849 | 726 | 840 | 778 | 799 | 774 | 703 | 697 | 738 | 1,955 | - | - | - | - | - | 1,955 |
| | | 20,000~29,999 | 498 | 485 | 527 | 488 | 454 | 497 | 610 | 652 | 518 | 557 | 465 | 411 | 941 | - | - | - | - | - | 941 |
| | | 30,000~39,999 | 152 | 159 | 261 | 318 | 208 | 201 | 204 | 156 | 258 | 252 | 290 | 267 | 642 | - | - | - | - | - | 642 |
| | | 40,000~49,999 | 183 | 155 | 188 | 245 | 336 | 344 | 332 | 358 | 361 | 331 | 274 | 210 | 562 | - | - | - | - | - | 562 |
| | | 50,000~59,999 | 450 | 465 | 428 | 404 | 388 | 266 | 267 | 224 | 220 | 160 | 91 | 60 | 165 | - | - | - | - | - | 165 |
| | | 60,000~69,999 | 132 | 154 | 153 | 151 | 134 | 152 | 146 | 117 | 96 | 28 | 30 | 26 | 49 | - | - | - | - | - | 49 |
| | | 70,000~79,999 | 231 | 150 | 116 | 109 | 89 | 78 | 131 | 231 | 197 | 146 | 95 | 127 | 58 | - | - | - | - | - | 58 |
| | | 80,000~89,999 | 5 | - | 19 | 25 | 22 | 19 | 12 | 34 | 40 | 41 | 26 | 13 | 55 | - | - | - | - | - | 55 |
| | | 90,000~99,999 | 79 | 90 | 82 | 79 | 73 | 104 | 122 | 84 | 131 | 235 | 281 | 135 | 152 | - | - | - | - | - | 152 |
| | | 100,000~109,999 | 6 | 15 | 7 | 4 | 5 | 5 | 2 | 16 | 20 | 19 | 19 | 10 | 55 | - | - | - | - | - | 55 |
| | | 110,000~119,999 | - | - | - | - | 6 | 21 | 21 | 10 | 8 | 12 | 38 | 34 | 186 | - | - | - | - | - | 186 |
| | | 120,000~ | - | - | - | - | - | - | - | - | 20 | 30 | 10 | - | 127 | - | - | - | - | - | 127 |
| | | 小計 | 5,231 | 5,366 | 5,194 | 5,058 | 4,764 | 4,767 | 4,858 | 4,935 | 5,043 | 4,910 | 4,648 | 4,253 | 5,464 | - | - | - | - | - | 5,464 |
| | うち客船 | 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 100~499 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 500~999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 1,000~2,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 3,000~5,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 6,000~9,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 10,000~19,999 | - | - | - | - | 1 | - | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 20,000~29,999 | 1 | - | 4 | 5 | 4 | 3 | 6 | 4 | 6 | 3 | 1 | - | 23 | - | - | - | - | - | 23 |
| | | 30,000~39,999 | 1 | - | 1 | 1 | 4 | 2 | 1 | - | - | 4 | - | - | 20 | - | - | - | - | - | 20 |
| | | 40,000~49,999 | - | - | - | - | 1 | 2 | 1 | 1 | - | 13 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 50,000~59,999 | - | - | - | - | 1 | 1 | 2 | 9 | 24 | 9 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 60,000~69,999 | - | - | - | - | - | 1 | 1 | - | - | - | - | - | 25 | - | - | - | - | - | 25 |
| | | 70,000~79,999 | - | - | - | - | - | - | 2 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 80,000~89,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 90,000~99,999 | - | - | - | - | 1 | - | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 100,000~109,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 110,000~119,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 20 | - | - | - | - | - | 20 |
| | | 120,000~ | - | - | - | 3 | 3 | 2 | 2 | - | - | 2 | - | - | 54 | - | - | - | - | - | 54 |
| | | 小計 | 2 | - | 5 | 9 | 15 | 11 | 18 | 16 | 32 | 33 | 1 | - | 142 | - | - | - | - | - | 142 |
| | その他貨物船等 | 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 100~499 | 3 | 4 | 2 | 3 | 1 | 1 | 1 | - | - | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | - | 1 |
| | | 500~999 | 4 | 3 | 5 | - | 1 | 1 | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 1,000~2,999 | 457 | 369 | 423 | 327 | 194 | 81 | 74 | 51 | 55 | 43 | 42 | 53 | 3 | - | - | - | - | - | 3 |
| | | 3,000~5,999 | 80 | 43 | 41 | 34 | 49 | 86 | 90 | 85 | 47 | 48 | 15 | 31 | 3 | - | - | - | - | - | 3 |
| | | 6,000~9,999 | 253 | 245 | 211 | 200 | 208 | 203 | 196 | 125 | 140 | 64 | 95 | 94 | 4 | - | - | - | - | - | 4 |
| | | 10,000~19,999 | 67 | 72 | 39 | 52 | 66 | 38 | 52 | 63 | 92 | 79 | 91 | 81 | 129 | - | - | - | - | - | 129 |
| | | 20,000~29,999 | 17 | 28 | 20 | 26 | 30 | 35 | 40 | 31 | 33 | 27 | 25 | 18 | 27 | - | - | - | - | - | 27 |
| | | 30,000~39,999 | 5 | 19 | 8 | 10 | 9 | 13 | 35 | 41 | 40 | 32 | 11 | 10 | 61 | - | - | - | - | - | 61 |
| | | 40,000~49,999 | 6 | 6 | 7 | 8 | 6 | 3 | - | 2 | 1 | 3 | 11 | 20 | 3 | - | - | - | - | - | 3 |
| | | 50,000~59,999 | - | - | 1 | 4 | - | - | - | 5 | 19 | 6 | 6 | 13 | 6 | - | - | - | - | - | 6 |
| | | 60,000~69,999 | 3 | 2 | - | - | - | - | 1 | 1 | 1 | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | - | 1 |
| | | 70,000~79,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 80,000~89,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 90,000~99,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 100,000~109,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 110,000~119,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 120,000~ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 小計 | 895 | 791 | 757 | 664 | 564 | 462 | 490 | 404 | 429 | 304 | 296 | 320 | 237 | - | - | - | - | - | 237 |

(2) 内航船

表Ⅱ-2-13 内航船舶の入港船舶隻数の設定

| 外内別 | 種別 | トン階級 | 実績値 | | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | | 単位:隻 |
|---------------|---------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|--------|------|
| | | | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 | 推計値 | |
| 内航船 合計 | | 5~99 | 1,128 | 890 | 753 | 488 | 285 | 457 | 348 | 168 | 235 | 291 | 162 | 233 | 260 | | |
| | | 100~499 | 12,328 | 12,086 | 11,539 | 11,733 | 11,704 | 10,375 | 9,363 | 9,729 | 9,813 | 9,248 | 8,449 | 9,257 | 8,362 | | |
| | | 500~999 | 2,309 | 2,363 | 2,435 | 2,919 | 2,676 | 2,672 | 2,463 | 2,924 | 3,172 | 3,009 | 2,719 | 2,529 | 3,241 | | |
| | | 1,000~2,999 | 1,222 | 1,316 | 1,388 | 1,539 | 1,507 | 1,488 | 1,308 | 1,623 | 1,778 | 1,722 | 1,172 | 1,162 | 1,741 | | |
| | | 3,000~5,999 | 1,206 | 1,299 | 1,479 | 1,446 | 1,438 | 1,373 | 1,299 | 1,242 | 1,276 | 1,241 | 932 | 832 | 1,241 | | |
| | | 6,000~9,999 | 866 | 865 | 893 | 851 | 884 | 835 | 848 | 769 | 609 | 458 | 469 | 629 | 109 | | |
| | | 10,000~19,999 | 1,204 | 1,369 | 1,278 | 1,354 | 1,412 | 1,544 | 1,658 | 1,777 | 1,979 | 2,161 | 2,300 | 2,357 | 2,943 | | |
| | | 20,000~29,999 | 19 | 13 | 20 | 31 | 8 | 13 | 11 | 12 | 8 | 3 | 6 | 3 | 57 | | |
| | | 30,000~39,999 | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 40,000~49,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 50,000~59,999 | - | - | 2 | 2 | 2 | - | 1 | 5 | - | 2 | - | - | 15 | | |
| | | 60,000~ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | | 合計 | | 20,283 | 20,201 | 19,787 | 20,364 | 19,916 | 18,757 | 17,299 | 18,249 | 18,870 | 18,135 | 16,209 | 17,002 | 17,969 | |
| | | 内航 | うちフィーダー船 | 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 100~499 | 622 | | | 606 | 709 | 570 | 122 | 100 | 231 | 32 | 337 | 366 | 372 | 406 | 439 | | |
| 500~999 | 391 | | | 347 | 441 | 556 | 600 | 417 | 523 | 735 | 978 | 1,158 | 1,036 | 869 | 1,390 | | |
| 1,000~2,999 | - | | | - | - | - | - | - | 2 | 45 | 128 | 135 | 98 | 95 | 162 | | |
| 3,000~5,999 | - | | | 4 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 6,000~9,999 | 145 | | | 144 | 36 | - | - | - | 51 | 51 | 80 | 75 | 73 | 93 | 89 | | |
| 10,000~19,999 | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 20,000~29,999 | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 30,000~39,999 | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 40,000~49,999 | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 50,000~59,999 | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 60,000~ | - | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 小計 | | | | 1,158 | 1,101 | 1,187 | 1,126 | 722 | 517 | 807 | 863 | 1,523 | 1,734 | 1,579 | 1,463 | 2,080 | |
| うちRORO船 | 5~99 | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 100~499 | | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| | 500~999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| | 1,000~2,999 | | 51 | 46 | 34 | 21 | 10 | 14 | 11 | 7 | 5 | 8 | 10 | 18 | | | |
| | 3,000~5,999 | | 203 | 193 | 182 | 192 | 143 | 113 | 50 | 25 | - | - | - | - | | | |
| | 6,000~9,999 | | 491 | 494 | 625 | 612 | 645 | 685 | 696 | 630 | 432 | 303 | 144 | 142 | | | |
| | 10,000~19,999 | | 811 | 915 | 890 | 959 | 1,028 | 1,140 | 1,215 | 1,305 | 1,509 | 1,688 | 1,835 | 1,891 | 2,415 | | |
| | 20,000~29,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| | 30,000~39,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| | 40,000~49,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| | 50,000~59,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| | 60,000~ | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| | 小計 | | | 1,556 | 1,649 | 1,731 | 1,784 | 1,826 | 1,952 | 1,972 | 1,967 | 1,946 | 1,999 | 1,989 | 2,051 | 2,415 | |
| | うち客船(クルーズ) | | 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| 100~499 | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| 500~999 | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| 1,000~2,999 | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| 3,000~5,999 | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| 6,000~9,999 | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| 10,000~19,999 | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| 20,000~29,999 | | | 19 | 13 | 20 | 31 | 8 | 13 | 11 | 12 | 8 | 2 | 6 | 3 | 56 | | |
| 30,000~39,999 | | | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| 40,000~49,999 | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| 50,000~59,999 | | | - | - | 2 | 2 | 2 | - | 1 | 5 | - | 2 | - | - | 15 | | |
| 60,000~ | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| 小計 | | | | 20 | 13 | 22 | 34 | 10 | 13 | 12 | 17 | 8 | 4 | 6 | 3 | 71 | |
| うち内航フェリー | | | 5~99 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | 100~499 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| | 500~999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| | 1,000~2,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| | 3,000~5,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| | 6,000~9,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| | 10,000~19,999 | | 333 | 400 | 334 | 333 | 319 | 332 | 346 | 352 | 347 | 349 | 345 | 348 | 349 | | |
| | 20,000~29,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | |
| | 30,000~39,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | 40,000~49,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | 50,000~59,999 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | 60,000~ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | | |
| | 小計 | | 333 | 400 | 334 | 333 | 319 | 332 | 346 | 352 | 347 | 349 | 345 | 348 | 349 | | |
| | その他貨物船等 | 5~99 | 1,128 | 890 | 753 | 488 | 285 | 457 | 348 | 168 | 235 | 291 | 162 | 233 | 260 | | |
| 100~499 | | 11,706 | 11,479 | 10,830 | 11,163 | 11,582 | 10,275 | 9,132 | 9,697 | 9,476 | 8,882 | 8,077 | 8,851 | 7,923 | | | |
| 500~999 | | 1,918 | 2,016 | 1,994 | 2,363 | 2,076 | 2,255 | 1,940 | 2,189 | 2,194 | 1,851 | 1,683 | 1,660 | 1,851 | | | |
| 1,000~2,999 | | 1,171 | 1,270 | 1,354 | 1,518 | 1,497 | 1,474 | 1,295 | 1,571 | 1,645 | 1,579 | 1,064 | 1,049 | 1,579 | | | |
| 3,000~5,999 | | 1,003 | 1,102 | 1,296 | 1,254 | 1,295 | 1,260 | 1,249 | 1,217 | 1,276 | 1,241 | 932 | 832 | 1,241 | | | |
| 6,000~9,999 | | 230 | 227 | 232 | 239 | 239 | 150 | 101 | 88 | 97 | 80 | 252 | 394 | 20 | | | |
| 10,000~19,999 | | 60 | 54 | 54 | 62 | 65 | 72 | 97 | 120 | 123 | 124 | 120 | 118 | 179 | | | |
| 20,000~29,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | 1 | | | |
| 30,000~39,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | | |
| 40,000~49,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | | |
| 50,000~59,999 | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | | |
| 60,000~ | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | | | |
| 小計 | | | 17,216 | 17,038 | 16,513 | 17,087 | 17,039 | 15,943 | 14,162 | 15,050 | 15,046 | 14,049 | 12,290 | 13,137 | 13,054 | | |

3. 港湾利用者数

3-1 港湾利用者数の設定の方針

以下のフローに従い、港湾利用者数を設定する。

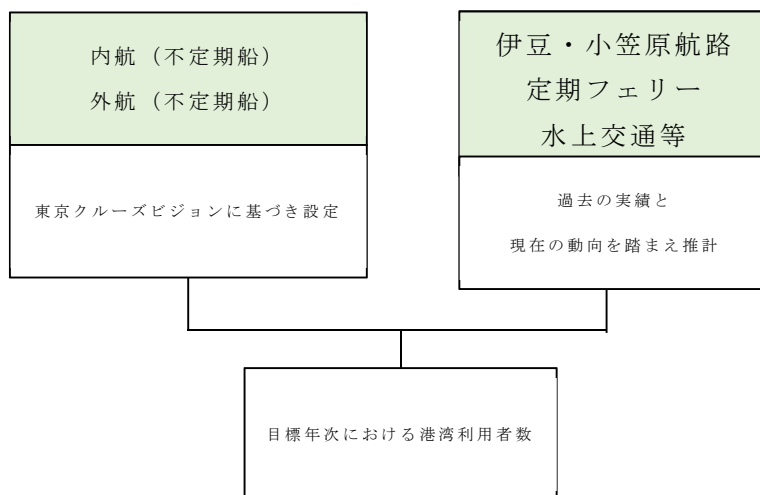


図 II-3-1 港湾利用者数の設定フロー

3-2 港湾利用者数の設定

港湾利用者数の推計方法及び推計結果は、次のとおりである。

表 II-3-1 港湾利用者数の推計方法

| 種類 | 実績値 | | | | | | | | | | 実績値(参考) | | | 推計値 | 推計方法 |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|-------|-----------------------------------|
| | H22 2010 | H23 2011 | H24 2012 | H25 2013 | H26 2014 | H27 2015 | H28 2016 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 | R3 2021 | R17 2035 | | |
| 内航(不定期船) | 8 | 11 | 13 | | | | | | 16 | 5 | 3 | 1 | 1 | 41 | 東京クルーズビジョン(H26)による |
| 外航(不定期船) | 1 | 1 | 2 | | | | | | 17 | 48 | 61 | 0 | 0 | 340 | 東京クルーズビジョン(H26)による |
| 定期フェリー航路 | 26 | 29 | 26 | 32 | 26 | 30 | 32 | 35 | 36 | 42 | 21 | 27 | | 49 | 過去5年間の対数近似にて推計(相関係数R=0.897) |
| 伊豆・小笠原航路 | 560 | 512 | 589 | 565 | 551 | 556 | 607 | 642 | 617 | 640 | 310 | 313 | | 715 | 過去5年間の対数近似にて推計(相関係数R=0.908) |
| 水上交通等 | 3,056 | 2,639 | 3,300 | 3,055 | 2,899 | 2,740 | 2,895 | 2,875 | 2,688 | 1,148 | 357 | 388 | | 4,250 | 過去の最大値(H24:330万人)に新規船着場の運用等を考慮し推計 |
| 合計 | 3,652 | 3,192 | 3,930 | 3,652 | 3,476 | 3,326 | 3,534 | 3,584 | 3,394 | 1,894 | 689 | 729 | | 5,395 | |

※ 内航(不定期航路)、外航(不定期航路)の平成25年～平成28年はデータが不足しているため、空欄とする。
 ※ 水上交通等の令和元年のデータは、新型コロナウイルス感染症の影響により一部データが集計できていないため、平成30を基準年とする。

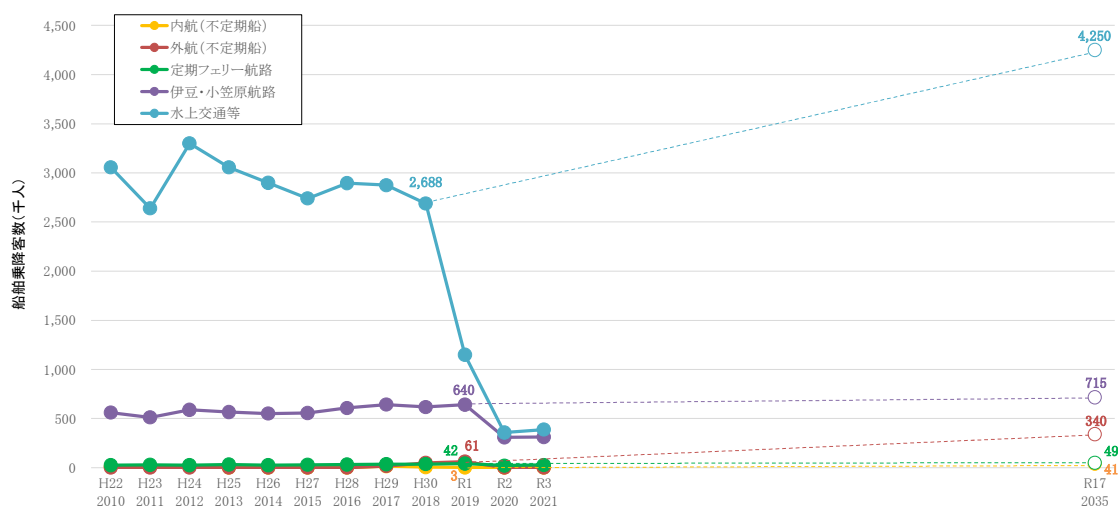


図 II-3-2 港湾利用者数の推計結果

Ⅲ 港湾施設の規模及び配置

目次

| | |
|-------------------------------|---------------|
| III 港湾施設の規模及び配置 | III-1 |
| 1. 公共埠頭計画 | III-1 |
| 1-1 公共埠頭計画 | III-1 |
| 1-2 外内貿コンテナ埠頭計画 | III-16 |
| 1-3 内貿ユニットロード埠頭計画 | III-25 |
| 1-4 外貿埠頭計画 | III-30 |
| 1-5 内貿埠頭計画 | III-34 |
| 2. 旅客船埠頭計画 | III-39 |
| 2-1 旅客船埠頭の現況 | III-39 |
| 2-2 旅客船埠頭計画の必要性 | III-39 |
| 2-3 旅客船埠頭の規模及び配置 | III-40 |
| 3. 旅客船埠頭（小型棧橋）計画 | III-42 |
| 3-1 旅客船埠頭（小型棧橋等）の現況 | III-42 |
| 3-2 旅客船埠頭（小型棧橋等）計画の必要性 | III-43 |
| 3-3 旅客船埠頭（小型棧橋等）の規模及び配置 | III-44 |
| 4. 木材取扱施設計画 | III-47 |
| 4-1 木材取扱施設の現況 | III-47 |
| 4-2 木材取扱施設の規模及び配置 | III-47 |
| 5. 専用埠頭計画 | III-49 |
| 5-1 専用埠頭の現況 | III-49 |
| 5-2 専用埠頭計画の必要性 | III-50 |
| 5-3 専用埠頭の規模及び配置 | III-50 |
| 6. 水域施設計画 | III-52 |
| 6-1 航路計画 | III-52 |
| 6-2 泊地計画 | III-54 |
| 6-3 操船例図 | III-57 |

| | |
|--------------------------|---------------|
| 7. 外郭施設計画 | III-70 |
| 7-1 防波堤計画..... | III-70 |
| 8. 小型船だまり計画 | III-77 |
| 8-1 小型船だまりの現況..... | III-77 |
| 8-2 小型船だまり計画..... | III-78 |
| 9. 臨港交通施設計画 | III-79 |
| 9-1 臨港道路の現況..... | III-79 |
| 9-2 臨港道路計画の必要性..... | III-79 |
| 9-3 臨港道路計画の変更..... | III-79 |
| 9-4 交通対策..... | III-79 |
| 10. マリーナ計画 | III-81 |
| 10-1 マリーナの現況..... | III-81 |
| 10-2 マリーナ計画..... | III-82 |

III 港湾施設の規模及び配置

1. 公共埠頭計画

1-1 公共埠頭計画

1-1-1 公共埠頭の現況

(1) 公共埠頭の現況

公共埠頭の現況は、次のとおりである。

表III-1-1 (1) 公共埠頭の現況 (令和元年)

| 地区 | 施設諸元 | 主要取扱貨物 | 主要航路 |
|------------------|---|--|--|
| 内 港 地 区 | 竹芝埠頭 【旅客船】 竹芝貨客船 ^{※1} -7.5m×465m (3B) | 取合せ品：42千トン 水産品：20千トン その他畜産品：8千トン その他：13千トン 合計：83千トン | 【離島航路】 伊豆諸島・ 小笠原航路 |
| | 日の出埠頭 【旅客船】 日の出貨客船 ^{※1} -6.7m×564m (6B) | 非鉄金属：35千トン 化学薬品：2千トン 合計：37千トン | |
| | 芝浦埠頭 【内貿】 芝浦内貿雑貨 -5.5m×90m (1B) 芝浦内貿雑貨 -7.5m×780m (6B) 芝浦物揚場 -2.7m×711m (1B) | セメント：454千トン その他食料工業品： 142千トン 紙・パルプ：84千トン その他：143千トン 合計：823千トン | |
| | 月島埠頭 【内貿】 月島物揚場 -3.0m×730m (2B) | 金属くず：3千トン 再利用資材：3千トン 金属製品：2千トン その他：9千トン 合計：17千トン | |
| | 品川埠頭 【内貿ユニットロード】 品川 -8.5m×856m (4B) 一部工事中 ^{※2} 【外貿】 品川多目的 -10.0m×190m (1B) 【外内貿コンテナ】 品川 -10.0m×555m (2B) | 完成自動車：1,185千トン 取合せ品：952千トン 紙・パルプ：751千トン その他：4,174千トン 合計：7,062千トン | 【外貿コンテナ】 東南アジア航路、 中国航路、 韓国航路 【内貿RORO】 北海道航路 |

※1 「竹芝貨客船」及び「日の出貨客船」は、2.旅客船埠頭計画で計画

※2 令和4年時点一部工事中

表III-1-1 (2) 公共埠頭の現況 (令和元年)

| 地区 | | 施設諸元 | 主要取扱貨物 | 主要航路 |
|------|--------------|---|---|--|
| 南部地区 | 大井埠頭 その1 | 【外内貿コンテナ】 大井 -15.0m×2,354m (7B) 【外貿】 大井水産 -12.0m×250m (1B)、 -11.0m×200m (1B) 大井食品 -12.0m×225m (1B)、 -11.0m×380m (2B) | その他化学工業品： 2,310千トン 産業機械：2,134千トン 衣服・身廻品・はきもの： 2,073千トン その他：20,066千トン 合計：26,582千トン | 【外貿コンテナ】 北米航路、 欧州航路、 オセアニア航路、 東南アジア航路、 中国航路、 韓国航路 |
| | 大井埠頭 その2 | 【内貿】 大井その2建材 -5.0m×280m (4B) ^{※1} 大井その2建設発生土 -7.5m×130m (1B) | 廃土砂：874千トン 石材：622千トン 砂利・砂：588千トン その他：155千トン 合計：2,239千トン | |
| 中部地区 | 13号地 (青海) | 【外内貿コンテナ】 13号地 -13.0m×520m (2B)、 -15.0m×1,050m (3B) 【外貿】 お台場ライナー -10.0m×1,800m (9B) | 衣服・身廻品・はきもの： 2,004千トン 電気機械：1,623千トン その他化学工業品： 1,162千トン その他：11,772千トン 合計：16,561千トン | 【外貿コンテナ】 北米航路、 オセアニア航路、 東南アジア航路、 中国航路、 韓国航路 |
| | 10号地 その1 | 【内貿】 10号地その1西側多目的 -7.5m×180m (1B) | 産業機械：0.1千トン 合計：0.1千トン | |
| | 10号地 その2 | 【内貿ユニットロード】 10号地その2(西) -7.5m×1,500m (11B) 【内貿】 10号地その2(東)内貿雑貨 -5.0m×920m (13B) 10号地その2多目的 (フェリー) -7.5～8.5m×681m (3B) 一部工事中 ^{※2} | 完成自動車： 12,391千トン 取合せ品： 3,074千トン 紙・パルプ：480千トン その他：1,559千トン 合計：17,504千トン | 【内貿RORO】 九州航路、 沖縄航路 |

※1 令和4年時点工事中
 ※2 令和4年時点一部工事中

表III-1-1 (3) 公共埠頭の現況 (令和元年)

| 地区 | 施設諸元 | 主要取扱貨物 | 主要航路 | |
|---------------------------------|---------|---|--|-------------------|
| 東 部 地 区 | 辰巳埠頭 | 【内貿】 辰巳内貿雑貨 -5.0m×1,040m (13B) | 鋼材：178千トン 取合せ品：35千トン 産業機械：22千トン その他：151千トン 合計：386千トン | |
| | 15号地 | 【外貿】 15号地木材 -12.0m×720m (3B) 【内貿ユニットロード】 15号地 (暫定) -9.0m×190m (1B) 【内貿】 若洲建材・製材 -5.5m×370m (4B) | 砂利・砂：419千トン 取合せ品：222千トン 非金属鉱物：151千トン その他：634千トン 合計：1,426千トン | 【内貿RORO】 沖縄航路 |
| 中 央 防 波 堤 地 区 | 中央防波堤内側 | 【外貿】 中防内ばらもの -12.0m×240m (1B) 【内貿ユニットロード】 中防内 -9.0m×460m (2B) 【内貿】 中防内建設発生土 -7.5m×160m (1B) | 廃土砂：183千トン 輸送用容器：174千トン その他日用品：120千トン その他：994千トン 合計：1,471千トン | 【内貿RORO】 北海道航路 |
| | 中央防波堤外側 | 【外内貿コンテナ】※1 中防外 -11.0m×230m (1B)、 -16.0m×400m (1B) 工事中※2 | 衣服・身廻品・はきもの： 361千トン 電気機械：223千トン 再利用資材：207千トン その他：1,385千トン 合計：2,176千トン | 【外貿コンテナ】 中国航路 |

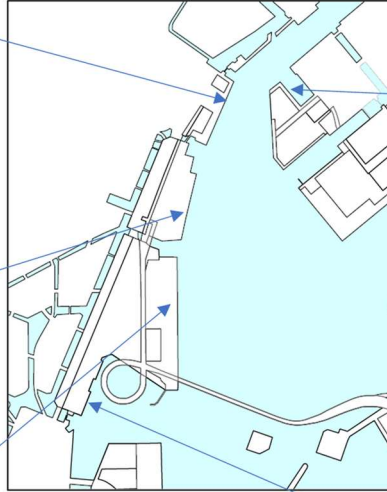
※1 令和4年時点工事中 (新規バースY3 (-16.0~16.5m×400m (1B)))

※2 令和2年工事完了Y2 (-16.0m×400m (1B))

| 施設名 | 竹芝貨客船 ※1 | | | | |
|-----------|----------|----|-------|----|---|
| | 規模 | | 465 m | | |
| 品目 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 | |
| 野菜・果物 | - | - | 5 | - | - |
| その他畜産品 | - | - | 8 | - | - |
| 水産品 | - | - | 8 | 11 | - |
| 製材 | - | - | 0 | - | - |
| 金属製品 | - | - | 0 | 0 | - |
| 完成自動車 | - | - | 0 | - | - |
| 二輪自動車 | - | - | 0 | 0 | - |
| 産業機械 | - | - | 0 | - | - |
| セメント | - | - | 0 | - | - |
| 医薬品 | - | - | 0 | - | - |
| 製造食品 | - | - | 0 | - | - |
| 飲料 | - | - | 2 | - | - |
| その他日用品 | - | - | 3 | 1 | - |
| 再利用資材 | - | - | - | 0 | - |
| 動植物性製造飼料 | - | - | 0 | - | - |
| 輸送用容器 | - | - | 1 | - | - |
| 取合せ品 | - | - | 29 | 14 | - |
| 小計 | - | - | 57 | 26 | - |
| 合計 | - | - | 83 | - | - |
| 利用水準(t/m) | - | - | 179 | - | - |

| 施設名 | 日の出賃客船 ※1 | | | | |
|-----------|-----------|----|-------|----|---|
| | 規模 | | 564 m | | |
| 品目 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 | |
| 非鉄金属 | - | - | - | 35 | - |
| 化学薬品 | - | - | - | 2 | - |
| 小計 | - | - | - | 37 | - |
| 合計 | - | - | 37 | - | - |
| 利用水準(t/m) | - | - | 66 | - | - |

| 施設名 | 芝浦内賃雑貨 | | | | |
|-----------|--------|----|-------|-----|---|
| | 規模 | | 870 m | | |
| 品目 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 | |
| 砂利・砂 | - | - | - | 3 | - |
| 石材 | - | - | - | 9 | - |
| 完成自動車 | - | - | 2 | 1 | - |
| 産業機械 | - | - | 2 | 0 | - |
| セメント | - | - | - | 444 | - |
| 化学薬品 | - | - | - | 35 | - |
| 紙・パルプ | - | - | 2 | 82 | - |
| その他食料工業品 | - | - | - | 142 | - |
| 取合せ品 | - | - | 13 | 2 | - |
| 小計 | - | - | 19 | 718 | - |
| 合計 | - | - | 738 | - | - |
| 利用水準(t/m) | - | - | 848 | - | - |



(貨物量の単位：千トン)

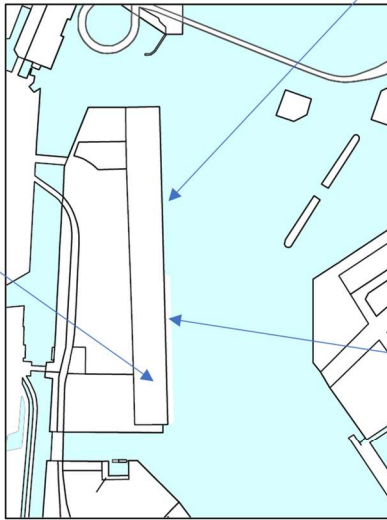
| 施設名 | 月島物揚場 | | | | |
|-----------|-------|----|-------|----|---|
| | 規模 | | 730 m | | |
| 品目 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 | |
| 野菜・果物 | - | - | 0 | - | - |
| 製材 | - | - | 0 | - | - |
| 木材チップ | - | - | - | 1 | - |
| 砂利・砂 | - | - | 0 | - | - |
| 鋼材 | - | - | 1 | - | - |
| 金属製品 | - | - | 2 | 1 | - |
| 完成自動車 | - | - | 1 | 1 | - |
| 二輪自動車 | - | - | 0 | 0 | - |
| 産業機械 | - | - | 0 | 0 | - |
| セメント | - | - | 1 | - | - |
| ガラス類 | - | - | 0 | - | - |
| 医薬品 | - | - | 1 | 0 | - |
| 化学薬品 | - | - | 0 | - | - |
| その他石油製品 | - | - | 0 | - | - |
| 化学工業品 | - | - | 0 | - | - |
| 砂糖 | - | - | 0 | - | - |
| 製造食品 | - | - | 0 | - | - |
| 飲料 | - | - | 0 | - | - |
| その他日用品 | - | - | 0 | - | - |
| ゴム製品 | - | - | 0 | - | - |
| 木製品 | - | - | 0 | 0 | - |
| 金属くず | - | - | - | 3 | - |
| 再利用資材 | - | - | - | 3 | - |
| 廃棄物 | - | - | - | 0 | - |
| 塵土砂 | - | - | - | 0 | - |
| 輸送用容器 | - | - | 0 | 1 | - |
| 取合せ品 | - | - | 0 | - | - |
| 小計 | - | - | 7 | 9 | - |
| 合計 | - | - | 17 | - | - |
| 利用水準(t/m) | - | - | 23 | - | - |

| 施設名 | 芝浦物揚場 | | | | |
|------------|-------|----|-------|----|---|
| | 規模 | | 711 m | | |
| 品目 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 | |
| 野菜・果物 | - | - | 0 | - | - |
| 製材 | - | - | 9 | 1 | - |
| 木材チップ | - | - | - | 0 | - |
| その他林産品 | - | - | - | 0 | - |
| 金属製品 | - | - | 9 | 1 | - |
| 完成自動車 | - | - | 7 | 2 | - |
| 産業機械 | - | - | 2 | 1 | - |
| セメント | - | - | 10 | - | - |
| 医薬品 | - | - | 3 | - | - |
| 化学薬品 | - | - | 3 | - | - |
| その他の石油 | - | - | 4 | - | - |
| LPG/液化石油ガス | - | - | 4 | - | - |
| 製造食品 | - | - | 1 | - | - |
| 飲料 | - | - | 1 | - | - |
| がん具 | - | - | - | 0 | - |
| その他日用品 | - | - | 2 | 1 | - |
| 再利用資材 | - | - | - | 7 | - |
| 動植物性製造飼料 | - | - | 1 | - | - |
| 輸送用容器 | - | - | 7 | 4 | - |
| 取合せ品 | - | - | 3 | 6 | - |
| 小計 | - | - | 62 | 23 | - |
| 合計 | - | - | 85 | - | - |
| 利用水準(t/m) | - | - | 120 | - | - |

※1 「竹芝貨客船」及び「日の出賃客船」は、2.旅客船埠頭計画で計画

図III-1-1 公共埠頭取扱状況図(内港地区(1):品川埠頭除く)(令和元年)

| 施設名 品目 | 品川(外内買コンテナ) | | | |
|-------------|-------------|-------|-------|----|
| | -10.0m × 2B | | 555 m | |
| | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 |
| 麦 | - | 0 | - | - |
| 米 | - | 0 | - | - |
| 豆類 | - | 1 | - | - |
| 野菜・果物 | 1 | 93 | - | 0 |
| 棉花 | 0 | - | - | - |
| その他農産品 | 0 | 20 | - | 0 |
| 羊毛 | - | 0 | - | - |
| その他畜産品 | 3 | 20 | - | - |
| 水産品 | 8 | 73 | - | - |
| 原木 | 0 | 0 | - | - |
| 製材 | 1 | 37 | - | - |
| 樹脂類 | 0 | 0 | - | - |
| 木材チップ | - | 0 | - | 5 |
| その他林産品 | - | 0 | - | - |
| 精炭 | - | 10 | - | - |
| 石炭 | 0 | 3 | - | - |
| 鉄鉱石 | - | 0 | - | - |
| 金属鉱 | - | 0 | - | - |
| 砂・土・砂 | 0 | 2 | - | - |
| 石材 | 1 | 5 | - | - |
| 原塩 | - | 0 | - | - |
| 非金属鉱物 | 4 | 16 | - | - |
| 鉄鋼 | 1 | 2 | - | - |
| 銅材 | 13 | 41 | - | - |
| 非鉄金属 | 5 | 30 | - | - |
| 金属製品 | 18 | 149 | - | - |
| 鉄道車両 | 0 | - | - | - |
| 完成自動車 | 0 | 1 | - | - |
| 二輪自動車 | 0 | 9 | - | - |
| 自動車部品 | 19 | 64 | - | - |
| その他輸送機械 | 1 | 9 | - | - |
| 産業機械 | 81 | 145 | 1 | 1 |
| 電気機械 | 44 | 368 | - | - |
| 測量・光学・医療用機械 | 10 | 29 | - | - |
| 事務用機器 | 1 | 18 | - | - |
| その他機械 | 1 | 1 | - | - |
| 陶磁器 | 0 | 4 | - | - |
| セメント | 0 | 1 | - | 0 |
| ガラス類 | 8 | 31 | - | 0 |
| 窯業品 | 10 | 23 | - | - |
| その他の石油 | 2 | 2 | - | - |
| LNG/液化天然ガス | - | 0 | - | - |
| LPG/液化石油ガス | - | 2 | - | - |
| その他石油製品 | 0 | 1 | - | - |
| コークス | - | 0 | - | - |
| 石炭製品 | 0 | 0 | - | - |
| 化学製品 | 27 | 83 | - | 0 |
| 化学肥料 | 0 | 12 | - | - |
| その他化学工業品 | 172 | 316 | - | 0 |
| 紙・パルプ | 15 | 66 | - | - |
| 糸及び紡績半製品 | 0 | 9 | - | - |
| その他繊維工業品 | 6 | 54 | - | - |
| 砂糖 | 0 | 2 | - | - |
| 製産食品 | 11 | 295 | - | - |
| 飲料 | 1 | 76 | - | - |
| 次 | 1 | 17 | - | - |
| たばこ | - | 8 | - | - |
| その他食料工業品 | 0 | 2 | - | - |
| がん昆 | 3 | 22 | - | - |
| 衣服・身用品・はきもの | 29 | 447 | - | - |
| 文房具・運動用品・楽器 | 12 | 58 | - | - |
| 家具装飾品 | 5 | 170 | - | 0 |
| その他日用品 | 7 | 38 | - | - |
| ゴム製品 | 13 | 44 | - | - |
| 木製品 | 4 | 138 | - | - |
| その他製造工業品 | 25 | 39 | - | - |
| 金属くず | 35 | 3 | - | - |
| 再利用資材 | 143 | 2 | - | - |
| 動植物性製造飼料 | 1 | 12 | - | - |
| 輸送用容器 | 19 | 87 | - | - |
| 取合せ品 | 5 | 7 | - | - |
| 小計 | 766 | 3,217 | 1 | 6 |
| 合計 | | 3,990 | | |
| 利用率(t/m) | | 7,189 | | |



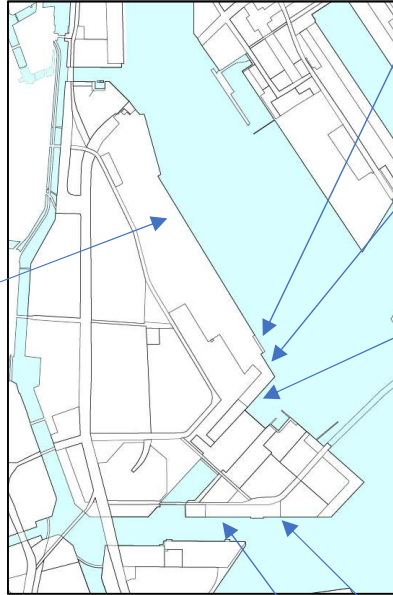
(貨物量の単位：千トン)

| 施設名 品目 | 品川(内買ユニットロード) | | | |
|-----------|---------------|----|-------|-------|
| | -8.5m × 4B | | 856 m | |
| | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 |
| 完成自動車 | - | - | 815 | 368 |
| その他輸送機械 | - | - | 35 | 24 |
| 紙・パルプ | - | - | 104 | 563 |
| 再利用資材 | - | - | 144 | - |
| 取合せ品 | - | - | 677 | 264 |
| 小計 | - | - | 1,775 | 1,217 |
| 合計 | | | 2,992 | |
| 利用率(t/m) | | | 3,495 | |

| 施設名 品目 | 品川多目的 | | | |
|-------------|-------------|-----|-------|----|
| | -10.0m × 1B | | 190 m | |
| | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 |
| 野菜・果物 | - | 2 | - | - |
| その他農産品 | - | 0 | - | - |
| 水産品 | - | 0 | - | - |
| 製材 | - | 3 | - | - |
| 石材 | - | 0 | - | - |
| 非金属鉱物 | - | 0 | - | - |
| 鋼材 | 0 | 2 | - | - |
| 非鉄金属 | 0 | 0 | - | - |
| 金属製品 | 0 | 3 | - | - |
| 完成自動車 | 1 | 1 | - | - |
| その他輸送用車両 | - | 1 | - | - |
| 二輪自動車 | 0 | - | - | - |
| 自動車部品 | - | 1 | - | - |
| 産業機械 | 7 | 1 | - | - |
| 電気機械 | 1 | 5 | - | - |
| 測量・光学・医療用機械 | 0 | 0 | - | - |
| 事務用機器 | - | 0 | - | - |
| その他機械 | - | 0 | - | - |
| 陶磁器 | 0 | 0 | - | - |
| ガラス類 | 0 | 0 | - | - |
| 窯業品 | 0 | 0 | - | - |
| その他の石油 | 0 | - | - | - |
| 化学製品 | 0 | 0 | - | - |
| その他化学工業品 | 1 | 5 | - | - |
| 紙・パルプ | 0 | 2 | - | - |
| その他繊維工業品 | 0 | 0 | - | - |
| 砂糖 | - | 0 | - | - |
| 製造食品 | - | 7 | - | - |
| 飲料 | 0 | 0 | - | - |
| たばこ | - | 13 | - | - |
| がん昆 | - | 0 | - | - |
| 衣服・身用品・はきもの | 0 | 14 | - | - |
| 文房具・運動用品・楽器 | 0 | 1 | - | - |
| 家具装飾品 | - | 0 | - | - |
| その他日用品 | 0 | 0 | - | - |
| ゴム製品 | 0 | 0 | - | - |
| 木製品 | 0 | 1 | - | - |
| その他製造工業品 | - | 0 | - | - |
| 動植物性製造飼料 | - | 0 | - | - |
| 輸送用容器 | 0 | 5 | - | - |
| 小計 | 9 | 70 | - | - |
| 合計 | | 80 | | |
| 利用率(t/m) | | 420 | | |

図Ⅲ-1-2 公共埠頭取扱状況図(内港地区(2):品川埠頭)(令和元年)

| 施設名 品目 | 大井 | | | |
|---------------|--------------------|------------|---------------|-----|
| | 規模 -15.0m 輸出 | × 7B 輸入 | 2,354 m 移出 | 移入 |
| 麦 | - | 19 | 7 | - |
| 米 | 3 | 10 | 0 | - |
| とうもろこし | 0 | 9 | 0 | - |
| 豆類 | 0 | 105 | 11 | 0 |
| その他雑穀 | - | 4 | 0 | - |
| 野菜・果物 | 17 | 658 | 44 | 4 |
| 棉花 | 0 | 0 | - | 0 |
| その他農産品 | 6 | 154 | 5 | - |
| 羊毛 | - | 0 | 0 | - |
| その他畜産品 | 8 | 1,341 | 6 | 0 |
| 水産品 | 112 | 583 | 9 | 7 |
| 原木 | 0 | 1 | 0 | - |
| 製材 | 3 | 317 | 2 | - |
| 樹脂類 | 0 | 28 | 0 | - |
| 木材チップ | 0 | 3 | - | - |
| その他林産品 | 0 | 0 | - | - |
| 珪灰 | 0 | 27 | - | - |
| 石灰 | - | 0 | - | - |
| 鉄鉱石 | - | 0 | - | - |
| 金属鉱 | 0 | 5 | 2 | - |
| 砂利・砂 | 0 | 8 | 0 | - |
| 石材 | 1 | 38 | 0 | - |
| 原油 | - | 2 | - | - |
| 石灰石 | 0 | 0 | - | - |
| 原塩 | 0 | 7 | - | - |
| 非金属鉱物 | 5 | 40 | 0 | - |
| 鉄鋼 | 14 | 21 | 0 | - |
| 鋼材 | 128 | 38 | 0 | 0 |
| 非鉄金属 | 60 | 80 | 4 | - |
| 金属製品 | 196 | 645 | 1 | 1 |
| 製造車両 | 0 | 3 | - | - |
| 形成自動車 | 51 | 17 | 0 | 0 |
| その他輸送用車両 | 1 | 31 | 0 | - |
| 二輪自動車 | 24 | 47 | - | - |
| 自動車部品 | 1,284 | 495 | 4 | 1 |
| その他輸送機械 | 56 | 117 | 0 | - |
| 産業機械 | 1,379 | 747 | 3 | 4 |
| 電気機械 | 510 | 1,230 | 1 | 1 |
| 測量・光学・医療用機械 | 164 | 167 | 0 | 0 |
| 事務用機器 | 24 | 73 | - | 0 |
| その他機械 | 6 | 14 | - | 0 |
| 陶磁器 | 8 | 90 | 0 | - |
| セメント | 0 | 11 | - | - |
| ガラス類 | 34 | 78 | 0 | 0 |
| 薬業品 | 76 | 98 | 2 | 1 |
| 揮発油 | - | 0 | - | - |
| その他の石油 | 18 | 12 | - | - |
| LNG/液化天然ガス | - | 0 | - | - |
| その他石油製品 | 4 | 9 | 0 | - |
| コークス | - | 1 | - | - |
| 石灰製品 | 6 | 0 | - | - |
| 化学薬品 | 187 | 293 | 2 | 1 |
| 化学肥料 | 2 | 19 | 0 | 0 |
| その他化学工業品 | 1,042 | 1,262 | 4 | 1 |
| 紙・パルプ | 152 | 404 | 7 | - |
| 糸及び紡績半製品 | 5 | 22 | 0 | 0 |
| その他繊維工業品 | 34 | 122 | 0 | 0 |
| 砂糖 | 0 | 33 | 2 | - |
| 製造食品 | 191 | 1,344 | 11 | 0 |
| 飲料 | 40 | 482 | 7 | 0 |
| 水 | 6 | 111 | 0 | - |
| たばこ | 0 | 87 | 0 | - |
| その他食料工業品 | 0 | 111 | 2 | - |
| がん具 | 17 | 247 | - | - |
| 衣服・身用品・はきもの | 60 | 2,011 | 2 | 0 |
| 衣類具・運動娯楽用品・楽器 | 73 | 300 | 0 | 0 |
| 家具装飾品 | 53 | 859 | 0 | 0 |
| その他日用品 | 92 | 162 | 2 | 0 |
| ゴム製品 | 324 | 245 | 0 | 0 |
| 木製品 | 5 | 434 | 1 | - |
| その他製造工業品 | 135 | 128 | 0 | 0 |
| 金属くず | 32 | 37 | 0 | - |
| 再利用資材 | 865 | 21 | - | - |
| 動植物性製造飼料 | 8 | 699 | 19 | - |
| 輸送用容器 | 119 | 467 | 2 | - |
| 取合せ品 | 117 | 73 | 250 | 652 |
| 小計 | 7,758 | 17,357 | 415 | 675 |
| 合計 | | 26,205 | | |
| 利用水準(t/m) | | 11,132 | | |



(貨物量の単位：千トン)

| 施設名 品目 | 大井水産 | | | |
|-----------|--------------------------|------------|-------------|----|
| | 規模 -11.0~-12.0m 輸出 | × 2B 輸入 | 450 m 移出 | 移入 |
| 動植物性製造飼料 | 0 | - | 0 | - |
| 小計 | 0 | - | 0 | - |
| 合計 | | 0 | | |
| 利用水準(t/m) | | 0 | | |

| 施設名 品目 | 大井食品 | | | |
|-----------|--------------------|------------|-------------|----|
| | 規模 -12.0m 輸出 | × 1B 輸入 | 225 m 移出 | 移入 |
| 麦 | - | 190 | - | 76 |
| 小計 | - | 190 | - | 76 |
| 合計 | | 266 | | |
| 利用水準(t/m) | | 1,184 | | |

| 施設名 品目 | 大井食品 | | | |
|-----------|--------------------|------------|-------------|----|
| | 規模 -11.0m 輸出 | × 2B 輸入 | 380 m 移出 | 移入 |
| 麦 | - | - | 1 | 1 |
| 野菜・果物 | - | 109 | - | - |
| 小計 | - | 109 | 1 | 1 |
| 合計 | | 110 | | |
| 利用水準(t/m) | | 291 | | |

| 施設名 品目 | 大井その2建設葬牛土 | | | |
|-----------|-------------------|------------|-------------|----|
| | 規模 -7.5m 輸出 | × 1B 輸入 | 130 m 移出 | 移入 |
| 廃土砂 | - | - | 874 | - |
| 小計 | - | - | 874 | - |
| 合計 | | 874 | | |
| 利用水準(t/m) | | 6,723 | | |

| 施設名 品目 | 大井その2建材 | | | |
|-----------|-------------------|------------|-------------|-------|
| | 規模 -5.0m 輸出 | × 4B 輸入 | 280 m 移出 | 移入 |
| 砂利・砂 | - | - | 1 | 587 |
| 石材 | - | - | - | 622 |
| 石灰石 | - | - | - | 155 |
| 小計 | - | - | 1 | 1,364 |
| 合計 | | 1,365 | | |
| 利用水準(t/m) | | 4,874 | | |

図 III-1-3 公共埠頭取扱状況図(南部地区)(令和元年)

| 施設名 品目 | 13号地(公共) | | | |
|----------------|--------------|--------|-------|----|
| | -13.0~-15.0m | | 870 m | |
| 規模 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 |
| 麦 | 0 | 1 | - | - |
| 米 | 1 | 2 | - | - |
| とうもろこし | - | 0 | - | - |
| 豆類 | 0 | 5 | - | - |
| その他雑穀 | - | 0 | - | - |
| 野菜・果物 | 13 | 161 | - | - |
| 雑草 | 0 | - | - | - |
| その他農産品 | 1 | 33 | - | - |
| 羊毛 | - | 0 | - | - |
| その他畜産品 | 12 | 142 | - | - |
| 水産品 | 23 | 133 | 10 | 6 |
| 原木 | 1 | 1 | - | - |
| 製材 | 8 | 122 | - | - |
| 樹脂類 | 0 | 28 | - | - |
| 木材チップ | 0 | 1 | - | - |
| その他林産品 | 0 | 0 | - | - |
| 薪炭 | 0 | 7 | - | - |
| 石炭 | 0 | 10 | - | - |
| 鉄鉱石 | - | 0 | - | - |
| 金属鉱 | - | 0 | - | - |
| 砂利・砂 | 0 | 5 | - | - |
| 石材 | 0 | 10 | - | - |
| 原油 | - | 0 | - | - |
| 石灰石 | - | 1 | - | - |
| 原塩 | - | 4 | - | - |
| 非金属鉱物 | 4 | 28 | - | - |
| 鉄鋼 | 6 | 3 | - | - |
| 鋼材 | 34 | 29 | - | - |
| 非鉄金属 | 18 | 30 | - | - |
| 金属製品 | 45 | 367 | - | 4 |
| 鉄道車両 | 0 | 0 | - | 2 |
| 完成自動車 | 38 | 2 | - | - |
| その他輸送用車両 | 0 | 30 | - | 0 |
| 二輪自動車 | 0 | 4 | - | - |
| 自動車部品 | 126 | 106 | - | 5 |
| その他輸送機械 | 9 | 123 | - | - |
| 産業機械 | 105 | 279 | - | - |
| 電気機械 | 67 | 973 | 30 | 9 |
| 測量・光学・医療用機械 | 14 | 73 | 27 | 13 |
| 事務用機器 | 1 | 40 | 1 | - |
| その他機械 | 2 | 5 | 7 | 4 |
| 陶磁器 | 2 | 25 | - | - |
| セメント | 0 | 1 | - | - |
| ガラス類 | 10 | 34 | - | - |
| 窯業品 | 16 | 38 | - | - |
| 揮発油 | - | 0 | - | - |
| その他の石油 | 9 | 2 | - | - |
| LNG/液化天然ガス | - | 0 | - | - |
| その他石油製品 | 1 | 1 | - | - |
| コークス | - | 3 | - | - |
| 石炭製品 | - | 0 | - | - |
| 化学製品 | 39 | 109 | - | - |
| 化学原料 | 1 | 14 | - | - |
| その他化学工業品 | 256 | 334 | 6 | 16 |
| 紙・パルプ | 24 | 96 | - | 3 |
| 糸及び紡績半製品 | 0 | 9 | - | - |
| その他繊維工業品 | 7 | 57 | 1 | - |
| 砂糖 | 0 | 2 | 1 | 11 |
| 製造食品 | 27 | 361 | 19 | 7 |
| 飲料 | 5 | 31 | 0 | - |
| 水 | 0 | 4 | - | - |
| たばこ | - | 4 | - | - |
| その他食料工業品 | 0 | 4 | - | 0 |
| がん具 | 5 | 181 | - | - |
| 衣服・身用品・はきもの | 16 | 1,397 | 10 | 2 |
| 文房具・運動・娯楽用品・美術 | 19 | 164 | 4 | 1 |
| 家具装飾品 | 14 | 499 | 8 | - |
| その他日用品 | 8 | 131 | 4 | 0 |
| ゴム製品 | 21 | 74 | - | 2 |
| 木製品 | 2 | 336 | - | - |
| その他製造工業品 | 78 | 64 | - | 0 |
| 金属くず | 16 | 7 | - | 1 |
| 再利用資材 | 406 | 3 | - | 0 |
| 動植物性製造副産物 | 2 | 39 | - | - |
| 輸送用容器 | 25 | 212 | - | - |
| 取合せ品 | 17 | 12 | - | - |
| 小計 | 1,618 | 7,015 | 127 | 86 |
| 合計 | | 8,946 | | |
| 利用水準(t/m) | | 10,168 | | |



(貨物量の単位：千トン)

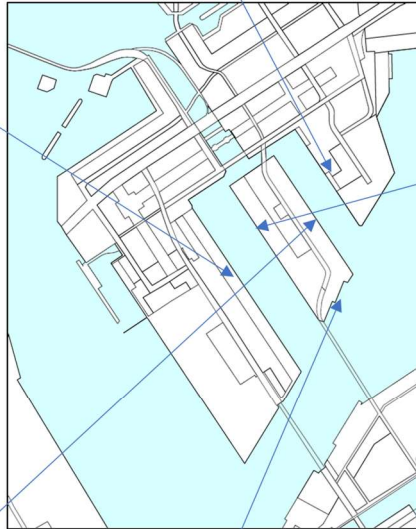
| 施設名 品目 | 13号地 | | | |
|----------------|--------|-------|-------|----|
| | -15.0m | | 700 m | |
| 規模 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 |
| 麦 | - | 3 | 0 | - |
| 米 | 1 | 8 | 1 | - |
| とうもろこし | - | 1 | - | - |
| 豆類 | 0 | 22 | 3 | - |
| その他雑穀 | - | 2 | 1 | - |
| 野菜・果物 | 11 | 136 | 1 | 1 |
| 雑草 | - | 0 | - | - |
| その他農産品 | 3 | 29 | - | - |
| 羊毛 | - | 0 | - | - |
| その他畜産品 | 12 | 129 | 0 | 14 |
| 水産品 | 22 | 111 | 0 | 7 |
| 原木 | 1 | 1 | - | - |
| 製材 | 1 | 303 | 43 | - |
| 樹脂類 | 0 | 17 | - | - |
| 木材チップ | - | 2 | - | - |
| その他林産品 | 0 | 1 | 3 | - |
| 薪炭 | - | 10 | - | - |
| 石炭 | 0 | 7 | - | - |
| 鉄鉱石 | - | 0 | - | - |
| 金属鉱 | 0 | 0 | - | - |
| 砂利・砂 | 0 | 5 | - | - |
| 石材 | 0 | 8 | - | - |
| 原油 | - | 0 | - | - |
| 石灰石 | - | 0 | - | - |
| 原塩 | - | 2 | - | - |
| 非金属鉱物 | 2 | 33 | 2 | - |
| 鉄鋼 | 4 | 5 | - | - |
| 鋼材 | 64 | 12 | - | - |
| 非鉄金属 | 14 | 11 | - | - |
| 金属製品 | 42 | 202 | 0 | 0 |
| 鉄道車両 | 0 | 0 | - | - |
| 完成自動車 | 24 | 3 | - | - |
| その他輸送用車両 | 1 | 10 | - | - |
| 二輪自動車 | 0 | 3 | - | - |
| 自動車部品 | 122 | 90 | - | 0 |
| その他輸送機械 | 1 | 82 | - | - |
| 産業機械 | 141 | 164 | - | 0 |
| 電気機械 | 65 | 478 | 0 | 0 |
| 測量・光学・医療用機械 | 25 | 55 | - | - |
| 事務用機器 | 3 | 20 | - | - |
| その他機械 | 3 | 3 | - | - |
| 陶磁器 | 1 | 16 | - | - |
| セメント | 0 | 1 | - | - |
| ガラス類 | 31 | 15 | - | - |
| 窯業品 | 15 | 40 | - | - |
| 揮発油 | 4 | 3 | - | - |
| その他の石油 | - | 0 | - | - |
| LNG/液化天然ガス | - | 0 | - | - |
| その他石油製品 | 1 | 3 | - | - |
| コークス | - | 4 | - | - |
| 石炭製品 | - | 0 | - | - |
| 化学製品 | 36 | 86 | - | - |
| 化学原料 | 0 | 9 | - | - |
| その他化学工業品 | 262 | 287 | 1 | 0 |
| 紙・パルプ | 27 | 138 | 4 | - |
| 糸及び紡績半製品 | 1 | 8 | - | - |
| その他繊維工業品 | 7 | 47 | - | - |
| 砂糖 | 0 | 6 | - | - |
| 製造食品 | 44 | 451 | 1 | 0 |
| 飲料 | 8 | 55 | 1 | 0 |
| 水 | 1 | 61 | - | - |
| たばこ | 0 | 4 | - | - |
| その他食料工業品 | 0 | 16 | 51 | - |
| がん具 | 4 | 131 | - | 0 |
| 衣服・身用品・はきもの | 60 | 519 | - | 0 |
| 文房具・運動・娯楽用品・美術 | 17 | 81 | - | - |
| 家具装飾品 | 18 | 384 | - | 0 |
| その他日用品 | 11 | 68 | - | 0 |
| ゴム製品 | 25 | 51 | - | - |
| 木製品 | 1 | 267 | 4 | - |
| その他製造工業品 | 46 | 35 | - | - |
| 金属くず | 15 | 11 | 0 | - |
| 再利用資材 | 269 | 15 | - | - |
| 動植物性製造副産物 | 7 | 223 | 26 | - |
| 輸送用容器 | 30 | 115 | - | - |
| 取合せ品 | 28 | 9 | 6 | 0 |
| 小計 | 1,529 | 5,142 | 148 | 23 |
| 合計 | | 6,942 | | |
| 利用水準(t/m) | | 9,774 | | |

図Ⅲ-1-4 公共埠頭取扱状況図(中部地区(1))(令和元年)

| 施設名 | お台場ライナー | | | | |
|----------------|-------------|-----|---------|----|---|
| | -10.0m × 9B | | 1,800 m | | |
| 品目 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 | |
| 麦 | - | 1 | - | - | - |
| 豆類 | - | 0 | - | - | - |
| 野菜・果物 | - | 0 | - | - | - |
| その他農産品 | - | 0 | - | - | - |
| 製材 | - | 39 | - | - | - |
| 非金属鉱物 | - | - | - | 0 | - |
| 鉄鋼 | 18 | - | - | - | - |
| 銅材 | 0 | 33 | - | 1 | - |
| 金属製品 | 0 | 6 | - | - | - |
| 完成自動車 | - | - | - | 0 | - |
| その他輸送用車両 | - | 9 | - | - | - |
| 自動車部品 | 1 | - | - | - | - |
| その他輸送機械 | 0 | - | 1 | 3 | - |
| 産業機械 | 0 | 0 | - | - | - |
| 電気機械 | 0 | 1 | - | - | - |
| 測量・光学・医療用機械 | 6 | 14 | - | - | - |
| 医薬品 | 0 | 1 | - | - | - |
| その他の石油 | 0 | 3 | - | - | - |
| 化学製品 | 0 | - | - | 5 | - |
| その他化学工業品 | 0 | - | - | - | - |
| 紙・パルプ | - | 3 | - | 62 | - |
| 製造食品 | 0 | 0 | - | - | - |
| その他食料工業品 | - | 0 | - | - | - |
| 家具・寝具・運動機用品・楽器 | 0 | 0 | - | - | - |
| その日用品 | 0 | - | - | - | - |
| ゴム製品 | 0 | - | - | - | - |
| 木製品 | - | 1 | - | - | - |
| その他製造工業品 | - | 0 | - | - | - |
| 金属くず | 539 | - | 16 | - | - |
| 動植物性製造飼料 | - | 6 | - | - | - |
| 輸送用容器 | 0 | 68 | - | - | - |
| 取合せ品 | 0 | 0 | 13 | 22 | - |
| 小計 | 566 | 188 | 29 | 92 | - |
| 合計 | | | 873 | | |
| 利用率(t/m) | | | 485 | | |

| 施設名 | 10号地その2(東)内貨雑貨 | | | | |
|------------|----------------|----|-------|-----|-----|
| | -5.0m × 13B | | 920 m | | |
| 品目 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 | |
| 砂利・砂 | - | - | - | 1 | - |
| 鋼材 | - | - | - | 173 | - |
| セメント | - | - | - | 36 | - |
| 揮発油 | - | - | 1 | - | - |
| その他の石油 | - | - | 0 | - | - |
| LPG/液化石油ガス | - | - | 0 | - | - |
| その他石油製品 | - | - | 0 | - | - |
| 化学製品 | - | - | - | 1 | - |
| 紙・パルプ | - | - | - | 153 | - |
| 小計 | - | - | - | 1 | 365 |
| 合計 | | | 366 | | |
| 利用率(t/m) | | | 398 | | |

| 施設名 | 10号地その1西側多目的 | | | | |
|----------|--------------|----|-------|----|---|
| | -7.5m × 1B | | 180 m | | |
| 品目 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 | |
| 産業機械 | - | - | 0 | 0 | - |
| 小計 | - | - | 0 | 0 | - |
| 合計 | | | 0 | | |
| 利用率(t/m) | | | 1 | | |



(貨物量の単位：千トン)

| 施設名 | 10号地その2多目的(フェリー) | | | | |
|----------|------------------|----|--------|-------|---|
| | -7.5~8.5m × 3B | | 681 m | | |
| 品目 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 | |
| 完成自動車 | - | - | 5,967 | 5,168 | - |
| 小計 | - | - | 10,735 | 5,168 | - |
| 合計 | | | 10,735 | | |
| 利用率(t/m) | | | 15,763 | | |

| 施設名 | 10号地その2(西) | | | | |
|----------------|-------------|----|---------|-------|---|
| | -7.5m × 11B | | 1,500 m | | |
| 品目 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 | |
| 麦 | - | - | 1 | 0 | - |
| 豆類 | - | - | 11 | 1 | - |
| その他雑穀 | - | - | 0 | 0 | - |
| 野菜・果物 | - | - | 10 | 7 | - |
| その他農産品 | - | - | 0 | 0 | - |
| その他畜産品 | - | - | 1 | 11 | - |
| 水産品 | - | - | 0 | - | - |
| 原木 | - | - | - | 1 | - |
| 炭粉 | - | - | 1 | 6 | - |
| 樹脂類 | - | - | 4 | 4 | - |
| 木材チップ | - | - | - | 1 | - |
| その他林産品 | - | - | 0 | 0 | - |
| 薪炭 | - | - | - | 0 | - |
| 石炭 | - | - | - | 0 | - |
| 砂利・砂 | - | - | 0 | 1 | - |
| 石灰 | - | - | 2 | 0 | - |
| 石灰石 | - | - | 0 | 1 | - |
| 原石 | - | - | 0 | 4 | - |
| 非金属鉱物 | - | - | 0 | 0 | - |
| 鉄鋼 | - | - | 2 | 2 | - |
| 銅材 | - | - | 38 | 23 | - |
| 非鉄金属 | - | - | 6 | 1 | - |
| 金属製品 | - | - | 10 | 22 | - |
| 完成自動車 | - | - | 1,265 | 392 | - |
| その他輸送用車両 | - | - | 9 | 2 | - |
| 二輪自動車 | - | - | 0 | 0 | - |
| 自動車部品 | - | - | 12 | 13 | - |
| その他輸送機械 | - | - | 43 | 90 | - |
| 産業機械 | - | - | 117 | 21 | - |
| 電気機械 | - | - | 13 | 3 | - |
| 測量・光学・医療用機械 | - | - | 2 | 0 | - |
| 事務用機械 | - | - | 2 | 0 | - |
| その他機械 | - | - | 7 | 6 | - |
| セメント | - | - | 1 | 4 | - |
| ガラス類 | - | - | 1 | - | - |
| 医薬品 | - | - | 6 | 6 | - |
| その他の石油 | - | - | 4 | 0 | - |
| LPG/液化石油ガス | - | - | - | 0 | - |
| その他石油製品 | - | - | 1 | 0 | - |
| 石油製品 | - | - | - | 0 | - |
| 化学製品 | - | - | 4 | 9 | - |
| 化学肥料 | - | - | 2 | 2 | - |
| その他化学工業品 | - | - | 67 | 57 | - |
| 紙・パルプ | - | - | 59 | 268 | - |
| その他繊維工業品 | - | - | 0 | 0 | - |
| 砂糖 | - | - | 6 | 2 | - |
| 製造食品 | - | - | 111 | 62 | - |
| 飲料 | - | - | 121 | 90 | - |
| 水 | - | - | 0 | 16 | - |
| たばこ | - | - | 3 | 7 | - |
| その他食料工業品 | - | - | 1 | 0 | - |
| がんば | - | - | 0 | 0 | - |
| 衣服・多目的・はきもの | - | - | 0 | 0 | - |
| 家具・寝具・運動機用品・楽器 | - | - | 0 | 0 | - |
| 家具装飾品 | - | - | 2 | 7 | - |
| その日用品 | - | - | 47 | 12 | - |
| ゴム製品 | - | - | 10 | 11 | - |
| 木製品 | - | - | 1 | 0 | - |
| その他製造工業品 | - | - | 29 | 9 | - |
| 金属くず | - | - | 0 | 1 | - |
| 再利用資材 | - | - | 7 | 2 | - |
| 動植物性製造飼料 | - | - | 1 | 0 | - |
| 医薬品 | - | - | 1 | 0 | - |
| 廃土砂 | - | - | 0 | 0 | - |
| 輸送用容器 | - | - | 31 | 66 | - |
| 取合せ品 | - | - | 1,865 | 1,209 | - |
| 小計 | - | - | 3,945 | 2,458 | - |
| 合計 | | | 6,403 | | |
| 利用率(t/m) | | | 4,269 | | |

図Ⅲ-1-5 公共埠頭取扱状況図(中部地区(2))(令和元年)

| 施設名 | 辰巳内貨経費 | | | |
|------------|--------|-------|------|---------|
| | 規模 | -5.0m | ×13B | 1,040 m |
| 品目 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 |
| 野菜・果物 | - | - | 1 | - |
| その他農産品 | - | - | 0 | 0 |
| 水産品 | - | - | - | 0 |
| 製材 | - | - | 7 | 1 |
| その他林産品 | - | - | 2 | 2 |
| 砂利・砂 | - | - | 0 | 0 |
| 石材 | - | - | - | 0 |
| 非金属鉱物 | - | - | - | 1 |
| 鋼材 | - | - | 11 | 167 |
| 金属製品 | - | - | 9 | 3 |
| 完成自動車 | - | - | 5 | 2 |
| その他輸送機械 | - | - | 9 | 1 |
| 産業機械 | - | - | 11 | 11 |
| 電気機械 | - | - | 0 | 0 |
| セメント | - | - | 20 | 0 |
| ガラス類 | - | - | 0 | 0 |
| 農薬品 | - | - | 14 | 0 |
| その他の石油 | - | - | 5 | - |
| LPG・液化石油ガス | - | - | 2 | - |
| 化学薬品 | - | - | 0 | 0 |
| その他化学工業品 | - | - | 0 | - |
| 製造食品 | - | - | 5 | - |
| 飲料 | - | - | 4 | - |
| その他日用品 | - | - | 3 | 0 |
| ゴム製品 | - | - | - | 0 |
| 木製品 | - | - | 19 | 1 |
| 金属くず | - | - | 1 | 8 |
| 再生資源材 | - | - | - | 2 |
| 動植物性製造飼料 | - | - | 2 | - |
| 廃棄物 | - | - | - | 8 |
| 輸送用容器 | - | - | 2 | 9 |
| 取合せ品 | - | - | 23 | 12 |
| 小計 | - | - | 155 | 230 |
| 合計 | - | - | 366 | 371 |
| 利用水準(t/m) | - | - | 371 | |



(貨物量の単位：千トン)

| 施設名 | 15号地(暫定) | | | |
|-----------|----------|-------|-------|-------|
| | 規模 | -9.0m | ×1B | 190 m |
| 品目 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 |
| 炭 | - | - | 27 | - |
| 野菜・果物 | - | - | 21 | 11 |
| 完成自動車 | - | - | 117 | 33 |
| その他輸送機械 | - | - | - | 30 |
| 事務用機器 | - | - | 39 | - |
| 製造食品 | - | - | - | 11 |
| 飲料 | - | - | 23 | 24 |
| その他日用品 | - | - | 57 | 11 |
| 輸送用容器 | - | - | - | 1 |
| 取合せ品 | - | - | 172 | 49 |
| 小計 | - | - | 628 | 170 |
| 合計 | - | - | 628 | |
| 利用水準(t/m) | - | - | 3,305 | |

| 施設名 | 若洲建材・製材 | | | |
|-----------|---------|-------|-------|-------|
| | 規模 | -5.5m | ×4B | 370 m |
| 品目 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 |
| 砂利・砂 | - | - | 14 | 405 |
| 石材 | - | - | - | 136 |
| 非金属鉱物 | - | - | 46 | 105 |
| 農薬品 | - | - | 8 | 44 |
| 小計 | - | - | 68 | 690 |
| 合計 | - | - | 758 | |
| 利用水準(t/m) | - | - | 2,048 | |

| 施設名 | 15号地木材 | | | |
|-----------|--------|--------|-----|-------|
| | 規模 | -12.0m | ×3B | 720 m |
| 品目 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 |
| 製材 | 1 | 34 | 2 | 4 |
| 小計 | 1 | 34 | 2 | 4 |
| 合計 | - | - | 40 | |
| 利用水準(t/m) | - | - | 56 | |

図Ⅲ-1-6 公共埠頭取扱状況図(東部地区) (令和元年)

| 施設名 規模 | 中防外 | | | |
|---------------|-------|-------|-------|----|
| | -110m | ×1B | 230 m | |
| 品目 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 |
| 米 | - | 0 | - | - |
| とうもろこし | - | 0 | - | - |
| 豆類 | 0 | 1 | - | - |
| 野菜・果物 | 0 | 49 | - | - |
| その他畜産品 | 0 | 11 | - | - |
| その他畜産品 | 0 | 29 | - | - |
| 水産品 | 1 | 18 | - | - |
| 原木 | - | 0 | - | - |
| 製材 | 3 | 33 | - | - |
| 木材チップ | - | 0 | - | - |
| その他林産品 | 0 | - | - | - |
| 薪炭 | - | 1 | - | - |
| 石灰 | - | 0 | - | - |
| 砕石 | - | 0 | - | - |
| 砂利・砂 | - | 0 | - | - |
| 石材 | 5 | 27 | - | - |
| 原塩 | - | 0 | - | - |
| 非金属鉱物 | 2 | 1 | - | - |
| 鉄鋼 | 0 | 0 | - | - |
| 銅材 | 2 | 2 | - | - |
| 非鉄金属 | 1 | 7 | - | - |
| 金属製品 | 7 | 73 | - | - |
| 完成自動車 | 0 | 0 | - | - |
| その他輸送用車両 | 0 | 10 | - | - |
| 二輪自動車 | 0 | 0 | - | - |
| 自動車部品 | 31 | 53 | - | - |
| その他輸送機械 | 0 | 8 | - | - |
| 産業機械 | 40 | 144 | - | - |
| 電気機械 | 14 | 208 | - | - |
| 測量・光学・医療用機械 | 15 | 17 | - | - |
| 事務用機器 | 0 | 15 | - | - |
| その他機械 | 0 | 1 | - | - |
| 陶磁器 | 0 | 6 | - | - |
| セメント | 0 | 2 | - | - |
| ガラス類 | 2 | 24 | - | - |
| 窯業品 | 2 | 3 | - | - |
| その他の石油 | 0 | 1 | - | - |
| その他石油製品 | 0 | 1 | - | - |
| コークス | - | 0 | - | - |
| 石炭製品 | - | 0 | - | - |
| 化学製品 | 6 | 20 | - | - |
| 化学肥料 | - | 1 | - | - |
| その他化学工業品 | 91 | 44 | - | - |
| 紙・パルプ | 2 | 52 | - | - |
| 糸及び紡績半製品 | 0 | 0 | - | - |
| その他繊維工業品 | 2 | 16 | - | - |
| 砂糖 | - | 2 | - | - |
| 製造食品 | 4 | 86 | - | - |
| 飲料 | 1 | 3 | - | - |
| 水 | 0 | 1 | - | - |
| たばこ | - | 0 | - | - |
| その他食料工業品 | - | 0 | - | - |
| がん具 | 1 | 35 | - | - |
| 衣服・身用品・はきもの | 3 | 359 | - | - |
| 文房具・運動娯楽用品・楽器 | 6 | 66 | - | - |
| 家具装飾品 | 2 | 127 | - | - |
| その他日用品 | 2 | 22 | - | - |
| ゴム製品 | 4 | 14 | - | - |
| 木製品 | 0 | 41 | - | - |
| その他製造工業品 | 6 | 19 | - | - |
| 金属くず | 2 | 3 | - | - |
| 再利用資材 | 201 | 1 | 5 | - |
| 動植物性製造飼料 | 0 | 6 | - | - |
| 輸送用容器 | 9 | 27 | - | - |
| 取合せ品 | 6 | 4 | - | - |
| 小計 | 476 | 1,896 | 5 | - |
| 合計 | | 2,176 | | |
| 利用水準(t/m) | | 9,462 | | |

| 施設名 規模 | 中防内建設発生土 | | | |
|-----------|----------|-----|-------|----|
| | -7.5m | ×1B | 160 m | |
| 品目 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 |
| 廃土砂 | - | - | 183 | - |
| 小計 | - | - | 183 | - |
| 合計 | | | 183 | |
| 利用水準(t/m) | | | 1,149 | |



(貨物量の単位：千トン)

| 施設名 規模 | 中防内はらもの | | | |
|-----------|---------|-------|-------|----|
| | -120m | ×1B | 240 m | |
| 品目 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 |
| 石炭 | - | 108 | - | 3 |
| 砂利・砂 | - | - | - | 2 |
| 非金属鉱物 | - | 73 | 5 | - |
| 鉄鋼 | - | 7 | - | - |
| 非鉄金属 | - | 3 | - | - |
| 金属製品 | - | 2 | - | - |
| 産業機械 | - | - | 0 | 0 |
| コークス | - | 13 | 16 | 34 |
| 廃棄物 | - | - | - | 0 |
| 小計 | - | 206 | 20 | 38 |
| 合計 | | 264 | | |
| 利用水準(t/m) | | 1,101 | | |

| 施設名 規模 | 中防内 | | | |
|---------------|-------|-----|-------|-----|
| | -9.0m | ×2B | 460 m | |
| 品目 | 輸出 | 輸入 | 移出 | 移入 |
| 麦 | - | - | 5 | 2 |
| 米 | - | - | 0 | 15 |
| 豆類 | - | - | 2 | 2 |
| その他穀類 | - | - | 0 | 0 |
| 野菜・果物 | - | - | 2 | 34 |
| その他畜産品 | - | - | 1 | 2 |
| その他畜産品 | - | - | 0 | 2 |
| 水産品 | - | - | 0 | 1 |
| 製材 | - | - | 1 | 5 |
| 樹脂類 | - | - | 4 | 0 |
| 木材チップ | - | - | 0 | - |
| その他林産品 | - | - | 0 | 1 |
| 薪炭 | - | - | 0 | 0 |
| 金属鉱 | - | - | 0 | 0 |
| 砂利・砂 | - | - | 1 | 0 |
| 石材 | - | - | 1 | 0 |
| 石灰石 | - | - | 1 | 0 |
| 非金属鉱物 | - | - | 1 | 0 |
| 鉄鋼 | - | - | 1 | 7 |
| 銅材 | - | - | 3 | 1 |
| 非鉄金属 | - | - | 0 | 0 |
| 金属製品 | - | - | 11 | 4 |
| 完成自動車 | - | - | 2 | 0 |
| その他輸送用車両 | - | - | 0 | 0 |
| 二輪自動車 | - | - | - | 0 |
| 自動車部品 | - | - | 7 | 18 |
| その他輸送機械 | - | - | 0 | 0 |
| 産業機械 | - | - | 3 | 2 |
| 電気機械 | - | - | 2 | 11 |
| 測量・光学・医療用機械 | - | - | 0 | 0 |
| 事務用機器 | - | - | 2 | 1 |
| その他機械 | - | - | 2 | 3 |
| 陶磁器 | - | - | - | 0 |
| セメント | - | - | 1 | 0 |
| ガラス類 | - | - | 11 | 0 |
| 窯業品 | - | - | 1 | 0 |
| その他の石油 | - | - | 8 | 0 |
| その他石油製品 | - | - | - | 0 |
| LPG/液化天然ガス | - | - | 0 | 0 |
| その他石油製品 | - | - | 2 | 0 |
| 化学製品 | - | - | 38 | 5 |
| 化学肥料 | - | - | 2 | 2 |
| その他化学工業品 | - | - | 4 | 0 |
| 紙・パルプ | - | - | 19 | 99 |
| 糸及び紡績半製品 | - | - | 0 | - |
| その他繊維工業品 | - | - | 1 | - |
| 砂糖 | - | - | 3 | 56 |
| 製造食品 | - | - | 41 | 30 |
| 飲料 | - | - | 109 | 8 |
| 水 | - | - | 0 | 3 |
| たばこ | - | - | 0 | 0 |
| その他食料工業品 | - | - | 2 | 1 |
| がん具 | - | - | 0 | - |
| 衣服・身用品・はきもの | - | - | 1 | 0 |
| 文房具・運動娯楽用品・楽器 | - | - | 0 | 0 |
| 家具装飾品 | - | - | 11 | 0 |
| その他日用品 | - | - | 114 | 5 |
| ゴム製品 | - | - | 3 | 0 |
| 木製品 | - | - | 0 | 0 |
| その他製造工業品 | - | - | 36 | 34 |
| 金属くず | - | - | 1 | 2 |
| 再利用資材 | - | - | 2 | 10 |
| 動植物性製造飼料 | - | - | 10 | 4 |
| 廃棄物 | - | - | 3 | - |
| 輸送用容器 | - | - | 38 | 136 |
| 取合せ品 | - | - | 5 | 10 |
| 小計 | | | 1,023 | 499 |
| 合計 | | | 2,224 | |
| 利用水準(t/m) | | | 2,224 | |

図Ⅲ-1-7 公共埠頭取扱状況図(中央防波堤地区)(令和元年)

(2) 水深別公共埠頭の現況

水深別の公共埠頭の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-2 水深別の公共埠頭の現況（令和元年）

| 水深 | 既設 | | 工事中 | |
|-------|------|--------|------|-----|
| | バース数 | 延長 | バース数 | 延長 |
| 15m～ | 10 | 3,404 | 1 | 400 |
| 13m～ | 2 | 520 | | |
| 12m～ | 6 | 1,435 | | |
| 11m～ | 4 | 810 | | |
| 10m～ | 12 | 2,545 | | |
| 7.5m～ | 31 | 4,902 | 2 | 500 |
| 5m～ | 41 | 3,264 | | |
| 5m未満 | 3 | 1,441 | | |
| 合計 | 109 | 18,321 | 3 | 900 |

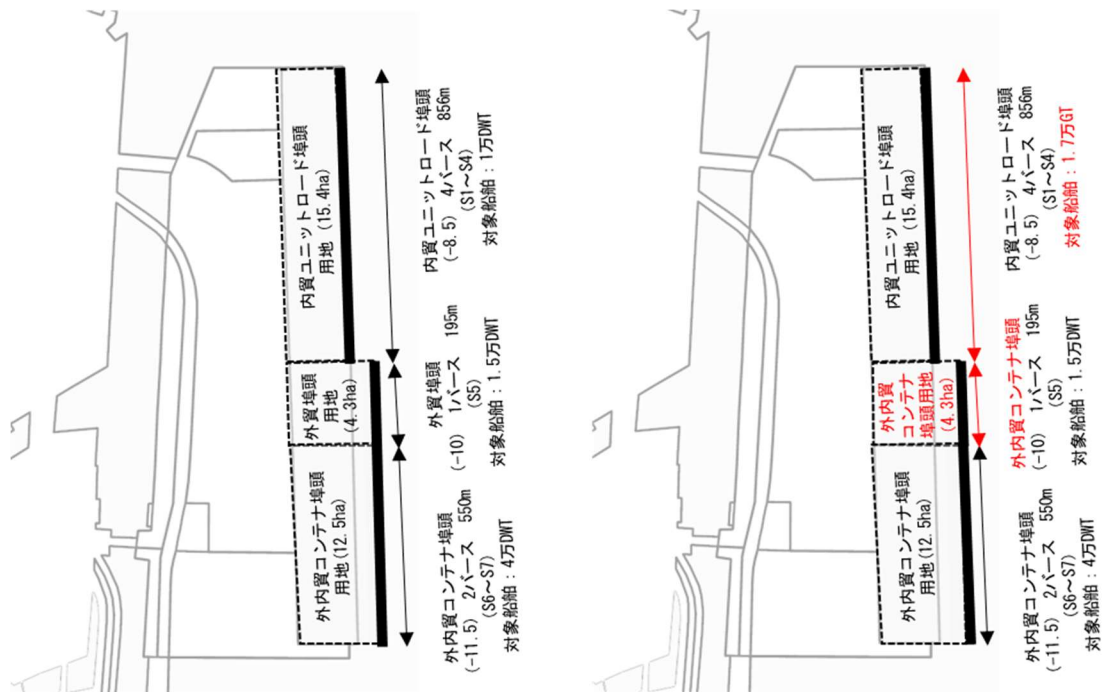
※ 工事中1バース（「中防外」のY2（-16.0m×400m（1B））は令和2年工事完了

1-1-2 公共埠頭計画の必要性

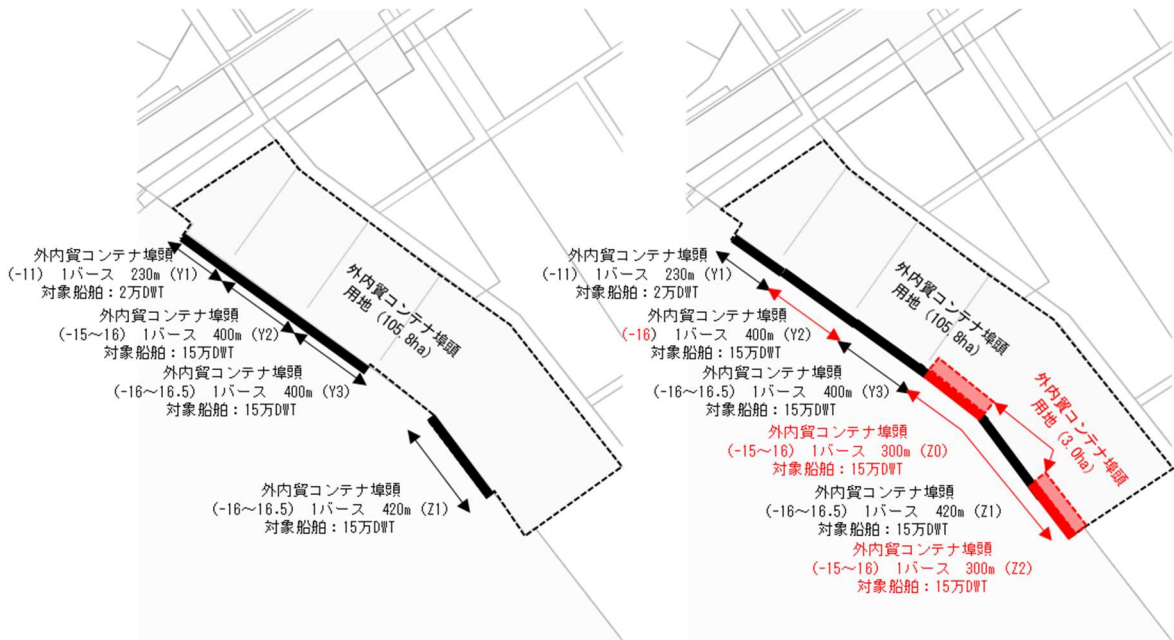
【東京港の状況・施設計画（改訂）の視点】

- ・ 東南アジア貨物等による外貿コンテナ貨物量増加への対応
- ・ コンテナ船の大型化への対応
- ・ 物流の2024年問題等によるモーダルシフトへの対応
- ・ RORO船の大型化への対応

1-1-3 公共埠頭計画の新旧対象図



図Ⅲ-1-8 品川埠頭新旧対照図 (左：既定計画、右：今回計画)



図Ⅲ-1-9 中央防波堤外側・新海面処分場埠頭新旧対照図 (左：既定計画、右：今回計画)



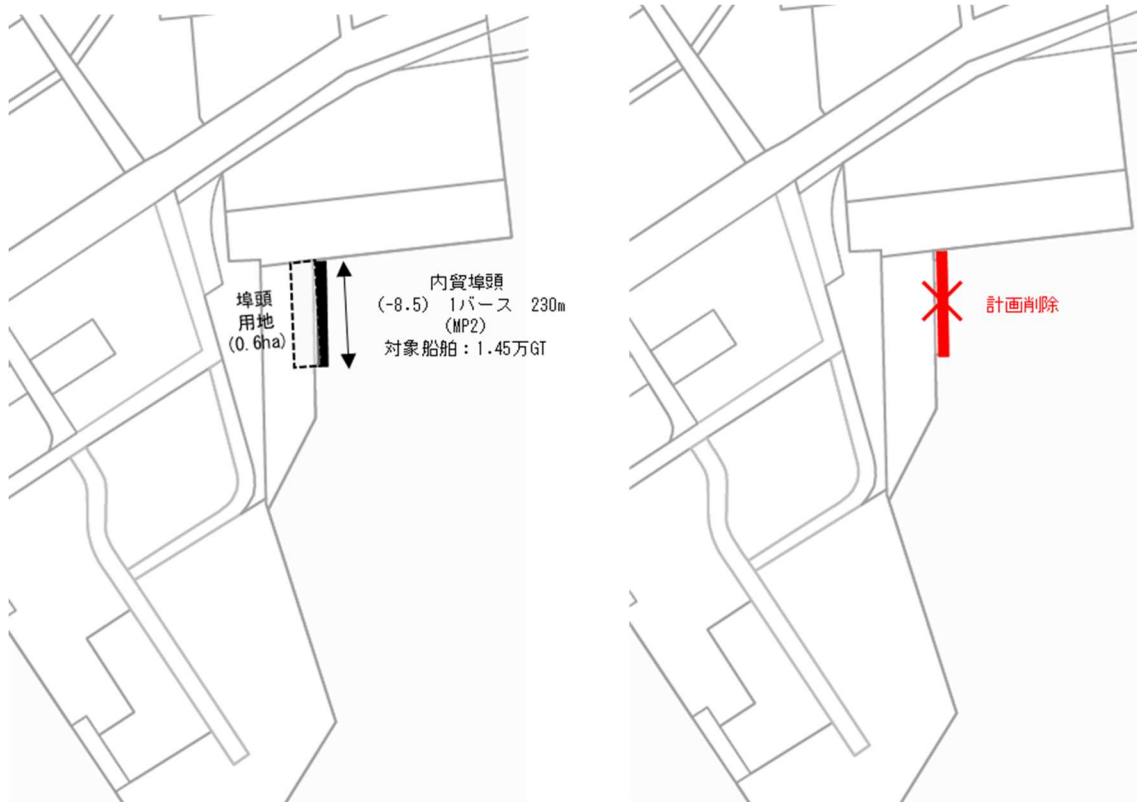
図Ⅲ-1-10 中央防波堤内側埠頭新旧対照図 (左: 既定計画、右: 今回計画)



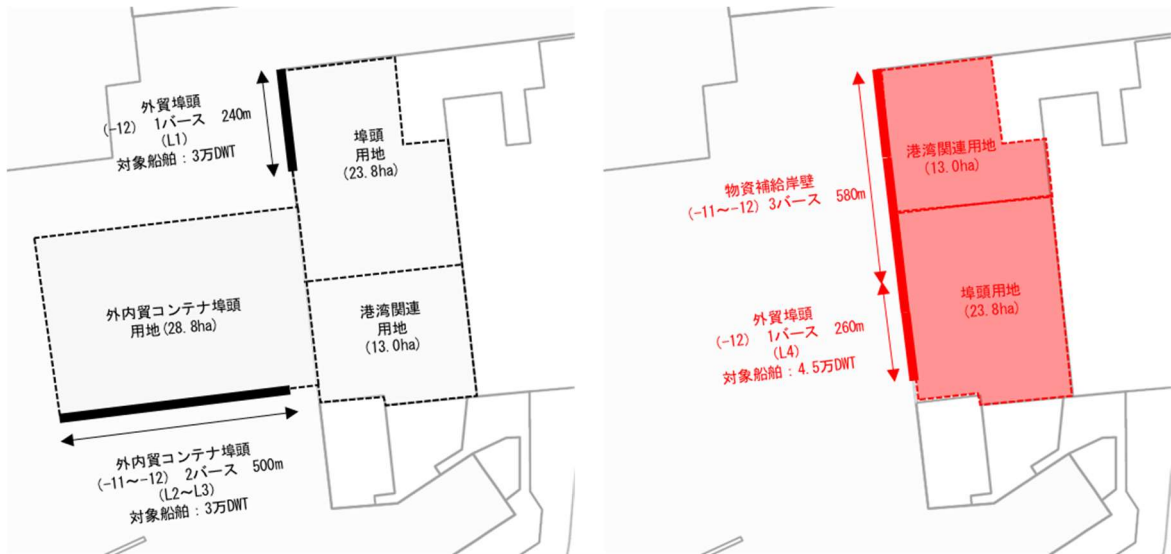
図Ⅲ-1-11 中央防波堤内側埠頭新旧対照図 (左: 既定計画、右: 今回計画)



図III-1-12 10号地その2埠頭新旧対照図（左：既定計画、右：今回計画）



図III-1-13 10号地その1埠頭新旧対照図（左：既定計画、右：今回計画）



図III-1-14 15号地埠頭新旧対照図 (左：既定計画、右：今回計画)

1-2 外内貿コンテナ埠頭計画

1-2-1 外内貿コンテナ埠頭の現況

(1) 外内貿コンテナ埠頭の利用状況

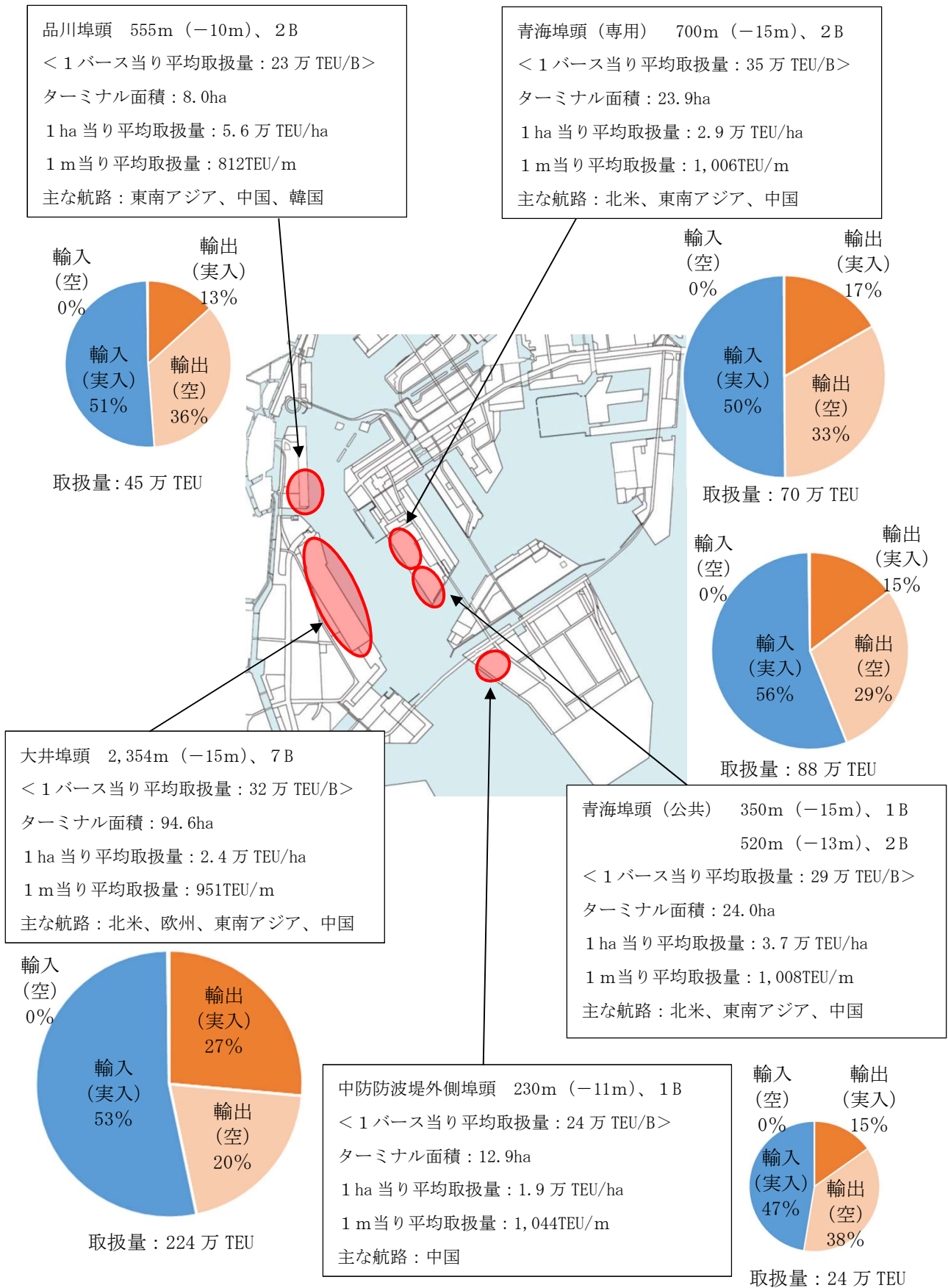
外内貿コンテナ埠頭の取扱貨物等の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-3 外内貿コンテナ埠頭の現況（令和元年）

| 地区名・埠頭名 | | 施設諸元 | 主要取扱貨物 | 航路 |
|---------|-----------------------|---|---------------------------|--|
| 内港地区 | 品川 | -10.0m×555m (2B) | その他化学工業品、衣類・身廻品・はきもの、電気機械 | 東南アジア航路、中国航路、韓国航路 |
| 南部地区 | 大井 | -15.0m×2,354m (7B) | その他化学工業品、産業機械、衣服・身廻品・はきもの | 北米航路、欧州航路、南米航路、オセアニア航路、東南アジア航路、中国航路、韓国航路 |
| 中部地区 | 13号地(青海) | -13.0m×520m (2B)、 -15.0m×1,050m (3B) | 衣服・身廻品・はきもの、電気機械、その他化学工業品 | 北米航路、オセアニア航路、東南アジア航路、中国航路、韓国航路 |
| 中央防波堤地区 | 中央防波堤外側 ^{※1} | -11.0m×230m (1B)、 -16.0m×400m (1B) 工事中 ^{※2} | 衣服・身廻品・はきもの、電気機械、再利用資材 | 中国航路 |

※1 令和4年時点工事中（新規バースY3（-16.0～16.5m×400m(1B)）

※2 令和2年工事完了Y2（-16.0m×400m(1B)）



図III-1-15 外内貿コンテナ埠頭別取扱状況 (令和元年)

(2) 水深別外内貿コンテナ埠頭延長の現況

水深別の外内貿コンテナ埠頭延長の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-4 水深別外内貿コンテナ埠頭延長の現況（令和元年）

| 水深 | 既設 | | 工事中 | |
|-------|------|-------|------|-----|
| | バース数 | 延長 | バース数 | 延長 |
| 15m～ | 10 | 3,404 | 1 | 400 |
| 13m～ | 2 | 520 | | |
| 12m～ | | | | |
| 11m～ | 1 | 230 | | |
| 10m～ | 2 | 555 | | |
| 7.5m～ | | | | |
| 5m～ | | | | |
| 5m未満 | | | | |
| 合計 | 15 | 4,709 | 1 | 400 |

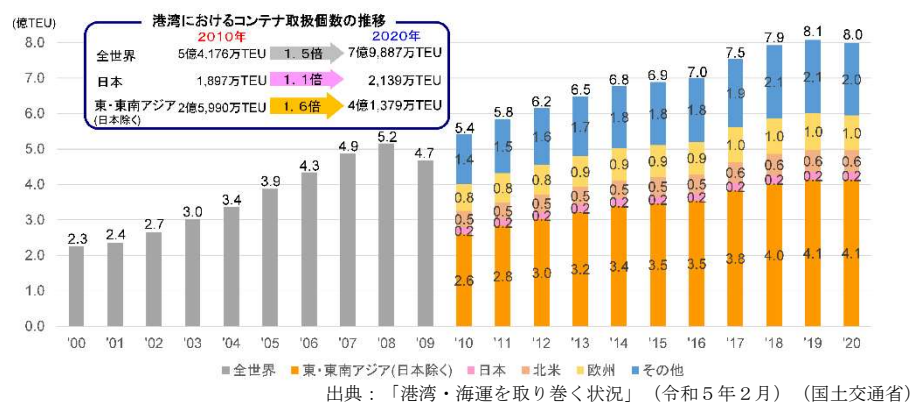
※工事中1バース（「中防外」のY2（-16.0m×400m（1B））は令和2年工事完了

1-2-2 外内貿コンテナ埠頭計画の必要性

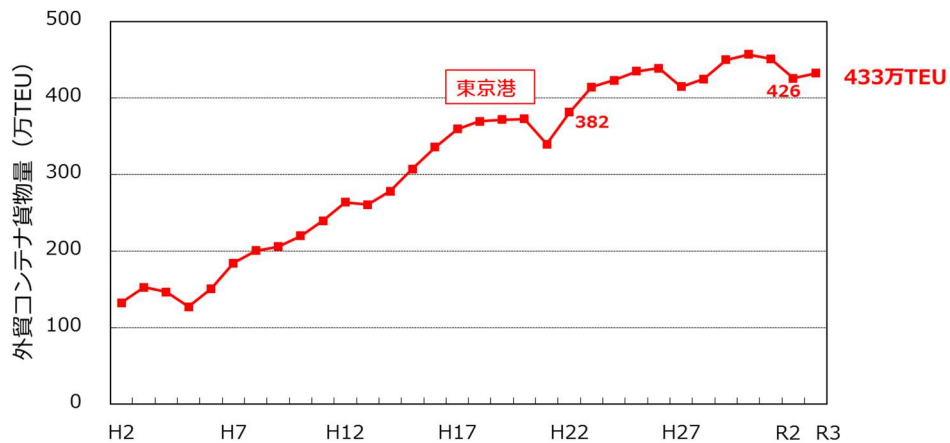
<課題>

○ コンテナ貨物量の増加

- ・ アジア諸国の経済成長等に伴い、世界の港湾におけるコンテナ貨物量は2010年から2020年の11年間で1.5倍に増加している。日本全体でも増加傾向にあるが、伸び率は1.1倍であり、東京港の伸び率も1.1倍になっている。
- ・ 東京港のコンテナ貨物は、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に減少しているものの、これまで堅調に増加しており、今後の経済成長を踏まえるとさらに増加することが見込まれる。



図Ⅲ-1-16 世界の港湾におけるコンテナ貨物量の推移



図Ⅲ-1-17 東京港の外貿コンテナ貨物量の推移

- 近年、環太平洋パートナーシップ（TPP）協定や地域的な包括的経済連携（RCEP）協定など、世界各国との経済連携協定が締結されており、今後は関税撤廃等により自由貿易が拡大し、国際貨物の輸送量が増加することが見込まれている。また、国内では2019年に1兆円弱であった農林水産品・食品の輸出額を、2030年までに5兆円とすることを目指しており、輸出貨物の取り込みによる貨物量の増加も期待されている。

○ ゲート前の交通混雑

- 東京港ではこれまで、新規埠頭の整備や道路ネットワークの拡充に加え、早朝ゲートオープンの実施、車両待機場やストックヤードの整備・運用など、ハード・ソフト一体となった取組を進めてきた。しかし、取扱貨物量が一時的に増大する時期や、コンテナの搬出入車両が集中する朝・夕の時間帯によっては、コンテナターミナルの施設能力を超えた貨物の取扱いにより、ゲート前において交通混雑が発生している。
- 今後増加が見込まれる貨物を円滑に取り扱い、交通混雑を解消するためには、東京港の施設能力の向上が必要である。

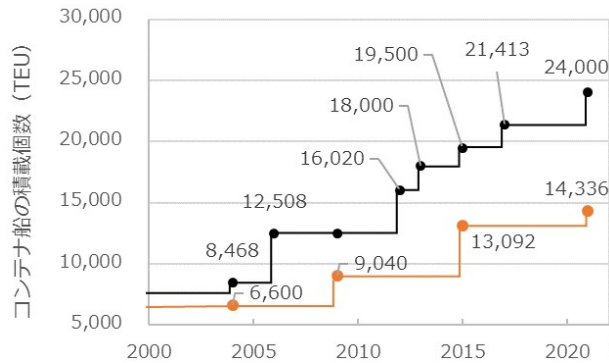


出典：物流ウィークリー記事（令和3年8月20日）

図Ⅲ-1-18 東京港におけるゲート前混雑状況

○ コンテナ船の大型化

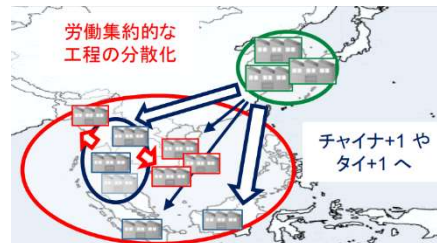
- ・ スケールメリットによる輸送コスト低減に加え、CO₂の排出抑制などのため、世界のコンテナ船の大型化が急激に進展している。2000年頃は世界最大のコンテナ船は7,000TEU 級であったが、現在、欧州-アジア航路に投入されている最大のコンテナ船は24,000TEU 級まで大型化している。



出典：港湾の中長期政策「PORT2030」（平成 30 年 7 月）（国土交通省）及び「国際輸送ハンドブック」（㈱オーシャンコマース）より東京都作成

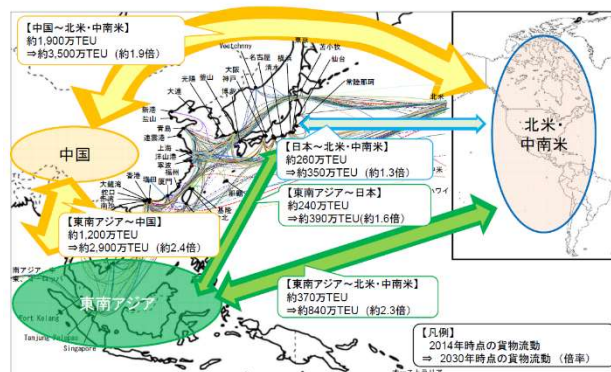
図Ⅲ-1-19 世界のコンテナ船の大型化動向

- ・ これまで経済成長の著しかった中国から、近年ではタイやベトナム等の東南アジアに生産拠点の南下が進んでおり、将来的にはインド等を含む南アジアまで生産拠点が拡大するものと予想されている。このため、東南アジア航路においても取扱貨物量が増加しており、加えて急速な東南アジア諸港の港湾機能の拡充もあり、船舶の大型化がより一層進むことが見込まれている。



出典：港湾の中長期政策「PORT2030」（平成 30 年 7 月）（国土交通省）

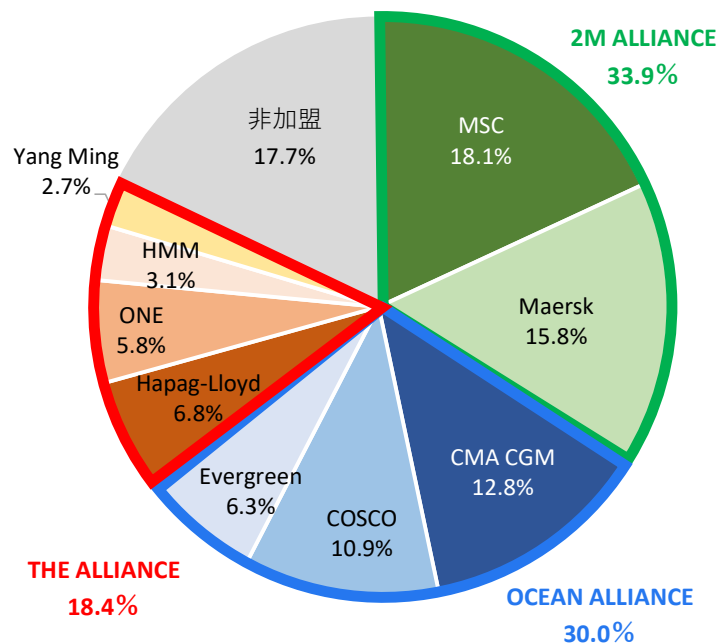
図Ⅲ-1-20 アジアにおける生産拠点の南下



出典：「交通政策審議会第 66 回港湾分科会資料」（国土交通省）

図Ⅲ-1-21 東南アジアと日本の貨物流動の見通し

- ・ コンテナ船社間のアライアンス再編により、世界の船腹量の約8割を3大アライアンスが占めている。これらのアライアンス内において大型船舶を活用した航路サービスの集約化が行われるなど、基幹航路における寄港地の絞り込みが進んでおり、港湾間の競争が厳しさを増している。東京港への基幹航路の寄港を維持するためには、貨物量の確保とともに、船舶大型化への施設対応がより一層求められている。



出典：「Alpha liner TOP 100」より東京都作成

図III-1-22 船社別・アライアンス別の船腹量シェア(令和5年3月時点)

<対応>

- ・ ユーザーに選ばれ国際競争力が高く使いやすい港に進化するため、国際基幹航路の維持や増加する東南アジア航路への対応、国際フィーダー航路網の充実・積替機能の強化を図るとともに、増加するコンテナ貨物、船舶の大型化に対応した新たな埠頭を整備し、既存埠頭を再編整備する。
- ・ AI等の最先端技術の積極的な活用や荷役機械の遠隔操作化、コンテナターミナルの一体利用による限られたヤードスペースの最適化などにより、ターミナル処理能力を増大させるとともに良好な労働環境の確保を図る。また、「サイバーポート」による物流の効率化や貨物情報の見える化等に取り組む。

1-2-3 外内貿コンテナ埠頭の規模及び配置

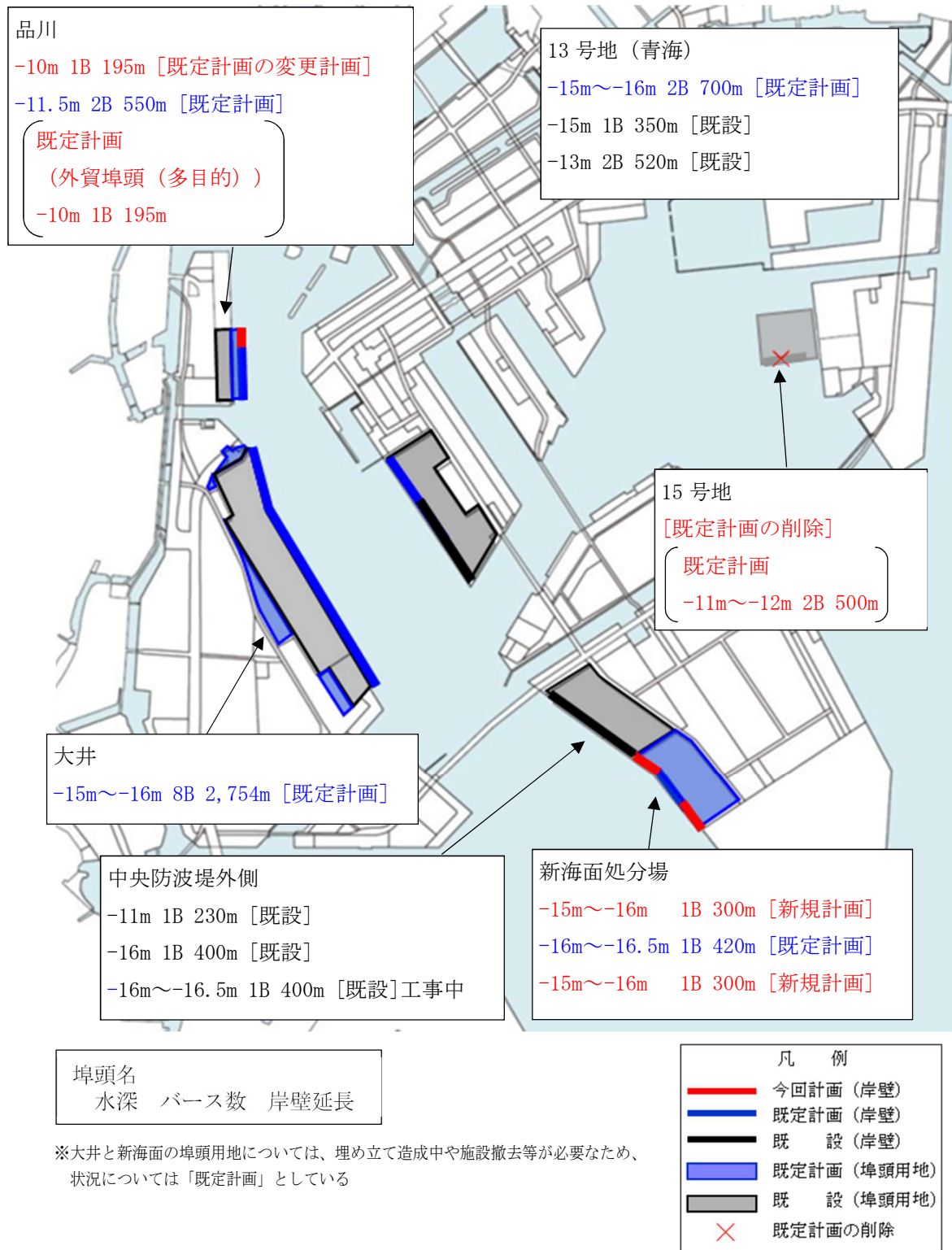
外内貿コンテナ埠頭の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-5 外内貿コンテナ埠頭計画

| 地区名・埠頭名 | | 種別 | 今回計画 | | | | 既定計画 | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------|-----------|---------------|-----------------|------|-----------|---------------|
| | | | 水深 (m) | バース数 | 延長 (m) | 対象船舶 (DWT) | 水深 (m) | バース数 | 延長 (m) | 対象船舶 (DWT) |
| 内港 地区 | 品川 | 既定計画の 変更計画※1 | -10.0 | 1 | 195 | 15,000 | - | - | - | - |
| | | 既定計画 | -11.5 | 2 | 550 | 40,000 | -11.5 | 2 | 550 | 40,000 |
| 南部 地区 | 大井 | 既定計画 | -15.0～ -16.0 | 8 | 2,754 | 150,000 | -15.0～ -16.0 | 8 | 2,754 | 150,000 |
| 中部 地区 | 13号地 (青海) | 既定計画 | -15.0～ -16.0 | 2 | 700 | 150,000 | -15.0～ -16.0 | 2 | 700 | 150,000 |
| | | 既設 | -15.0 | 1 | 350 | 100,000 | -15.0 | 1 | 350 | 100,000 |
| | | 既設 | -13.0 | 2 | 520 | 40,000 | -13.0 | 2 | 520 | 40,000 |
| 東部 地区 | 15号地 | 既定計画の 削除 | - | - | - | - | - | - | - | |
| 中央 防波堤 地区 | 中央 防波堤 外側 | 既設 | -11.0 | 1 | 230 | 20,000 | -11.0 | 1 | 230 | 20,000 |
| | | 既設※2 | -16.0 | 1 | 400 | 150,000 | -15.0～ -16.0 | 1 | 400 | 150,000 |
| | | 既設 (工事中) | -16.0～ -16.5 | 1 | 400 | 150,000 | -16.0～ -16.5 | 1 | 400 | 150,000 |
| | 新海面 処分場 | 新規計画 | -15.0～ -16.0 | 1 | 300 | 150,000 | - | - | - | - |
| | | 既定計画 | -16.0～ -16.5 | 1 | 420 | 150,000 | -16.0～ -16.5 | 1 | 420 | 150,000 |
| | | 新規計画 | -15.0～ -16.0 | 1 | 300 | 150,000 | - | - | - | - |

※1 外貿埠頭から外内貿コンテナ埠頭に変更

※2 水深を変更



図III-1-23 外内貿コンテナ埠頭計画

<施設配置・計画の考え方>

- 品川コンテナ埠頭S5（名称の変更，外貿埠頭→外内貿コンテナ埠頭）
 - ・ 品川コンテナ埠頭は、主に中国・韓国等の近海航路の船舶に利用されている。
 - ・ 増大する外内貿コンテナ貨物に対応するため、外貿多目的埠頭ではなく外内貿コンテナ埠頭へと計画変更する。なお、近海航路等の現計画の水深や岸壁延長等については、引き続き同規模の計画とし、コンテナ船を受け入れていく。

- 15号地コンテナ埠頭（計画削除）
 - ・ 基幹航路の維持や東南アジア航路の船舶大型化への対応を踏まえると、今後整備する15号地コンテナ埠頭については、岸壁増深を検討する必要があるが、第二航路・第三航路は水深-12mであり、水深-12mを超える増深は困難であることから計画を削除し、大水深岸壁かつ連続バースの整備が可能な新海面コンテナ埠頭（Z1機能拡充）を新規に計画する。

【参考】

<8次改訂港湾計画（H26.11）での位置付け>

- ・ 増大する中国等の近海航路コンテナ貨物に対応するため、15号地に外内貿コンテナ埠頭（水深-11m～-12m、岸壁2バース、延長500m、対象船舶3万DWT級、埠頭用地29ha（新規埋立））を計画

<情勢>

- ・ コンテナ船社間のアライアンス再編等による船舶の寄港地の絞り込みが進んでおり、東京港への基幹航路の寄港を維持するためには、貨物量の確保とともに、基幹航路の大型船舶への施設対応が一層求められている。
- ・ 増大するアジア貨物の中で、近年大きく増加しているのは東南アジア航路の貨物であり、貨物量の増加にあわせて、船舶も急速に大型化している。

- 中防外・新海面コンテナ埠頭（対象船舶の大型化、連続バース化）
 - ① 水深の変更（Y2:-15m～-16m ⇒ -16m）
 - ・ 現況に合わせて水深を変更する。
 - ② 連続バース化（Z1:機能拡充:-16m～-16.5m 1B 420m ⇒ -15m～-16.5m 3B 1,020m）
 - ・ 15号地コンテナ埠頭計画を削除し、大水深岸壁かつ連続バースの整備が可能な新海面コンテナ埠頭（Z1機能拡充）を新規に計画する。
 - ・ 基幹航路の船舶に対応可能で、東南アジア航路等の多様な船舶が複数同時接岸できるバース延長を有する埠頭として計画する。

1-3 内貿ユニットロード埠頭計画

1-3-1 内貿ユニットロード埠頭の現況

内貿ユニットロード埠頭の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-6 内貿ユニットロード埠頭の現況（令和元年）

| 地区名・埠頭名 | | 施設諸元 ^{※1} | 主要取扱貨物 |
|-------------|----------------|-------------------------|----------------------|
| 内港地区 | 品川 | -8.5m×856m（4B） 一部工事中 | 完成自動車、取合せ品、 紙・パルプ |
| 中部地区 | 10号地その2 （西） | -7.5m×1,500m（11B） | 取合せ品、完成自動車、 紙・パルプ |
| 中央防波堤 地区 | 中央防波堤内側 | -9.0m×460m（2B） | 輸送用容器、 その他日用品、飲料 |

※1 15号地 -9.0m×190m（1B）は暫定利用中

1-3-2 内貿ユニットロード埠頭計画の必要性

近年の東京港における内貿ユニット貨物量は増加傾向にある。また、東京港に寄港しているRORO船は大型化している。

加えて、近年はトラックドライバー不足や2024年問題（働き方改革関連法によって自動車運転業務の年間時間外労働時間の上限が960時間に制限されることによって発生する問題）を受けて、貨物の陸上輸送から海上輸送への転換（モーダルシフト）の重要性が高まっている。

こうしたことを受け、東京港においては増加する内貿貨物や船舶の大型化に対応した新たな施設の整備、およびヤードの拡充が必要である。

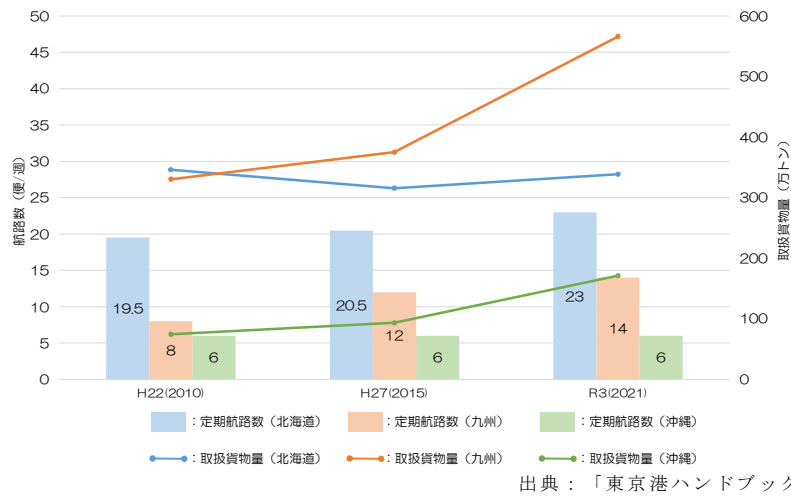


図 III-1-24 東京港における内貿ユニット貨物量・RORO船定期航路数の推移

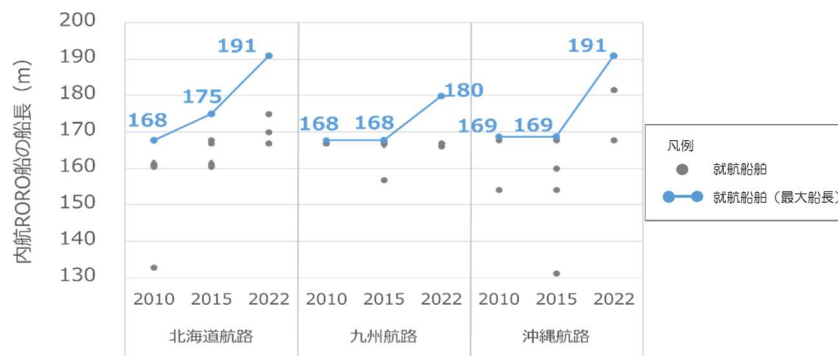


図 III-1-25 東京港寄港のRORO船の大型化動向

1-3-3 内貿ユニットロード埠頭の規模及び配置

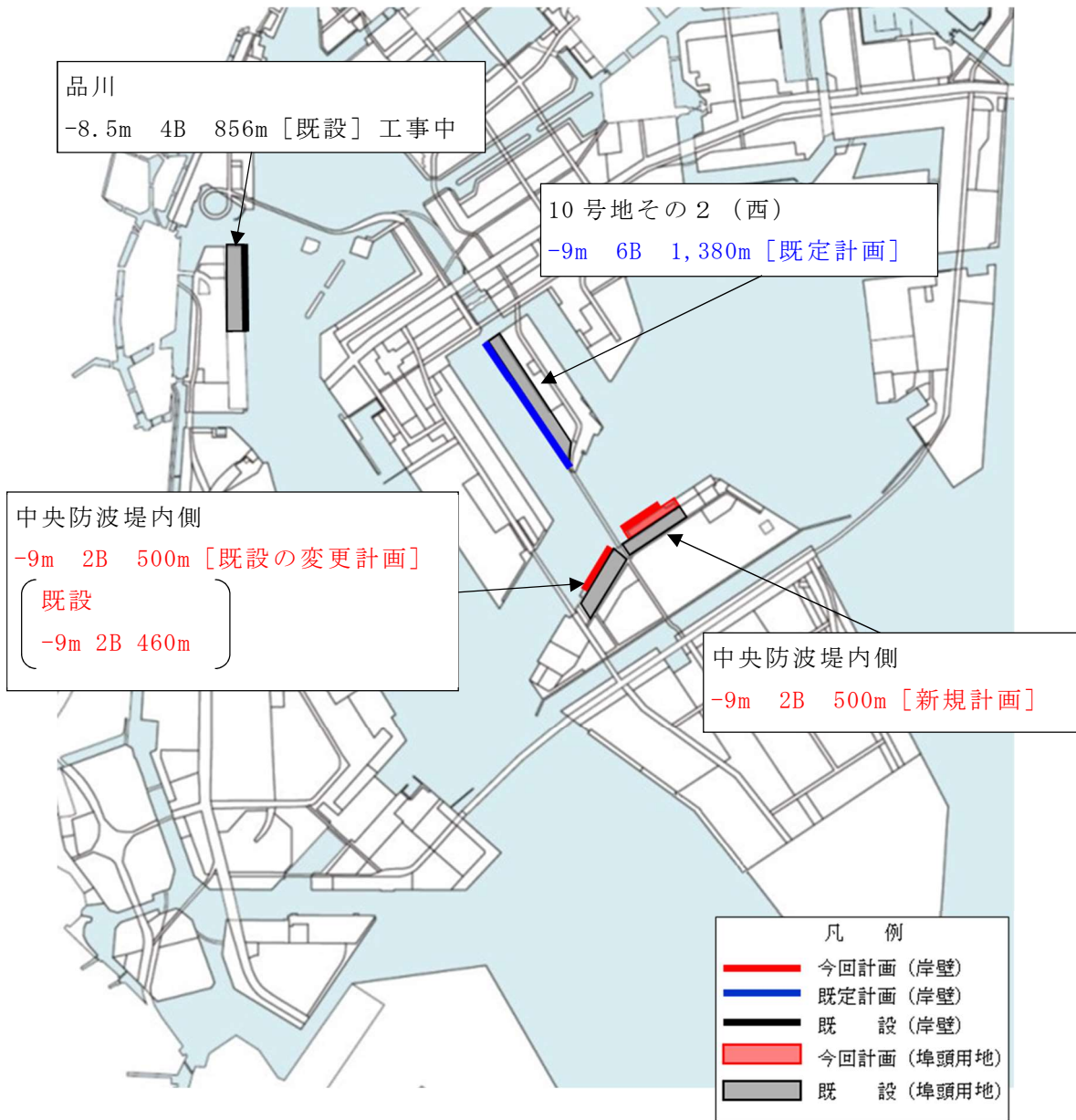
内貿ユニットロード埠頭の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-7 内貿ユニットロード埠頭計画

| 地区名・埠頭名 | | 種別 | 今回計画 | | | | 既定計画 | | | |
|-----------------|--------------------|---------------------------|-----------|------------------|-----------|----------------------|-----------|------------------|-----------|---------------|
| | | | 水深 (m) | バ ー ス 数 | 延長 (m) | 対象船舶 (GT) | 水深 (m) | バ ー ス 数 | 延長 (m) | 対象船舶 (DWT) |
| 内港 地区 | 品川 | 既設 (工事中) | -8.5 | 4 | 856 | 17,000 ^{※1} | -8.5 | 4 | 856 | 10,000 |
| 中部 地区 | 10号地 その2 (西) | 既定計画 | -9.0 | 6 | 1,380 | 17,000 ^{※1} | -9.0 | 6 | 1,380 | 12,000(GT) |
| 中央 防波堤 地区 | 中央 防波堤 内側 | 既設の 変更計画 ^{※2} | -9.0 | 2 | 500 | 17,000 ^{※1} | -9.0 | 2 | 460 | 12,000(GT) |
| | | 新規計画 | -9.0 | 2 | 500 | 17,000 | - | - | - | - |

※1 対象船舶を令和4年時点において東京港に寄港している最大船型に変更（対象船舶大型化）

※2 対象船舶、延長を変更



図Ⅲ-1-26 内貿ユニットロード埠頭計画

<施設配置・計画の考え方>

- 中央防波堤内側内貿ユニットロード埠頭（既設の変更計画：-9 m, 2 B, 460m→-9 m, 2 B, 500m、新規計画：-9 m, 2 B, 500m）
 - ・ 今後の貨物量の増加、船舶大型化に対応するため、新たにユニットロード埠頭を計画し、既存のX 4、X 5との連携による航路の接続等も視野に入れ、対応していく。
 - ・ 加えて、既存のX 4、X 5についても船舶大型化への対応を考慮し、岸壁延長を460mから500mに変更する。

1-4 外貿埠頭計画

1-4-1 外貿埠頭の現況

外貿埠頭の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-8 外貿埠頭の現況（令和元年）

| 地区名・埠頭名 | | 施設諸元 | 主要取扱貨物 |
|-----------------|-------------|-------------------------------------|--------------------------|
| 内港 地区 | 品川 多目的 | -10.0m×190m（1B） | 衣服・身廻品・はきもの、 たばこ、産業機械 |
| 南部 地区 | 大井水産 | -12.0m×250m（1B）、 -11.0m×200m（1B） | 麦、野菜・果実、 動植物性製造飼肥料 |
| | 大井食品 | -12.0m×225m（1B）、 -11.0m×380m（2B） | |
| 中部 地区 | お台場 ライナー | -10.0m×1,800m（9B） | 金属くず、輸送用容器、 紙・パルプ |
| 東部 地区 | 15号地 木材 | -12.0m×720m（3B） | 製材 |
| 中央 防波堤 地区 | 中防内 ばらもの | -12.0m×240m（1B） | 石炭、非金属鉱物、 コークス |

1-4-2 外貿埠頭計画の必要性

15号地コンテナ埠頭の削除に伴い、15号地木材埠頭の利用実態を踏まえ、配置箇所や対象船舶を変更する。

1-4-3 外貿埠頭の規模及び配置

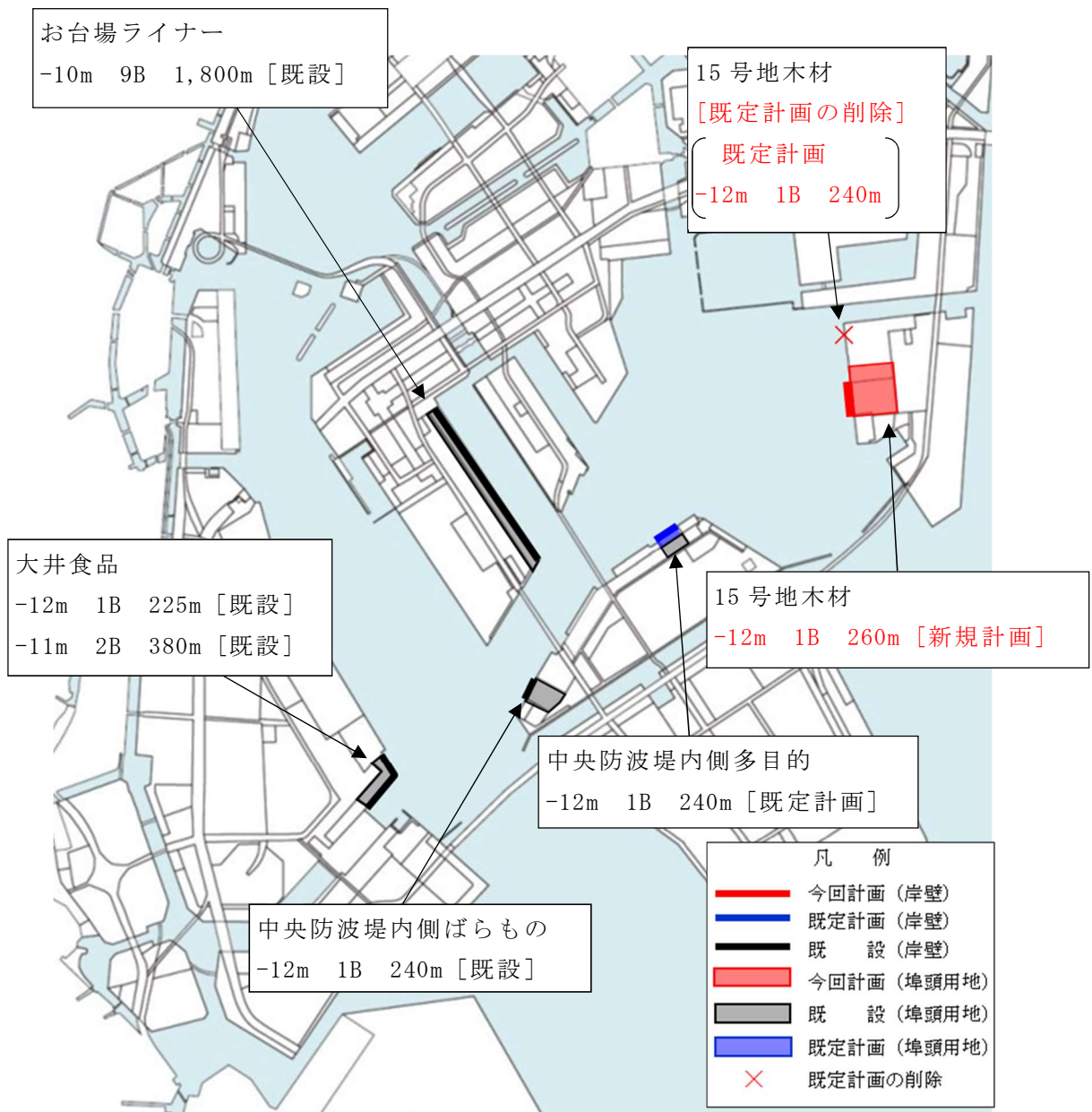
外貿埠頭の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-9 外貿埠頭計画

| 地区名・埠頭名 | | 種別 | 今回計画 | | | | 既定計画 | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------------------|-----------|----------|-----------|---------------|-----------|----------|-----------|---------------|
| | | | 水深 (m) | バース 数 | 延長 (m) | 対象船舶 (DWT) | 水深 (m) | バース 数 | 延長 (m) | 対象船舶 (DWT) |
| 内港 地区 | 品川 多目的 | 既定計画の 変更計画 ^{※1} | - | - | - | - | -10.0 | 1 | 195 | 15,000 |
| 南部 地区 | 大井 食品 | 既設 | -12.0 | 1 | 225 | 30,000 | -12.0 | 1 | 225 | 30,000 |
| | | 既設 | -11.0 | 2 | 380 | 15,000 | -11.0 | 2 | 380 | 15,000 |
| 中部 地区 | お台場 ライナー | 既設 | -10.0 | 9 | 1,800 | 15,000 | -10.0 | 9 | 1,800 | 15,000 |
| 東部 地区 | 15号地 木材 | 既定計画の 削除 | - | - | - | - | -12.0 | 1 | 240 | 30,000 |
| | | 新規計画 ^{※2} | -12.0 | 1 | 260 | 45,000 | - | - | - | - |
| 中央 防波堤 地区 | 中防内 ばら もの | 既設 | -12.0 | 1 | 240 | 30,000 | -12.0 | 1 | 240 | 30,000 |
| | 中防内 多目的 | 既定 計画 | -12.0 | 1 | 240 | 30,000 | -12.0 | 1 | 240 | 30,000 |

※1 外貿埠頭から外内貿コンテナ埠頭に変更

※2 15号地コンテナ埠頭の既定計画の削除に伴い、外貿埠頭を計画



図Ⅲ-1-27 外貨埠頭計画

<施設配置・計画の考え方>

○ 15号地木材埠頭（新規計画、既定計画の削除）

- ・ 15号地コンテナ埠頭計画の削除に伴い、木材埠頭については、利用状況に合わせ配置計画を変更する。（既定計画の削除、利用実態にあわせた新規計画）

1-5 内貿埠頭計画

1-5-1 内貿埠頭の現況

内貿埠頭の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-10 内貿埠頭の現況（令和元年）

| 地区名・埠頭名 | | 施設諸元 | 主要取扱貨物 |
|-------------|------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|
| 内港地区 | 芝浦 内貿雑貨 | -5.5m×90m（1B）、 -7.5m×780m（6B） | セメント、 その他食料工業品、 紙・パルプ |
| | 芝浦 物揚場 | -2.7m×711m（1B） | |
| | 月島物揚場 | -3.0m×730m（2B） | 金属くず、再利用資材、 金属製品 |
| 南部地区 | 大井その2 建材 | -5.0m×280m（4B） | 廃土砂、石材、砂利・砂 |
| | 大井その2 建設発生土 | -7.5m×130m（1B） | |
| 中部地区 | 10号地 その1 西側多目的 | -7.5m×180m（1B） | 産業機械 |
| | 10号地 その2（東） 内貿雑貨 | -5.0m×920m（13B）、 | 鋼材、紙・パルプ、セメント |
| | 10号地 その2 多目的 （フェリー） | -7.5～-8.5m×681m（3B） 一部工事中 | |
| 東部地区 | 辰巳 内貿雑貨 | -5.0m×1,040m（13B） | 鋼材、取合せ品、産業機械 |
| | 若洲 建材・製材 | -5.5m×370m（4B） | 砂利・砂、非金属鉱物、石材 |
| 中央防波堤 地区 | 中防内 建設発生土 | -7.5m×160m（1B） | 廃土砂 |

1-5-2 内貿埠頭計画の必要性

10号地その1東側多目的については係留需要が見込まれないことから計画を削除する。

1-5-3 内貿埠頭の規模及び配置

内貿埠頭計画の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ-1-11 (1) 内貿埠頭計画

| 地区名・埠頭名 | | 種別 | 今回計画 | | | | 既定計画 | | | |
|----------|----------------------------|---------------------|-----------|----------|-----------|---------------|-----------|----------|-----------|---------------|
| | | | 水深 (m) | バース 数 | 延長 (m) | 対象船舶 (DWT) | 水深 (m) | バース 数 | 延長 (m) | 対象船舶 (DWT) |
| 内港 地区 | 芝浦 内貿雑貨 | 既設 | -5.5 | 1 | 90 | 2,000 | -5.5 | 1 | 90 | 2,000 |
| | | 既設 | -7.5 | 6 | 780 | 10,600(GT) | -7.5 | 6 | 780 | 10,600(GT) |
| | 芝浦 物揚場 | 既設 | -2.7 | 1 | 711 | - | -2.7 | 1 | 711 | - |
| | 月島 物揚場 | 既設 | -3.0 | 2 | 730 | - | -3.0 | 2 | 730 | - |
| 南部 地区 | 大井 その2 建材 | 既設 (工事中) | -6.5 | 3 | 280 | 2,500 | -6.5 | 3 | 280 | 2,500 |
| | 大井 その2 建材 | 既定 計画 | -5.0 | 2 | 160 | 1,000 | -5.0 | 2 | 160 | 1,000 |
| | 大井 その2 建設 発生土 | 既設 | -7.5 | 1 | 130 | 5,000 | -7.5 | 1 | 130 | 5,000 |
| 中部 地区 | 10号地 その1 東側 多目的 | 既定 計画 の 削除 | - | - | - | - | -8.5 | 1 | 230 | 14,500 |
| | 10号地 その1 西側 多目的 | 既設 | -7.5 | 1 | 180 | 5,000(GT) | -7.5 | 1 | 180 | 5,000(GT) |
| | 10号地 その2 (東) 内貿雑貨 | 既設 | -5.0 | 13 | 920 | 1,000 | -5.0 | 13 | 920 | 1,000 |

表Ⅲ-1-11 (2) 内貿埠頭計画

| 地区名・埠頭名 | | 種別 | 今回計画 | | | | 既定計画 | | | |
|-----------------|------------------------------|-------------|-----------|------------------|-----------|---------------|-----------|------------------|-----------|---------------|
| | | | 水深 (m) | バ ー ス 数 | 延長 (m) | 対象船舶 (DWT) | 水深 (m) | バ ー ス 数 | 延長 (m) | 対象船舶 (DWT) |
| 中部 地区 | 10号地 その2 多目的 (フェリー) | 既定 計画 | -8.5 | 1 | 260 | 23,000(GT) | -8.5 | 1 | 260 | 23,000(GT) |
| | | 既設 (工事中) | -8.5 | 1 | 270 | 16,000(GT) | -8.5 | 1 | 270 | 16,000(GT) |
| 東部 地区 | 辰巳内貿 雑貨 | 既設 | -5.0 | 13 | 1,040 | 1,000 | -5.0 | 13 | 1,040 | 1,000 |
| | 若洲 建材・製材 | 既設 | -5.5 | 4 | 370 | 2,000 | -5.5 | 4 | 370 | 2,000 |
| 中央 防波堤 地区 | 中央防波堤 内側 建設発生土 | 既設 | -7.5 | 1 | 160 | 5,000 | -7.5 | 1 | 160 | 5,000 |

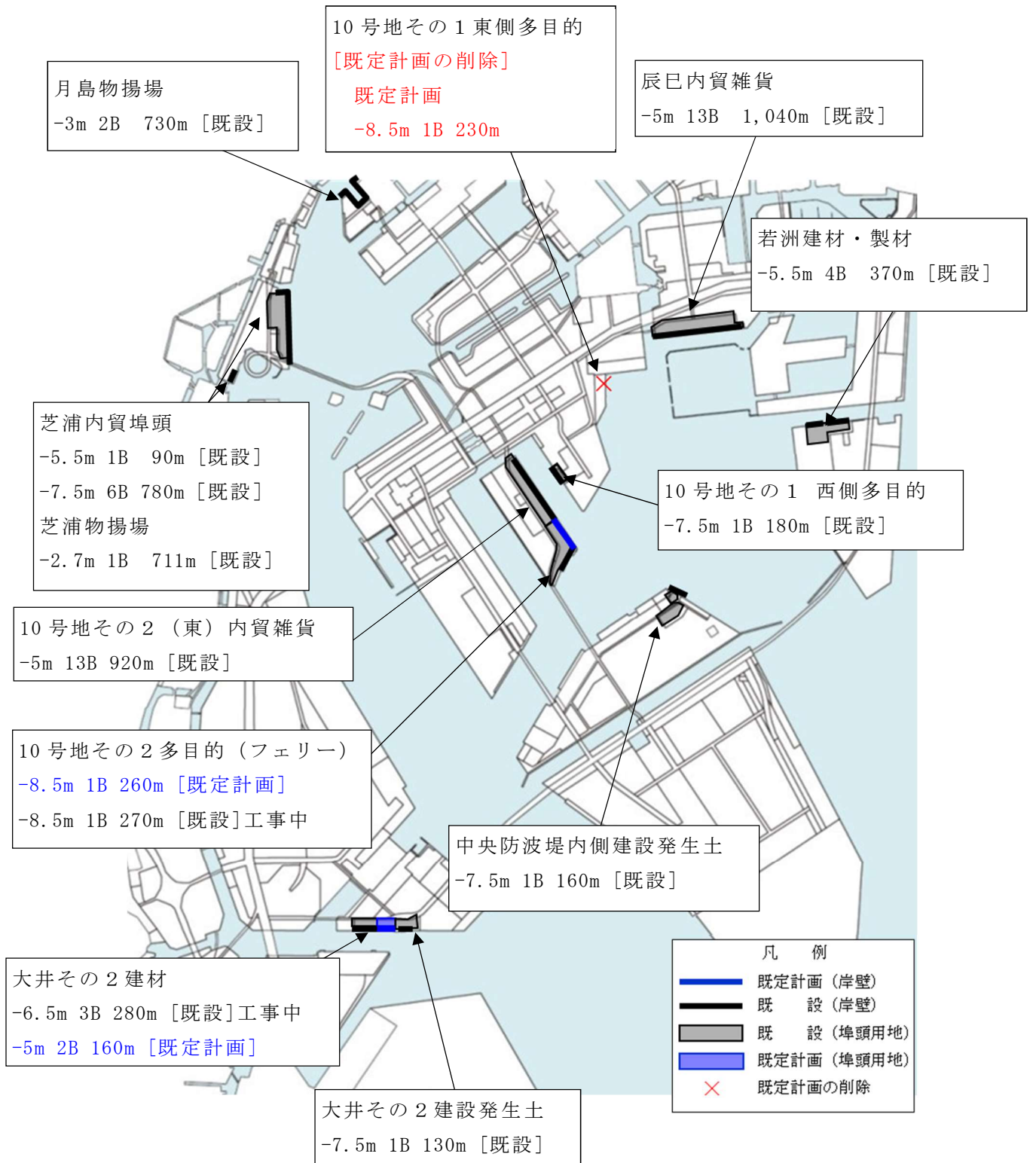


図 III-1-28 内貿埠頭計画

<施設配置・計画の考え方>

○ 内貿埠頭（10号地その1）（計画削除）

- ・ 国際展示場等と連携したイベント船の係留など多目的な利用を図るために計画されたが、現在は当該地におけるイベント船等の係留需要がないことから、計画を削除する。

2. 旅客船埠頭計画

2-1 旅客船埠頭の現況

旅客船埠頭の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-2-1 旅客船埠頭の現況（令和元年）

| 地区名・埠頭名 | | 水深 (m) | バース数 | 延長 (m) | 対象船舶 (DWT) |
|----------|----------------------|-----------|------|-----------|---------------|
| 内港 地区 | 竹芝貨客船 | -7.5 | 3 | 465 | 10,600(GT) |
| | 日の出貨客船 | -6.7 | 6 | 564 | 3,000 |
| | 東京国際クルーズ (工事中) ※1 | -11.5 | 1 | 430 | 230,000(GT) |

※1 令和2年工事完了

2-2 旅客船埠頭計画の必要性

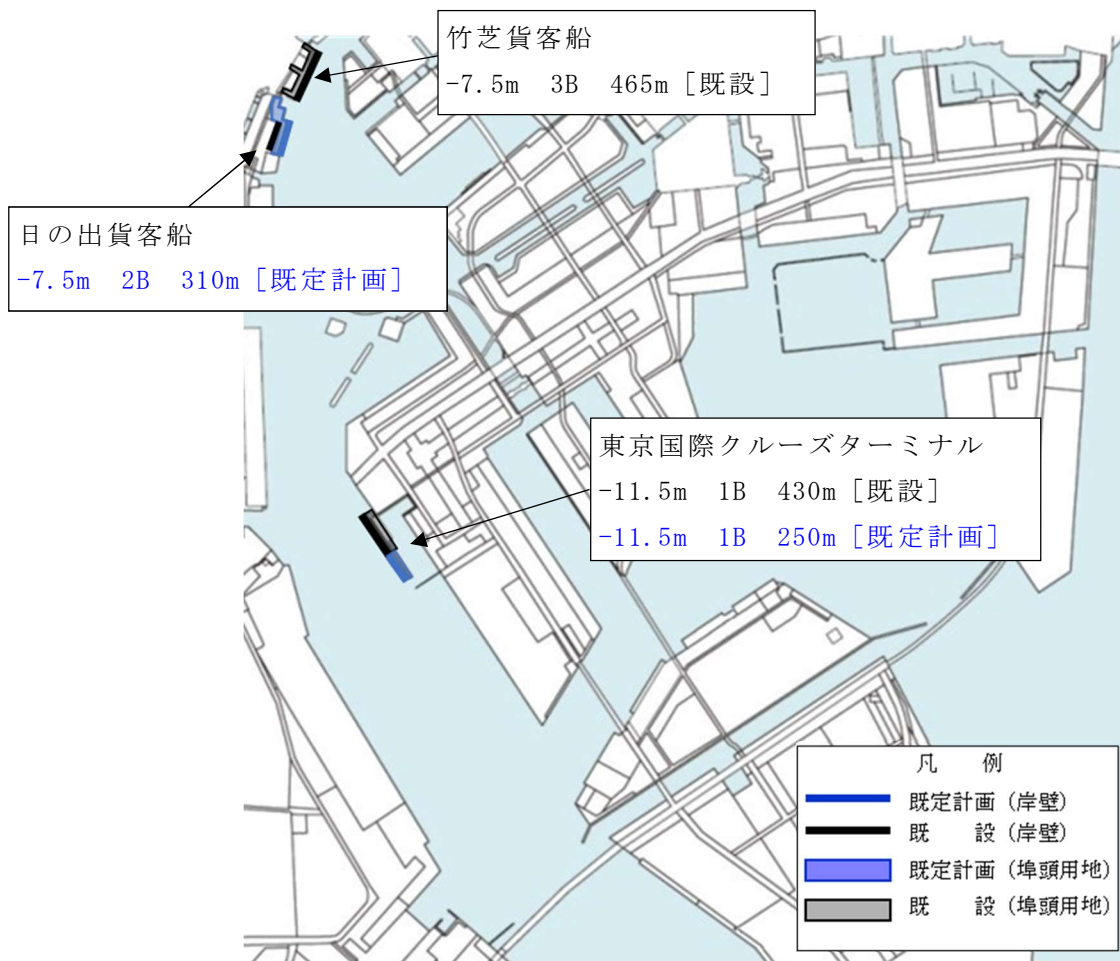
今後のクルーズ客船の寄港ニーズ対応するため、中部地区・東京国際クルーズ埠頭において2バース体制を確保する。

2-3 旅客船埠頭の規模及び配置

旅客船埠頭の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ-2-2 旅客船埠頭計画

| 地区名・埠頭名 | | 種別 | 今回計画 | | | | 既定計画 | | | |
|------------------|----------|----------|-----------|------------------|-----------|-----------------|-----------|------------------|-----------|-----------------|
| | | | 水深 (m) | バ ー ス 数 | 延長 (m) | 対象船舶 (DWT) | 水深 (m) | バ ー ス 数 | 延長 (m) | 対象船舶 (DWT) |
| 内 港 地 区 | 竹芝貨客船 | 既設 | -7.5 | 3 | 465 | 10,600 (GT) | -7.5 | 3 | 465 | 10,600 (GT) |
| | 日の出貨客船 | 既定 計画 | -7.5 | 2 | 310 | 5,000 | -7.5 | 2 | 310 | 5,000 |
| 中 部 地 区 | 東京国際クルーズ | 既設 | -11.5 | 1 | 430 | 230,000 (GT) | -11.5 | 2 | 680 | 230,000 (GT) |
| | | 既定 計画 | -11.5 | 1 | 250 | 230,000 (GT) | | | | |



図Ⅲ-2-1 旅客船埠頭計画

3. 旅客船埠頭（小型栈橋）計画

3-1 旅客船埠頭（小型栈橋等）の現況

旅客船埠頭（小型栈橋等）の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-3-1 旅客船埠頭（小型栈橋）の現況（令和元年）

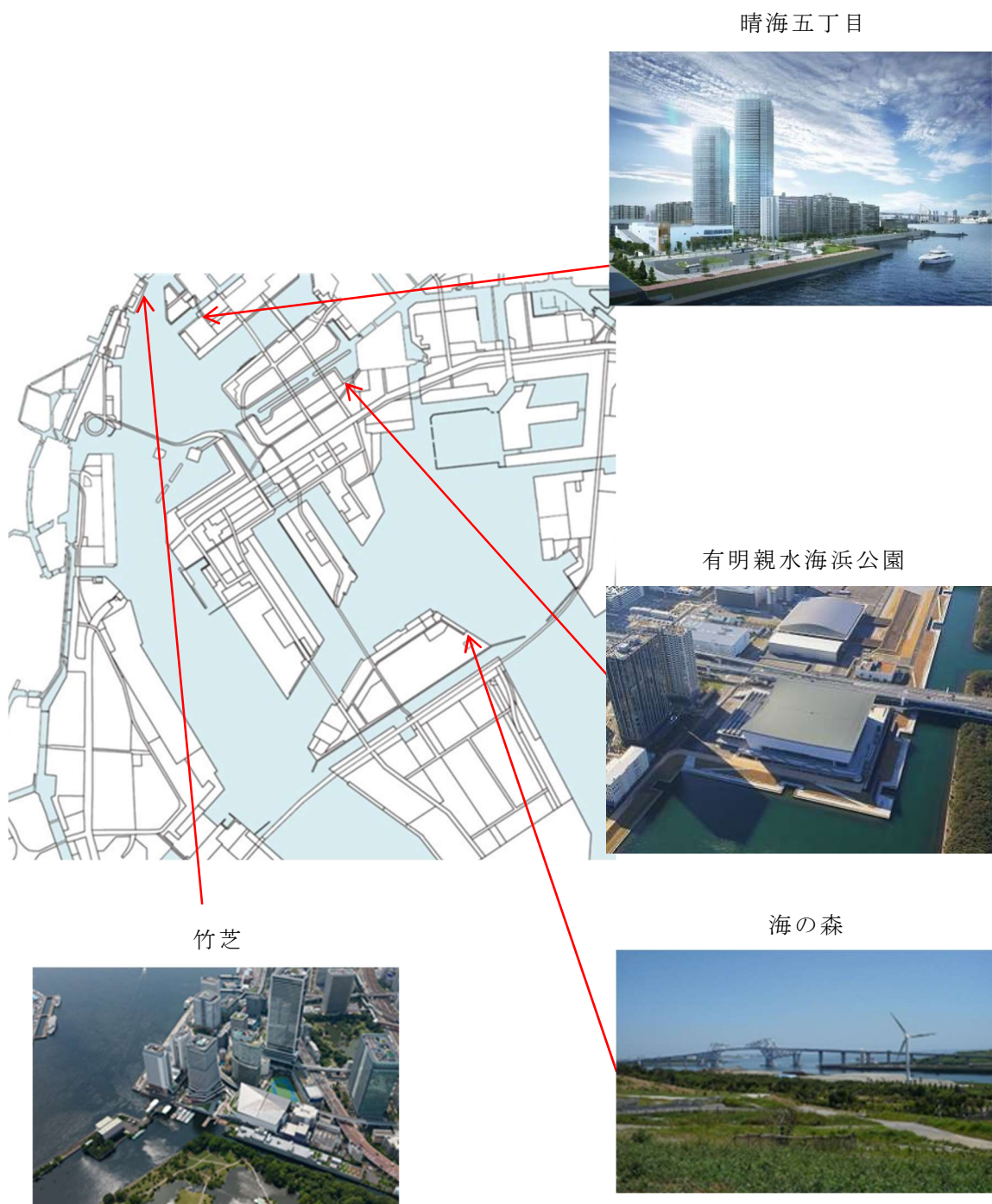
| 地区名・埠頭名 | | 基数 (基) | 対象船舶 |
|-----------|------------|-----------|------|
| 内港 地区 | 竹芝埠頭 | 1 | 小型船 |
| | 日の出 | 3 | |
| | 浜離宮 | 1 | |
| 南部 地区 | 大井埠頭中央海浜公園 | 1 | |
| | しながわ水族館 | 1 | |
| 中部 地区 | 13号地 | 1 | |
| | 有明 | 1 | |
| | お台場海浜公園 | 2 | |
| | 青海 | 1 | |
| 東部 地区 | 若洲 | 1 | |
| 葛西沖 地区 | 葛西 | 1 | |

表Ⅲ-3-2 旅客船埠頭（船揚場）の現況

| 地区名・埠頭名 | | 延長 (m) | 対象船舶 |
|----------|--------------|-----------|------|
| 内港 地区 | 豊洲（船揚場） | 10.0 | 小型船 |
| 中部 地区 | お台場海浜公園（船揚場） | 10.0 | |

3-2 旅客船埠頭（小型栈橋等）計画の必要性

水辺のにぎわい創出と臨海部の回遊性の向上を図るため、水辺周辺のまちづくり（再開発）や海上公園と連携した水上交通（舟運）等の小型栈橋を計画する。



図Ⅲ-3-1 船着場整備の進展

3-3 旅客船埠頭（小型栈橋等）の規模及び配置

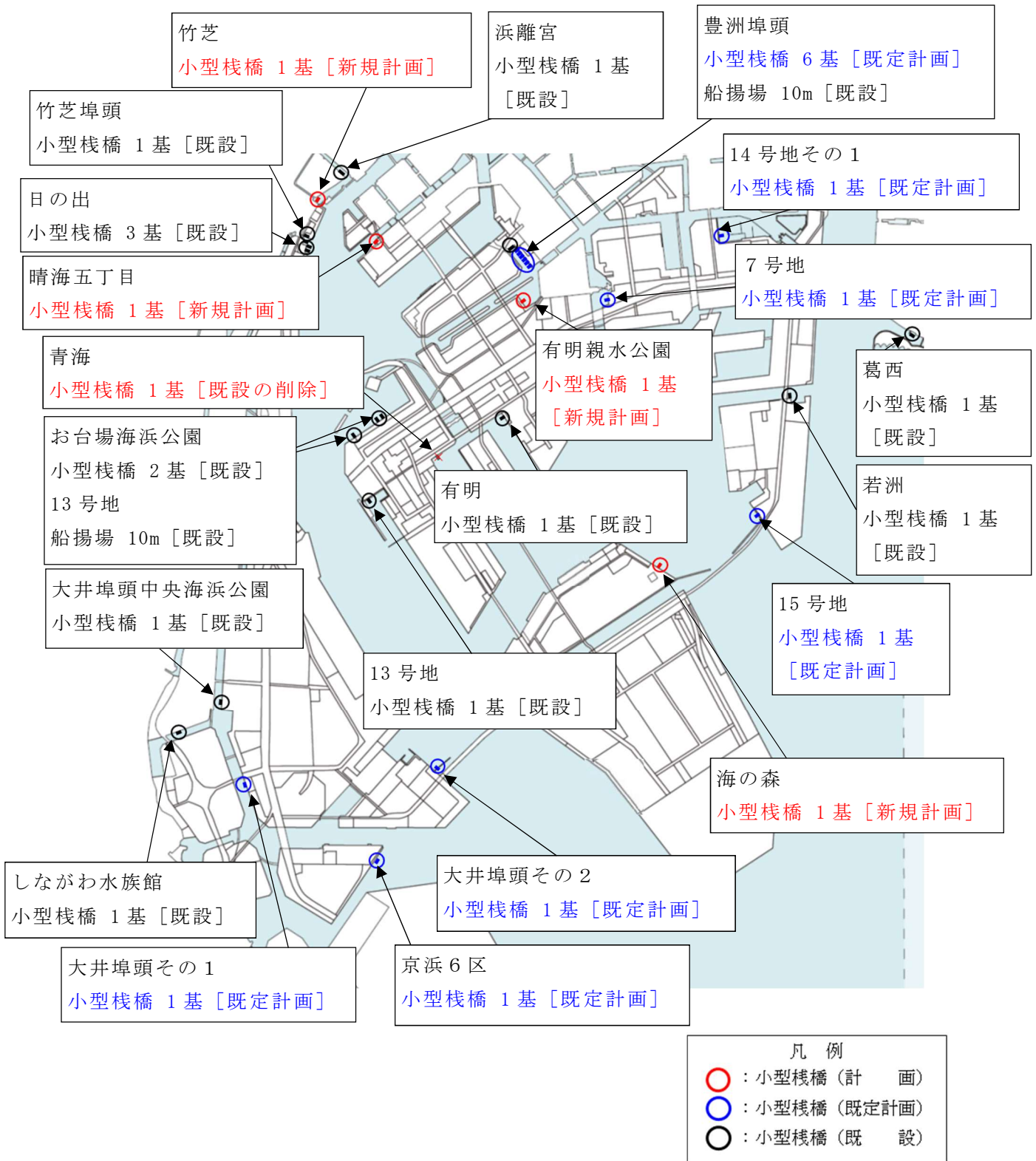
旅客船埠頭（小型栈橋等）の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ-3-3 旅客船埠頭（小型栈橋）計画

| 地区名・埠頭名 | | 種別 | 今回計画 | 既定計画 | 対象船舶 |
|-----------------|----------------------|-----------|------|------|------|
| | | | 基数 | 基数 | |
| 内港 地区 | 竹芝埠頭 | 既設 | 1基 | 1基 | 小型船 |
| | 竹芝 | 新規計画 | 1基 | - | |
| | 日の出 | 既設 | 3基 | 3基 | |
| | 浜離宮 | 既設 | 1基 | 1基 | |
| | 晴海五丁目 | 新規計画 | 1基 | - | |
| | 豊洲埠頭 | 既定計画 | 6基 | 6基 | |
| 南部 地区 | 大井埠頭中央海浜公園 | 既設 | 1基 | 1基 | |
| | 大井埠頭その1 （東海埠頭公園） | 既定計画 | 1基 | 1基 | |
| | しながわ水族館 | 既設 | 1基 | 1基 | |
| | 京浜6区（京浜島つばさ公園） | 既定計画 | 1基 | 1基 | |
| | 大井埠頭その2 （城南島海浜公園） | 既定計画 | 1基 | 1基 | |
| 中部 地区 | 13号地 | 既設 | 1基 | 1基 | |
| | お台場海浜公園 | 既設 | 2基 | 2基 | |
| | 有明 | 既設 | 1基 | 1基 | |
| | 青海 | 既設の 削除 | - | 1基 | |
| | 有明親水海浜公園 | 新規計画 | 1基 | - | |
| 東部 地区 | 若洲 | 既設 | 1基 | 1基 | |
| | 15号地（若洲海浜公園） | 既定計画 | 1基 | 1基 | |
| | 7号地（辰巳の森海浜公園） | 既定計画 | 1基 | 1基 | |
| | 14号地その1 （夢の島マリーナ） | 既定計画 | 1基 | 1基 | |
| 葛西沖 地区 | 葛西 | 既設 | 1基 | 1基 | |
| 中央 防波堤 地区 | 海の森 | 新規計画 | 1基 | - | |

表Ⅲ-3-4 旅客船埠頭（船揚場）計画

| 地区名・埠頭名 | | 種別 | 今回計画 | 既定計画 | 対象船舶 |
|----------|-----------|----|-------|-------|------|
| | | | 延長(m) | 延長(m) | |
| 内港 地区 | 豊洲埠頭（船揚場） | 既設 | 10.0 | 10.0 | 小型船 |
| 中部 地区 | 13号地（船揚場） | 既設 | 10.0 | 10.0 | |



図III-3-2 旅客船埠頭（小型栈橋等）計画

4. 木材取扱施設計画

4-1 木材取扱施設の現況

木材取扱施設の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-4-1 木材取扱施設の現況（令和元年）

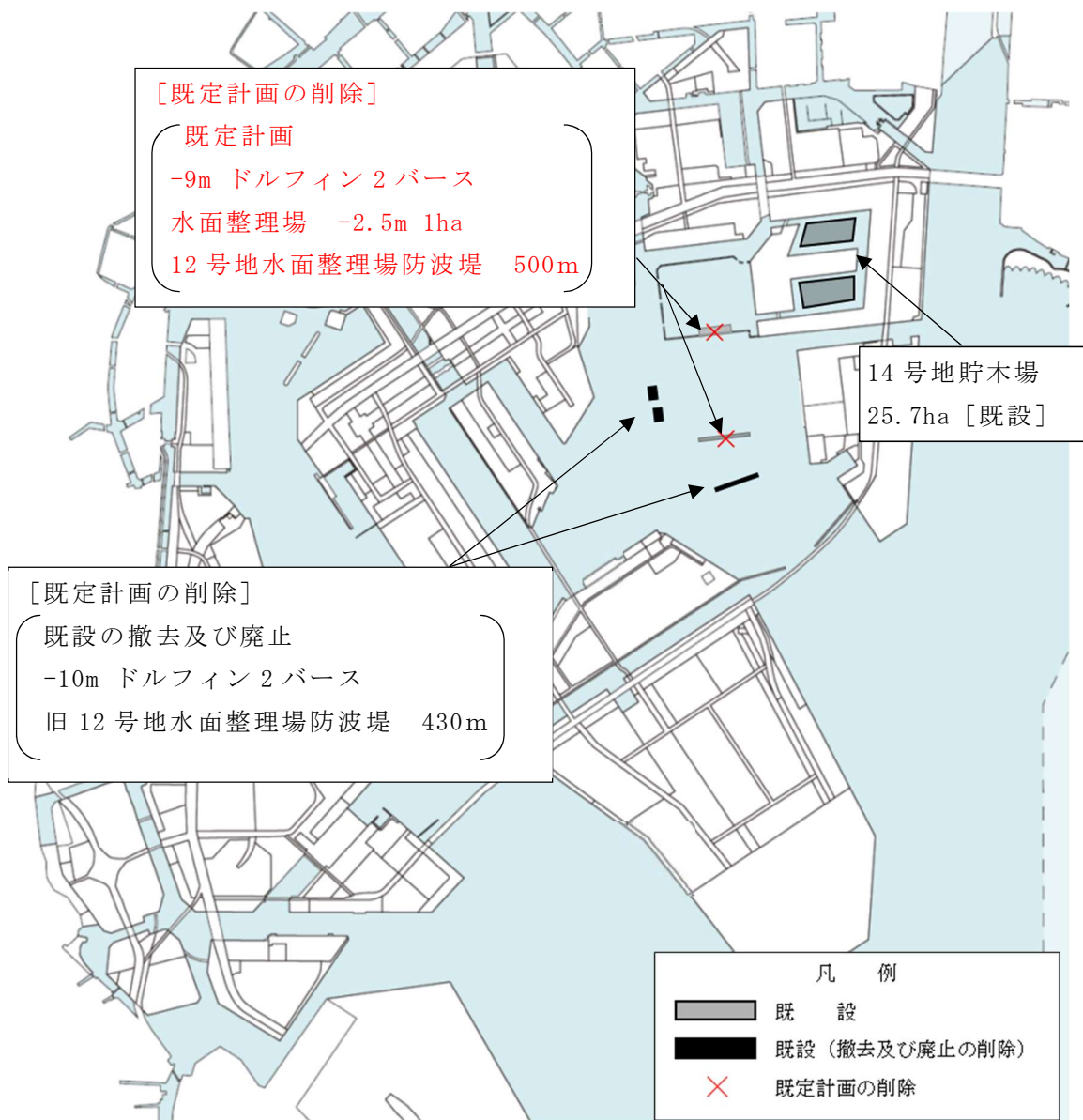
| 地区名 | 施設名 | 規模 |
|------|-------------------|---------|
| 東部地区 | 14号地貯木場 | 25.7 ha |
| | 12号地ドルフィン | 2 バース |
| | 旧12号地 水面整理場防波堤 | 430m |

4-2 木材取扱施設の規模及び配置

15号地外内貿コンテナ埠頭（埋立含む）の計画削除に伴い、既設の12号地木材取扱施設（ドルフィン・2バース、旧12号地水面整理場防波堤）について、計画廃止の削除により再度位置付ける。

表Ⅲ-4-2 係留施設等計画

| 施設名 | 種別 | 今回計画 | | 既定計画 | |
|-------------------|------------------|-----------|--------|-----------|--------|
| | | 水深 (m) | 規模 | 水深 (m) | 規模 |
| 14号地貯木場 | 既設 | - | 25.7ha | - | 25.7ha |
| ドルフィン | 既設の撤去及び 廃止の削除 | -10.0 | 2 バース | - | - |
| 旧12号地 水面整理場防波堤 | 既設の撤去及び 廃止の削除 | - | 430m | - | - |
| ドルフィン | 既定計画の削除 | - | - | -9.0 | 2 バース |
| 水面整理場 | 既定計画の削除 | - | - | -2.5 | 1ha |
| 12号地 水面整理場防波堤 | 既定計画の削除 | - | - | - | 500m |



図Ⅲ-4-1 木材取扱施設設計画位置図

5. 専用埠頭計画

5-1 専用埠頭の現況

専用埠頭の取扱貨物等の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-5-1 専用埠頭の現況（令和元年）

| 地区名・埠頭名 | | 水深 (m) | バース 数 | 延長 (m) | 対象船型 (DWT) | 主要 取扱貨物 | 企業名 |
|-----------------|----------------------------|--------------------|----------|-----------|---------------------|------------------------|-----------------------|
| 内港 地区 | 晴海(官庁船) | -8.0 | 3 | — | 1,500～ 3,200(GT) | — | 水産庁 他 |
| | 品川(セメント) | -4.5 ～ -8.0 | 4 | — | 699～ 8,400 | 砂利・砂、 セメント | アサノコンクリート (株) 他 |
| | 品川(電力) | -7.5 | 1 | — | — | — | (株)JERA |
| | 豊洲埠頭(新市場) | -8.0 | 1 | 200 | 6,000 | — | — |
| 中部 地区 | 10号地(民間) | -7.5 | 11 | 1,563 | 1,500～ 5,000 | 鋼材 | 住金物流(株) 他 |
| | 台場(官庁船) | -6.0 | 2 | 200 | 460～ 2,950 | — | 海上保安庁 |
| 南部 地区 | 大井その1(電力) | -8.5 | 1 | — | 2,926 | 原油、鋼 材、石油類 | 東電大井火力発電所 |
| | 大井その2(建材) | -5.0 | 3 | 210 | 1,000 | 砂利・砂、 石灰石 | 関東宇部コンクリー ト工業(株) 他 |
| | 京浜(民間) | -5.0 | — | 836 | — | 砂利・砂、 再利用資 材、廃土砂 | (株)土岐 他 |
| 東部 地区 | 11号地 (セメント) | -8.0 | 1 | — | 7,000 | — | 太平洋セメント(株) |
| | 15号地(民間) (建材) | -5.0 | 2 | 140 | 1,000 | — | 吉田建材(株) 他 |
| | 15号地(民間) (セメント、危険 物) | -4.0 ～ -12.0 | 6 | 670 | 500～ 30,000 | — | 出光興産(株) 他 |
| | 15号地(民間) (特殊品) | -4.5 | 2 | 160 | 1,000 | — | 有明興業(株) |
| 中央 防波堤 地区 | 中央防波堤内側 外貿雑貨埠頭 (民間) | -10.0 | 1 | 260 | 15,000 | 野菜・果物 | (株)上組 |

5-2 専用埠頭計画の必要性

引き続き、事業者の需要に対応するため、既定計画のとおりとする。

5-3 専用埠頭の規模及び配置

専用埠頭の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ-5-2 専用埠頭計画

| 地区名・埠頭名 | | 水深 (m) | バース数 | 延長 (m) | 対象船舶 (DWT) | 規模及び 配置の考え方 |
|-----------------|-----------------|-----------|------|-----------|---------------|----------------|
| 内港 地区 | 豊洲 (官庁船) | -8.0 | 1 | — | 3,000 | 既定計画の 削除 |
| 南部 地区 | 大井その1 電力 | -8.5 | 1 | — | 2,926 | 既設の削除 |
| 中央 防波堤 地区 | 中央防波堤 内側セメント | -12.0 | 1 | 200 | 30,000 | 既定計画 |

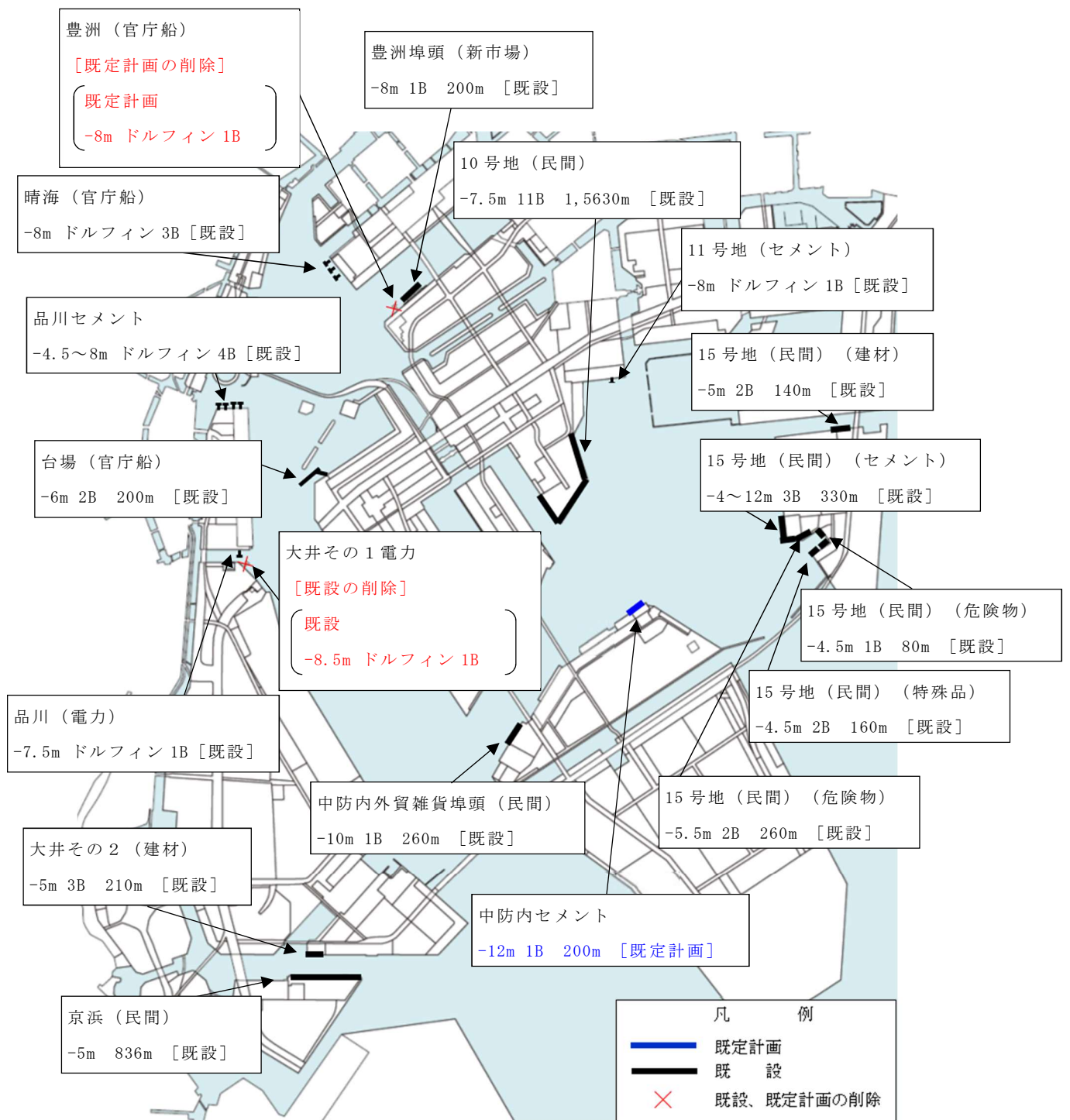


図 III-5-1 専用埠頭計画

6. 水域施設計画

6-1 航路計画

6-1-1 主な航路の現況

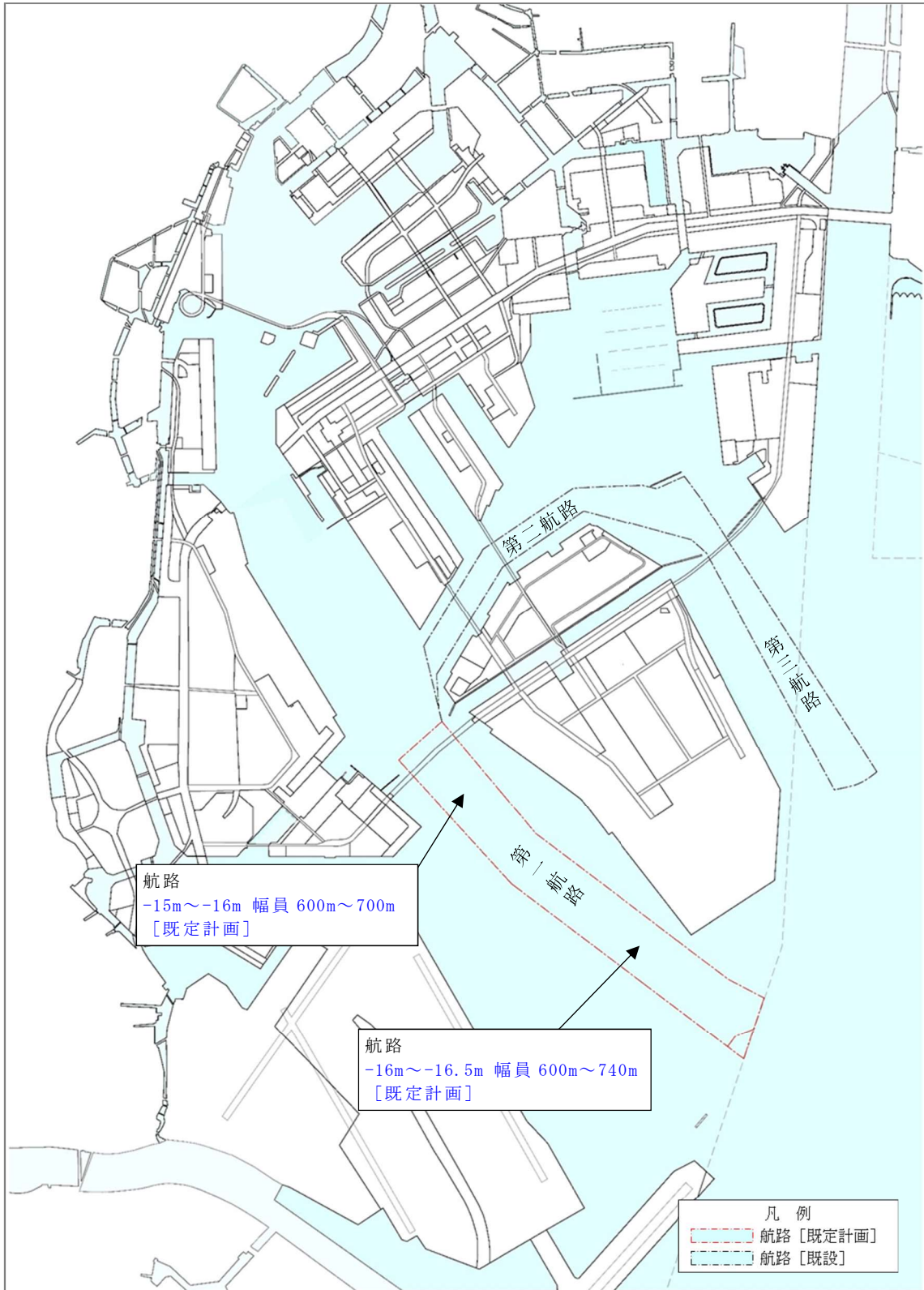
主な航路の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-6-1 主な航路の現況

| 航路名 | 水深(m) | 航路幅(m) | 状況 |
|------|-------------|---------|------|
| 第一航路 | -15.0～-16.0 | 600～700 | 既定計画 |
| | -16.0～-16.5 | 600～740 | |
| 第二航路 | -12.0 | 300 | 既設 |
| 第三航路 | -12.0 | 300～550 | 既設 |

6-1-2 航路計画

今回計画では、新たな航路計画は無い。



図Ⅲ-6-1 航路計画

6-2 泊地計画

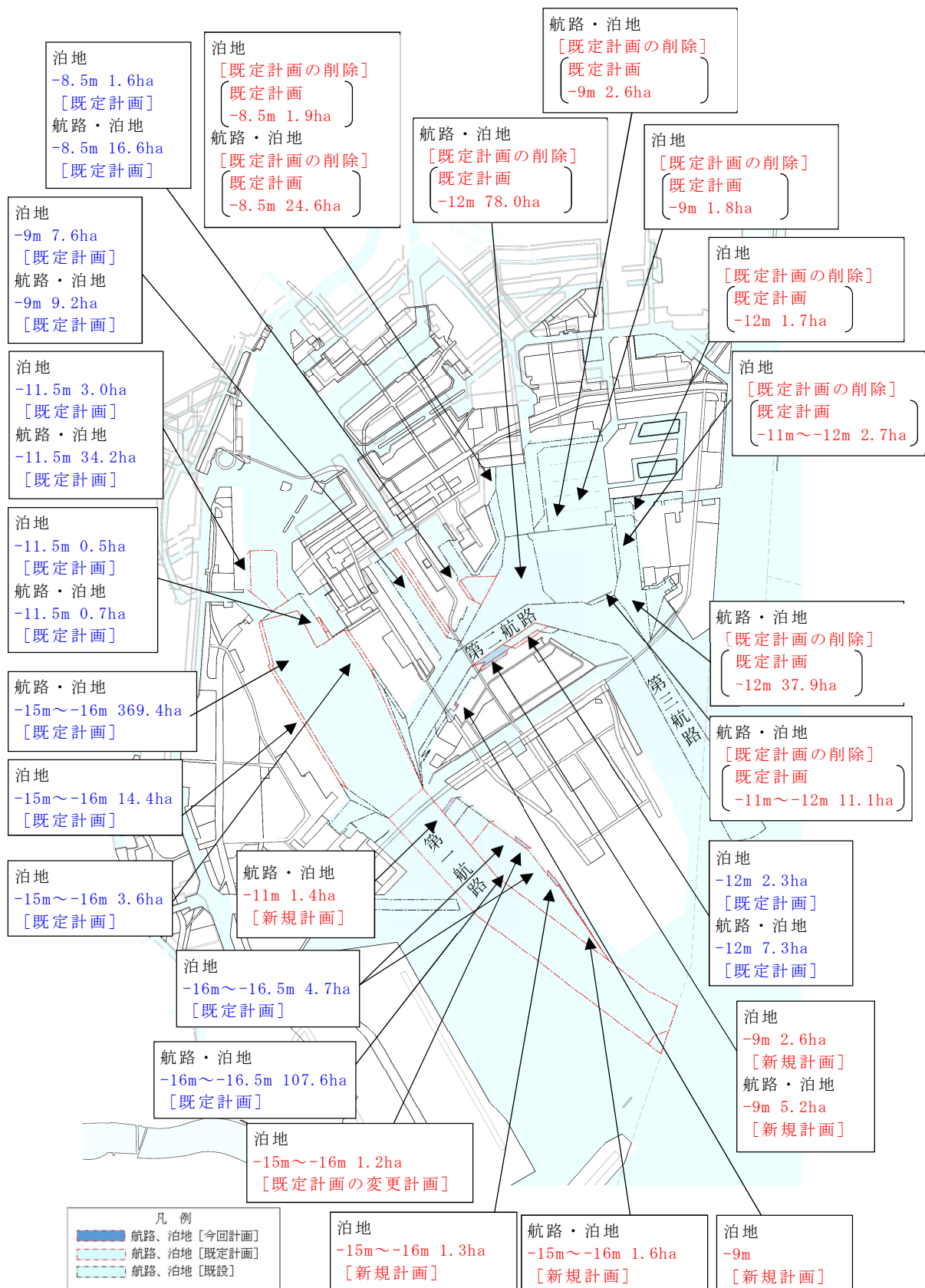
泊地及び航路・泊地計画は、次に示すとおりである。

表Ⅲ-6-2 泊地計画

| 地区名 | 埠頭名 | 種別 | 今回計画 | | | 既定計画 | | |
|-------------|----------------------------|---------------|-----------------|-----------|------------|-----------------|-----------|------------|
| | | | 対象船型 (DWT) | 水深 (m) | 面積 (ha) | 対象船型 (DWT) | 水深 (m) | 面積 (ha) |
| 内港地区 | 品川コンテナ | 既定計画 | 40,000 | -11.5 | 3.0 | 40,000 | -11.5 | 3.0 |
| 南部地区 | 大井コンテナ | 既定計画 | 150,000 | -15~-16 | 14.4 | 150,000 | -15~-16 | 14.4 |
| 中部地区 | 東京国際クルーズ | 既定計画 | 230,000 (GT) | -11.5 | 0.5 | 230,000 (GT) | -11.5 | 0.5 |
| | 青海コンテナ | 既定計画 | 150,000 | -15~-16 | 3.6 | 150,000 | -15~-16 | 3.6 |
| | 10号地その1 東側多目的 | 既定計画の 削除 | — | — | — | 14,500 (GT) | -8.5 | 1.9 |
| | 10号地その2(東) 多目的 | 既定計画 | 23,000 (GT) | -8.5 | 1.6 | 23,000 (GT) | -8.5 | 1.6 |
| | 10号地その2(西) ユニットロード | 既定計画 | 17,000 (GT) | -9 | 7.6 | 12,000 (GT) | -9 | 7.6 |
| 東部地区 | 水面整理場 | 既定計画の 削除 | — | — | — | — | -9 | 1.8 |
| | 15号地 木材 | 既定計画の 削除 | — | — | — | 30,000 | -12 | 1.7 |
| | 15号地 コンテナ | 既定計画の 削除 | — | — | — | 30,000 | -11~-12 | 2.7 |
| 中央 防波堤地区 | 中央防波堤内側 多目的 | 既定計画 | 30,000 | -12 | 2.3 | 30,000 | -12 | 2.3 |
| | 中央防波堤内側 内貿ユニットロード | 新規計画 | 17,000 (GT) | -9 | 2.6 | — | — | — |
| | 中央防波堤内側 内貿ユニットロード | 新規計画 | 17,000 (GT) | -9 | — | — | — | — |
| | 中央防波堤外側・ 新海面処分場 コンテナ | 既定計画の 変更計画 | 150,000 | -15~-16 | 1.2 | 150,000 | -16~-16.5 | 5.7 |
| | | 既定計画 | 150,000 | -16~-16.5 | 4.7 | | | |
| | | 新規計画 | 150,000 | -15~-16 | 1.3 | — | — | — |

表Ⅲ-6-3 航路・泊地計画

| 地区名 | 対象施設名 | 種別 | 今回計画 | | | 既定計画 | | |
|--------------|----------------------------|-------------|-----------------|-----------|------------|-----------------|-----------|------------|
| | | | 対象船型 (DWT) | 水深 (m) | 面積 (ha) | 対象船型 (DWT) | 水深 (m) | 面積 (ha) |
| 内港地区 | 品川コンテナ | 既定計画 | 40,000 | -11.5 | 34.2 | 40,000 | -11.5 | 34.2 |
| 南部地区 中部地区 | 大井コンテナ 青海コンテナ | 既定計画 | 150,000 | -15~-16 | 369.4 | 150,000 | -15~-16 | 369.4 |
| 中部地区 | 東京国際クルーズ | 既定計画 | 230,000 (GT) | -11.5 | 0.7 | 230,000 (GT) | -11.5 | 0.7 |
| | 10号地その1 | 既定計画の 削除 | — | — | — | 14,500 (GT) | -8.5 | 24.6 |
| | 10号地その2(東) 多目的 | 既定計画 | 23,000 (GT) | -8.5 | 16.6 | 23,000 (GT) | -8.5 | 16.6 |
| | 10号地その2(西) ユニットロード | 既定計画 | 17,000 (GT) | -9 | 9.2 | 12,000 (GT) | -9 | 9.2 |
| 東部地区 | 15号地 | 既定計画の 削除 | — | — | — | — | -9 | 2.6 |
| | 15号地 | 既定計画の 削除 | — | — | — | 30,000 | -12 | 78.0 |
| | 15号地 | 既定計画の 削除 | — | — | — | 30,000 | -11~-12 | 11.1 |
| | 15号地 | 既定計画の 削除 | — | — | — | 30,000 | -12 | 37.9 |
| 中央 防波堤地区 | 中央防波堤内側 多目的 | 既定計画 | 30,000 | -12 | 7.3 | 30,000 | -12 | 14.7 |
| | 中央防波堤内側 内貿ユニットロード | 新規計画 | 17,000 (GT) | -9 | 5.2 | — | — | — |
| | 中央防波堤外側・ 新海面処分場 コンテナ | 新規計画 | 20,000 | -11 | 1.4 | — | — | — |
| | | 既定計画 | 150,000 | -16~-16.5 | 107.6 | 150,000 | -16~-16.5 | 109.3 |
| | | 新規計画 | 150,000 | -15~-16 | 1.6 | — | — | — |



図Ⅲ-6-2 泊地及び航路・泊地計画

6-3 操船例図

対象船舶の大型化及び新規に計画する泊地に係る操船例図は、それぞれ次のとおりである。



図Ⅲ-6-3 15号地木材埠頭の回頭水域・操船例図 (L1入港時)

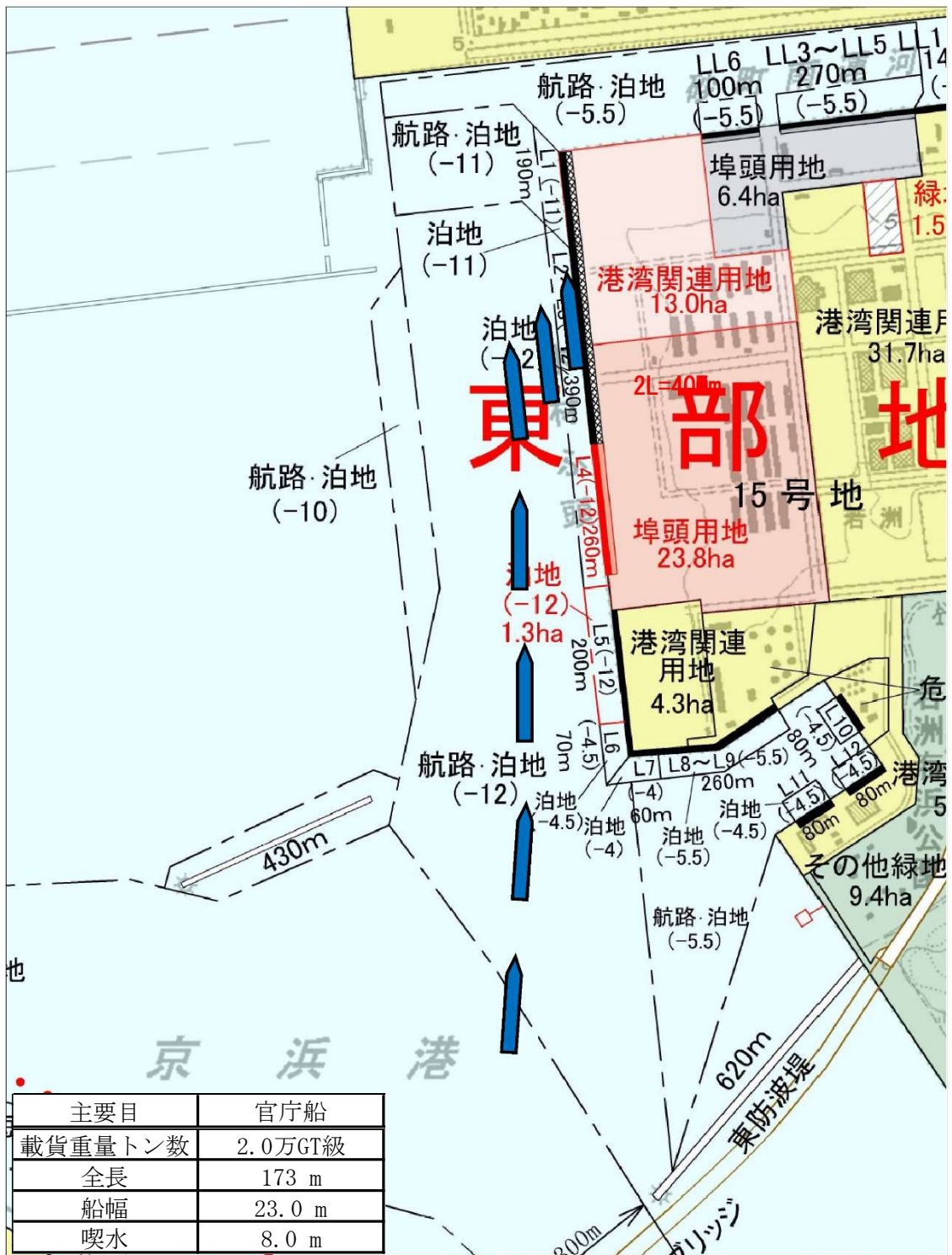


図 III-6-4 15号地木材埠頭の回頭水域・操船例図 (L2 ~ L3 入港時)

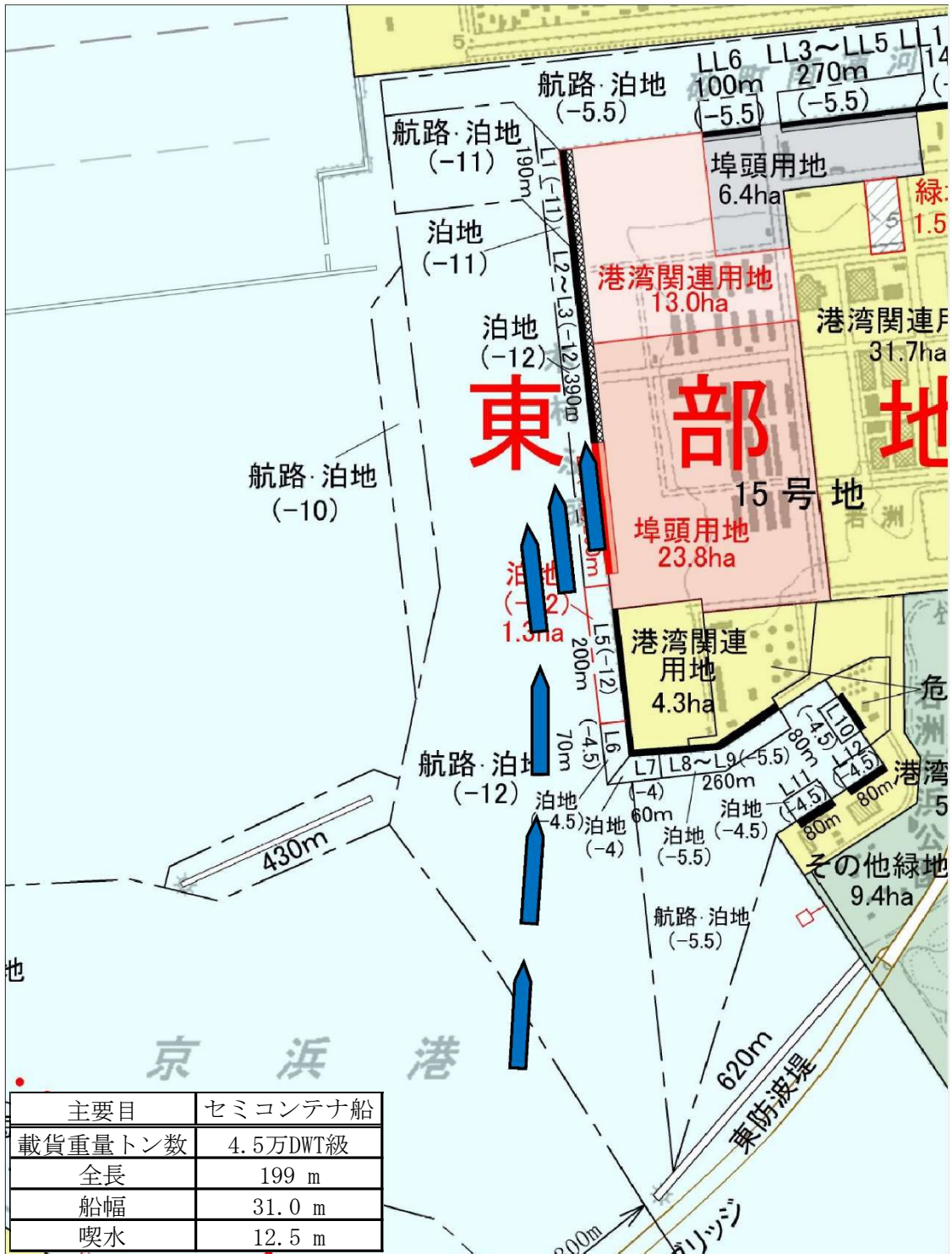
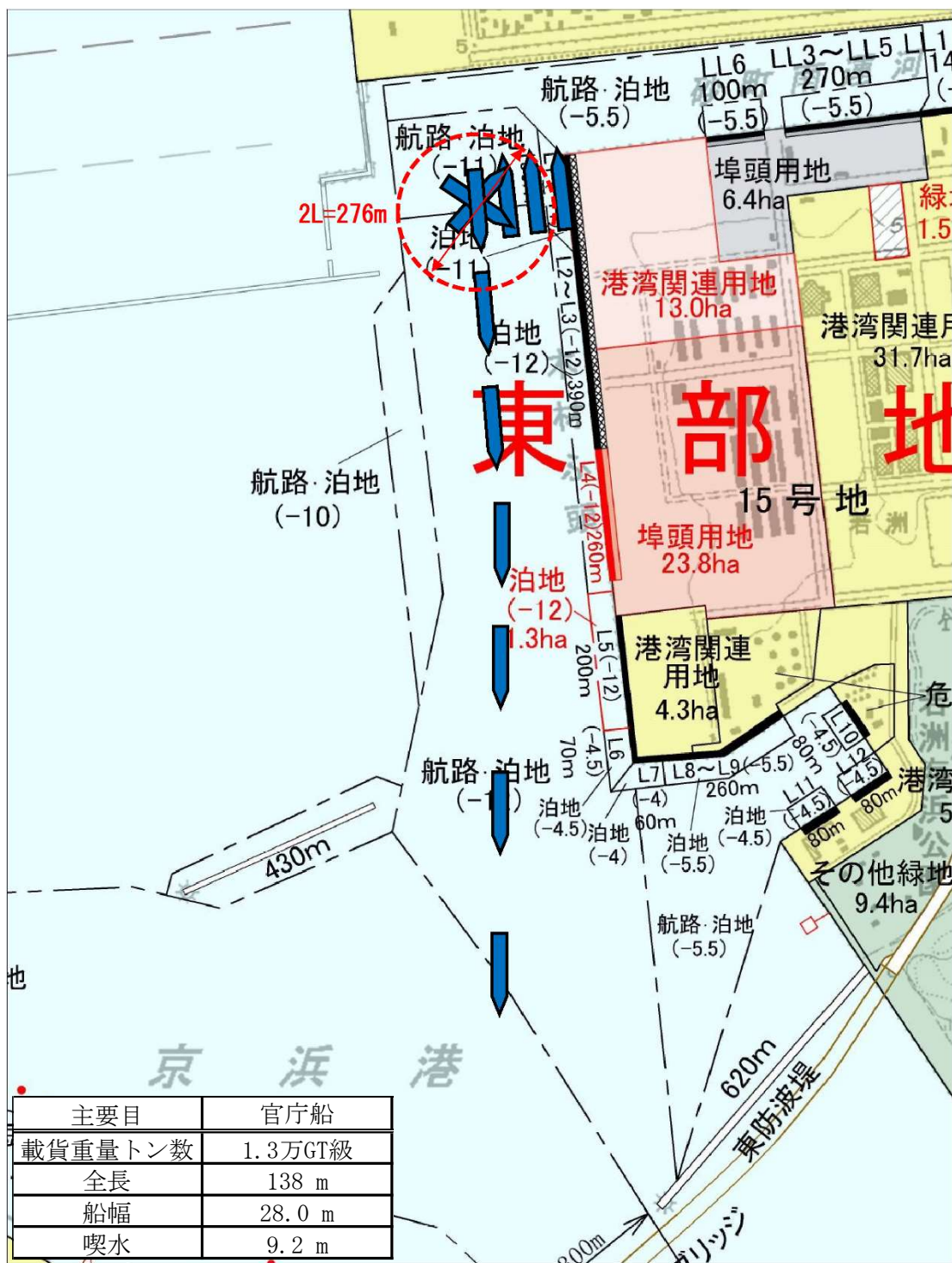


図 III-6-5 15号地木材埠頭の回頭水域・操船例図 (L4入港時)



図III-6-6 15号地木材埠頭の回頭水域・操船例図 (L1出港時)

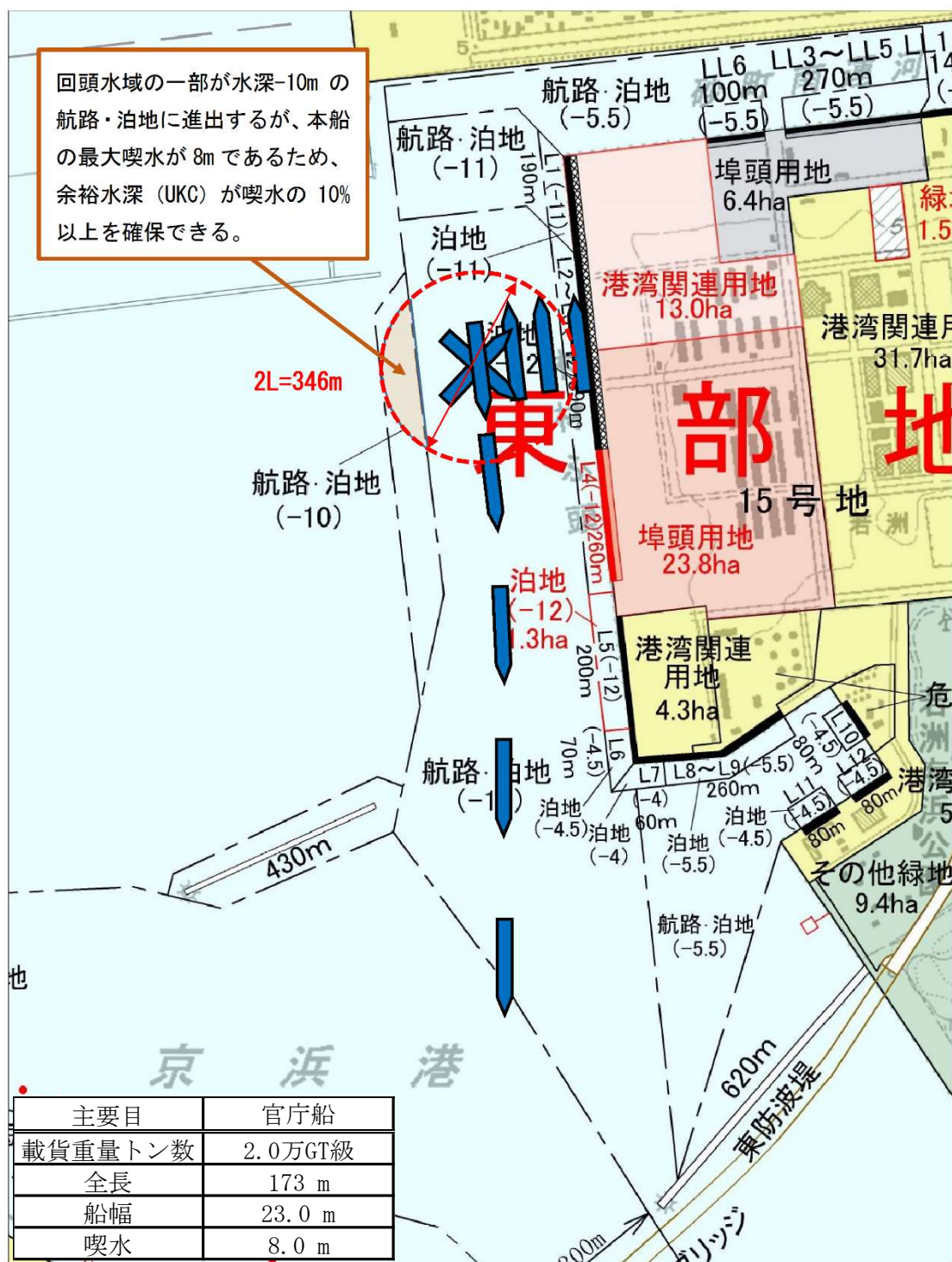


図 III-6-7 15号地木材埠頭の回頭水域・操船例図（L2～L3出港時）



図Ⅲ-6-8 15号地木材埠頭の回頭水域・操船例図（L4出港時）



図 III-6-9 中央防波堤内側内貿ユニットロード埠頭の回頭水域・操船例図（入港時）

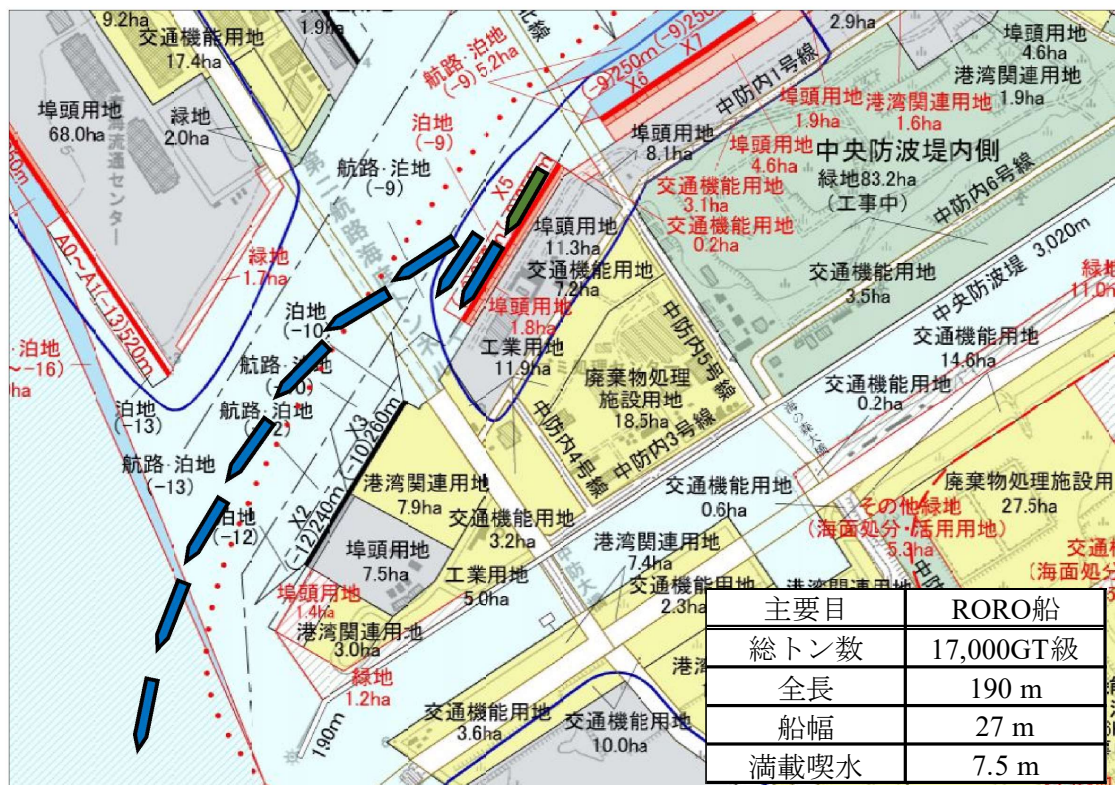


図 III-6-10 中央防波堤内側内貿ユニットロード埠頭の回頭水域・操船例図（出港時）

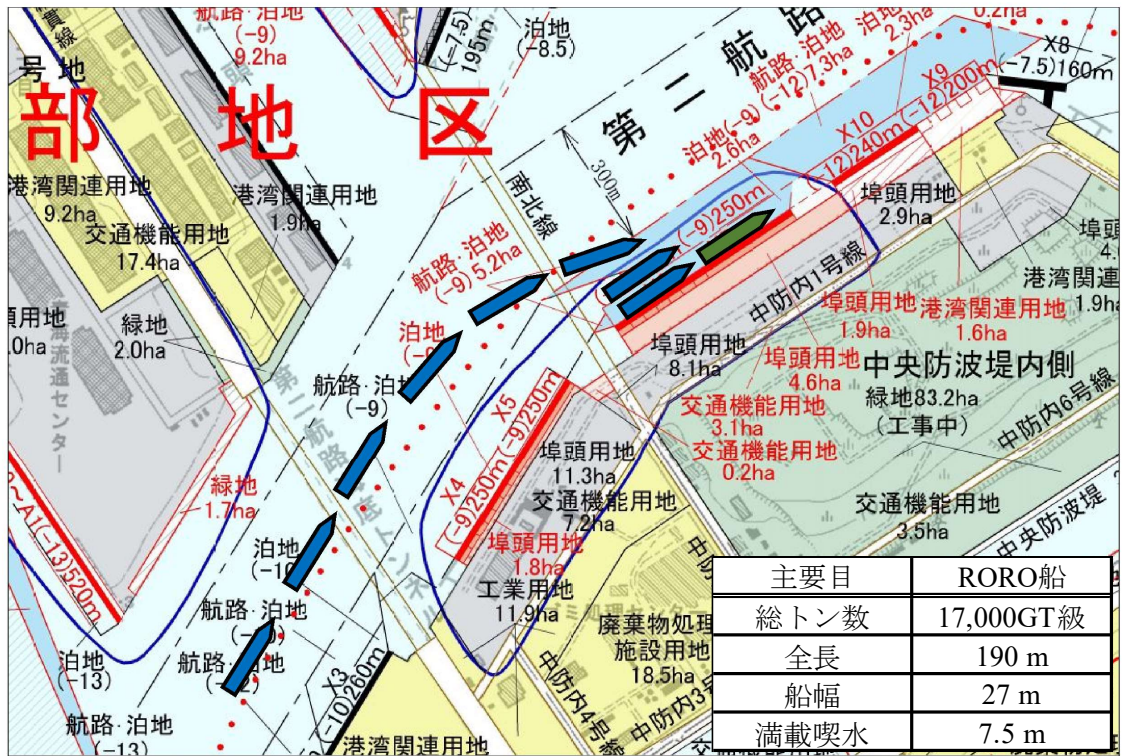


図 III-6-11 中央防波堤内側内貿ユニットロード埠頭の回頭水域・操船例図（入船右舷入港時）

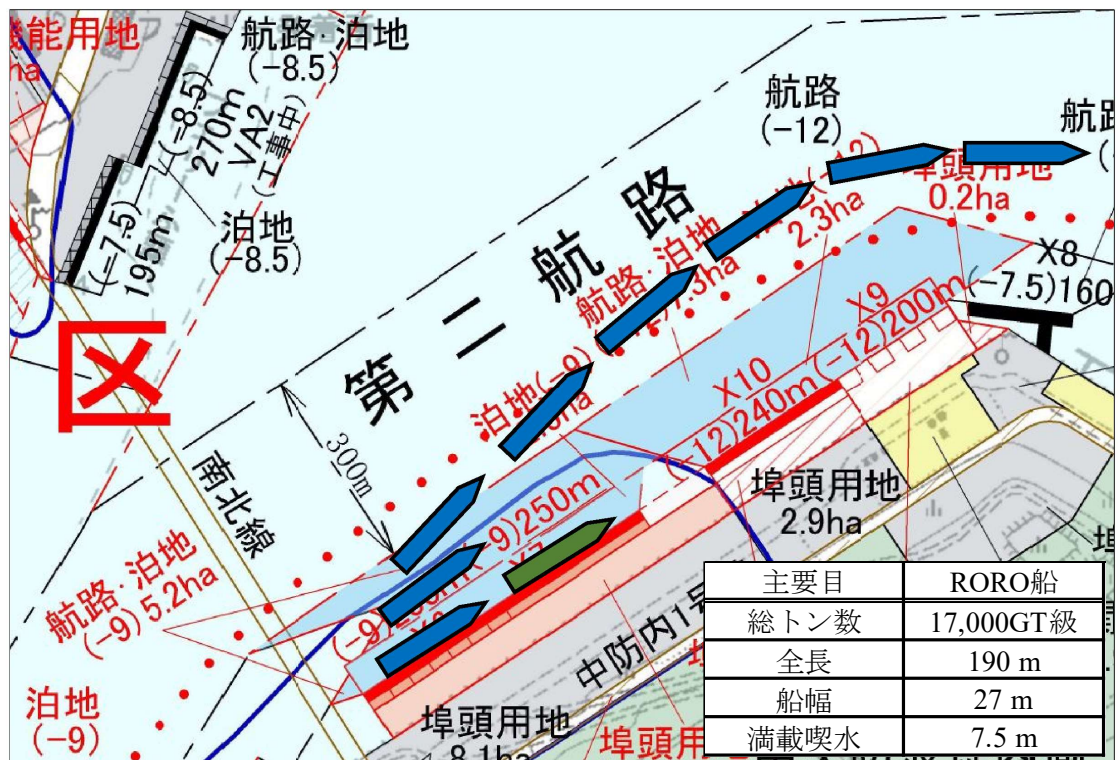


図 III-6-12 中央防波堤内側内貿ユニットロード埠頭の回頭水域・操船例図（入船右舷出港時）

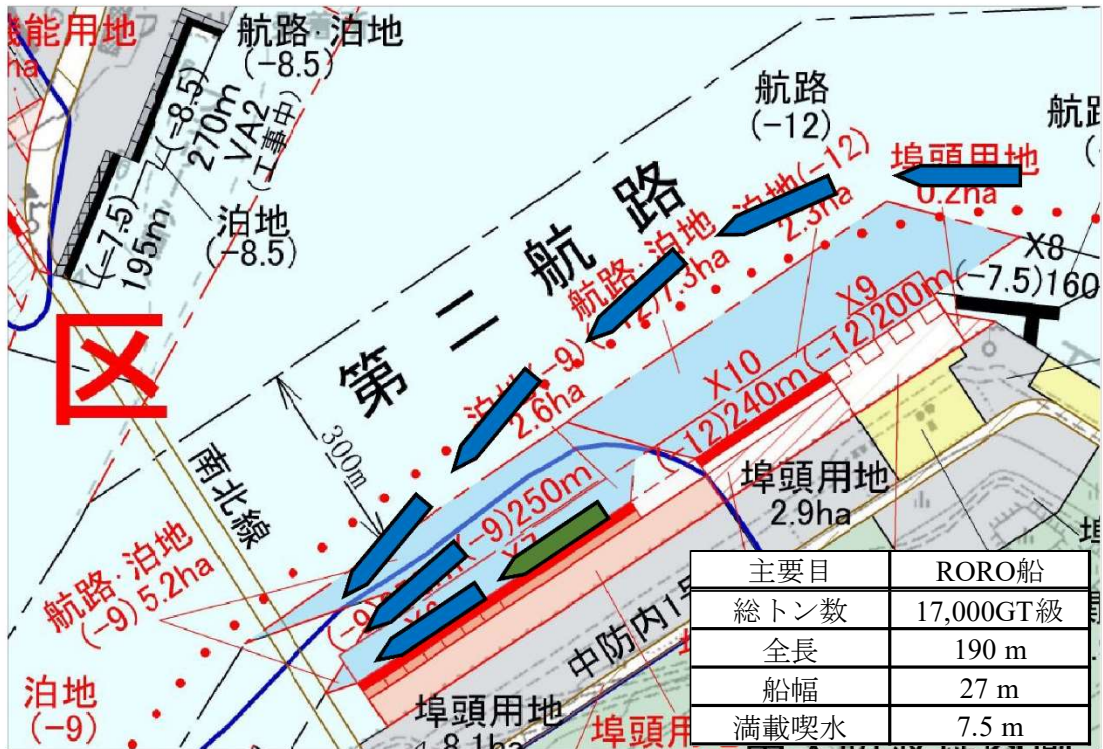


図 III-6-13 中央防波堤内側内貿ユニットロード埠頭の回頭水域・操船例図（入船左舷入港時）

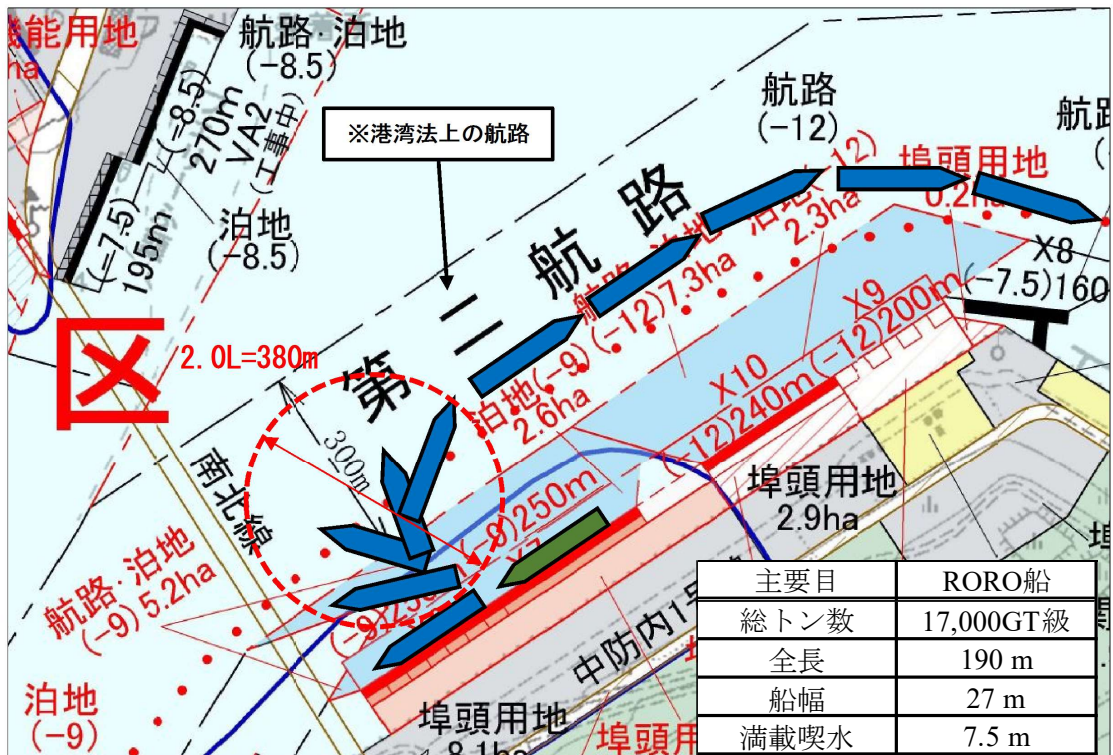
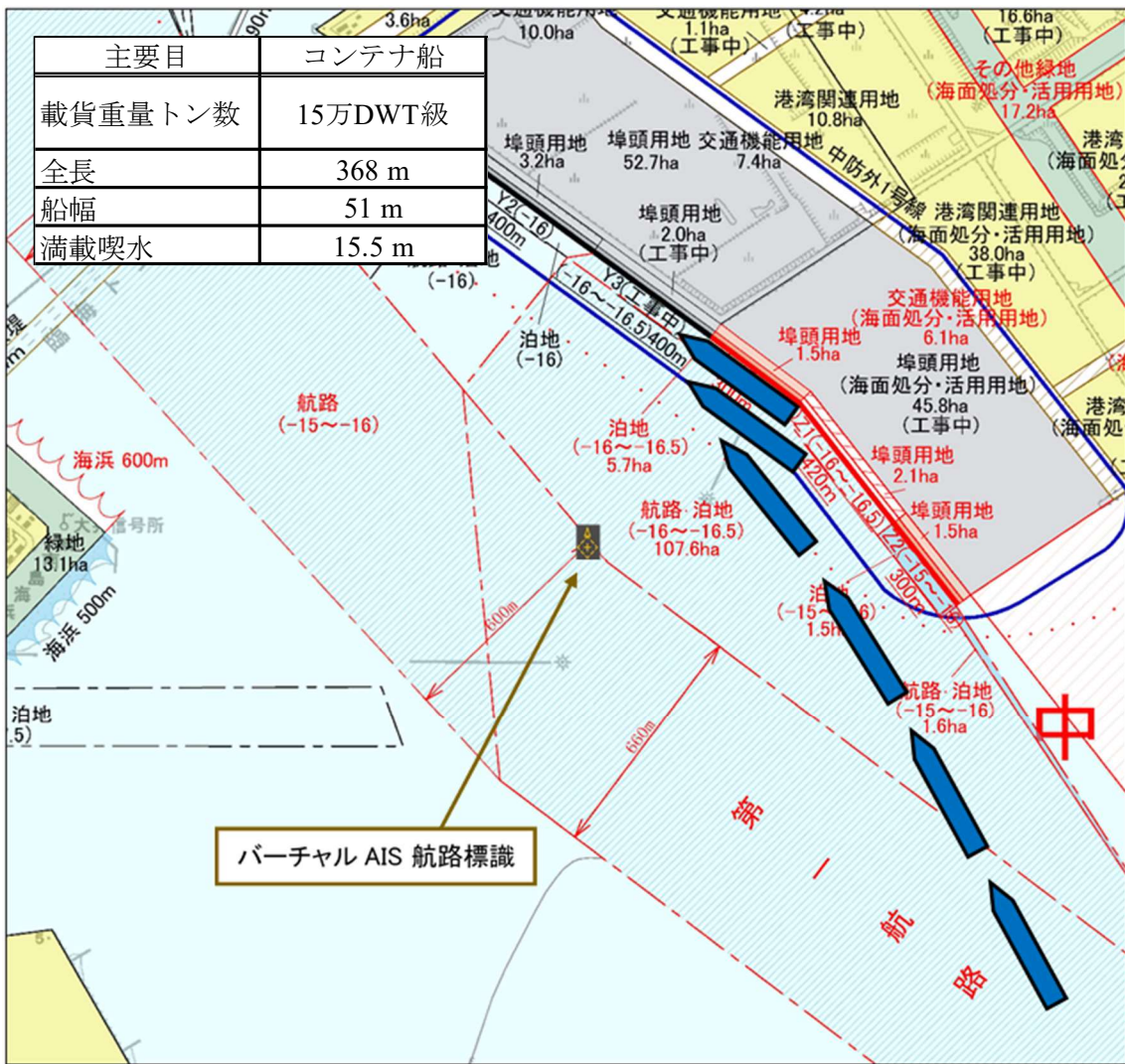


図 III-6-14 中央防波堤内側内貿ユニットロード埠頭の回頭水域・操船例図（入船左舷出港時）



図Ⅲ-6-15 新海面処分場コンテナ埠頭の回頭水域・操船例図（Z0入港時）

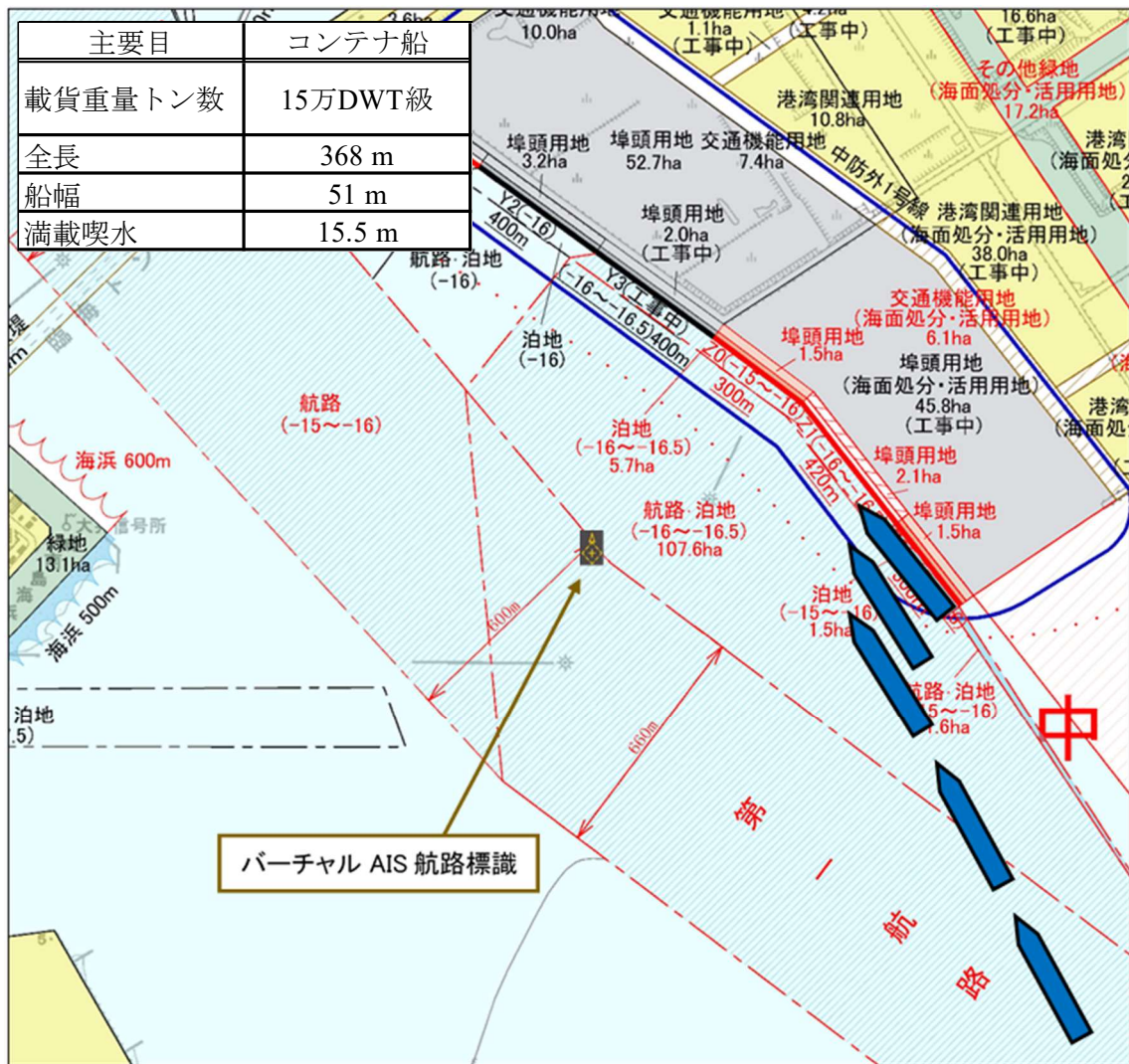


図 III-6-16 新海面処分場コンテナ埠頭の回頭水域・操船例図 (Z 2 入港時)

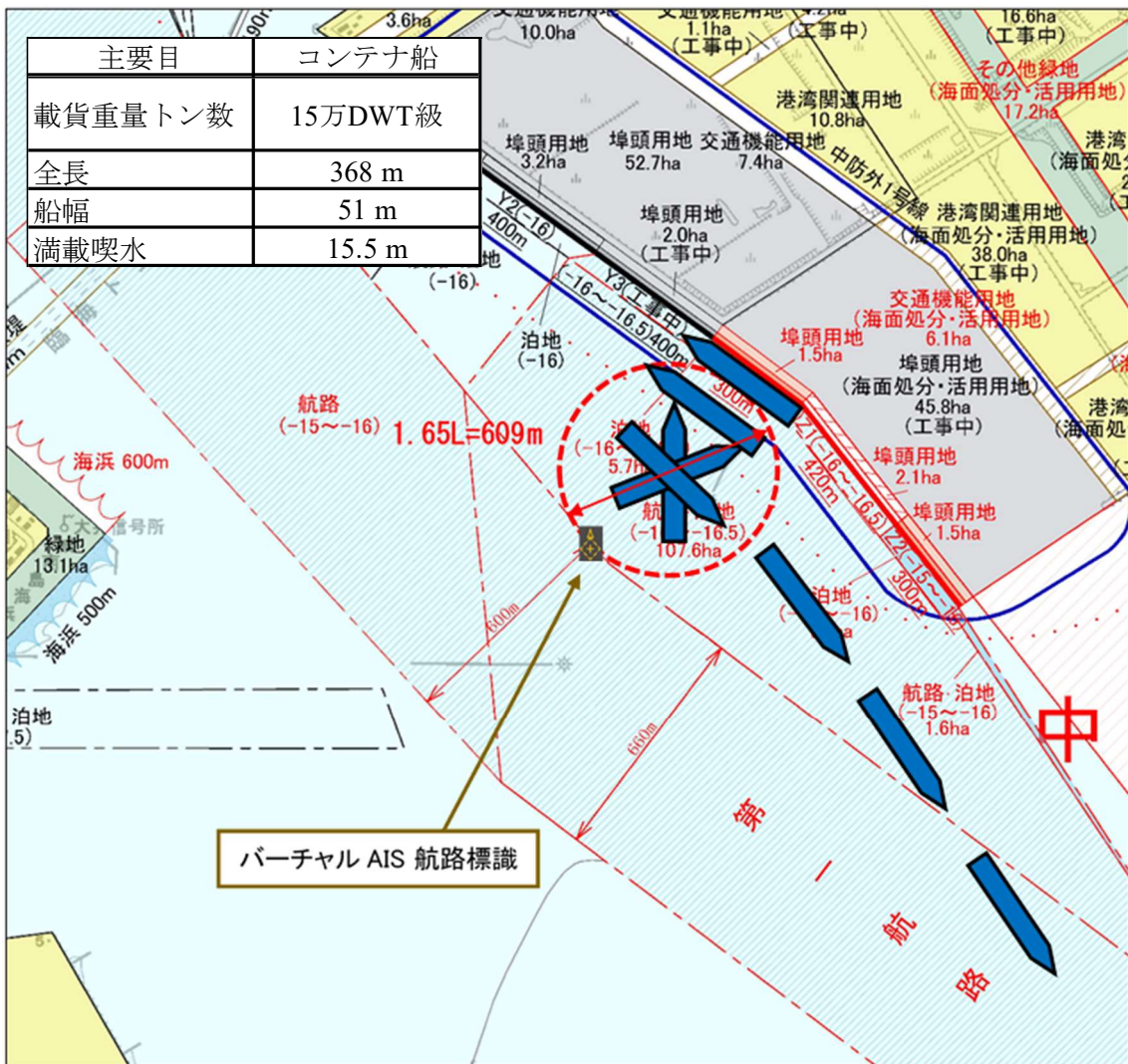
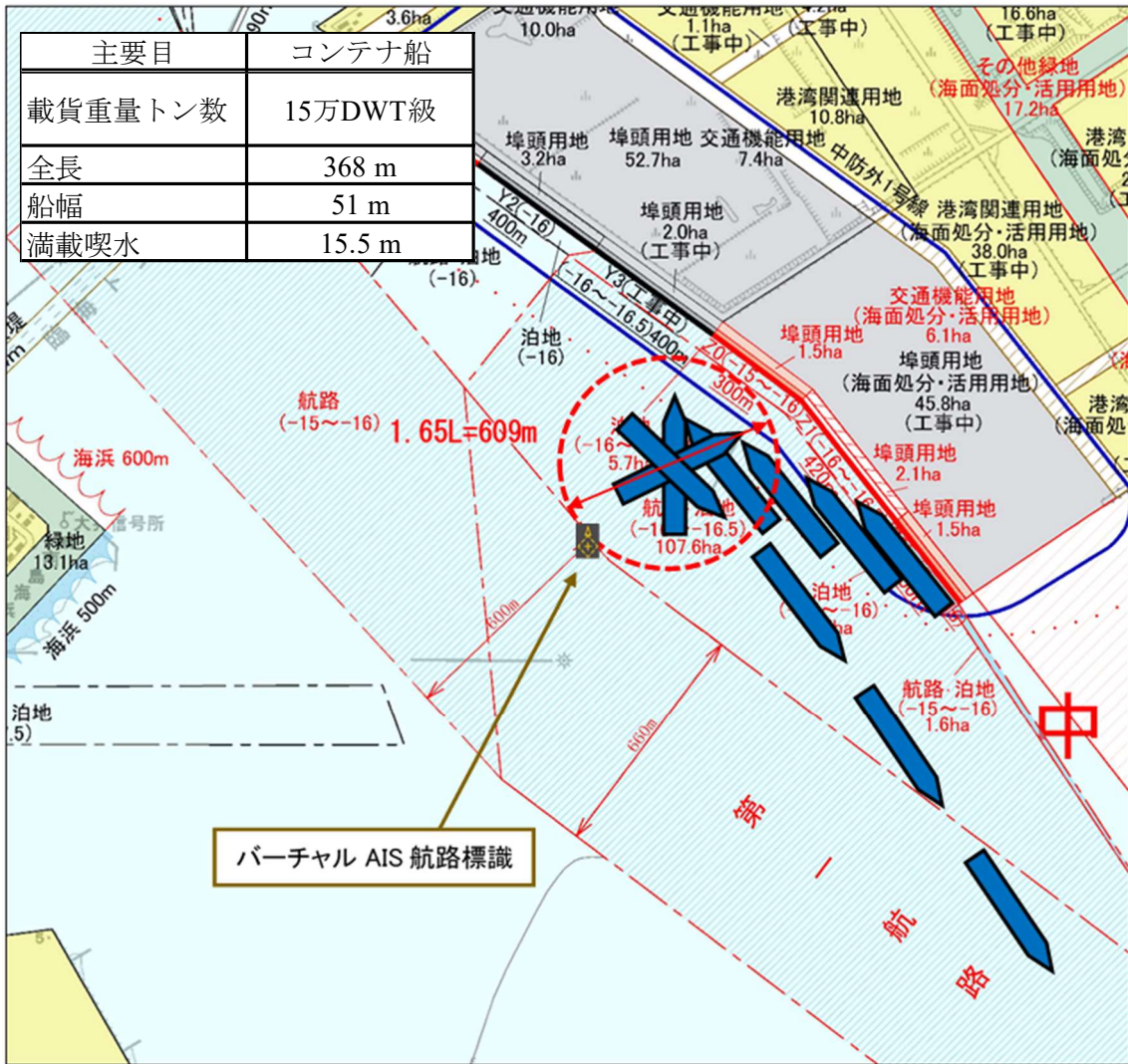


図 III-6-17 新海面処分場コンテナ埠頭の回頭水域・操船例図（Z0出港時）



図III-6-18 新海面処分場コンテナ埠頭の回頭水域・操船例図（Z2出港時）

7. 外郭施設計画

7-1 防波堤計画

7-1-1 主要な防波堤の現況

主要な防波堤の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-7-1 主要な防波堤の現況

| 名 称 | 延長 (m) |
|-------|--------|
| 防波堤 | 5,024 |
| 中央防波堤 | 3,690 |
| 東防波堤 | 620 |
| 西防波堤 | 284 |

7-1-2 防波堤の規模及び配置

防波堤の規模及び配置は、次のとおりである。

表Ⅲ-7-2 防波堤計画

| 施設名 | 計画種類 | 延長 |
|------|------|------|
| 沖防波堤 | 既定計画 | 200m |

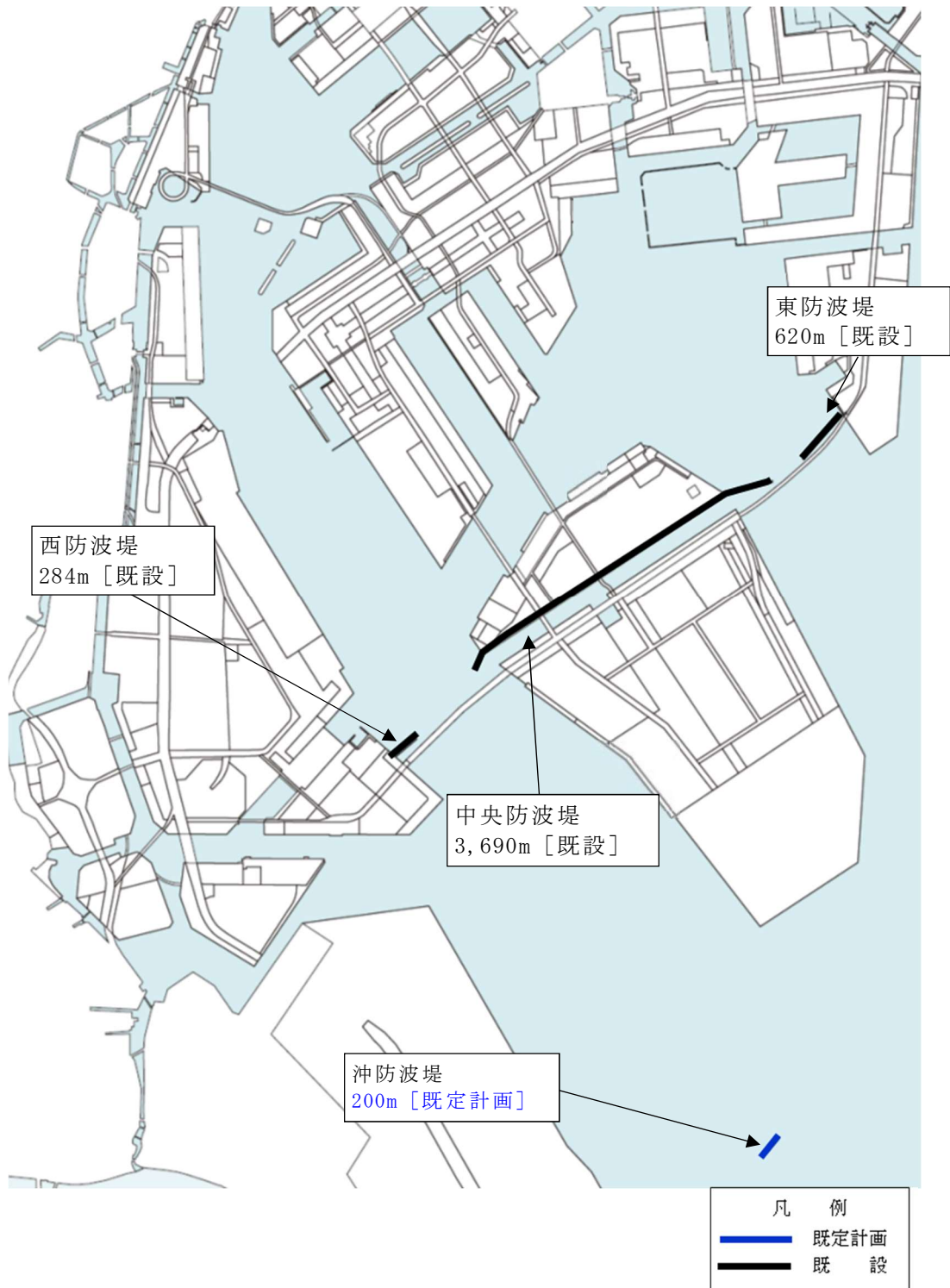


図 III-7-1 防波堤計画

7-1-3 静穏度の検討

(1) 静穏度の目標

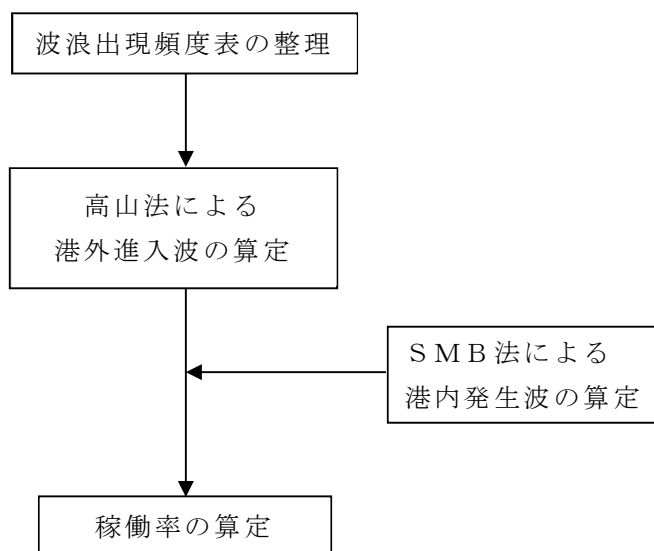
通常時の静穏度の目標は、次のとおりである。なお、異常時は港外避泊及び作業中止で対応するため、岸壁及びドルフィンの異常時については考慮しない。

表Ⅲ-7-3 静穏度の目標値

| 通常時 | |
|--------|----------------|
| 荷役限界波高 | 0.3m以下（小型船だまり） |
| | 0.5m以下（その他埠頭） |
| 稼働率 | 通年：97.5%以上 |

※ 荷役限界波高は「港湾の施設の技術上の基準・同解説、平成30年」（公社日本港湾協会）

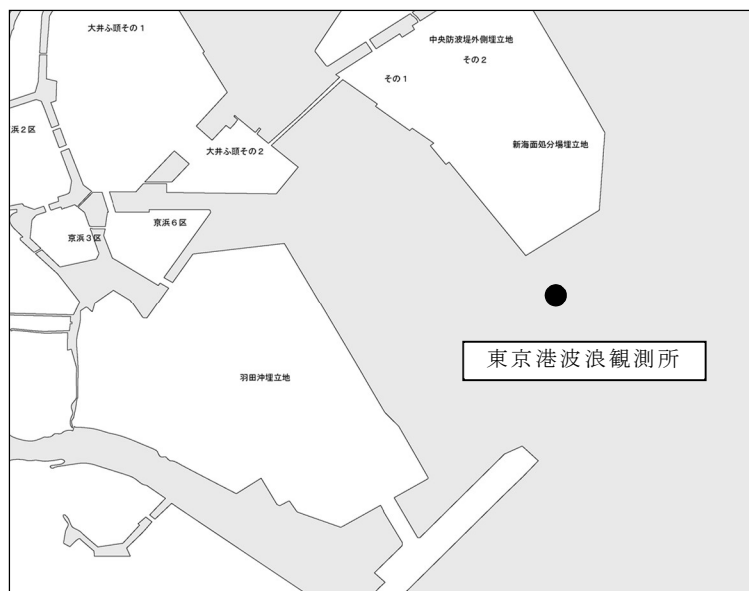
通常時の稼働率算定方法を以下に示す。



図Ⅲ-7-2 稼働率算定フロー

(2) 波浪条件

通常時の検討には、東京港波浪観測所で観測された波浪出現頻度表を使用する。また、静穏度の検討にあたっては、東京港波浪観測所で観測された風速を用いて港内発生波を算出し、稼働率を算定する。



図Ⅲ-7-3 東京港波浪観測所位置図

表Ⅲ-7-4 波向別波高出現頻度表

| 観測地点 | | 東京港 | | | | | | | | | | | | | | | | 規定回数: | |
|---------------|--------|-------------------------------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|
| 統計期間 | | 2012年6月1日1時~2022年5月31日24時(通年) | | | | | | | | | | | | | | | | 観測回数: | |
| 波高階級 (m) | | 波向 | | | | | | | | | | | | | | | | 欠測回数: | |
| | | N | NNE | NE | ESE | E | ESE | SE | SE | S | SSW | SW | WSW | W | WSW | NW | NNW | 合計 | 累計 |
| 0.00 | ~ 0.24 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0.25 | ~ 0.40 | 917 | 1096 | 1408 | 1808 | 2196 | 2046 | 1921 | 1581 | 1188 | 928 | 810 | 741 | 739 | 786 | 792 | 812 | 19769 | 19769 |
| 0.41 | ~ 0.49 | 78 | 130 | 250 | 361 | 569 | 596 | 567 | 365 | 213 | 141 | 73 | 79 | 81 | 58 | 76 | 74 | 3711 | 23480 |
| 0.50 | ~ 0.60 | 28 | 37 | 83 | 153 | 325 | 444 | 428 | 290 | 148 | 51 | 18 | 23 | 15 | 25 | 23 | 19 | 2110 | 25590 |
| 0.61 | ~ 0.80 | 2 | 7 | 35 | 54 | 131 | 203 | 343 | 223 | 75 | 18 | 9 | 1 | 4 | 4 | 7 | 4 | 1120 | 51600 |
| 0.81 | ~ 1.00 | 0 | 1 | 2 | 7 | 16 | 23 | 73 | 64 | 27 | 9 | 3 | 1 | 1 | 1 | 2 | 0 | 230 | 24830 |
| 1.01 | ~ 1.20 | 0 | 0 | 0 | 3 | 5 | 4 | 21 | 16 | 7 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 60 | 24890 |
| 1.21 | ~ 1.40 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 2 | 8 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 25 | 24915 |
| 1.41 | ~ 1.60 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 24923 |
| 1.61 | ~ 1.80 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 24931 |
| 1.81 | ~ 2.00 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 24932 |
| 2.01 | ~ 2.50 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 24934 |
| 2.51 | ~ 3.00 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 24934 |
| 3.01 | ~ 3.50 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 24934 |
| 3.51 | ~ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 24934 |
| 合計(0.50m以上のみ) | | 1025 | 1267 | 1779 | 2383 | 3247 | 3316 | 3366 | 2548 | 1656 | 1147 | 914 | 844 | 841 | 873 | 898 | 909 | 27011 | 27044 |
| 合計 | | (3.8) | (4.7) | (6.6) | (8.8) | (12.0) | (12.3) | (12.5) | (9.4) | (6.1) | (4.2) | (3.4) | (3.1) | (3.1) | (3.2) | (3.3) | (3.4) | (100.0) | |

表Ⅲ-7-5 波向別周期出現頻度表

| 観測地点 | | 東京港 | | | | | | | | | | | | | | | | 規定回数: | |
|----------|--------|-------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 統計期間 | | 2012年6月1日1時~2022年5月31日24時(通年) | | | | | | | | | | | | | | | | 観測回数: | |
| 周期階級 (s) | | 波向 | | | | | | | | | | | | | | | | 欠測回数: | |
| | | N | NNE | NL | ESE | E | ESE | SE | SE | S | SSW | SW | WSW | W | WNW | NW | NNW | 合計 | 累計 |
| 0.00 | ~ 1.00 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1.10 | ~ 2.00 | 4 | 5 | 1 | 13 | 7 | 10 | 11 | 11 | 10 | 6 | 8 | 8 | 6 | 8 | 7 | 7 | 123 | 123 |
| 2.10 | ~ 3.00 | 30 | 46 | 121 | 238 | 381 | 678 | 882 | 606 | 357 | 79 | 31 | 26 | 21 | 30 | 32 | 23 | 3594 | 23953 |
| 3.10 | ~ 4.00 | 78 | 85 | 176 | 282 | 427 | 475 | 562 | 332 | 146 | 74 | 53 | 60 | 57 | 54 | 63 | 69 | 2993 | 26946 |
| 4.10 | ~ 5.00 | 1 | 1 | 3 | 9 | 19 | 6 | 14 | 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 62 | 27008 |
| 5.10 | ~ 6.00 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 27010 |
| 6.10 | ~ 7.00 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 27011 |
| 7.10 | ~ 8.00 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 27011 |
| 8.10 | 以上 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 27011 |
| 合計 | | 1023 | 1267 | 1779 | 2383 | 3247 | 3316 | 3366 | 2548 | 1656 | 1147 | 914 | 844 | 841 | 873 | 898 | 909 | 27011 | (32.0) |
| | | (1.2) | (1.5) | (2.1) | (2.8) | (3.8) | (3.9) | (4.0) | (3.0) | (2.0) | (1.4) | (1.1) | (1.0) | (1.0) | (1.0) | (1.1) | (1.1) | (32.0) | |

(3) 稼働率の算定

荷役稼働率の算定位置は、次のとおりである。次ページに算定結果一覧を示す。



図 III-7-4 稼働率算定地点

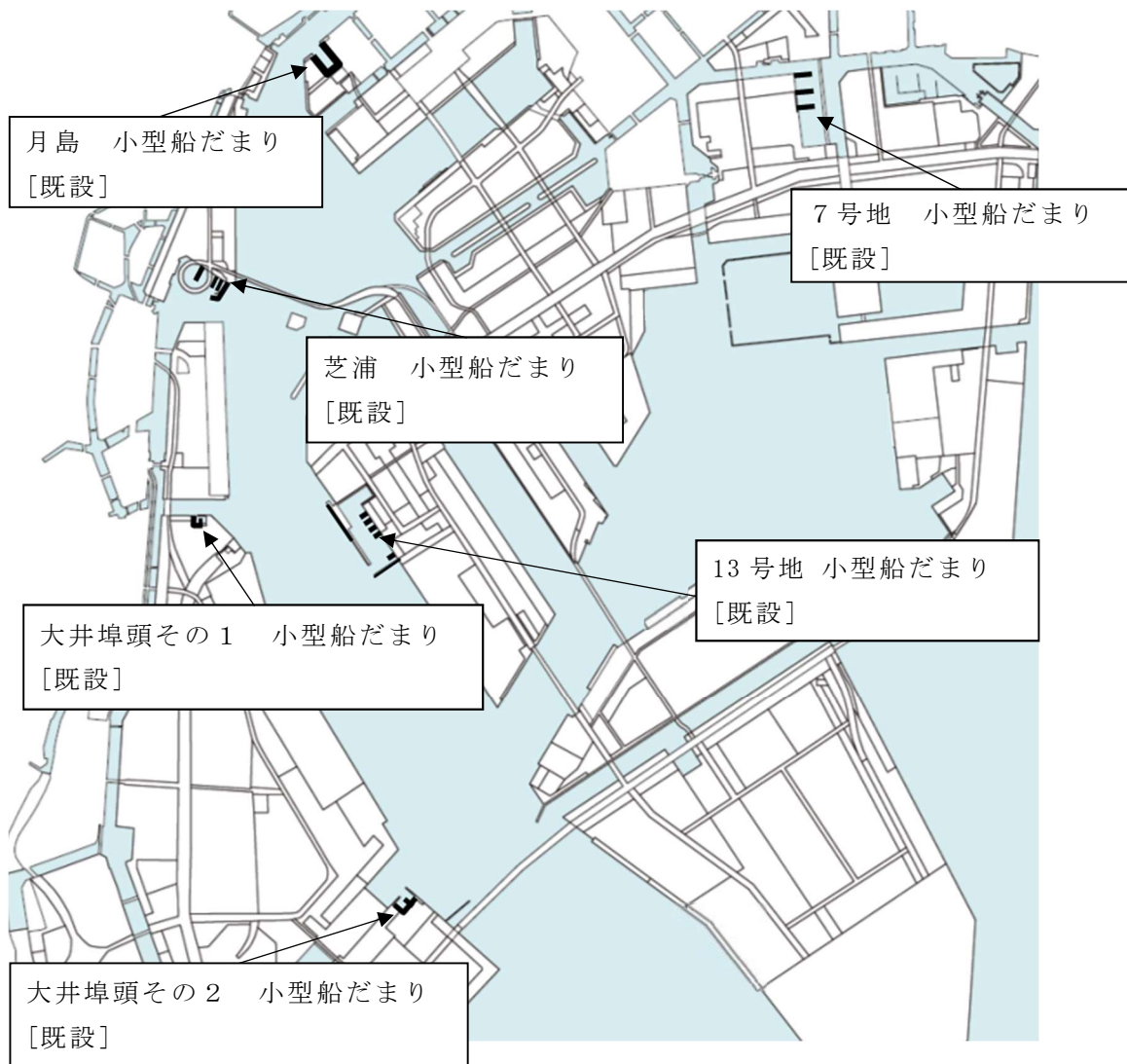
表Ⅲ-7-6 稼働率算定結果

| No. | 稼働率算定地点 | 超過(上段：確率、下段：波数) | | | | | | | | | | | | | | | | 稼働率(%) |
|-----|------------------|-----------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|--------|
| | | 風向 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | N | NNE | NE | ENE | E | ESE | SE | SSE | S | SSW | SW | WSW | W | WNW | NW | NNW | |
| 1 | ふ頭Y1 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.02 | 0.05 | 1.12 | 0.60 | 0.08 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 98.13 | |
| 2 | ふ頭Y2 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.05 | 0.98 | 0.59 | 0.09 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 98.27 | |
| 3 | ふ頭Y3 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.02 | 0.06 | 1.28 | 0.77 | 0.14 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 97.73 | |
| 4 | ふ頭Z1(北) | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.05 | 1.14 | 0.73 | 0.15 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 97.90 | |
| 5 | ふ頭Z1 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.05 | 1.18 | 0.78 | 0.17 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 97.80 | |
| 6 | ふ頭Z1(南) | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.05 | 1.18 | 0.78 | 0.18 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 97.78 | |
| 7 | 月島小型船だまり | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 100.00 | |
| 8 | 芝浦小型船だまり | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.05 | 0.94 | 0.30 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 98.67 | |
| 9 | 大井ふ頭その1小型船だまり | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.04 | 0.19 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.73 | |
| 10 | 13号地小型船だまり | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.02 | 0.02 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.96 | |
| 11 | 大井ふ頭その2小型船だまり | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.02 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.03 | 0.02 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.91 | |
| 12 | 竹芝貨客船 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.02 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.97 | |
| 13 | 日の出貨客船 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.98 | |
| 14 | 芝浦内貿雑貨 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.99 | |
| 15 | 品川内貿ユニット | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.06 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.91 | |
| 16 | 品川コンテナ | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.06 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.90 | |
| 17 | 大井コンテナ1 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.97 | |
| 18 | 大井コンテナ2 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.02 | 0.01 | 0.04 | 0.02 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.89 | |
| 19 | 大井水産物 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.03 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.93 | |
| 20 | 大井その1食品 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 100.00 | |
| 21 | 月島物揚場 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.02 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.97 | |
| 22 | 晴海客船 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.98 | |
| 23 | 晴海 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.34 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.65 | |
| 24 | 中央市場ふ頭 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 100.00 | |
| 25 | 客船 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.14 | 0.13 | 0.04 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.68 | |
| 26 | 青海コンテナ | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.12 | 0.09 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.77 | |
| 27 | 青海外貿多目的 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.05 | 0.04 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.90 | |
| 28 | お台場ライナー | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 100.00 | |
| 29 | 10号地その2(西)内貿ユニット | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 100.00 | |
| 30 | 10号地その2フェリー | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.03 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.93 | |
| 31 | 10号地その2(東)内貿雑貨 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.97 | |
| 32 | 10号地その2(西)多目的ふ頭 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 100.00 | |
| 33 | 10号地鉄鋼(専用) | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.02 | 0.22 | 0.12 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.59 | |
| 34 | 10号地その2(東)多目的ふ頭 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.02 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.97 | |
| 35 | 11号地セメント(専用) | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.97 | |
| 36 | 12号地内貿雑貨 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.05 | 0.03 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.90 | |
| 37 | 木材ドルフィン | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.02 | 0.13 | 0.15 | 0.04 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.63 | |
| 38 | 15号地内貿ユニット | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.03 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.96 | |
| 39 | 15号地建材 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 100.00 | |
| 40 | 15号地セメント(専用) | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.98 | |
| 41 | 15号地危険物(専用) | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 100.00 | |
| 42 | 中防内小型機橋 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.98 | |
| 43 | 中防内建設発生土 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.95 | |
| 44 | 中防内東セメント(専用) | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.99 | |
| 45 | 中防内内貿ユニット | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 100.00 | |
| 46 | 中防内ばらもの | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 100.00 | |
| 47 | 12号地 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.06 | 0.31 | 0.33 | 0.08 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 99.20 | |
| 48 | 中防内RORO | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 100.00 | |

8. 小型船だまり計画

8-1 小型船だまりの現況

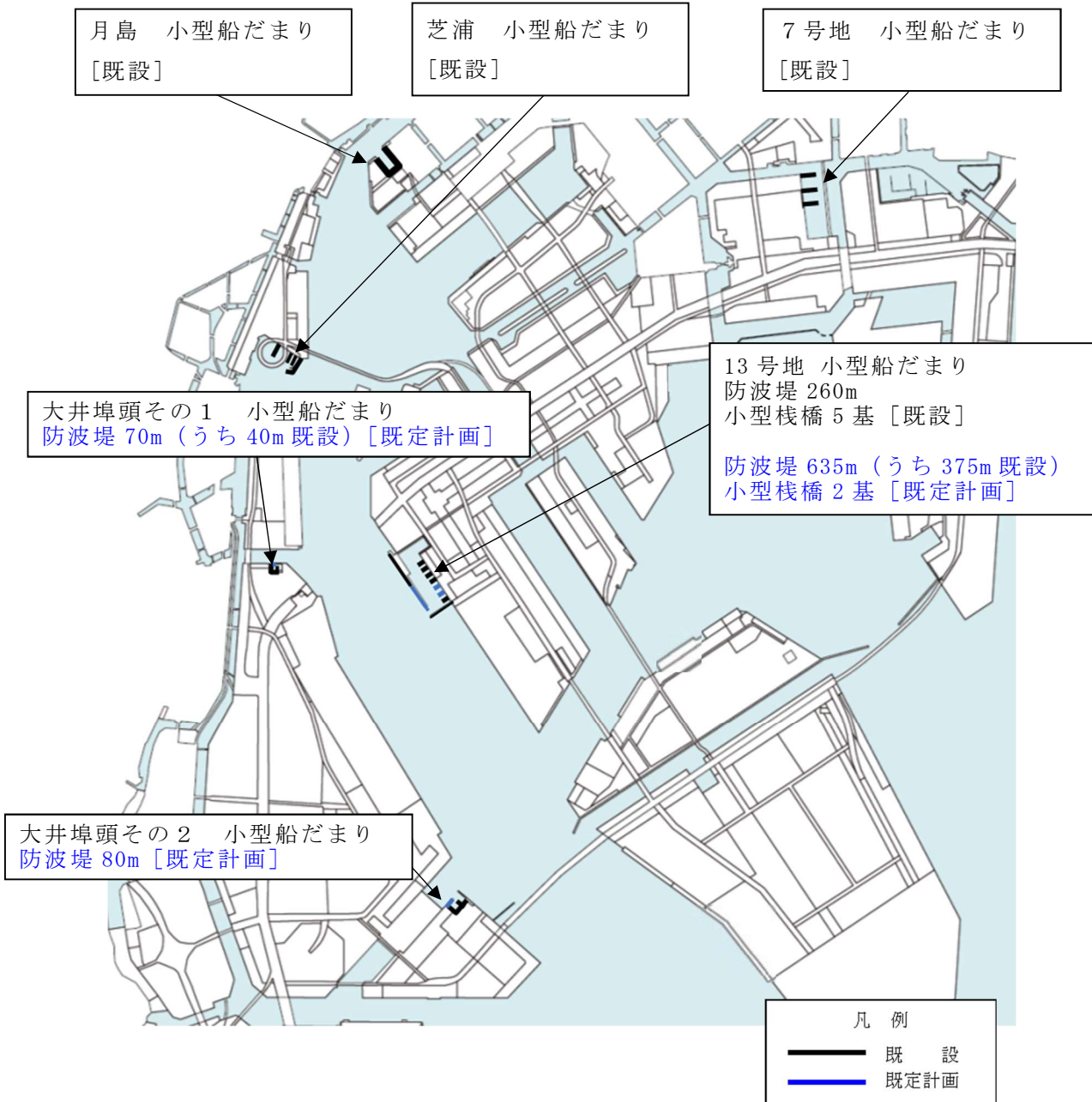
小型船だまりの現況と位置は、次のとおりである。



図Ⅲ-8-1 小型船だまりの現況と位置

8-2 小型船だまり計画

小型船だまり計画は、次のとおりである。



図Ⅲ-8-2 小型船だまり計画

9. 臨港交通施設計画

9-1 臨港道路の現況

主要な臨港道路の交通量等の現況は、次のとおりである。

表Ⅲ-9-1 主要な臨港道路の現況等

| 図番 | 施設名 | 起点 | 終点 | 車線数 | 現況交通量(R3.10月時点) | | | 計画交通量 (百台/日) | 規模及び配置 の考え方 | 備考 |
|----|-------------------|---------|---------------|------|-----------------|------------|-------------------|-----------------|------------------------|-----------------------------------|
| | | | | | 交通量 (百台/日) | 大型車 混入率 | 計測地点 | | | |
| ① | 海岸青海線 | 海岸通り | 青海・有明南 連絡線 | 4 | 229 | 33.9 | レインボー ブリッジ | 280 | 計画交通量より既定計画どおりと する。 | 既設 |
| ② | 東京港臨海道路 (Ⅰ期区間) | 城南島 | 中防外埋立地 | 4 | 310 | 58.4 | 中防大橋南詰 交差点 | 475 | | 既設 |
| ③ | 東京港臨海道路 (Ⅱ期区間) | 中防外埋立地 | 新木場・若洲線 | 4 | 237 | 51.1 | 東京ゲート ブリッジ | 355 | | 既設 |
| ④ | 新木場・若洲線 | 国道357号 | 東京港臨海道路 | 6 | 347 | 44.5 | 新木場交差点 | 411 | | 既設 |
| ⑤ | 青海縦貫線 | 国道357号 | 中防外埋立地 | 4~6 | 136 | 74.0 | 中防大橋北詰 交差点 | 291 | | 既設 |
| ⑥ | 大井ふ頭その1線 | 大井北部陸橋 | 環状七号線 | 6~10 | 175 | 80.6 | 大井税関前 交差点 | 277 | | 既設 |
| ⑦ | 南北線 | 有明ふ頭連絡線 | 中防内5号線 | 4 | 56 | 74.4 | 東京港フェリー ターミナル前 | 215 | | 既設 |
| ⑧ | 中防外1号線 | 東京港臨海道路 | 新海面処分場 | 6 | 69 | 87.4 | 中防大橋南詰 交差点 | 215 | | 既定計画 (工事中を含む) |
| ⑨ | 中防内1号線 | 中防内5号線 | 中防内埋立地 | 2 | — | — | — | 18 | | 今後の交通需要を踏まえ車線数を 4車線から2車線に変更する。 |

9-2 臨港道路計画の必要性

東京港の国際競争力の強化を図っていくため、港湾と背後地を円滑に結ぶ道路網が不可欠である。このため、各埠頭間を連絡する幹線道路や、埠頭と幹線道路を連絡する道路を臨港道路として整備を進め、既定計画に基づく道路ネットワークの充実を図っていく。

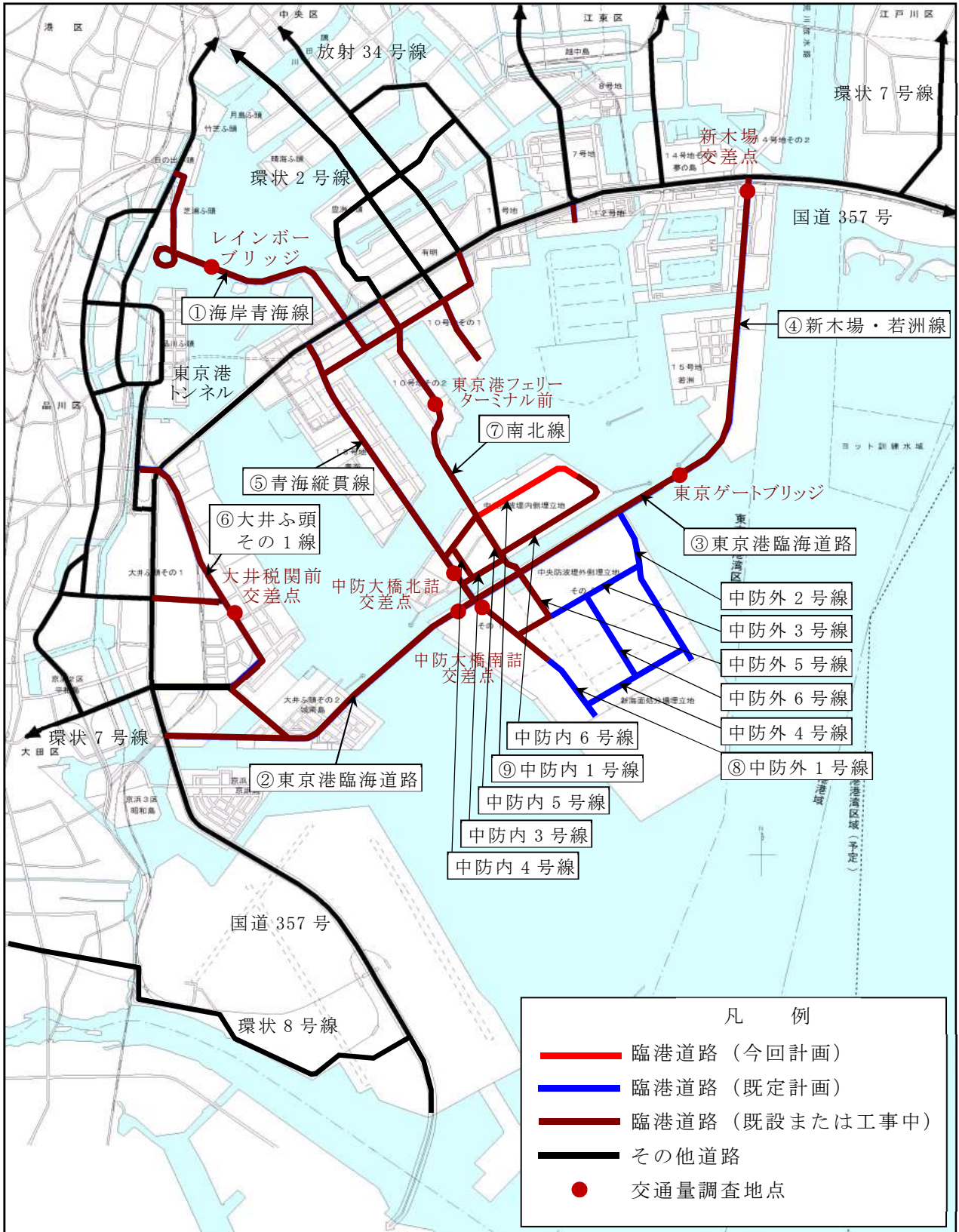
9-3 臨港道路計画の変更

中防内1号線の一部区間について、今後の交通需要を踏まえ車線数を4車線から2車線に変更する。交通量、規模及び配置の考え方は、表Ⅲ-9-1のとおりである。

9-4 交通対策

将来の東京港周辺部においては、慢性的な交通渋滞は概ね発生しないと考えられる。しかし、一部の交差点においては、ピーク時に交通混雑のおそれがあるため、交通対策を検討する必要がある。

このため、交差点付近の車線構成の見直し等の対策を検討・実施する。また、荷待ちトラックによるコンテナターミナルゲート前の渋滞に対しては、CONPAS等を活用した搬出入予約制の導入によるコンテナ搬出入車両の分散化や混雑状況の見える化等の取組も推進する。



図Ⅲ-9-1 臨港交通施設計画

10. マリーナ計画

10-1 マリーナの現況

10-1-1 係留区画利用状況

(1) 艇長・種類別係留状況

艇長・種類別係留状況は、次のとおりである。

表Ⅲ-10-1 艇長・種類別係留状況

| バース 区画 | 係留可能 隻数 | 契約 隻数 | 種類別割合 | | 係留 割合 |
|-----------|------------|----------|-------|-----|----------|
| | | | ボート | ヨット | |
| | | | 77% | 23% | |
| 10 m 以下 | 413 | 383 | 280 | 103 | 92.7% |
| (6 m以下) | | | 30 | 6 | |
| (6~7 m) | | | 52 | 6 | |
| (7~8 m) | | | 65 | 22 | |
| (8~10 m) | | | 133 | 69 | |
| 10 ~ 13 m | 168 | 159 | 130 | 9 | 94.6% |
| 13 ~ 15 m | 67 | 63 | 56 | 7 | 94.0% |
| 15 ~ 18 m | 8 | 8 | 7 | 7 | 100.0% |
| 18 ~ 20 m | 4 | 4 | 4 | 0 | 100.0% |
| 合計 | 660 | 617 | 477 | 140 | 93.50% |

(2) バース・種類別係留状況

バース・種類別の係留状況は、次のとおりである。

表Ⅲ-10-2 バース・種類別の係留状況

| バース 区画 | 係留可能 隻数 | 契約 隻数 | 種類別割合 | | 係留 割合 |
|-------------|------------|----------|-------|-----|----------|
| | | | ボート | ヨット | |
| A | 18 | 18 | 16 | 2 | 100.0% |
| B | 32 | 31 | 29 | 2 | 96.9% |
| C | 36 | 35 | 29 | 6 | 97.2% |
| D (10m以下) | 12 | 12 | 11 | 1 | 100.0% |
| D (10~13m) | 4 | 4 | 4 | 0 | 100.0% |
| E | 20 | 17 | 8 | 9 | 85.0% |
| F | 20 | 19 | 14 | 5 | 95.0% |
| G | 20 | 20 | 0 | 20 | 100.0% |
| H | 24 | 24 | 22 | 2 | 100.0% |
| I | 28 | 28 | 28 | 0 | 100.0% |
| J | 28 | 24 | 21 | 3 | 85.7% |
| K | 22 | 21 | 11 | 10 | 95.5% |
| L | 18 | 17 | 15 | 2 | 94.4% |
| M | 20 | 20 | 0 | 20 | 100.0% |
| N | 24 | 22 | 21 | 1 | 91.7% |
| O | 24 | 22 | 17 | 5 | 91.7% |
| P | 25 | 21 | 20 | 1 | 84.0% |
| Q | 26 | 25 | 22 | 3 | 96.2% |
| R | 32 | 26 | 26 | 0 | 81.3% |
| S | 32 | 29 | 22 | 7 | 90.6% |
| T | 32 | 29 | 0 | 29 | 90.6% |
| U | 25 | 23 | 22 | 1 | 92.0% |
| V | 26 | 25 | 25 | 0 | 96.2% |
| W | 32 | 29 | 26 | 3 | 90.6% |
| X (10m以下) | 1 | 1 | 1 | 0 | 100.0% |
| X (13~15m) | 12 | 11 | 11 | 0 | 91.7% |
| Y (13~15m) | 7 | 5 | 5 | 0 | 71.4% |
| Y (15~18m) | 4 | 4 | 4 | 0 | 100.0% |
| Z (13~15m) | 48 | 47 | 40 | 7 | 97.9% |
| Z (15~18m) | 4 | 4 | 3 | 1 | 100.0% |
| 大型 (18~20m) | 4 | 4 | 4 | 0 | 100.0% |
| 合計 | 660 | 617 | 477 | 140 | 93.5% |

10-2 マリーナ計画

マリーナ計画については、現況のままとする。

IV 港湾の環境の整備及び保全

目 次

| | |
|---|--------------|
| IV 港湾の環境の整備及び保全 | IV-1 |
| 1. 自然的環境を整備又は保全する区域 | IV-1 |
| 1-1 良好な景観を形成する区域..... | IV-1 |
| 2. 廃棄物処理計画 | IV-3 |
| 2-1 港湾における廃棄物処理場の現況..... | IV-3 |
| 2-2 港湾における廃棄物処理の必要性..... | IV-3 |
| 2-3 港湾において処分する廃棄物の種類及び量..... | IV-4 |
| 2-4 海面処分用地の規模及び配置..... | IV-5 |
| 3. 港湾環境整備施設計画 | IV-7 |
| 3-1 緑地・海浜の現況..... | IV-7 |
| 3-2 緑地・海浜計画の必要性..... | IV-9 |
| 3-3 緑地・海浜の確保の考え方..... | IV-10 |
| 3-4 緑地計画・海浜計画..... | IV-11 |
| 4. 東京港におけるカーボンニュートラルポートの実現 | IV-14 |

IV 港湾の環境の整備及び保全

1. 自然的環境を整備又は保全する区域

1-1 良好な景観を形成する区域

東京港と東京国際空港が位置している東京臨海部は、多くのコンテナ船や旅客船が入出港するとともに、国内外の航空機が多数離発着する首都圏のゲートウェイ（玄関口）となっており、景観への配慮が必要である。大井・青海コンテナ埠頭では、東京の都市景観を背景にコンテナクレーンなどの港湾施設と大型船とのダイナミックな港湾景観が形成されている。今後さらに沖合では、新たな港湾施設が整備されるため、それらを活かした美しいみなとづくりが求められる。

このため、引き続き、東京港の港口に位置し今後新たに開発される中央防波堤地区（海面処分用地を除く）を、「良好な景観を形成する区域」に設定し、建築物の色彩や海の森との調和、さらには船舶をはじめ航空機からの視点場にも配慮した先駆的な景観形成を進めていく。

なお、再開発が進む内港地区等については、既存の良好な景観を保全するとともに、老朽化した施設の再整備の際には、景観に十分配慮する。



図IV-1-1 良好な景観を形成する区域

東京都は、東京港第7次改訂港湾計画において「良好な景観を形成する区域」として定めた中央防波堤地区の景観形成の考え方について、港湾関係者との検討をふまえ、「東京港〈中央防波堤地区〉景観ガイドライン」を2013年5月に策定し、8月1日から運用を開始した。

2. 廃棄物処理計画

2-1 港湾における廃棄物処理場の現況

港湾における廃棄物処理場の現況は、次のとおりである。

表IV-2-1 港湾における廃棄物処理の現況

| 地区名 | 面積 (ha) | 状況 | 種類別処分容量 (万m ³) | | 種類別処分実績 (万m ³) | | 種類別残余容量 (万m ³) | |
|-------------------------------|--|-----|----------------------------------|-----------------|----------------------------------|-----------------|----------------------------------|-----------------|
| | | | 廃棄物系 | しゅんせつ土 建設発生土 | 廃棄物系 | しゅんせつ土 建設発生土 | 廃棄物系 | しゅんせつ土 建設発生土 |
| 中央防波堤外側地区 (その2未竣功部) | 119.8 | 工事中 | 一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥 | 5,781 | 一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥 | 5,585 | 一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥 | 196 |
| 新海面処分場地区 (A~Gブロック 未竣功部) | 233.8 A:192 B:72.1 C:69.5 G:73.0 | 工事中 | 一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥 | 2,135 | 一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥 | 1,144 | 一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥 | 991 |
| | | | しゅんせつ土 建設発生土 | 3,803 | しゅんせつ土 建設発生土 | 3,075 | しゅんせつ土 建設発生土 | 728 |
| 中央防波堤地区 (合計) | 353.6 | 工事中 | 一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥 | 7,916 | 一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥 | 6,729 | 一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥 | 1,187 |
| | | | しゅんせつ土 建設発生土 | 3,803 | しゅんせつ土 建設発生土 | 3,075 | しゅんせつ土 建設発生土 | 728 |

※ 現在、中央防波堤外側埋立地（その2）及び新海面処分場埋立地（A、B、C、Gブロック）において、廃棄物等の処分を行っている。

2-2 港湾における廃棄物処理の必要性

過密した東京23区の内陸部では、廃棄物最終処分場の確保が困難であることから、循環利用のできない廃棄物等を適正に処分する廃棄物海面処分場を引き続き整備する。

廃棄物海面処分場の整備は、港湾にとって貴重な水面の埋立てであることから、埋立処分量にあわせた段階的な整備を行うとともに受入容量の増大策や良質なしゅんせつ土の有効活用、廃棄物の減量化を行い、処分場の延命化に努めていく。

表IV-2-2 港湾における廃棄物処理の考え方

| | |
|--------------|--|
| ①一般廃棄物 | 東京23区から発生する一般廃棄物 |
| ②産業廃棄物 | 都内の中小企業から排出される産業廃棄物 |
| ③都市施設 廃棄物 | 都内の上・下水道施設等から排出される都市施設廃棄物 (上水スラッジ、下水汚泥及び道路・河川・港湾清掃ごみ) |
| ④しゅんせつ土 | 都内の河川及び東京港内から発生するしゅんせつ土 |
| ⑤建設発生土 | 都内の公共事業から発生するものを優先 |

※ 廃棄物等の埋立処分量は、社会経済状況の変化、中間処理・リサイクルの技術革新等に応じて変化することが予測されるため「廃棄物等の埋立処分計画（東京都）」や受入基準などにより、適切に対応していく。

2-3 港湾において処分する廃棄物の種類及び量

港湾において処分することが必要な種類別の廃棄物の量及び新規に対応することが必要な廃棄物の処分量は、次のとおりである。

表IV-2-3 港湾において処分する廃棄物の種類及び量

(令和3年度末現在)

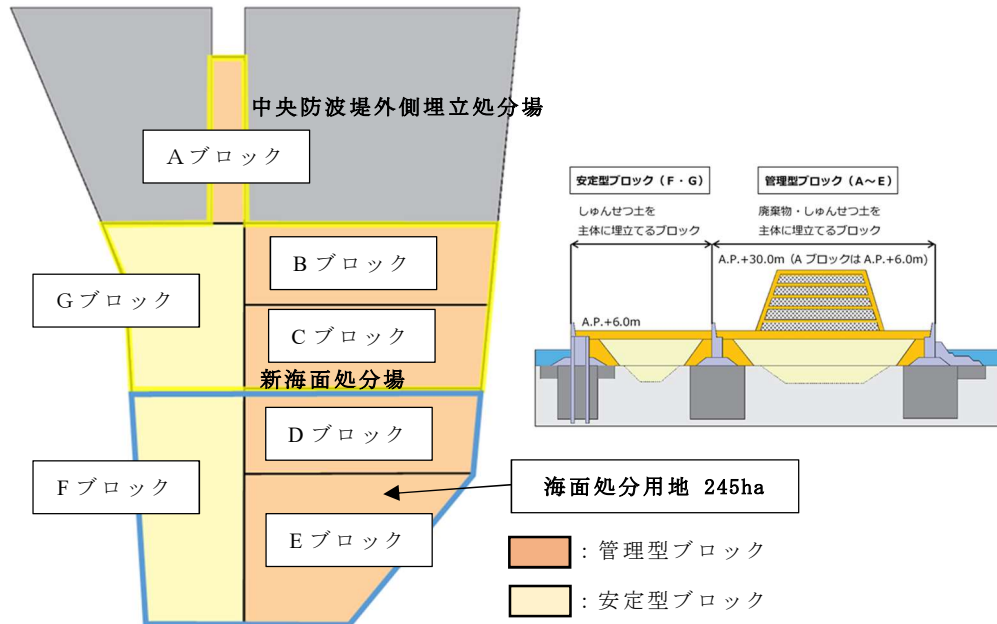
| 地区名 | 種類 | 種別 | 処分必要量 (万m ³) | 既存の処分地 の容量(万m ³) | 新規対応必要量 (万m ³) | 備考 |
|---------------------|--|-----|-----------------------------|---------------------------------|-------------------------------|--|
| 中央防波堤 外側地区 | 廃棄物系 一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥 | 管理型 | 196 | 196 | 0 | |
| | | 安定型 | 0 | 0 | 0 | |
| | 合計 | 安定型 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 管理型 | 196 | 196 | 0 | |
| | | 計 | 196 | 196 | 0 | |
| 新海面 処分場地区 | 廃棄物系 一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥 | 管理型 | 3,433 | 991 | 2,442 | 廃棄物系(管理型)処分必要量 4,577(全体量)-1,144(処分実績) =3,433 土砂系(安定型)処分必要量 2,293(全体量)-616(処分実績) =1,677 土砂系(管理型)処分必要量 5,167(全体量)-2,459(処分実績) =2,708 |
| | | 安定型 | 1,677 | 688 | 989 | |
| | 土砂系 建設発生土 | 管理型 | 2,708 | 40 | 2,668 | |
| | | 安定型 | 1,677 | 688 | 989 | |
| | 合計 | 管理型 | 6,141 | 1,031 | 5,110 | |
| | | 計 | 7,818 | 1,719 | 6,099 | |
| 中央防波堤 地区 (合計) | 廃棄物系 一般廃棄物 産業廃棄物 上水スラッジ 下水汚泥 | 管理型 | 3,629 | 1,187 | 2,442 | |
| | | 安定型 | 1,677 | 688 | 989 | |
| | 土砂系 建設発生土 | 管理型 | 2,708 | 40 | 2,668 | |
| | | 安定型 | 1,677 | 688 | 989 | |
| | 合計 | 管理型 | 6,337 | 1,227 | 5,110 | |
| | | 計 | 8,014 | 1,915 | 6,099 | |

※ 港湾において処分が必要となる量の考え方は以下のとおりとする。

- ① 一般廃棄物：中間処理を行うことを前提に、減量・資源化を最大限図った上で全量受け入れる。
- ② 産業廃棄物：都内中小企業の産業廃棄物は、中間処理を行ったもののうち、都の最終処分場の受入基準を満たすものに限り、一定量を受け入れる。また、都内から発生する廃石綿等（飛散性アスベスト廃棄物）については、セメント固化し、プラスチック袋で二重に梱包したものを受け入れる。
- ③ 都市施設廃棄物：中間処理を行うことを前提に受け入れる。
- ④ しゅんせつ土：有効利用できるものを除いて受け入れる。
- ⑤ 建設発生土：埋立処分場の基盤整備に必要な量を受け入れる。

2-4 海面処分用地の規模及び配置

海面処分用地の規模及び配置は、次のとおりである。



図IV-2-1 海面処分用地の規模及び配置

表IV-2-4 廃棄物等の発生予測量（参考）

| 年 度 | | 4～8 | | | | | | 9～13 (5年間) | 14～18 (5年間) | 合計(4～18) (15年間) |
|-----|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|----------------|--------------------|
| | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | (小 計) | | | |
| 廃棄物 | 一般廃棄物*1 | 279 | 280 | 280 | 281 | 281 | 1,401 | 1,398 | 1,378 | 4,177 |
| | 産業廃棄物*2 | 632 | 634 | 636 | 638 | 639 | 3,179 | 3,206 | 3,208 | 9,593 |
| | 都市施設廃棄物 | 172 | 174 | 177 | 177 | 177 | 877 | 885 | 885 | 2,647 |
| | 上水スラッジ | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 40 | 40 | 40 | 120 |
| | 下水汚泥 | 164 | 166 | 169 | 169 | 169 | 837 | 845 | 845 | 2,527 |
| 計 | | 1,083 | 1,088 | 1,093 | 1,096 | 1,097 | 5,457 | 5,489 | 5,471 | 16,417 |

(廃棄物系) (単位：万t)

| 土砂系 | 4～8 | | | | | | 9～13 (5年間) | 14～18 (5年間) | 合計(4～18) (15年間) |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|---------------|----------------|--------------------|
| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | (小 計) | | | |
| しゅんせつ土 | 166 | 166 | 166 | 194 | 194 | 886 | 796 | 737 | 2,419 |
| 河川しゅんせつ土 | 28 | 28 | 28 | 56 | 56 | 196 | 241 | 182 | 619 |
| 港湾しゅんせつ土 | 138 | 138 | 138 | 138 | 138 | 690 | 555 | 555 | 1,800 |
| 建設発生土等 | 540 | 540 | 540 | 540 | 540 | 2,700 | 2,700 | 2,700 | 8,100 |
| 計 | 706 | 706 | 706 | 734 | 734 | 3,586 | 3,496 | 3,437 | 10,519 |

(土砂系) (単位：万m³)

*1 一般廃棄物の数値については、23区が扱うごみ量(資源ごみ収集を除く。)の予測量とする。

*2 産業廃棄物の数値については、中小企業が排出する産業廃棄物の排出量の予測量とする。

出典：「廃棄物等の埋立処分計画」（令和4年2月）（東京都）

表IV-2-5 廃棄物等の埋立処分計画（参考）

[単位：左側万m³、右側()内万t]

| 年 度 | 4~8 | | | | | | 9~13 (5年間) | 14~18 (5年間) | 合計(4~18) (15年間) |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|---------------|----------------|--------------------|
| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | (小 計) | | | |
| 廃 棄 物 | 38 (53) | 36 (51) | 35 (49) | 34 (48) | 33 (47) | 175 (250) | 162 (226) | 156 (215) | 493 (691) |
| 一般廃棄物 | 14 (27) | 13 (25) | 13 (24) | 12 (23) | 11 (22) | 63 (121) | 52 (99) | 46 (88) | 161 (308) |
| 産業廃棄物 | 8 (8) | 8 (8) | 8 (8) | 8 (8) | 8 (8) | 40 (40) | 40 (40) | 40 (40) | 120 (120) |
| 都市施設廃棄物 | 16 (18) | 15 (18) | 14 (17) | 14 (17) | 14 (17) | 72 (89) | 70 (87) | 70 (87) | 212 (263) |
| 上水スラッジ | 4 (4) | 3 (3) | 2 (2) | 2 (2) | 2 (2) | 12 (15) | 10 (12) | 10 (12) | 32 (39) |
| 下水汚泥 | 12 (14) | 12 (15) | 12 (15) | 12 (15) | 12 (15) | 60 (74) | 60 (75) | 60 (75) | 180 (224) |
| 覆 土 材 等 | 8 (14) | 7 (13) | 7 (13) | 7 (13) | 7 (13) | 36 (66) | 32 (58) | 31 (56) | 99 (180) |
| 小 計 | 46 (67) | 43 (64) | 42 (62) | 41 (61) | 40 (60) | 211 (316) | 194 (284) | 187 (271) | 592 (871) |
| しゅんせつ土 | 89 (125) | 89 (125) | 89 (125) | 89 (125) | 89 (125) | 445 (623) | 435 (609) | 435 (609) | 1,315 (1,841) |
| 河川しゅんせつ土 | 27 (38) | 27 (38) | 27 (38) | 27 (38) | 27 (38) | 135 (189) | 135 (189) | 135 (189) | 405 (567) |
| 港湾しゅんせつ土 | 62 (87) | 62 (87) | 62 (87) | 62 (87) | 62 (87) | 310 (434) | 300 (420) | 300 (420) | 910 (1,274) |
| 建設発生土等 | 30 (54) | 30 (54) | 30 (54) | 30 (54) | 30 (54) | 150 (270) | 150 (270) | 150 (270) | 450 (810) |
| 小 計 | 119 (179) | 119 (179) | 119 (179) | 119 (179) | 119 (179) | 595 (893) | 585 (879) | 585 (879) | 1,765 (2,651) |
| 合 計 | 165 (246) | 162 (243) | 161 (241) | 160 (240) | 159 (239) | 806 (1,209) | 779 (1,163) | 772 (1,150) | 2,357 (3,522) |

※ 覆土材等の量は、一般・産業・都市施設廃棄物の容積の総量に対して20%とした。

※ 四捨五入しているため、合計値が合わない場合がある。

出典：「廃棄物等の埋立処分計画」（令和4年2月）（東京都）

3. 港湾環境整備施設計画

3-1 緑地・海浜の現況

緑地・海浜の現況は、次のとおりである。

表IV-3-1 緑地の現況

| 地区名 | 名称 | 緑地面積 (ha) | 状況 | 主な用途 |
|---------|--------------|--------------|---------|---------|
| 内港地区 | 竹芝ふ頭ターミナル | 0.8 | 既設 | ターミナル緑地 |
| | 日の出ふ頭公園 | 2.2 | 既定計画 | ふ頭公園 |
| | 芝浦北ふ頭公園 | 0.5 | 既定計画 | ふ頭公園 |
| | 芝浦南ふ頭公園 | 1.0 | 既設 | ふ頭公園 |
| | 芝浦南ふ頭公園 | 1.0 | 既定計画 | ふ頭公園 |
| | 品川北ふ頭公園 | 0.7 | 既設 | ふ頭公園 |
| | 晴海ふ頭公園 | 3.6 | 既設 | ふ頭公園 |
| | 晴海ふ頭公園 | 3.0 | 既定計画 | ふ頭公園 |
| | 晴海緑道公園 | 3.6 | 既設 | 緑道公園 |
| | 晴海臨海公園(区管理) | 3.0 | 既設 | |
| | 春海橋公園 | 2.0 | 既設 | ふ頭公園 |
| | 春海橋公園 | 0.1 | 既設(工事中) | ふ頭公園 |
| | 豊洲ぐるり公園(区管理) | 14.5 | 既設 | |
| | 地区計 | 36.0 | | |
| 南部地区 | みなとが丘ふ頭公園 | 5.0 | 既設 | ふ頭公園 |
| | 大井ふ頭中央海浜公園 | 47.5 | 既設 | 海浜公園 |
| | 東海ふ頭公園 | 5.1 | 既設(工事中) | ふ頭公園 |
| | 東海ふ頭公園 | 2.4 | 既定計画 | ふ頭公園 |
| | 東京港野鳥公園 | 21.4 | 既設 | 海浜公園 |
| | 東京港野鳥公園 | 0.3 | 既設(工事中) | 海浜公園 |
| | 昭和島南緑道公園 | 3.9 | 既定計画 | 緑道公園 |
| | 京浜島ふ頭公園 | 1.4 | 既設 | ふ頭公園 |
| | 京浜島つばさ公園 | 3.5 | 既設 | ふ頭公園 |
| | 城南島ふ頭公園 | 1.4 | 既設 | ふ頭公園 |
| | 城南島海浜公園 | 13.1 | 既設 | 海浜公園 |
| | 城南島海浜公園 | 1.8 | 既定計画 | 海浜公園 |
| | 地区計 | 106.8 | | |
| 中部地区 | お台場海浜公園 | 10.0 | 既設 | 海浜公園 |
| | 青海中央ふ頭公園 | 1.7 | 既設 | ふ頭公園 |
| | 青海中央ふ頭公園 | 1.2 | 既定計画 | ふ頭公園 |
| | 青海南ふ頭公園 | 2.8 | 既設 | ふ頭公園 |
| | 曙ふ頭公園 | 2.0 | 既設 | ふ頭公園 |
| | 曙ふ頭公園 | 1.7 | 既定計画 | ふ頭公園 |
| | 有明北緑道公園 | 1.2 | 既設 | 緑道公園 |
| | 有明親水海浜公園 | 5.2 | 既設 | 海浜公園 |
| | 有明親水海浜公園 | 13.1 | 既設(工事中) | 海浜公園 |
| | 有明テニスの森公園 | 15.8 | 既設 | 緑道公園 |
| | 地区計 | 54.7 | | |
| 東部地区 | 辰巳の森海浜公園 | 24.6 | 既設(工事中) | 海浜公園 |
| | 辰巳の森緑道公園 | 14.2 | 既設 | 海浜公園 |
| | 夢の島緑道公園 | 12.1 | 既設 | 緑道公園 |
| | 新木場公園 | 0.9 | 既設 | ふ頭公園 |
| | 新木場緑道公園 | 5.3 | 既設 | 緑道公園 |
| | 若洲ふ頭公園 | 1.5 | 既定計画 | ふ頭公園 |
| | 若洲海浜公園 | 68.5 | 既設 | 海浜公園 |
| 地区計 | 127.1 | | | |
| 中央防波堤地区 | 海の森公園 | 83.2 | 既設(工事中) | 海浜公園 |
| | 海の森公園 | 11.0 | 既定計画 | 海浜公園 |
| | 中央防波堤内側ふ頭公園 | 1.2 | 既定計画 | ふ頭公園 |
| | 中央防波堤外側海浜公園 | 85.7 | 既定計画 | 海浜公園 |
| | 地区計 | 181.1 | | |
| 合計 | 505.7 | | | |

※ 「海浜公園」「ふ頭公園」「緑道公園」とは、東京都海上公園条例に基づき計画・整備する緑地である。

- ①海浜公園：水域における自然環境の保全及び回復を図り、水に親しむ場所。
- ②ふ頭公園：埠頭内の環境の整備を図り、みなとの景観に親しむ場所。
- ③緑道公園：臨海地域における自然環境の回復を図り、緑に親しめる場所。

表IV-3-2 海浜の現況

| 地区名 | 名称 | 海浜延長 (m) | 主要な 用途 |
|-----------------|------------|---------------|------------|
| 南部 地区 | 京浜運河緑道公園 | 850 [既設] | 海浜 |
| | 大井ふ頭中央海浜公園 | 1,500 [既設] | 海浜 |
| | 東海ふ頭公園 | 900 [既定計画] | 海浜 |
| | 東京港野鳥公園 | 850 [既設] | 海浜 (干潟) |
| | 城南島海浜公園 | 600 [既定計画] | 海浜 |
| | 城南島海浜公園 | 500 [既設] | 海浜 |
| 中部 地区 | お台場海浜公園 | 1,400 [既設] | 海浜 |
| | 有明親水海浜公園 | 500 [既定計画] | 海浜 |
| 東部 地区 | 辰巳の森海浜公園 | 520 [既設] | 海浜 |
| 中央 防波堤 地区 | 海の森公園 | 400 [既定計画] | 海浜 |
| | 中央防波堤沖 | 1,000 [既設] | 海浜 (磯浜) |
| 葛西沖 地区 | 葛西海浜公園 | 1,600 [既設] | 海浜 (干潟) |

3-2 緑地・海浜計画の必要性

東京都は、失われつつあった豊かな環境、人々と海との関わりを取り戻すため、海上公園の整備を進めてきた。現在は、40箇所・約878ヘクタール（水域含む）におよぶ海上公園が開園している。平成30年には葛西海浜公園の干潟が東京都で初めてラムサール条約湿地に登録されるなど、自然環境の保全・再生の取組により、臨海部には多様な生物の生息環境も創出されている。

また、身近な自然環境に対する関心は、これまで以上に高まっており、人々に安らぎや恵みをもたらす豊かな海域環境の保全・再生を一層進め、美しく健全な状態で港湾の環境を将来世代へ継承していくことが求められている。

一方、海上公園は、都民が水辺に親しめる場として、釣り、野鳥観察などに加え、スポーツなどの多様なニーズに応える空間となっている。臨海副都心に位置するお台場海浜公園などでは年間を通じて多彩なイベントも開催され、水辺のにぎわい拠点としての役割を担っている。

近年は、港湾エリアの再開発の進展により、多くの人々が住み・訪れる場所として、緑地の重要性が高まっている。東京2020大会選手村跡地で新たなまちづくりを進めている晴海地区にある晴海ふ頭公園は、大会を契機に公園の再整備を行うとともに、にぎわい創出のため、官民連携施設事業によりカフェ・レストランをオープンするなどの取組みを進めている。



図IV-3-1 葛西海浜公園（平成30年10月 ラムサール条約湿地登録）



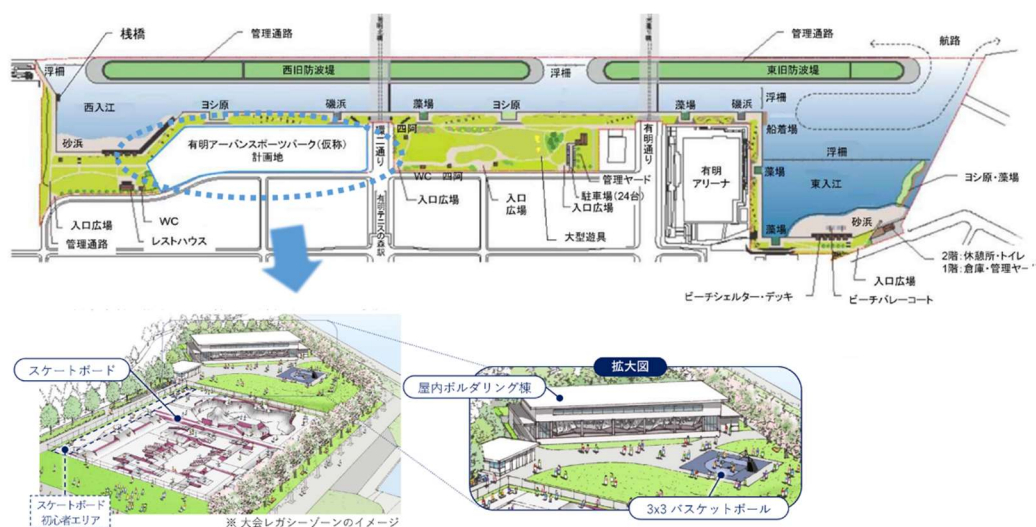
図IV-3-2 晴海ふ頭公園及び園内の官民連携施設（令和4年10月開業）

3-3 緑地・海浜の確保の考え方

水辺のさらなる魅力向上に向けて、緑やオープンスペース等の連続性を確保した公園の整備や海に面した園路・海浜等へのパブリックアクセスの確保、水辺レクリエーションを安全に楽しめる環境づくりなどにより人々が海とふれあう場を創出する。

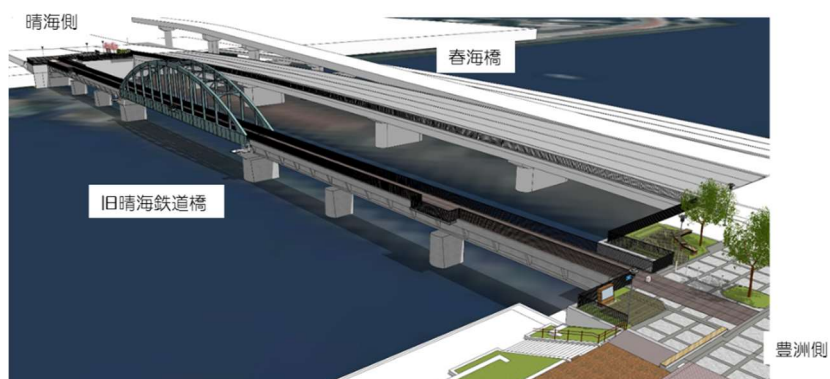
また、豊かな海域環境の創出に向け、水生生物や水鳥など多様な生物の生息の場であり、ブルーカーボン生態系を構成する干潟や藻場等の保全・再生に取り組む。

臨海副都心地区において、既に海上公園として供用している水の広場公園を計画に追加する。



出典：「TOKYOスポーツレガシービジョン」（東京都）より作成

図IV-3-3 有明親水海浜公園（緑地・海浜計画）



図IV-3-4 春海橋公園（緑地計画）

（旧晴海鉄道橋を活用した水辺の歩行者ネットワークの形成）

3-4 緑地計画・海浜計画

今回計画する緑地計画・海浜計画の規模及び配置は次のとおりである。

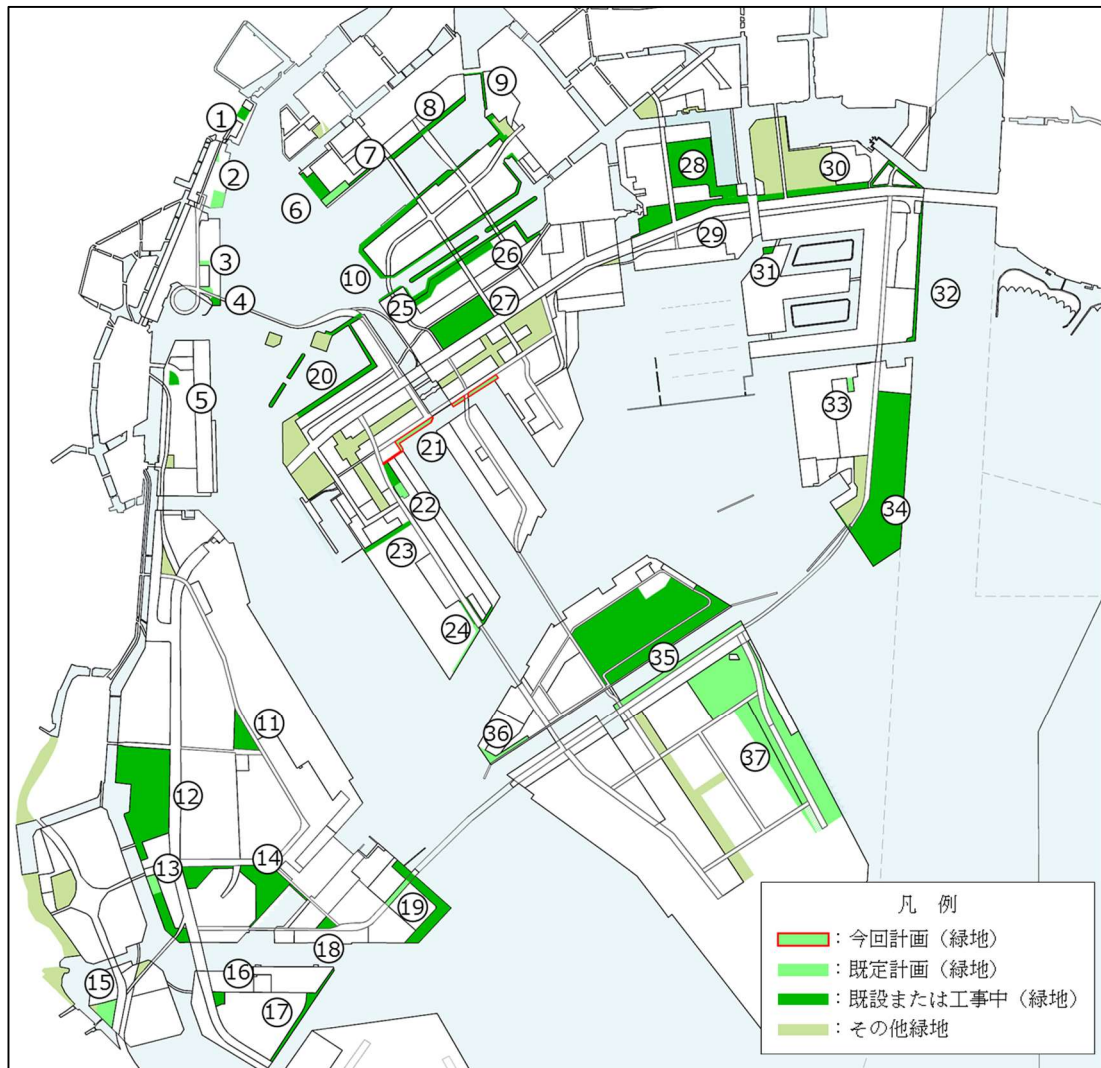
表IV-3-3 緑地計画

| 地区名 | 位置 | 名称 | 緑地面積 (ha) | 状況 | 主な用途 |
|---------|------|--------------|--------------|---------|---------|
| 内港地区 | ① | 竹芝ふ頭ターミナル | 0.8 | 既設 | ターミナル緑地 |
| | ② | 日の出ふ頭公園 | 2.2 | 既定計画 | ふ頭公園 |
| | ③ | 芝浦北ふ頭公園 | 0.5 | 既定計画 | ふ頭公園 |
| | ④ | 芝浦南ふ頭公園 | 1.0 | 既設 | ふ頭公園 |
| | ④ | 芝浦南ふ頭公園 | 1.0 | 既定計画 | ふ頭公園 |
| | ⑤ | 品川北ふ頭公園 | 0.7 | 既設 | ふ頭公園 |
| | ⑥ | 晴海ふ頭公園 | 3.6 | 既設 | ふ頭公園 |
| | ⑥ | 晴海ふ頭公園 | 3.0 | 既定計画 | ふ頭公園 |
| | ⑦ | 晴海緑道公園 | 3.6 | 既設 | 緑道公園 |
| | ⑧ | 晴海臨海公園(区管理) | 3.0 | 既設 | |
| 南部地区 | ⑨ | 春海橋公園 | 2.0 | 既設 | ふ頭公園 |
| | ⑨ | 春海橋公園 | 0.1 | 既設(工事中) | ふ頭公園 |
| | ⑩ | 豊洲ぐるり公園(区管理) | 14.5 | 既設 | |
| | | 地区計 | 36.0 | | |
| | ⑪ | みなとが丘ふ頭公園 | 5.0 | 既設 | ふ頭公園 |
| | ⑫ | 大井ふ頭中央海浜公園 | 47.5 | 既設 | 海浜公園 |
| | ⑬ | 東海ふ頭公園 | 5.1 | 既設(工事中) | ふ頭公園 |
| | ⑬ | 東海ふ頭公園 | 2.4 | 既定計画 | ふ頭公園 |
| | ⑭ | 東京港野鳥公園 | 21.4 | 既設 | 海浜公園 |
| | ⑭ | 東京港野鳥公園 | 0.3 | 既設(工事中) | 海浜公園 |
| 中部地区 | ⑮ | 昭和島南緑道公園 | 3.9 | 既定計画 | 緑道公園 |
| | ⑯ | 京浜島ふ頭公園 | 1.4 | 既設 | ふ頭公園 |
| | ⑰ | 京浜島つばさ公園 | 3.5 | 既設 | ふ頭公園 |
| | ⑱ | 城南島ふ頭公園 | 1.4 | 既設 | ふ頭公園 |
| | ⑱ | 城南島海浜公園 | 13.1 | 既設 | 海浜公園 |
| | ⑱ | 城南島海浜公園 | 1.8 | 既定計画 | 海浜公園 |
| | | 地区計 | 106.8 | | |
| | ⑳ | お台場海浜公園 | 10.0 | 既設 | 海浜公園 |
| | ㉑ | 水の広場公園 | 4.6 | 新規計画 | ふ頭公園 |
| | 東部地区 | ㉒ | 青海中央ふ頭公園 | 1.7 | 既設 |
| ㉒ | | 青海中央ふ頭公園 | 1.2 | 既定計画 | ふ頭公園 |
| ㉓ | | 青海南ふ頭公園 | 2.8 | 既設 | ふ頭公園 |
| ㉔ | | 暁ふ頭公園 | 2.0 | 既設 | ふ頭公園 |
| ㉔ | | 暁ふ頭公園 | 1.7 | 既定計画 | ふ頭公園 |
| ㉕ | | 有明北緑道公園 | 1.2 | 既設 | 緑道公園 |
| ㉖ | | 有明親水海浜公園 | 5.2 | 既設 | 海浜公園 |
| ㉖ | | 有明親水海浜公園 | 13.1 | 既設(工事中) | 海浜公園 |
| ㉗ | | 有明テニスの森公園 | 15.8 | 既設 | 緑道公園 |
| | | 地区計 | 59.3 | | |
| 中央防波堤地区 | ㉘ | 辰巳の森海浜公園 | 24.6 | 既設(工事中) | 海浜公園 |
| | ㉘ | 辰巳の森緑道公園 | 14.2 | 既設 | 海浜公園 |
| | ㉙ | 夢の島緑道公園 | 12.1 | 既設 | 緑道公園 |
| | ㉚ | 新木場公園 | 0.9 | 既設 | ふ頭公園 |
| | ㉚ | 新木場緑道公園 | 5.3 | 既設 | 緑道公園 |
| | ㉛ | 若洲ふ頭公園 | 1.5 | 既定計画 | ふ頭公園 |
| | ㉛ | 若洲海浜公園 | 68.5 | 既設 | 海浜公園 |
| | | 地区計 | 127.1 | | |
| 合計 | ㉜ | 海の森公園 | 83.2 | 既設(工事中) | 海浜公園 |
| | ㉜ | 海の森公園 | 11.0 | 既定計画 | 海浜公園 |
| | ㉝ | 中央防波堤内側ふ頭公園 | 1.2 | 既定計画 | ふ頭公園 |
| | ㉝ | 中央防波堤外側海浜公園 | 85.7 | 既定計画 | 海浜公園 |
| | 地区計 | 181.1 | | | |
| | 合計 | 510.3 | | | |

■ : 新規計画

※ 「海浜公園」「ふ頭公園」「緑道公園」とは、東京都海上公園条例に基づき計画・整備する緑地である。

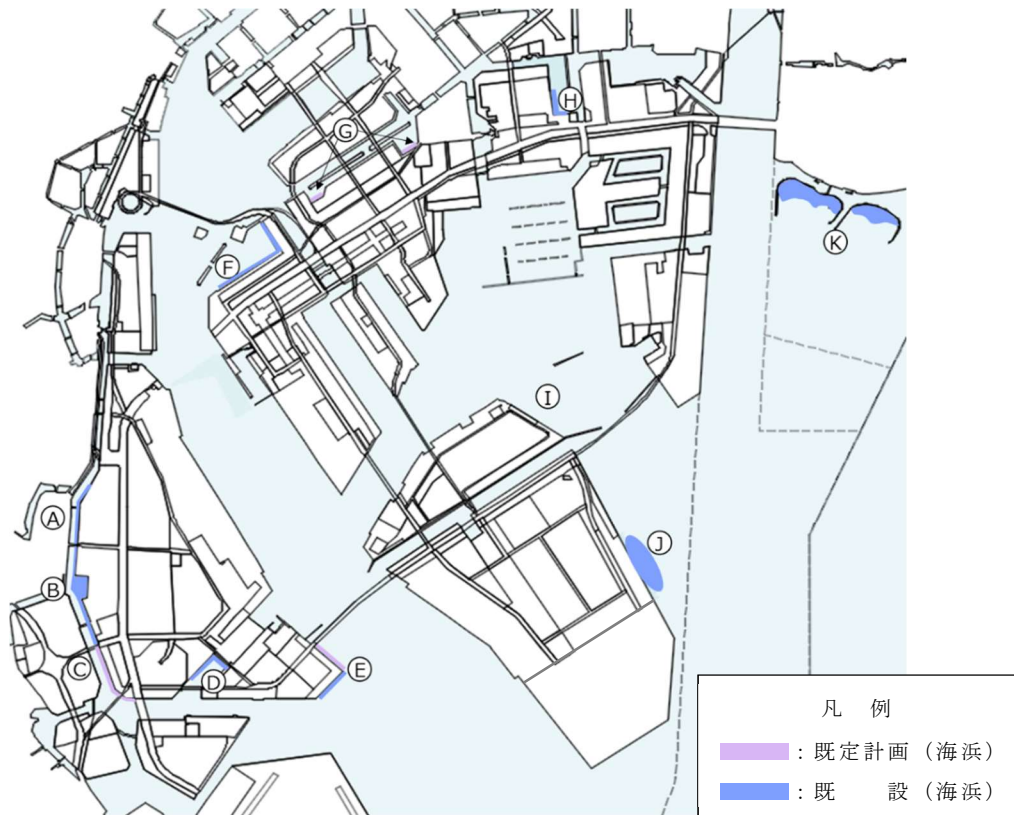
- ①海浜公園：水域における自然環境の保全及び回復を図り、水に親しむ場所。
- ②ふ頭公園：埠頭内の環境の整備を図り、みなとの景観に親しむ場所。
- ③緑道公園：臨海地域における自然環境の回復を図り、緑に親しめる場所。



図IV-3-5 緑地計画位置図

表IV-3-4 海浜計画

| 地区名 | No | 名称 | 海浜延長 (m) | 主要な用途 | 配置の考え方 |
|---------|----|------------|------------------|------------|---------------------|
| 南部地区 | A | 京浜運河緑道公園 | 850 [既設] | 海浜 | |
| | B | 大井ふ頭中央海浜公園 | 1,500 [既設] | 海浜 | |
| | C | 東海ふ頭公園 | 900 [既定計画] | 海浜 | 京浜運河における連続した海浜として配置 |
| | D | 東京港野鳥公園 | 850 [既設] | 海浜 (干潟) | |
| | E | 城南島海浜公園 | 600 [既定計画] | 海浜 | 城南島海浜公園と一体的に配置 |
| | E | 城南島海浜公園 | 500 [既設] | 海浜 | |
| 中部地区 | F | お台場海浜公園 | 1,400 [既設] | 海浜 | |
| | G | 有明親水海浜公園 | 500 [既定計画] | 海浜 | 有明親水海浜公園と一体的に配置 |
| 東部地区 | H | 辰巳の森海浜公園 | 520 [既設] | 海浜 | |
| 中央防波堤地区 | I | 海の森公園 | 400 [既定計画の削除] | 海浜 | |
| | J | 中央防波堤沖 | 1,000 [既設] | 海浜 (磯浜) | |
| 葛西沖地区 | K | 葛西海浜公園 | 1,600 [既設] | 海浜 (干潟) | |



図IV-3-6 海浜計画位置図

4. 東京港におけるカーボンニュートラルポートの実現

世界的に環境意識が高まる中、荷主等が利用する港湾を選択するに当たっては、環境配慮の視点やCO₂排出量の削減が重要な要素となっている。

このため、「東京港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画（令和5年3月）」に基づき、次世代エネルギーや再生可能エネルギーの活用を促進するとともに、陸上電力供給による船舶のアイドリングストップなど、港湾施設の脱炭素化に向けた取組を推進する。



【概要版】東京港カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画

1 計画策定の目的

- 都は、2050年のカーボンニュートラルに向け、2030年カーボンハーフ実現という目標を掲げ、都全体でCO₂排出量削減を推進
- 世界的に環境意識が高まる中、荷主等が利用する港湾を選択するに当たっては、環境配慮の視点や脱炭素化の取組の有無が重要な要素

▶ 東京港の脱炭素化に向けた取組を戦略的に推進していくため、「東京港カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画」を策定

2 基本的な事項

(1) 計画の位置づけ

- 東京港CNP検討会における構成員の企業・団体からの意見・取組状況等を踏まえ、**港湾管理者である東京都が策定**
- 東京港を利用する港運事業者、船会社など民間事業者等を含む**港湾地域全体を**対象として、**具体的な取組やロードマップ**等を定めるもの
- CNP形成に向けた方針として、
 - ✓ 背後地も含めた**港湾地域における面的・効率的な脱炭素化**を官民一体で推進
 - ✓ 東京港で使用する**水素・燃料アンモニア等の最適な供給**に向け、周辺の自治体やエネルギー事業者等と**供給体制を構築**



(2) 対象範囲

- 右図の**対象地域**における以下の事業活動が対象
 - 港湾管理者等が管理運営する外貨コンテナふ頭や内貿ユニットロードふ頭、在来ふ頭などの**ふ頭における荷役作業などの物流活動**
 - ふ頭に停泊する**船舶（海上輸送）**、東京港内を走行する**車両（トラック輸送）**
 - ふ頭背後の臨海部に立地する**倉庫、冷蔵倉庫、工場などの事業活動**

【図】東京港CNP形成計画の対象範囲 1

図IV-4-1 (1) 【概要版】東京港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画

3 温室効果ガス排出量の推計

東京港を利用する 港運事業者、船会社、トラック事業者 など 民間事業者を含む港湾地域全体 を対象にCO₂排出量を推計

【東京港のCO₂排出量】

| 区 分 | | CO ₂ 排出量 | |
|-------|---------|---------------------|---------|
| | | 2020年度 | 2000年度 |
| 東京港全体 | | 58.6万トン | 57.1万トン |
| 内 訳 | ふ頭 | 15.9万トン | 16.4万トン |
| | 倉庫、工場等 | 32.4万トン | 30.4万トン |
| | 船舶・トラック | 10.3万トン | 10.3万トン |

5 CNP形成に向けた主な取組

(1) 円滑な物流の実現やグリーン物流の促進により、トラック輸送等に伴うCO₂排出量を削減

- 埠頭の新規整備や再編整備の推進
 - ✓ 中央防波堤外側コンテナターミナルY3の整備や青海コンテナ埠頭など既存コンテナ埠頭の再編整備を推進し、コンテナ埠頭を機能強化
- 荷役や物流におけるICT技術の活用
 - ✓ CONPASを活用したコンテナ搬出入予約制を全てのコンテナターミナルに導入
 - ✓ コンテナ埠頭における荷役機械の遠隔操作化を促進
- モーダルシフト等の推進
 - ✓ トラック輸送を船舶や鉄道による輸送へ転換することで、トラックの入場台数を削減



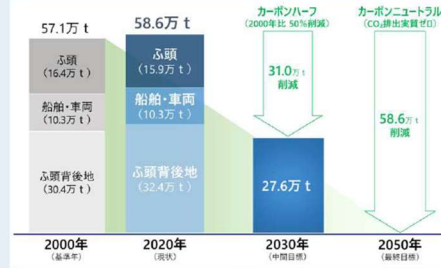
ICT技術の活用

モーダルシフトの促進 (船舶・鉄道輸送への転換)

2

4 温室効果ガスの削減目標及び削減計画

最終目標 2050年カーボンニュートラル 実現 (CO₂排出実質ゼロ)
中間目標 2030年カーボンハーフ 達成 (2000年比で50%削減)



※ CO₂の削減目標に加え、再生電力の利用割合について、2026年までに30%、2030年までに50%とする目標を設定

図IV-4-1 (2) 【概要版】東京港カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画

(2) 使用エネルギーのグリーン化や省エネ化を促進

- 使用エネルギーのグリーン化
 - ✓ 令和6年4月に東京港の全てのコンテナ埠頭に再生可能エネルギー由来のグリーン電力を導入
 - ※ 品川・中央防波堤外側コンテナ埠頭においては、令和4年7月から再生エネルギー由来のグリーン電力を先行導入
 - ✓ 港湾エリアにおける上屋(屋上部)や臨港道路(トンネル上部空間)を活用し、太陽光発電設備を増設
 - ✓ 停泊中の船舶からのCO₂排出を削減するため、公共埠頭等において陸上電気供給設備を整備
- 環境負荷軽減に向けた事業活動の見直し
 - ✓ 港湾施設、倉庫等の省エネ化、脱炭素化に向けた車両・設備の更新や業務の見直しを促進
- CO₂吸収対策
 - ✓ 港湾におけるCO₂吸収源として期待されているブルーカーボン生態系を構成する藻場等を造成・保全



上屋等を活用した太陽光発電

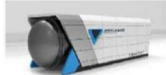


FC自動車やEVトラック等の活用

(3) 化石燃料から水素エネルギー等へ転換し脱炭素化を推進

- 次世代エネルギーを活用した荷役機械等の導入促進
 - ✓ 東京港のコンテナ埠頭の全てのRTG※(約140台)をFC換装型RTG等へ転換
 - ✓ FC換装型RTGを活用し、FC化の先行プロジェクトを実施
 - 水素等を活用した自立分散型発電施設の整備
 - ✓ 電力ひっ迫時に必要な電力を安定的に確保するため、水素等を活用した自立分散型発電設備を整備
 - 次世代エネルギー船舶の利用促進
 - ✓ 港湾局保有船の更新を機会に、順次、次世代エネルギー船へ転換
- ▶ 本計画において、東京港における2050年時点の水素需要量を「約1.3万t/年」と推計

水素で発電する分散型発電設備



FC換装型RTG※



※ 国際海上コンテナを扱う荷役機械であるタイヤ式トランスファークレーン(Rubber Tired GantryCrane)の略称

6 計画の推進体制及び進捗管理

- 関係者間で会議を定期的開催し、計画の推進を図るとともに、進捗状況を確認・評価
- 政府や都の温室効果ガス削減目標、関連技術の進展、各事業者の取組状況等を踏まえ、今後も必要に応じて、計画を見直し

3

図IV-4-1 (3) 【概要版】東京港カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画

V 土地造成及び土地利用計画

目 次

| | |
|-----------------------------|-------------|
| V 土地造成及び土地利用計画 | V-1 |
| 1. 土地造成計画 | V-1 |
| 1-1 土地造成の必要性..... | V-1 |
| 1-2 土地造成に係る土地利用計画..... | V-2 |
| 2. 土地利用計画 | V-4 |
| 2-1 土地利用計画の変更内容..... | V-4 |
| 3. 海浜計画 | V-13 |
| 4. 臨港地区の範囲 | V-14 |
| 5. 地盤高 | V-15 |
| 5-1 浸水想定..... | V-15 |
| 5-2 地盤高..... | V-16 |

V 土地造成及び土地利用計画

1. 土地造成計画

1-1 土地造成の必要性

東南アジア航路におけるコンテナ貨物量の増加やコンテナ船の大型化に対応するため、土地造成により新たなコンテナ埠頭（Z0、Z2）を計画する。

また、モーダルシフトの進展等により増加する内貿貨物やRORO船の船舶大型化に対応するため、土地造成により新たなユニットロード埠頭（X6～X7）と既存埠頭（X4～X5）の岸壁延伸を計画する。

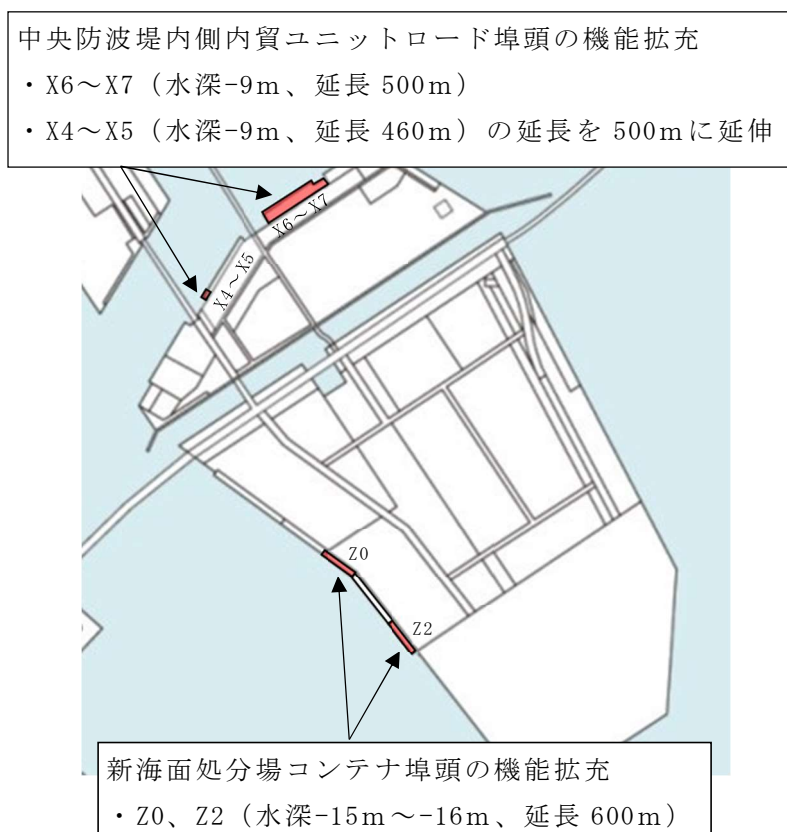


図 V-1-1 土地造成計画に関する新規埠頭計画

1-2 土地造成に係る土地利用計画

今回計画による土地造成に係る土地利用計画の概要は表V-1-1、地区別・土地利用区分面積とその主な内容等は表V-1-2に示すとおりである。

今回計画で削除する土地造成に係る土地利用計画の概要は表V-1-3に示すとおりである。

今回計画における地区別・場所別土地利用面積の位置図は図V-2-1～図V-2-5に示すとおりである。

表V-1-1 土地造成計画総括表

| 用途 地区名 | 埠頭用地 | 港湾関連用地 | 交流厚生用地 | 工業用地 | 都市機能用地 | 交通機能用地 | 危険物取扱 施設用地 | 緑地 | 施設用地 廃棄物処理 | 海面処分用地 | 合計 |
|-----------------|------------|----------|----------|------|--------|--------|---------------|----------|---------------|--------------|--------------|
| 内港 地区 | (6) 6 | | (3) 3 | | | | | (2) 2 | | | (10) 10 |
| 南部 地区 | | | | | | | | | | | |
| 中部 地区 | (1) 1 | | | | | | | | | | (1) 1 |
| 東部 地区 | | | | | | | | | | | |
| 中央 防波堤 地区 | (12) 12 | (2) 2 | | | | | | | | (245) 245 | (259) 259 |
| 羽田 地区 | | | | | | | | | | | |
| 合計 | (18) 18 | (2) 2 | (3) 3 | | | | | (2) 2 | | (245) 245 | (270) 270 |

※ () は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する地域の保全に、特に密接に関連する土地造成計画の内数である。

※ 端数整理のため、内訳の和は必ずしも合計とならない。

表 V-1-2 土地造成に係る土地利用計画の区分別面積

| 地区名 | 埠頭名 | 番号 | 土地利用の区分 | 面積 (ha) | 前出幅 (m) | 主な内容 | 面積の考え方 |
|---------|------------|----|---------|---------|---------|---------------|---------------------|
| 内港地区 | 日の出 | ① | 埠頭用地 | 2.6 | — | 荷捌き地 | 日の出再開発 ※既定計画 |
| | | ② | 交流厚生用地 | 2.8 | — | 業務・商業施設、宿泊施設等 | 日の出再開発 ※既定計画 |
| | | ③ | 緑地 | 1.9 | — | 埠頭公園 | 日の出再開発 ※既定計画 |
| | 品川 | ④ | 埠頭用地 | 3.0 | 40 | エプロン | 品川埠頭前出し ※既定計画 |
| 中部地区 | 10号 その2 | ⑤ | 埠頭用地 | 0.5 | — | 荷捌き地 | VA1 背後埠頭用地 ※既定計画 |
| 中央防波堤地区 | 中央防波堤内側 | ⑥ | 埠頭用地 | 1.9 | 80 | エプロン・野積み場等 | X10の背後用地 ※既定計画 |
| | | ⑦ | 港湾関連用地 | 1.6 | 80 | エプロン・野積み場等 | X9の背後用地 ※既定計画 |
| | | ⑧ | 埠頭用地 | 4.6 | 80 | エプロン・野積み場等 | X6・7の背後用地 |
| | | ⑨ | 埠頭用地 | 0.1 | 30 | エプロン | X4・5の背後用地 |
| | 中央防波堤外側 | ⑩ | 埠頭用地 | 1.5 | 50 | エプロン | Z0の背後用地 |
| | | ⑪ | 埠頭用地 | 2.1 | 50 | エプロン | Z1の背後用地 ※既定計画 |
| | | ⑫ | 埠頭用地 | 1.5 | 50 | エプロン | Z2の背後用地 |
| | 新海面処分場 | ⑬ | 海面処分用地 | 245.4 | — | — | 廃棄物海面処分場 ※既定計画 |

表 V-1-3 削除する土地造成に係る土地利用計画の区分別面積

| 地区名 | 埠頭名 | 土地利用区分 | 面積 (ha) | 主な内容 |
|------|------|--------|---------|-------------|
| 中部地区 | 10号地 | 埠頭用地 | 0.6 | 内貿埠頭計画の削除 |
| 東部地区 | 15号地 | 埠頭用地 | 28.8 | コンテナ埠頭計画の削除 |

2. 土地利用計画

2-1 土地利用計画の変更内容

今回計画による土地利用計画の変更の概要は表V-2-1に、地区別・土地利用区分面積とその主な内容等は表V-2-2に示すとおりである。

また、今回計画における地区別・場所別土地利用面積の位置図は図V-2-1～図V-2-5に示すとおりである。

表V-2-1 土地利用計画総括表

| 用途 地区名 | 埠頭用地 | 港湾関連用地 | 交流厚生用地 | 工業用地 | 都市機能用地 | 交通機能用地 | 危険物取扱 施設用地 | 緑地 | 廃棄物処理 施設用地 | 海面処分用地 | 合計 |
|-----------------|--------------|--------------|------------|--------------|--------|----------------|---------------|--------------|---------------|--------------|------------------|
| 内港 地区 | (56) 56 | (74) 74 | (12) 12 | (11) 11 | | (5) 29 | | (36) 41 | (3) 3 | | (196) 378 |
| 南部 地区 | (156) 156 | (232) 232 | | (126) 126 | | (38) 287 | | (107) 150 | (37) 37 | | (697) 1,140 |
| 中部 地区 | (147) 147 | (93) 93 | (6) 6 | (29) 29 | | (45) 137 | | (59) 124 | | | (379) 761 |
| 東部 地区 | (43) 43 | (229) 229 | (16) 16 | (44) 44 | | (16) 92 | (6) 6 | (127) 185 | (17) 17 | | (497) 698 |
| 中央 防波堤 地区 | (154) 154 | (212) 212 | | (17) 17 | | (79) 105 | | (181) 208 | (46) 46 | (245) 245 | (935) 1,004 |
| 羽田 地区 | | | | | | 977 | | | | | 977 |
| 合計 | (556) 556 | (840) 840 | (33) 33 | (227) 227 | | (183) 1,626 | (6) 6 | (510) 707 | (103) 103 | (245) 245 | (2,703) 4,956 |

※ () は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する地域の保全に、特に密接に関連する土地造成計画の内数である。

※ 端数整理のため、内訳の和は必ずしも合計とにならない。

表 V-2-2 土地造成に係らない土地利用計画

| 地区名 | 埠頭名 | 番号 | 変更前 | | 変更後 | | 変更理由 |
|---------|------|-----|--------|------------|--------|------------|----------------------|
| | | | 土地利用 | 面積 (ha) | 土地利用 | 面積 (ha) | |
| 南部地区 | — | (1) | — | — | その他緑地 | 1.2 | 大田区の区立公園拡張に合わせて変更 |
| 中部地区 | — | (2) | 交流厚生用地 | 38.0 | 都市機能用地 | 38.0 | 臨海副都心の現状の開発状況に合わせて変更 |
| | | (3) | 交流厚生用地 | 4.6 | 緑地用地 | 4.6 | |
| | | (4) | 埠頭用地 | 0.3 | 交通機能用地 | 0.3 | 臨港道路南北線の管理棟設置に合わせて変更 |
| 東部地区 | 15号地 | (5) | 埠頭用地 | 23.8 | 港湾関連用地 | 13.0 | 15号地埠頭計画に合わせて変更 |
| | | (6) | 港湾関連用地 | 13.0 | 埠頭用地 | 23.8 | |
| 中央防波堤地区 | — | (7) | 埠頭用地 | 0.2 | 交通機能用地 | 0.2 | 臨港道路南北線の管理棟設置に合わせて変更 |

表 V-2-3 地区別土地利用計画総括表

| 地区名 | 用途 | 埠頭用地 | 港湾関連用地 | 交流厚生用地 | 工業用地 | 都市機能用地 | 交通機能用地 | 危険物取扱施設用地 | 緑地 | 廃棄物処理施設用地 | 海面処分用地 | 合計 |
|---------|---------|--------------|--------------|------------|--------------|--------|----------------|-----------|--------------|--------------|--------------|-----------------|
| | | | | | | | | | | | | |
| 内港地区 | 竹芝ふ頭 | (3) 3 | | (3) 3 | | | 1 | | (1) 1 | | | (7) 7 |
| | 日の出ふ頭 | (4) 4 | | (6) 6 | | 6 | (2) 2 | | (2) 2 | | | (14) 20 |
| | 月島ふ頭 | (1) 1 | (11) 11 | | | 1 | 2 | | 1 | | | (12) 16 |
| | 芝浦ふ頭 | (14) 14 | (27) 27 | | | 8 | (3) 3 | | (3) 3 | | | (45) 54 |
| | 晴海ふ頭 | (2) 2 | (1) 1 | | | 46 | 4 | | (13) 13 | | | (16) 66 |
| | 豊洲ふ頭 | (1) 1 | (1) 1 | (3) 3 | | 91 | 13 | | (17) 19 | | | (21) 127 |
| | 品川ふ頭 | (32) 32 | (35) 35 | | (11) 11 | | 5 | | (1) 2 | (3) 3 | | (82) 87 |
| | 小計 | (56) 56 | (74) 74 | (12) 12 | (11) 11 | 153 | (5) 29 | | (36) 41 | (3) 3 | | (196) 378 |
| 南部地区 | 京浜3区 | | | | (17) 17 | 27 | 12 | | (4) 7 | | | (20) 62 |
| | 京浜6区 | | (10) 10 | | (58) 58 | | 14 | | (5) 5 | (18) 18 | | (90) 104 |
| | 平和島 | | (84) 84 | | | 7 | 21 | | 26 | | | (84) 138 |
| | 大井ふ頭その1 | (146) 146 | (113) 113 | | (19) 19 | 109 | (31) 233 | | (82) 84 | (6) 6 | | (397) 710 |
| | 大井ふ頭その2 | (10) 10 | (25) 25 | | (33) 33 | 8 | (8) 8 | | (16) 16 | (14) 14 | | (106) 114 |
| | 勝島運河埋立地 | | | | | | | | 13 | | | 13 |
| | 小計 | (156) 156 | (232) 232 | | (126) 126 | 151 | (38) 287 | | (107) 150 | (37) 37 | | (697) 1,140 |
| 中部地区 | 10号その1 | (1) 1 | (28) 28 | (1) 1 | | 57 | (14) 27 | | (2) 24 | | | (47) 139 |
| | 10号その2 | (52) 52 | (14) 14 | | | | (6) 6 | | | | | (72) 72 |
| | 11号地 | | (9) 9 | | (29) 29 | 6 | 11 | | 1 | | | (38) 56 |
| | 13号地 | 93.2 93.2 | 42.1 42.1 | (5) 5 | | 88 | (24) 50 | | (22) 64 | | | (186) 342 |
| | 有明 | | | | | 75 | 42 | | (35) 35 | | | (35) 153 |
| | 小計 | (147) 147 | (93) 93 | (6) 6 | (29) 29 | 226 | (45) 137 | | (59) 124 | | | (379) 761 |
| 東部地区 | 7号地 | | (8) 8 | | | 43 | 20 | | (39) 39 | | | (47) 110 |
| | 8号地 | | (4) 4 | | (30) 30 | 6 | 2 | | 5 | (4) 4 | | (38) 50 |
| | 12号地 | (13) 13 | (25) 25 | | | | (1) 3 | | | | | (39) 41 |
| | 14号地その1 | | (137) 137 | (7) 7 | (14) 14 | 4 | (8) 57 | | (18) 62 | (13) 13 | | (196) 293 |
| | 14号地その2 | | | | | 14 | 2 | | | | | 16 |
| | 15号地 | (30) 30 | (55) 55 | (9) 9 | | | (8) 8 | | (70) 79 | | | (178) 187 |
| | 小計 | (43) 43 | (229) 229 | (16) 16 | (44) 44 | 68 | (16) 92 | | (127) 185 | (17) 17 | | (497) 698 |
| 中央防波堤地区 | 内側 | (45) 45 | (17) 17 | | (17) 17 | | (17) 17 | | (84) 84 | (19) 19 | | (199) 199 |
| | 外側 | (109) 109 | (195) 195 | | | 17 | (62) 88 | | (97) 123 | (28) 28 | (245) 245 | (736) 804 |
| | 小計 | (154) 154 | (212) 212 | | (17) 17 | 17 | (79) 105 | | (181) 208 | (46) 46 | (245) 245 | (935) 1,004 |
| 羽田地区 | 羽田埋立 | | | | | 977 | | | | | 977 | |
| 合計 | | (556) 556 | (840) 840 | (33) 33 | (227) 227 | 613 | (183) 1,626 | (6) 6 | (510) 707 | (103) 103 | (245) 245 | (2703) 4,956 |

表 V-2-4 港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する地域の

保全に特に密接に関連する交通機能用地の集計

単位：ha

| | 内港 地区 | 南部 地区 | 中部 地区 | 東部 地区 | 中央防波堤 地区 | | 合計 | |
|------------------|---------------|----------|----------|----------|-------------|------|-------|------|
| | | | | | 内側 | 外側 | | |
| 臨 港 道 路 | 新木場・若洲線 | | | 15.6 | | | 15.5 | |
| | 東京港臨海道路 | | | | | 13.9 | 13.9 | |
| | 城南島・大井1号線 | | 6.7 | | | | 6.7 | |
| | 中防内1・3・4・5・6号 | | | | | 13.8 | 0.2 | 14.0 |
| | 中防外1号線 | | | | | 3.2 | 13.5 | 16.7 |
| | 中防外2号線 | | | | | | 13.3 | 13.3 |
| | 中防外3・4・5・6号 | | | | | | 21.2 | 21.2 |
| | 青海縦貫線 | | | 17.4 | | | | 17.4 |
| | 南北線（管理棟） | | | 0.3 | | 0.2 | | 0.5 |
| | 有明埠頭連絡線 | | | 5.9 | | | | 5.9 |
| | 有明2号線 | | | 1.9 | | | | 1.9 |
| | 有明南縦貫線 | | | 2.1 | | | | 2.1 |
| | 青海・有明南連絡線 | | | 13.7 | | | | 13.7 |
| | 海岸青海線 | 4.6 | | 3.0 | | | | 7.6 |
| | 辰巳21号線 | | | | 0.5 | | | 0.5 |
| | 大井埠頭その1号線 | | 25.0 | | | | | 25.0 |
| | 大井2号線 | | 3.8 | | | | | 3.8 |
| | 城南島・大井2号線 | | 2.9 | | | | | 2.9 |
| 小計 | 4.6 | 38.4 | 44.3 | 16.0 | 17.2 | 62.1 | 182.6 | |
| その他港湾管理道路 | | | 0.4 | | | | 0.4 | |
| 合計 | 4.6 | 38.4 | 44.7 | 16.0 | 17.2 | 62.1 | 183.0 | |

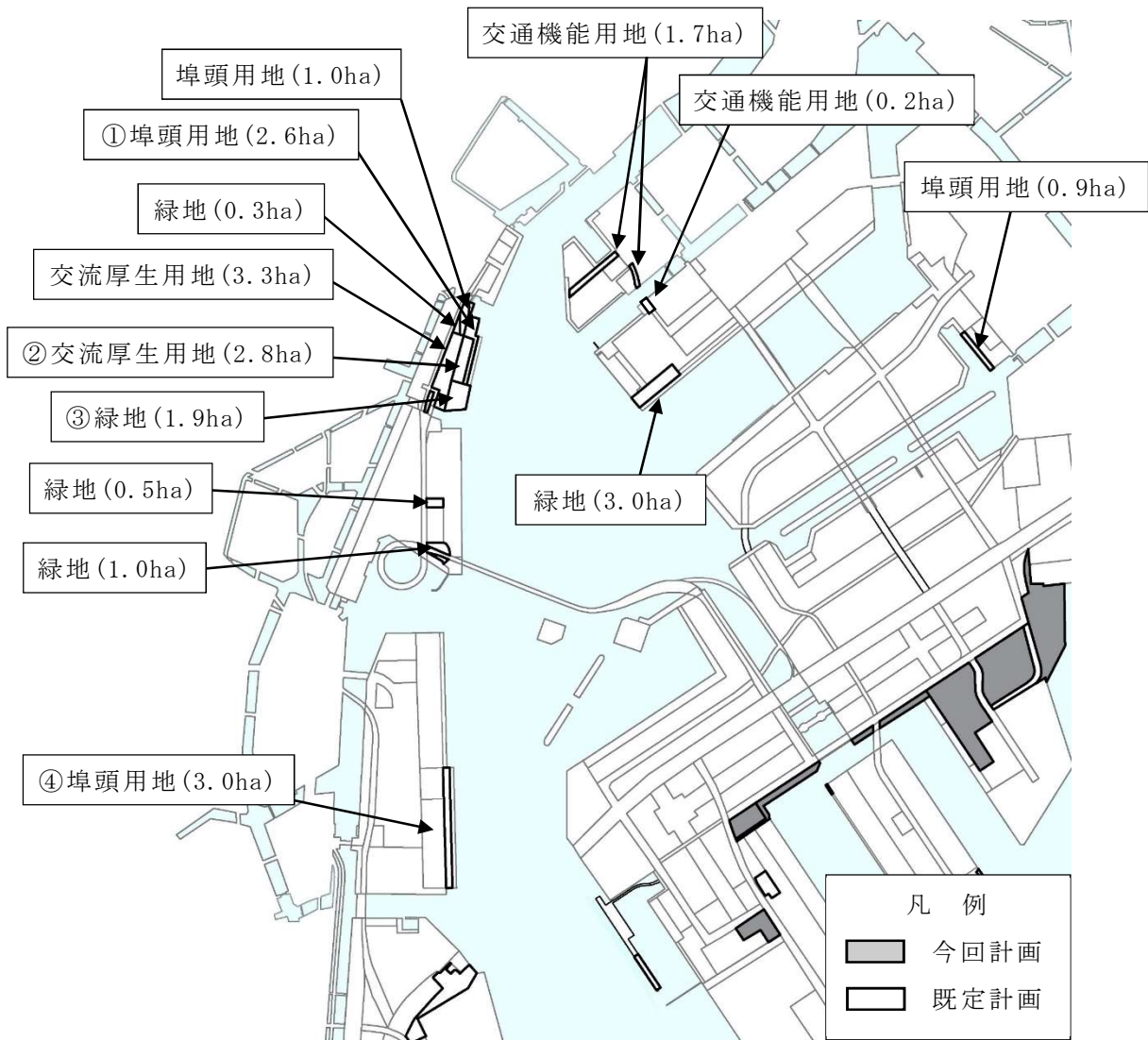


図 V-2-1 内港地区

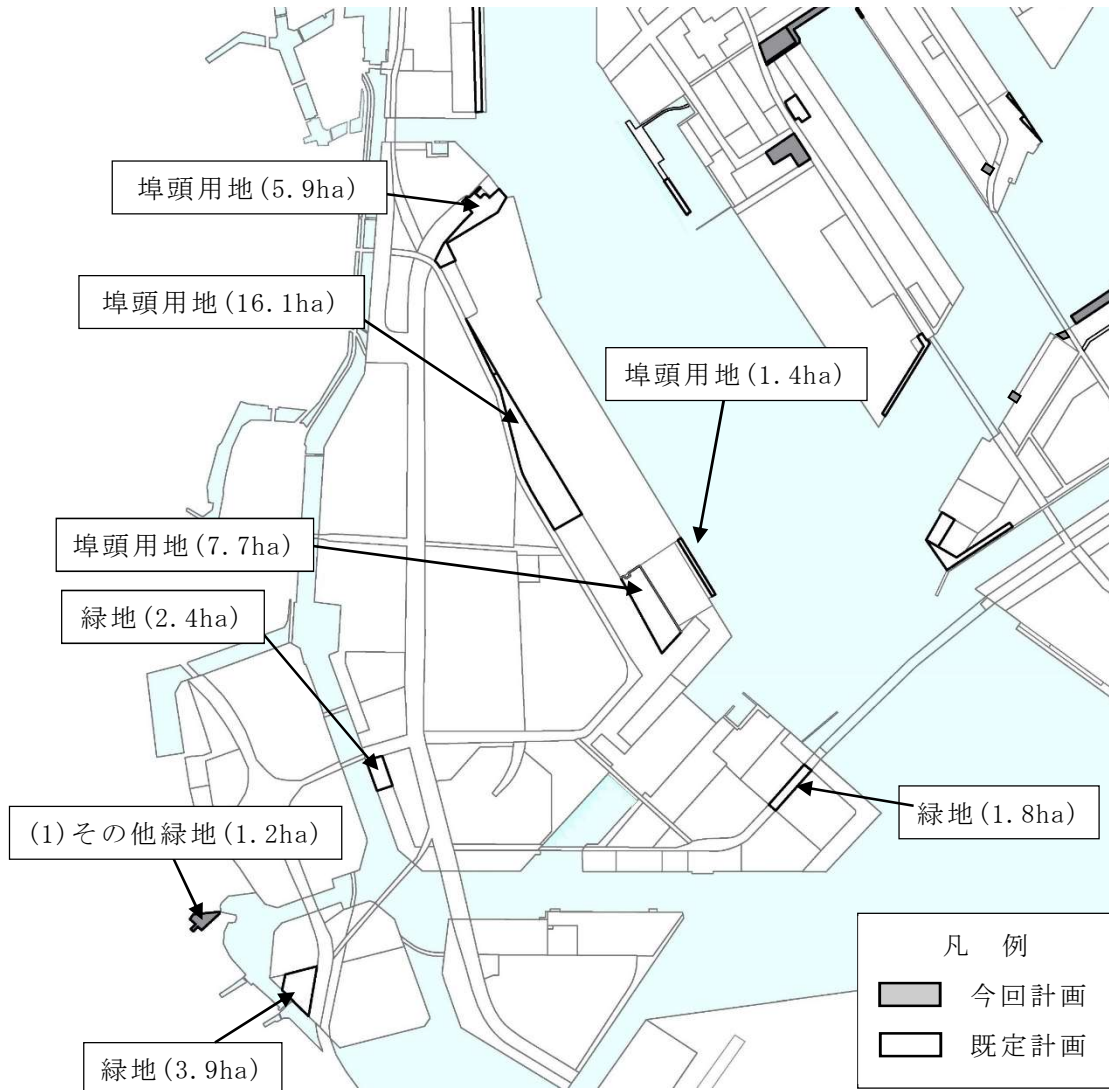


図 V-2-2 南部地区

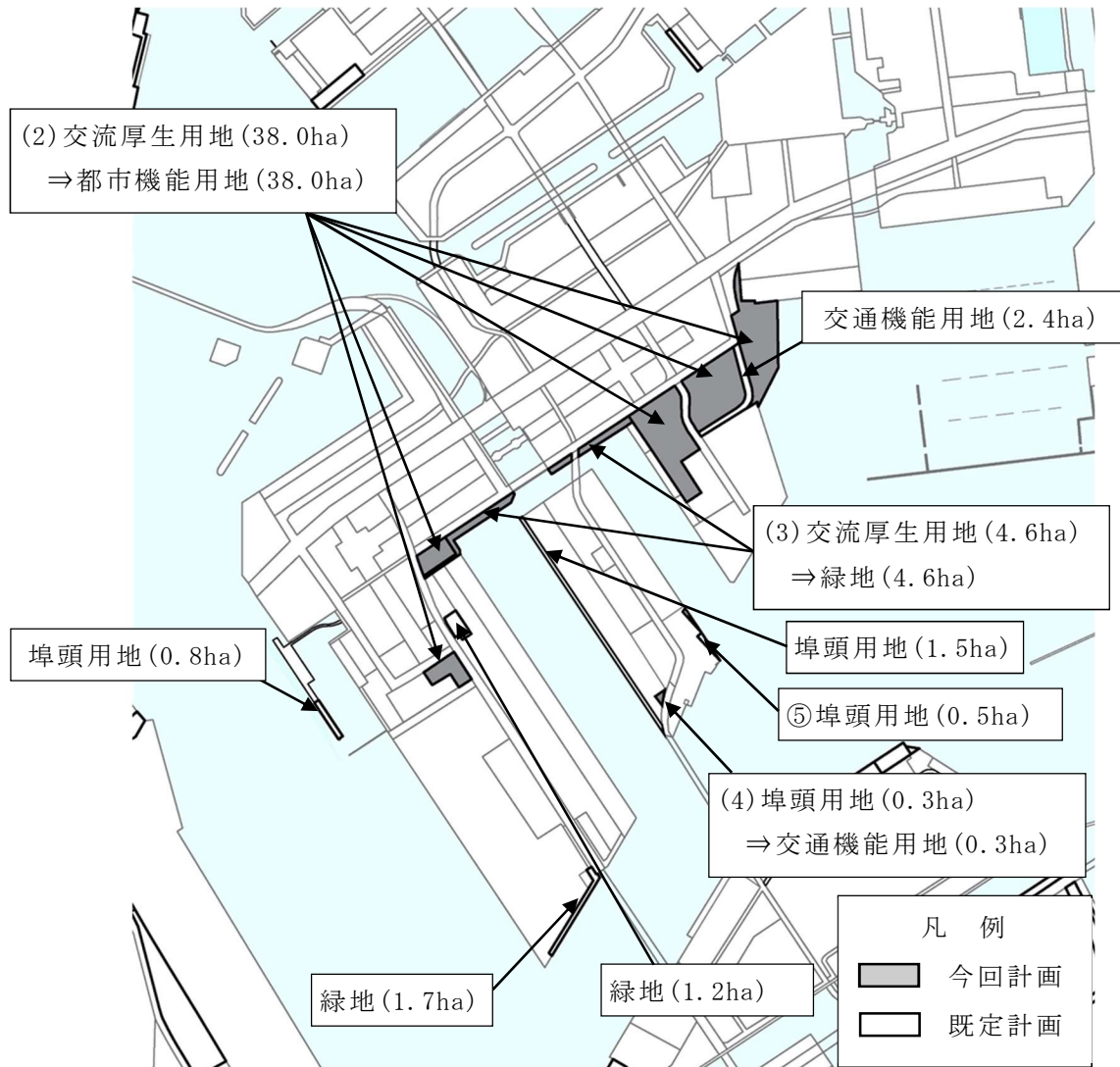


図 V-2-3 中部地区

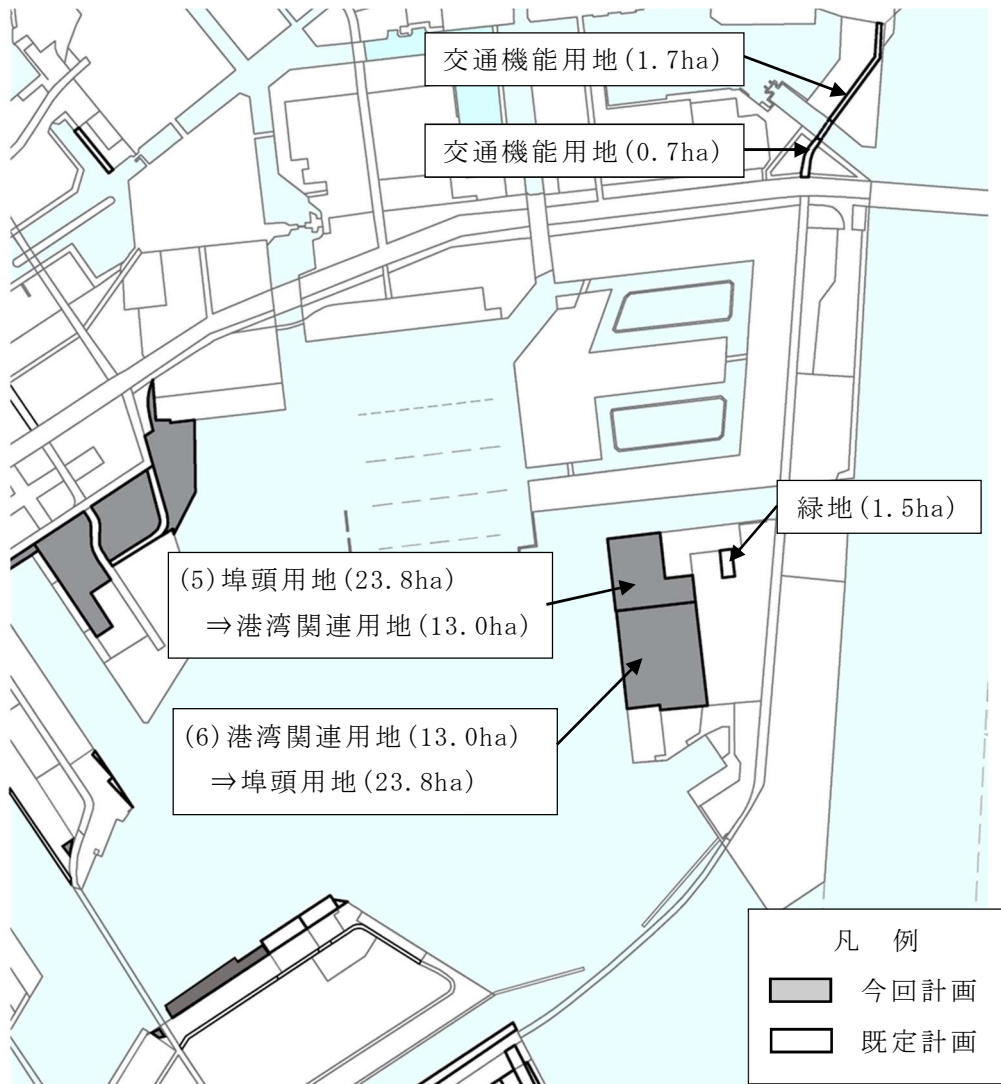


図 V-2-4 東部地区

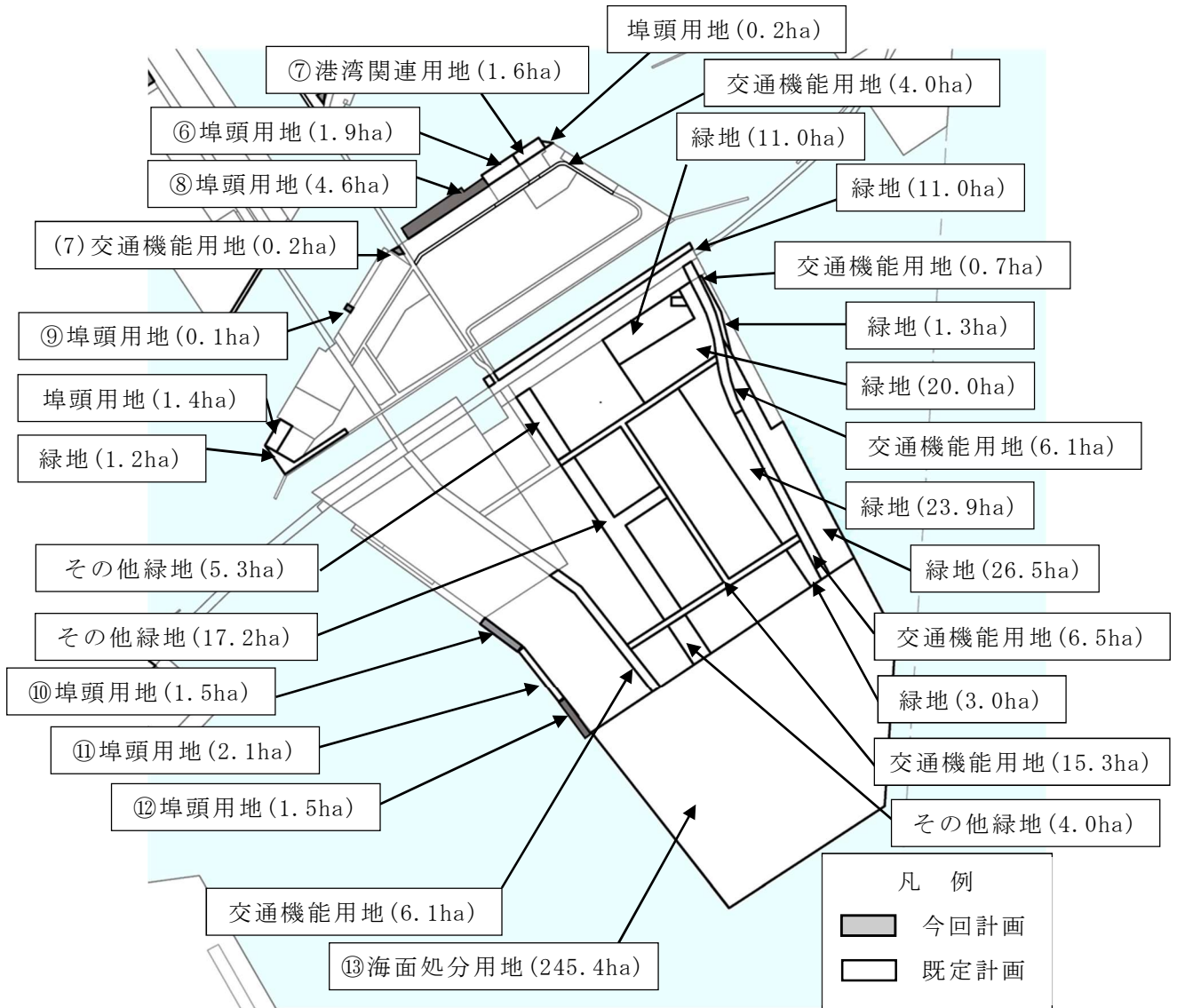


図 V-2-5 中央防波堤地区

3. 海浜計画

海浜の規模及び配置は次のとおりである。

表 V-3-1 海浜計画

| 地区名 | No | 名称 | 海浜延長 (m) | 主要な 用途 | 配置の 考え方 |
|-----------------|----|----------------|------------------|------------|-------------------------------------|
| 南部地区 | A | 京浜運河緑道公園 | 850 [既設] | 海浜 | |
| | B | 大井ふ頭中央 海浜公園 | 1,500 [既設] | 海浜 | |
| | C | 東海ふ頭公園 | 900 [既定計画] | 海浜 | 京浜運河を中心とする 生物生息環境ネット ワークとして配置 |
| | D | 東京港野鳥公園 | 850 [既設] | 海浜 (干潟) | |
| | E | 城南島海浜公園 | 600 [既定計画] | 海浜 | 城南島海浜公園と一 体的に配置 |
| | E | 城南島海浜公園 | 500 [既設] | 海浜 | |
| 中部地区 | F | お台場海浜公園 | 1,400 [既設] | 海浜 | |
| | G | 有明親水海浜公園 | 500 [既定計画] | 海浜 | 有明親水海浜公園と 一体的に配置 |
| 東部地区 | H | 辰巳の森海浜公園 | 520 [既設] | 海浜 | |
| 中央 防波堤 地区 | I | 海の森公園 | 400 [既定計画の削除] | 海浜 | |
| | J | 中央防波堤沖 | 1,000 [既設] | 海浜 (磯浜) | |
| 葛西沖 地区 | K | 葛西海浜公園 | 1,600 [既設] | 海浜 (干潟) | |



図 V-3-1 海浜計画位置図

4. 臨港地区の範囲

東京港の臨港地区の面積は、令和5年8月時点で約1,049haである。

今後、港湾計画の遂行に伴い、港湾の管理運営を円滑に行うために必要と考えられる臨港地区（管理者の案）は、次のとおりである。

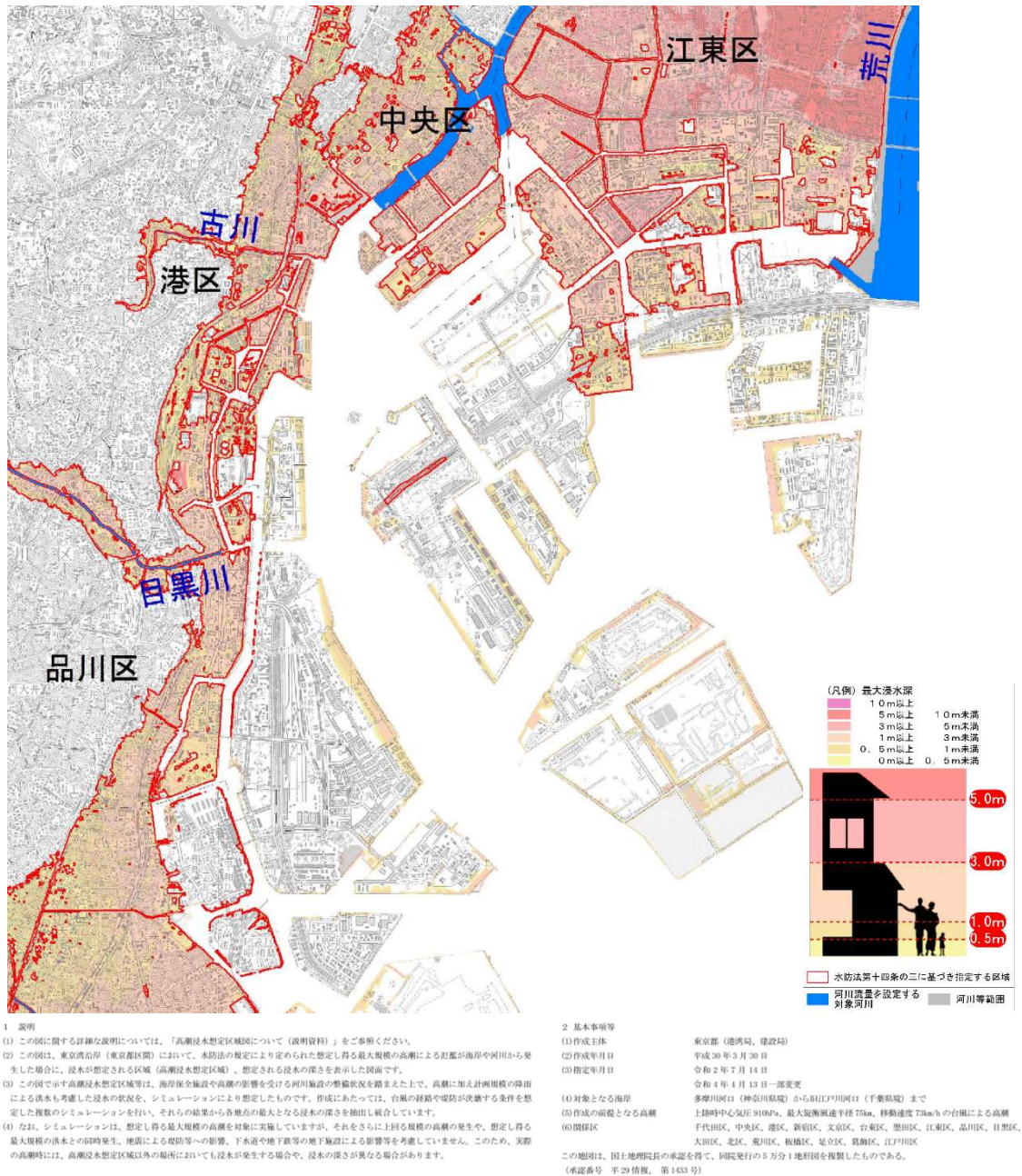


図 V-4-1 臨港地区の範囲

5. 地盤高

5-1 浸水想定

東京都は、水防法の規定に基づき、国内既往最大規模の台風（室戸台風級：910hPa）により想定される高潮浸水想定区域図を平成30年3月に作成した。
東京港周辺における浸水想定は、図V-5-1に示すとおりである。

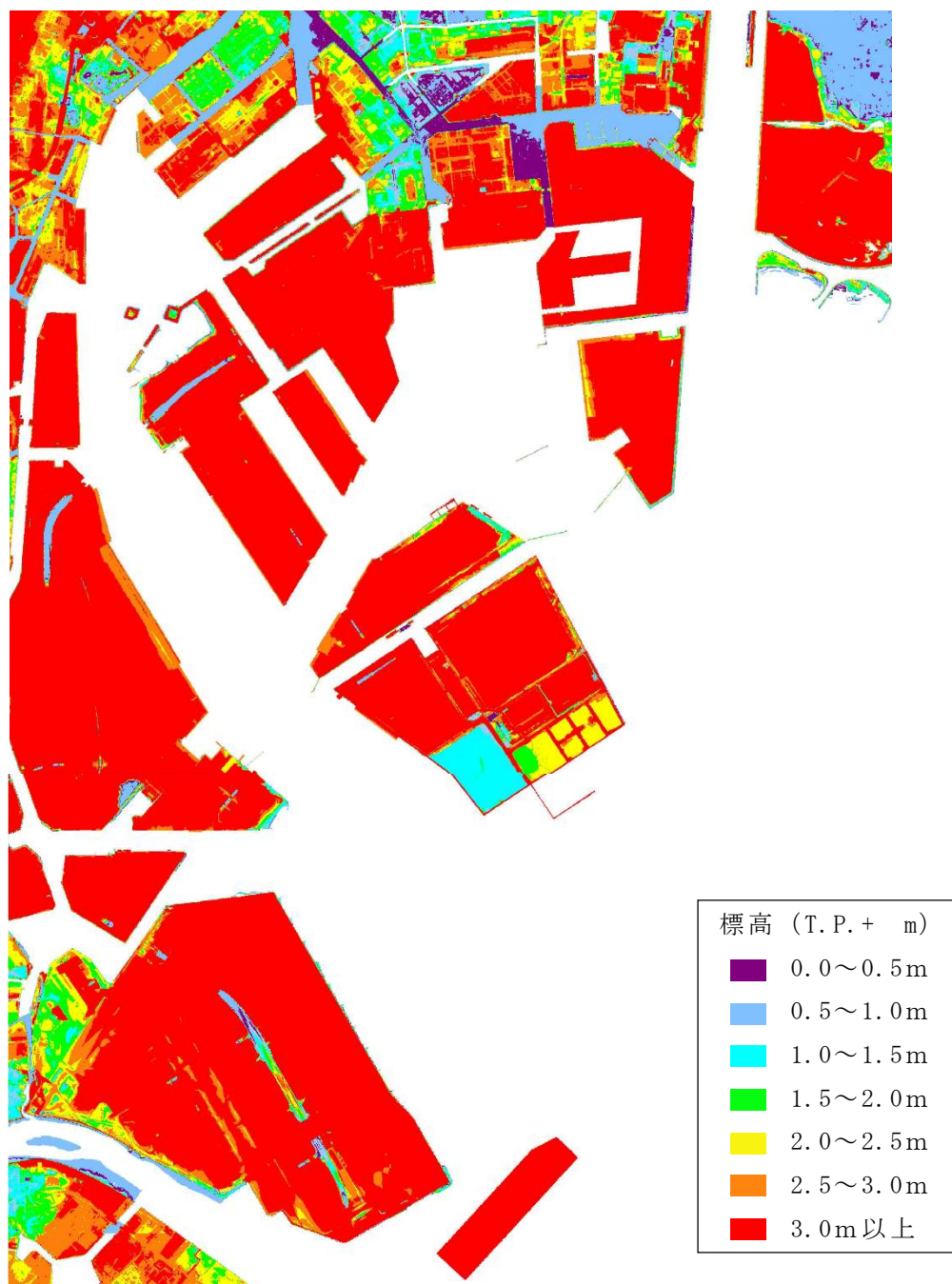


備考：上記の浸水想定は、高潮による浸水の危険性について都民に周知し、対策を講じることを目的としており、河川での洪水を見込むとともに、最悪の事態を想定し、堤防等の決壊を設定したものである。

図V-5-1 高潮浸水想定区域図〔想定最大規模〕（浸水深）

5-2 地盤高

東京港周辺の地盤高は、図V-5-2に示すとおりである。



出典：「基盤地図情報」（国土地理院）

図V-5-2 東京港周辺の地盤高

VI 港湾の効率的な運営に関する事項

目 次

| | |
|-------------------------|------|
| VI 港湾の効率的な運営に関する事項..... | VI-1 |
| 1. 港湾の効率的な運営に関する事項..... | VI-1 |

VI 港湾の効率的な運営に関する事項

1. 港湾の効率的な運営に関する事項

コンテナ船及びRORO船により運送される貨物を取り扱う以下の埠頭について、効率的な運営を特に促進するよう措置することを計画する。(法第43条の11第1項の規定に基づく港湾運営会社によるものを含む。)

内港地区

(品川埠頭)

| | | | |
|-----------|---|---------------------------------|-------|
| 水深 8.5m | 岸壁 2 バース | 延長 460m (RORO 船用) [既設] | S1～S2 |
| 水深 8.5m | 岸壁 1 バース | 延長 230m (RORO 船用) [既設] (工事中) | S3 |
| 水深 8.5m | 岸壁 1 バース | 延長 166m (RORO 船用) [既設] | S4 |
| 水深 10 m | 岸壁 1 バース | 延長 195m (コンテナ船用) [既定計画の変更計画] | S5 |
| 水深 11.5m | 岸壁 2 バース | 延長 550m (コンテナ船用) [既定計画] | S6～S7 |
| 埠頭用地 32ha | (荷さばき施設用地及び保管施設用地) (うち 29ha 既設) [既定計画] | | |

南部地区

(大井埠頭その 1)

| | | | |
|------------|--|------------------------------|-------|
| 水深 15～16m | 岸壁 8 バース | 延長 2,754m (コンテナ船用) [既定計画] | o1～o8 |
| 埠頭用地 139ha | (荷さばき施設用地及び保管施設用地) (うち 108ha 既設) [既定計画] | | |

中部地区

(10号地その 2)

| | | | |
|-----------|---|-------------------------------|-------|
| 水深 9m | 岸壁 6 バース | 延長 1,380m (RORO 船用) [既定計画] | V1～V6 |
| 埠頭用地 25ha | (荷さばき施設用地及び保管施設用地) (うち 23ha 既設) [既定計画] | | |

(13号地)

| | | | |
|-----------|-------------------------|----------------------------|-------|
| 水深 15～16m | 岸壁 2 バース | 延長 700m (コンテナ船用) [既定計画] | A3～A4 |
| 水深 15m | 岸壁 1 バース | 延長 350m (コンテナ船用) [既設] | A2 |
| 水深 13m | 岸壁 2 バース | 延長 520m (コンテナ船用) [既設] | A0～A1 |
| 埠頭用地 68ha | (荷さばき施設用地及び保管施設用地) [既設] | | |

東部地区

次の既定計画を削除する。

(15号地)

| | | | | |
|-----------|--------------------|---------|----------|-------|
| 既定計画 | | | | |
| 水深 11~12m | 岸壁 2 バース | 延長 500m | (コンテナ船用) | L2~L3 |
| 埠頭用地 29ha | (荷さばき施設用地及び保管施設用地) | | | |

中央防波堤地区

(中央防波堤内側)

水深 9m 岸壁 2 バース 延長 500m
(RORO 船用) [既設の変更計画] X4~X5

埠頭用地 13ha (荷さばき施設用地及び保管施設用地)
(うち 13ha 既設) [既設の変更計画]

水深 9m 岸壁 2 バース 延長 500m
(RORO 船用) [新規計画] X6~X7

埠頭用地 12ha (荷さばき施設用地及び保管施設用地)
(うち 8ha 既設) [既設の変更計画]

(中央防波堤外側)

水深 11m 岸壁 1 バース 延長 230m
(コンテナ船用) [既設] Y1

水深 16m 岸壁 1 バース 延長 400m
(コンテナ船用) [既設] Y2

水深 16~16.5m 岸壁 1 バース 延長 400m
(コンテナ船用) [既設] (工事中) Y3

埠頭用地 58ha (荷さばき施設用地及び保管施設用地)
(うち 2ha 工事中) [既設]

(新海面処分場)

水深 15~16m 岸壁 1 バース 延長 300m
(コンテナ船用) [新規計画] Z0

水深 16~16.5m 岸壁 1 バース 延長 420m
(コンテナ船用) [既定計画] Z1

水深 15~16m 岸壁 1 バース 延長 300m
(コンテナ船用) [新規計画] Z2

埠頭用地 51ha (荷さばき施設用地及び保管施設用地)
(うち 46ha 工事中) [既定計画の変更計画]

VII その他重要事項

目 次

| | |
|--|---------------|
| VII その他重要事項 | VII-1 |
| 1. 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設 | VII-1 |
| 2. 港湾及び港湾に隣接する地域の保全 | VII-2 |
| 2-1 海岸保全施設等 | VII-2 |
| 2-2 東京港海岸保全施設整備計画（令和5年3月） | VII-4 |
| 3. 大規模地震対策施設 | VII-7 |
| 3-1 耐震強化岸壁整備の基本的な考え方 | VII-7 |
| 3-2 緊急物資輸送対応施設 | VII-7 |
| 3-3 幹線貨物輸送対応施設 | VII-9 |
| 4. 港湾施設の利用 | VII-11 |
| 4-1 物資補給等のための施設 | VII-11 |
| 5. その他港湾の開発、利用及び保全に関する事項 | VII-12 |
| 5-1 橋梁の桁下空間の確保 | VII-12 |
| 5-2 放置等禁止区域 | VII-15 |
| 5-3 将来構想 | VII-18 |

VII その他重要事項

1. 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設

今回計画している施設及び既に計画されている施設のうち、国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設は次のとおりである。

[国際海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設]

南部地区

(大井埠頭その1)

| | | | | |
|-----------|----------|----------|--------|----|
| 水深 15～16m | 岸壁 1 バース | 延長 400m | | |
| | | (コンテナ船用) | [既定計画] | o8 |

東部地区

(15号地)

| | | | | |
|--------|----------|---------|-----------|----|
| 水深 12m | 岸壁 1 バース | 延長 240m | | |
| | | | [既定計画の削除] | L1 |

中央防波堤地区

(新海面処分場)

| | | | | |
|-------------|----------|----------|--------|----|
| 水深 15～16m | 岸壁 1 バース | 延長 300m | | |
| | | (コンテナ船用) | [新規計画] | Z0 |
| 水深 16～16.5m | 岸壁 1 バース | 延長 420m | | |
| | | (コンテナ船用) | [既定計画] | Z1 |
| 水深 15～16m | 岸壁 1 バース | 延長 300m | | |
| | | (コンテナ船用) | [新規計画] | Z2 |

[国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設]

中央防波堤地区

(中央防波堤内側)

| | | | | |
|-------|----------|-----------|-----------|-------|
| 水深 9m | 岸壁 2 バース | 延長 500m | | |
| | | (RORO 船用) | [既設の変更計画] | X4～X5 |
| 水深 9m | 岸壁 2 バース | 延長 500m | | |
| | | (RORO 船用) | [新規計画] | X6～X7 |

2. 港湾及び港湾に隣接する地域の保全

2-1 海岸保全施設等

東京の区部東部には、地盤高の低い土地が広がっており、高潮が発生しなくても通常の満潮時に海面以下となる、いわゆるゼロメートル地帯が23区の約2割に相当する面積に及び、約150万人が生活している。また、東京港の背後には首都機能をはじめ、商業、交通インフラなどの都市機能が高度に集積している。こうした地域が高潮や津波により、ひとたび浸水すれば甚大な被害に見舞われるおそれがある。都民の生命、財産を守り、首都としての中核機能を確保するためには、防潮堤、水門、排水機場等の海岸保全施設の整備が極めて重要である。

都はこれまで、平成24年度に策定した整備計画に基づき、大規模地震を対象として、防潮堤等の耐震性を強化するとともに、水門や排水機場の電気・機械設備が浸水しないよう、耐水対策に取り組んできた。

一方、気候変動の影響により平均海面水位は上昇しつつあり、今後、さらなる平均海面水位の上昇や台風の強大化等による沿岸地域への影響が懸念されるため、国が令和2年11月に変更した「海岸保全基本方針」に基づき、東京都は令和5年3月に「東京湾沿岸海岸保全基本計画〔東京都区間〕」を改定し、「東京港海岸保全施設整備計画」を策定した。

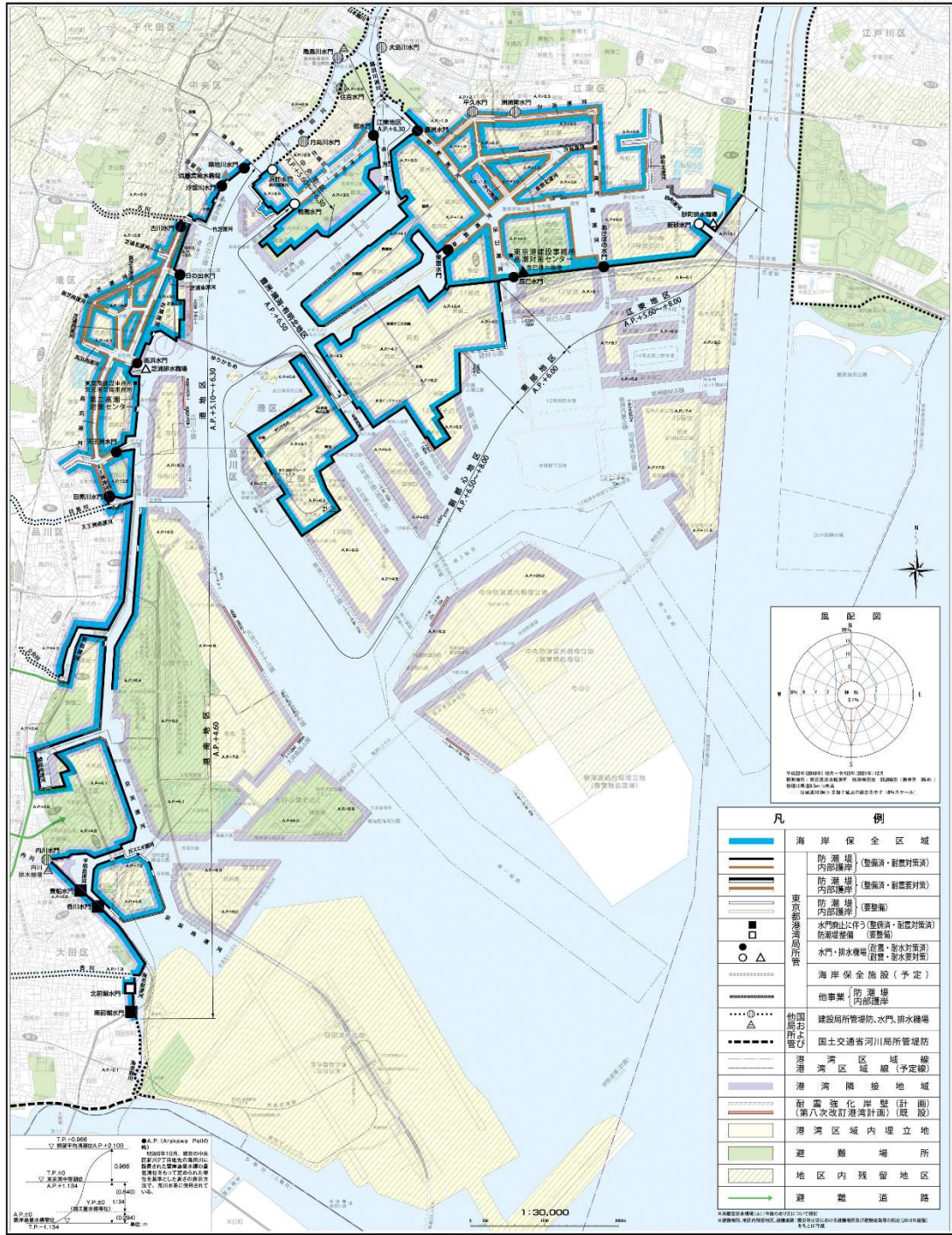
今後は、上記の計画に基づき、防潮堤、内部護岸等の耐震対策を推進するとともに、気候変動対策として新たに防潮堤の嵩上げや排水機場の増設を実施していく。

表VII-2-1 海岸保全施設の整備状況（令和4年3月末現在）

| 施設種別 | 海岸保全区域 延長等 ① | 整備延長等 ② | 整備状況 ②/① |
|--------|-----------------|------------|-------------|
| 外郭防潮堤 | 39.8km | 39.3km | 99% |
| 堤外地防潮堤 | 20.6km | 18.6km | 90% |
| 内部護岸 | 45.6km | 36.9km | 81% |
| 水門 | 15箇所 | 15箇所 | - |
| 排水機場 | 4箇所 | 4箇所 | - |

東京港防災計画図

令和4年3月末現在



| 凡 例 | |
|-----|---------------------|
| | 海岸保全区域 |
| | 防波堤 (数箇所・数箇対策済) |
| | 防波堤 (数箇所・数箇対策済) |
| | 防波堤 (数箇所・数箇対策済) |
| | 防波堤 (数箇所・数箇対策済) |
| | 防波堤 (数箇所・数箇対策済) |
| | 防波堤 (数箇所・数箇対策済) |
| | 水門閉止に伴う (数箇所・数箇対策済) |
| | 防波堤整備 (数箇所) |
| | 水門・排水機等 (数箇所・数箇対策済) |
| | 海岸保全施設 (予定) |
| | 他事業 (防波堤内部通岸) |
| | 建設用所管堤防・水門・排水機場 |
| | 他国土地局所管 |
| | 国土交通省河川局所管堤防 |
| | 港湾区域域 (予定線) |
| | 港湾隣接地域 |
| | 耐震強化岸壁 (計画) |
| | (第八次改訂港湾計画) (既設) |
| | 港湾区域内埋立地 |
| | 避難場所 |
| | 地区内残留地区 |
| | 避難道路 |

図 VII-2-1 海岸保全区域の防災計画図 (令和 4 年)

2-2 東京港海岸保全施設整備計画（令和5年3月）

2-2-1 計画期間

10年間（令和4年度～令和13年度）

2-2-2 対象施設

(1) 防潮堤、内部護岸等

表Ⅶ-2-2 海岸保全施設の整備概要

| 施設 | 対策 | 実施内容 | 整備対象 |
|------|------|--|--------------------|
| 防潮堤 | 気候変動 | 海面上昇により2030年代までに整備が必要となる区間について、嵩上げを実施 | 約24km |
| | 耐震 | 護岸本体工の整備や前面の地盤改良等により耐震性を確保 | 約4km ^{※1} |
| 内部護岸 | 耐震 | 護岸本体工の整備や前面の地盤改良等により耐震性を確保 ^{※2} | 約15km |
| 水門 | 耐震 | 最大級の地震に対応した施設の整備を実施 | 1施設 |
| | 耐水 | 高潮による浸水を想定し、電気・機械設備を計画高潮位より高い位置に設置 | |
| 排水機場 | 気候変動 | 降雨量増大に対応するよう、排水機場の増設を実施 | 2施設 |
| | 耐震 | 最大級の地震に対応した施設の整備を実施 | |
| | 耐水 | 高潮による浸水を想定し、電気・機械設備を計画高潮位より高い位置に設置 | |

※1 気候変動対策と重複あり

※2 内部護岸の前出し幅は、運河幅員や運河利用等を考慮し設定するものとする

(2) その他

【高潮対策センターの増築】

陸こうの遠隔制御システムの拡張に伴う操作卓の増設等のため、高潮対策センターの増築を行う。

【水門等の遠隔操作に係る通信網の多重化】

既存の通信網に加え、下水道施設の通信網を活用し多重化させることにより、水門等遠隔制御システムのバックアップ機能の強化を図り、遠隔操作の信頼性を向上させる。

【陸こうの廃止及び遠隔制御化】

陸こうの廃止を推進するとともに、廃止できない陸こうについて、順次遠隔制御システムの導入を図る。

【計画的な維持保全】

水門の門扉改修など、予防保全を取り入れた計画的な施設の維持保全を図る。

【ソフト対策の推進】

高潮防災総合情報システムによるリアルタイムの防災情報の発信、水防法に基づく高潮浸水想定区域図の公表、高潮特別警戒水位の運用を行うなど、情報提供の充実化を図る。

また、A I 技術を活用した水位予測による水門等の操作支援、ドローンを活用した災害時の施設点検を行うなど、デジタルを活用した防災機能の向上を図る。



※ 江東地区における排水機場の整備内容・位置については検討中

図 VII-2-2 東京港海岸保全施設整備計画図 (令和 5 年 3 月)

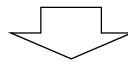
3. 大規模地震対策施設

3-1 耐震強化岸壁整備の基本的な考え方

耐震強化岸壁整備の基本的な考え方は、次のとおりである。

<既定計画>

| 用途 | 既定計画 |
|------------------------|-------|
| 幹線貨物輸送用 (コンテナ・RORO) | 22バース |
| 緊急物資輸送用 (RORO・在来) | 26バース |



<既定計画の変更>

| 用途 | 今回計画 | |
|------------------------|-------|---------------------------------|
| 幹線貨物輸送用 (コンテナ・RORO) | 23バース | 既定計画の削除及び 新規埠頭の増加 |
| 緊急物資輸送用 (RORO・在来) | 26バース | 既定計画の削除及び 幹線貨物輸送用 からの配置変更 |

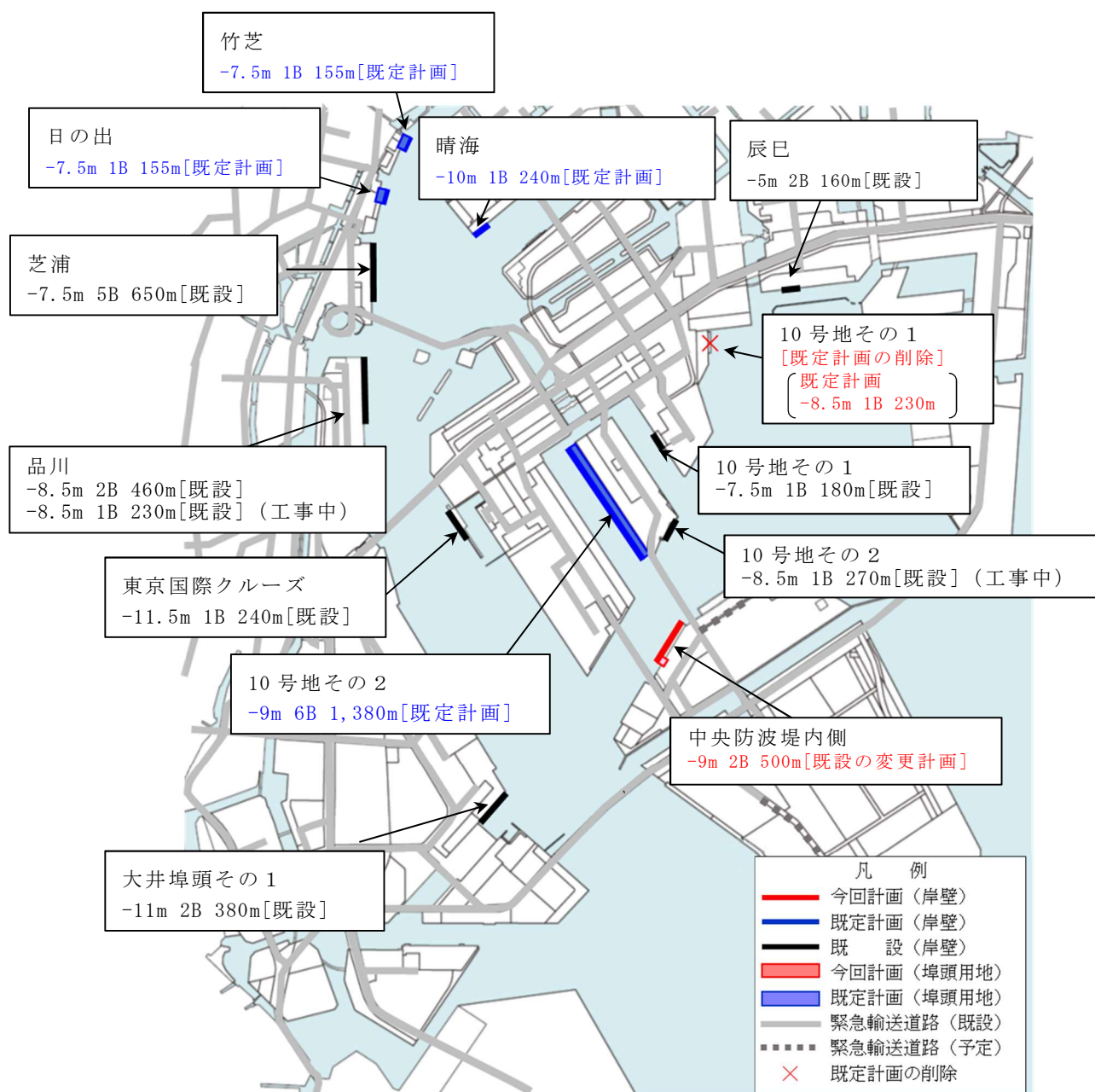
図VII-3-1 耐震強化岸壁整備の基本的な考え方

3-2 緊急物資輸送対応施設

緊急物資輸送対応施設計画は、次のとおりである。

表VII-3-1 緊急物資輸送対応施設計画一覧

| 整備・計画状況 | 施設名 | 水深 (m) | バース 数 | 延長 (m) | 備考 |
|---------|---------------------|-----------|----------|-----------|-----------------|
| 既定計画 | 竹芝貨客船 | -7.5 | 1 | 155 | |
| 既定計画 | 日の出貨客船 | -7.5 | 1 | 155 | |
| 既定計画 | 晴海物資補給岸壁 | -10.0 | 1 | 240 | |
| 既設 | 芝浦内貿雑貨 | -7.5 | 5 | 650 | |
| 既設(工事中) | 品川内貿ユニットロード | -8.5 | 3 | 690 | S3:工事中 |
| 既設 | 東京国際クルーズ | -11.5 | 1 | 240 | 全長430mのうち耐震強化部分 |
| 既設 | 大井食品 | -11.0 | 2 | 380 | |
| 既定計画 | 10号地その2(西)内貿ユニットロード | -9.0 | 6 | 1,380 | |
| 既設(工事中) | 10号地その2多目的 | -8.5 | 1 | 270 | |
| 既設 | 10号地その1西側多目的 | -7.5 | 1 | 180 | |
| 既設 | 辰巳内貿雑貨 | -5.0 | 2 | 160 | |
| 既設の変更計画 | 中央防波堤内側内貿ユニットロード | -9.0 | 2 | 500 | X4、X5 |
| 合計 | | - | 26 | 5,000 | |



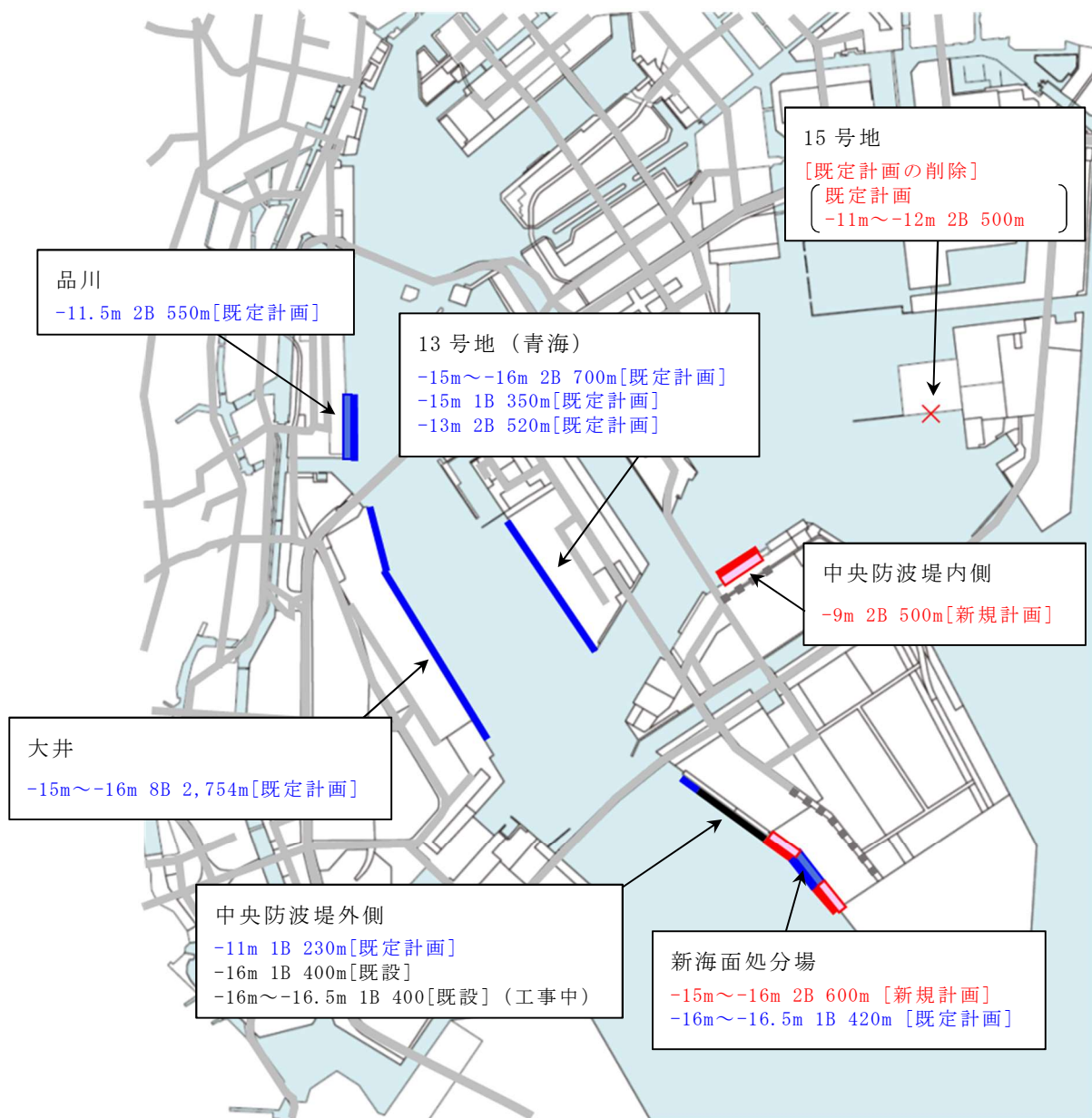
図VII-3-2 緊急物資輸送対応施設計画

3-3 幹線貨物輸送対応施設

国土交通省通知（平成 25 年 4 月 16 日（国港計第 4 号・国港海第 15 号）に基づき、コンテナ・RORO の幹線貨物埠頭（3-2-1 緊急物資輸送対応施設に記載されているものを除く）を「幹線貨物輸送ターミナル」の耐震強化岸壁として計画する。幹線貨物輸送対応施設計画は、次のとおりである。

表 VII-3-2 幹線貨物輸送対応施設一覧

| 整備・計画状況 | 施設名 | 貨物属性 | 水深 (m) | バース数 | 延長 (m) | 備考 |
|---------|----------|------|-------------|------|-----------|----------------|
| 既定計画 | 品川 | コンテナ | -11.5 | 2 | 550 | |
| 既定計画 | 大井 | コンテナ | -15.0~-16.0 | 8 | 2,754 | o8は現在水産ふ頭として利用 |
| 既定計画 | 13号地(青海) | コンテナ | -13.0 | 2 | 520 | |
| 既定計画 | 13号地(青海) | コンテナ | -15.0 | 1 | 350 | |
| 既定計画 | 13号地(青海) | コンテナ | -15.0~-16.0 | 2 | 700 | |
| 新規計画 | 中央防波堤内側 | RORO | -9.0 | 2 | 500 | X6、X7 |
| 既定計画 | 中央防波堤外側 | コンテナ | -11.0 | 1 | 230 | |
| 既設 | 中央防波堤外側 | コンテナ | -16.0 | 1 | 400 | |
| 既設(工事中) | 中央防波堤外側 | コンテナ | -16.0~-16.5 | 1 | 400 | |
| 新規計画 | 新海面処分場 | コンテナ | -15.0~-16.0 | 2 | 600 | |
| 既定計画 | 新海面処分場 | コンテナ | -16.0~-16.5 | 1 | 420 | |
| 合計 | | | - | 23 | 7,424 | |



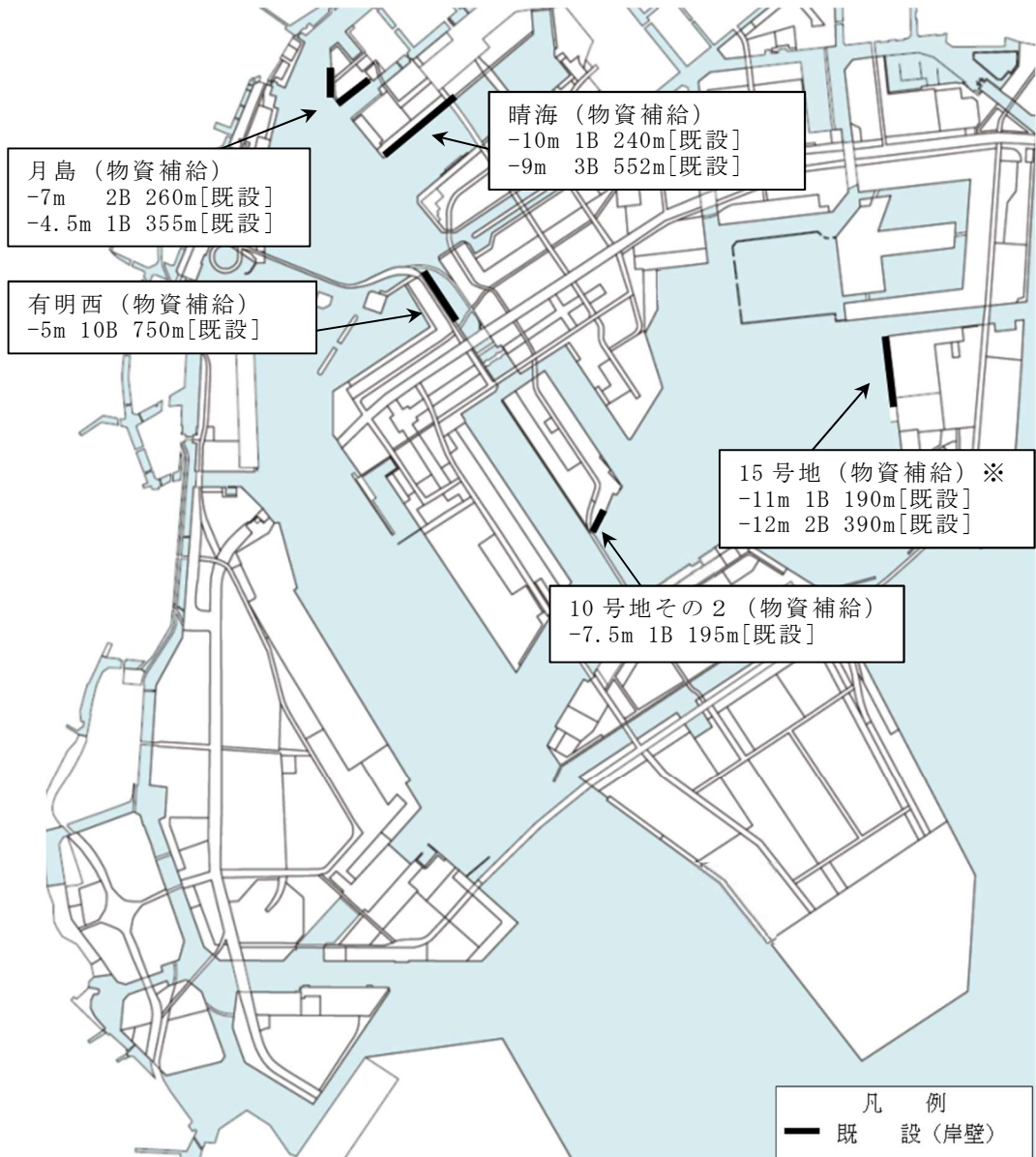
| 凡 例 | |
|---|-------------|
| — | 今回計画 (岸壁) |
| — | 既定計画 (岸壁) |
| — | 既 設 (岸壁) |
| ■ | 今回計画 (埠頭用地) |
| ■ | 既定計画 (埠頭用地) |
| — | 緊急輸送道路 (既設) |
| - - - | 緊急輸送道路 (予定) |
| × | 既定計画の削除 |

図VII-3-3 幹線貨物輸送対応施設計画

4. 港湾施設の利用

4-1 物資補給等のための施設

東京港には、海技教育機構や水産庁、海洋研究開発機構をはじめ、官公庁の所有する船舶等が多数寄港・係留しており、燃料や飲料水など物資補給のための係留場所の確保が求められている。こうした要請への対応として、既存施設を有効活用し、物資補給岸壁を次のとおり配置する。



※15号地コンテナ埠頭計画の廃止に伴い、現況の施設を本改訂で既設として位置づける

図VII-4-1 物資補給等のための施設

5. その他港湾の開発、利用及び保全に関する事項

5-1 橋梁の桁下空間の確保

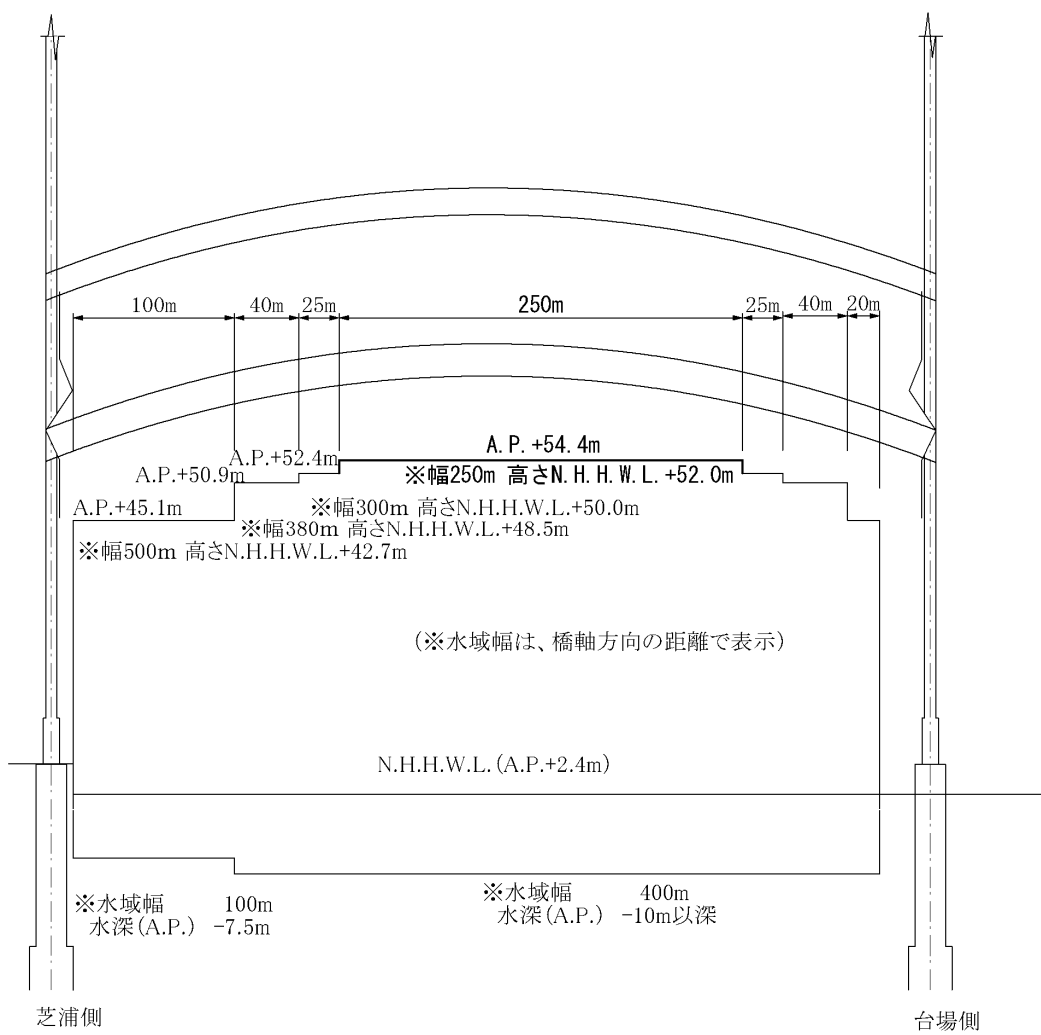
5-1-1 橋梁の桁下空間

港湾を利用する船舶に航行上支障がないよう、橋梁の桁下空間を次のとおりとする。

表Ⅶ-5-1 橋梁の桁下空間

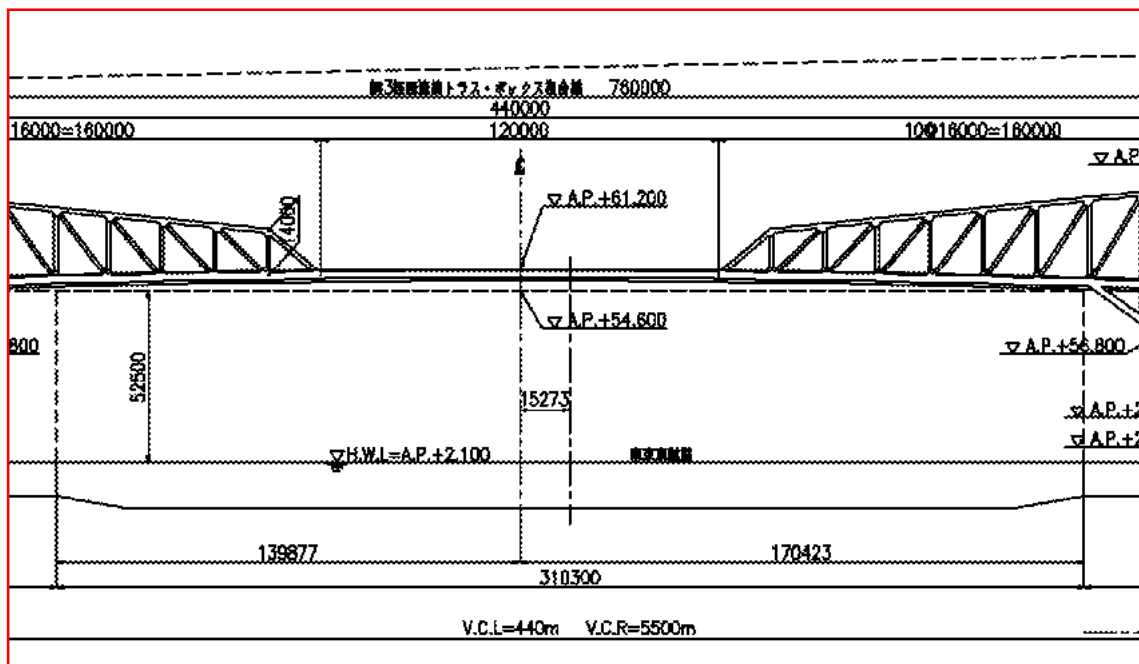
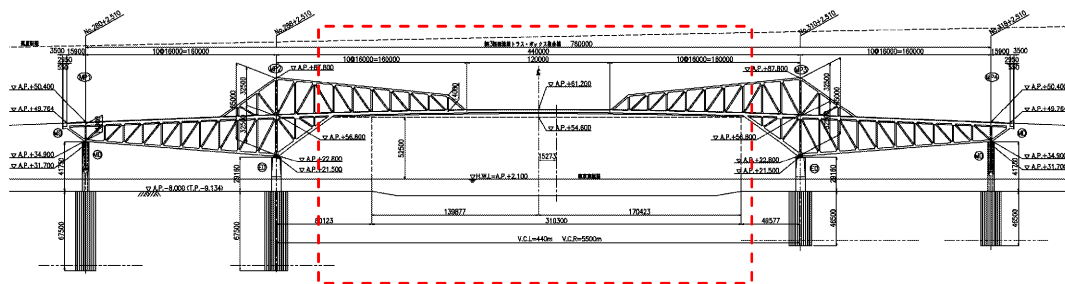
| 橋 梁 名 | 桁 下 空 間 |
|--|--|
| 東京港連絡橋 (レインボーブリッジ) (臨港道路) | 中央部幅員 250m 高さ N.H.H.W.L. +52.0m 中央部幅員 300m 高さ N.H.H.W.L. +50.0m 中央部幅員 380m 高さ N.H.H.W.L. +48.5m 中央部幅員 500m 高さ N.H.H.W.L. +42.7m |
| 東京港臨海道路 II 期区間 (ゲートブリッジ) (臨港道路) | 中央部幅員 310m 高さ N.H.H.W.L. +52.2m |

※N.H.H.W.L. (略最高高潮面) は A.P. +2.398m ≒ A.P. +2.4m である。



※N.H.H.W.L. (略最高高潮面) は A.P. +2.398m ≒ A.P. +2.4m である。

図VII-5-1 東京港連絡橋 (レインボーブリッジ) の桁下空間図



出典：「東京ゲートブリッジ 主橋梁部側面図」（国土交通省関東地方整備局 東京港湾事務所企画調整課）

図VII-5-2 ゲートブリッジの桁下空間図

5-2 放置等禁止区域

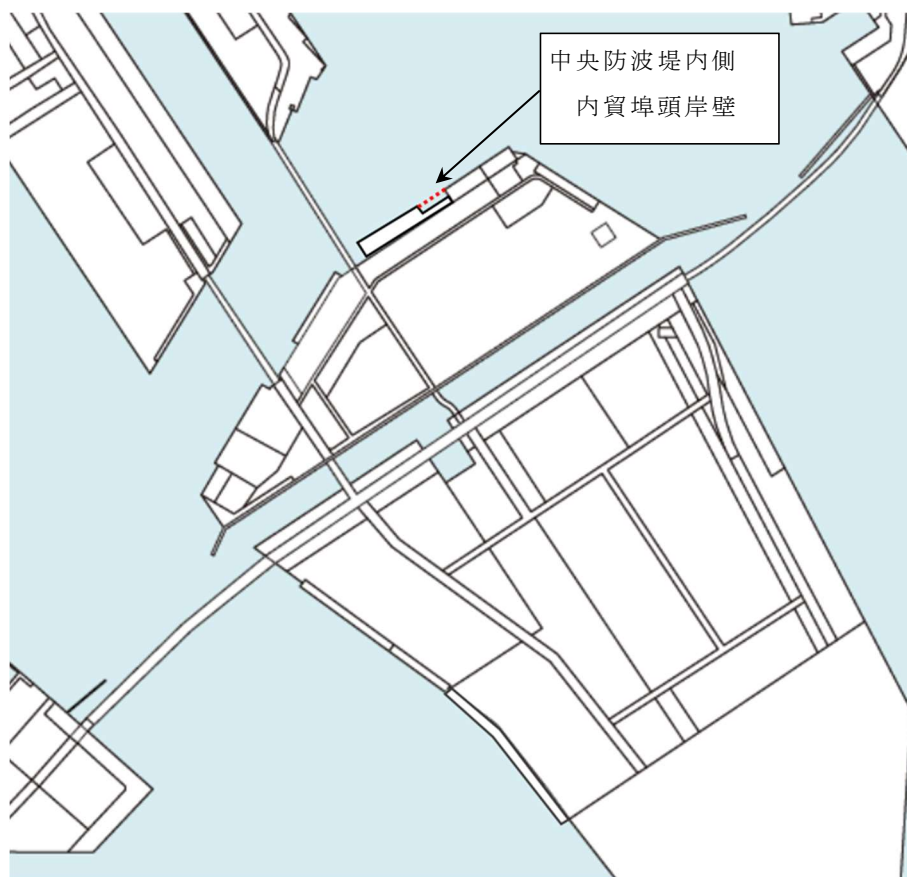
東京都では、船舶の係留保管の秩序を確立することにより、都市景観の回復及び創出を図るとともに、都民の暮らしの安全性の保持並びに公共水域を利用した経済活動及び公共水域周辺の良い生活環境の確保に資することを目的として、以下に示す「東京都船舶の係留保管の適正化に関する条例」を公布している。

5-3 将来構想

内貿貨物の需要動向等を踏まえ、引き続き埠頭計画の拡張について検討が必要であると想定されるため、次の施設を将来構想とする。

中央防波堤地区

(中央防波堤内側) 内貿埠頭岸壁



図VII-5-5 将来構想

VIII その他

目 次

| | |
|------------------------------|----------------|
| VIII その他 | VIII-1 |
| 1. 港湾区域の範囲 | VIII-1 |
| 2. 港湾の周辺条件 | VIII-3 |
| 2-1 経済的・社会的条件 | VIII-3 |
| 2-2 自然条件 | VIII-6 |
| 3. 港湾の沿革 | VIII-19 |
| 4. 港湾施設の現況 | VIII-25 |
| 4-1 水域施設 | VIII-25 |
| 4-2 外郭施設 | VIII-25 |
| 4-3 係留施設 | VIII-26 |
| 4-4 荷捌施設 | VIII-28 |
| 4-5 保管施設 | VIII-31 |
| 4-6 旅客施設 | VIII-31 |
| 4-7 マリーナ施設 | VIII-32 |
| 4-8 その他の施設 | VIII-33 |
| 5. 過去の計画一覧 | VIII-34 |
| 6. 新旧法線対象図 | VIII-52 |
| 7. 東京都港湾審議会委員名簿 | VIII-54 |
| 8. 将来イメージ | VIII-55 |

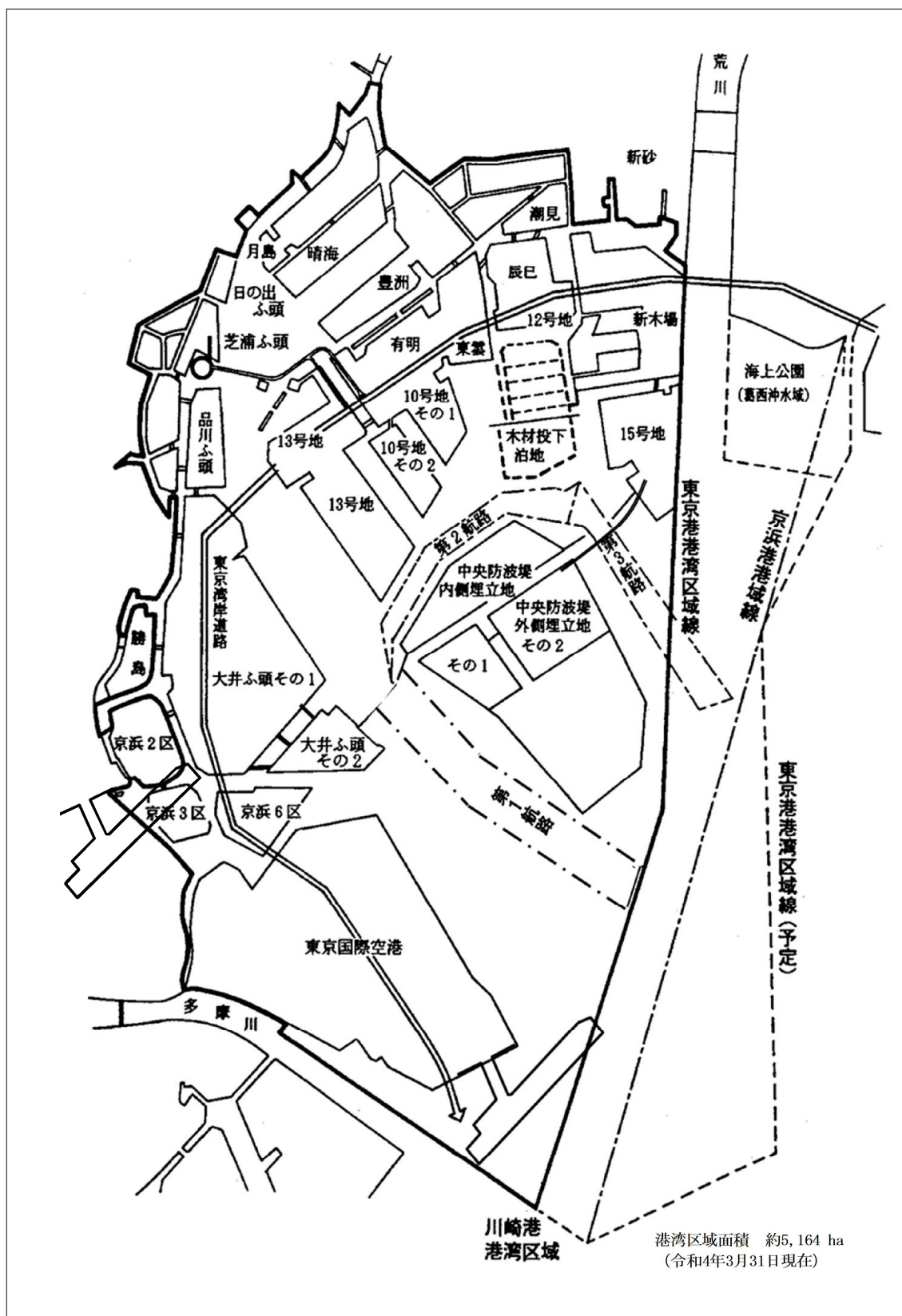
VIII その他

1. 港湾区域の範囲

港湾管理者である東京都が管理する港湾区域は、次のとおりである。

荒川右岸突端 [旧堀江三角点(北緯 35 度 38 分 30 秒 東経 139 度 52 分 20 秒)から 298 度 51 分 36 秒 3,118.47 メートルの地点]、同点より、183 度 58 分 45 秒 9,752 メートルの地点、多摩川口旧羽田燈標より 143 度 30 分 2,950 メートルの地点、多摩川口における行政区画境界線の終点及び多摩川左岸下流端を順次結んだ線、多摩川左岸下流端より左岸沿いに海老取川左岸上流端に至る線及び陸岸により囲まれた海面並びに海老取川、汐留川、築地川(2 級)、月島川、佃川の河川水面及び隅田川永代橋、築地川(1 級)明石橋、築地川東支流海幸橋、亀島川南高橋、越前堀栄橋、洲崎川延長九重橋各下流の河川水面。

(水域面積 約 5,164ha)



図VIII-1-1 港湾区域の範囲

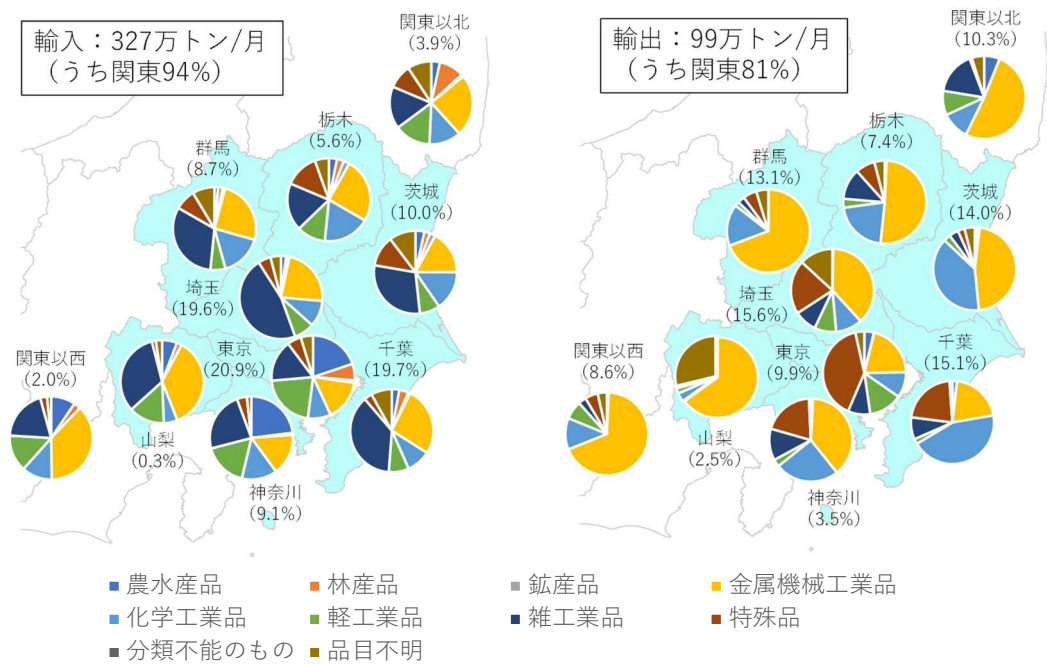
2. 港湾の周辺条件

2-1 経済的・社会的条件

2-1-1 背後圏

東京港における港湾取扱貨物量の半数近くを占めている外貨コンテナ貨物の約9割は関東地域発着の貨物である。

輸入コンテナ貨物はその9割以上が東京都を中心とした関東圏で消費されており、輸出コンテナ貨物についても8割以上が関東圏内で生産されている。



※ 図中%は、東京港輸出入貨物量に占める各県・地域生産・消費量の割合
 出典：「平成30年度全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(1か月値)(国土交通省)より東京都作成

図VIII-2-1 東京港コンテナ貨物の背後圏(平成30年)

2-1-2 背後圏の人口

(1) 人口

背後圏の人口は、平成22年～令和元年の10年間で2%程度増加しており、全国的には減少傾向にある中、増加傾向を示している。特に東京港を擁する東京都の人口は、過去10年間で6%程度増加しており、背後圏で最も増加傾向にある。

表Ⅷ-2-1 背後圏の人口の推移

| 都県名 | (単位:千人) | | | | | | | | | | 変化率 R1/H22 | 年平均 伸び率 % |
|------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|-----------------|
| | 平成22年 2010 | 平成23年 2011 | 平成24年 2012 | 平成25年 2013 | 平成26年 2014 | 平成27年 2015 | 平成28年 2016 | 平成29年 2017 | 平成30年 2018 | 令和元年 2019 | | |
| 東京都 | 13,159 | 13,198 | 13,234 | 13,307 | 13,399 | 13,515 | 13,646 | 13,768 | 13,887 | 14,007 | 1.06 | 0.70% |
| 埼玉県 | 7,195 | 7,209 | 7,216 | 7,228 | 7,247 | 7,267 | 7,288 | 7,307 | 7,325 | 7,342 | 1.02 | 0.22% |
| 神奈川県 | 9,048 | 9,060 | 9,070 | 9,084 | 9,103 | 9,126 | 9,152 | 9,173 | 9,197 | 9,224 | 1.02 | 0.21% |
| 千葉県 | 6,216 | 6,217 | 6,200 | 6,201 | 6,209 | 6,223 | 6,242 | 6,258 | 6,273 | 6,283 | 1.01 | 0.12% |
| 小計 | 35,618 | 35,684 | 35,720 | 35,820 | 35,958 | 36,131 | 36,328 | 36,506 | 36,682 | 36,856 | 1.03 | 0.38% |
| 茨城県 | 2,970 | 2,960 | 2,947 | 2,937 | 2,927 | 2,917 | 2,910 | 2,902 | 2,892 | 2,879 | 0.97 | -0.35% |
| 栃木県 | 2,008 | 2,000 | 1,992 | 1,986 | 1,980 | 1,974 | 1,969 | 1,962 | 1,953 | 1,943 | 0.97 | -0.36% |
| 群馬県 | 2,008 | 2,001 | 1,994 | 1,986 | 1,979 | 1,973 | 1,969 | 1,963 | 1,957 | 1,949 | 0.97 | -0.33% |
| 山梨県 | 863 | 857 | 852 | 847 | 841 | 835 | 831 | 826 | 821 | 815 | 0.94 | -0.63% |
| 小計 | 7,849 | 7,818 | 7,785 | 7,756 | 7,727 | 7,699 | 7,679 | 7,653 | 7,623 | 7,586 | 0.97 | -0.38% |
| 合計 | 43,467 | 43,502 | 43,505 | 43,576 | 43,685 | 43,830 | 44,007 | 44,159 | 44,305 | 44,442 | 1.02 | 0.25% |
| 全国 | 128057 | 127,834 | 127,593 | 127,414 | 127,237 | 127,095 | 127,042 | 126,919 | 126,749 | 126,555 | 0.99 | -0.13% |

出典：「国勢調査」（総務省統計局）より東京都作成

(2) 就業人口

平成22年に約2,030万人であった背後圏の就業人口は、その後減少傾向で推移し、令和2年時点では、約2,000万人となっている。

産業別に見ると、平成22年以降、第一次産業は年平均約1.4%、第二次産業は年平均約0.6%の減少傾向が続いている。逆に第三次産業については、年平均0.7%の増加傾向となっており就業人口は平成22年時点で1,399万人、令和2年時点で1,494万人である。

表Ⅷ-2-2 背後圏の産業別就業人口の推移

| 県名 | (単位:千人) | | | | |
|------|---------|-------|-------|--------|-------|
| | 総数 | 第一次産業 | 第二次産業 | 第三次産業 | 分類不能 |
| 東京都 | 6,013 | 22 | 912 | 4,256 | 822 |
| 埼玉県 | 3,482 | 58 | 817 | 2,352 | 255 |
| 神奈川県 | 4,147 | 35 | 893 | 3,015 | 204 |
| 千葉県 | 2,899 | 83 | 557 | 2,075 | 185 |
| 小計 | 16,541 | 199 | 3,179 | 11,699 | 1,465 |
| 茨城県 | 1,420 | 83 | 401 | 863 | 73 |
| 栃木県 | 977 | 55 | 300 | 583 | 39 |
| 群馬県 | 965 | 52 | 298 | 586 | 30 |
| 山梨県 | 415 | 30 | 118 | 258 | 9 |
| 小計 | 3,777 | 219 | 1,117 | 2,289 | 151 |
| 合計 | 20,318 | 418 | 4,296 | 13,988 | 1,617 |
| 全国 | 59,611 | 2,381 | 1,168 | 39,646 | 3,460 |

| 県名 | (単位:千人) | | | | |
|------|---------|-------|--------|--------|-------|
| | 総数 | 第一次産業 | 第二次産業 | 第三次産業 | 分類不能 |
| 東京都 | 5,962 | 22 | 873 | 4,834 | 233 |
| 埼玉県 | 3,387 | 50 | 752 | 2,471 | 113 |
| 神奈川県 | 4,153 | 32 | 811 | 3,176 | 135 |
| 千葉県 | 2,862 | 69 | 527 | 2,167 | 99 |
| 小計 | 16,364 | 174 | 2,964 | 12,647 | 580 |
| 茨城県 | 1,363 | 69 | 380 | 872 | 41 |
| 栃木県 | 927 | 48 | 282 | 571 | 25 |
| 群馬県 | 950 | 42 | 288 | 593 | 26 |
| 山梨県 | 399 | 26 | 110 | 256 | 7 |
| 小計 | 3,638 | 186 | 1,060 | 2,292 | 100 |
| 合計 | 20,002 | 360 | 4,024 | 14,939 | 680 |
| 全国 | 57,643 | 1,963 | 13,259 | 40,679 | 1,742 |

出典：「国勢調査」（総務省統計局）より東京都作成

2-1-3 産業

(1) 背後圏の製造品出荷額等

背後圏の製造品出荷額等は、平成22年以降、80兆円前後で推移しており、令和元年には約84兆円となっている。

表Ⅷ-2-3 背後圏の製造品出荷額等の推移

(単位:百万円)

| 都県名 | 平成22年 2010 | 平成23年 2011 | 平成24年 2012 | 平成25年 2013 | 平成26年 2014 | 平成27年 2015 | 平成28年 2016 | 平成29年 2017 | 平成30年 2018 | 令和元年 2019 |
|------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 東京都 | 8,242,176 | 8,699,292 | 8,198,209 | 7,851,824 | 8,159,351 | 8,374,172 | 7,784,885 | 7,628,318 | 7,577,669 | 7,160,755 |
| 埼玉県 | 12,853,155 | 12,143,721 | 12,139,338 | 11,787,702 | 12,390,803 | 12,760,252 | 12,682,801 | 13,507,456 | 14,147,008 | 13,758,165 |
| 神奈川県 | 17,246,683 | 17,850,594 | 17,461,302 | 17,226,142 | 17,721,051 | 17,477,226 | 16,288,163 | 17,956,427 | 18,443,058 | 17,746,139 |
| 千葉県 | 12,380,529 | 11,886,718 | 12,388,483 | 13,003,297 | 13,874,330 | 12,668,824 | 11,401,976 | 12,126,270 | 13,143,167 | 12,518,316 |
| 小計 | 50,722,543 | 50,580,325 | 50,187,332 | 49,868,965 | 52,145,535 | 51,280,474 | 48,157,825 | 51,218,471 | 53,310,902 | 51,183,375 |
| 茨城県 | 10,845,754 | 10,536,767 | 11,097,744 | 10,901,331 | 11,408,497 | 12,037,605 | 11,208,758 | 12,279,488 | 13,036,042 | 12,581,236 |
| 栃木県 | 8,459,108 | 7,601,984 | 7,434,120 | 8,179,507 | 8,293,780 | 8,802,168 | 8,946,775 | 9,233,280 | 9,211,118 | 8,966,422 |
| 群馬県 | 7,526,827 | 7,383,256 | 7,452,663 | 7,722,701 | 8,363,510 | 9,050,380 | 8,699,262 | 9,029,035 | 9,136,037 | 8,981,948 |
| 山梨県 | 2,320,960 | 2,215,910 | 2,014,287 | 1,985,155 | 2,133,133 | 2,442,647 | 2,250,682 | 2,532,665 | 2,588,144 | 2,481,979 |
| 小計 | 29,152,649 | 27,737,917 | 27,998,814 | 28,788,694 | 30,198,920 | 32,332,800 | 31,105,477 | 33,074,468 | 33,971,341 | 33,011,585 |
| 合計 | 79,875,192 | 78,318,242 | 78,186,146 | 78,657,659 | 82,344,455 | 83,613,274 | 79,263,302 | 84,292,939 | 87,282,243 | 84,194,960 |
| 全国 | 289,107,683 | 284,968,753 | 288,727,639 | 292,092,130 | 305,139,989 | 313,128,563 | 302,035,590 | 319,166,725 | 331,809,377 | 322,533,418 |

出典：「工業統計」（経済産業省）より東京都作成

(2) 背後圏の小売業年間販売額

背後圏の小売業年間販売額は、平成19年時点では45兆円程度であったが、その後は減少傾向で推移し、平成24年には40兆円を割込んでいる。その後増加に転じ、令和2年時点では50兆円程度となっている。

表Ⅷ-2-4 背後圏の小売業年間販売額の推移

(単位:百万円)

| 県名 | 平成19年 2007 | 平成24年 2012 | 平成28年 2016 | 令和2年 2020 |
|------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 東京都 | 17,082,489 | 14,443,552 | 19,086,829 | 19,973,998 |
| 埼玉県 | 6,272,675 | 5,529,402 | 6,871,613 | 6,833,381 |
| 神奈川県 | 8,474,672 | 6,969,920 | 8,883,704 | 9,090,337 |
| 千葉県 | 5,696,433 | 4,778,886 | 6,010,050 | 6,182,618 |
| 小計 | 37,526,269 | 31,721,760 | 40,852,196 | 42,080,334 |
| 茨城県 | 2,905,110 | 2,450,294 | 3,056,437 | 2,973,287 |
| 栃木県 | 2,100,814 | 1,781,766 | 2,205,029 | 2,249,051 |
| 群馬県 | 2,097,550 | 1,799,049 | 2,152,032 | 2,151,652 |
| 山梨県 | 859,197 | 732,420 | 896,104 | 795,327 |
| 小計 | 7,962,671 | 6,763,529 | 8,309,602 | 8,169,317 |
| 合計 | 45,488,940 | 38,485,289 | 49,161,798 | 50,249,651 |
| 全国 | 132,844,087 | 110,489,863 | 138,015,622 | 139,001,184 |

出典：「商業統計」（経済産業省）、「経済センサス」（総務省）、経済構造実態調査（総務省）より東京都作成

2-2 自然条件

2-2-1 地勢

東京臨海部は、南の多摩川河口に端を發し、弧状を描きながら大田、品川、港、中央、江東の各区を経て、北の荒川放水路右岸突端に至るまでの地域であり、大森高台、芝台地、高輪、白金、三田、芝公園が西部沿岸を形成し、芝浦埋立地、芝、京橋一帯がこれに続き、さらに隅田川東側の江東地域が北部沿岸を形成している。

2-2-2 地質

東京港の埋立地盤は、江戸湊の開発以来約 570 年の歴史を有し、その面積は明治以降約 5,600ha に達している。これら埋立地盤の下部を構成する地盤は、下位から上総層群、江戸川層、東京層、埋没段丘堆積層、沖積層の七号地層と有楽町層からなっている。

東京港の主な地区区分ごとに地層の概略分布を整理した結果は、次のとおりである。

表Ⅷ-2-5 東京港の主な地区の地盤構成

| | | | 地区区分 | | | | | | | | | | | | |
|------|---------------------------------------|---|-------------------------------|-------------------|---------------------|-------------------|--------------|---------------|---------------|----------|--------------|-----------------|-----|--------------|--|
| 地質時代 | 地層名 | 層相 | 竹芝日の出芝浦品川港南 | 大井その1(八潮)勝島 | 大井その1(東海)城南島平和島昭島羽田 | 月島晴海豊洲レインボーブリッジ西側 | 台場有明10号地13号地 | 東雲11号地 | 中防内東中防外新海面処分場 | 中防内西 | 越中島塩浜7号地8号地 | 夢の島12号地14号地15号地 | 葛西沖 | | |
| 現世 | 埋土層 H | 粘性土 Hc 砂質土 Hs | H | | | | | | | | | | | | |
| 完新世 | 沖積層 | 有楽町層 | 上部 Yu 砂質土 Ysu 砂礫 Ygu | Ycu, Ysu (全地域に分布) | | | | | | | | | | | |
| | | 下部 Yl 粘性土 Ycl 砂質土 Ysl 砂礫 Ygl | Yel, Ysl, Ygl (全地域に分布) | | | | | | | | | | | | |
| 更新世 | 後期 | 七号地層 N | 粘性土 Nc 砂質土 Ns 砂礫 Ng, Bg | Nc, Ns, Bg | | | | | | | | | | | |
| | | 埋没段丘堆積層 Bt | 粘性土 Btc 砂礫 Btg | Btc | | | | Btc | | Btc | | | | | |
| | 中期 | 東京層 | 上部 Tu 砂質土 Tsu 粘性土 Tcu | | | | | Tcu | | Tsu, Tcu | | | | Tcu | |
| | | 下部 Tl 砂質土 Tsm 粘性土 Tcl 砂質土 Tsl 砂礫 Tg | | | | | Tsl, Tg | | Tcl, Tsl, Tg | | Tcl, Tsl, Tg | | | Tcl, Tsl, Tg | |
| 前期 | 江戸川層 | 上部 Eu 砂質土 Esu 砂礫 Egu | | Esu, Ecu, Egu | | | | Esu, Ecu, Egu | | | | | | | |
| | 下部 El 砂質土 Esl 粘性土 Ecl 砂礫 Egl | | | Esl | | | Esl | | (Esl) | | | | | | |
| 前期 | 上総層群 K | 粘性土 Km 砂質土 Ks | Km, Ks (全地域に分布) | | | | | | | | | | | | |

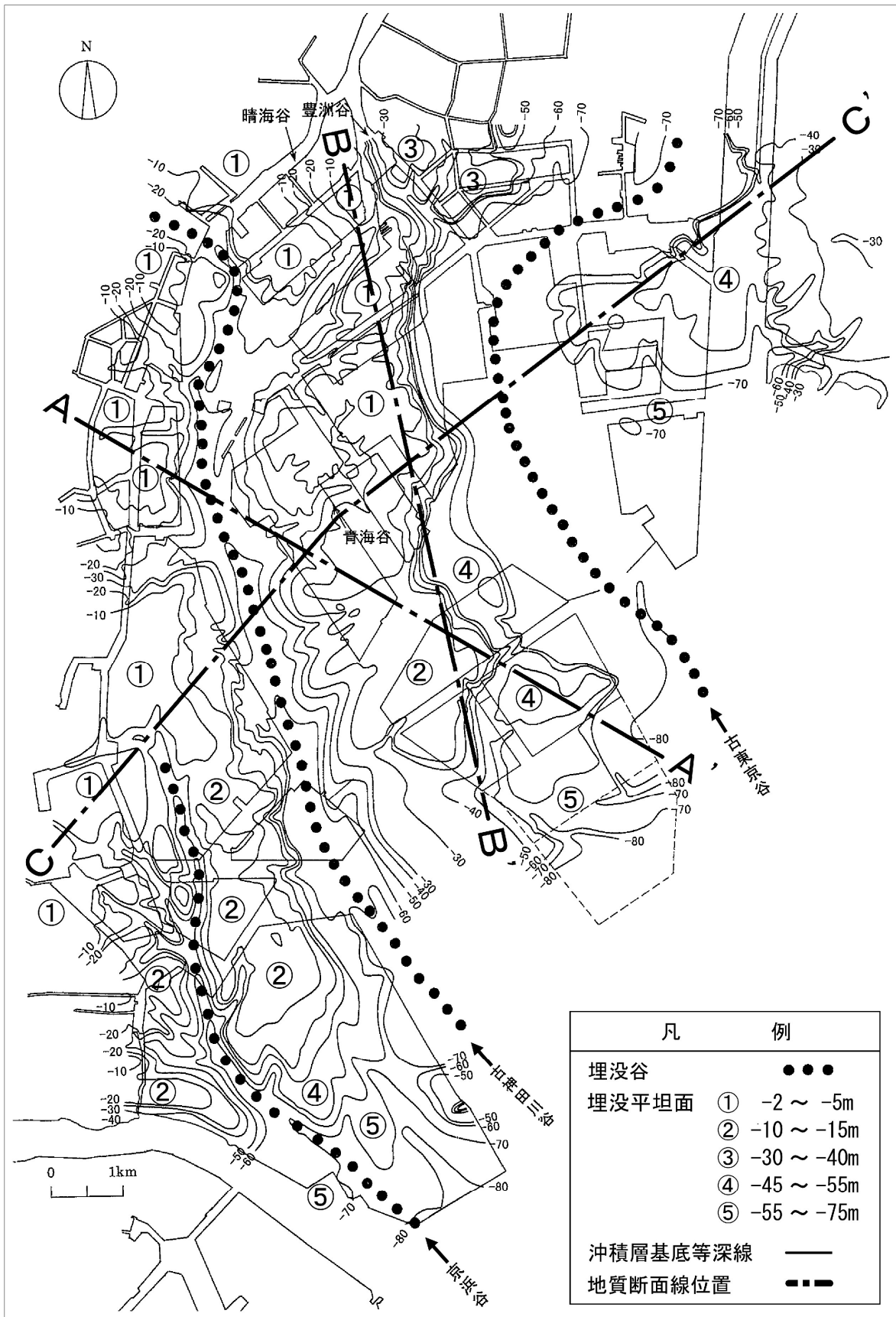
出典：「新版 東京港地盤図（平成 13 年 6 月）（東京都港湾局）」

沖積層下には、最終氷河期前後に形成された埋没谷、最終氷期前に河川沿いに発達した段丘面や波浪浸食によって形成された波食台等の埋没平坦面が認められる（図Ⅷ-2-2 参照）。

埋没谷としては、荒川河口から第三航路付近に至る古東京谷（谷幅 2 km 前後、深さ -70~-80m）、浜離宮から第一航路付近に至る古神田川谷（谷幅 0.6km 前後、深さ -40~-60m 以深）、大井埠頭その 1 の南西部から東京国際空港西側に至る古多摩川水系の京浜谷等がある。

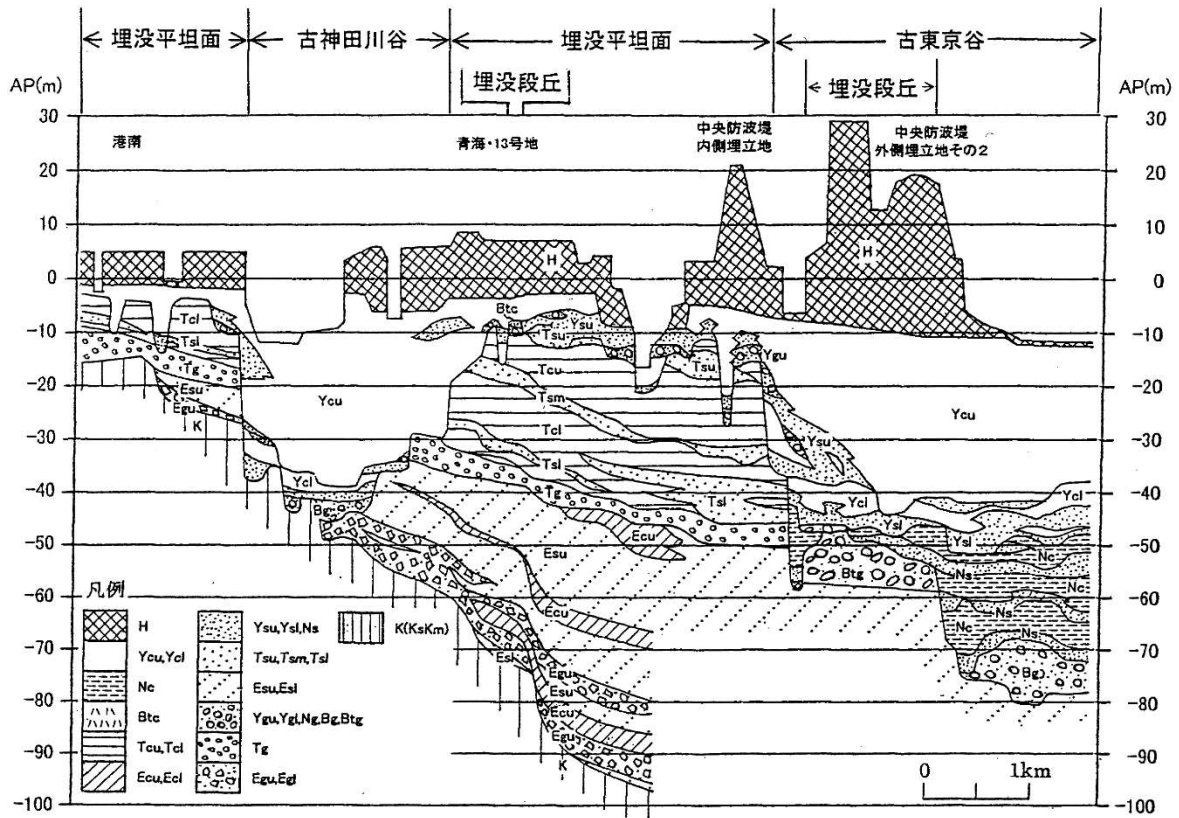
また、埋没平坦面は 5 面に細分されるが、段丘面は -10~-15m、-30~-40m、-45~-55m 付近に形成され、波食台等の浸食面は -2~-5 m、-10~-15m、-30~-40m、-45~-55m 付近に認められる。

なお、図Ⅷ-2-2 に記載した東京港中央部を北西-南東に横断する断面（A-A'）、南北に横断する断面（B-B'）及び南西-北東に横断する断面（C-C'）、それぞれの地質断面図は、図Ⅷ-2-3~図Ⅷ-2-5 に示すとおりである。



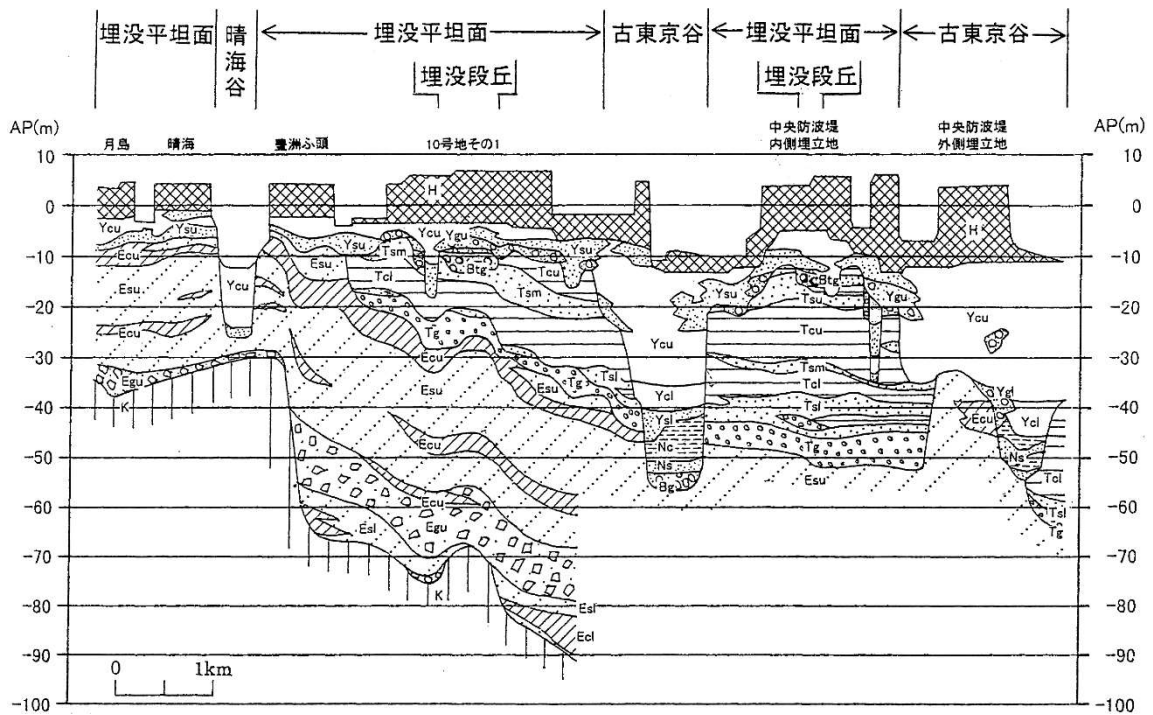
出典：「新版 東京港地盤図（平成13年6月）（東京都港湾局）」

図VIII-2-2 東京港の埋没地形



図VIII-2-3 東京港中央部を北西-南東に横断する模式断面図 (A-A'断面)

(断面線は、図VIII-2-2に示す)



図VIII-2-4 東京港中央部を南北に横断する模式断面図 (B-B'断面)

(断面線は図VIII-2-2に、図中の記号は図VIII-2-3に示す)

2-2-3 気象

気象庁東京管区気象台における観測結果の概要は、表Ⅷ-2-6 に示すとおりである。

(1) 気温

過去30年間（1991～2020年）の年平均気温は15.8℃である。

また、観測史上の最高気温は、2004年7月20日の39.5℃、最低気温は1876年1月13日の-9.2℃である。

(2) 降水量

過去30年間（1991～2020年）の年平均降水量は1,598.2mmで、60%弱が梅雨、台風時期の6月から10月に集中している。

また、観測史上の最大日降水量は、1958年9月26日に371.9mmが記録されている。

(3) 風況

過去30年間（1991～2020年）の年平均風速は2.9mであり、季節的な変動も大きくはない。なお、1938年9月1日には46.7mの最大瞬間風速が記録されている。

また、東京港付近における風向・風速は東京港波浪観測所で計測されている。その測定結果は表Ⅷ-2-7及び図Ⅷ-2-6に示すとおりである（2010～2021年）。

年間を通じてNNW～NNE、Sの風がそれぞれ39.9%、15.5%と卓越し、W系の風（WSW～WNW）の頻度は3.8%となっている。

表Ⅷ-2-6 東京における気象

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 全年 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 平均気温 ℃ | 5.4 | 6.1 | 9.4 | 14.3 | 18.8 | 21.9 | 25.7 | 26.9 | 23.3 | 18.0 | 12.5 | 7.7 | 15.8 |
| 最高気温 ℃ | 9.8 | 10.9 | 14.2 | 19.4 | 23.6 | 26.1 | 29.9 | 31.3 | 27.5 | 22.0 | 16.7 | 12.0 | 20.3 |
| 最低気温 ℃ | 1.2 | 2.1 | 5.0 | 9.8 | 14.6 | 18.5 | 22.4 | 23.5 | 20.3 | 14.8 | 8.8 | 3.8 | 12.1 |
| 平均風速 m/s | 2.7 | 3.0 | 3.1 | 3.2 | 3.1 | 2.8 | 3.2 | 2.9 | 2.7 | 2.6 | 2.5 | 2.6 | 2.9 |
| 日照時間 時間 | 192.6 | 170.4 | 175.3 | 178.8 | 179.6 | 124.2 | 151.4 | 174.2 | 126.7 | 129.4 | 149.8 | 174.4 | 1926.7 |
| 降水量 mm | 59.7 | 56.5 | 116.0 | 133.7 | 139.7 | 167.8 | 156.2 | 154.7 | 224.9 | 234.8 | 96.3 | 57.9 | 1598.2 |

注1) 観測地点：東京気象台（緯度：北緯35度41.4分／経度：統計139度45.6分）

注2) 統計期間：1991～2020（30年）

出典：「気象統計情報」（気象庁）

表VIII-2-7 東京港波浪観測所における風向・風速階級別出現頻度表

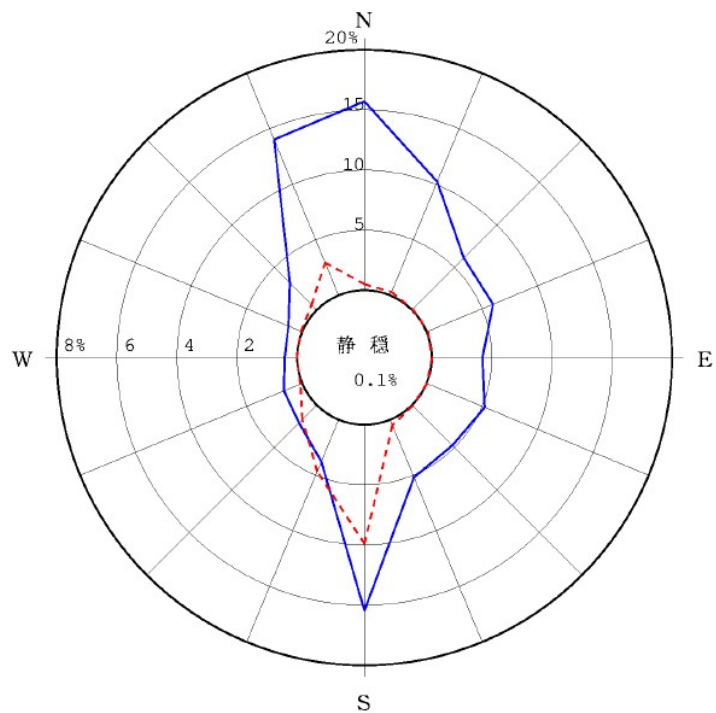
| 風速 (m/s) | N | NNE | NE | ENE | E | ESE | SE | SSE | S | SSW | SW | WSW | W | WNN | NW | NNW | 合計 | 規正回数 | |
|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | 欠 | 余 |
| 0.3~1.0 | 245 (0.3) | 222 (0.2) | 176 (0.2) | 178 (0.2) | 183 (0.2) | 115 (0.1) | 95 (0.1) | 70 (0.1) | 74 (0.1) | 85 (0.1) | 93 (0.1) | 129 (0.1) | 119 (0.1) | 161 (0.2) | 2285 (2.4) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) | 95561 (3.04) |
| 1.0~2.0 | 1207 (1.3) | 1179 (1.2) | 701 (0.8) | 767 (0.8) | 608 (0.6) | 316 (0.3) | 191 (0.2) | 141 (0.1) | 134 (0.1) | 206 (0.2) | 257 (0.3) | 256 (0.3) | 370 (0.4) | 735 (0.8) | 8753 (9.2) | 11038 (11.6) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) |
| 2.0~3.0 | 2545 (2.7) | 2197 (2.3) | 1086 (1.1) | 1087 (1.1) | 1127 (1.2) | 552 (0.6) | 301 (0.4) | 136 (0.1) | 156 (0.2) | 311 (0.3) | 268 (0.3) | 281 (0.3) | 379 (0.4) | 1182 (1.2) | 13985 (14.7) | 95023 (26.3) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) |
| 3.0~4.0 | 3094 (3.3) | 2162 (2.3) | 1077 (1.1) | 878 (0.9) | 744 (0.8) | 1104 (1.2) | 529 (0.6) | 93 (0.1) | 116 (0.1) | 269 (0.3) | 184 (0.2) | 230 (0.2) | 307 (0.4) | 1538 (1.6) | 14221 (15.0) | 39244 (41.3) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) |
| 4.0~5.0 | 2758 (2.9) | 1693 (1.8) | 918 (1.0) | 813 (0.9) | 582 (0.6) | 731 (0.8) | 914 (1.0) | 156 (0.2) | 123 (0.1) | 192 (0.2) | 77 (0.1) | 105 (0.1) | 330 (0.3) | 1880 (1.8) | 12641 (13.3) | 51885 (54.6) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) |
| 5.0~6.0 | 2112 (2.2) | 1089 (1.1) | 785 (0.8) | 731 (0.8) | 474 (0.5) | 382 (0.4) | 758 (0.9) | 153 (0.2) | 118 (0.1) | 162 (0.2) | 35 (0.0) | 48 (0.1) | 237 (0.3) | 1873 (1.8) | 10566 (11.1) | 62431 (65.7) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) |
| 6.0~7.0 | 1319 (1.4) | 638 (0.7) | 532 (0.6) | 615 (0.6) | 208 (0.2) | 348 (0.4) | 1853 (1.9) | 230 (0.2) | 166 (0.2) | 107 (0.1) | 23 (0.0) | 34 (0.0) | 274 (0.3) | 1524 (1.6) | 8603 (9.1) | 71054 (77.8) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) |
| 7.0~8.0 | 834 (0.9) | 316 (0.3) | 315 (0.3) | 323 (0.3) | 182 (0.2) | 182 (0.2) | 1996 (2.1) | 246 (0.3) | 147 (0.2) | 80 (0.1) | 17 (0.0) | 23 (0.0) | 262 (0.3) | 1498 (1.6) | 77782 (81.8) | 8726 (9.1) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) |
| 8.0~9.0 | 409 (0.4) | 139 (0.1) | 127 (0.1) | 178 (0.2) | 44 (0.0) | 44 (0.0) | 1902 (2.0) | 270 (0.3) | 154 (0.2) | 51 (0.1) | 8 (0.0) | 18 (0.0) | 1251 (1.3) | 5022 (5.3) | 82804 (87.1) | 8726 (9.1) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) |
| 9.0~10.0 | 217 (0.2) | 46 (0.0) | 46 (0.0) | 73 (0.1) | 15 (0.0) | 15 (0.0) | 1685 (1.8) | 316 (0.3) | 157 (0.2) | 37 (0.0) | 5 (0.0) | 14 (0.0) | 150 (0.2) | 978 (1.0) | 85714 (91.2) | 8726 (9.1) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) |
| 10.0~11.0 | 107 (0.1) | 21 (0.0) | 21 (0.0) | 25 (0.0) | 4 (0.0) | 4 (0.0) | 1256 (1.3) | 382 (0.4) | 152 (0.2) | 27 (0.0) | 3 (0.0) | 12 (0.0) | 105 (0.1) | 530 (0.6) | 2735 (2.9) | 8949 (9.4) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) |
| 11.0~12.0 | 51 (0.1) | 18 (0.0) | 9 (0.0) | 11 (0.0) | 3 (0.0) | 3 (0.0) | 935 (1.0) | 296 (0.3) | 148 (0.2) | 15 (0.0) | 1 (0.0) | 12 (0.0) | 58 (0.1) | 281 (0.3) | 1893 (2.0) | 91342 (96.1) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) |
| 12.0~13.0 | 15 (0.0) | 3 (0.0) | 2 (0.0) | 2 (0.0) | 1 (0.0) | 1 (0.0) | 653 (0.7) | 298 (0.3) | 104 (0.1) | 11 (0.0) | 1 (0.0) | 9 (0.0) | 47 (0.0) | 153 (0.2) | 1333 (1.4) | 92675 (97.2) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) |
| 13.0~14.0 | 15 (0.0) | 3 (0.0) | 1 (0.0) | 1 (0.0) | 3 (0.0) | 3 (0.0) | 363 (0.4) | 264 (0.3) | 91 (0.1) | 6 (0.0) | 4 (0.0) | 13 (0.0) | 70 (0.1) | 849 (0.9) | 93524 (98.4) | 92675 (97.2) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) |
| 14.0~15.0 | 2 (0.0) | 1 (0.0) | 2 (0.0) | 2 (0.0) | 2 (0.0) | 2 (0.0) | 235 (0.2) | 202 (0.2) | 57 (0.1) | 3 (0.0) | 2 (0.0) | 2 (0.0) | 8 (0.0) | 47 (0.0) | 570 (0.6) | 94094 (99.0) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) |
| 15.0~20.0 | 2 (0.0) | 1 (0.0) | 1 (0.0) | 6 (0.0) | 4 (0.0) | 4 (0.0) | 304 (0.3) | 309 (0.3) | 93 (0.1) | 2 (0.0) | 1 (0.0) | 1 (0.0) | 4 (0.0) | 28 (0.0) | 778 (0.8) | 94872 (99.8) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) |
| 20.0~30.0 | 1 (0.0) | 1 (0.0) | 1 (0.0) | 1 (0.0) | 1 (0.0) | 1 (0.0) | 7 (0.0) | 18 (0.0) | 2 (0.0) | 1 (0.0) | 1 (0.0) | 1 (0.0) | 1 (0.0) | 1 (0.0) | 52 (0.0) | 94924 (99.9) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) |
| 30.0m/s以上 | | | | | | | 1 (0.0) | 2 (0.0) | | | | | | | 4 (0.0) | 94926 (99.9) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) |
| 合計 | 14932 (15.7) | 9728 (10.2) | 5797 (6.1) | 5692 (6.0) | 4977 (5.2) | 4510 (4.7) | 14699 (15.5) | 3580 (3.8) | 1992 (2.1) | 1564 (1.6) | 983 (1.0) | 1178 (1.2) | 3010 (3.2) | 13340 (14.0) | 94928 (99.9) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) | 95561 (3.04) |
| 累計 | 14932 (15.7) | 24660 (25.9) | 30457 (32.0) | 36149 (38.0) | 45139 (47.5) | 48649 (52.2) | 63281 (67.4) | 72861 (76.7) | 74853 (78.7) | 76417 (80.4) | 77400 (81.4) | 78578 (82.7) | 81588 (85.8) | 94928 (99.9) | 1281 (0.14) | 949281 (99.94) | 98617 (96.44) | 95561 (3.04) | 949281 (99.94) |

注) 風速が0.3m/s以上の風向別風速の分布を示す。
上段は出現回数、下段 () 内は出現率 (%) を示す。

出典：「東京港波浪観測年報 令和3年版」(東京都港湾局)

地点：東京港波浪観測所

期間：平成22年(2010年)10月～令和3年(2021年)12月



平成22年(2010年)10月～令和3年(2021年)12月

観測場所：東京港波浪観測所 総測得回数：95,056回 (測得率 96.4%)

静穏は風速0.3m/s未満

----- は風速10.0m/sを越す強風の割合を示す(8%スケール)

出典：「東京港波浪観測年報 令和3年版」(東京都港湾局)

図VIII-2-6 東京港風配図

2-2-4 台風

東京都は、本州のほぼ中央部、太平洋に南面する東京湾の湾奥部に位置している。このため、台風が本州南岸、東京都の東南方面をかすめて通過する場合は、関東北西部の山岳部に豪雨をもたらし、利根川、荒川、多摩川等に洪水が発生するケースが多く、一方、東京都の西側に上陸した場合には、東京湾に高潮が発生し、江戸川から大田区に至る臨海部や低地では水害を受けることがある。

過去10年間に東京都に来襲した台風を表VIII-2-8に示す。

最近では、令和元年9月に関東地方に上陸した台風15号の影響により、強風等による人的被害や建物等の被害、鉄道の運休や航空機・船舶の欠航、広域の停電などの交通障害やライフラインへの影響があったほか、土砂災害、浸水害等、大きな影響をおよぼしている。

表VIII-2-8 東京都に来襲した主な台風

| 年次 | 災害種別 | 気圧 hPa | 最大風速 m/s | 瞬間最大 m/s |
|-----------------|-------|-----------|-------------|-------------|
| 平成25年10月 (2013) | 26号台風 | 976 | NNW 14.1 | NW 26.8 |
| 平成25年10月 (2013) | 27号台風 | 998 | NNW 6.0 | N 12.0 |
| 平成26年10月 (2014) | 18号台風 | 935 | SSW 29.5 | SSW 42.6 |
| 平成27年7月 (2015) | 11号台風 | 925 | SSW 19.6 | S 26.7 |
| 平成27年9月 (2015) | 18号台風 | 985 | SE 22.3 | SE 30.9 |
| 平成28年8月 (2016) | 9号台風 | 975 | W 30.4 | ENE 50.9 |
| 平成29年10月 (2017) | 21号台風 | 925 | SSW 35.5 | SSW 47.3 |
| 平成30年7月 (2018) | 12号台風 | 965 | NE 30.5 | NE 39.0 |
| 平成30年9月 (2018) | 21号台風 | 915 | SSE 21.4 | S 31.5 |
| 平成30年9月 (2018) | 24号台風 | 915 | SSW 33.3 | SSE 45.6 |
| 令和元年9月 (2019) | 15号台風 | 955 | ESE 43.4 | ESE 58.1 |
| 令和元年10月 (2019) | 19号台風 | 915 | 不明 34.8 | 不明 44.8 |
| 令和2年10月 (2020) | 14号台風 | 965 | NE 23.6 | NE 30.9 |
| 令和3年9月 (2021) | 16号台風 | 920 | 不明 29.3 | 不明 41.7 |

出典：東京管区気象台HP（気象庁）より東京都作成

2-2-5 波浪

東京港の波浪は、2010年10月以降は東京港波浪観測所で観測されている。東京港波浪観測所における観測結果の概要は、表Ⅷ-2-9に示すとおりである。

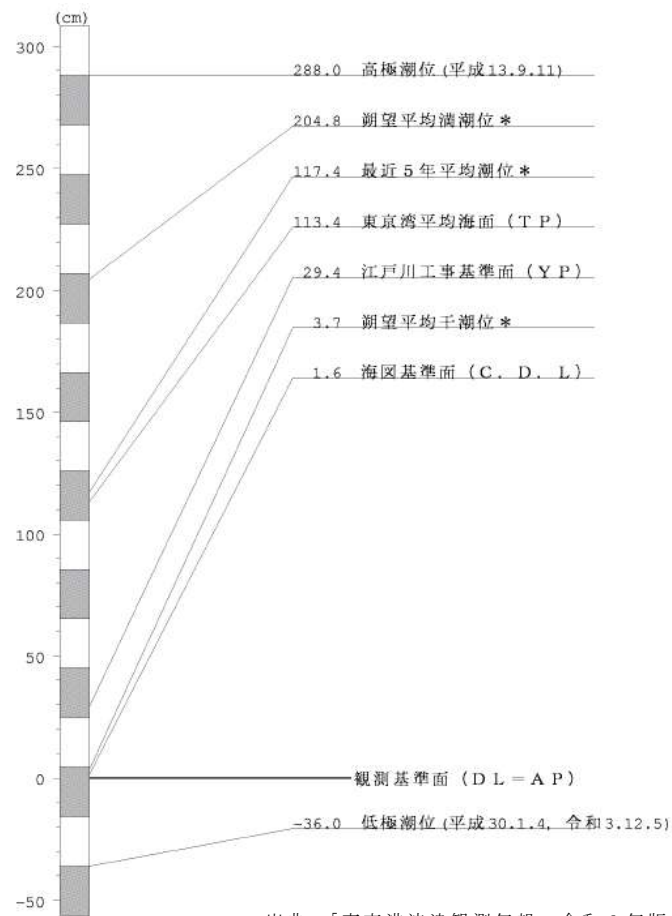
表Ⅷ-2-9 年次別・有義波高階級別 波浪出現回数及び出現率 (H22.10～R3.12)

| 波高(cm) | 平22年 | 平23年 | 平24年 | 平25年 | 平26年 | 平27年 | 平28年 | 平29年 | 平30年 | 令元年 | 令2年 | 令3年 | 累年 |
|---------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|
| 25cm未満 | 1537 (72.3) | 5104 (59.4) | 5563 (63.9) | 5457 (62.4) | 5883 (67.2) | 5894 (68.2) | 6108 (70.9) | 5992 (68.4) | 4031 (61.2) | 6106 (69.9) | 6067 (69.9) | 6002 (68.6) | 63744 (66.6) |
| 25～50 | 526 (24.7) | 3012 (35.0) | 2716 (31.2) | 2778 (31.7) | 2488 (28.4) | 2429 (28.1) | 2209 (25.7) | 2450 (28.0) | 2060 (31.3) | 2344 (26.8) | 2258 (26.0) | 2386 (27.3) | 27656 (28.9) |
| 50～75 | 60 (2.8) | 420 (4.9) | 363 (4.2) | 453 (5.2) | 326 (3.7) | 285 (3.3) | 237 (2.8) | 256 (2.9) | 402 (6.1) | 234 (2.7) | 315 (3.6) | 303 (3.5) | 3654 (3.8) |
| 75～100 | 4 (0.2) | 51 (0.6) | 37 (0.4) | 50 (0.6) | 46 (0.5) | 26 (0.3) | 36 (0.4) | 44 (0.5) | 82 (1.2) | 39 (0.4) | 32 (0.4) | 45 (0.5) | 492 (0.5) |
| 100～125 | | 5 (0.1) | 10 (0.1) | 3 (0.0) | 7 (0.1) | 5 (0.1) | 14 (0.2) | 9 (0.1) | 9 (0.1) | 6 (0.1) | 2 (0.0) | 15 (0.2) | 85 (0.1) |
| 125～150 | | 2 (0.0) | 5 (0.1) | 7 (0.1) | 7 (0.1) | 1 (0.0) | 5 (0.1) | 3 (0.0) | | 3 (0.0) | | 1 (0.0) | 34 (0.0) |
| 150～175 | | 1 (0.0) | 5 (0.1) | 4 (0.0) | | 1 (0.0) | | 2 (0.0) | | 2 (0.0) | | | 15 (0.0) |
| 175～200 | | 2 (0.0) | 2 (0.0) | | | | | | | 2 (0.0) | | | 6 (0.0) |
| 200～225 | | 1 (0.0) | | | | | | | | 1 (0.0) | | | 2 (0.0) |
| 225～250 | | | | | | | | | | 3 (0.0) | | | 3 (0.0) |
| 250～275 | | | | | | | | | | | | | 0 (0.0) |
| 275～300 | | | | | | | | | | | | | 0 (0.0) |
| 300cm以上 | | | | | | | | | | 1 (0.0) | | | 1 (0.0) |
| 合計 | 2127 | 8598 | 8701 | 8752 | 8757 | 8641 | 8609 | 8756 | 6584 | 8741 | 8674 | 8752 | 95692 |
| 規定数 | 2208 | 8760 | 8784 | 8760 | 8760 | 8760 | 8784 | 8760 | 8760 | 8760 | 8784 | 8760 | 98640 |
| 測得率 | 96.3 | 98.2 | 99.1 | 99.9 | 100.0 | 98.6 | 98.0 | 100.0 | 75.2 | 99.8 | 98.7 | 99.9 | 97.0 |

出典：「東京港波浪観測年報 令和3年版」(東京都港湾局)

2-2-6 潮位

東京港波浪観測所における潮位実況図は、図Ⅷ-2-7 に示すとおりである。



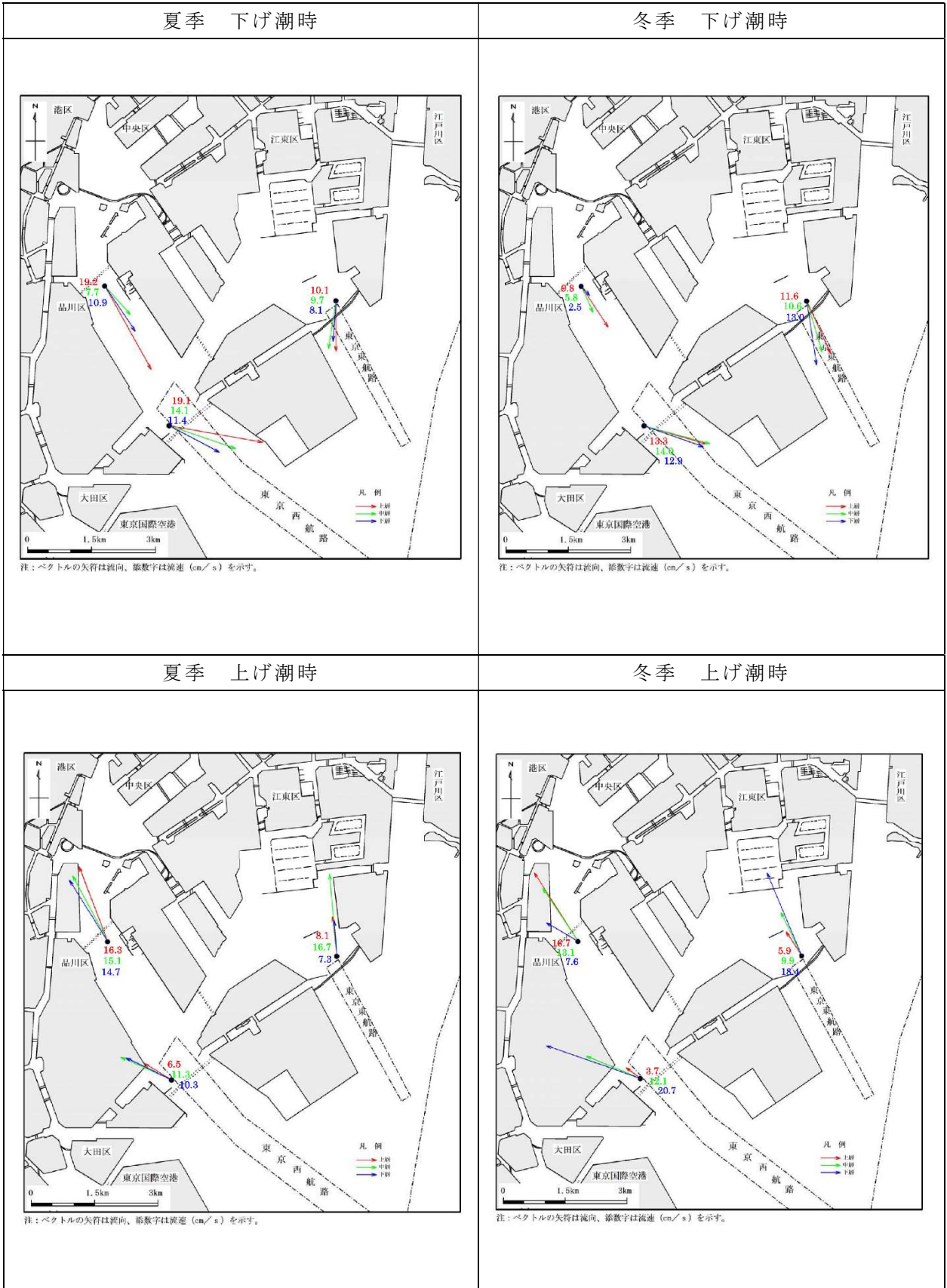
出典：「東京港波浪観測年報 令和3年版」(東京都港湾局)

図Ⅷ-2-7 潮位図

2-2-7 潮流

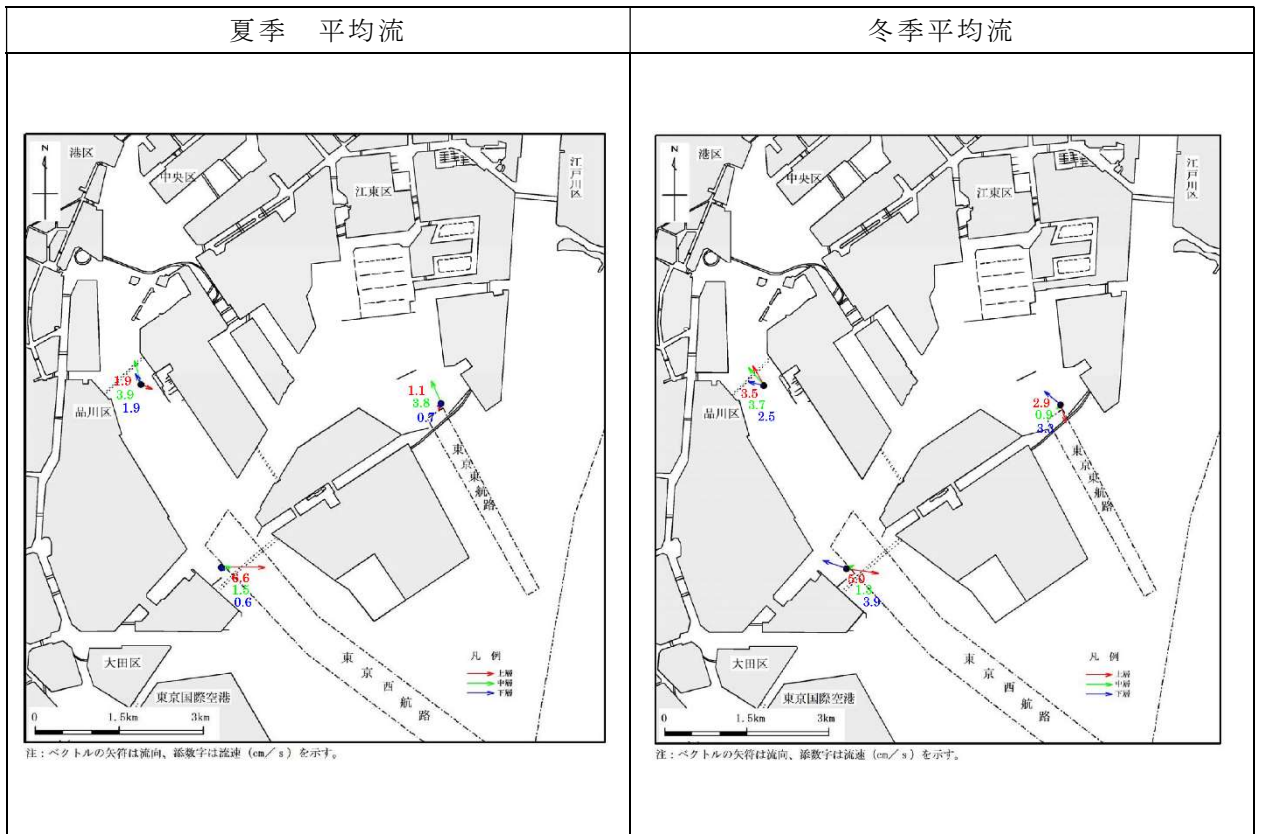
東京港における潮流については、2019年8月8～8月23日、2020年2月1日～2月16日に連続観測を実施している。

観測結果に基づく東京港の平均的な流況は、図Ⅷ-2-8～図Ⅷ-2-9 に示すとおりである。



出典：「令和4年度東京港環境影響予測調査委託」（東京都港湾局）

図Ⅷ-2-8 平均大潮期 潮流分布



出典：「令和4年度東京港環境影響予測調査委託」（東京都港湾局）

図VIII-2-9 調査期間平均 潮流分布

3. 港湾の沿革

| 年号 | 西暦 | 記事 |
|-------|-------|--|
| 長祿元年 | 1457年 | 太田道灌が江戸城を築城し、江戸湊繁栄 |
| 慶長17年 | 1612年 | 徳川幕府江戸湊の改築に着手 |
| 安政元年 | 1854年 | 第一、第二、第三、第五、第六台場及び品川獵師町地砲台完成 |
| 明治元年 | 1868年 | 東京遷都、東京府設置 |
| 明治13年 | 1880年 | 東京府知事はじめて東京港築港論を提案 市区取調委員局を設け築港調査を実施 |
| 明治20年 | 1887年 | 東京湾浚渫(みおさらい)工事開始500トン以下の小型船舶が入港可能となる |
| 明治31年 | 1898年 | 自治制がしかかれ東京市役所開庁(10月) |
| 明治39年 | 1906年 | 第1期隅田川口改良工事を明治44年まで実施、400～500トン級小型船舶が航行できるように航路及び泊地をしゅんせつし、その土で埋立地を造成 |
| 明治40年 | 1907年 | 第二種重要港湾に指定される |
| 明治44年 | 1911年 | 第2期隅田川口改良工事を大正5年まで実施し、1,000トン級船舶が航行できるように航路及び泊地をしゅんせつし、その土で埋立地を造成 |
| 大正11年 | 1922年 | 第3期隅田川口改良工事を昭和10年まで実施し、3,000トン級船舶を対象(関東大震災後5,000トン級に変更)に岸壁、泊地の造成工事を行う |
| 大正12年 | 1923年 | 関東大震災により陸上交通機能が麻ひ、東京港の重要性が認識される |
| 大正13年 | 1924年 | 芝浦水陸連絡施設事業(関東大震災応急工事)を起工し、大正14年、日の出棧橋が完成、同15年使用開始 |
| 昭和3年 | 1928年 | 芝浦臨港鉄道敷設工事を昭和5年まで実施 |
| 昭和6年 | 1931年 | 東京港修築工事を昭和20年まで実施 |
| 昭和7年 | 1932年 | 芝浦岸壁竣工 |
| 昭和9年 | 1934年 | 竹芝棧橋竣工 |
| 昭和15年 | 1940年 | 東京港拡充工事を昭和18年まで実施 |
| 昭和16年 | 1941年 | 5月20日開港(京浜港として当時の満州国、中華民国、関東州のみを対象とする制限付開港) |
| 昭和18年 | 1943年 | 東京都制公布府・市合併、東京都発足 |
| 昭和20年 | 1945年 | 終戦とともに、主要港湾施設(芝浦岸壁、日の出・竹芝棧橋及び上屋等)は、ほとんど駐留軍により接収、昭和28年から順次返還、昭和34年には東京港における接収は全面的に解除 |
| 昭和21年 | 1946年 | 東京港応急整備工事の実施、豊洲石炭ふ頭工事等が行われる |
| 昭和22年 | 1947年 | 東京港修築5年計画立案 |
| 昭和23年 | 1948年 | 港則法、港域法の施行により京浜港域が決定、また、東京港修築5年計画は港湾復興計画として決定(昭和24年度から昭和28年度まで実施) |
| 昭和25年 | 1950年 | 港湾法の制定(5月) 豊洲石炭ふ頭の一部分完成、操業開始(11月) |
| 昭和26年 | 1951年 | 港湾法に基づき、京浜港として重要港湾に指定(1月) 同じく特定重要港湾に指定(9月) 東京都が東京港の港湾管理者となると同時に、東京港の港湾区域が認可(11月) |
| 昭和28年 | 1953年 | 深川線・深川石炭ふ頭構内線の専用線開通(臨港鉄道)(7月) |
| 昭和29年 | 1954年 | 東京港修築第二次5年計画立案実施(昭和30年度で工事打切) 東京都港湾設備条例施行(4月) |
| 昭和30年 | 1955年 | 晴海ふ頭の一部分供用開始(3月) |
| 昭和31年 | 1956年 | 東京港港湾計画(10年計画)を決定、昭和31年度から昭和35年度まで実施 |
| 昭和32年 | 1957年 | 鉄鋼ふ頭の建設を決定、昭和34年に業務開始 晴海線臨港鉄道開通(専用線)(12月) |
| 昭和36年 | 1961年 | 東京港改訂港湾計画(10年計画)を決定、昭和36年度から昭和40年度まで実施 日の出・芝浦線臨港鉄道開通(専用線)、芝浦線(4月)、日の出線(昭和40年5月) |
| 昭和37年 | 1962年 | 東京都営空港条例施行(4月) |

| 年号 | 西暦 | 記事 |
|-------|-------|---|
| 昭和38年 | 1963年 | 月島ふ頭(漁業基地の物揚場、ドルフィン)供用開始(4月) |
| | | 晴海ふ頭(貨客船棧橋)供用開始(6月) |
| | | 品川ふ頭(内貿岸壁)供用開始(9月) |
| 昭和39年 | 1964年 | 東京都東京ヘリポート供用開始(6月) |
| 昭和40年 | 1965年 | 東京港の港湾区域の変更(11月) |
| 昭和41年 | 1966年 | 東京港第二次改訂港湾計画(目標年次昭和50年)決定 |
| | | 品川ふ頭(外貿岸壁・棧橋)供用開始 |
| 昭和42年 | 1967年 | 品川ふ頭(外貿棧橋-コンテナ)供用開始 |
| | | 北米西岸定期航路の第一船、コンテナ船「ハワイアン・プランター号」品川ふ頭に入港(9月) |
| | | 京浜外貿埠頭公団設立(10月) |
| 昭和43年 | 1968年 | 13号地岸壁供用開始(7月) |
| | | 10号地西岸壁供用開始(9月) |
| 昭和46年 | 1971年 | 10号地東岸壁の一部供用開始(7月) |
| | | 大井コンテナふ頭の一部供用開始(11月) |
| | | 欧州定期航路の第一船、コンテナ船「鎌倉丸」が大井ふ頭に入港(12月) |
| 昭和47年 | 1972年 | (財)東京港フェリー埠頭公社設立(1月) |
| | | 東京-釧路間、東京-苫小牧間にフェリー定期航路開設(4月) |
| | | 日本-太平洋運賃同盟(TPFC)及び日本-ウエストカナダ運賃同盟(JWCFC)が東京港をベースポートに指定(6月) |
| | | 東京ヘリポートが14号地に移転、供用開始(6月) |
| | | 北欧定期コンテナ航路大井ふ頭に開設(6月) |
| | | 北米東岸定期航路の第一船、コンテナ船「東米丸」が大井ふ頭に入港(8月) |
| | | 日本-大西洋運賃同盟(JAAGFC)が東京港をベースポートに指定(8月) |
| | | 10号地東岸壁7バース供用開始(8月) |
| | | 12号地木材専用ドルフィンの一部供用開始(9月) |
| | | 日本-イーストカナダ運賃同盟(JECFC)が東京港をベースポートに指定(12月) |
| | | 地中海定期航路の第一船、コンテナ船「メダリアナ号」が大井ふ頭に入港(12月) |
| | | ナホカ定期航路コンテナ船就航(12月) |
| 昭和48年 | 1973年 | 東京-高知間にカーフェリー定期航路開設(3月) |
| | | 13号地ふ頭一般外貿貨物定期船ふ頭一部供用開始(3月) |
| | | 台湾定期航路コンテナ船就航(4月) |
| | | 油とゴミを同時に収集する日本最初の新鋭清掃船「第五清海丸」が就航(4月) |
| | | 韓国定期航路コンテナ船就航(8月) |
| | | ホンコン定期航路コンテナ船就航(11月) |
| | | 東京-小倉間にカーフェリー定期航路開設(12月) |
| 昭和49年 | 1974年 | 東京東防波堤燈台点灯(3月) |
| | | 10号地カーフェリー専用バース一部供用開始(5月) |
| | | 東京-徳島間にカーフェリー定期航路開設(5月) |
| | | 一般外貿貨物定期船ふ頭供用開始(7月) |
| | | 大井水産物ふ頭棧橋、15号地木材ふ頭岸壁並びに15号地木材用荷役設備の一部供用開始(10月) |
| | | 東京港外貿定期船誘致使節団派遣(10月) |

| 年号 | 西暦 | 記事 |
|-------|-------|--|
| 昭和50年 | 1975年 | 東京中央防波堤西燈台点灯(3月) |
| | | 大井コンテナふ頭全バース供用開始(10月) |
| | | 貨物専用フェリーが東京-北海道間に就航(10月) |
| | | 東京都海上公園条例施行(12月) |
| 昭和51年 | 1976年 | 東京港第三次改訂港湾計画(目標年次昭和55年)を決定(3月) |
| | | 大井水産物専門ふ頭1号上屋供用開始(5月) |
| | | 小笠原父島・母島間に定期航路就航(5月) |
| | | 東京中央防波堤東燈台点灯(10月) |
| | | ニュージーランド定期航路の第一船、コンテナ船「ゴットウイト号」が大井ふ頭に入港(10月) |
| 昭和52年 | 1977年 | 東京都入港料条例施行(1月) |
| | | 大井水産物専門ふ頭2号上屋供用開始(4月) |
| | | 10号地カーフェリー専用バース供用開始(4月) |
| 昭和53年 | 1978年 | 大井水産物専門ふ頭3号上屋供用開始(5月) |
| 昭和54年 | 1979年 | 東京-博多間にコンテナ船定期航路開設(10月) |
| | | 東京港における年間取扱貨物量が開港以来初めて6千万トンに達する(1月～12月) |
| 昭和55年 | 1980年 | 東京港とニューヨーク・ニュージャージー港の姉妹港提携がニューヨーク市において調印(5月) |
| | | (財)東京港サービス公社設立(12月) |
| 昭和56年 | 1981年 | 東京西防波堤燈台点灯(3月) |
| | | 東京港と天津港との友好港提携が天津市において調印(6月) |
| | | 東京港第四次改訂港湾計画(目標年次昭和65年)を決定(10月) |
| | | (財)東京港フェリー埠頭公社改組、(財)東京港埠頭公社設立(12月) |
| 昭和57年 | 1982年 | 京浜外貿埠頭公団解散、(財)東京港埠頭公社が業務継承(3月) |
| 昭和58年 | 1983年 | 視察船「新東京丸」(197トン)就航(5月) |
| | | 大井海貨上屋1号棟供用開始(6月) |
| | | 東京港大井サービスセンター供用開始(12月) |
| | | 東京木材投下泊地防波堤西燈台点灯(12月) |
| 昭和59年 | 1984年 | 世界一周航路(コンテナ定期航路)開設(7月) |
| | | 芝浦、竹芝ふ頭再開発事業着手(芝浦10月、竹芝11月) |
| | | 東京-四国(松山)-和歌山間にコンテナ定期航路開設(10月) |
| 昭和60年 | 1985年 | 日の出・芝浦線(臨港鉄道)供用廃止(3月) |
| | | 豪華客船「オイローバ」晴海ふ頭に初入港(4月) |
| | | 大井海貨上屋2号棟供用開始(4月) |
| | | 青海コンテナふ頭一部供用開始(11月) |
| 昭和61年 | 1986年 | 深川線一部、深川石炭ふ頭構内線全線(臨港鉄道)供用廃止(1月) |
| | | 豪華客船「ロイヤル・バイキングスター」晴海ふ頭に初入港(9月) |
| | | 芝浦、竹芝ふ頭一部供用開始(ふ頭再開発事業)(11月) |
| 昭和62年 | 1987年 | 東京港連絡橋着工(1月) |
| | | 大井海貨上屋3号棟供用開始(4月) |
| | | 有明コロシアム供用開始(4月) |
| | | 豪華客船「ゴールデン・オデッセイ」晴海ふ頭に初入港(6月) |
| | | 青海流通センター供用開始(10月) |
| | | 東京港とロサンゼルス港の姉妹港提携が東京で調印(11月) |

| 年号 | 西暦 | 記事 |
|-------|-------|--|
| 昭和63年 | 1988年 | 東京港連絡橋の景観検討委員会報告「東京港連絡橋の景観について」(3月) |
| | | 大井海貨上屋4号棟供用開始(4月) |
| | | (財)東京港埠頭公社と(財)東京港サービス公社の合併(4月) |
| | | 東京港中国雑貨輸出入センター開始(品川ふ頭)(5月) |
| | | 東京港第五次改訂港湾計画(目標年次平成7年)策定(5月) |
| 平成元年 | 1989年 | 深川線・晴海線(臨港鉄道)全線廃止(2月) |
| | | 若洲建材ふ頭供用開始(4月) |
| | | 東京港・ロッテルダム港姉妹港提携(4月) |
| | | 芝浦内貿1号上屋供用開始(6月) |
| | | 豪華客船「クイーンエリザベスⅡ」晴海ふ頭に初入港(12月) |
| 平成2年 | 1990年 | 東京港・ニューヨーク/ニュージャージー港姉妹港提携10周年記念「共同宣言」調印(6月) |
| | | 東京ヘリポート拡張、全面供用開始(7月) |
| | | 竹芝棧橋全面供用開始(8月) |
| 平成3年 | 1991年 | 東京港開港50周年記念式典(5月) |
| | | 晴海客船ターミナル供用開始(5月) |
| | | 東京港・天津港友好港提携10周年(7月) |
| | | 芝浦内貿2号上屋供用開始(8月) |
| | | 竹芝客船ターミナル供用開始(12月) |
| 平成4年 | 1992年 | 東京夢の島マリーナ一部供用開始(3月) |
| | | 竹芝ふ頭通船ターミナル、東京港芝浦サービスセンター供用開始(7月) |
| | | 青海コンテナふ頭第一バース公共化(11月) |
| 平成5年 | 1993年 | 東京夢の島マリーナ全面供用開始(5月) |
| | | 大井ふ頭青果上屋1号棟供用開始(6月) |
| | | 大井食品ふ頭第二バース供用開始(6月) |
| | | レインボーブリッジ(東京港連絡橋)供用開始(8月) |
| | | 青海コンテナふ頭第二バース供用開始(8月) |
| 平成6年 | 1994年 | 南米定期航路の第一船「デイトレブローリツェン」青海コンテナふ頭に入港(2月) |
| | | 10号ふ頭自動車上屋供用開始(5月) |
| | | 青海コンテナふ頭第三バース共用開始(5月) |
| | | 港湾審議会「東京港の長期構想及び東京港第六次改訂港湾計画の基本方針」答申(7月) |
| | | 「東京港中国会」設立(10月) |
| | | 東京港で初の6万トン級貨物船「アルテア(60,117総トン)大井コンテナふ頭に入港(12月) |
| 平成7年 | 1995年 | 「阪神・淡路大震災」に港湾局現地調査団派遣(1月) |
| | | 城南島に建設発生土の受入基地(暫定)完成(2月) |
| | | 東京港・ニューヨーク/ニュージャージー港姉妹港提携15周年(6月) |
| | | 竹芝客船ターミナル(南ゾーン)供用開始(9月) |
| | | 大井海貨上屋(第5号)供用開始(9月) |
| | | 東京臨海新交通臨海線・ゆりかもめ(新橋～有明)開通(11月) |
| | | 芝浦内貿3号上屋供用開始(12月) |
| 平成8年 | 1996年 | 海上輸送システム運航開始(4月) |
| | | 青海コンテナふ頭第四バース供用開始(5月) |
| 平成9年 | 1997年 | 東京港フェリー新ターミナルビル供用開始(2月) |
| | | 「東京港第6次改定港湾計画」策定(4月告示) |
| | | 「東京港振興促進協議会」発足(7月) |

| 年号 | 西暦 | 記事 |
|-------|-------|--|
| 平成10年 | 1998年 | 大井コンテナふ頭新第七バース供用開始(10月) |
| | | 「東京港振興促進協議会」が全体のまとめ(9月) |
| 平成11年 | 1999年 | 大井食品上屋第2号棟供用開始(2月) |
| | | 大井コンテナふ頭新第三バース供用開始(4月) |
| | | 東京港振興促進協議会が「アクションプラン」を決定(4月) |
| | | 東京港「港湾EDI」運用開始〔電子データによる申請可能化〕(10月) |
| | | 大井コンテナふ頭新第二バース全面供用開始(11月) |
| 平成12年 | 2000年 | 中央防波堤内側ばら物ふ頭供用開始(5月) |
| | | 東京港・ニューヨーク/ニュージャージー港姉妹港提携20周年記念「共同宣言」調印(6月) |
| | | 大井コンテナふ頭新第六バース供用開始(9月) |
| 平成13年 | 2001年 | 東京港開港60周年(5月) |
| | | 大井コンテナふ頭新第四バース供用開始(10月) |
| | | 青海コンテナふ頭第0バース供用開始(12月) |
| 平成14年 | 2002年 | 東京港・天津港友好港提携20周年記念「交流事業覚書」調印(1月) |
| 平成15年 | 2003年 | 大井コンテナふ頭新第五バース供用開始(3月) |
| | | 東京港フェリーふ頭公共化(10月) |
| 平成16年 | 2004年 | 大井コンテナふ頭新第一バース供用開始(1月)〔大井コンテナふ頭新7バース全面供用開始〕 |
| | | 東京港振興促進協議会「新アクションプラン」策定(3月) |
| | | 東京都港湾管理条例施行(東京都港湾設備条例の全部改正)(4月) |
| | | スーパー中樞港湾の指定(京浜港:東京港・横浜港)(7月) |
| 平成17年 | 2005年 | 指定特定重要港湾の指定(京浜港)(7月) |
| 平成18年 | 2006年 | 「東京港第7次改定港湾計画」策定(3月告示) |
| | | ゆりかもめ豊洲延伸区間(有明～豊洲)開業(3月) |
| | | 指定管理者制度導入(船舶給水施設、客船ターミナル施設、海上公園)(4月) |
| | | 「財団法人東京港埠頭公社の民営化」の発表(5月) |
| 平成19年 | 2007年 | 東京夢の島マリーナ借受者募集要項公表(7月) |
| | | 東京夢の島マリーナ借受者決定(12月) |
| 平成20年 | 2008年 | 「東京港、川崎港、横浜港の広域連携強化に係る基本合意書」締結(3月) |
| | | 東京港埠頭株式会社 業務開始(4月) |
| | | 港湾審議会「東京港の今後の港湾経営戦略」答申(7月) |
| | | 東京港・川崎港・横浜港が初合同セミナー「京浜港利用促進セミナー」を開催(9月) |
| | | 京浜港広域連携推進会議設置(11月) |
| | | はしけ輸送の拡大による環境対策(はしけ入港料の全額免除)(11月) |
| 平成21年 | 2009年 | 東京港埠頭(株)等を株式会社東京臨海ホールディングスに経営統合 グループ5社体制発足(1月) |
| | | 東京港振興促進協議会「第3次アクションプラン」策定(2月) |
| | | 東京都・川崎市・横浜市の3首長による初のトップセールス(2月) |
| | | 東京港埠頭(株)による外貿コンテナふ頭の一元管理がスタート(4月) |
| | | 京浜港へのコンテナ船入港料の一元化(4月) |
| | | 東京港・ロッテルダム港姉妹提携20周年記念「共同声明」、「共同覚書」調印(5月) |
| | | 京浜三港と八戸港の連携に関する協定を締結(6月) |
| | | 「京浜港連携協議会(法定協議会)」、「京浜港事業提携委員会」設置(12月) |

| 年号 | 西暦 | 記事 |
|-------|-------|--|
| 平成22年 | 2010年 | 東京都・川崎市・横浜市「京浜港共同ビジョン」策定(2月) |
| | | 品川内貿ふ頭上屋Ⅰ期供用開始(4月) |
| | | 国際コンテナ戦略港湾の指定(京浜港:東京港、川崎港、横浜港)(8月) |
| | | 東京ゲートブリッジの名称決定(11月) |
| 平成23年 | 2011年 | 東京港開港70周年記念事業を展開 |
| | | 「東北地方太平洋沖地震」が発生(3月)し、被災地支援事業等を実施 |
| | | 港湾法改正に伴う港格見直しにより、京浜港が「国際戦略港湾」に規定(4月) |
| | | 「京浜港の総合的な計画」を策定(9月) |
| | | 品川内貿ふ頭上屋全面供用開始(11月) |
| 平成24年 | 2012年 | 東京ゲートブリッジを含む臨港道路供用開始(2月) |
| | | 「東京クルーズセミナー」を初開催(3月) |
| | | 大井ふ頭その1・その2間埋立事業の免許取得(5月) |
| 平成25年 | 2013年 | 2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の東京開催が決定(9月) |
| | | レインボーブリッジの外側の臨海副都心に大型クルーズ客船対応の新客船埠頭を港湾計画に位置づけ(11月) |
| 平成26年 | 2014年 | 「東京クルーズビジョン」を策定(1月) |
| | | 東京港第8次改訂港湾計画を策定(11月) |
| 平成27年 | 2015年 | 東京港コンテナふ頭周辺を「放置等禁止区域」に、台切りシャシーを「放置等禁止物件」に指定(1月) |
| | | 外航船の国際的な環境対策プログラムであるESI(Environmental Ship Index)に参加(3月) |
| 平成28年 | 2016年 | 「マリナー・オブ・ザ・シーズ」(138,279総トン・当時)が、大井水産物ふ頭へ初入港(4月) |
| | | 東京港や臨海副都心の多様な魅力を伝える都民向けセミナーを開催(12月) |
| 平成29年 | 2017年 | 東京港や臨海副都心の歴史、現在の姿、未来を紹介する広報展示室をオープン(4月) |
| | | 「東京港ホームポート認定」を開始(11月) |
| 平成30年 | 2018年 | 過去最大規模の「MSC PERLE」(141,754総トン、13,102TEU)が入港(7月) |
| 令和元年 | 2019年 | 小型船用の新たな栈橋の整備や人道橋を改修。また新たな小型船ターミナル「Hi-NODE(ハイノード)」が、開業(8月) |
| | | バルセロナ港と東京港の友好関係を深めるため、協定書を締結(11月) |
| 令和2年 | 2020年 | 港の機能強化、混雑解消を目指すため整備された中央防波堤外側ふ頭Y2ターミナルが供用開始(3月) |
| | | 新たな南北軸となる「臨海道路南北線及び接続道路」(「東京港海の森トンネル」、「海の森大橋」)が開通(6月) |
| | | 臨海副都心の新たなランドマーク「東京国際クルーズターミナル」が開業(9月) |
| 令和3年 | 2021年 | 東京港開港80周年(5月) |
| | | 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催(7月) |

4. 港湾施設の現況

4-1 水域施設

水域施設（航路）

| 名 称 | 幅員 (m) | 水深(m) | 位 置 |
|------|---------|-------------|---------------------|
| 第一航路 | 600~700 | -15.0~-16.0 | 中央防波堤西側 |
| 第二航路 | 300 | -12.0 | 中央防波堤北側 第1と第3を結ぶ |
| 第三航路 | 300~550 | -12.0 | 中央防波堤東側 |

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

4-2 外郭施設

防波堤・波除堤

| 名 称 | | 延長(m) | 名 称 | | 延長 (m) |
|-------|---------------|----------|----------------|----------|----------|
| 防 波 堤 | | 5,386.44 | 波 除 堤 | | 3,013.59 |
| 防 | 中 央 防 波 堤 | 3,690.00 | 12号地貯木場波除堤 | 2,615.40 | |
| | 東 防 波 堤 | 615.00 | 城南島小型油槽船だまり波除堤 | 100.00 | |
| | 西 防 波 堤 | 284.50 | 芝浦小型船だまり波除堤 | 171.20 | |
| | 12号地木材投下泊地防波堤 | 430.00 | 13号地小型船だまり波除堤 | 126.99 | |
| | 13号地小型船だまり防波堤 | 106.94 | 合 計 | | 8,400.03 |
| | 13号地防波堤 | 260.00 | | | |

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

4-3 係留施設

係留施設（公共）

| 名称 | パース名 | 延長(m) | 水深(m) | 対象船型(D/W) | 船席数 | 備考 |
|---------------------|---|---|--|-----------------------------------|-----------------------|---|
| ブイ (係船浮標) | No.1, 2, 3 | 3基 | -7.5 | 9,000~12,000 | 2 | 12号地木材投下泊地 |
| ドルフィン (係船くい) | M1~M5 M10, M11 | 14基 | -10.0 | 15,000 | 7 | 12号地木材投下泊地 |
| 芝浦ふ頭 芝浦岸壁 | 計 B~G | 1,250.84 780.00 | -7.5 | 5,000 | 6 | 東海汽船 |
| 芝浦物揚場 | G' S2,S3 | 165.00 161.27 | -5.5 -2.7 | 2,000 300 | 1 - | |
| 芝浦1丁目物揚場 | | 135.57 | -2.7 | 200 | - | |
| 芝浦通船棧橋 | | 9.00 | -3.0 | 50 | - | |
| 日の出ふ頭 日の出棧橋 | 計 H~M | 739.20 564.00 | -6.7 | 3,000 | 6 6 | |
| 日の出小型船発着所 | | 175.20 | -4.0 | - | - | |
| 竹芝ふ頭 竹芝小型船発着所 | 計 N~P | 505.80 465.00 40.80 | -7.5 | 5,000 | 3 3 - | 伊豆、小笠原定航 |
| 品川ふ頭 品川岸壁・棧橋 | 計 (ドルフィン) SC~SE(コテナ) (ドルフィン) SF(外貿) | 1,644.52 554.60 189.50 | -10.0 -10.0 -10.0 | 15,000 - | 9 3 - | SCと併用 北海道定期航路 (一部供用中止 R3.11.1から R4.6.30まで) |
| 品川物揚場 | SG~SK(内貿) SK' | 856.42 44.00 | -8.0~-10.0 -3.0 | 5,000~15,000 - | 5 - | |
| 晴海ふ頭 晴海棧橋 | 計 HI HJ HK, HL(客船) | 769.68 123.68 190.00 456.00 | -9.0 -10.0 -10.0 | 10,000 15,000 20,000(G/T) | 4 1 1 2 | |
| 朝潮・月島 朝潮物揚場 | 計 G7 F0, F1 F2 F6 F4, F5 | 1,411.00 60.00 630.00 100.00 355.00 266.00 | -5.0 -3.0~-3.5 -3.0~-4.5 -4.5 -7.5 | 700 300 300 500 5,000 | 2 - - - - | ドルフィン式 4基 |
| 月島物揚場 | | | | | | |
| 豊洲物揚場 | T2 | 283.13 | -4.0 | 500 | - | |
| 10号地その1 有明小型船発着所 | 計 MP | 238.40 58.40 180.00 | -4.0 -7.5 | - 5,000(G/T) | 1 - 1 | |
| 10号地その2 10号地西岸壁 | 計 VA~VK | 3,296.00 1,500.00 | -7.5 | 5,000 | 28 11 | 沖縄定期航路 3パース (VAA,VAB供用中止 R3.4.1からR5.3.31まで) |
| 10号地東岸壁 | VL~VX | 920.00 | -5.0 | 1,000 | 13 | |
| フェリーふ頭 | VAA~VAD | 876.00 | -7.5~-8.5 | 6,000~ 16,000(G/T) | 4 | |
| 青海コンテナふ頭 | A0~A2 | 870.00 | -13.0~ -15.0 | 35,000~ 50,000 | 3 | |
| 東京国際クルーズふ頭棧橋 | AP1 | 427.50 | -11.5 | 230,000(G/T) | 1 | |
| 辰巳ふ頭 | NA~NM | 1,040.00 | -5.0 | 1,000 | 13 | |
| 中央防波堤 内側ばら物ふ頭 | 計 X2 | 1,460.00 240.00 | -12.0 | 30,000 | 6 1 | |
| 内側建設発生土ふ頭 | X8 | 130.00 | -7.5 | 5,000 | 1 | |
| 内側内貿ふ頭 | X4・X5 | 460.00 | -9.0 | 12,000(G/T) | 2 | |
| 中央防波堤外側ふ頭 | Y1・Y2 | 630.00 | -11.0~ -16.0 | 20,000~ 150,000 | 2 | |
| 13号地ふ頭(有明) | RA~RJ | 750.00 | -5.0 | 1,000 | 10 | 一部休止中 |
| 青海小型船発着所 | | 58.40 | -4.0 | - | - | |
| 大井その1 大井コンテナふ頭 | 計 O4~O6 | 2,049.50 990.00 | -15.0 | 50,000 | 8 3 | |
| 大井水産物 | OJ~OK | 450.00 | -12.0 | 30,000 | 2 | |
| 大井食品 | OL | 229.50 | -12.0 | 30,000 | 1 | |
| " | OM~ON | 380.00 | -11.0 | 15,000 | 2 | |
| 城南島 大井建材ふ頭 | 計 OOD~OOG | 877.20 280.00 | -5.0 | 1,000 | 5 4 | 渡り棧橋 |
| 小型油槽船 | OOT 岸壁 | 387.20 | -4.0 | 200(G/T) | - | |
| 建設発生土ふ頭 | OOI 棧橋 | 50.00 160.00 | -4.0 -7.5 | 5,000 | 1 | |
| 若洲 若洲内貿 | 計 LA | 1,280.00 190.00 | -11.0 | 15,000 | 8 1 | H18.6名称変更 |
| 15号地木材 | LB~LD | 720.00 | -12.0 | 25,000 | 3 | |
| 若洲建材 | LLC~LLF | 370.00 | -5.5 | 2,000 | 4 | |

出典：「東京港港勢」(令和3年)(東京都港湾局)

係留施設（東京港埠頭株式会社）

| 名 称 | バース名 | 延長(m) | 水深(m) | 対象船型(D/W) | 船席数 | 備 考 |
|-----------|----------|----------|-------|-----------|-----|-----|
| 大井コンテナふ頭 | O1～O3,O7 | 1,364.00 | -15.0 | 50,000 | 4 | |
| 青海コンテナふ頭 | A3～A4 | 700.00 | -15.0 | 50,000 | 2 | |
| お台場ライナーふ頭 | AA～AI | 1,800.00 | -10.0 | 15,000 | 9 | |

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

係留施設（官庁）

| 名 称 | バース名 | 延長(m) | 水深(m) | 対象船型(D/W) | 船席数 | 備 考 |
|-------|------|--------|-------|-----------|-----|----------|
| 晴海官庁船 | H2 | 50.00 | -8.0 | 3,000 | 1 | 海技教育機構 |
| | H3 | 60.00 | -8.0 | 1,500 | 1 | 水産庁 |
| | H4 | 60.00 | -8.0 | 3,200 | 1 | 海洋研究開発機構 |
| 台場官庁船 | RK' | 100.00 | -6.0 | 460 | 1 | 海上保安庁 |
| 築地五丁目 | — | 490.00 | -4.5 | 700 | 9 | 中央卸売市場 |

※ 主な施設のみ記載

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

係留施設（民間）

| | | | | | | |
|------------|------------|--------|-------|-------------|---|-----------------------------|
| 大井建材ふ頭 | OOA～OOC | 210.00 | -5.0 | 500～1,500 | 3 | 関東宇部コンクリート工業、鎌木生コンクリート、豊田商店 |
| 大井ふ頭その一 | OA(ドルフィン) | (3基) | -8.5 | 2,926 | 1 | JERA |
| 品川ふ頭 | SB | 106.00 | -7.5 | 2,075 | 1 | JERA |
| | SL(ドルフィン) | (2基) | -8.0 | 8,400 | 1 | 宇部三菱セメント |
| | SM(ドルフィン) | (3基) | -5.0 | 699 | 1 | 宇部三菱セメント |
| | SN(ドルフィン) | (2基) | -5.5 | 1,000 | 1 | 東京エスオーシー |
| | SO(ドルフィン) | (1基) | -4.5 | 800 | 1 | アサノコンクリート |
| 10号地その1 | KK | 618.00 | -7.5 | 5,000 | 2 | 住金物流 |
| | KN | 390.00 | -7.5 | 2,000 | 3 | 新日本製鉄 |
| | # | 420.00 | -7.5 | 499 | 6 | JFE物流 |
| 11号地 | C1(ドルフィン) | (3基) | -8.0 | 7,000 | 1 | 太平洋セメント |
| 砂町北運河 | U2 | 60.00 | -3.0 | 900 | 1 | 吉田建材 |
| | U3 | 60.00 | -4.0 | 499 | 1 | 日本産業 |
| | U4 | 67.49 | -4.0 | 499 | 1 | 上隣レミコン |
| 東雲運河筋 | U8(ドルフィン) | (1基) | -3.5 | 499 | 4 | 関東宇部コンクリート工業 |
| 砂町運河筋 | U11(ドルフィン) | (2基) | -2.0 | 450 | 1 | 昭石化工 |
| 晴海ふ頭 | HA | 160.00 | -5.6 | 2,000 | 1 | 太平洋セメント |
| | (ドルフィン) | (1基) | | | | |
| 若洲建材ふ頭 | LLA, LLB | 140.00 | -5.0 | 1,000 | 2 | 吉田建材、岩本建材 |
| 15号地危険物 | LOA, LOB | 260.00 | -5.5 | 1,999～4,234 | 2 | 出光興産 |
| | LOD | 130.00 | -5.5 | 1,000 | 1 | 朝田商会 |
| 中防内側外貨雑貨ふ頭 | X3 | 260.00 | -10.0 | 13,000 | 1 | 上組 |
| 若洲内貨特殊品ふ頭 | LM1, LM2 | 160.00 | -4.5 | 1,000 | 2 | 有明興業 |

※ 主な施設のみ記載

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

4-4 荷捌施設

上屋

| 名 称 | 級別 | 面 積 (㎡) | 構 造 | 主要取扱品種 |
|-----------------------|-----|------------|-------------------|-------------------------|
| 小 計 | 35棟 | 205,363.31 | 管理者:東京都 | |
| 品 川 ふ 頭 | 1棟 | 23,651.00 | | |
| 品 川 ふ 頭 内 貨 上 屋 | 1級 | 14,974.00 | 鉄筋コンクリート造 | 紙・パルプ ⁺ |
| 品 川 ふ 頭 内 貨 自 動 車 上 屋 | 自動車 | 8,677.00 | " (屋上部) | 商用車 |
| 芝 浦 ふ 頭 | 3棟 | 22,004.38 | | |
| 芝 浦 内 貨 1 号 上 屋 | 1級 | 8,600.72 | 鉄筋コンクリート造3階建のうち1階 | 紙・パルプ ⁺ 、食料品 |
| 芝 浦 内 貨 2 号 上 屋 | " | 8,317.25 | " | 紙・パルプ ⁺ |
| 芝 浦 内 貨 3 号 上 屋 | " | 5,086.41 | " | 紙・パルプ ⁺ |
| 竹 芝 内 貨 上 屋 | 3級 | 2,097.50 | 鉄筋コンクリート造平屋建 | 日用品 |
| 日 の 出 ふ 頭 | 4棟 | 8,333.97 | | |
| 日 の 出 2 号 上 屋 | 3級 | 2,160.00 | 鉄筋造平屋建 | 化学薬品 |
| 日 の 出 3 号 上 屋 | " | 2,160.00 | " | " |
| 日 の 出 4 号 上 屋 | " | 2,124.00 | " | " |
| 日 の 出 南 上 屋 | 2級 | 1,889.97 | 鉄筋コンクリート造 | 塩 |
| 10 号 地 ふ 頭 | 8棟 | 61,857.29 | | |
| 10 号 地 ふ 頭 西 上 屋 | 1級 | 17,307.00 | 鉄筋コンクリート造 | 日用品・飲料 |
| 10 号 地 ふ 頭 4 号 上 屋 | 2級 | 14,250.00 | 鉄骨造一部2階建 | 紙・パルプ ⁺ |
| 10 号 地 ふ 頭 5 号 上 屋 | " | 6,767.69 | 鉄骨造 | " |
| 10 号 地 ふ 頭 6 号 上 屋 | " | 6,818.10 | 鉄骨造平屋建一部2階建 | " |
| 10 号 地 ふ 頭 自 動 車 上 屋 | 自動車 | 16,714.50 | 軽量鉄骨造平屋建 3棟 | 商品車 |
| 大 井 海 貨 | 5棟 | 29,481.05 | | |
| 大 井 海 貨 1 号 上 屋 | 1級 | 7,626.91 | 鉄筋コンクリート造3階建のうち1階 | 日用品 |
| 大 井 海 貨 2 号 上 屋 | " | 5,484.50 | " | " |
| 大 井 海 貨 3 号 上 屋 | " | 5,102.18 | " | " |
| 大 井 海 貨 4 号 上 屋 | " | 5,138.82 | " | " |
| 大 井 海 貨 5 号 上 屋 | " | 6,128.64 | 鉄筋コンクリート造5階建のうち1階 | " |
| 大 井 冷 蔵 | 3棟 | 21,098.56 | (水産物用荷役施設) | |
| 大 井 冷 蔵 1 号 上 屋 | 冷蔵 | 7,044.40 | 鉄筋コンクリート造5階建のうち1階 | 水産物 |
| 大 井 冷 蔵 2 号 上 屋 | " | 7,044.40 | " | " |
| 大 井 冷 蔵 3 号 上 屋 | " | 7,009.76 | " | " |
| 大 井 食 品 | 2棟 | 10,778.84 | | |
| 大 井 青 果 1 号 上 屋 | 食品 | 3,478.00 | 鉄筋コンクリート造4階建のうち1階 | 果物、野菜 |
| 大 井 食 品 2 号 上 屋 | " | 7,300.84 | 鉄筋コンクリート造5階建のうち1階 | |
| 青 海 流 通 セ ン タ ー | 2棟 | 19,046.72 | | |
| 青 海 流 通 1 号 上 屋 | 特級 | 9,523.36 | 鉄筋コンクリート造4階建のうち1階 | 事務用機器 |
| 青 海 流 通 2 号 上 屋 | " | 9,523.36 | " | " |
| 中 央 防 波 堤 内 側 ば ら 物 | 5棟 | 3,414.00 | | |
| ば ら 物 1 号 上 屋 | ばら物 | 960.00 | 鉄骨造 | |
| ば ら 物 2 号 上 屋 | " | 960.00 | " | |
| ば ら 物 3 号 上 屋 | " | 498.00 | 鉄骨造 ホリエステル布張 | コークス、金属鋳 |
| ば ら 物 4 号 上 屋 | " | 498.00 | " | |
| ば ら 物 5 号 上 屋 | " | 498.00 | " | |
| 辰 巳 内 貨 雑 貨 上 屋 | 1級 | 3,600.00 | 鉄骨造 | 雑貨 |

| 名 称 | 級別 | 面 積 (㎡) | 構 造 | 主要取扱品種 |
|---------------|----|-----------|--------------------|---------|
| 小 計 | 9棟 | 68,220.00 | 管理者:東京港埠頭株式会社 | |
| お 台 場 ラ イ ナ ー | 9棟 | 68,220.00 | 借受者 | |
| お 台 場 1 号 上 屋 | | 6,892.00 | 東京国際埠頭、富士港運、東海運 | |
| お 台 場 2 号 上 屋 | | 19,109.00 | ダイトコーポレーション、東海海運 | |
| お 台 場 3 号 上 屋 | | 6,432.00 | 山九、相模運輸倉庫 | 紙、木材、鋼材 |
| お 台 場 4 号 上 屋 | | 6,846.00 | 鈴江コーポレーション、三協、栗林運輸 | |
| お 台 場 5 号 上 屋 | | 6,864.00 | 栗林運輸、ケイヒン | 農水産品 |
| お 台 場 6 号 上 屋 | | 5,622.00 | 三協、三菱倉庫 | |
| お 台 場 7 号 上 屋 | | 6,328.00 | 日本通運、望月海運 | |
| お 台 場 8 号 上 屋 | | 4,687.00 | 三井倉庫、住友倉庫 | |
| お 台 場 9 号 上 屋 | | 5,440.00 | 宇徳、アサガミ | |

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

野積場

| 名称 | 級別 | 面積(m ²) | 主要品種 | 名称 | 級別 | 面積(m ²) | 主要品種 |
|-----------|----|---------------------|---------|-------------|-----|---------------------|-------|
| 合計 | | 785,780.51 | | フェリーふ頭 | | 60,252.66 | |
| 品川ふ頭 | | 83,770.03 | | A野積場 | 1級 | 10,996.67 | シャーシ |
| C野積場 | 1級 | 14,222.00 | シャーシ | B野積場 | " | 19,168.67 | " |
| D野積場 | " | 14,079.00 | " | C野積場 | " | 10,704.92 | " |
| G野積場 | " | 18,756.88 | " | D野積場 | " | 7,517.07 | " |
| H野積場 | " | 19,907.75 | " | E野積場 | " | 11,865.33 | " |
| I野積場 | " | 13,654.40 | " | 辰巴ふ頭 | | 54,136.20 | |
| SK野積場 | " | 3,150.00 | " | A野積場 | 1級 | 8,934.60 | 鉄鋼、雑貨 |
| 芝浦ふ頭 | | 29,546.06 | | B野積場 | " | 7,984.60 | " |
| K野積場 | 1級 | 9,523.89 | コンテナ | C野積場 | " | 19,584.00 | " |
| L野積場 | " | 1,768.75 | " | D野積場 | " | 13,582.00 | " |
| M野積場 | " | 1,181.82 | 取合せ品 | E野積場 | " | 4,051.00 | " |
| N野積場 | " | 4,519.00 | シャーシ | 大井建材ふ頭 | | 21,147.50 | |
| J野積場 | 2級 | 12,552.60 | " | A野積場 | 特級 | 10,857.50 | 砂利・砂 |
| 日の出ふ頭 | | 1,794.94 | | B野積場 | " | 4,830.00 | " |
| H野積場 | 1級 | 1,794.94 | シャーシ | C野積場 | " | 5,460.00 | " |
| 月島ふ頭 | | 970.46 | (供用中止中) | 若洲内貿ふ頭 | 1級 | 43,606.00 | シャーシ |
| 野積場 | 1級 | 970.46 | | 15号地木材ふ頭 | | 258,125.00 | |
| 10号地ふ頭 | | 153,109.66 | | (木材用荷役施設) | | 258,125.00 | 製材、紙 |
| 3号上屋背面野積場 | 1級 | 4,474.00 | シャーシ | 若洲建材ふ頭 | | 37,093.00 | |
| 4号上屋背面野積場 | " | 10,529.00 | " | A野積場 | 特級 | 6,885.00 | 砂利・砂 |
| 5号上屋背面野積場 | " | 3,957.64 | " | B野積場 | " | 7,290.00 | " |
| 6号上屋背面野積場 | " | 3,946.53 | " | C野積場 | " | 6,885.00 | " |
| A野積場 | " | 13,825.12 | コンテナ | D野積場 | 1級 | 16,033.00 | 製材 |
| C野積場 | " | 13,506.00 | シャーシ | 中央防波堤内側ばら物 | | 29,338.00 | |
| D野積場 | " | 12,864.00 | " | A野積場 | ばら物 | 11,147.00 | 珪砂 |
| E野積場 | " | 12,874.00 | " | B野積場 | " | 7,791.00 | 石炭 |
| G野積場 | " | 13,506.00 | " | C野積場 | " | 5,600.00 | " |
| H野積場 | " | 13,506.00 | コンテナ | D野積場 | " | 4,800.00 | コークス |
| I野積場 | " | 6,710.80 | " | 中央防波堤内側内貿ふ頭 | | 12,891.00 | |
| J野積場 | " | 12,432.98 | " | 野積場 | 1級 | 12,891.00 | シャーシ |
| L野積場 | " | 14,640.50 | 鉄鋼 | | | | |
| N野積場 | " | 13,379.09 | " | | | | |
| 自動車上屋付属 | " | 2,958.00 | 商品車 | | | | |

出典：「東京港港勢」(令和3年)(東京都港湾局)

4-5 保管施設

貯木場

| 名称 | 総面積(m ²) | 許可面積(m ²) | 名称 | 総面積(m ²) | 許可面積(m ²) |
|--------|----------------------|-----------------------|--------|----------------------|-----------------------|
| 合計 | 904,747 | 0 | 14号地第2 | 131,747 | 0 |
| 豊洲 | 29,243 | 0 | 12号地 | 561,283 | 0 |
| 14号地第1 | 124,860 | 0 | 新砂 | 57,614 | 0 |

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

4-6 旅客施設

客船ターミナル

| 名称 | 所在地 | 延床面積(m ²) | 構造 |
|---------------|------------|-----------------------|-------------------------------|
| 晴海客船ターミナル | 中央区晴海五丁目 | 17,422.46 | 鉄骨鉄筋コンクリート造9階建 |
| 竹芝客船ターミナル | 港区海岸一丁目 | 39,141.07 | 鉄骨鉄筋コンクリート造2階建 展望デッキ、広場を含む |
| 芝浦ふ頭通船ターミナル | 港区海岸三丁目 | 218.49 | 鉄骨鉄筋コンクリート造3階建 芝浦港湾総合施設内 |
| 有明客船ターミナル | 江東区有明三丁目 | 2,098.60 | 鉄筋コンクリート造地上3階地下1階建 |
| 青海客船ターミナル | 江東区青海二丁目 | 802.22 | 鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建 |
| 東京国際クルーズターミナル | 江東区青海二丁目ほか | 19,111.91 | 鉄骨造4階建 |

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

船客待合所

| 名称 | 所在地 | 延床面積(m ²) | 構造 |
|--------------|---------|-----------------------|------------|
| 日の出ふ頭1号船客待合所 | 港区海岸二丁目 | 361.00 | 鉄骨鉄筋コンクリート |
| 日の出ふ頭2号船客待合所 | 港区海岸二丁目 | 1,064.66 | 鉄骨鉄筋コンクリート |

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

その他

| 名称 | 所在地 | 延床面積(m ²) | 構造 |
|----------------|----------|-----------------------|--------------|
| 東京港フェリーターミナルビル | 江東区有明四丁目 | 7,795.03 | 鉄筋コンクリート造4階建 |

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

4-7 マリーナ施設

夢の島マリーナ

| 名称 | 所在地 | 面積 | 収容能力 | 設置者 | 運営者 |
|---------------------|--|-----------------------|---------------------------|-----|----------|
| 東京夢の島マリーナ | 江東区夢の島三丁目2番1号 | 水域 19.6ha 陸域 5.5ha | 専用バース 660隻 多目的バース等 33隻 | 東京都 | スバル興業(株) |
| 係留対象艇 | 主要施設 | | | | |
| クルーザーヨット モーターボート | 水上オートバイ用リフター 1基 上下架施設 1基 マリンセンター 1棟 駐車場 480台 修理ヤード 15艘分 給油施設 4基 | | | | |

出典：「東京港港勢」（令和3年）（東京都港湾局）

4-8 その他の施設

荷役機械

| ふ 頭 | 名 称 | 定格荷重 (能力) | 数量 (基) | 取扱品種 |
|-----------------|-------------|--------------|-----------|------------|
| 品川ふ頭 | ガントリークレーン | 35.6t | 2 | コンテナ |
| | " | 40.6t | 2 | " |
| 青海ふ頭 | ガントリークレーン | 30.5t | 4 | コンテナ |
| | " | 40.6t | 5 | " |
| 大井ふ頭 | ガントリークレーン | 40.6t | 3 | コンテナ |
| | " | 43.8t | 6 | " |
| | " | 50.0t | 1 | " |
| | " | 61.0t | 10 | " |
| 中央防波堤内側ばら物ふ頭 | アンローダー(走行式) | 500t/h | 2 | 石炭、コークス、珪砂 |
| | ベルトコンベヤー | 1,200t/h | 1 | |
| 中央防波堤外側外貿コンテナふ頭 | ガントリークレーン | 65.0t | 6 | コンテナ |

出典：「東京港港勢」(令和3年)(東京都港湾局)

岸壁給水施設

| 所 在 | 給水栓箇所数 | 給水能力(m ³ /h) | 所 在 | 給水栓箇所数 | 給水能力(m ³ /h) |
|-------|--------|-------------------------|------------|--------|-------------------------|
| 合 計 | 59 | | 竹芝棧橋 | 6 | 35 |
| 芝浦岸壁 | 16 | 40 | 晴海棧橋 | 15 | 50 |
| 芝浦物揚場 | 2 | 15 | 月島物揚場 | 6 | 20 |
| 日の出棧橋 | 3 | 20 | 辰巳岸壁 | 2 | 20 |
| | | | 東京国際クルーズふ頭 | 9 | 23 |

出典：「東京港港勢」(令和3年)(東京都港湾局)

運搬給水施設

| | 名称 | 総トン数 | 材 質 | 積載量(m ³) | 給水能力(m ³ /h) |
|-------|------|------|-----|----------------------|-------------------------|
| 給 水 船 | すいれん | 61 | 鋼 | 200 | 100 |

出典：「東京港港勢」(令和3年)(東京都港湾局)

5. 過去の計画一覧

第7次改訂港湾計画以降の港湾計画の経緯及び第8次改訂港湾計画以降の港湾計画図を以下に示す。

表 VIII-5-1 (1) 東京港港湾計画経緯一覧表

| 計画変更区分 | 策定年月 | 公示年月 | 計画内容 | 改訂・変更理由 |
|-----------|--------------------------|---------|--|---|
| 第7次改訂港湾計画 | 平成17年12月 第76回東京都港湾審議会 | 平成18年3月 | <p>(1) 外貨コンテナ埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央防波堤外側に800m・水深15～16mの岸壁2バースを計画する(変更) 新海面処分場に400m・水深15～16mの岸壁1バースを計画する(変更) 中央防波堤外側に230m・水深11mの岸壁1バースを計画する(新規) 品川ふ頭に435m・水深10mの岸壁2バースを計画する(変更) <p>(2) 内貨ユニットロード埠頭・フェリー埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 品川ふ頭に1,150m・水深8.5mの岸壁5バースを計画する(変更) 10号地その2に1,380m・水深8.5mの岸壁6バースを計画する(変更) 15号地に430m・水深8.5mの岸壁2バースを計画する(変更) 中央防波堤内側に460m・水深8.5mの岸壁2バースを計画する(変更) 10号地その2(フェリー埠頭)に260m・水深8.5mの岸壁1バースを計画する(変更) <p>(3) 外貨埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 大井ふ頭その1・大井ふ頭その2の380m・水深11mの岸壁2バースの既定計画を削除する <p>(3) 専用埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊洲ふ頭に200m・水深8mの岸壁1バースを計画する(新規) 豊洲ふ頭に、水深8mのトドヅ1バースを計画する(変更) 13号地の水深7mのドルフィン2バースの既定計画(廃止)を削除する 15号地の80m・水深4.5mの岸壁1バースの既定計画を削除する 中防内側に200m・水深12mの岸壁1バースを計画する(変更) <p>(4) 木材取扱施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊洲貯木場の6ha・水深1.5mを廃止する 12号地貯木場に水深10mのトドヅ5バース、56ha・水深2.5mの水面貯木場、17ha・水深2.5mの水面整理場を計画する(変更) 新砂貯木場の8ha・水深2.5mを廃止する <p>(5) 水域施設・外郭施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一航路の移設・拡幅(幅員450～600m→600m～700m) 内港地区に9ha・水深8.5m、南部地区に3ha・水深12m、中部地区に35ha1・水深8.5m、中央防波堤地区に8ha・水深11m、中央防波堤地区に14ha・水深8.5m、8ha・水深15～16mの泊地を計画する(変更) 南部地区に12ha・水深15m、中部地区に2ha・水深13m、4ha・水深15mの航路・泊地を計画する(新規) 中央防波堤地区に126ha・水深15～16mの航路・泊地を計画する(変更) 第一航路の移設に伴う沖防波堤の配置計画の変更(延長200m) <p>(6) 臨港交通施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央防波堤地区及び南部地区における臨港道路を計画する <p>(7) 旅客船埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 晴海ふ頭に小型さん橋5基を計画する(変更) 竹芝ふ頭の小型さん橋1基を削除する <p>(8) 港湾環境整備施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央防波堤地区に緑地を計149ha計画する(変更) 内港地区、南部地区に緑地を計41ha計画する(変更) 南部地区、東部地区、中央防波堤地区に海浜を3箇所計画する(新規) <p>(9) 良好な景観を形成する区域</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央防波堤地区において良好な景観を形成する区域を定める <p>(10) 大規模地震対策施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 品川埠頭、晴海埠頭、10号地その2、15号地、中央防波堤内側に耐震強化岸壁を13バース計画する(変更) 耐震強化岸壁を中央防波堤外側に2バース計画する(変更) <p>(10) 小型船だまり計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 南部地区大井ふ頭その1の物揚場400mを削除する 南部地区大井ふ頭その2に防波堤80mを計画する(新規) 中部地区13号地に防波堤300mを計画する(変更) | <ul style="list-style-type: none"> 増加が著しい外貨コンテナ貨物に対応し、国際基幹航路の維持・拡大を図るとともに、コンテナ船の大型化に対応するため 増加するアジア貨物に対応するため 内航海運における貨物のユニット化の進展に適切に対応するとともに、RORO船の大型化やモーダルシフトの促進に対応するため 水産物を取扱うため セメントを取扱うため 水面貯木場の需要が低下したため 東京国際空港再拡張事業の滑走路の新設に伴い、船舶及び航空機双方の運航の安全性の確保とコンテナ船の大型化や大型船舶の対面航行に対応するため 港内の静穏度及び船舶航行の安全を図るため 交通の円滑化を図るため 海の森の整備及び自然環境の保全・再生に寄与する連続的な緑地空間を確保するため 首都直下地震等の大規模地震発生時に緊急救援物資等の輸送を行う海上輸送機能確保のため 大規模地震発生後、首都圏の経済活動を停滞させないため 小型船だまりの静穏度を確保するため |

表Ⅷ-5-1 (2) 東京港港湾計画経緯一覧表

| 計画変更区分 | 策定年月 | 公示年月 | 計画内容 | 改訂・変更理由 |
|-----------|--------------------------|---------|---|---|
| 第7次改訂港湾計画 | 平成17年12月 第76回東京都港湾審議会 | 平成18年3月 | <p>(11) 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 品川ふ頭に1,150m・水深8.5mの岸壁5バース、10号その2に1,380m・水深8.5mの岸壁6バース及び260m・水深8.5mの岸壁1バース及び238m・水深8.5mの岸壁1バース、15号地に430m・水深8.5mの岸壁2バース、中央防波堤内側に460m・水深8.5mの岸壁2バース、中央防波堤外側・新海面処分場に1,200m・水深15～16mの岸壁3バースを計画する(変更) <p>(12) 船舶の物資補給需要等への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 月島ふ頭に260m・水深7mの岸壁2バース、355m・水深4.5mの物揚場を計画する(変更) 晴海ふ頭に90m・水深9mの岸壁1バース、190m・水深10mの岸壁1バースを計画する(変更) 13号地に750m・水深5mの岸壁10バースを計画する(変更) 10号地その2に253m・水深7.5mの岸壁1バースを計画する(変更) <p>(13) 土地造成計画・土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 大井・青海コンテナ埠頭背後の港湾関連用地等を計30ha埠頭用地に変更する 大井埠頭その1・その2間の水域に22ha土地造成し、41haの港湾関連用地を計画する 羽田地区南東沖に交通機能用地159haを造成 | <ul style="list-style-type: none"> 東京国際空港の新たな滑走路 |
| 軽易な変更 | 平成18年12月 第77回東京都港湾審議会 | 平成19年1月 | <p>(1) 港湾環境整備施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 内港地区の緑1.0haを廃止する <p>(2) 土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 南部地区の緑地0.8haを廃止する | <ul style="list-style-type: none"> 周辺状況変化に対応するため |
| 一部変更 | 平成18年12月 第77回東京都港湾審議会 | 平成19年4月 | <p>(1) 公共ふ頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 10号地その2に1,380m・水深9mの岸壁6バース、15号地に440m・水深9mの岸壁2バース、中央防波堤内側に460m・水深9mの岸壁2バースの内質ユニットロード埠頭を計画する(変更) <p>(2) 水域施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 中部地区に17ha・水深9mの泊地を計画する(変更) 中央防波堤地区に14ha・水深9mの泊地を計画する(変更) <p>(3) 大規模地震対策施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 10号地その2に4バース、15号地に1バース、中央防波堤内側に2バースの施設を計画する(変更) <p>(4) 国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 10号地その2に1,380m・水深9mの岸壁6バース、15号地に440m・水深9mの岸壁2バース、中央防波堤内側に460m・水深9mの岸壁2バースを計画する(変更) | <ul style="list-style-type: none"> 内航RORO船の大型化に対応するため 首都直下地震等の大規模地震発生時に緊急救援物資等の輸送を行う海上輸送機能を確保するため 国内海上輸送網の拠点として機能するため |
| 一部変更 | 平成19年12月 第78回東京都港湾審議会 | 平成20年4月 | <p>(1) フェリー埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 10号地その2に270m・水深8.5mの岸壁1バースを計画する(変更) <p>(2) 水域施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 中部地区に2ha・水深8.5m、8ha・水深9.0mの泊地を計画する(変更) 中部地区に17ha・水深8.5m、9ha・水深9.0mの航路・泊地を計画する(変更) <p>(3) 大規模地震対策施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 10号地その2に1バースを計画する(変更) <p>(4) 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 10号地その2に270m・水深8.5mの岸壁1バースを計画する(変更) <p>(5) 船舶の物資補給等への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 10号地その2に195m・水深7.5mの岸壁1バースを計画する(変更) <p>(6) 土地造成及び土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 中部地区に埠頭用地0.2haを計画する | <ul style="list-style-type: none"> フェリー大型化に対応するため 首都直下地震等の大規模地震発生時に緊急救援物資等の輸送を行う海上輸送機能を確保するため 官庁船、貨物船等の待機、物資補給等に対応するため |
| 軽易な変更 | 平成20年12月 第80回東京都港湾審議会 | 平成21年2月 | <p>(1) 専用埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 羽田地区に水深8mのトドフィン2バースを計画する(新規) | <ul style="list-style-type: none"> 立地企業の要請に対処するため |
| 軽易な変更 | 平成21年5月 第81回東京都港湾審議会 | 平成21年5月 | <p>(1) 土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 内港地区の土地利用計画を変更する 交流厚生用地1.5ha→都市機能用地1.5ha | <ul style="list-style-type: none"> 地元区誘致予定の地域病院の建設の用に供するため |

表Ⅷ-5-1 (3) 東京港港湾計画経緯一覧表

| 計画変更区分 | 策定年月 | 公示年月 | 計画内容 | 改訂・変更理由 |
|--------|------------------------------|----------|--|---|
| 一部変更 | 平成21年5月 第81回東京都 港湾審議会 | 平成21年8月 | (1) 外資コンテナ埠頭計画 ・大井ふ頭その1に2,354m・水深15～16mの岸壁7バースを計画する(変更) ・13号地に700m・水深15～16mの岸壁2バースを計画する(変更) ・中央防波堤外側に400m・水深16～16.5mの岸壁1バースを計画する(変更) ・新海面処分場に420m・水深16～16.5mの岸壁1バースを計画する(変更) (2) 内外資埠頭計画 ・大井ふ頭その1に200m・水深11mの岸壁1バースを計画する(新規) (3) 内資埠頭計画 ・10号その2に530m・水深8.5mの岸壁2バースを多目的埠頭として計画する(変更) (4) 水域施設計画 ・第1航路を水深16～16.5m・幅員600～740m、水深15～16m・幅員600～700mに計画する(変更) (5) 臨港交通施設計画 ・臨港道路有明ふ頭連絡線と臨港道路中防内5号線を結ぶ道路として、南北線を計画する(新規) (6) 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設 ・臨港道路有明ふ頭連絡線と臨港道路中防内5号線を結ぶ道路として、南北線を計画する(新規) (7) 土地造成及び土地利用計画 ・南部地区に埠頭用地0.7ha、中央防波堤地区に埠頭用地0.1haを計画する | ・外資コンテナ貨物需要の増大、外資コンテナ船の大型化に対応するため ・水産品等の外資貨物及び増大する内航フィーダー需要等に対応するため ・化学工業品等の内資貨物及びフェリーに対応するため ・交通の円滑化を図るため |
| 軽易な変更 | 平成22年2月 第82回東京都 港湾審議会 | 平成22年3月 | (1) 港湾環境整備施設計画 ・南部地区の緑地0.2haの既定計画を削除する (2) 土地利用計画 ・南部地区の土地利用計画を変更する 緑地0.2ha→都市機能用地0.2ha | ・立地公益企業の要請に対処するため |
| 軽易な変更 | 平成23年11月 第84回東京都 港湾審議会 | 平成23年12月 | (1) 港湾環境整備施設計画 ・南部地区の緑地1haを廃止する (2) 土地利用計画 ・南部地区の緑地0.4haを廃止する | ・周辺状況変化に対応するため |
| 一部変更 | 平成23年11月 第84回東京都 港湾審議会 | 平成23年12月 | (1) 港湾の効率的な運営に関する事項 ・品川ふ頭に555m・水深10mの岸壁3バースを計画する(新規) ・大井ふ頭その1に990m・水深15mの岸壁3バースを計画する(新規) ・13号地に520m・水深13mの岸壁2バース、350m・水深15mの岸壁1バースを計画する(新規) | ・民間の能力を活用し、港湾の効率的な運営を行うため |
| 軽易な変更 | 平成24年11月 第85回東京都 港湾審議会 | 平成24年12月 | (1) 港湾環境整備施設計画 ・東部地区に緑地69haを計画する(変更) (2) 土地利用計画 ・中部地区の土地利用計画を変更する 交流厚生用地1.0ha→都市機能用地1.0ha ・東部地区の土地利用計画を変更する 緑地0.1ha→交通機能用地0.1ha ・内港地区に港湾関連用地0.2haを計画する | ・周辺状況変化に対応するため ・臨海副都心のまちづくり計画に対応するため ・周辺状況変化に対応するため ・専用ふ頭の整備計画に対応するため |
| 軽易な変更 | 平成25年11月 第86回東京都 港湾審議会 | 平成25年12月 | (1) 旅客船埠頭計画 ・13号地に430m・水深11.5mの岸壁1バースを計画する(新規) ・晴海ふ頭の350m・水深11mの岸壁1バースの既定計画を削除する (2) 専用埠頭計画 ・晴海ふ頭のドルフィン3バースの既定計画(廃止)を削除する ・13号地の水深7mのドルフィン2バースを撤去する (3) 水域施設計画 ・中部地区に2ha、水深11.5mの泊地を計画する(新規) ・内港地区の2ha、水深11mの泊地の既定計画を削除する ・中部地区に24ha、水深11.5mの航路・泊地を計画する(新規) ・内港地区の140ha、水深11mの航路・泊地の既定計画を削除する | ・船舶の大型化に対応するため |

表Ⅷ-5-1 (4) 東京港港湾計画経緯一覧表

| 計画変更区分 | 策定年月 | 公示年月 | 計画内容 | 改訂・変更理由 |
|-----------|--------------------------|----------|---|--|
| 軽易な変更 | 平成25年11月 第86回東京都港湾審議会 | 平成25年12月 | (4) 小型船だまり計画 ・13号地に小型栈橋2基を計画する(変更) ・13号地に防波堤(1)260m、防波堤(2)635mを計画する(新規) ・13号地の小型栈橋1基、防波堤(1)215m、防波堤(2)300m(うち210m既設)の既定計画を削除する (5) 土地造成及び土地利用計画 ・内港地区の埠頭用地1.4haの土地造成計画の既定計画を削除する ・中部地区の土地利用(埠頭用地、交流厚生用地)を変更する (6) 大規模地震対策施設計画 ・竹芝ふ頭に1バースを計画する(新規) ・日の出埠頭の1バースの既定計画を削除する ・13号地に1バースを計画する(新規) ・晴海ふ頭の1バースの既定計画を削除する | ・大規模地震災害時における緊急物資の輸送等に対応するため |
| 軽易な変更 | 平成26年4月 第87回東京都港湾審議会 | 平成26年5月 | (1) 旅客船埠頭計画 ・晴海ふ頭に225m・水深10mの岸壁1バースを計画する(変更) ・晴海ふ頭に小型さん橋5基を計画する(変更) (2) 土地利用計画 ・内港地区の土地利用計画を変更する 埠頭用地0.2ha→都市機能用地0.2ha 埠頭用地2.2ha→都市機能用地2.2ha 港湾関連用地0.1ha→都市機能用地0.1ha 交流厚生用地10.6ha→都市機能用地10.6ha (3) 大規模地震対策施設計画 ・晴海ふ頭に1バースを計画する(変更) (4) 港湾施設の利用計画 ・晴海ふ頭に135m・水深10mの岸壁1バース、225m・水深10mの岸壁1バースを計画する(変更) | ・豊洲・晴海開発整備計画の一部改定に対応するため |
| 第8次改訂港湾計画 | 平成26年9月 第88回東京都港湾審議会 | 平成26年12月 | (1) 公共埠頭計画 1) 外内貿コンテナ埠頭計画 ・品川ふ頭に550m・水深11mの岸壁2バースを計画する(変更) ・大井ふ頭その1に400m・水深15～16mの岸壁1バースを計画する(変更) ・15号地に500m・水深11～12mの岸壁2バースを計画する(新規) 2) 内貿ユニットロード埠頭計画 ・品川ふ頭に166m・水深8.5mの岸壁1バースを計画する(変更) 3) 外貿埠頭計画 ・品川ふ頭に195m・水深10mの岸壁1バースを計画する(変更) ・15号地に240m・水深12mの岸壁1バースを計画する(変更) (2) 旅客船埠頭計画 ・豊洲ふ頭に延長10mの船揚場を計画する(新規) ・13号地に延長10mの船揚場を計画する(新規) (3) 木材取扱施設計画 ・東部地区に水深9mのドルフィン2バース、1ha・水深2.5mの水面貯木場、防波堤500mを計画する(新規) (4) 水域施設 ・内港地区に3ha・水深11m、東部地区に2ha・水深9mの泊地を計画する(新規) ・南部地区に2ha・水深15～16m、2ha・水深12m、東部地区に3ha・水深12m、3ha・水深11～12mの泊地を計画する(変更) ・内港地区に27ha・水深11m、東部地区に3ha・水深9mの航路・泊地を計画する(新規) ・南部地区に4ha・水深15～16m、6ha・水深12m、東部地区に116ha・水深12m、11ha・水深11～12m、中央防波堤地区に13ha・水深9mの航路・泊地を計画する(変更) (5) 小型船だまり計画 ・13号地に小型栈橋3基を計画する (6) 港湾環境整備施設計画 ・南部地区に14ha、中部地区に9ha、中央防波堤地区に184haの緑地を計画する(変更) ・南部地区に海浜4箇所を計画する(変更) ・中央防波堤地区に海浜1箇所を計画する(新規) | ・増加するアジア貨物に対応するため ・コンテナ船の大型化に対応する高規格コンテナターミナルを形成するとともに、国際フィーダー航路による集貨を図るため ・内港海運における貨物動向に対応するため ・将来的な貨物動向や利用者ニーズに迅速に対応するため ・東京港内の海上交通ネットワーク形成のため ・原木の輸入量が減少し、水面貯木場や係留施設の需要が低下したため ・自然環境の保全・再生に寄与する連続的な緑地空間を確保するため ・水域環境の保全・再生を図るとともに、水生生物をはじめとした多様な生物の生息環境を創出するため |

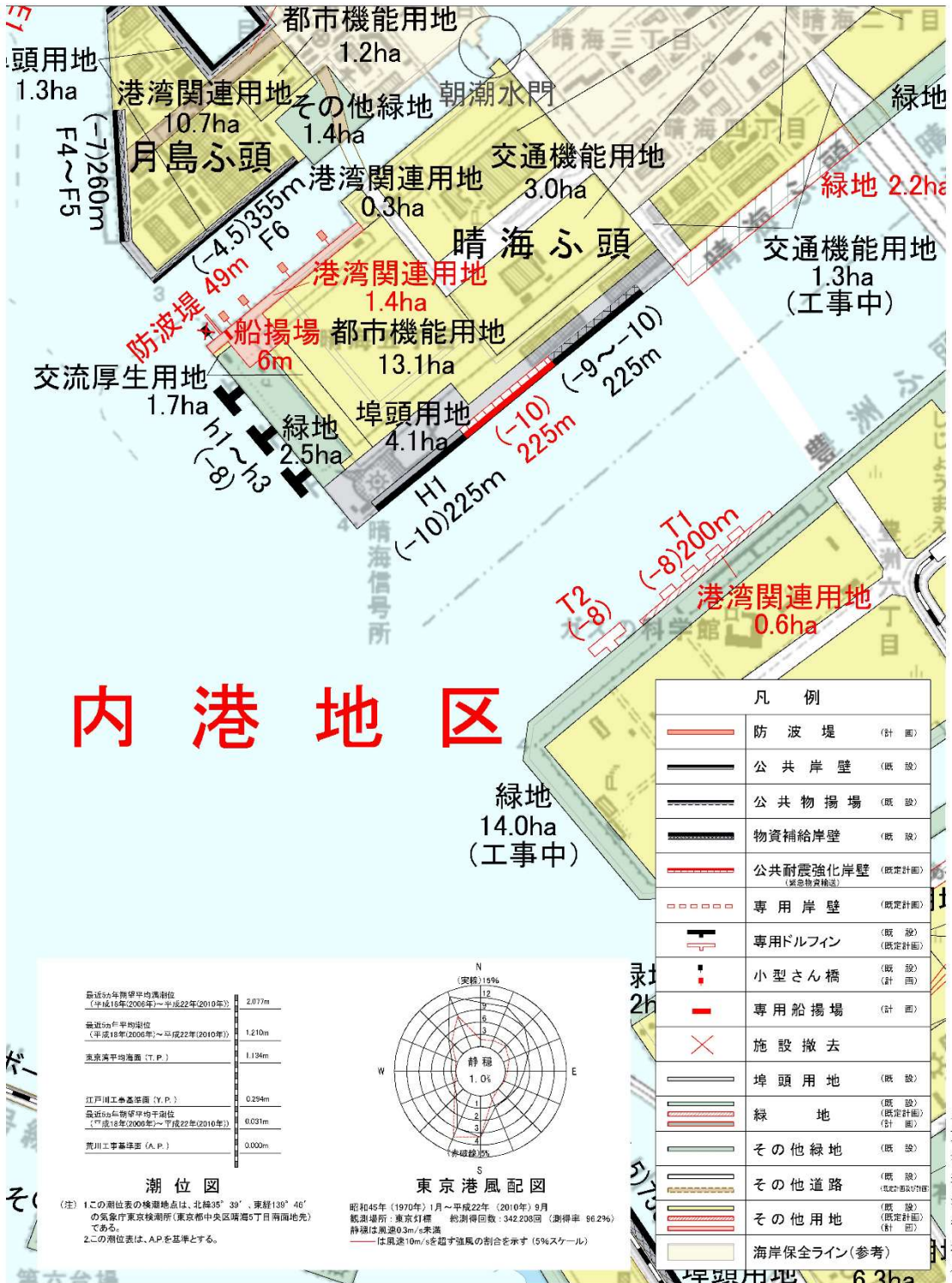
表Ⅷ-5-1 (5) 東京港港湾計画経緯一覧表

| 計画変更区分 | 策定年月 | 公示年月 | 計画内容 | 改訂・変更理由 |
|-----------|-------------------------|----------|--|--|
| 第8次改訂港湾計画 | 平成26年9月 第88回東京都港湾審議会 | 平成26年12月 | <p>(7) 土地造成計画・土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東部地区に埠頭用地29haを計画する(新規) <p>(8) 港湾の効率的な運営に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 品川ふ頭に166m・水深8.5mの岸壁1バース、195m・水深10mの岸壁1バース、550m・水深11mの岸壁2バースを計画する(変更) ・ 大井ふ頭その1に400m・水深15～16mの岸壁1バースを計画する(変更) ・ 15号地に500m・水深11～12mの岸壁2バースを計画する(新規) ・ 15号地の440m・水深9mの岸壁2バースを廃止する <p>(9) 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大井ふ頭その1に400m・水深15～16mの岸壁1バースを計画する(新規) ・ 15号地に240m・水深12mの岸壁1バースを計画する(変更) ・ 15号地の220m・水深9mの岸壁1バースを廃止する ・ 15号地に岸壁1バースを計画する(変更) <p>(10) 大規模地震対策施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10号地その2に2バースを計画する(新規) ・ 品川ふ頭、大井ふ頭その1、13号地、15号地、中央防波堤外側、新海面処分場に16バース計画する(新規) ・ 中央防波堤内側に1バース計画する(変更) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 港湾施設の計画に対応するとともに、多様な機能が調和し、連携する質の高い港湾空間の形成を図るため ・ 民間の能力を活用し、港湾の効率的な運営を行うため ・ 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するため ・ 大規模地震等の発生時において、緊急救援物資等の輸送機能を確保するため ・ 大規模地震等の発生時において、幹線貨物輸送の拠点として機能するため |
| 軽易な変更 | 平成28年1月 第90回東京都港湾審議会 | 平成28年2月 | <p>(1) 旅客船埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 晴海ふ頭の小型栈橋6基(うち1基既設)の既定計画を削除する <p>(2) 専用埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 晴海ふ頭に小型栈橋4基、船揚場 6mを計画する(新規) <p>(3) 外郭施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内港地区に防波堤49mを計画する(新規) <p>(4) 港湾環境整備施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内港地区に緑地9haを計画する(変更) <p>(5) 土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内港地区の土地利用計画を変更する 埠頭用地0.9ha→港湾関連用地0.9ha 緑地2.8ha→緑地2.5ha・港湾関連用地0.3ha 交流厚生用地1.9ha→交流厚生用地1.7ha・港湾関連用地0.2ha ・ 中部地区の土地利用計画を変更する 交流厚生用地7.1ha→交流厚生用地5.3ha・交通機能用地1.8ha | <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京消防庁の要請に対応するため ・ 東京消防庁の要請及び臨海副都心のまちづくりに係る計画の変更に対応するため |
| 軽易な変更 | 平成29年5月 第92回東京都港湾審議会 | 平成29年6月 | <p>(1) 旅客船埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 13号地に680m・水深11.5mの岸壁2バースを計画する(変更) ・ 晴海ふ頭の225m・水深10mの岸壁1バースを廃止する <p>(2) 水域施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中部地区に4ha・水深11.5mの泊地、24ha・水深11.5mの航路・泊地を計画する(変更) <p>(3) 港湾環境整備施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内港地区に緑地6haを計画する(新規) <p>(4) 土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内港地区の土地利用計画を変更する 埠頭用地4.1ha・交流厚生用地1.7ha ・ 中部地区の土地利用計画を変更する 埠頭用地3.0ha→埠頭用地3.5ha・交流厚生用地0.2ha <p>(5) 大規模地震対策施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 晴海ふ頭に240m・水深10mの岸壁1バースを計画する(変更) <p>(6) 物資補給等のための施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 晴海ふ頭に240m・水深10mの岸壁1バース、552m・水深9mの岸壁3バースを計画する(変更) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 船舶の大型化に対応するため ・ 豊洲・晴海開発整備計画の一部改定に対応するため ・ 船舶の大型化及び豊洲・晴海開発整備計画の一部改定に対応するため ・ 大規模地震発生時における緊急物資輸送等に対応するため ・ 官庁船、貨物船等の待機及び物資補給に対応するため |
| 軽易な変更 | 平成30年7月 第93回東京都港湾審議会 | 平成30年8月 | <p>(1) 旅客船埠頭計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 13号地に小型栈橋1基を計画する(新規) <p>(2) 港湾環境整備施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中部地区に海浜1箇所を計画する(新規) <p>(3) 海浜計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中部地区に海浜1箇所を計画する(新規) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京港内の海上交通ネットワーク拡充のため ・ 東京港の水域環境の保全・再生を図るとともに、水生生物をはじめとした多様な生物の生息環境を創出するため |

表Ⅷ-5-1 (6) 東京港港湾計画経緯一覧表

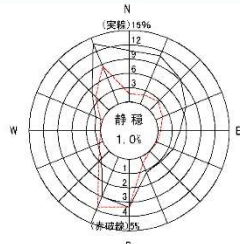
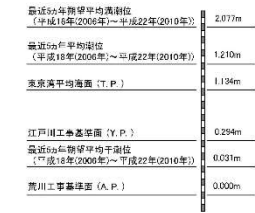
| 計画変更区分 | 策定年月 | 公示年月 | 計画内容 | 改訂・変更理由 |
|--------|-------------------------|---------|--|--|
| 軽易な変更 | 令和元年5月 第94回東京都港湾審議会 | 令和元年6月 | (1) 土地利用設計画 ・内港地区の土地利用計画を変更する 港湾関連用地0.3ha→都市機能用地0.3ha | ・再開発に伴う居住人口の増加に対応し、都心部とのアクセス確保および交通利便性の向上を図るため |
| 軽易な変更 | 令和2年1月 第95回東京都港湾審議会 | 令和2年2月 | (1) 公共埠頭計画 ・品川ふ頭に550m・水深11.5mの岸壁2バースを計画する(変更) (2) 外貿埠頭計画 ・品川ふ頭に195m・水深10mの岸壁1バースを計画する(変更) (3) 水域施設計画 ・内港地区に3ha・水深11.5mの泊地、34ha・水深11.5mの航路・泊地を計画する(変更) (4) 土地利用計画 ・内港地区の土地利用計画を変更する 埠頭用地13.8ha→埠頭用地16.8ha (5) 港湾の効率的な運営に関する事項 ・品川ふ頭に550m・水深11.5mの岸壁2バース、195m・水深10mの岸壁1バースを計画する(変更) (6) 大規模地震対策施設 ・品川ふ頭に550m・水深11.5mの岸壁2バースを計画する(変更) | ・船舶の大型化及び増加するアジア貨物に対応するため |
| 軽易な変更 | 令和2年11月 第96回東京都港湾審議会 | 令和2年12月 | (1) 公共埠頭計画 ・大井ふ頭その2に280m・水深6.5mの岸壁3バースを計画する(変更) (2) 水域施設計画 ・南部地区に2ha・水深6.5mの泊地、6ha・水深6.5mの航路・泊地を計画する(新規) (3) 臨港交通施設計画 ・臨港道路中防内6号線を計画する(新規) (4) 港湾環境整備施設計画 ・中部地区に緑地3haを計画する(変更) ・中央防波堤地区に緑地83haを計画する(変更) (5) 土地利用計画 ・中部地区の土地利用計画を変更する ・中央防波堤地区の土地利用計画を変更する 緑地85.7ha→緑地82.2ha・交通機能用地3.5ha | ・船舶の大型化に対応するため ・海の森公園への交通機能を確保するため ・ふ頭の施設計画及びふ頭背後地の利用形態の変化に対応するため ・海の森公園への交通機能を確保するため ・用途廃止された交通機能用地を海の森公園と一体として整備するため |
| 軽易な変更 | 令和4年1月 第98回東京都港湾審議会 | 令和4年2月 | (1) 港湾環境整備施設計画 ・中部地区に緑地6haを計画する(新規) (2) 土地利用計画 ・中部地区の土地利用計画を変更する 緑地7.1ha・都市機能用地26.0ha →緑地13.1ha・都市機能用地20.0ha | ・臨海副都心のまちづくりに係る計画の変更に対応するため |

東京港港湾計画図



内港地区

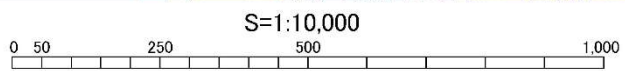
| 凡例 | |
|----|-----------------------------|
| | 防波堤 (計画) |
| | 公共岸壁 (既設) |
| | 公共物揚場 (既設) |
| | 物資補給岸壁 (既設) |
| | 公共耐震強化岸壁 (既定計画) (緊急物資輸送) |
| | 専用岸壁 (既定計画) |
| | 専用ドルフィン (既設) (既定計画) |
| | 小型さん橋 (既設) |
| | 専用船揚場 (計画) |
| | 施設撤去 |
| | 埠頭用地 (既設) |
| | 緑地 (既設) (既定計画) |
| | その他緑地 (既設) |
| | その他道路 (既設) (北が都営U7線) |
| | その他用地 (既設) (既定計画) |
| | 海岸保全ライン(参考) |



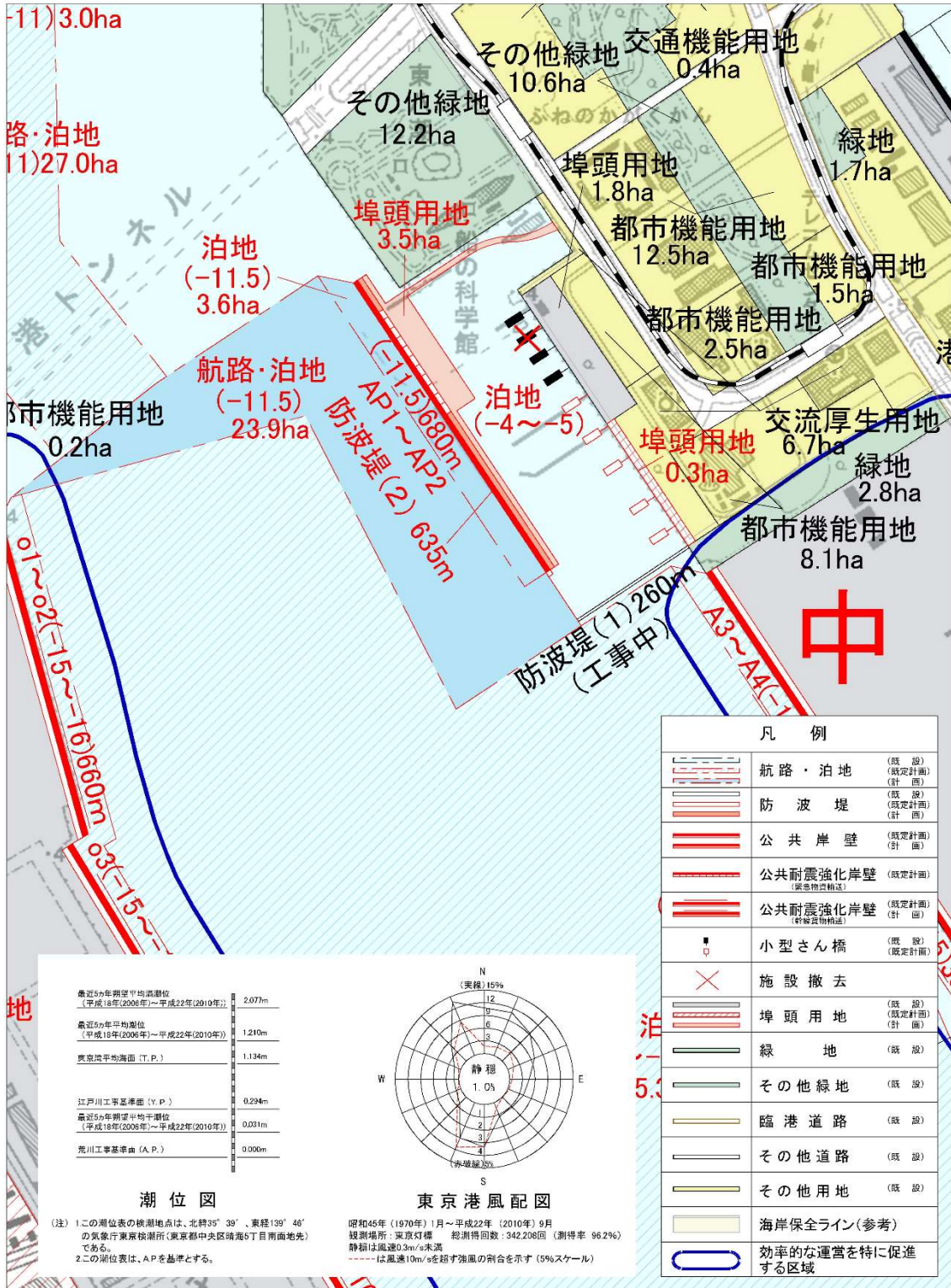
(注) 1.この潮位表の観測地点は、北緯35°39'、東経139°46'の気象庁東京検測所(東京都中央区晴海5丁目両国地先)である。
2.この潮位表は、A.P.を基準とする。

昭和45年(1970年)1月～平成22年(2010年)9月
観測場所：東京灯標 総測回数：342,203回(測得率 96.2%)
静穏は風速0.3m/s未満
—は風速10m/sを越す強風の割合を示す(5%スケール)

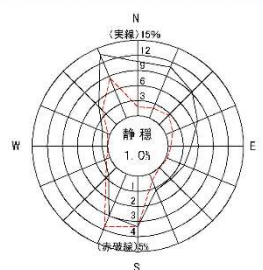
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平27関復、第17号)



東京港港湾計画図



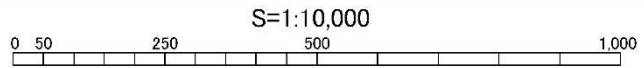
| 凡例 | | |
|----|----------------------|------------------------|
| | 航路・泊地 | (既設) (既定計画) (計画) |
| | 防波堤 | (既設) (既定計画) (計画) |
| | 公共岸壁 | (既定計画) (計画) |
| | 公共耐震強化岸壁 | (既定計画) |
| | 公共耐震強化岸壁 (緊急物資輸送) | (既定計画) (計画) |
| | 小型さん橋 | (既設) (既定計画) |
| | 施設撤去 | |
| | 埠頭用地 | (既設) (既定計画) (計画) |
| | 緑地 | (既設) |
| | その他緑地 | (既設) |
| | 臨港道路 | (既設) |
| | その他道路 | (既設) |
| | その他用地 | (既設) |
| | 海岸安全ライン(参考) | |
| | 効率的な運営を特に促進する区域 | |



(注) 1.この潮位表の観測地点は、北緯35°39'、東経139°46'の気象庁東京観測所(東京都中央区晴港5丁目南端地先)である。
2.この潮位表は、A.P.を基準とする。

昭和45年(1970年)1月～平成22年(2010年)9月
観測場所：東京灯標 総測回数：342,208回 (測得率 96.2%)
静穏は風速0.3m/s未満
---は風速10m/sを越す強風の割合を示す(5%スケール)

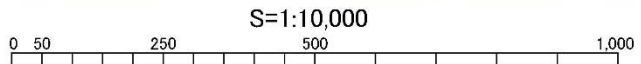
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。
(承認番号 平28情復、第842号)



東京港港湾計画図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。
(承認番号 平28情複、第842号)



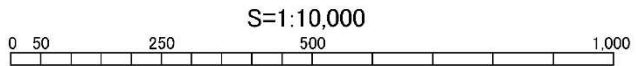
東京港港湾計画図(中部地区)



東京港港湾計画図(内港地区)



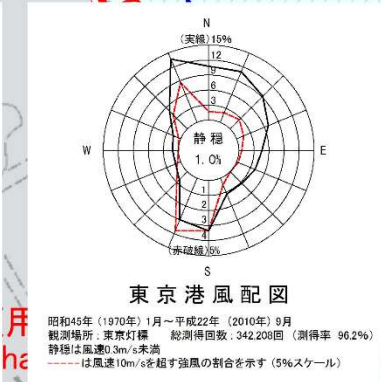
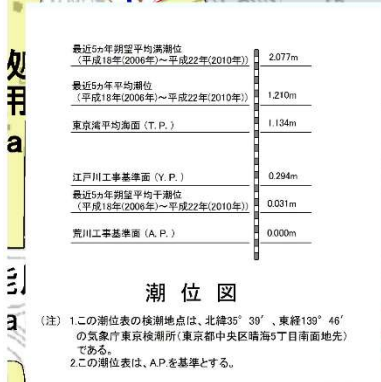
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平30情複、第1602号)



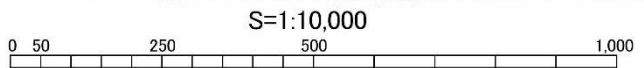
東京港港湾計画図



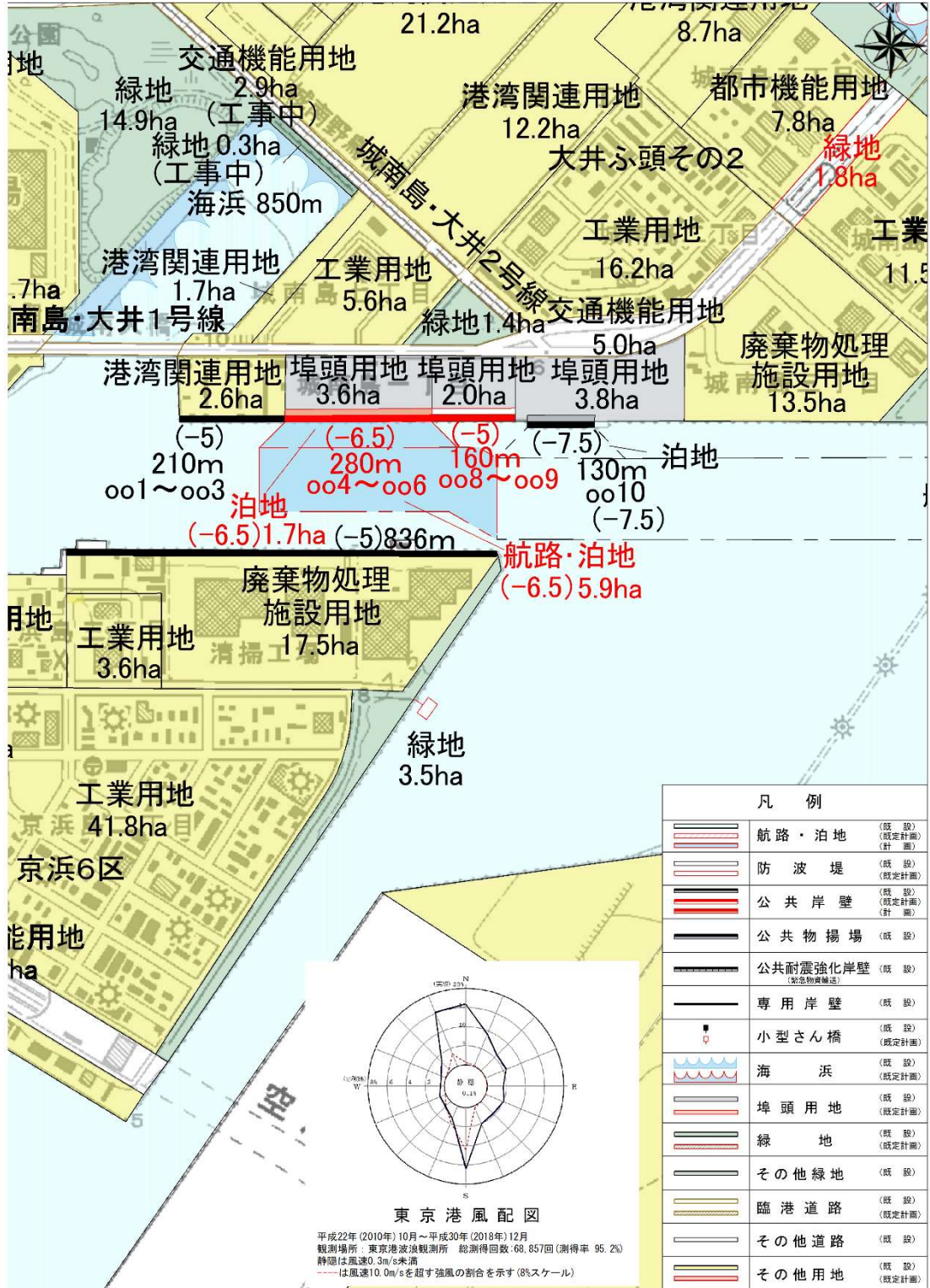
| 凡 例 | |
|-----|------------------------------------|
| | 航路・泊地 (既設) (既定計画) (計画) |
| | 公共岸壁 (既設) (既定計画) (計画) |
| | 公共耐震強化岸壁 (既設) (既定計画) (計画) (緊急物資輸送) |
| | 公共耐震強化岸壁 (既設) (既定計画) (計画) (緊急物資輸送) |
| | 専用岸壁 (既設) (既定計画) (計画) |
| | 専用ドルフィン (既設) (既定計画) |
| | 小型さん橋 (既設) (既定計画) (計画) |
| | 施設撤去 |
| | 海 浜 (既設) (計画) |
| | 埠頭用地 (既設) (既定計画) (計画) |
| | 緑 地 (既設) (既定計画) (計画) |
| | その他緑地 (既設) (既定計画) (計画) |
| | 臨港道路 (既設) (既定計画) (計画) |
| | その他道路 (既設) (既定計画) (計画) |
| | その他用地 (既設) (既定計画) (計画) |
| | 効率的な運営を特に促進する区域 |



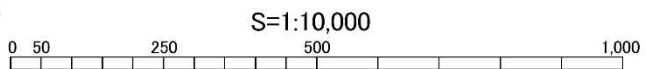
測量法に基づく国土地理院長承認(複製) R2 JHF 277
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。



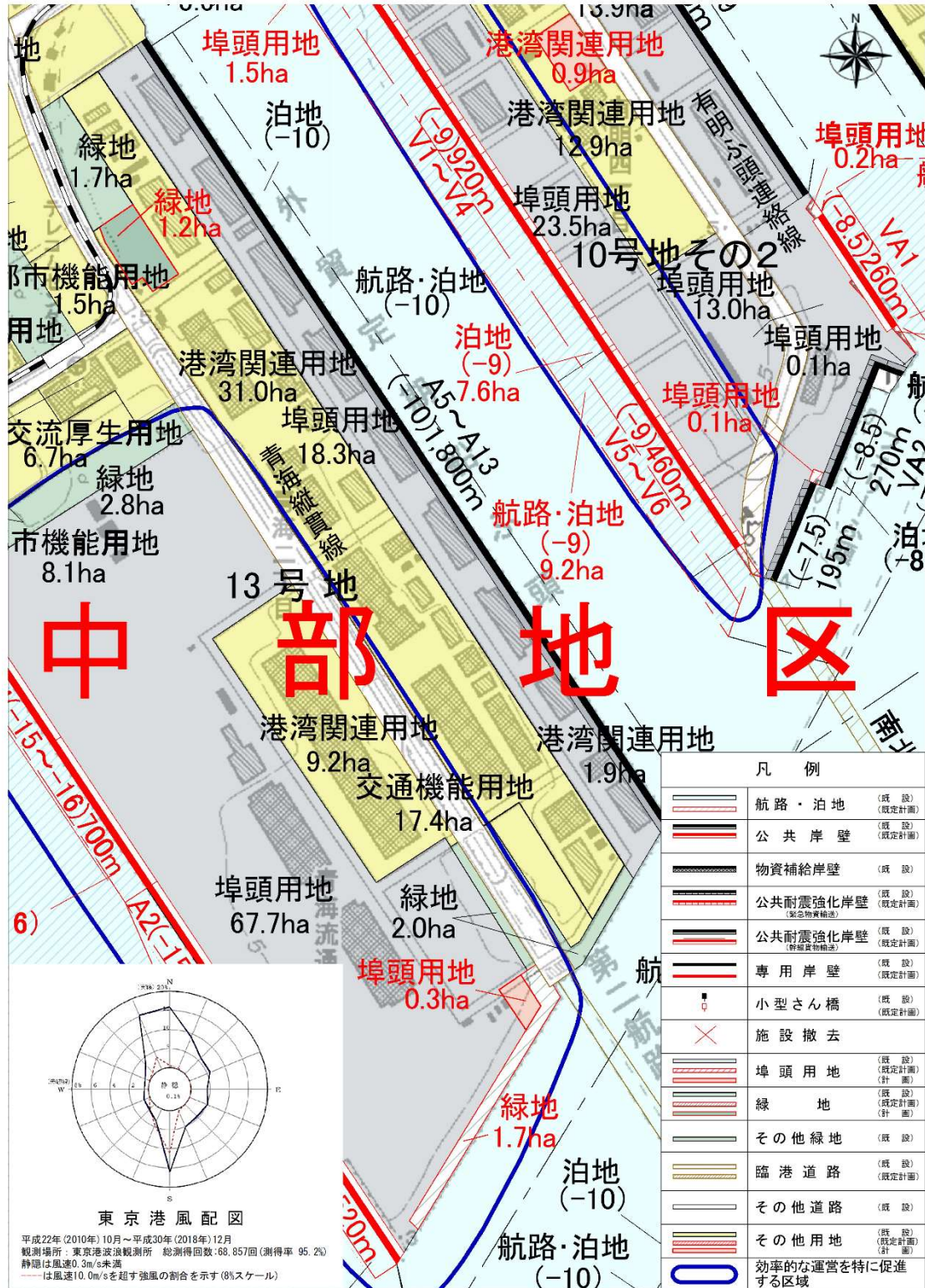
東京港港湾計画図



測量法に基づく国土地理院長承認（複製） R 2JHF 340
 本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

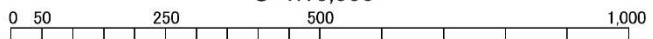


東京港港湾計画図



測量法に基づく国土地理院長承認（複製） R 2JHf 340
 本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

S=1:10,000



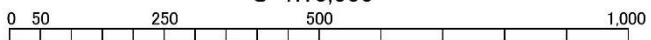
東京港港湾計画図



測量法に基づく国土地理院長承認（複製） R 2JHf 340

本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

S=1:10,000

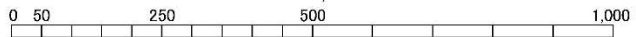


東京港港湾計画図

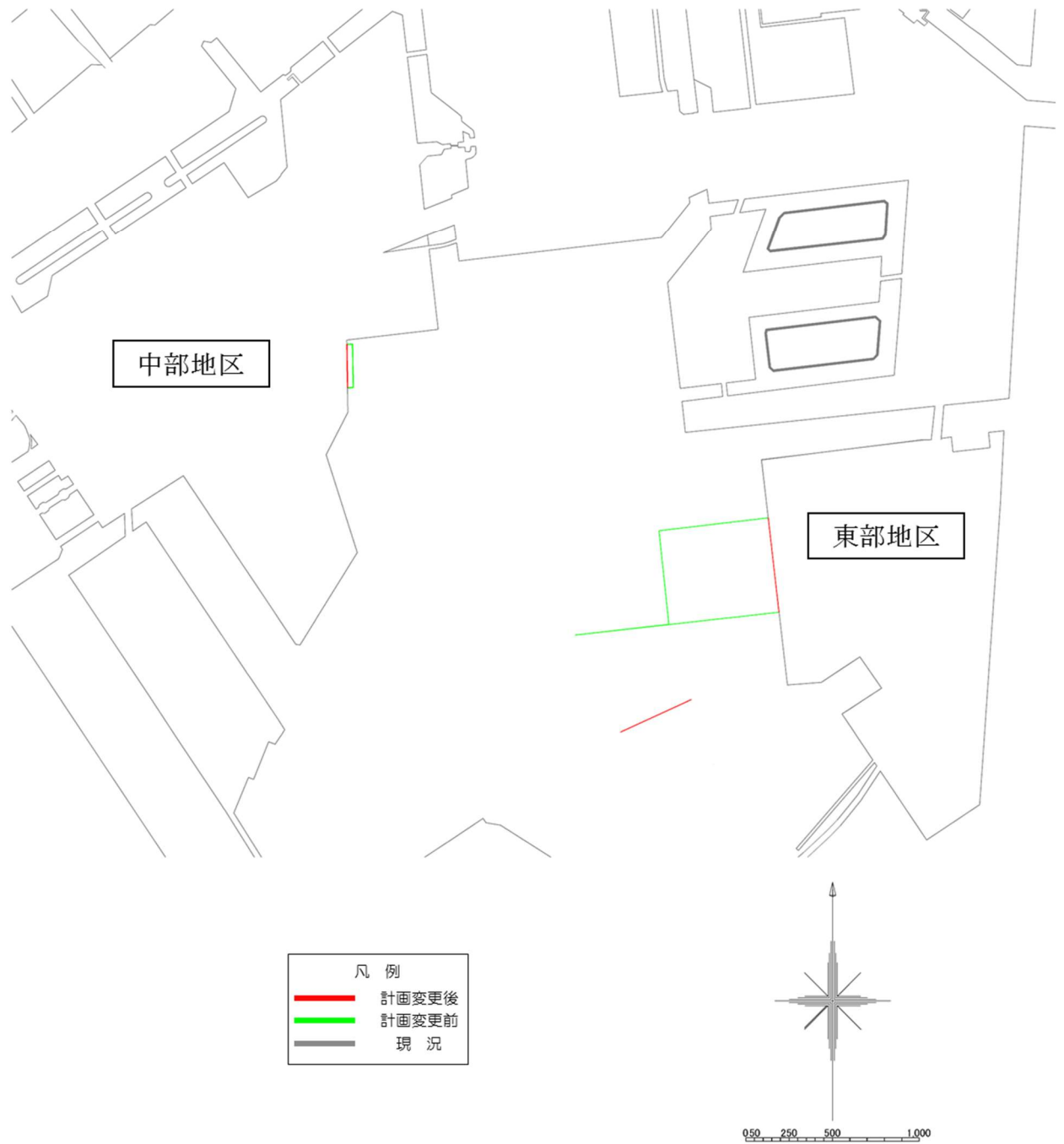


この地図は、国土地理院発行の2万5千分1地形図を使用したものである。

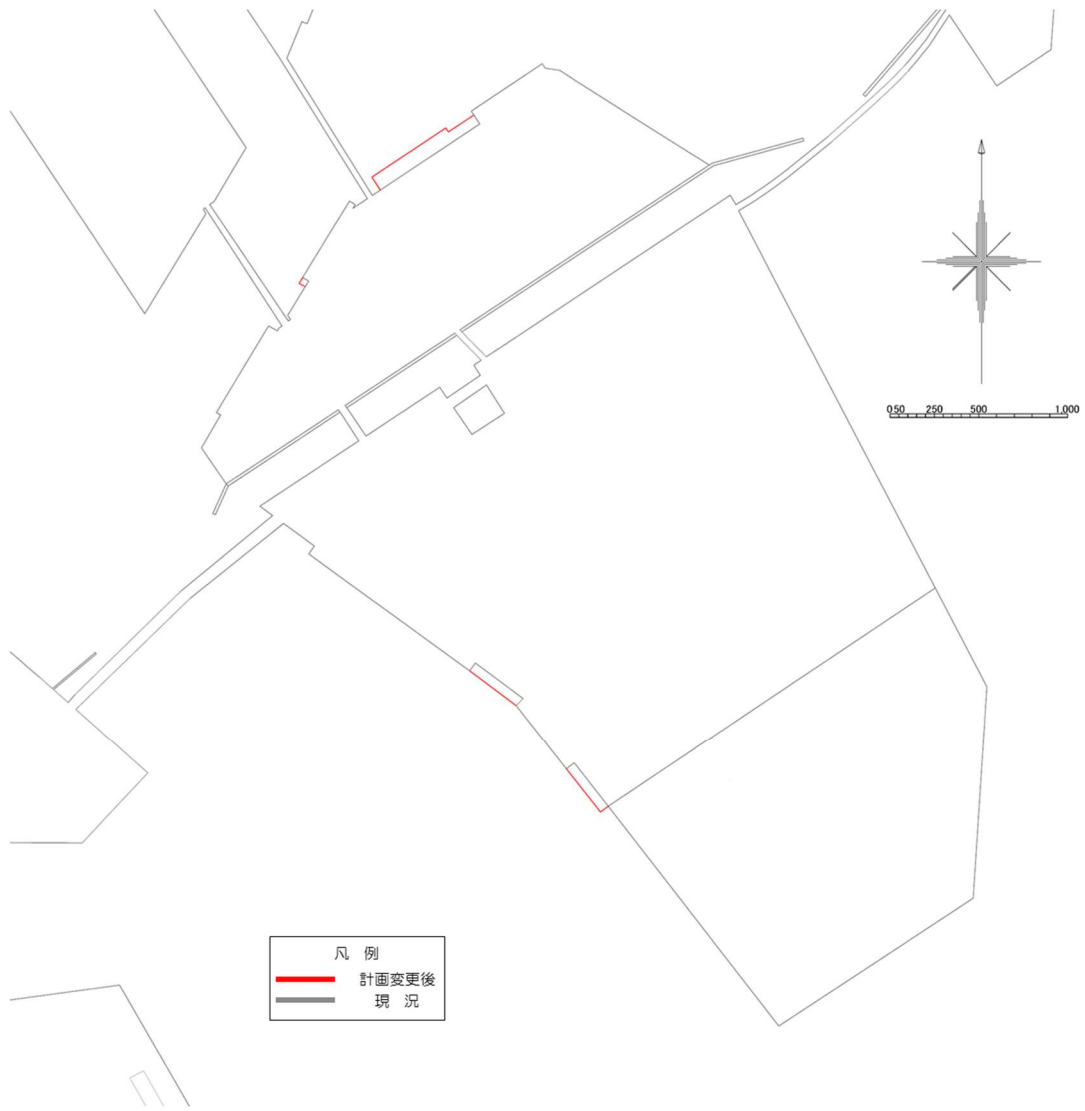
S=1:10,000



6. 新旧法線対象図



図VIII-6-1 新旧法線対照図（中部地区・東部地区）



図VIII-6-2 新旧法線対照図（中央防波堤地区）

7. 東京都港湾審議会委員名簿

令和5年9月11日（順不同）

| 分野 | 役職等 | 氏名 |
|-----------------------|-------------------------------|---------|
| 学識経験者 を する 者 | 日本郵船株式会社 特別顧問 | 内藤 忠顕 |
| | 公益社団法人日本港湾協会 理事長 | 大脇 崇 |
| | 日本機械輸出組合 部会・貿易業務グループ グループリーダー | 多田 正博 |
| | 東京海洋大学 学術研究院流通情報工学部門 教授 | 黒川 久幸 |
| | 日本大学理工学部まちづくり工学科 准教授 | 押田 佳子 |
| | 東京農業大学地域環境科学部造園科学科 教授 | 水庭 千鶴子 |
| | 立教大学経営学部・ビジネスデザイン研究科 教授 | 高岡 美佳 |
| | 環境カウンセラー | 藤野 珠枝 |
| | 東京女子大学現代教養学部国際社会学科 教授 | 二村 真理子 |
| 港湾空港技術研究所 所長 | 河合 弘泰 | |
| 港湾・海上公園利用者 | 一般社団法人東京港運協会 会長 | 鶴岡 純一 |
| | 東京倉庫協会 会長 | 山崎 元裕 |
| | 一般社団法人日本船主協会 企画部長 | 中村 憲吾 |
| | 公益社団法人東京湾海難防止協会 理事長 | 秋本 茂雄 |
| | 東京港湾労働組合連合会 執行委員長 | 山田 敏也 |
| | 全日本海員組合 関東地方支部 地方支部長 | 高宮 成昭 |
| | 一般社団法人東京都レクリエーション協会 副会長 | 澤内 隆 |
| | 都民公募 | 甲斐田 洋希 |
| 都民公募 | 浅賀 まどか | |
| 港湾区域に隣接する特別区の区長 | 中央区長 | 山本 泰人 |
| | 港区長 | 武井 雅昭 |
| | 江東区長 | 木村 弥生 |
| | 品川区長 | 森澤 恭子 |
| | 大田区長 | 鈴木 晶雅 |
| | 江戸川区長 | 斉藤 猛 |
| 東京都議員 | 東京都議会議員 | 三宅 正彦 |
| | 東京都議会議員 | 菅野 弘一 |
| | 東京都議会議員 | 入江 のぶこ |
| | 東京都議会議員 | 平 けいしょう |
| | 東京都議会議員 | 伊藤 こういち |
| | 東京都議会議員 | あぜ上 三和子 |
| | 東京都議会議員 | 阿部 祐美子 |
| 関係行政機関の職員 | 東京税関長 | 源新 英明 |
| | 関東地方整備局長 | 藤巻 浩之 |
| | 関東運輸局長 | 勝山 潔 |
| | 東京海上保安部長 | 木下 敏和 |
| | 警視庁交通部長 | 大窪 雅彦 |

8. 将来イメージ

